

吉崎・次場遺跡

県営ほ場整備事業に係る埋蔵文化財
発掘調査報告書第2分冊(資料編(2))

1988

石川県立埋蔵文化財センター

吉崎・次場遺跡

県営ほ場整備事業に係る埋蔵文化財
発掘調査報告書第2分冊(資料編(2))

1988

石川県立埋蔵文化財センター



1-3, 4号溝全景



1-3, 4号溝A, Bライン断面



S-5号土坑遺物出土状況



吉崎・次場遺跡出土土器(弥生時代中期)



同 上(弥生時代後期)



吉崎・次場遺跡出土玉類



四 蜻 鏡



鑄帶金具



「三宅」墨書



「三家」墨書

例 言

- 1 本書は県営は場整備事業に係る石川県羽咋市吉崎・次場遺跡発掘調査報告書第2分冊（資料編(2)）である。
- 2 調査は石川県農林水産部耕地整備課との協議に基づき、同課より依頼を受けた石川県立埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 現地調査は昭和55年度から昭和59年度までの5年次にわたり実施し、福島正実（石川県立埋蔵文化財センター主事）が担当した。また、調査員として藤田邦雄（昭和55年度）、宮下栄仁、浦辺常寿（昭和56年度）、宮下栄仁、石橋克美（昭和57年度）市掘元一、田畑弘（昭和58年度）、安宅務（昭和59年度）が携わった。昭和60年度以降は、遺物整理、および報告書作成に必要な記録資料整理を実施し、昭和62年度は藤田邦雄、山本直人（同主事）、伊藤雅文（同嘱託）、福島が担当した。
- 4 調査費用は県耕地整備課が負担したほか、文化庁補助金の交付を受けた。
- 5 調査の実施にあたり以下の機関、個人等の協力を受けた。記して感謝の意を表したい。
石川県羽咋土地改良事務所、邑知土地改良区、羽咋市教育委員会、羽咋市歴史民俗資料館、石川県埋蔵文化財協会、吉崎町・次場町町会各位、小倉建設株式会社、日本海建設株式会社、アジア航測株式会社、セントラル航業株式会社、（順不同）
- 6 遺物整理（洗浄、記名・分類、接合、復元、実測、トレース）は石川県埋蔵文化財協会（昭和55～59年度）、（社）石川県埋蔵文化財整理協会（昭和60～62年度）に委託して実施した。遺構図のトレースは（社）石川県埋蔵文化財整理協会に一部を委託したほか、宮下、藤田、福島が行った。遺物写真撮影は田畑、大藤雅男、宮下、山本、伊藤、福島が行った。
- 7 本書の執筆は藤 則雄（金沢大学教育学部地球科学研究室）、鈴木三男（金沢大学教養部生物学教室）、渡辺 誠（名古屋大学文学部考古学研究室）、宮下、藤田、山本、伊藤、芝田、福島が行い、編集は福島が行った。また、図版編集に田畑が携わった。
- 8 本書の作成にあたり、井藤暁子、中司照世、山口充、増山仁（敬称略、順不同）から教示、指導を受けた。記して感謝の意を表したい。
- 9 資料編1（第1分冊）、資料編2（第2分冊）の収録調査区等の区分は以下のとおりである。石製品、土製品、木製品、金属製品については、一部を除き各調査区出土品を一括して収録した。

	各調査区遺構・土器															石製品	土製品	木製品	金属製品	動物遺体
	H	I	J	K	L	M	N	O	P	S	T	U	V	W						
第1分冊		○	○		○		○							○	○	○				
第2分冊	○	○		○		○		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○

凡 例

- 1 本書の挿図、図版の指示は以下の通りである。
 - (1) 方位はN調査区(磁北)を除き真北を示す。
 - (2) 遺物図版の縮尺は不同である。
 - (3) 各調査区全体図の遺構記号は次のとおりである。
SB:掘立柱建物 SD:溝 SE:井戸 SK:土坑 SX:その他の遺構
 - (4) 土器、石製品挿図の地紋表現は次のとおりである。
細密網 :自然面(石製品)、赤彩部(土器)
粗網 :敲打面(石製品)、内黒土器
斜ハッチ:擦痕(石製品)
- 2 本書の本文、挿図、図版の遺物番号はすべて一致する。また土器番号は第1・2分冊で通し番号である。(第1分冊:1~879 第2分冊:880~1990)
- 3 土器実測図には調整方法、順序を示す記号を付加した。
 - (1) 調整記号
N:ナデ H:ハケメ K:ヘラケズリ M:ヘラミガキ 矢印(↑等):方向
 - (2) 調整準序
確認できたものには調整部位の順序を示す番号と各単位の順序(主として左、右回り)を示す番号を付した。

本文目次

I 遺構・遺物	1
1 H調査区	1
2 K調査区	6
3 M調査区	6
4 I調査区（I-3号溝）	10
5 O調査区	62
6 U調査区	65
7 S調査区	69
8 P調査区	100
9 T調査区	100
10 各調査区出土土製品	156
11 各調査区出土石器、玉類	162
12 石器、玉類の石質とその分布地	169
13 各調査区出土木製品	173
14 木製品の樹種	184
15 各調査区出土金属製品	188
16 W調査区出土動物遺体	191
II 吉崎・次場遺跡の古環境	193
1 現環境	193
2 古環境解析の資料	194
3 古環境変化	199
III 吉崎・次場遺跡出土土製品、玉類の考察	211

挿 図 目 次

第1図	H調査区全体図(1/150).....	2
第2図	H調査区主要遺構(1/60).....	2
第3図	H調査区土層断面(1/60).....	3
第4図	H-1号土坑(880)、H-5号土坑(881,896)、H-2号溝(882~885)、 H-3号溝(886,887)、H-4号溝(888~890)、H-5号溝(891~898)、 遺物包含層(899~901)出土土器(3/10).....	4
第5図	M調査区全体図(1/150).....	7
第6図	M調査区土層断面及び主要遺構(1/60).....	7
第7図	M-1号土坑(902~904)、M-3a号土坑(905)、M-3b号土坑(906)、 M-4号土坑(907,908)、M-10号土坑(909,910)、M-7a号土坑 (911)、M-7b号土坑(912~923)、M-30号土坑(924)、M-60号土坑 (925)出土土器(1/3).....	8
第8図	M-1号溝(926,927)、M-2号溝(930~939)、M-3号溝(928)M-5号溝 (929)、M-7号溝(940)、遺物包含層等(941~950)出土土器(1/3).....	9
第9図	I-3, 4号溝Aライン断面(S.B.A)(1/40).....	12
第10図	I-3, 4号溝Bライン断面(S.B.B)(1/40).....	12
第11図	I-3, 4号溝(1/60).....	13
第12図	I-3, 4号溝Aライン(S.B.A)第4層出土土器(1/3).....	16
第13図	I-3, 4号溝Aライン(S.B.A)第4層(958~965)、第6・8層(966~968) 出土土器(1/3).....	17
第14図	I-3, 4号溝Aライン(S.B.A)第6・8層(969~965)、第10層(970~972)、 第11層(973~975)、第15層(977)、第17層(976) 出土土器(1/3).....	18
第15図	I-3, 4号溝Bライン(S.B.B)第1層(978~981)、第2層(982~985)、85)、 第3・4層(986~989)、第6層(990~991)、 第9層(992)、第11層(993)、第12層(994)、 第19層(995)、第26層(996)出土土器(1/3).....	19
第16図	I-3号溝出土土器(1)(上部、壺(1))(1/3).....	20
第17図	”(2)(上部、壺(2))(1/3).....	21
第18図	”(3)(上部、壺(3))(1/3).....	22
第19図	”(4)(上部、鉢・有孔鉢・高杯(1))(1/3).....	23
第20図	”(5)(上部、高杯(2))(1/3).....	24
第21図	”(6)(上部、器台・高杯(1/3).....	25
第22図	”(7)(上部、甕(1))(1/3).....	26
第23図	”(8)(上部、甕(2))(1/3).....	27
第24図	”(9)(上部、甕(3))(1/3).....	28
第25図	”(10)(上部、甕(4))(1/3).....	29
第26図	”(11)(上部、甕(5))(1/3).....	30
第27図	”(12)(上部、甕(6)・(底部))(1/3).....	31
第28図	”(13)(上部の下、壺(1))(1/3).....	32
第29図	”(14)(上部の下、壺(2))(1/3).....	33
第30図	”(15)(上部の下、壺(3))(1/3).....	34
第31図	”(16)(上部の下、壺(4))(1/3).....	35
第32図	”(17)(上部の下、壺(5))(1/3).....	36

第33図	I-3号溝出土土器	(18) (上部の下、壺(6)) (1/3).....	37
第34図	〃	(19) (上部の下、壺(7)) (1/3).....	38
第35図	〃	(20) (上部の下、壺(8)・水差・鉢・蓋) (1/3).....	39
第36図	〃	(21) (上部の下、高杯(1)) (1/3).....	40
第37図	〃	(22) (上部の下、高杯(2)) (1/3).....	41
第38図	〃	(23) (上部の下、高杯(3)・高杯又は器台) (1/3).....	42
第39図	〃	(24) (上部の下、高杯又は器台・器台(1)) (1/3).....	43
第40図	〃	(25) (上部の下、器台(2)・甕(1)) (1/3).....	44
第41図	〃	(26) (上部の下、甕(2)) (1/3).....	45
第42図	〃	(27) (上部の下、甕(3)) (1/3).....	46
第43図	〃	(28) (上部の下、甕(4)) (1/3).....	47
第44図	〃	(29) (上部の下、甕(5)) (1/3).....	48
第45図	〃	(30) (上部の下、甕(6)) (1/3).....	49
第46図	〃	(31) (上部の下、甕(7)) (1/3).....	50
第47図	〃	(32) (上部の下、甕(8)) (1/3).....	51
第48図	〃	(33) (上部の下、甕(9)) (1/3).....	52
第49図	〃	(34) (上部の下、甕(10)・(底部)) (1/3).....	53
第50図	〃	(35) (上部の下、(底部・脚部)) (1/3).....	54
第51図	〃	(36) (下部、壺・水差・鉢・高杯) (1/3).....	55
第52図	〃	(37) (下部、壺・器台・甕) (1/3).....	56
第53図	〃	(38) (下部、甕・(底部)) (底面、高杯・器台・甕) (1/3).....	57
第54図	〃	(39) (出土位置不明、壺(1)) (1/3).....	58
第55図	〃	(40) (出土位置不明、高杯又は器台・甕) (1/3).....	59
第56図	〃	(41) (出土位置不明、甕・(底部)) (1/3).....	60
第57図	〃	(42) (出土位置不明、壺・鉢・高杯又は器台・甕・(底部))(1/3).....	61
第58図	O調査区土層断面 (1/100).....		63
第59図	O-1号溝(1507)、O-2号溝(1506)、O調査区遺物包含層等(1508)出土土器(1/3).....		65
第60図	U調査区位置図 (1/1,000).....		66
第61図	U ₁ ~U ₃ 調査区土層断面 (1/100).....		67
第62図	U区 (U-21~52, 59~66.5) 遺構図 (1/150).....		68
第63図	U調査区出土土器 (1/3).....		68
第64図	S調査区位置図 (1/1,000).....		70
第65図	S調査区全体図 (1/400).....		70
第66図	S-204~219, 223.5~238.5遺構図(1/60).....		72
第67図	S-237.5~249, 251~260遺構図(1/60).....		74
第68図	S-260~274, 274~297.5遺構図(1/60).....		75
第69図	S-290~320遺構図(1/60).....		76
第70図	S調査区検出小穴 (1/60).....		77
第71図	S-2号土坑出土土器(1).....		80
第72図	S-2号土坑((2)1520~1522)、S-3 a~b号土坑((1)1523~1532)出土土器(1/3).....		81
第73図	S-3 b号土坑出土土器(1) (1/3).....		82
第74図	S-3 b号土坑(2)、S-4号土坑出土土器 (1/3).....		83
第75図	S-5号土坑出土土器(1) (1/3).....		84
第76図	S-5号土坑出土土器(2) (1/3).....		85
第77図	S-5号土坑((3)1594~1603)、S-7号土坑(1604)出土土器 (1/3).....		86
第78図	S-8号土坑出土土器 (1/3).....		87
第79図	S-9号土坑(1621)、S-10 a号土坑(1622, 1623)、S-13号土坑(1627~1634)、 S-14号土坑(1624~1626)出土土器 (1/3).....		88

第80図	S-15号土坑出土土器 (1)(1/3).....	89
第81図	S-15号土坑((2)1648, 1649)、S-17号土坑(1650~1652)、S-23区土坑群 (1653, 1654)出土土器 (1/3).....	90
第82図	S-17号土坑(1655~1660)、S-25号土坑(1661)、S-27 a ~ c 号土坑(1662~1666) 出土土器 (1/3).....	91
第83図	S-31 a ~ c 号土坑出土土器 (1/3).....	92
第84図	S-32号土坑(1686)、S-仮101号土坑(1687)、S-1号井戸(1688~1690)、 S-1号溝(1691, 1692)、S調査区遺物包含層(1693~1697)出土土器 (1/3).....	93
第85図	S-3 a 号溝(1698)、S-3 b 号溝(1699~1712)出土土器 (1/3).....	94
第86図	S-4 a, b 号溝出土土器 (1/3).....	95
第87図	S-5号溝出土土器(1) (1/3).....	96
第88図	" (2) (1/3).....	97
第89図	" (3) (1/3).....	98
第90図	S-10号溝(1765~1772)、S-11号溝(1773)、S調査区遺物包含層(1774~1776) 出土土器 (1/3).....	99
第91図	P調査区断面図 (1/100).....	100
第92図	T調査区全体図 (1/100).....	101
第93図	T-1号井戸 (1/60).....	105
第94図	T-1号土坑 (1/60).....	105
第95図	T-15号土坑 (1/60).....	105
第96図	T-11号土坑 (1/60).....	105
第97図	T-2, 3号土坑 (1/60).....	105
第98図	T-17 a, 17 b 号土坑 (1/60).....	105
第99図	T-18号土坑 (1/60).....	105
第100図	T-2号溝 (1/60).....	107
第101図	T-3号溝 (1/60).....	107
第102図	T-4 a, 4 b 号溝 (1/60).....	107
第103図	T-13号溝 (1/60).....	108
第104図	T-8, 9号土坑、T-6, 7, 10~12号溝 (1/60).....	108
第105図	T-1号建物 (1/60).....	108
第106図	T-1号畔、足跡群 (1/60).....	108
第107図	T-1号井戸出土土器 (1777~1815) (1/4).....	109
第108図	T-1号土坑出土土器 (1816) (1/4).....	109
第109図	T-2号土坑出土土器 (1817) (1/4).....	109
第110図	T-11号土坑出土土器 (1818) (1/4).....	109
第111図	T-17 a 号土坑出土土器 (1819, 1820) (1/4).....	109
第112図	T-18号土坑出土土器 (1820~1824) (1/4).....	109
第113図	T-15号土坑出土土器 (1825~1827) (1/4).....	110
第114図	T-2号溝出土土器 (1828~1837) (1/4).....	110
第115図	T-3号溝出土土器 (1838~1849) (1/4).....	110
第116図	T-4 a 号溝出土土器 (1850~1851) (1/4).....	110
第117図	T-11号溝出土土器 (1852) (1/4).....	110
第118図	T-13号溝出土土器 (1853~1856) (1/4).....	110
第119図	T調査区遺物包含層等出土土器 (1)(1/4).....	111
第120図	" (2)(1/4).....	112
第121図	" (3)(1/4).....	113
第122図	土錘の法量分布.....	156
第123図	紡錘車の法量分布.....	157
第124図	各調査区出土土製品(1) (1/3).....	158

第125図	〃	(2) (1/3).....	159
第126図	〃	(3) (1/3).....	160
第127図	I - 3号溝出土位置別掲載器種 (S.B.A, Bを除く).....		15
第128図	打製石鏃の法量分布.....		166
第129図	各調査区出土木製品(1) (1/3).....		177
第130図	〃	(2) (1/6).....	178
第131図	〃	(3) (1/6).....	179
第132図	〃	(4) (1/6).....	180
第133図	〃	(5) (1/6).....	181
第134図	〃	(6) (1/8).....	182
第135図	〃	(7) (1/8).....	183
第136図	V - 8号土坑出土鏡片 (2/3).....		189
第137図	昭和38年度調査出土鏡 (2/3).....		189
第138図	J, V調査区出土銚帯金具 (1/2).....		189
第139図	銭貨拓影 (1/1).....		190
第140図	寺家遺跡周辺の地質環境 (藤 則雄, 1973).....		193
第141図	粒度分析試料採取地点.....		196
第142図	堆積砂の環境解析図.....		198
第143図	花粉分析試料の採取地点.....		199
第144図	V - 5号溝花粉分析試料の採取地点とその層準.....		200
第145図	V - 6号土坑花粉分析試料の層準.....		200
第146図	V - 1号溝花粉分析試料の層準.....		200
第147図	吉崎・次場遺跡の花粉分析試料のダイヤグラム (I).....		202
第148図	〃	(II).....	202
第149図	羽咋市邑知低地 (海拔 0.5m) ...でのボーリング資料と寺家遺跡周辺の模式的 地質断面図 (石川県が実施した海浜有料道路調査資料に基づいて藤が作製).....		203
第150図	寺家遺跡の砂丘が形成された時代を示す模式図 (藤 則雄, 1986).....		203
第151図	北陸地方の後氷期の気候変遷 (藤 則雄, 1986).....		203
第152図	最終氷期以降の海水面の相対的变化曲線 (藤 則雄, 1986).....		205
第153図	Fairbridge による過去約2000年間の海水面変動図 (Unesco 1963に加筆).....		205
第154図	日本の大陸時代の地勢推定図 (a:更新世前期、b:リス氷期、c:ヴルフ氷期) (湊 正雄, 1974).....		207
第155図	ヴェルム最寒冷期2.0~2.5万年前の年平均気温と氷河分布推定図 (藤 則雄, 1975).....		207
第156図	北陸における完新世史の概要を示す図 (藤 則雄, 1971に加筆).....		207
第157図	北陸の資料による過去1万年間の相対的海水面変動曲線 (藤 則雄, 1986).....		208
第158図	縄文時代早期末頃の古地理図 (-----縄文時代中期中葉の地形線) (藤 則雄, 1986).....		208
第159図	約5千年前頃の植生図 (藤 則雄, 1986).....		208
第160図	羽咋・金沢・小松における縄文~古墳時代の地形図 (藤 則雄, 1975).....		208
第161図	縄文時代中期末頃の古地理図 (藤 則雄, 1986).....		208
第162図	縄文時代晩期~弥生時代の古地理図 (-----現地地形図) (藤 則雄, 1986).....		209
第163図	縄文時代晩期~弥生時代の植生 (当時の汀線は、現汀線より1~1.5km沖にあった) (藤 則雄, 1986).....		209
第164図	北欧における冬の気温変動 (イーストン他).....		209
第165図	古墳時代 (5世紀前半)頃の古地理図 (-----現地地形線) (藤 則雄, 1986).....		209
第166図	石川と近畿地方の鈔鍾車.....		211
第167図	戸水B遺跡出土分銅形土製品.....		211
第168図	八日市地方遺跡出土銅鐸形土製品.....		211
第169図	碧玉製玉類の製作.....		213
第170図	翡翠製玉類の製作.....		213

表 目 次

第1表	I-3号溝A, Bライン断面出土土器区画化点数	11
第2表	S調査区遺構一覧表	71
第3表	掲載遺物観察表(土器)	114
第4表	調査地区別土製品一覧表	156
第5表	遺構出土土製品一覧表	156
第6表	土製品計測表	161
第7表	調査地区別石器、玉類出土(計測)点数一覧表(第1分冊第3表修正)	162
第8表	遺構出土石器、玉類一覧表(第1分冊第4表修正)	162
第9表	石器、玉類の器種ごとの頻度分布	169
第10表	磨製石斧、同未製品の石質	170
第11表	環状石器の石質	170
第12表	はずみ車の石質	170
第13表	石鋸の石質	170
第14表	石錐、同未製品の石質	170
第15表	砥石の石質	170
第16表	叩き石の石質	171
第17表	石包丁の石質	171
第18表	石包丁の石質	171
第19表	石鍬類似石器の石質	171
第20表	石錘の石質	171
第21表	石鏃、同未製品の石質	171
第22表	石剣の石質	171
第23表	不定形刃器の石質	172
第24表	石槍の石質	172
第25表	勾玉、同未製品の石質	172
第26表	管玉、同未製品の石質	172
第27表	垂飾品の石質	172
第28表	玉未製品の石質	172
第29表	未定石器類の石質	172
第30表	遺構出土木製品一覧表	173
第31表	掲載遺物一覧表(木製品)	175
第32表	掲載遺物一覧表(V-5号溝出土丸木杭)	176
第33表	吉崎・次場遺跡出土木材の樹種	188
第34表	種・部位別数量表	191
第35表	イノシシ歯牙数量表	192
第36表	シカ歯牙数量表	192
第37表	寺家遺跡とその周辺の地質環境の変遷(藤 則雄, 1973)	195
第38表	海岸沿いの沖積低地での地質区分と古環境変化(藤 則雄, 1986)	195
第39表	粒度分析試料(No.1)	197
第40表	” (No.2)	197
第41表	” (No.3)	197
第42表	” (No.4)	197
第43表	” (No.5)	198
第44表	” (No.6)	198

I 遺 構・遺 物

1 H 調査区

(1) 調査区の概要

本遺跡北西部に位置する面積約200㎡（幅0.5～3.0m、長さ96m）の調査区である。排水路（第4号支線排水路）設置にかかり、昭和55年度に発掘調査を実施した。本調査区では起点（H-0）を本排水路中心線と市道12号線橋梁の交点とし、10mごとに小区（グリッド）を設定した。

遺構面はほぼ平坦で標高約1.2mを測る。遺構密度は調査区の南側50m間で濃く、本遺跡各調査区の中でも最も分布密度の濃い調査区である。調査区幅が全体に3m前後と狭いため、完掘した遺構は非常に少ない。調査区北端は集落の立地する微高地から古邑知潟縁辺部の低湿地帯に達しており、最も低いところでは標高0.1m前後を測る。この低湿地帯はJ、W調査区と類似した土質であり、暗青灰色砂層（21層）中に厚さ10cm前後の遺物包含層が形成されている。

(2) 遺 構

H-1号土坑（第2、4図、図版4、52）

調査区内で確認できた平面形は半円状を呈する。長さ、0.8m、深さ0.3mを測り、H-4号溝の完掘面から掘り込まれているように見えるが、それぞれが単独の遺構になるかどうかは不明である。覆土は黒褐色粘質土の単一層で弥生時代中期の甕片(880)が出土している。

H-2号土坑（第1図）

楕円形を呈すると思われるが、先端部は試掘坑の削平を受けており不明。深さは0.25m前後で覆土は黒褐色粘質土である。

H-3号土坑（第1図）

遺構の上面全体が試掘坑によって削平されているため、正確な深さを知ることはできない。小穴状の土坑である。

H-4号土坑（第2図、図版4）

全形がうかがえる数少ない遺構の一つである。長軸を南北に持つ不整楕円形の土坑で、長径2.6m、短径1.1m、深さ0.5～0.6mを測る。層序は大きく、上部から①暗褐色強粘土②黒褐色強粘土③暗黄灰色砂④褐色粘土に分かれるが、北側には②の黒褐色強粘土層は伸びていない。U字型を成す土壌墓状の遺構であるが、出土遺物が小片のため時期の特定はできない。

H-5号土坑（第2、4図、図版4）

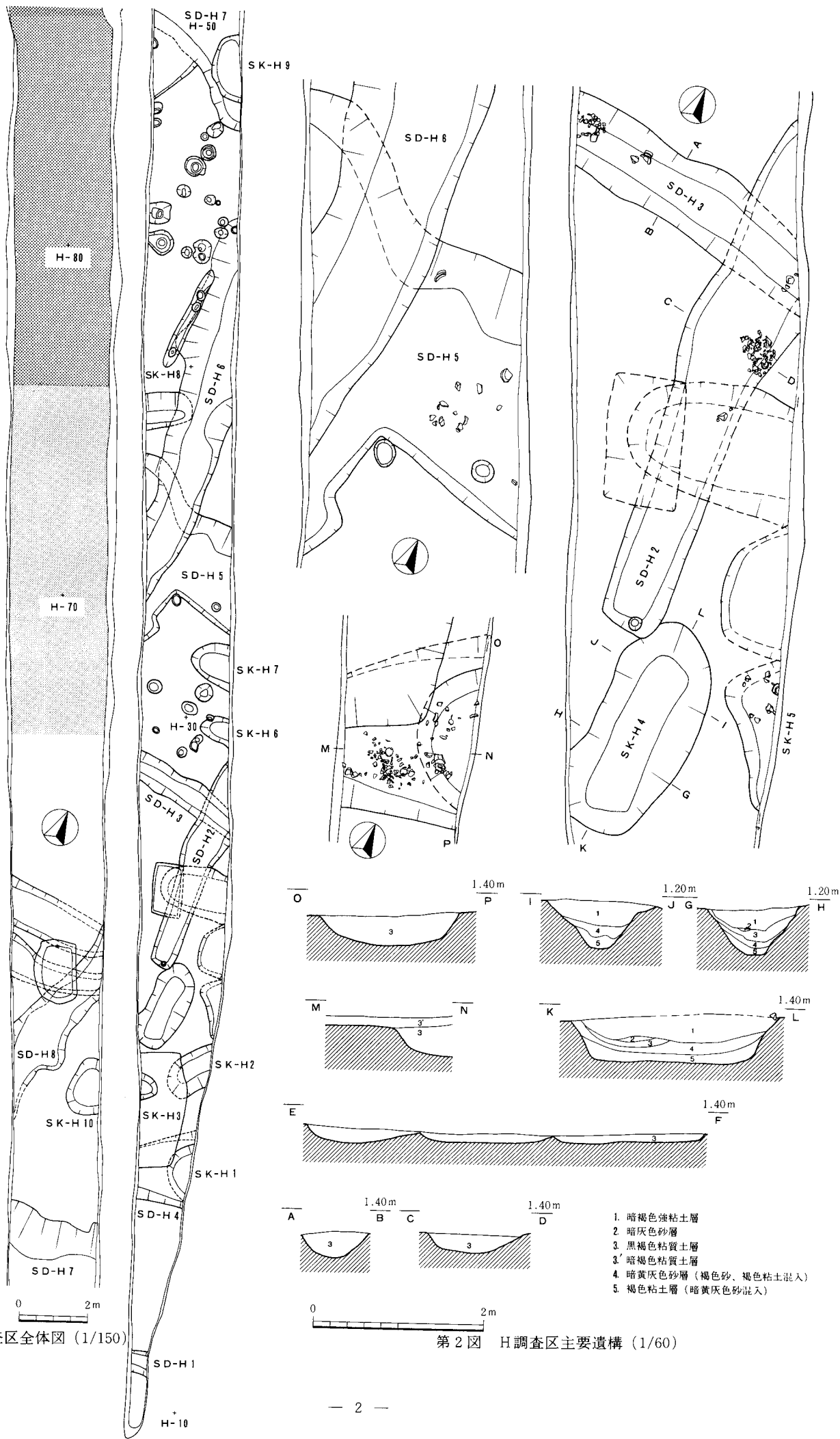
不整形を呈する深さ0.1m前後の浅い土坑で、H-4号土坑の東側で検出されている。黒褐色粘質土の覆土を持ち、弥生時代中期の甕底部片（881、896）などが出土している。

H-6～8号土坑（第1図）

同様な長楕円形を呈すると思われる土坑で、深さは0.2m前後。覆土は黒褐色粘質土で、いずれも遺物の出土はなく、時期の特定はできない。

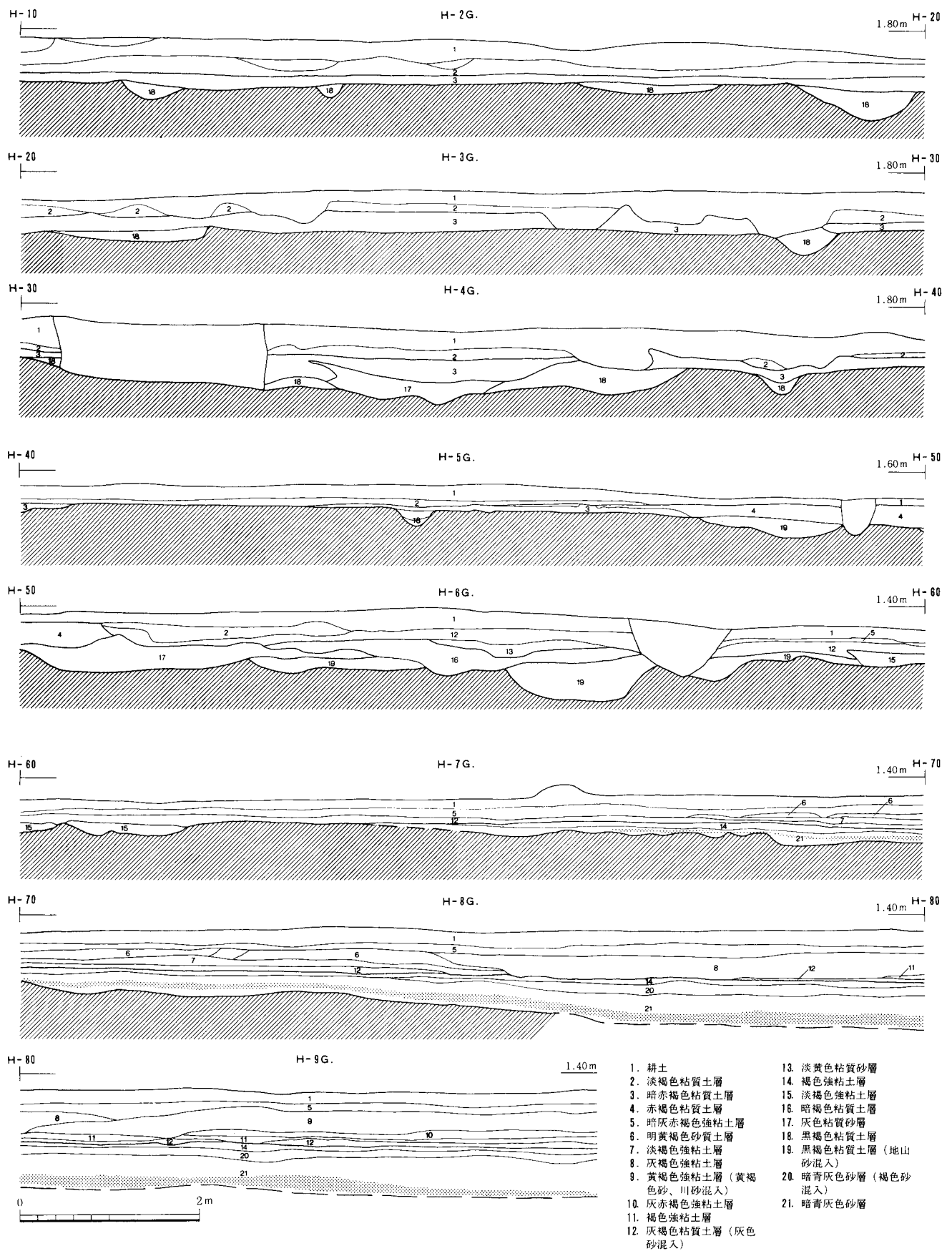
H-9号土坑（第1図）

H-8号溝の下層で検出されている。覆土は灰褐色強粘土で、溝に伴わない単独遺構と思われるが遺物の出土はなく、時期の特定はできない。

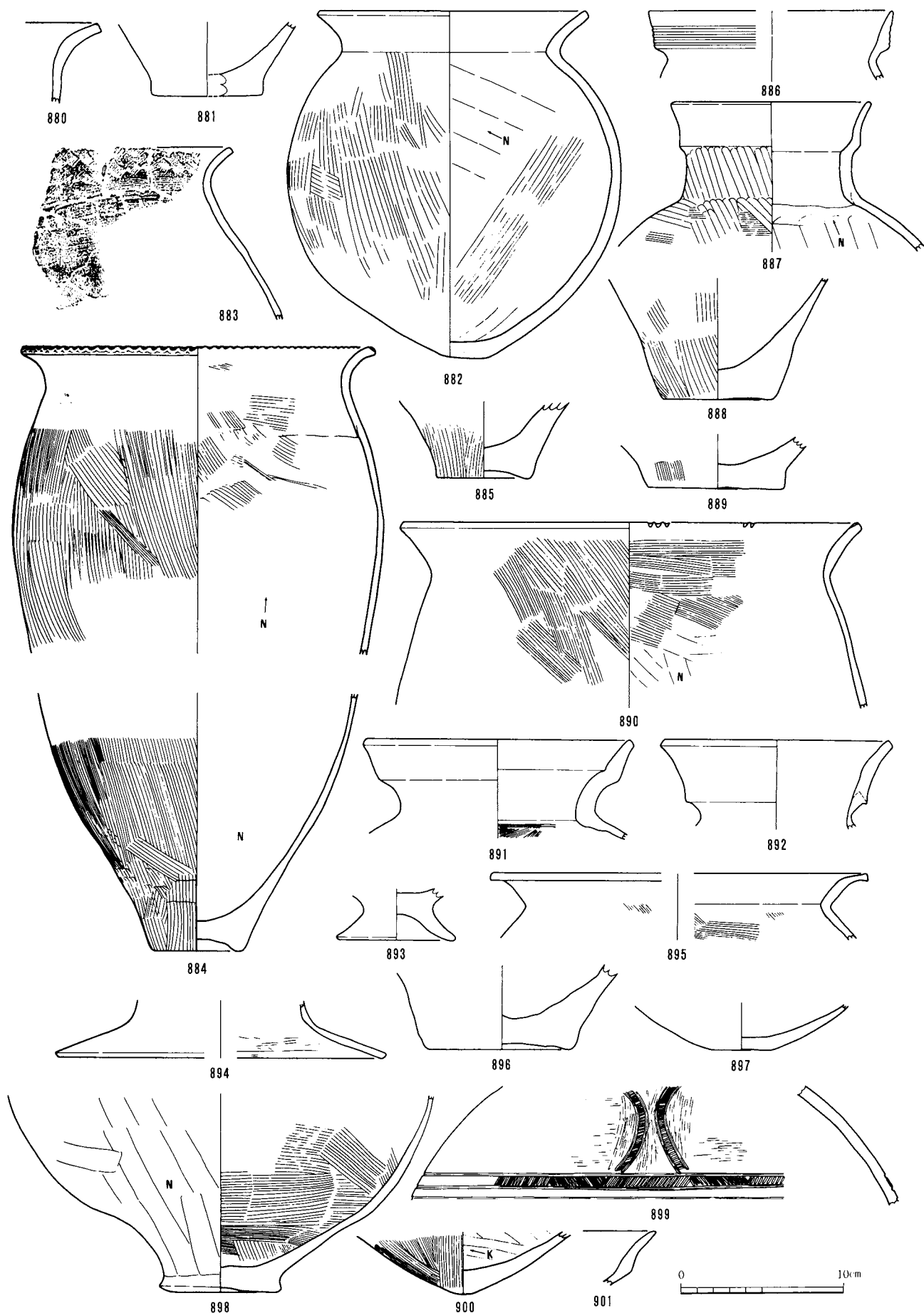


第1図 H調査区全体図 (1/150)

第2図 H調査区主要遺構 (1/60)



第3図 H調査区土層断面 (1/60)



第4图 H-1号土坑(880)、H-5号土坑(881,896)、H-2号沟(882~885)、
H-3号沟(886,887)、H-4号沟(888~890)、H-5号沟(891~895,897,898)、
遗物包含层等(899~901)出土土器 (缩尺3/10)

H-10号土坑（第1図、図版4）

北側の低湿地帯へと近づくためか、遺構検出面は標高約0.8mと低い。覆土も黒褐色粘質土に黄褐色砂及び川砂が混入するようになる。遺物は出土していない。

H-1号溝（第1図）

東西方向に伸びる溝で、幅0.65m、深さ0.2mを測る。調査区幅が0.5mと狭く、遺物も小片のため詳細は不明。覆土は黒褐色粘質土である。

H-2号溝（第2、4図、図版4、52）

南北方向に伸びる溝で、幅1m、深さ0.15m前後を測る。調査区東側でH-3号溝と交わるが、遺構断面から見るとH-2号溝がH-3号溝を掘り込んで作られている可能性が高い。遺物は弥生時代中期後葉の甕(883~885)、溝が機能していたと思われる古墳時代初頭の甕(882)が溝東端からかたまって出土している。

H-3号溝（第2、4図、図版5、52）

H-2号溝に先立って掘削されたと思われる東西方向に伸びる溝で、幅0.8m、深さ0.3mを測る。覆土は黒褐色粘質土の単一層で遺構検出面は標高約1.1mである。遺構は溝の両端から出土しており、弥生時代末~古墳時代初頭頃の甕口縁部片(886)、弥生時代末の壺(887)を実測した。

H-4号溝（第2、4図、図版4、52）

東西方向に伸びる溝で、東側下層からはH-1号土坑が検出されている。深さは0.1m前後と浅く、溝の北端は試掘坑による削平を受けている。遺物は弥生時代中期後葉の甕(890)、底部(888、889)などが出土している。

H-5号溝（第2、4図、図版5、52）

東西方向に伸びる大型の溝で、調査区西側でH-6号溝と交わる。H-6号溝はH-5号溝を掘り込んで作られており、そのためかH-5号溝の西半分からは遺物は確認されていない。深さは0.2m前後を測り、覆土は黒褐色粘質土の単一層である。遺物は古墳時代初頭の壺(891、892)、甕(895)などが出土しており、H-2号溝と大差ない時期と思われる。

H-6号溝（第1図、図版6）

南北方向に伸びる大型の溝で、灰色粘質砂の覆土を持つ。深さは0.2~0.3mを測るが出土遺物もなく、H-5号溝よりも新しい時期に機能していた遺構である。

H-7号溝（第1図）

東西方向に伸びる大型の溝。覆土はH-6号溝に近く、新しい遺構と思われるが遺物は出土しておらず、時期の特定はできない。

H-8号溝（第1図）

東西方向に伸びる溝で、幅1.3m、深さ0.3mを測る。遺構検出面、覆土共にH-10号土坑に近く、H調査区における遺構の最北端となる。出土遺物はなく、時期の特定はできない。

以上個々の遺構に簡単な説明を加えてきたが、出土遺物の時期から推定できる遺構の時期幅は弥生時代中期~古墳時代初頭になろう。遺構別に言えば1、5号土坑、4号溝は弥生時代中期後葉頃、2、5号溝は古墳時代初頭、3号溝は2号溝に若干先行する時期に比定できようか。またH-40~48付近で、柱穴と見られる小穴もある程度検出されているが、建物の規模を確認するには至っていない。

2 K 調査区

(1) 調査区の概要 (第1分冊図版14)

本遺跡北東端付近の調査区である。排水路(第2-2号支線排水路)設置にかかり、幅約3m、延長約60m、面積約180㎡について昭和55年度に発掘調査を実施した。なお、本調査区東端からN調査区北端間については、既設水路の改良となるため、掘削工事時に立会い調査をおこなったが、すでに攪乱を受け遺構、遺物とも発見されなかった。

調査の結果、本調査区全域は古邑知潟縁辺部低湿地であることが判明した。調査は現水田面から約1.8~1.6m下部の標高約-0.6m付近まで掘り下げたが、摩耗した土器細片数点が出土したのみであった。本調査区の土砂堆積状況は、基本的にはW調査区北半部と同様である。耕土・床土下には明治時代以降の客土である、厚さ0.3~0.5mの粗砂層が堆積し、所々に水路跡、旧河道がみられる。その下部(標高0.25~-0.25m)は褐色粘土(含植物痕)と青灰色砂・細砂が交互に堆積しており、各層は薄いもので厚さ数mm、厚いもので数cmを測る。本層は北方(邑知潟中央部)へ僅かに傾斜し、中世~近世における邑知潟汀線付近を示すものと考えている。その下部は暗青灰色砂層がほぼ均一に堆積している。本層はJ、W調査区の遺物包含層のものと同質であって、僅かに出土した土器片も本層から発見した。弥生時代から平安時代にかけては本調査区の大部分は古邑知潟の潟底であったと考えられる。出土土器は摩耗した体部細片で図化しえないため、本報には掲載しない。

3 M 調査区

(1) 調査区の概要 (第5図、図版13)

本遺跡の北西部に位置する面積約150㎡の調査区である。区画整理によって畑地の一部が水田化される部分について、整地工事で遺構面が削平されることがわかり、昭和55年度に調査を実施した。その結果、土坑14基、溝5条、小穴約30を検出した。調査区北側を除く過半は、後世の攪乱による多少の凹凸はあるものの、遺構面はほぼ平坦で平均標高1.2m弱を測る。この標高値はI調査区とL、V調査区の境界付近の標高に相当する値である。調査区北縁はこれまで水田として利用されていた部分であって、地山が急激に落ち込んでいる。隣接するH調査区の状況からみて、旧邑知潟縁辺部の傾斜面は本調査区北端よりさらに20m前後北方と推定できる。このことから、前記落ち込みは近世以後の水路跡とみられる。なお、本調査区の現地調査は、12、1月の降雪の中で実施したため、記録に不備がある。出土地点が不可解な遺物もあるが、現地の記録どおり掲載した。

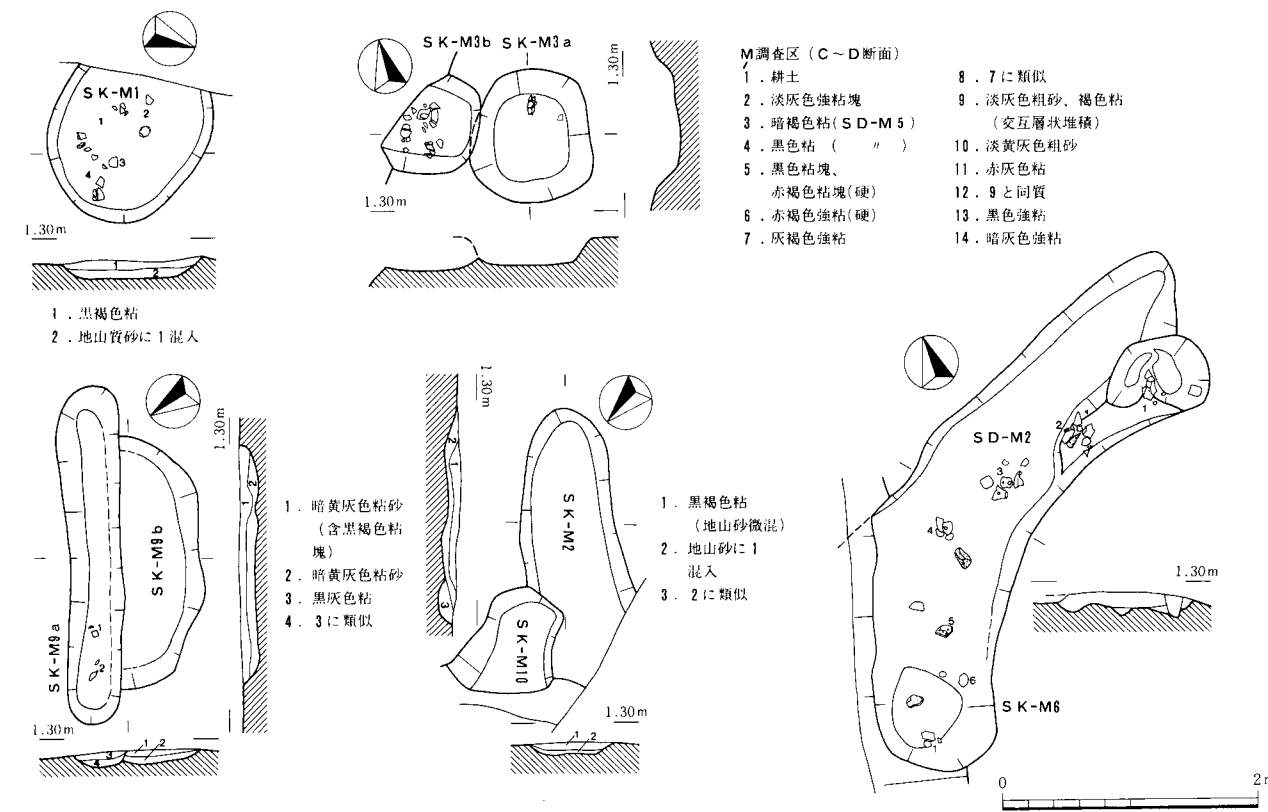
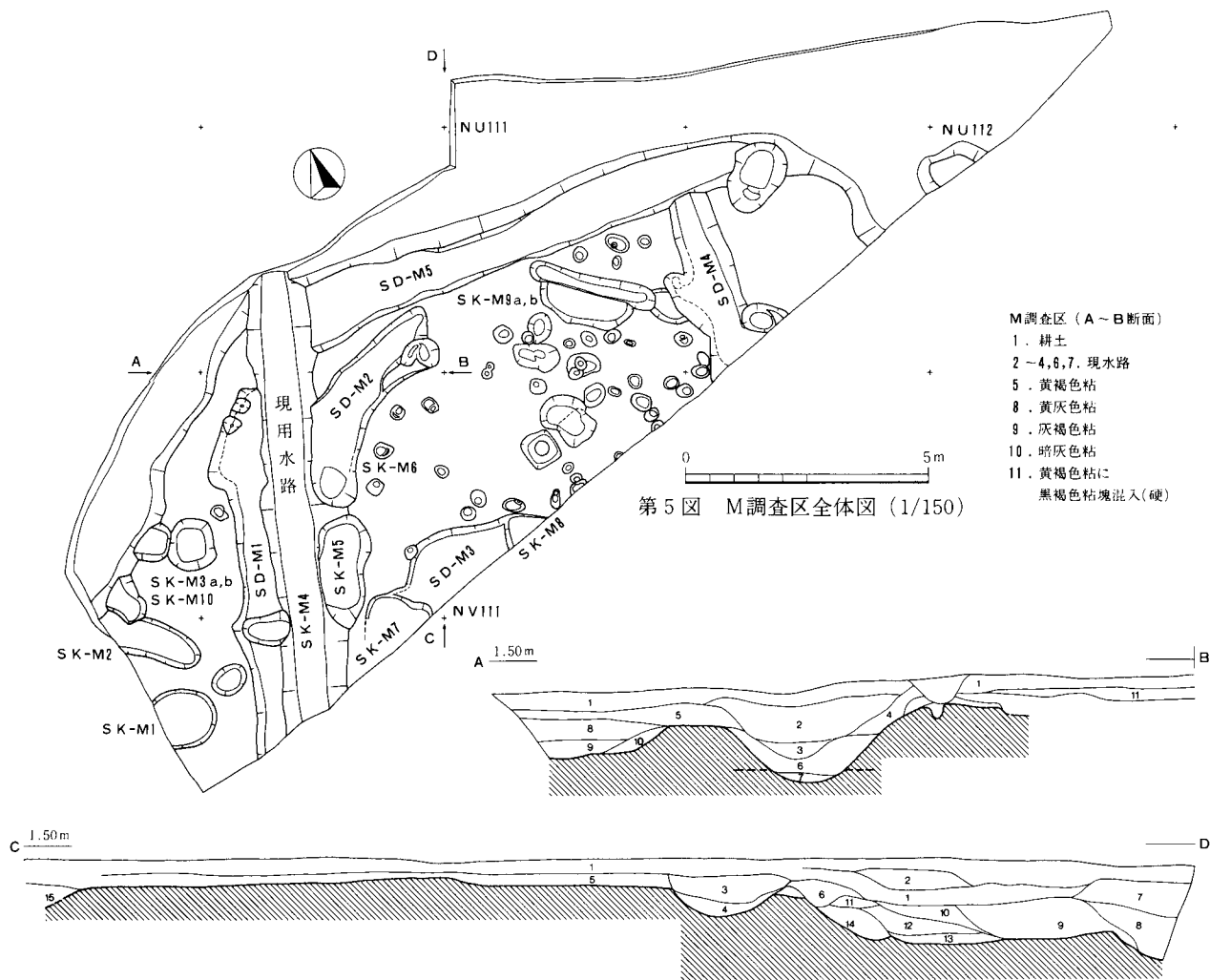
(2) 遺 構

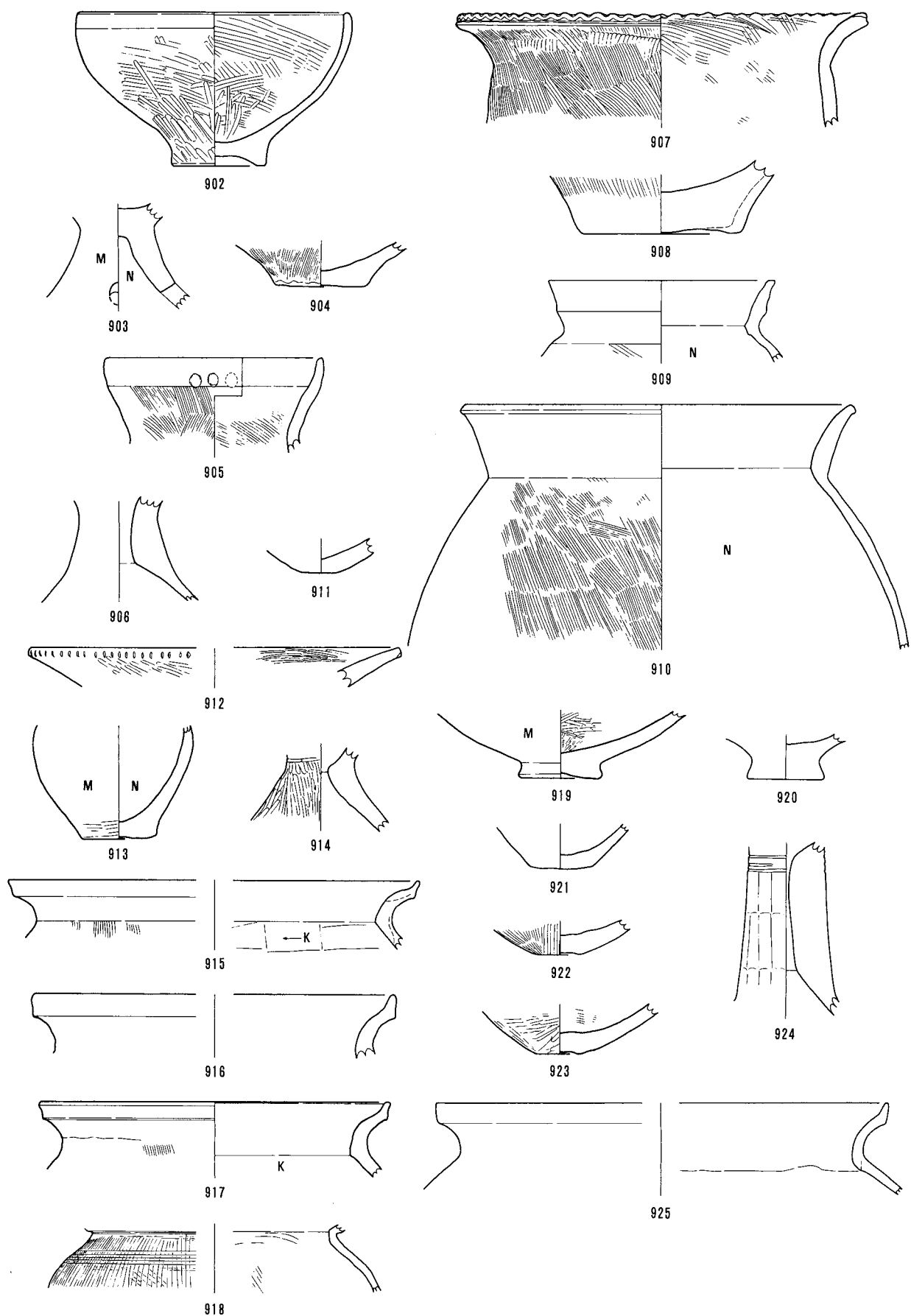
M-1号土坑 (第6、7図、図版14、53)

平面形は楕円形を呈し、上端で推定1.5×1.2m、深さ0.2mを測る。上部から少量の土器片(902~904)が出土した。弥生時代後期末葉~古墳時代初頭頃の遺構であろう。

M-3a、b号土坑 (第6、7図、図版14、53)

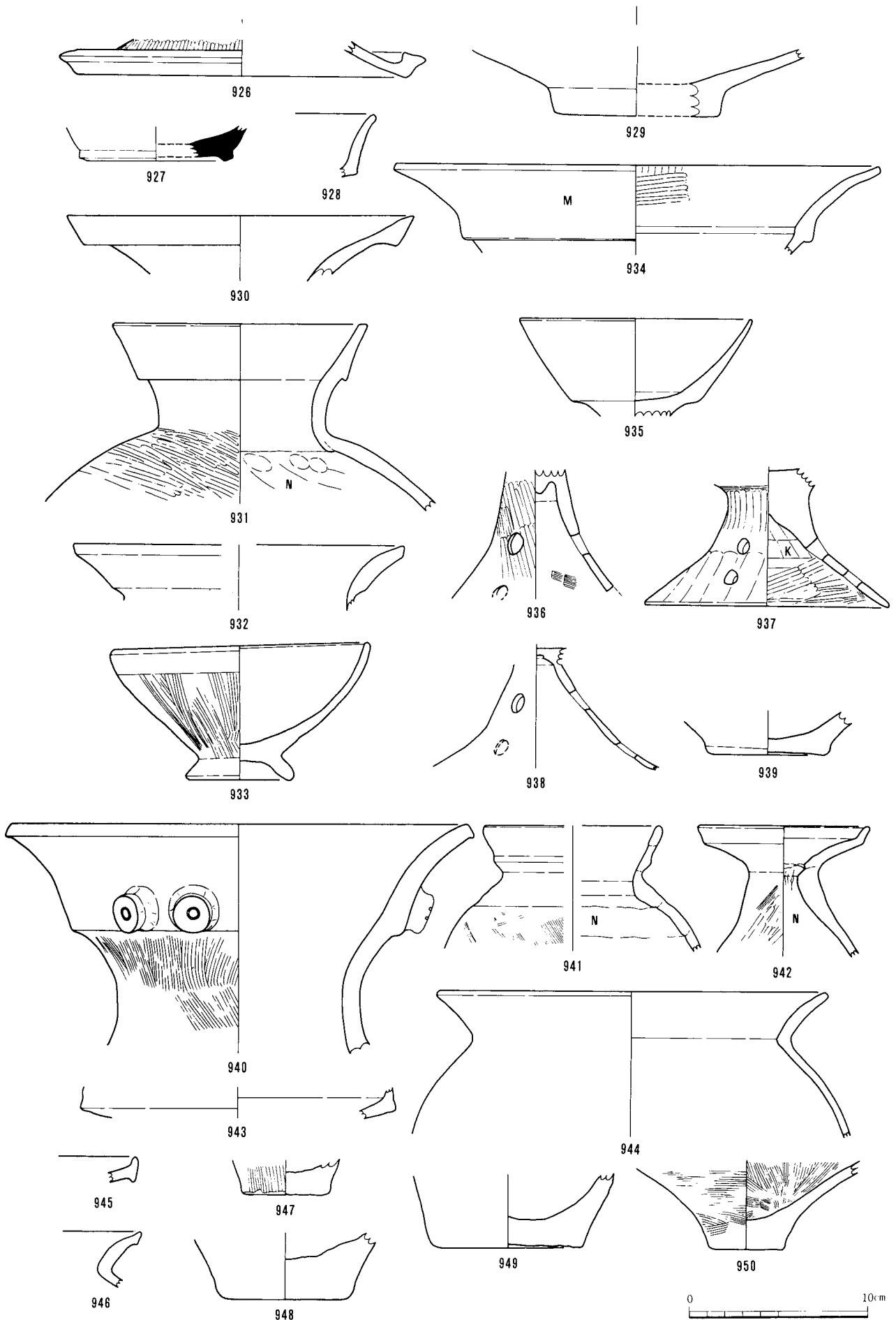
3a号土坑は上端で1.1×1.0m、深さ0.2m強を測り、3b号土坑は上端で残存部最大幅0.8m、深さ0.2m強を測る。3a号土坑からは少量の土器片(905)が、3b号土坑では底面付近





第7图 M-1号土坑(902~904)、M-3 a号土坑(905)、M-3 b号土坑(906)、
M-4号土坑(907,908)、M-10号土坑(909,910)、M-7 a号土坑(911)、
M-7 b号土坑(912~923)、M-30号土坑(924)、M-60号土坑(925)出土土器

0 10cm



第 8 图 M-1 号溝(926,927)、M-2 号溝(930~939)、M-3 号溝(928)、
M-5 号溝(929)、M-7 号溝(940)、遺物包含層等(941~950)出土土器

から土器片(906)が出土した。両坑とも弥生時代末頃とみられる。

M-4号土坑(第6, 7図、図版53)

平面形はM-5号土坑と類似した形態と考えられる。上部はM-1号溝、現水路の掘削で不明。深さ0.4m前後と推定される。弥生時代中期中葉の土器片(907, 908)、木製遺物片が少量出土した。

M-5号土坑(図版14)

平面形はやや歪んだ隅丸長方形を呈し、上端で2.3×1.0m、深さ0.4m弱を測る。本調査区では唯一整った土壌である。弥生時代中期の土器細片が出土したが、凶化可能な口頸部は含まれなかった。

M-7a, b号土坑(第7図、図版14, 53)

2基の土坑が重複しているものと現地では判断していたが、遺構平面、断面図に不備があって確認できない。いずれも古墳時代初頭頃とみられ、多くの土器片(911~923)が出土した。918はS字状口縁甕である。

M-10号土坑(第6, 7図、図版53)

不整形で深さ0.1m強の浅い土坑。古墳時代初頭頃の土器片(909, 910)が少量出土した。

M-1号溝(第8図、図版14)

やや東寄りに南北方向に延びる、深さ0.2m前後の浅い溝である。東側過半は現水路の掘削で消滅している。平安時代以後の造作である。

M-2号溝(第6, 8図、図版42, 53)

土坑とも考える。M-6号土坑との区が不十分なため形態は不明瞭。深さ0.2~0.3m。古墳時代初頭頃の土器(930~939)が出土した。

その他の遺構

M-5号溝は1.1m前後、深さ0.3mのしっかりとした溝である。土器片が僅かに出土したが時期の特定までは至らない。その他の土坑、溝はいずれも出土遺物が乏しく、混入品との識別ができないため時期の特定はできない。また、約30の小穴の中には、方形掘り方で桂根が残る柱穴が数個含まれる。奈良~平安時代の掘立柱建物の一部である。

4 I 調査区(I-3号溝)

(1) 概要

本構は出土遺物が膨大なため、整理作業との関係から第1分冊(III遺構・遺物 I I 調査区)では要約と出土石器の掲載のみおこなった。

I-4号溝とともに本遺跡最大級の溝である。幅平均3.5m、検出面からの深さ1m前後を測る。本溝は出土土器が遺物箱100箱を越え、木器、石器等も多数出土した。

本溝は弥生時代後期前葉(畿内第V様式前半併行期)に掘削され、後期後葉にはほぼ下半に土砂が堆積、同末葉までには完全に埋没し機能を停止している。下部では建築部材を含む豊富な木製品が出土、上部では多量の土器が集中的に遺棄されている。この土器群には搬入品も多く含まれ、最盛期の吉崎・次場遺跡の広域交流を示す資料として重要な資料である。出土石器としては大型蛤刃石斧、同末製品、扁平片刃石斧、小型両刃石斧、石包丁、砥石、はずみ車、叩き石、石鏃等があり、他に管玉未製品、炭化米、および植物遺体が出土している。

本溝はI-4号溝埋没後、空白期間を置き、同溝に平行して掘削されている。また、昭和38年の第二次調査で発見された大溝の延長ではないかとみられる。この空白期間（畿内第IV様式併行期）が本遺跡の一時的な衰退（空白）期と一致し、集中廃棄の時期とS調査区付近における新たな住居域の展開時期の関係から、本溝はI-4号溝とともに集落構造の復元に重要な手がかりを与える遺構である。

(2) 遺 構

幅平均3.5m、検出面からの深さ0.9~1.1mを測る。断面図を作成した3箇所における溝底の標高は、調査区東よりのBライン（NW122c杭~NW122b杭）で0.22m、Aライン（NW121b杭~NV121c杭）で0.10m、調査区西よりのWライン（NW121a杭~NV121a杭）で0.13mを測る。このこと、およびNW122a杭付近の木製遺物堆積状況から、本溝は本来、西流していたものと考えられる。Aライン18層、Bライン15、17、19層は、地山質砂と黒色粘質土が薄く層をなして交互に堆積したものである。したがって、本溝掘削後ある程度の間は、水流は緩やかで時には淀んでいたようであり、常に多くの水量があったとは考えにくい。多くの木製遺物はこの段階と、土砂の堆積により流れがほとんどない状態のAライン17層、Bライン12、13、14層（落ち葉等の植物痕を多量に含んだ黒色強粘質土層）から出土した。

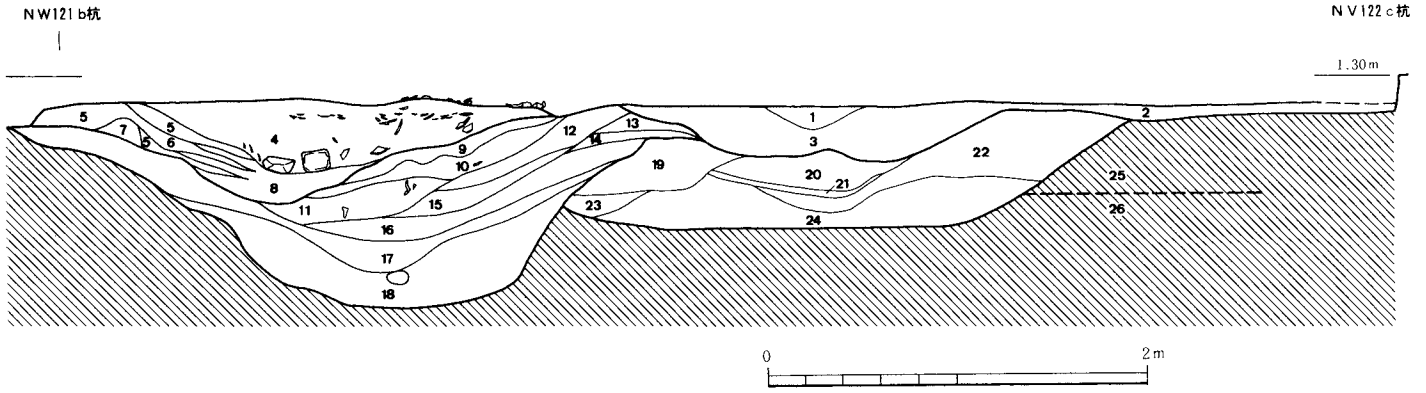
本溝は上端が耕地整理によって削平されており、遺構面は耕土直下で検出している。当初は出土遺物を上部、下部に区分する計画であった。予想を越える多量の土器が出土したため、調査の進行とともに出土位置の記録の必要から上部をさらに上下に区分した結果、区分に統一を欠く地点も一部生じている。出土遺物のうち土器、石器については5m四方の小区(グリッド)ごとに可能な限り取り上げ番号を付した。木製品、自然木は量が少ないため調査区域全体をまとめて取り上げ番号を付している。なお、遺物出土状況を第9図に示したが、石器、礫の取り上げ番号は省略した。

第1表 I-3号溝A、Bライン断面出土土器図化点数

(3) 層 序
A、Bライン
土層断面（第9、10図、図版10）と遺物取り上げ位置（上部、上部の下、下部、底面）の関係は、現地では、上部がA-4層のほぼ上半部、B-1、2層に、上部の下はA-8

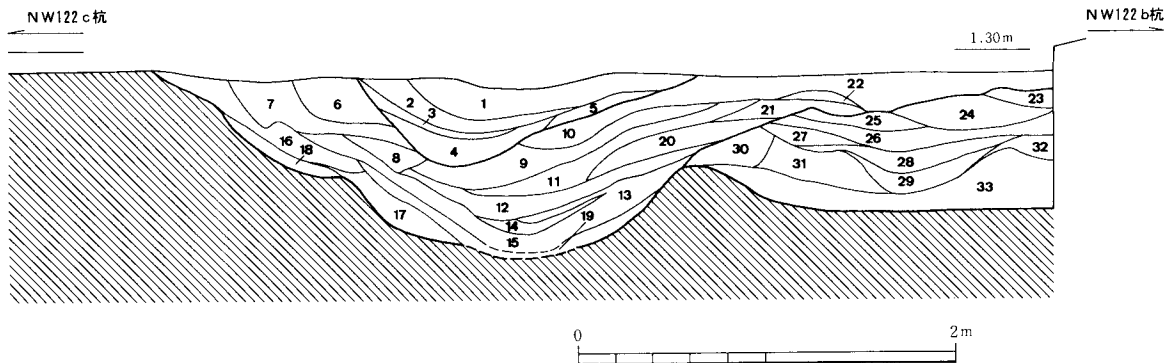
S、B、A図化土器との接合 点数(取り上げ番号単位)	図 化 点 数	S、B、A 層 名		S、B、B 層 名	図 化 点 数	S、B、A図化土器との接合 点数(取り上げ番号単位)
上部5、上部の下3	15	4	——	1	4	B-1層1
	—	5		2	4	
上部の下3、A-4層2	4	6・8	——	3・4	4	上部の下(?)1
	—	9		5	—	
上部の下2、A-4層2	3	10		6	2	
A-10層1	3	11		7	—	
	—	12		8	—	
	—	13		10	—	
	1	14、15		20、21	—	
	—	16		9、11	1	
	1	17	——	12、14	1	
	—	18		13、15	—	
				17、19	—	

層、B-4、5層に対応させていた。また、下部は基本的にはA-9層以下、B-9層以下であるが、実際には木製遺物が主体的に出土し始めるA-17層、B-16層付近以下をさしている。底面はA-18層、B-17層のうち、溝底面に接するような限定した部分である。



- | | |
|--------------------------|--|
| 1. 赤褐色粘質砂 | 15. 11とほぼ同質（やや青みおびる） |
| 2. | 16. 暗青灰色粘質砂、黒色粘質土混在 |
| 3. 赤褐色粘質砂 | 17. 黒色強粘質土（含植物痕） |
| 4. 黒褐色粘質砂（ほとんど黒色、含土器多数） | 18. 暗青灰色砂中に黒色粘質土が層状堆積 |
| 5. 暗青灰色粘質砂 | 19. 淡黄灰色砂中に黒色強粘質土が層状堆積 |
| 6. 暗青灰色粘質砂 | 20. 黄灰色強粘質土 |
| 7. 淡緑灰色粘質砂 | 21. 黒褐色強粘質土（ほとんど黒色） |
| 8. 黒色強粘質土（上部の下） | 22. 黒灰色粘質砂 |
| 9. 褐色粘質砂（黒色、黄色ブロック混入） | 23. |
| 10. 赤褐色粘質砂（9層同様に混入のため汚濁） | 24. 暗青灰色砂中に黒色粘質土が堆積
（層状堆積はあまり見られない） |
| 11. 暗灰色粘質砂 | 25. 黄灰色細砂（地山土） |
| 12. 褐色粘質砂 | 26. 青灰色細砂（地山土、含植物痕） |
| 13. 5と同質 | |
| 14. 黒褐色粘質砂 | |

第9図 1-3, 4号溝Aライン断面 (S.B.A)



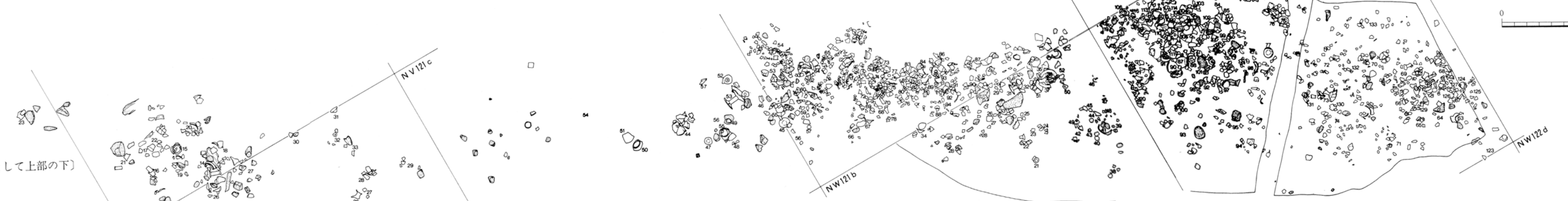
- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 暗褐色粘質砂（含土器） | 17. 19と同質 |
| 2. 1よりやや明るい暗褐色粘質砂（含土器） | 18. 淡緑灰色砂中に黒色粘質土層状堆積(31,32と同質) |
| 3. 1に類似（灰色がかかる） | 19. 暗青灰色砂中に黒色粘質土層状堆積 |
| 4. 黒色強粘質土 | 20. 黒灰色粘砂 |
| 5. 黒色粘砂 | 21. 黒灰色粘砂（褐色粘土塊混入） |
| 6. 暗黄灰色粘砂 | 22. 褐色粘質土（黒色粘質土等混入するため非常に汚れる） |
| 7. 淡黒色粘砂 | 23. 22と同質 |
| 8. 黒色強粘質土中に暗灰色粘砂、層状堆積 | 24. 26よりやや明るい |
| 9. 11とほぼ同質、より黒濁 | 25. 暗灰色粘砂 |
| 10. 灰褐色粘砂 | 26. 黄灰色粘砂（黒色粘質土混入） |
| 11. 淡緑灰色砂中に黒色粘質土混入 | 27. 黒色粘砂中に灰色砂混入（層状堆積） |
| 12. 黒色強粘質土（含植物痕） | 28. 暗褐色強粘質土 |
| 13. 15と同質 | 29. 黒色強粘質土 |
| 14. 12と同質 | 30. 淡緑灰色砂中に黒色粘質土層状堆積 |
| 15. 暗青灰色砂中に黒色粘質土層状堆積
（中央部はほとんど黒色粘質土） | 31. 灰色砂（黒色粘質土層状に混入） |
| 16. 淡黒灰色粘砂土 | 32. 31と同質 |
| | 33. 暗緑灰色砂 |

第10図 I-3, 4号溝Bライン断面 (S.B.B)

I-4号溝遺物出土状況
I-3号溝遺物出土状況(3) [主として下部]



I-3号溝遺物出土状況(2) [主として上部の下]



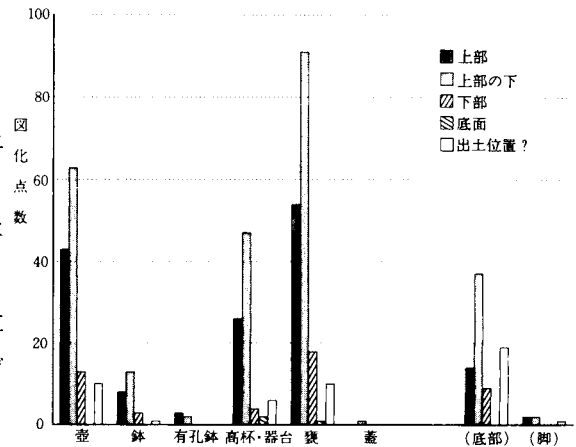
第11図 I-3,4号溝 (1/60)

I-3号溝遺物出土状況(1) [主として上部]



A、Bライン土層観察用畔（幅各0.5m）から層位別に取り上げた土器の図化点数、および、畔以外の各小区出土土器との接合状況を第1表にまとめた。Aラインでは第4層が上部、上部の下各取り上げ区分との接合が多い。断面図作成時には、本層は土質では上下に細分できなかったが、本畔に先行して遺物を取り上げたNV121d区(G.)で、上部をA-4層のほぼ上半部としたために生じたものであろう。

第127図 I-3号溝出土位置別掲載器種 (S.B.A,Bを除く)



(3) 遺物

土器 (第12~57図、図版54~74)

出土遺物の大部分を占める土器は遺物箱100箱以上に達した。整理作業を重点的におこない600点以上を図化した。その頻度は本遺跡の一般的な遺構と比べて低いといわざるをえない。土器の掲載順序はA、Bライン土層観察用畔（幅各0.5m）から出土し、層位のほぼ確実な遺物を第一とし、現地調査での取り上げ位置（上部、上部の下、下部、底面）別とし、最後に記録漏れ等による出土地点不明分をまとめた。溝出土遺物の層位的取り扱いは、報告書によっては土器型式を優先し、分類操作をおこなった上で掲載している場合もみられる。本溝出土土器については上記層位区分が必ずしも適切かつ正確になされたとはいえないが、2ヵ月以上を費やした現地調査の記録を重視し、位置別に掲載した。

個々の掲載土器の説明は遺物観察表（第3表）にまとめ、分類等は別項とした。土器量が膨大なため、細片を含めた全体の器種構成は示しうる段階ではない。位置別の出土量は上部の下を含めた上部が圧倒的に多く、図化点数の約80%、出土地点不明分を除けば90%以上に達する。上部のなかでは下半分（上部の下）が約60%を占める。下部、底面出土土器は本溝の上限を把握するため、上部に比べ破片でも図化頻度を高くしたため、実際の量比はさらに顕著である。

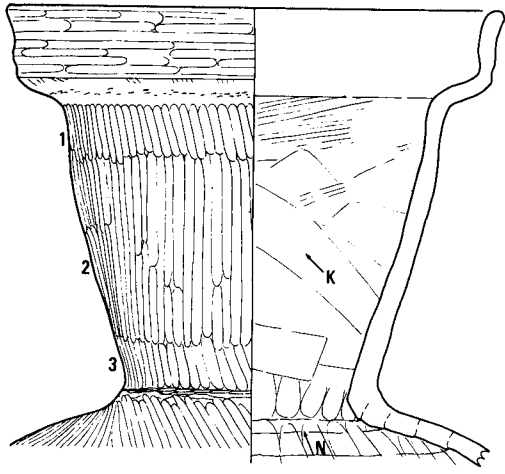
I-4号溝からの混入あるいは取り上げの手違いに起因し、明らかに時期の異なるものを除いた下部、および底面出土土器の様相から、本溝の掘削時期は弥生時代後期前葉である。本期（畿内第V様式前半併行期）は当地では資料が少なく、本格的な細分作業はなされていないが、本溝で最も古い様相を示す土器群は、「戸水B式」（中期最新段階）との間にあえて空白をおく必要性を感じさせない。上部の下、上部に集中廃棄された土器群は、形態差を見出しやすい高杯では上部のなかで最も新しい様相を示すもので、S調査区第II小期（S-3b号土坑を指標）併行品がごく少量みられるが、ほとんどはS調査区第I小期（S-5号土坑を指標）とそれ以前と考えられるものが主体を占めている。上部の下でもほぼ同様である。

石器、玉類 (第1分冊第117~141図、第1分冊図版76~94)

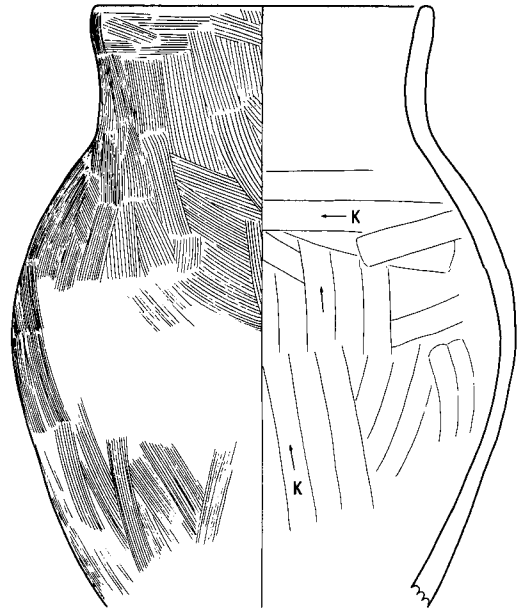
本溝からは(1)に記載した石器、玉類のほかに礫が多量に出土している。そのなかには使用痕のあるものや焼け焦げたものも含まれる。これらの礫、石器母岩はすべて搬入されたものである。石鏃を除き、石器はいずれも破損品もしくはかなり使い込まれたものである。土器同様に底面、下部出土品は僅か（大型蛤刃石斧、同未製品、石包丁、(20, 42, 88, 195)）ほとんどは上部、上部の下から出土し、大型蛤刃石斧がめだつ。

木製品 (第129~135図、図版90~93)

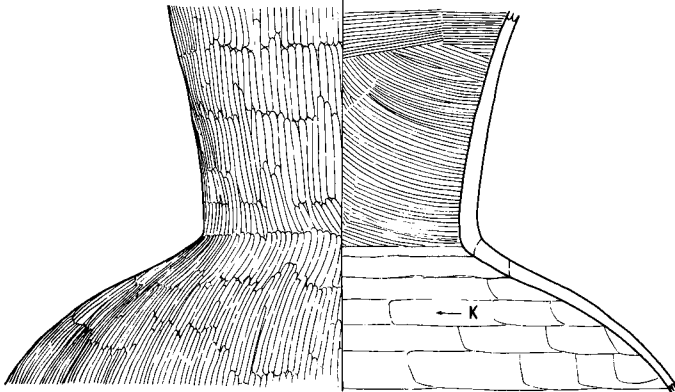
下部から大形の建築部材などが出土した。いずれも後期前葉に帰属する。



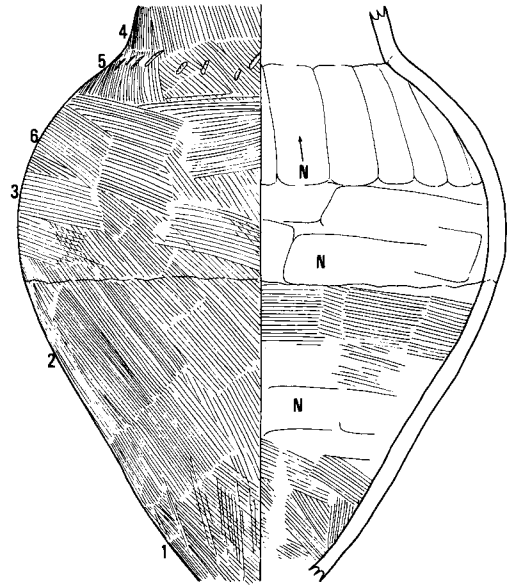
951



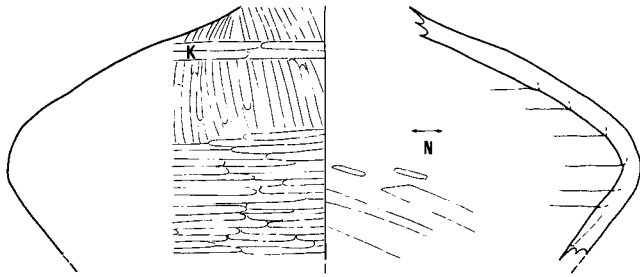
955



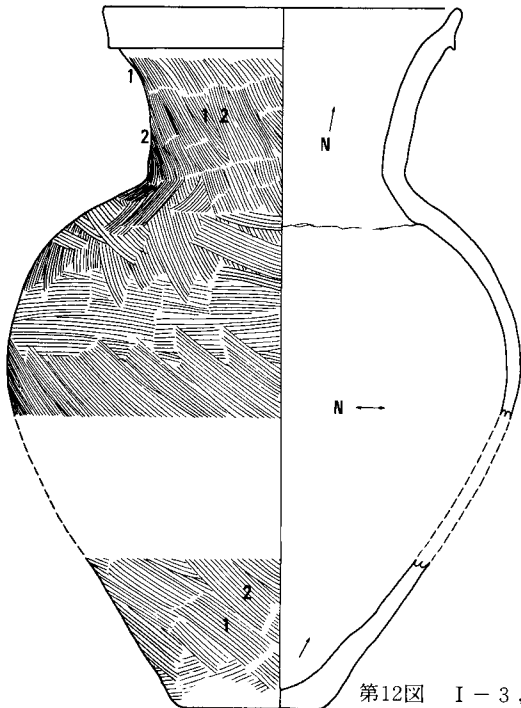
952



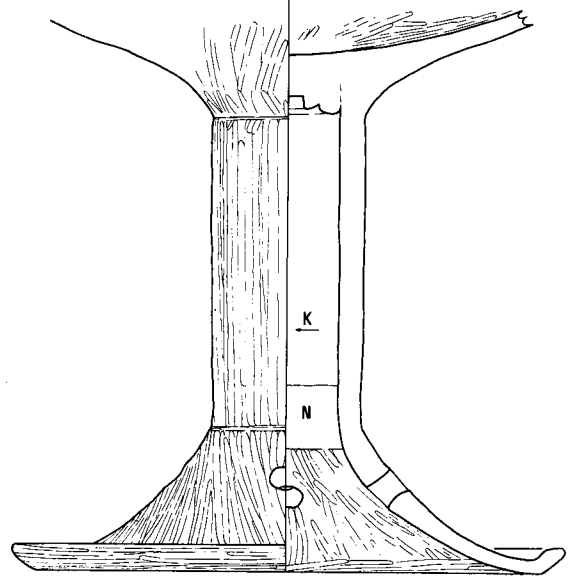
956



953



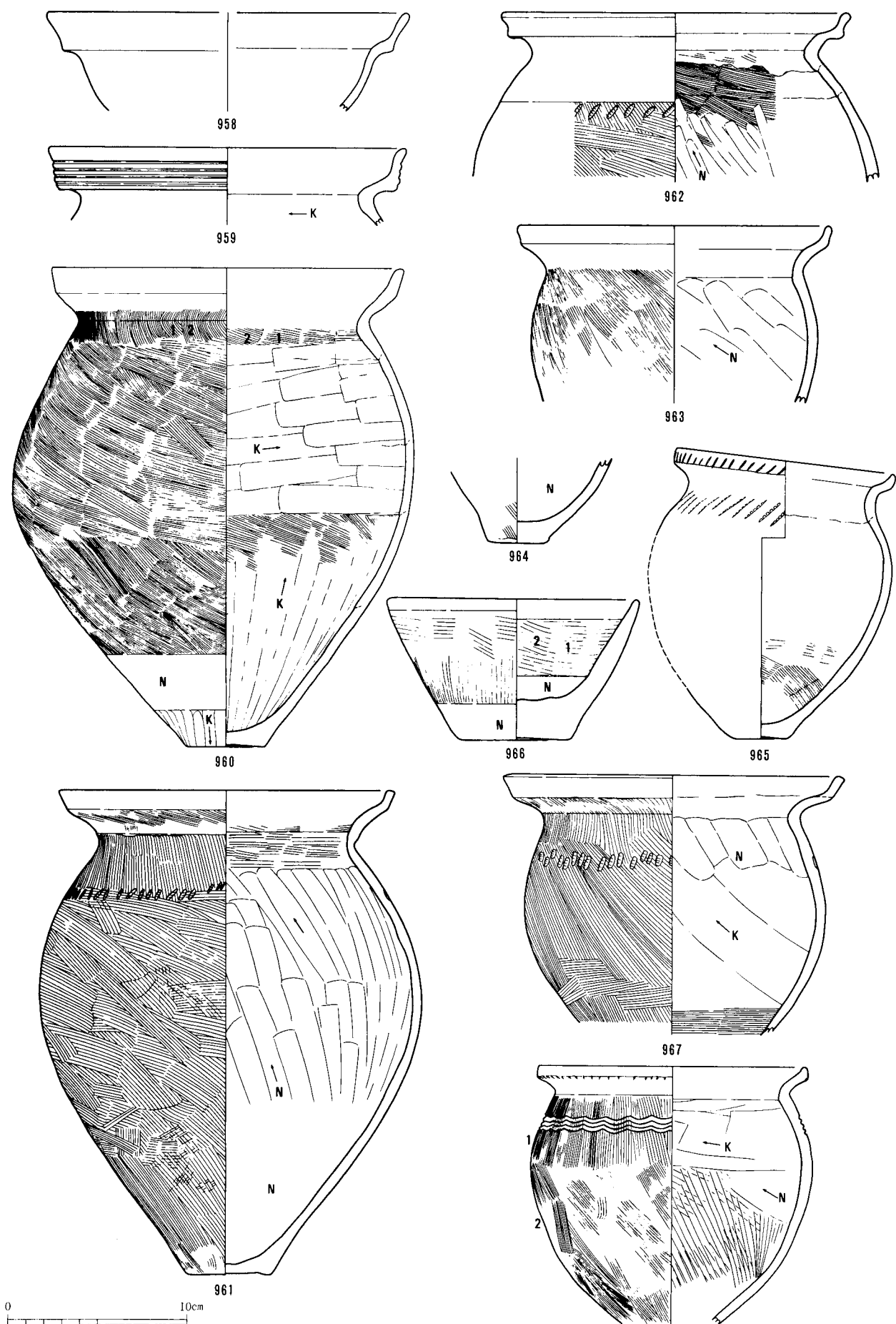
954



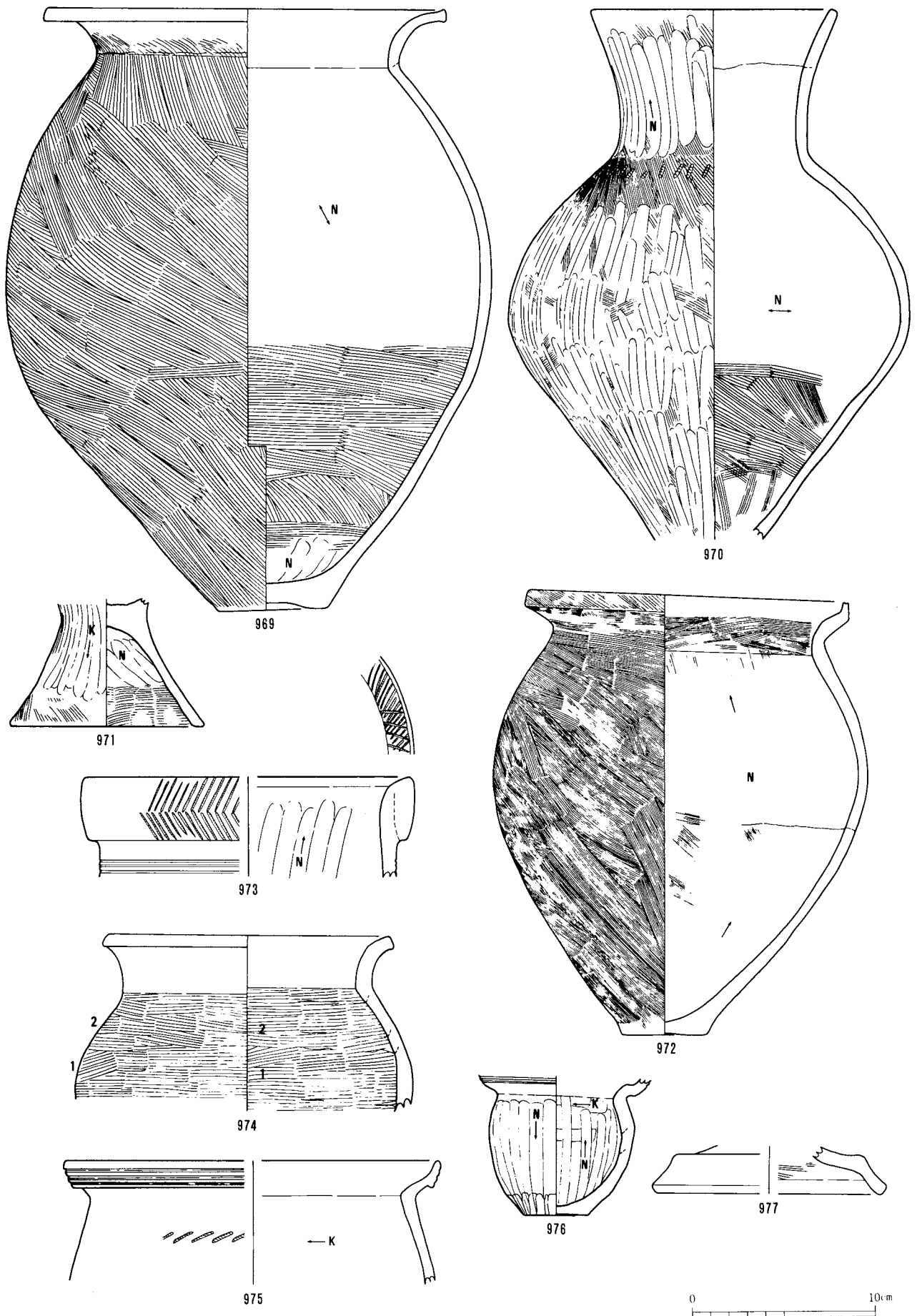
957



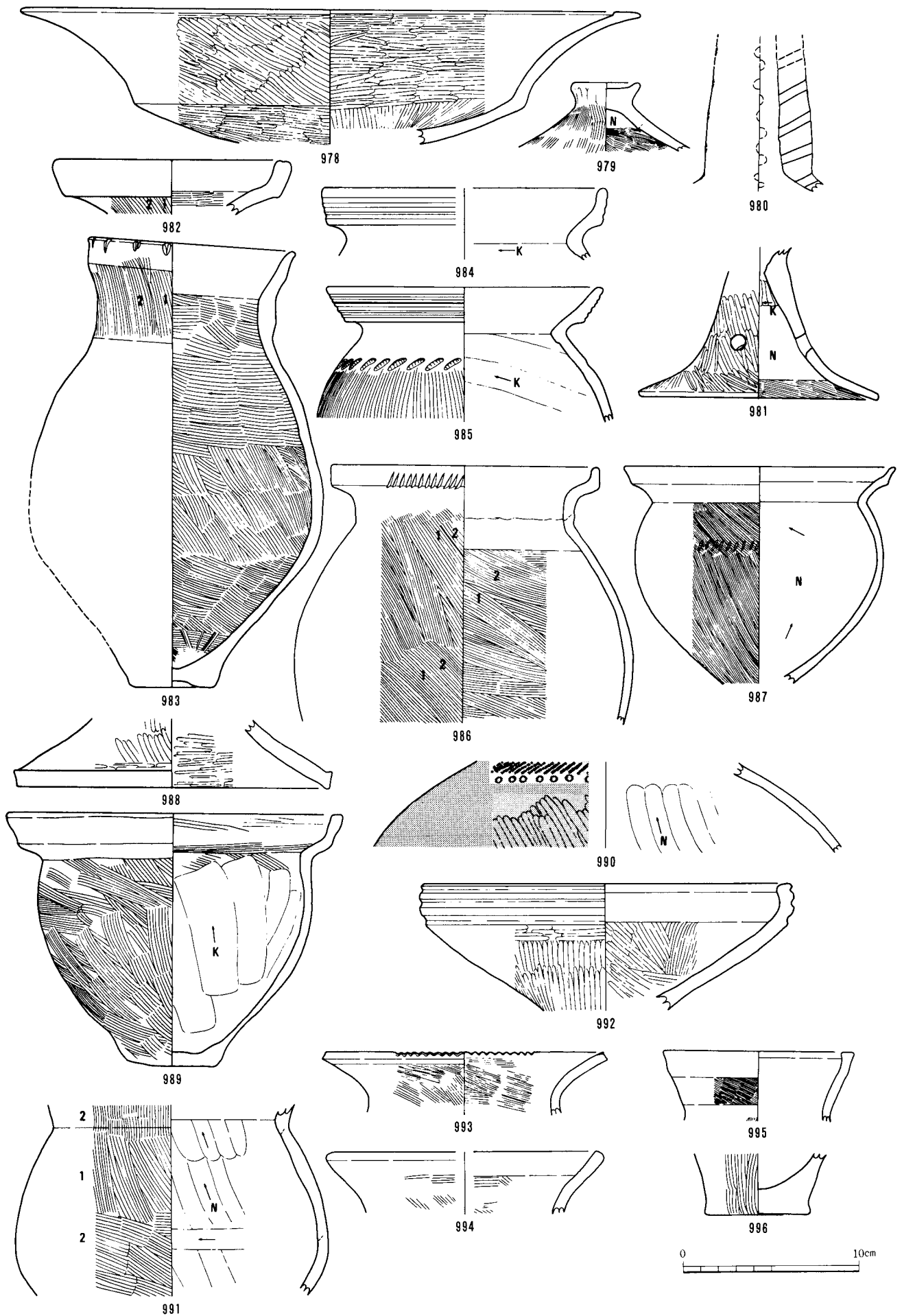
第12図 I-3, 4号溝Aライン(S.B.A)第4層出土土器



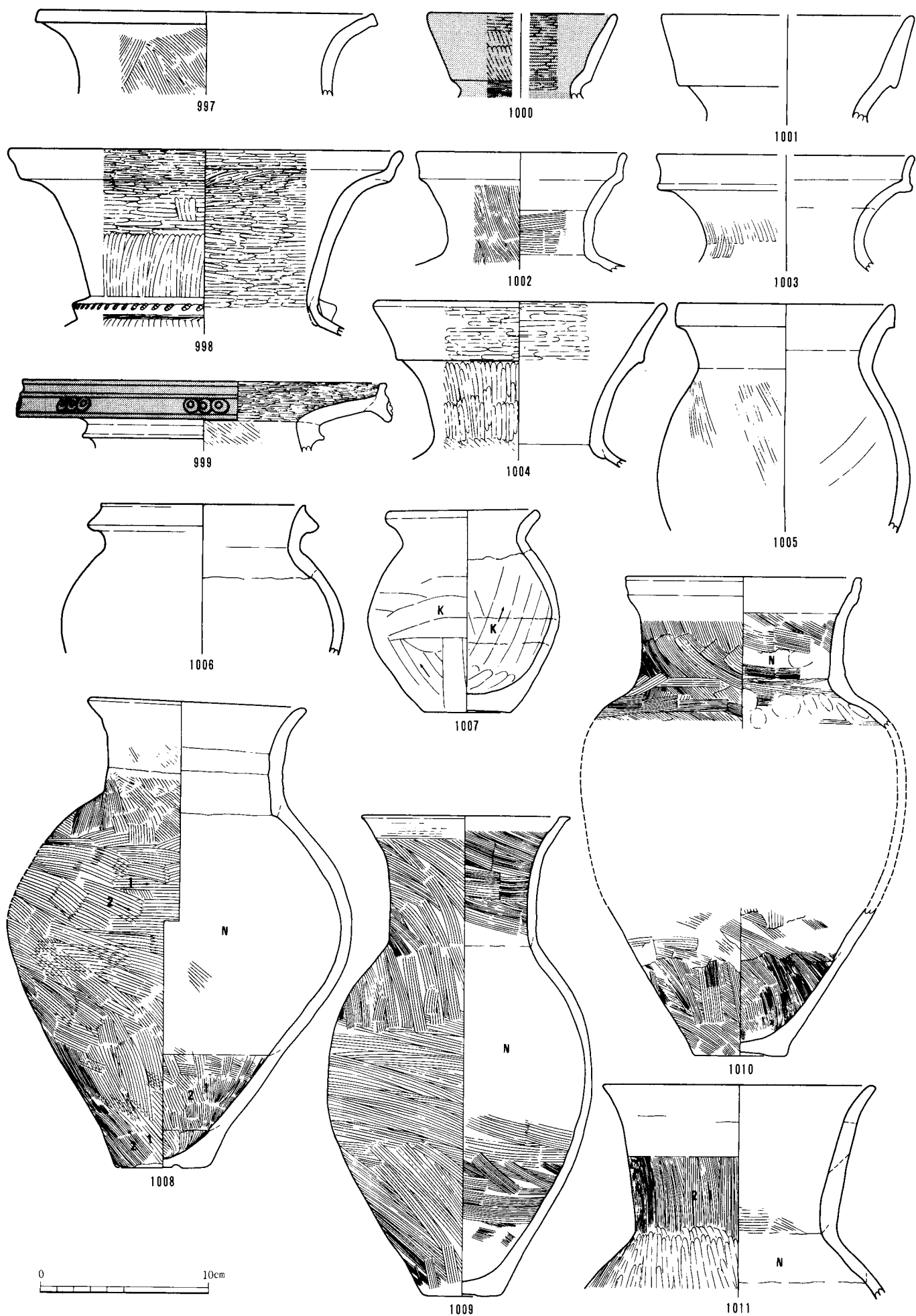
第13図 I-3, 4号溝Aライン(S.B.A)第4層(958~965)、968
第6・8層(966~968)出土土器



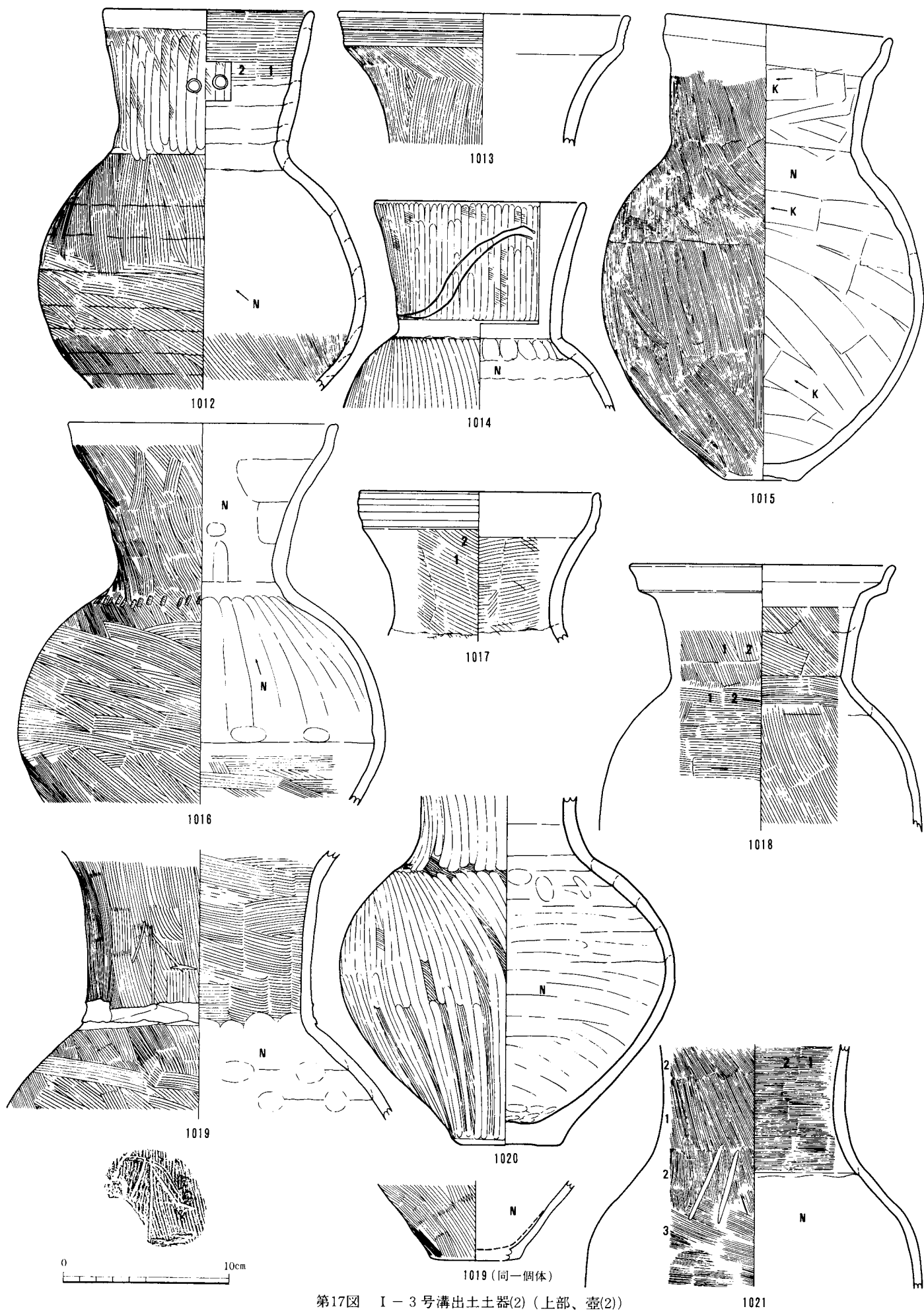
第14図 1-3, 4号溝Aライン(S.B. A)第6・8層(969)、第10層(970~972)、
第11層(973~975)、第15層(977)、第17層(976)出土土器

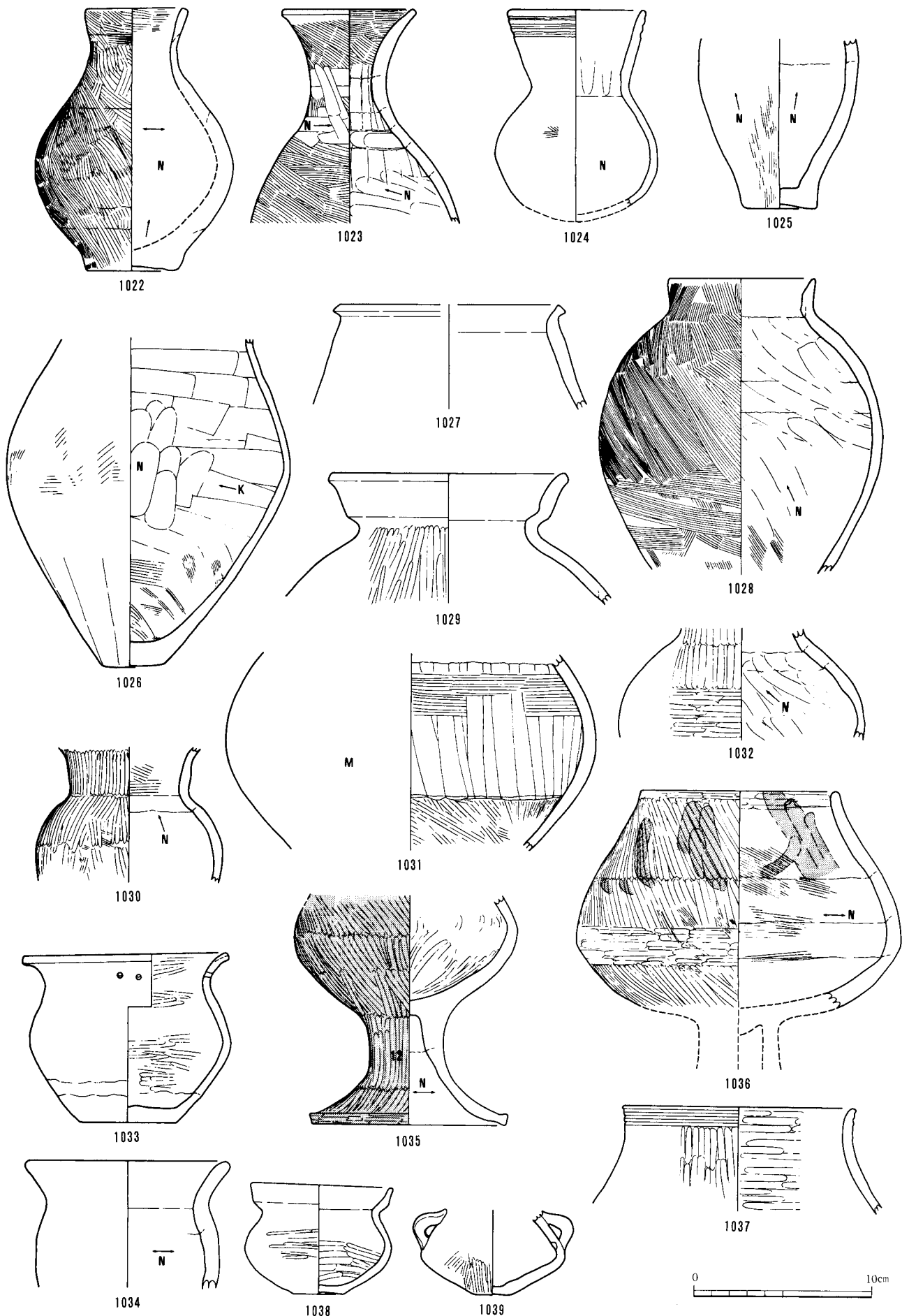


第15図 I-3, 4号溝Bライン(S.B. B)第1層(978~981)、第2層(982~985)、
 第3・4層(986~989)、第6層(990~991)、第9層(992)、第11層(993)、
 第12層(994)、第19層(995)、第26層(996)出土土器

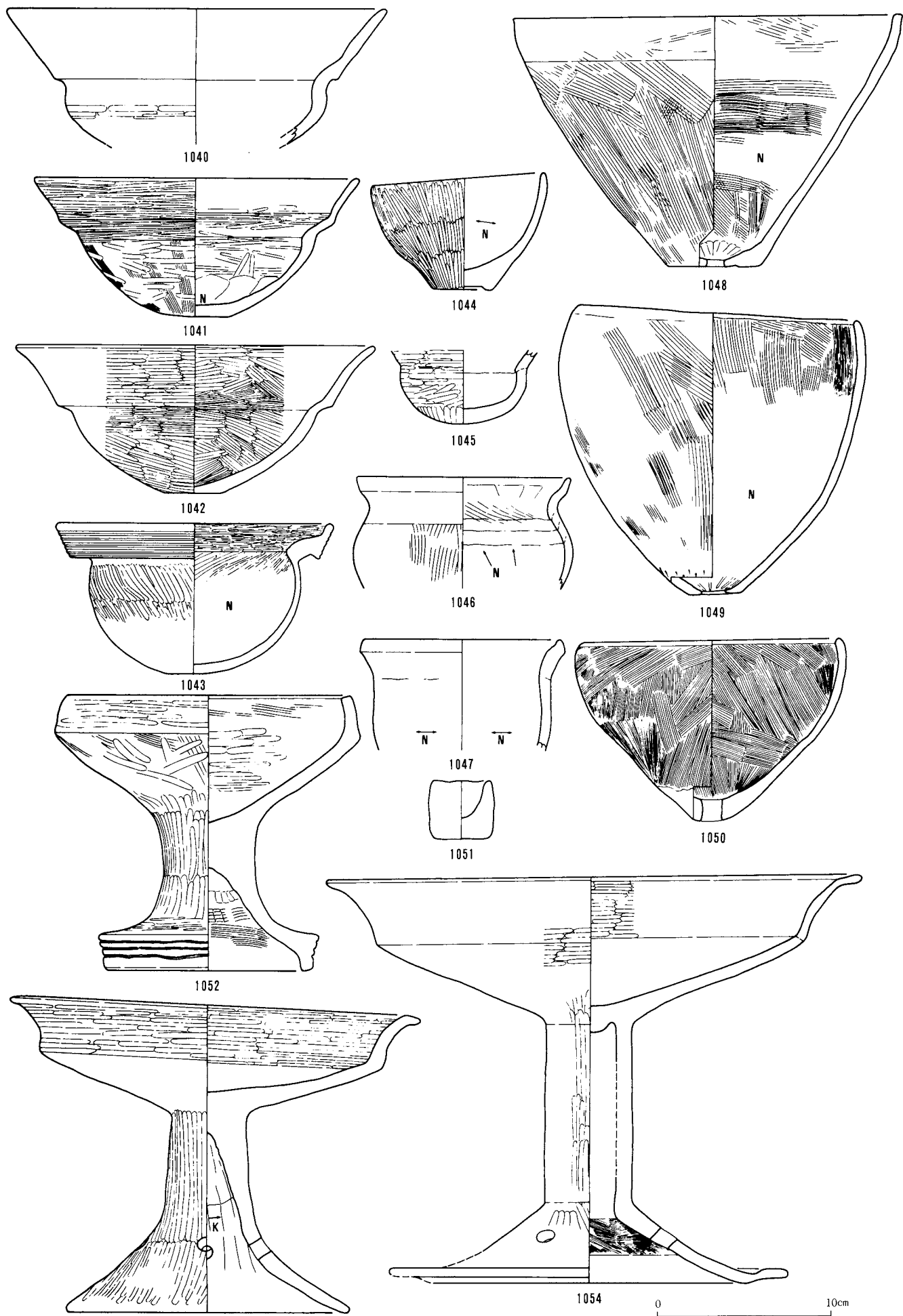


第16图 I-3号沟出土土器(1) (上部、壺(1))

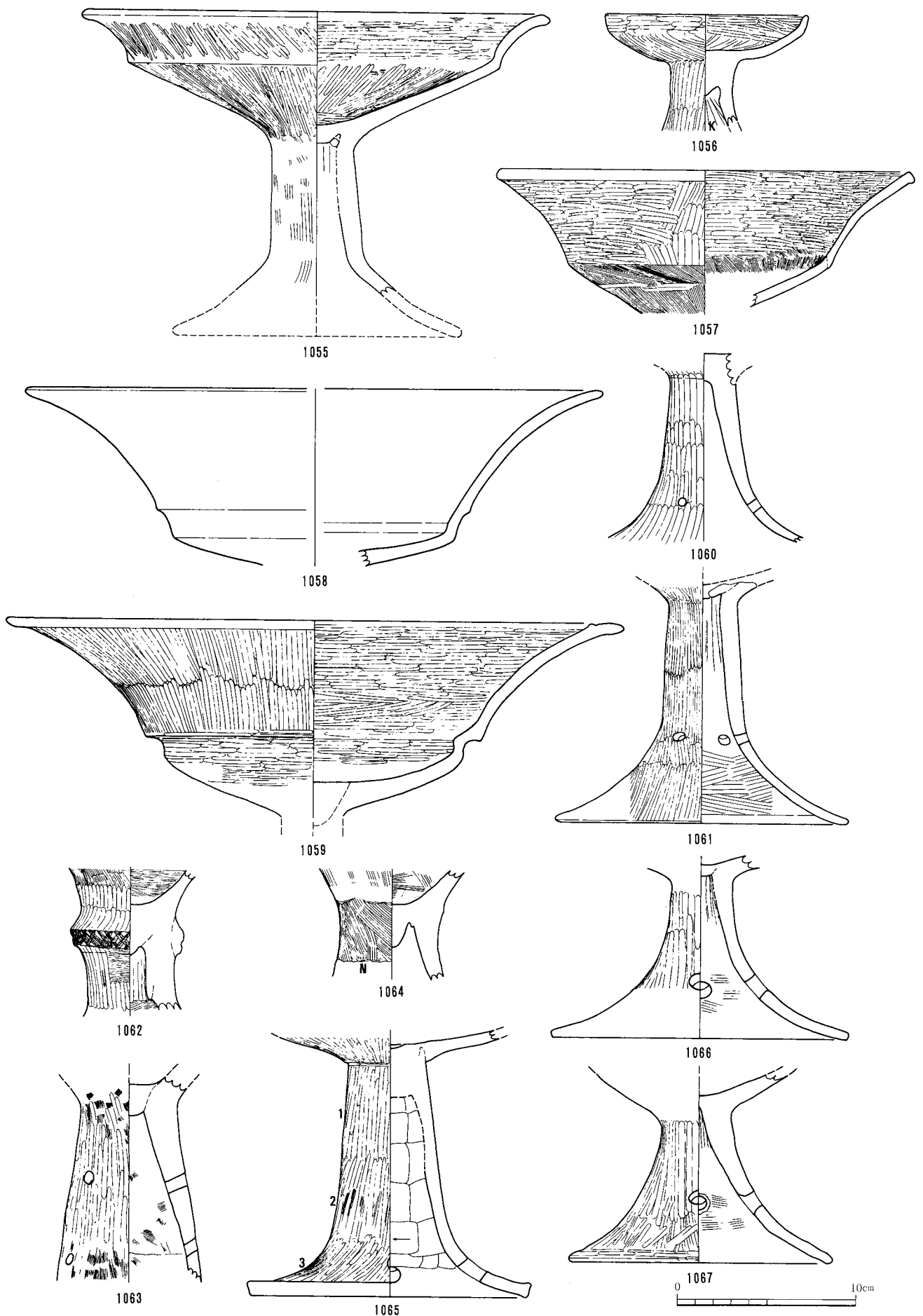




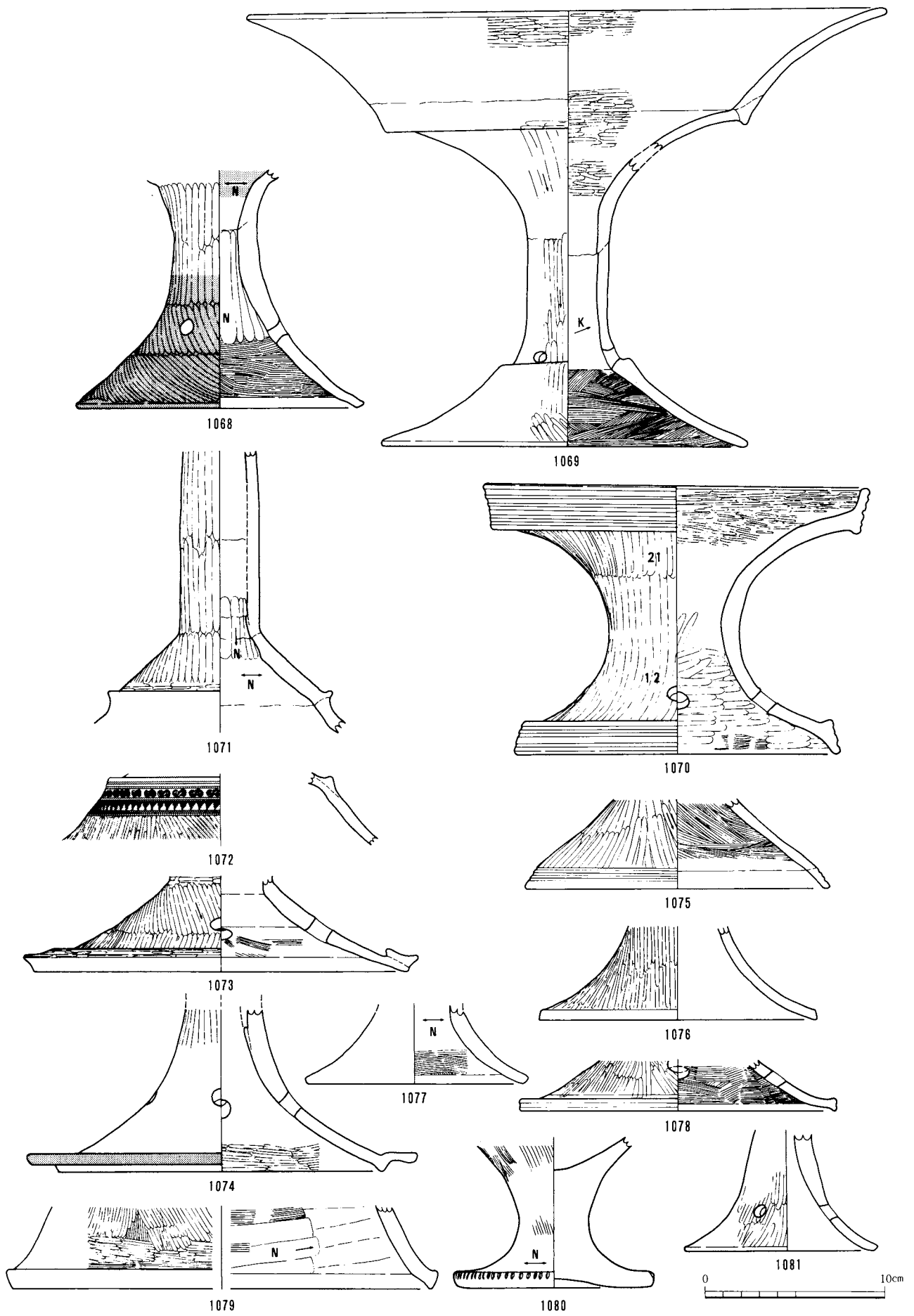
第18图 I-3号溝出土土器(3) (上部、壺(3))



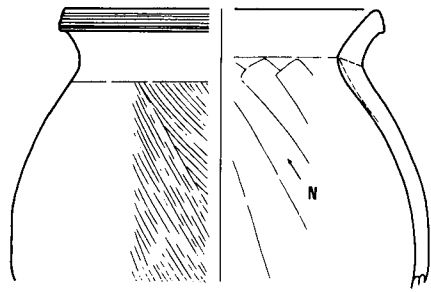
第19图 I-3号沟出土土器(4) (上部、鉢・有孔鉢・高杯(1))



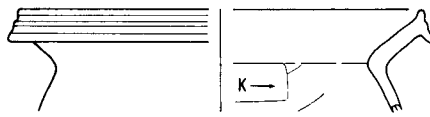
第20图 I-3号沟出土土器(5) (上部、高杯(2))



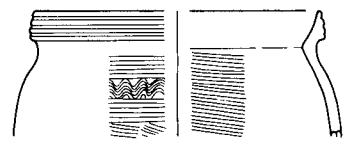
第21图 I-3号沟出土土器(6) (上部、器台·高杯)



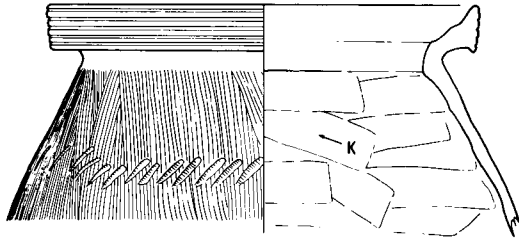
1082



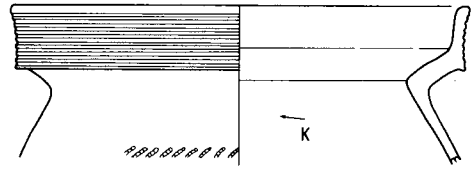
1083



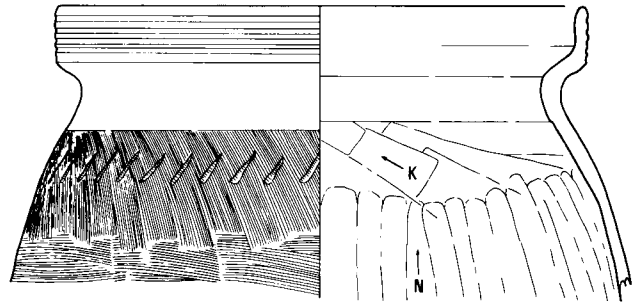
1084



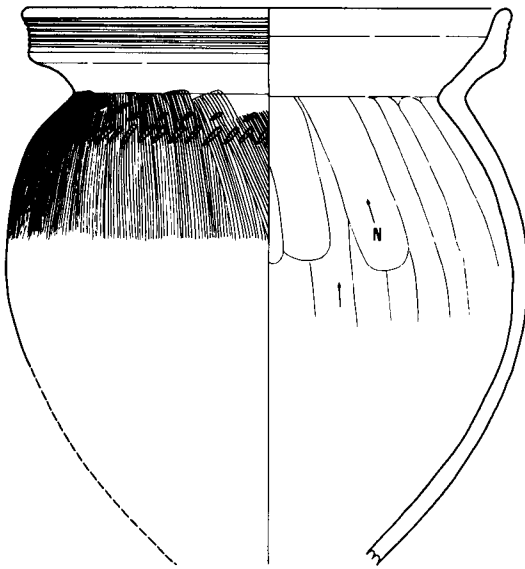
1085



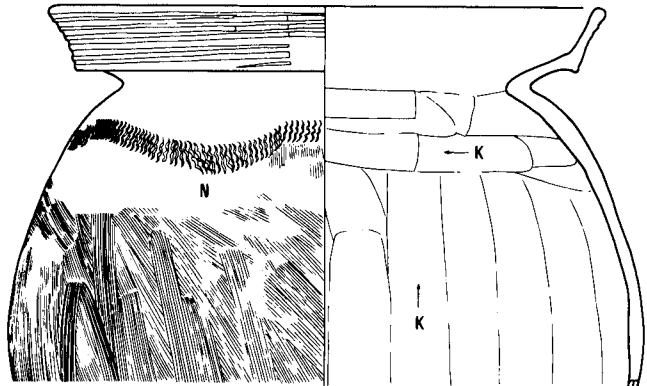
1088



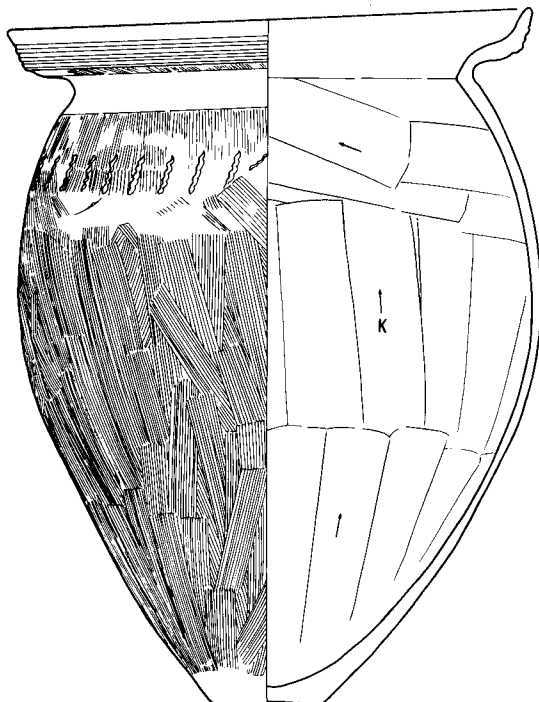
1089



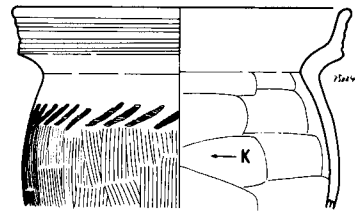
1086



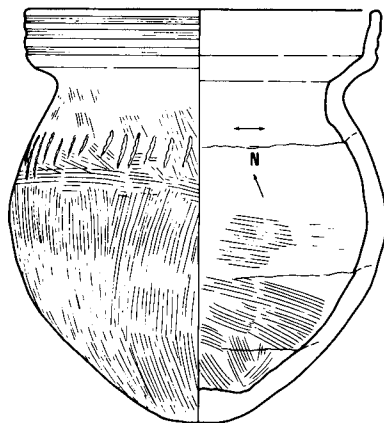
1090



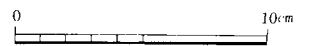
1087



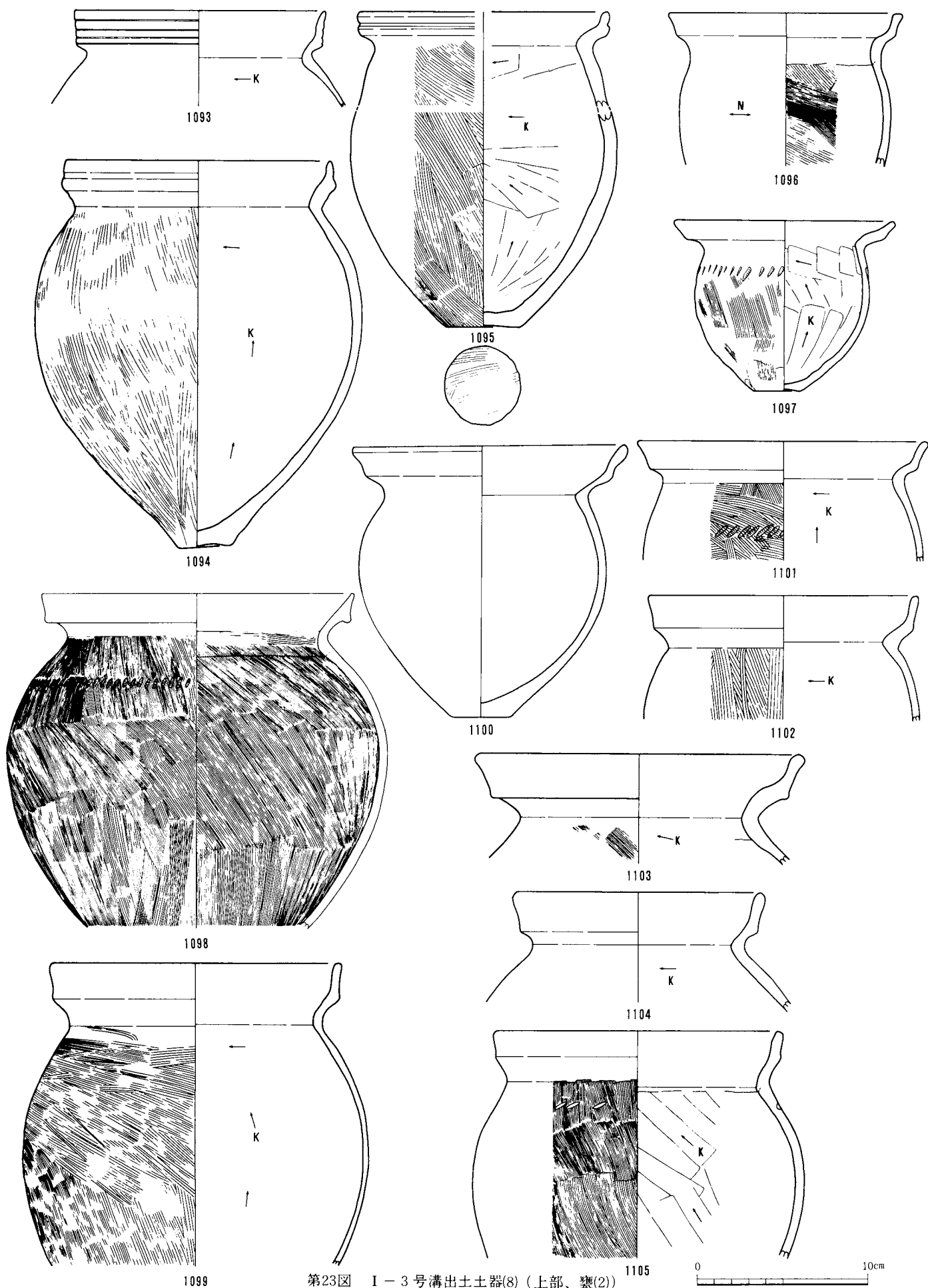
1091



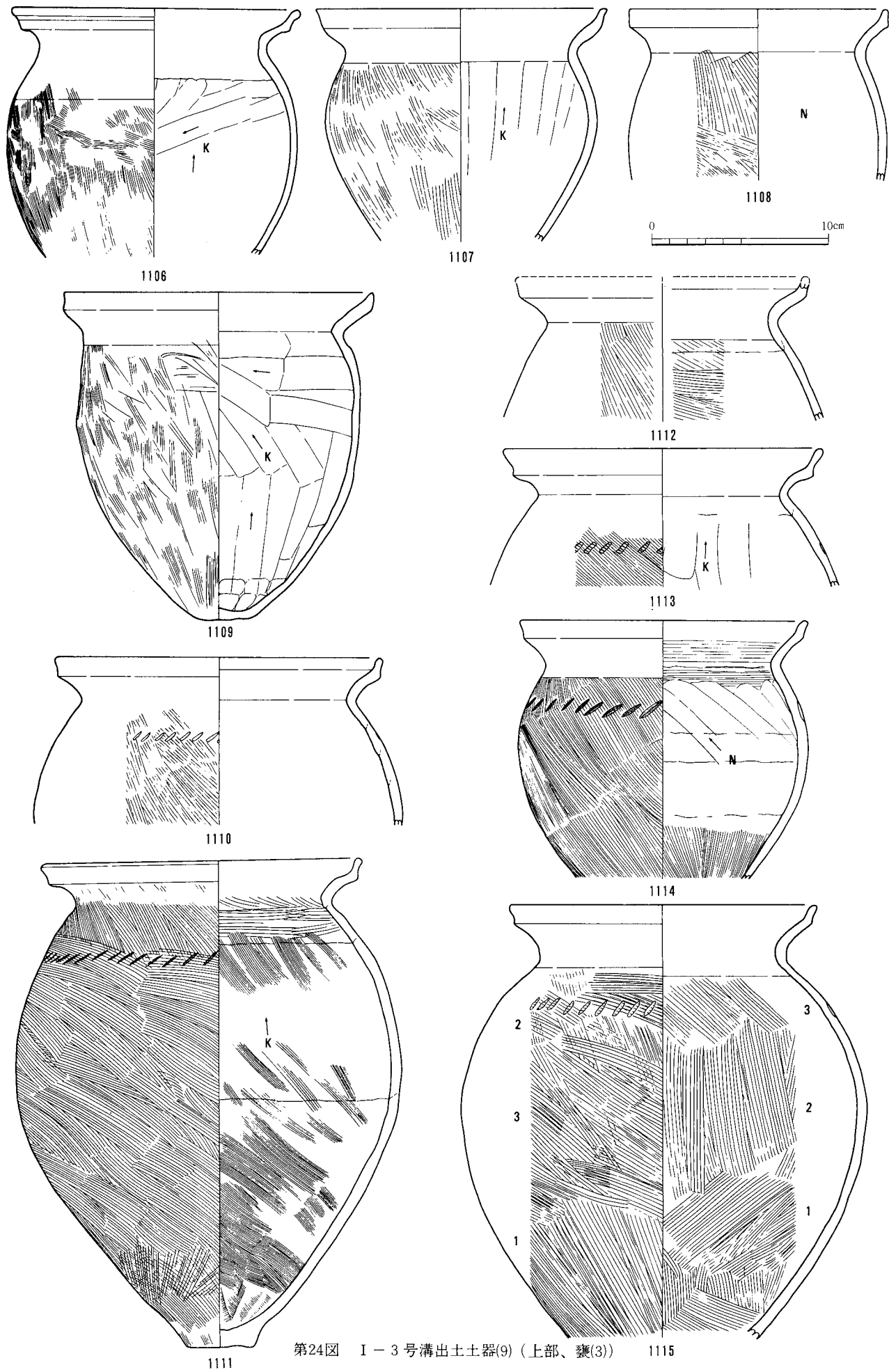
1092



第22图 I-3号沟出土土器(7) (上部、甗(1))



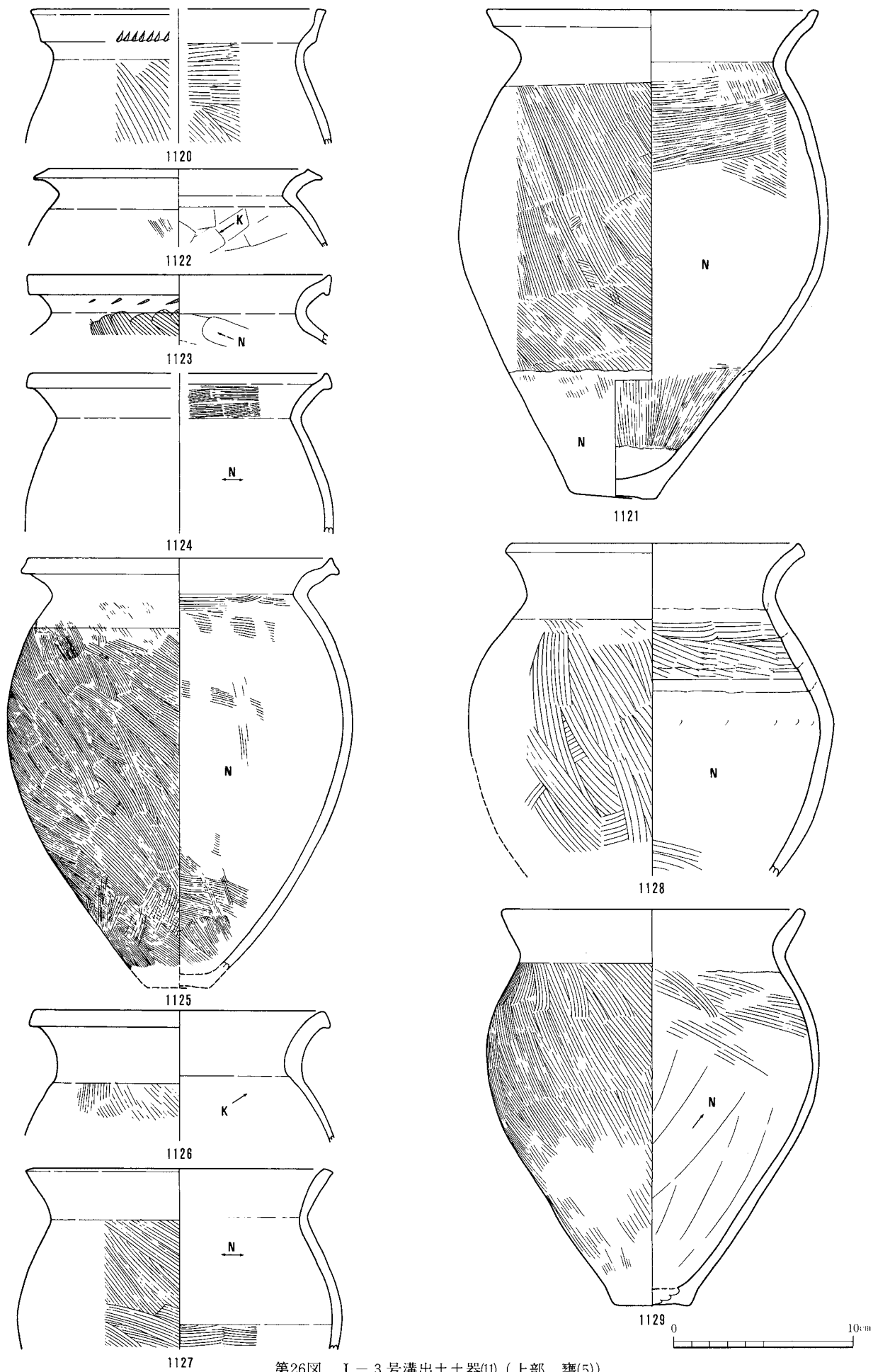
第23图 I-3号沟出土土器(8) (上部、裏(2))



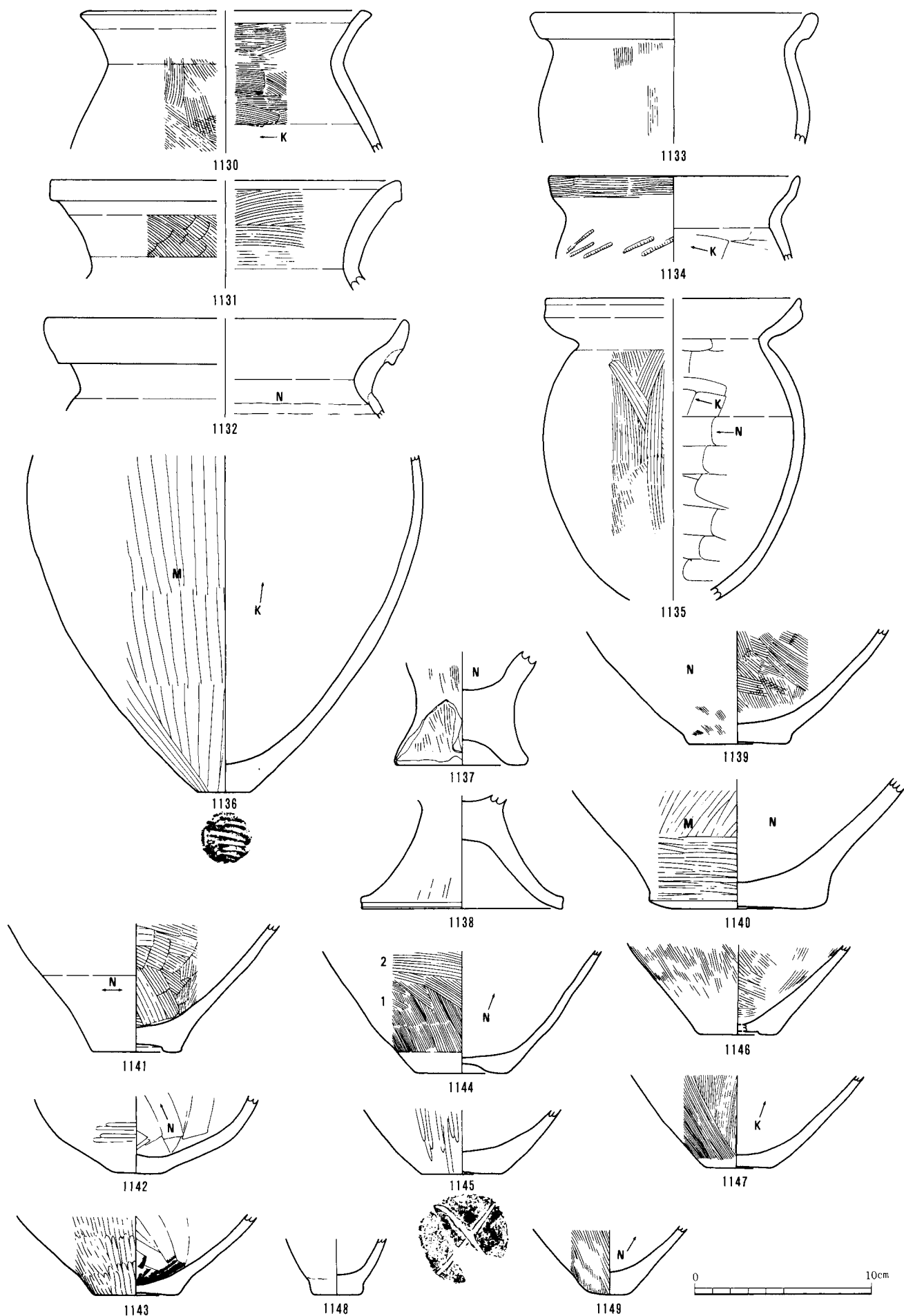
第24图 I-3号沟出土土器(9) (上部、甗(3))



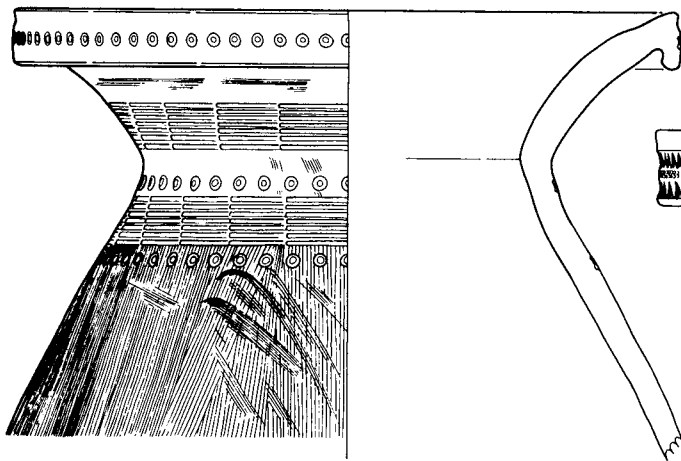
第25图 I-3号沟出土土器(10) (上部、甕(4))



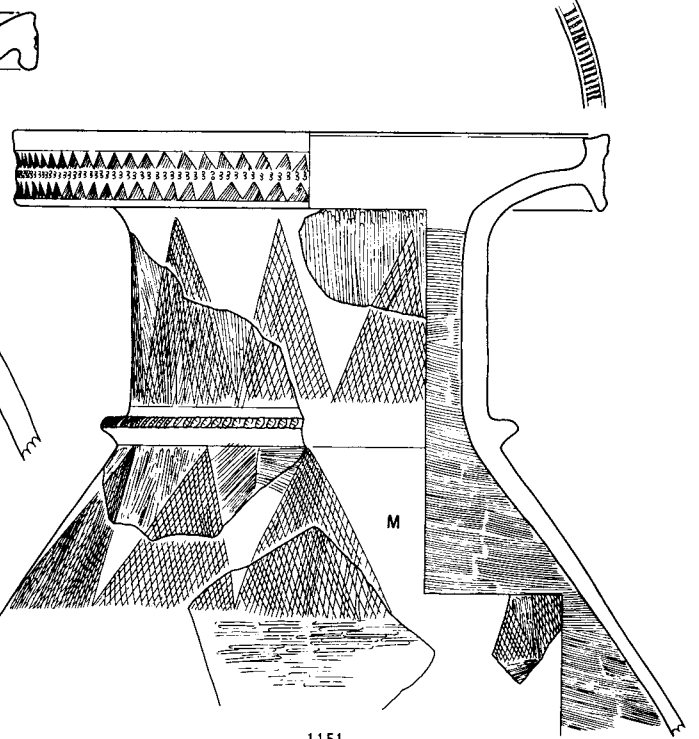
第26图 I-3号溝出土土器(11) (上部、裏(5))



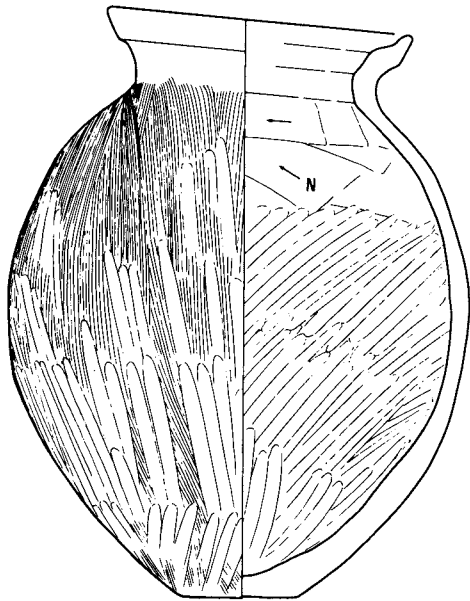
第27图 I-3号沟出土土器(12) (上部、夔(6)·(底部))



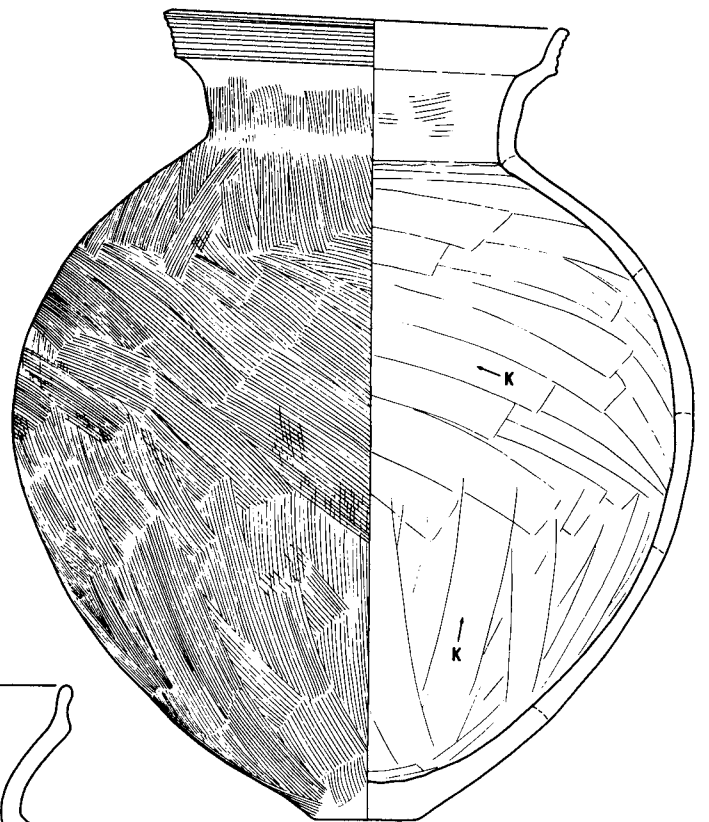
1150



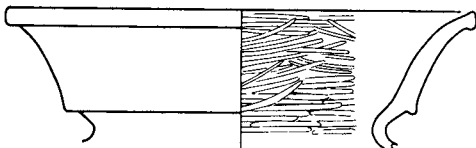
1151



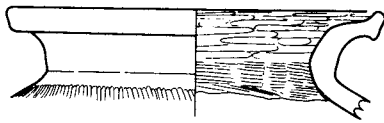
1152



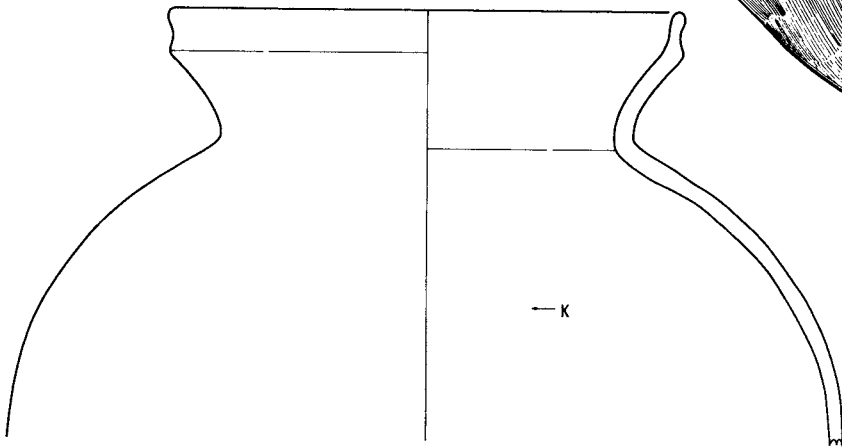
1156



1153



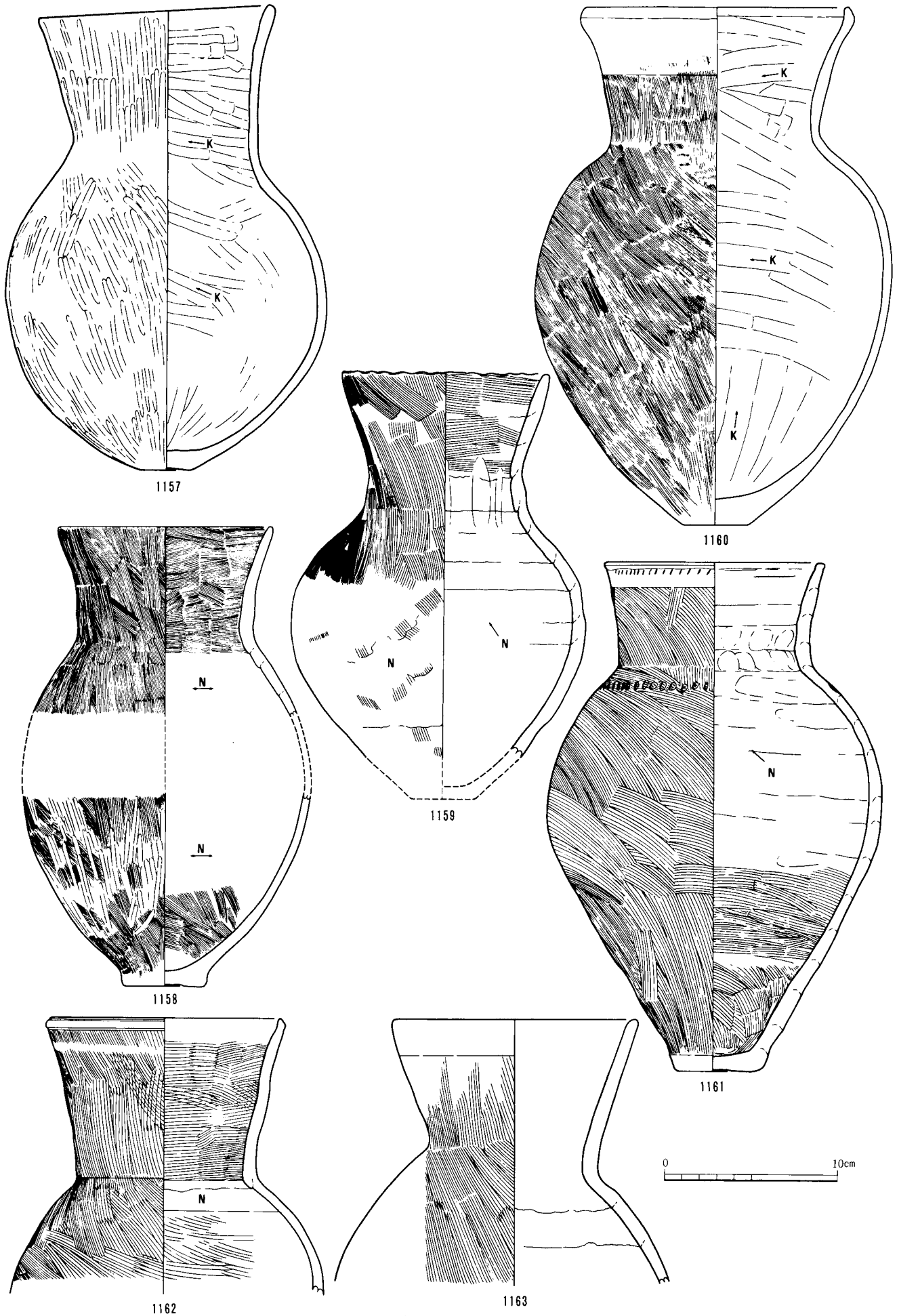
1154



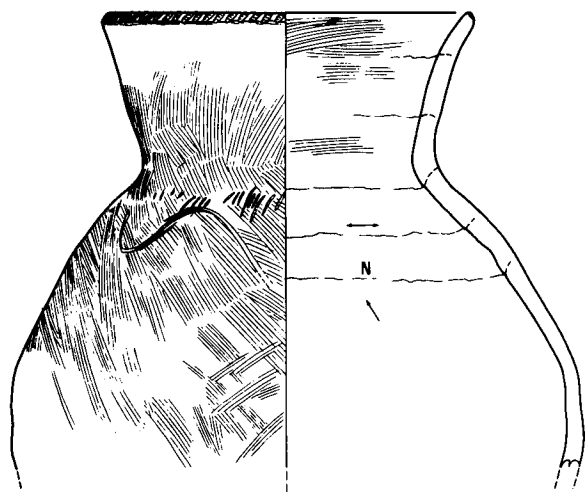
1155

第28図 I-3号溝出土土器(3) (上部の下、壺(1))

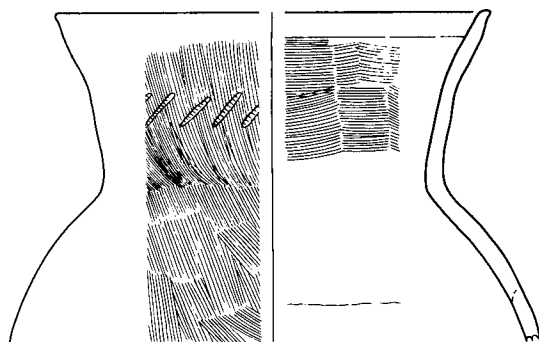




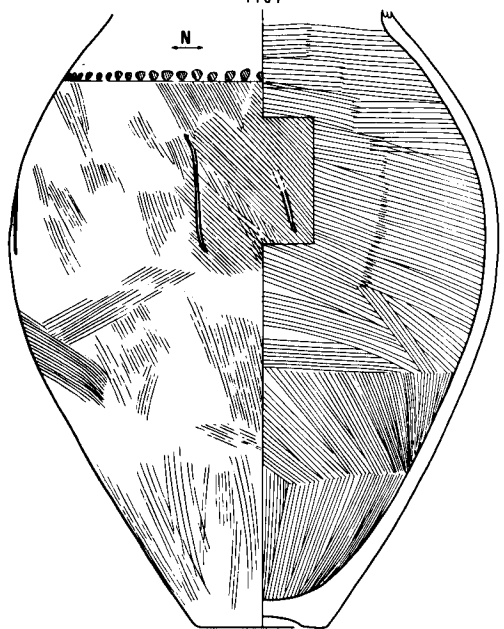
第29図 I-3号溝出土土器(14) (上部の下、壺(2))



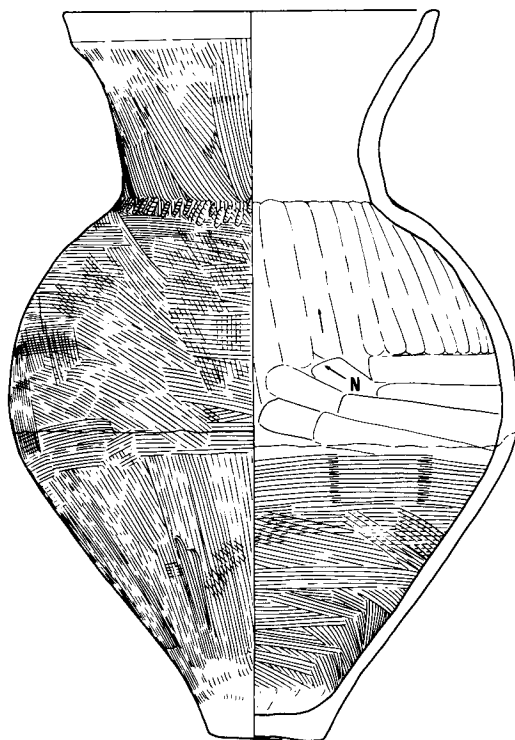
1164



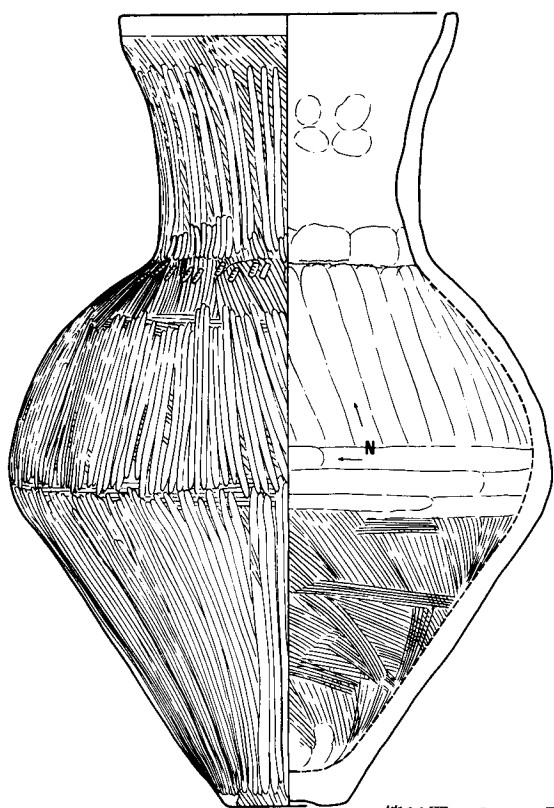
1165



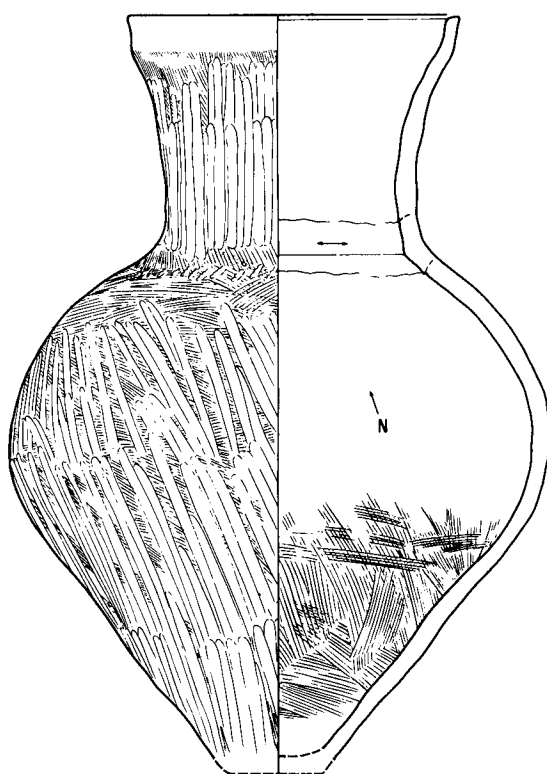
1166



1167



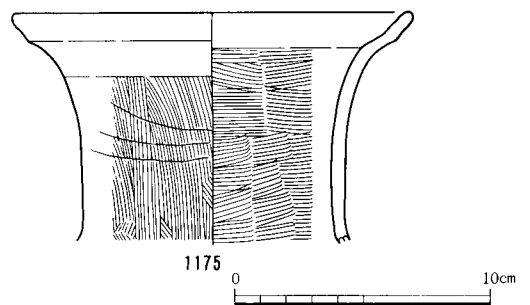
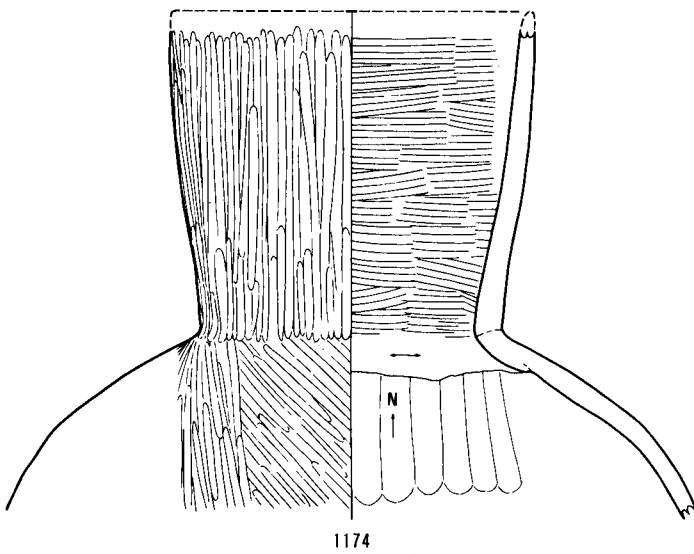
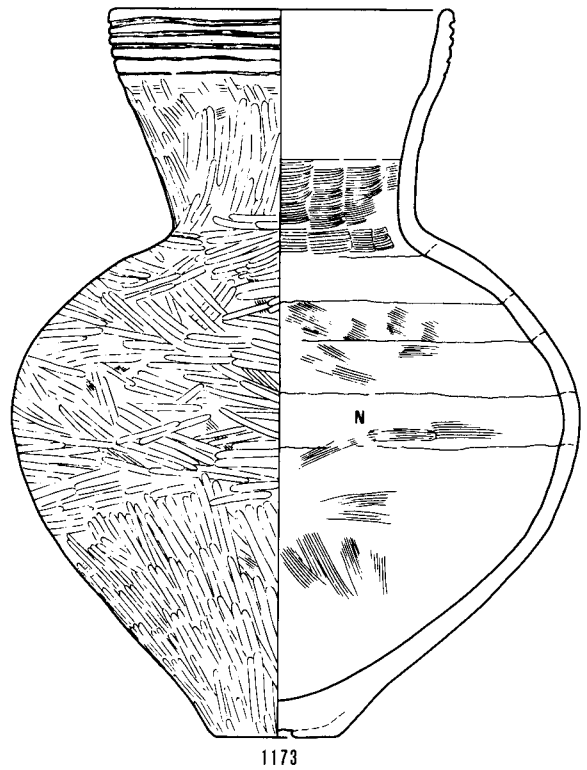
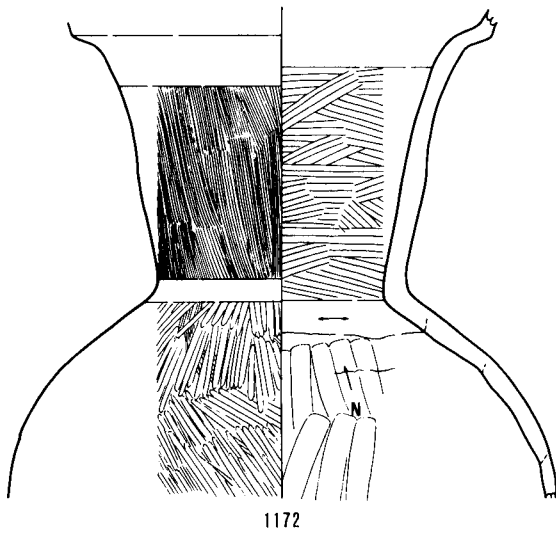
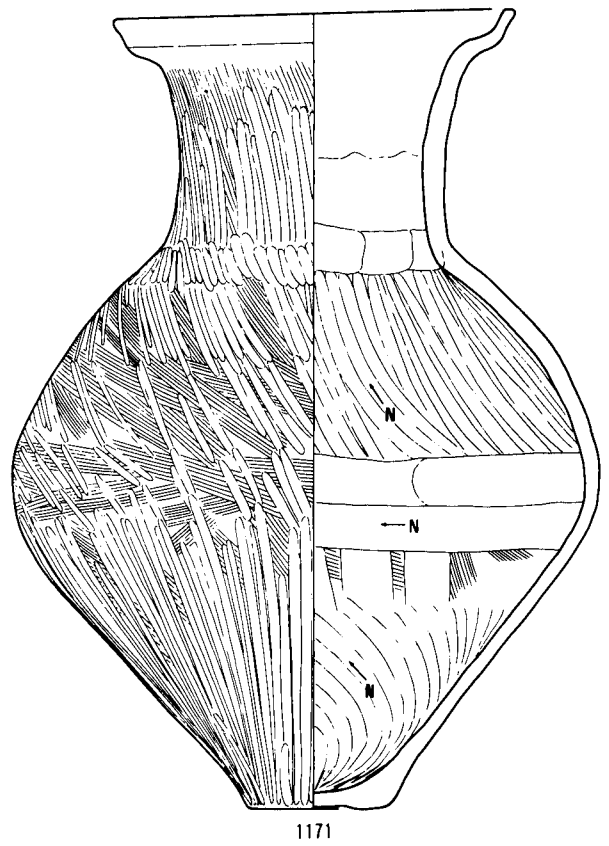
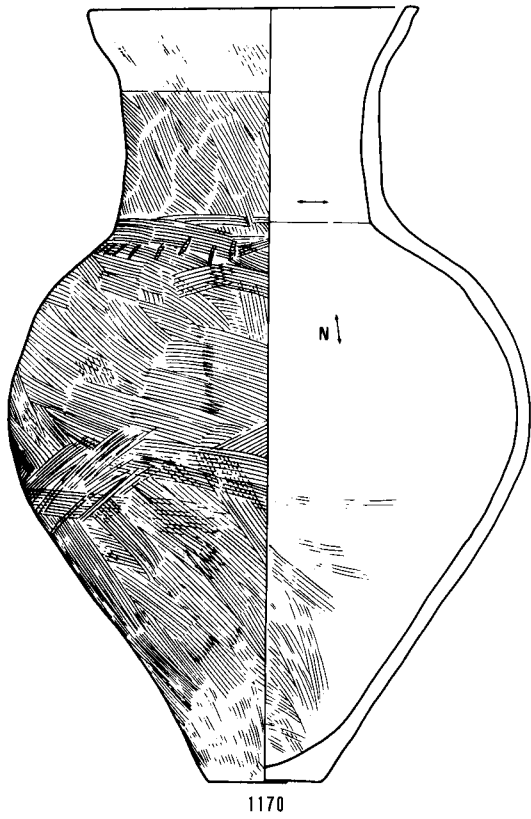
1168



1169



第30図 I-3号溝出土土器(15) (上部の下、壺(3))



1170

1171

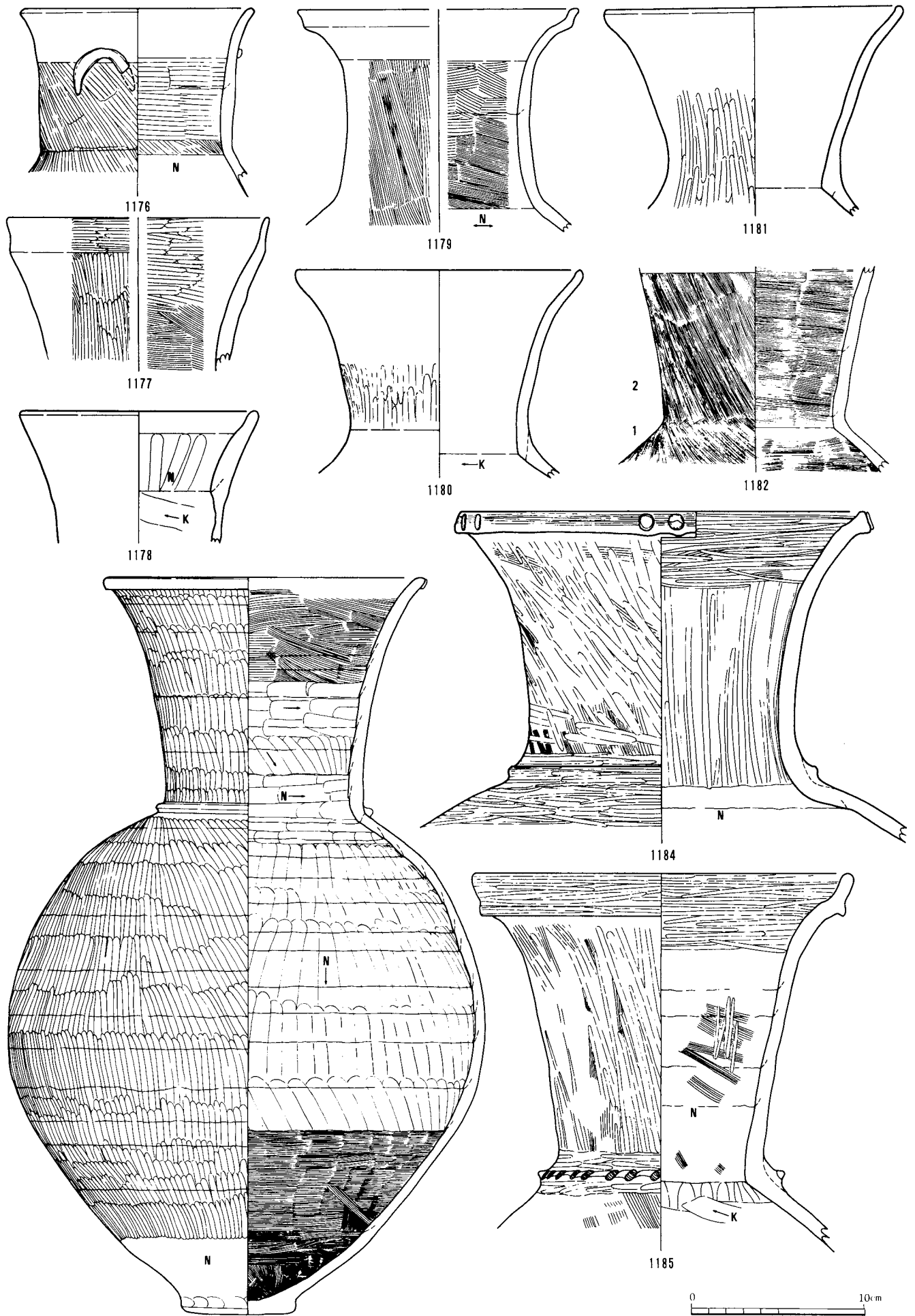
1172

1173

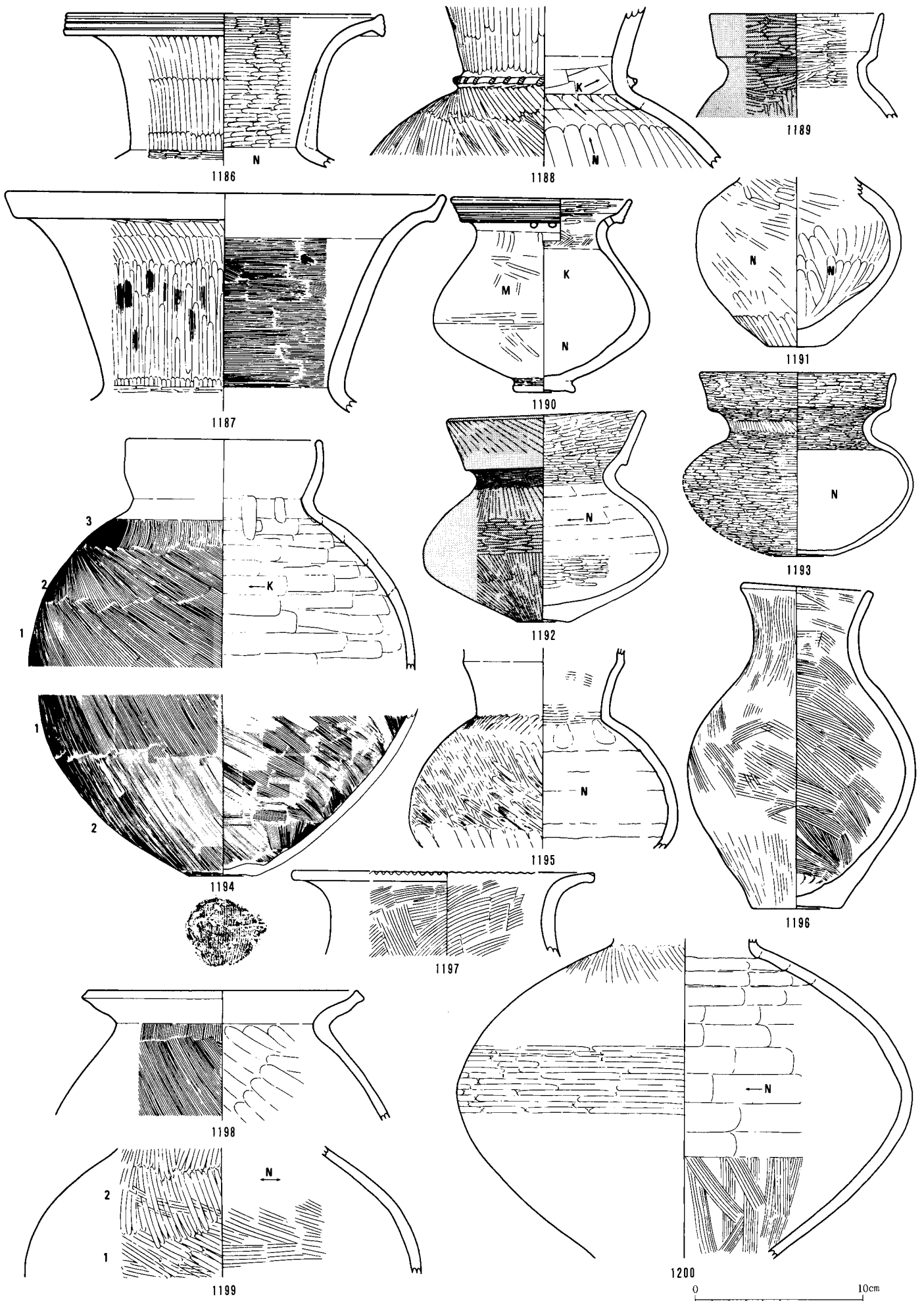
1174

1175

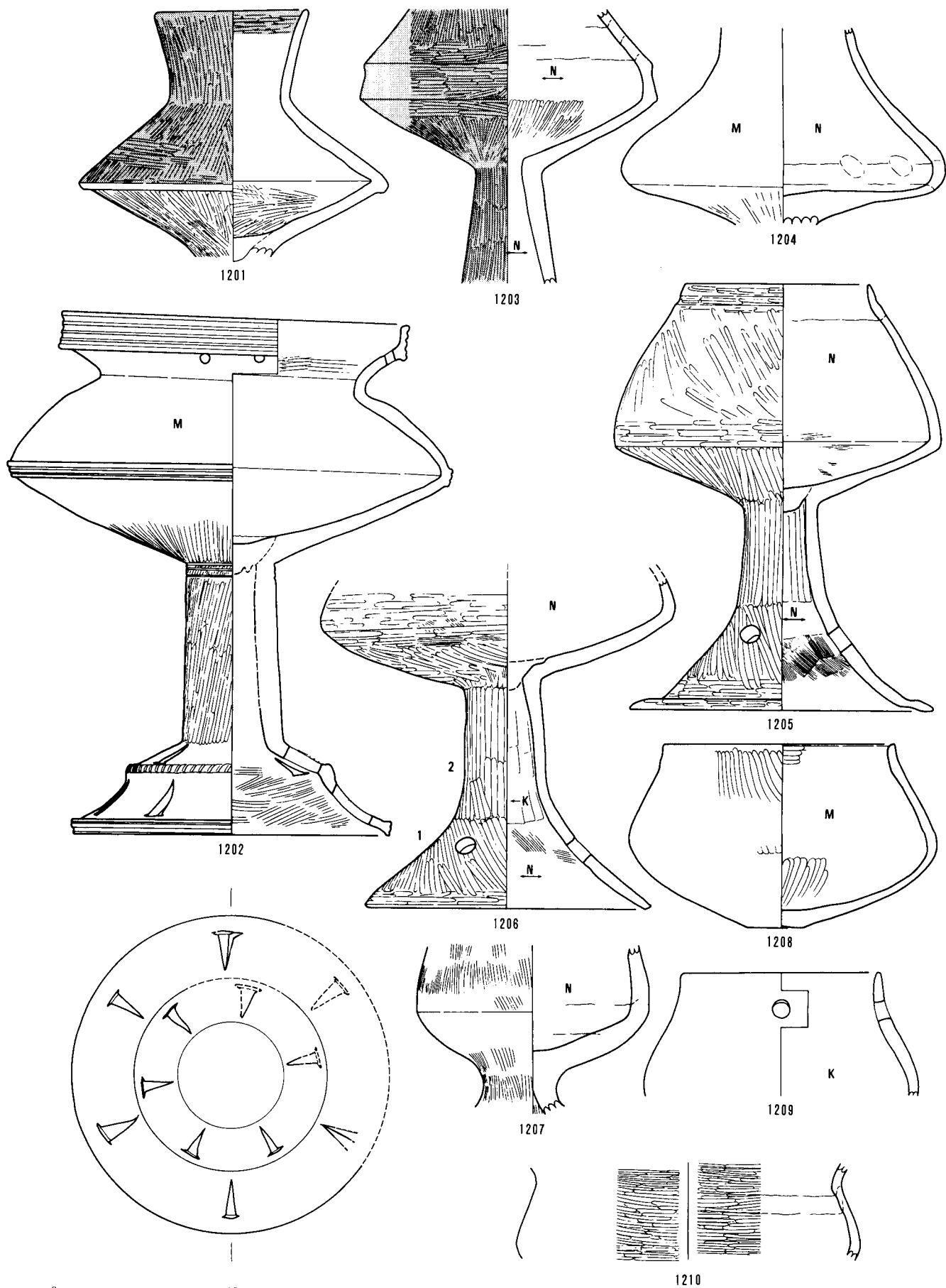
第31図 I-3号溝出土土器(16) (上部の下、壺(4))



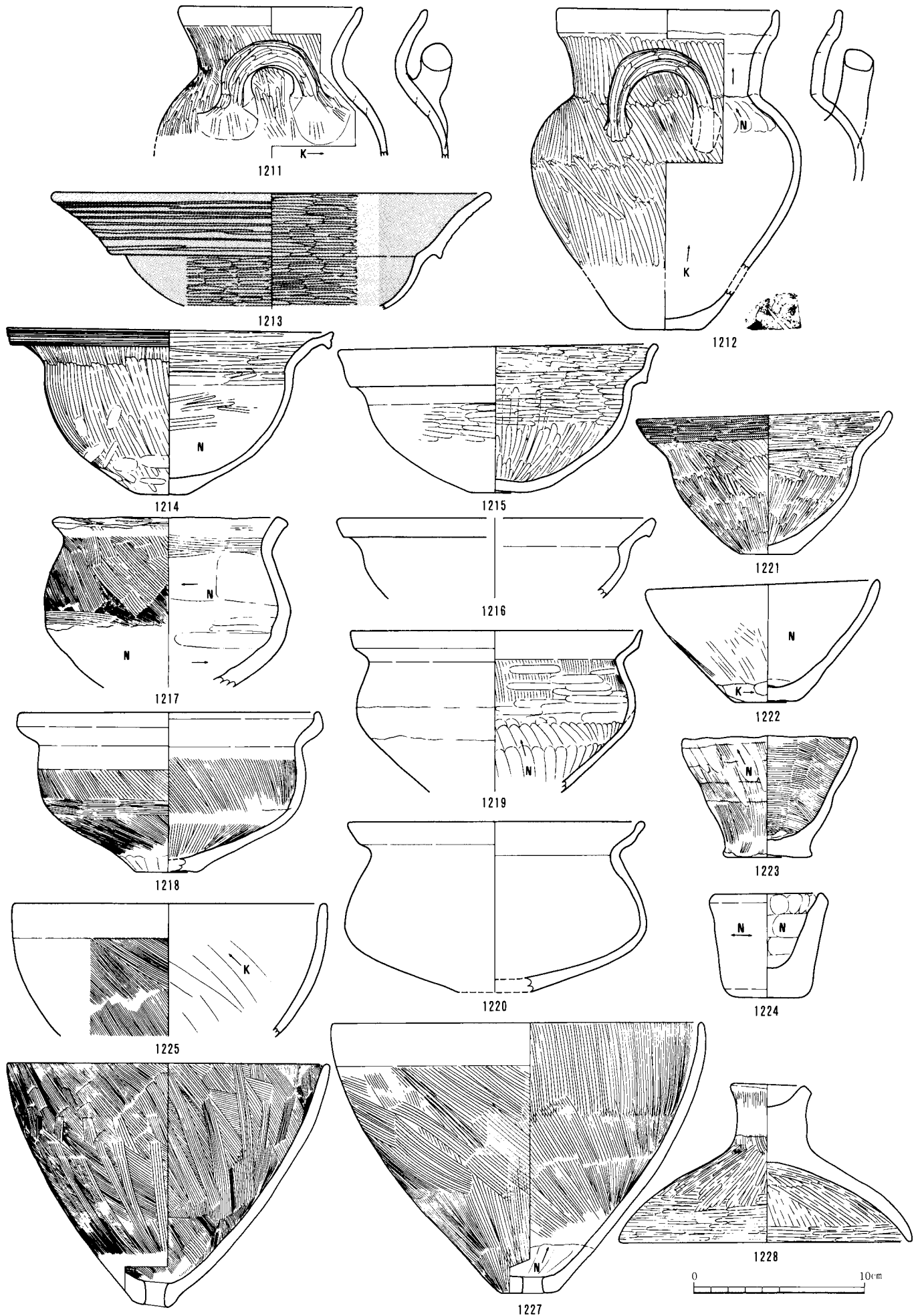
1183 第32図 I-3号溝出土土器(17) (上部の下、壺(5))



第33図 I-3号溝出土土器(18) (上部の下、壺(6))

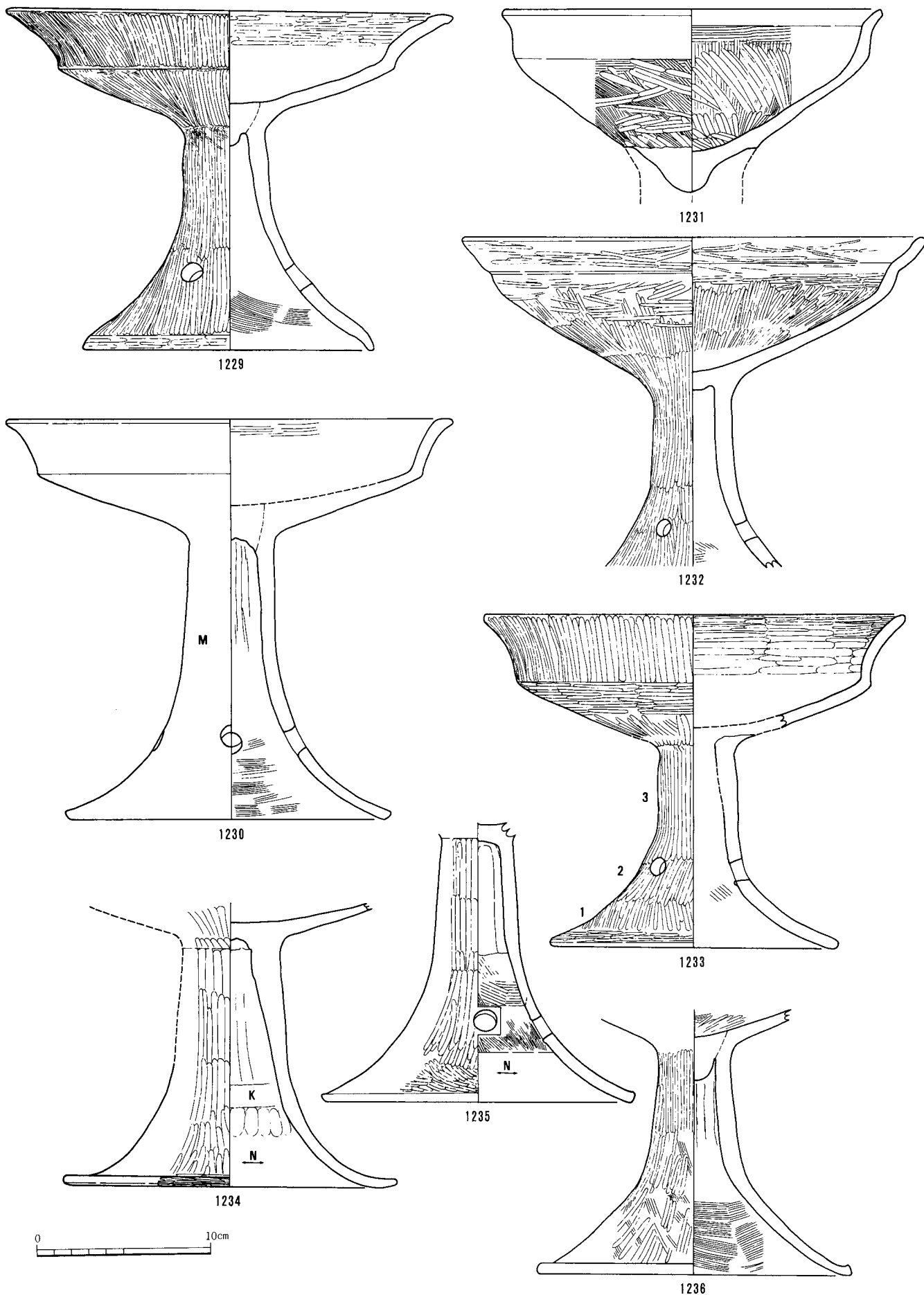


第34図 I-3号溝出土土器(19) (上部の下、壺(7))

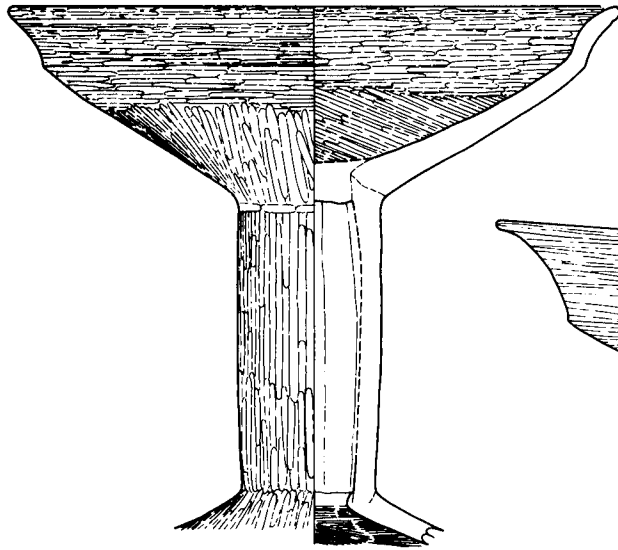


1226

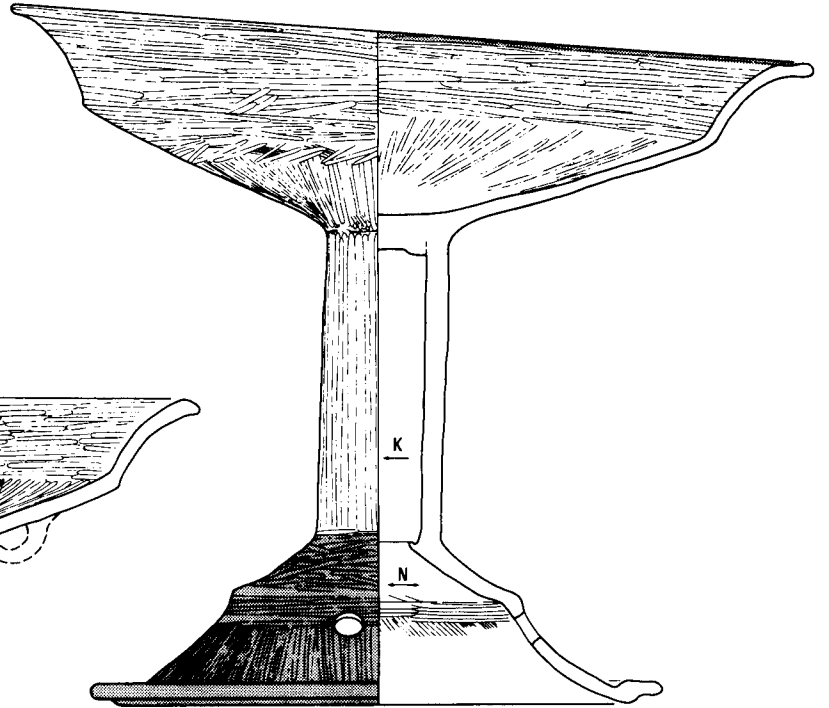
第35図 I-3号溝出土土器(20) (上部の下、壺(8)・水差・鉢・蓋)



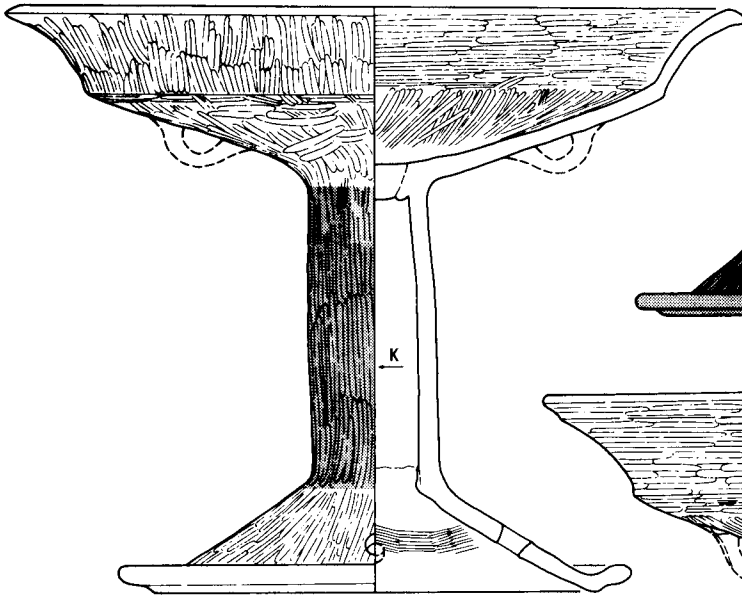
第36図 I-3号溝出土土器(2) (上部の下、高杯(1))



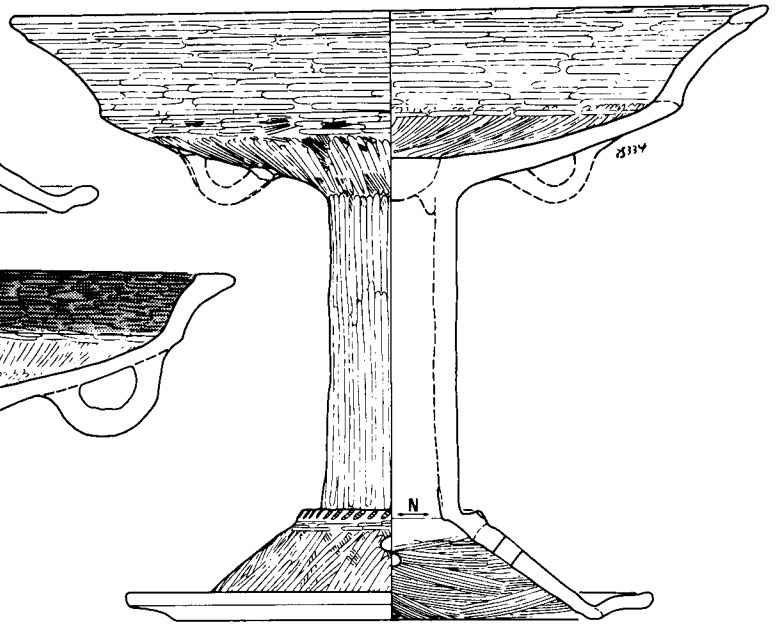
1237



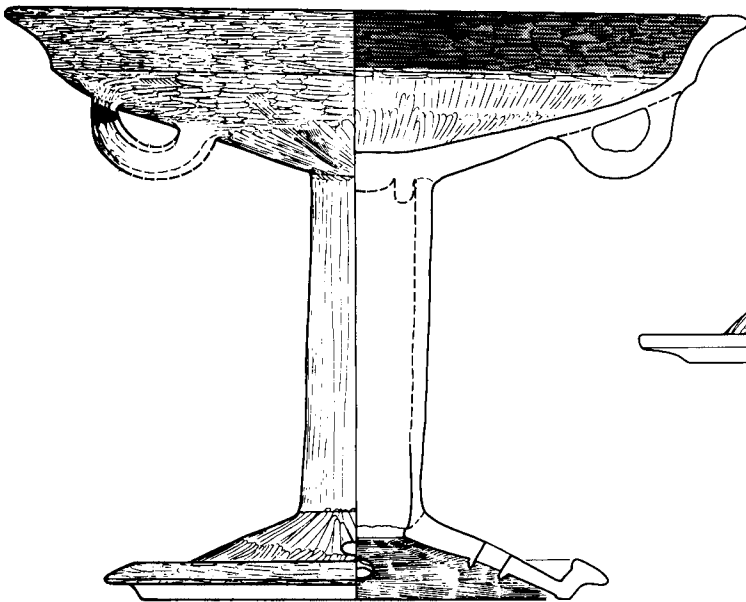
1240



1238



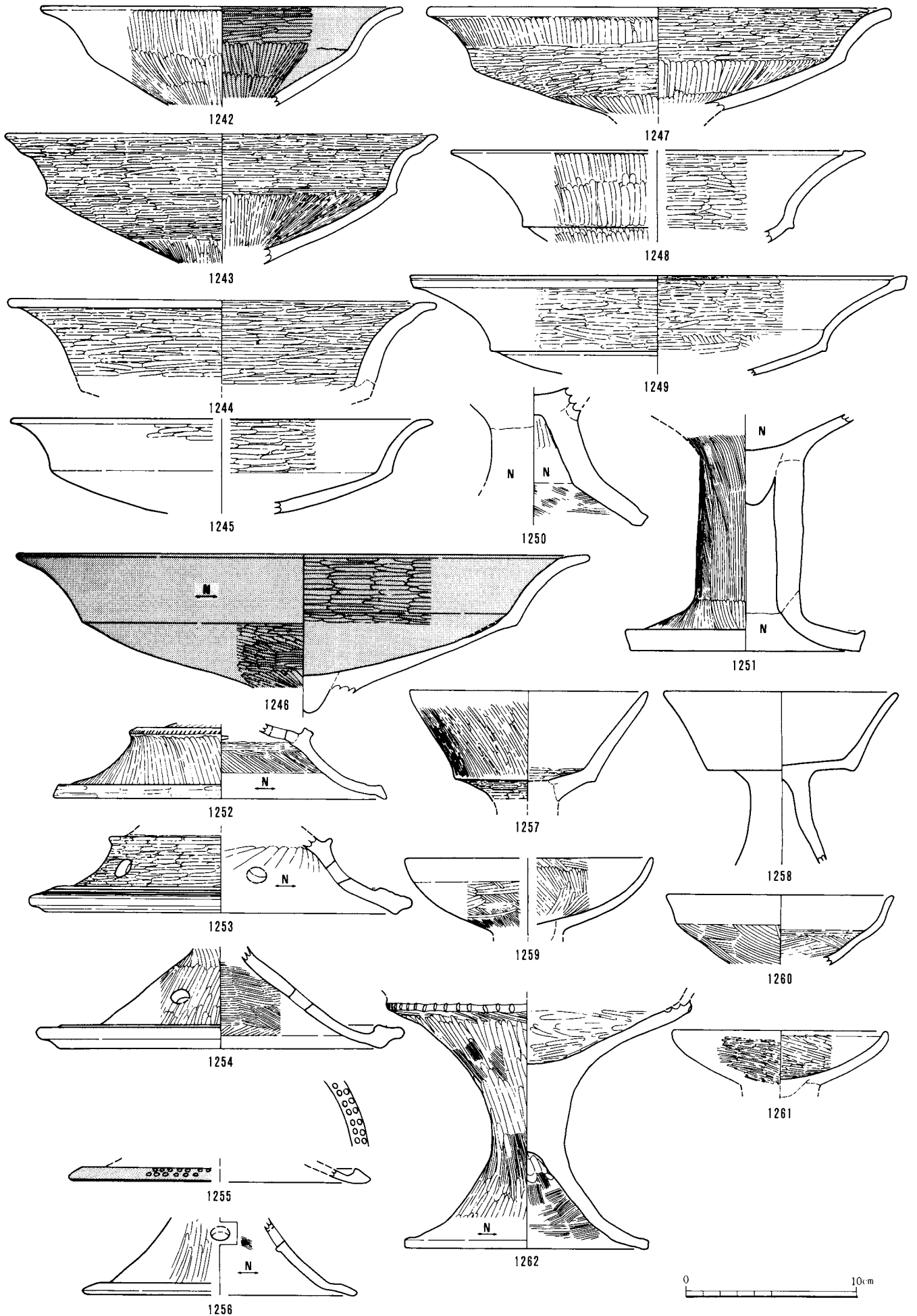
1241



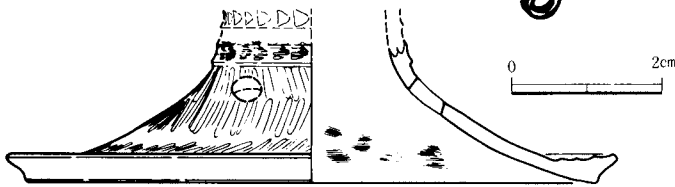
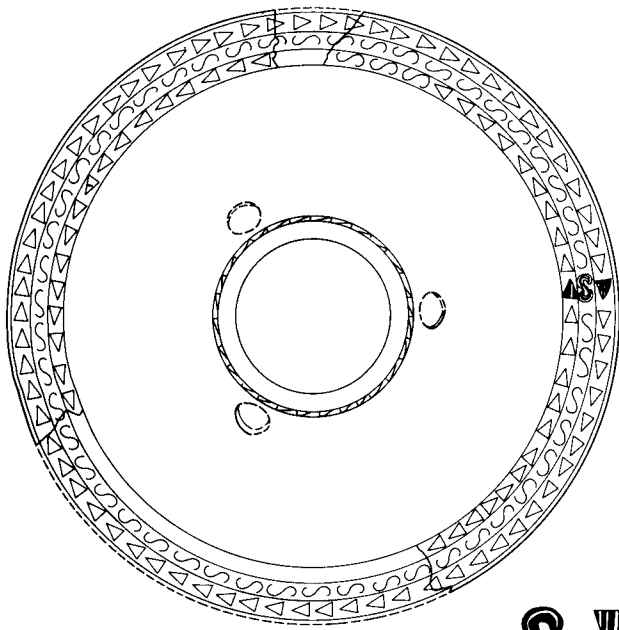
1239



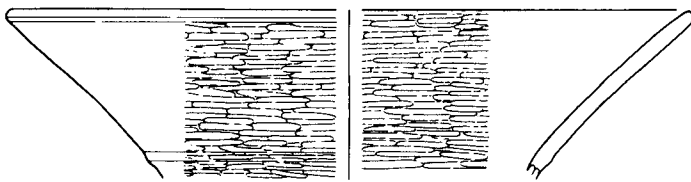
第37図 I-3号溝出土土器(2) (上部の下、高杯(2))



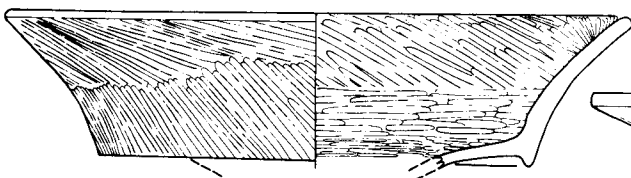
第38図 I-3号溝出土土器(2) (上部の下、高杯(3)・高杯又は器台)



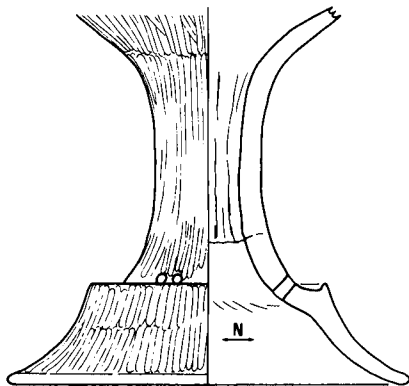
1263



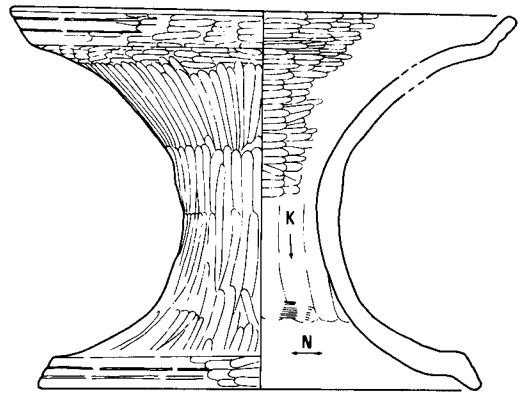
1267



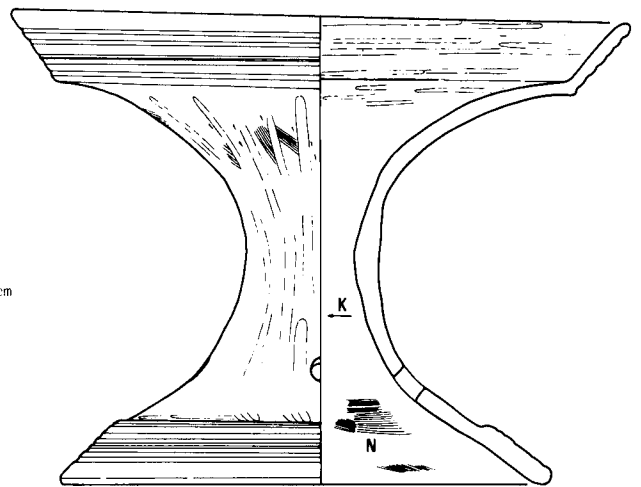
1268



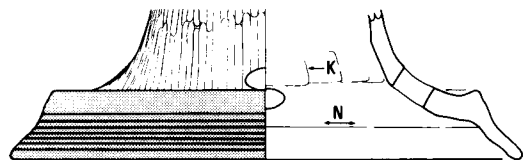
1269



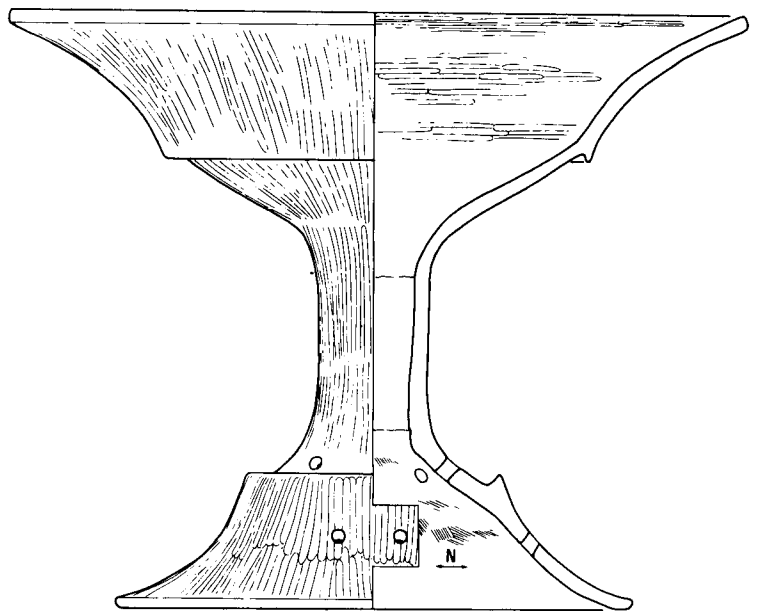
1264



1265

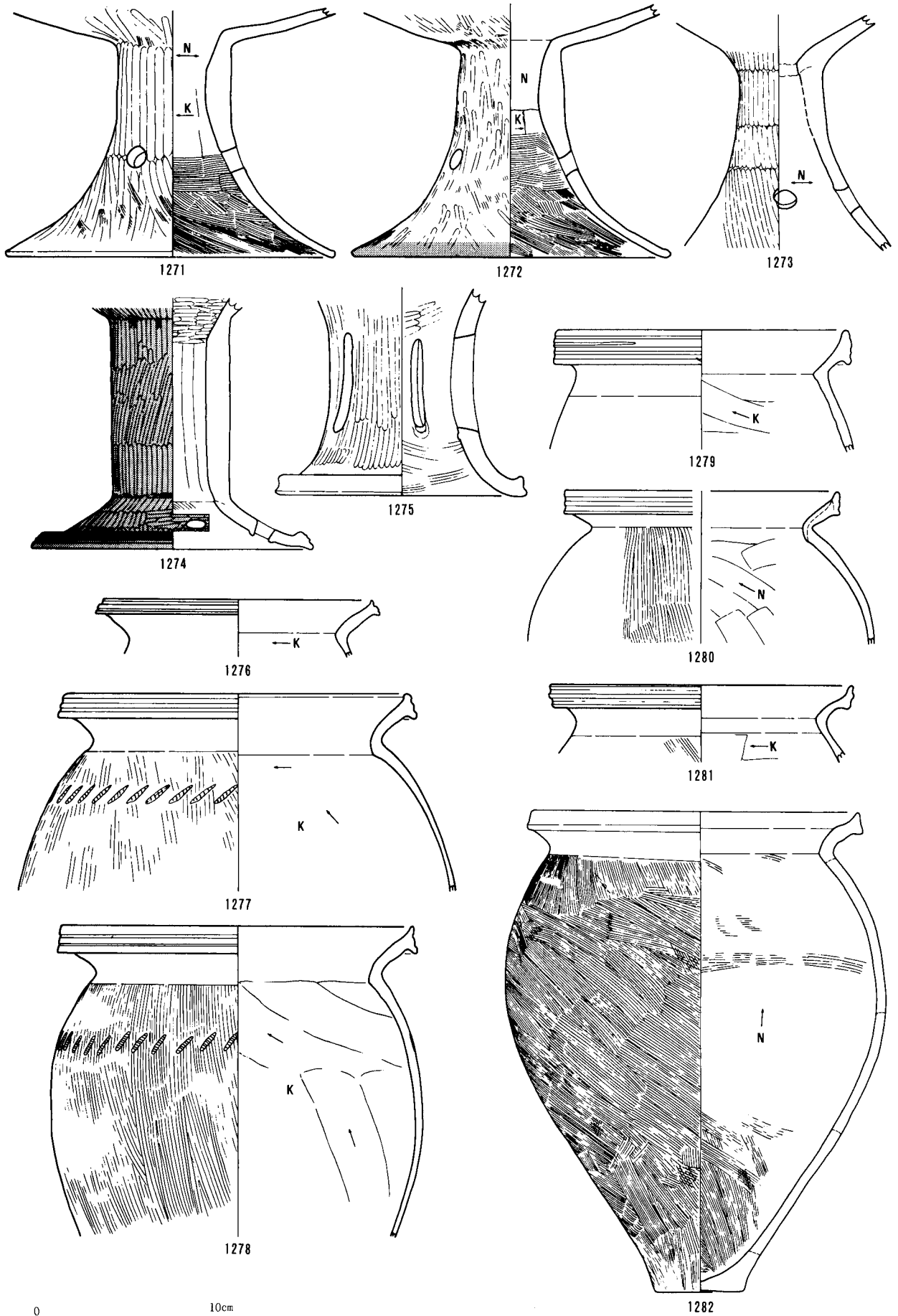


1266

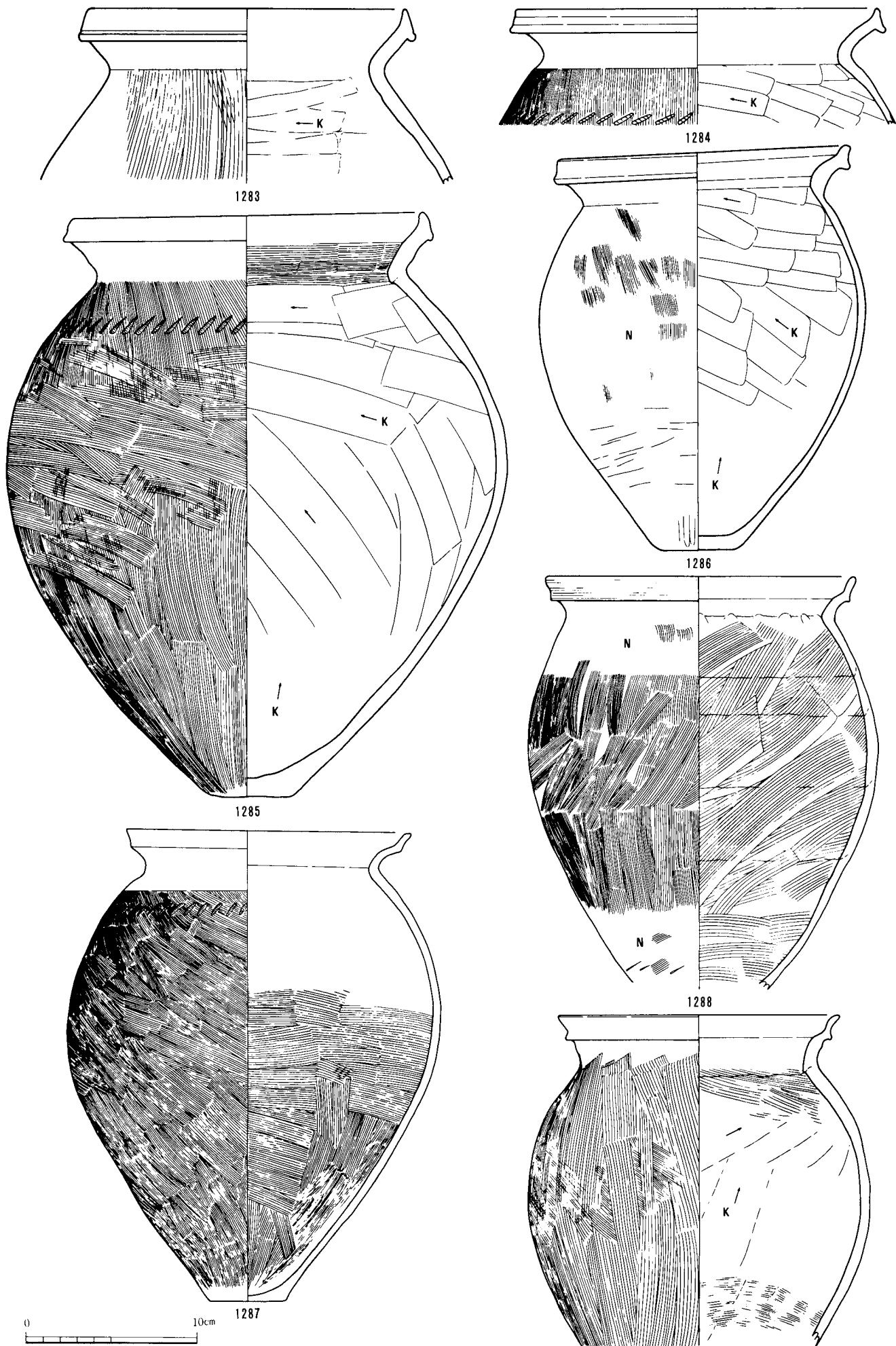


1270

第39図 I-3号溝出土土器②(上部の下、高杯又は器台・器台(1))

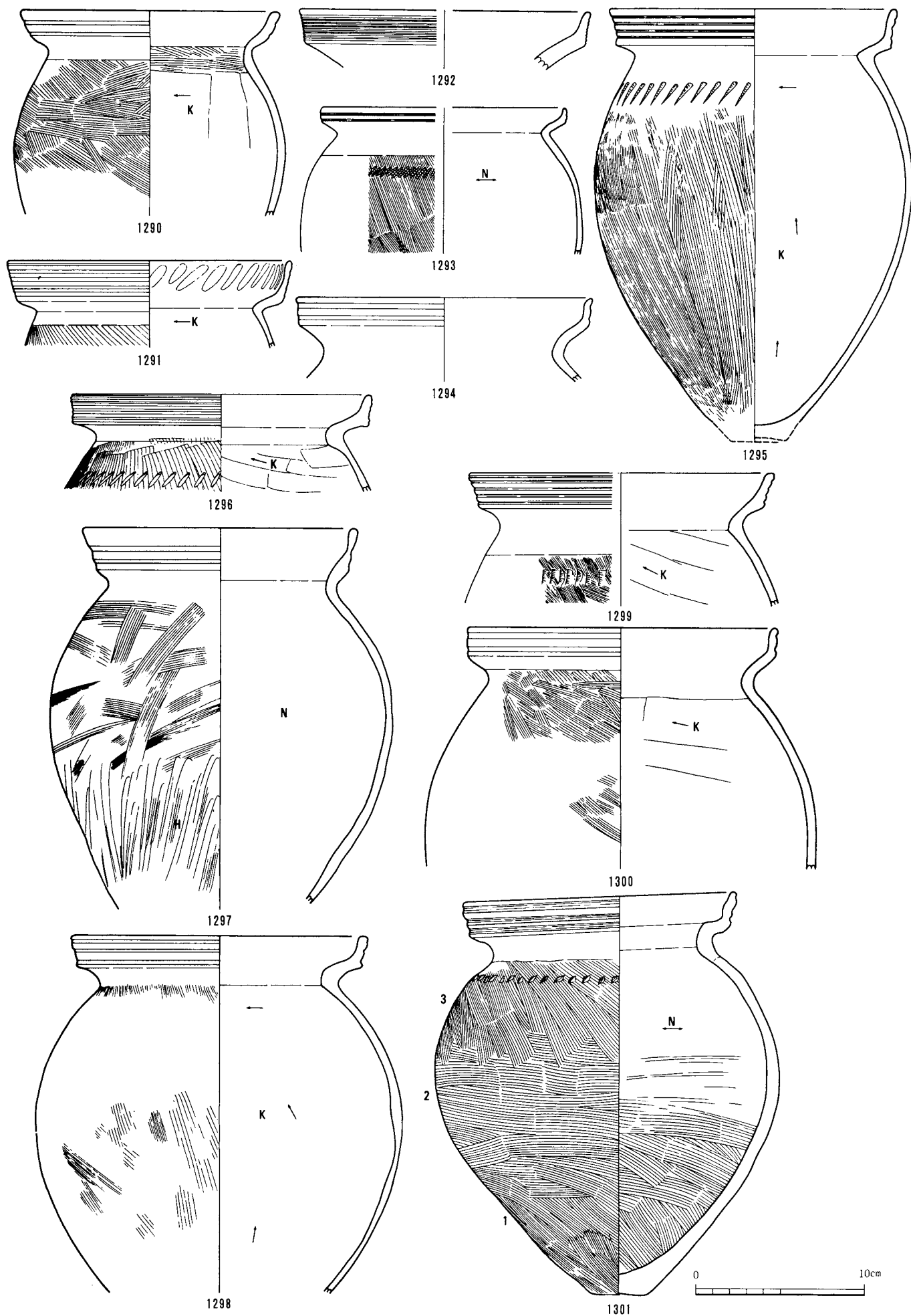


第40図 I-3号溝出土土器(25) (上部の下、器台(2)・甕(1))

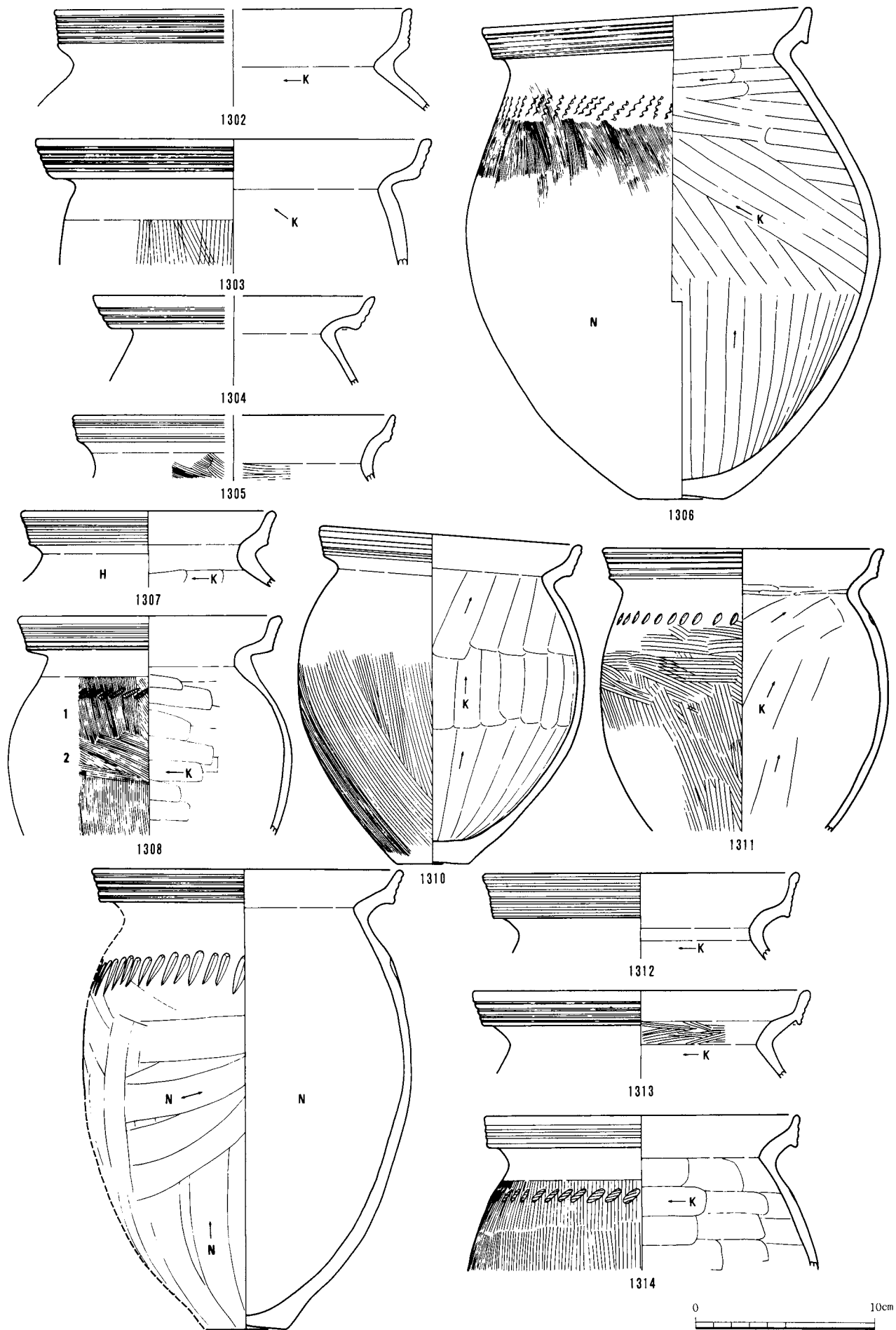


第41図 I-3号溝出土土器(26) (上部の下、裏(2))

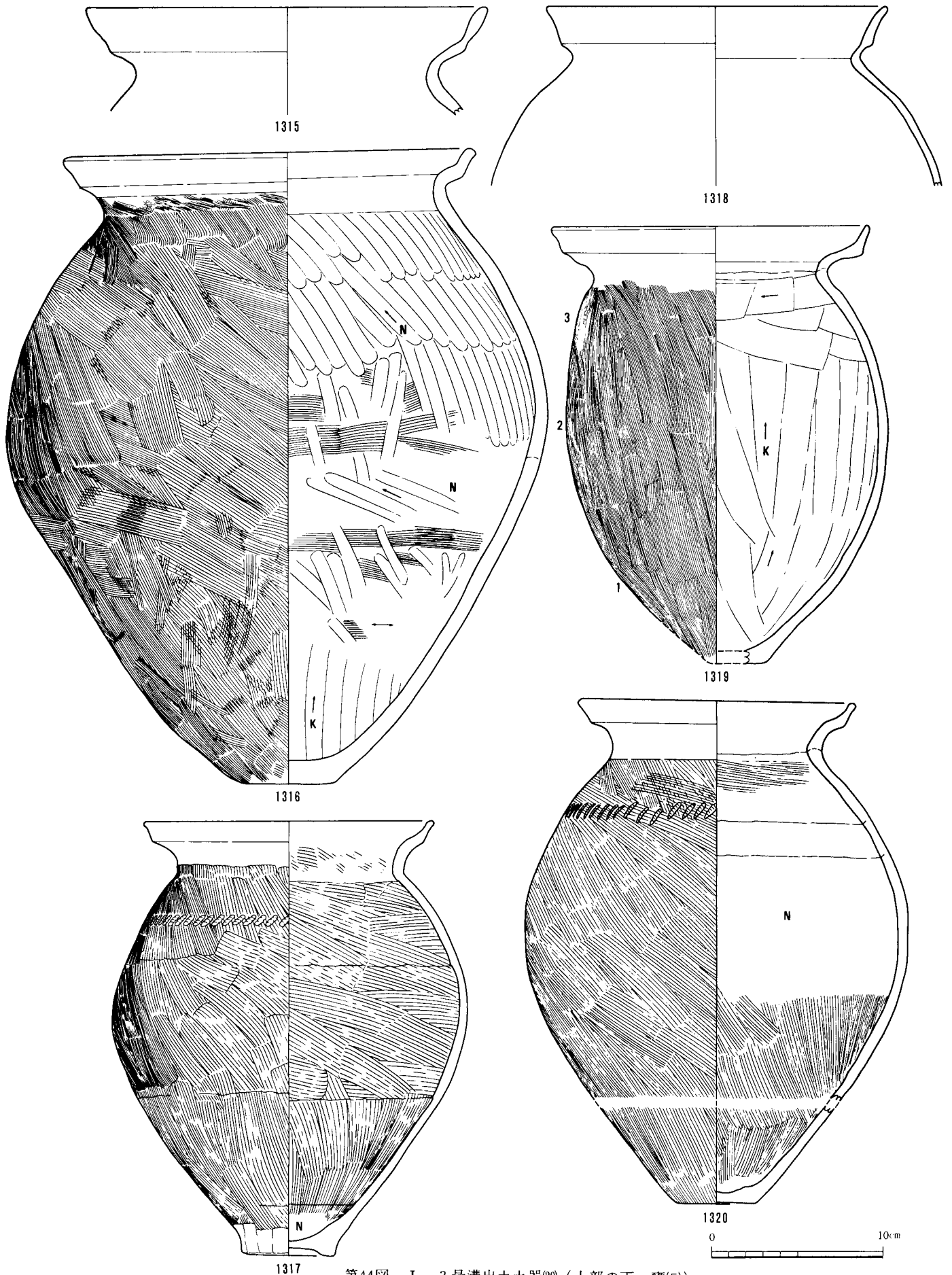
1289



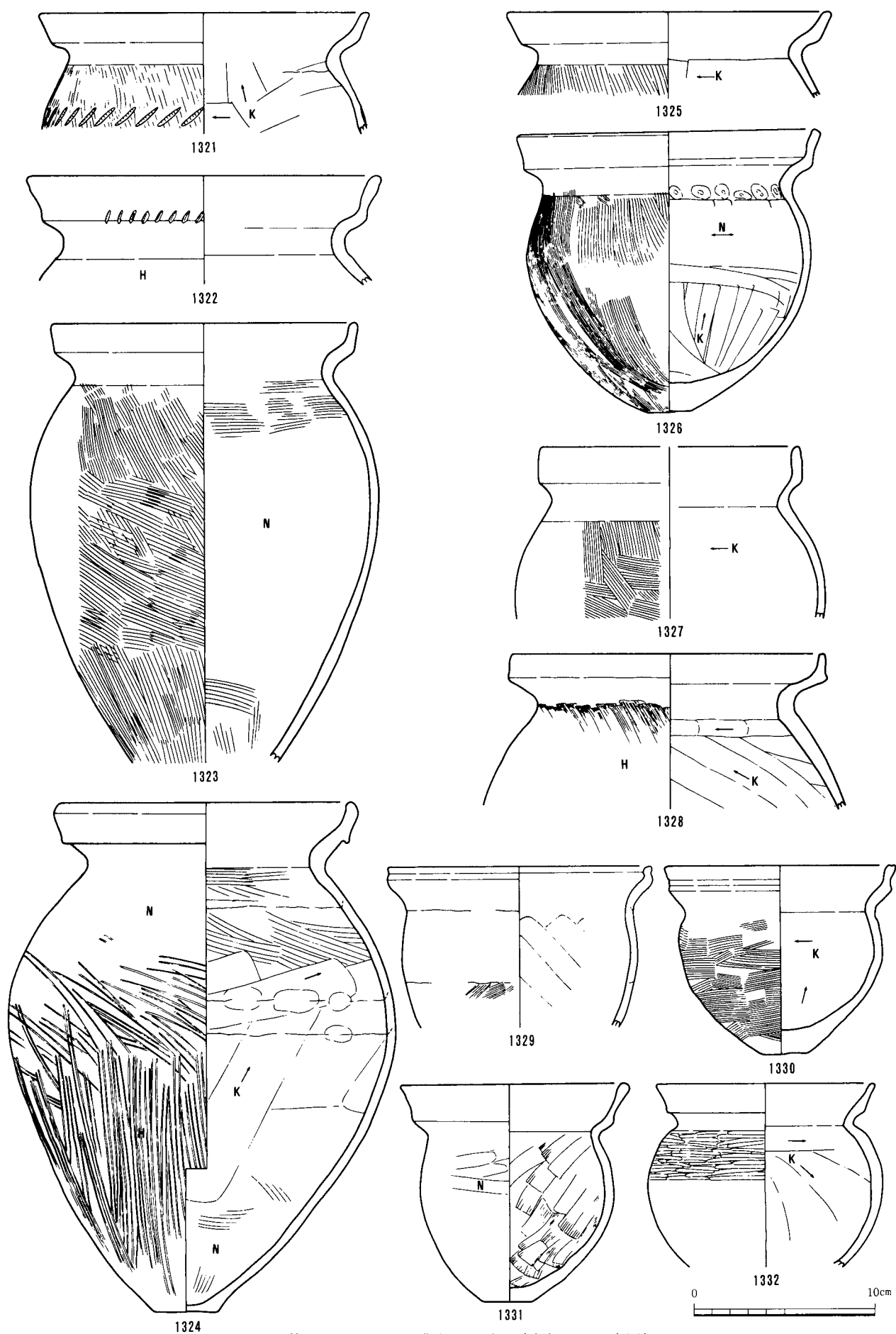
第42図 I-3号溝出土土器(27) (上部の下、装(3))



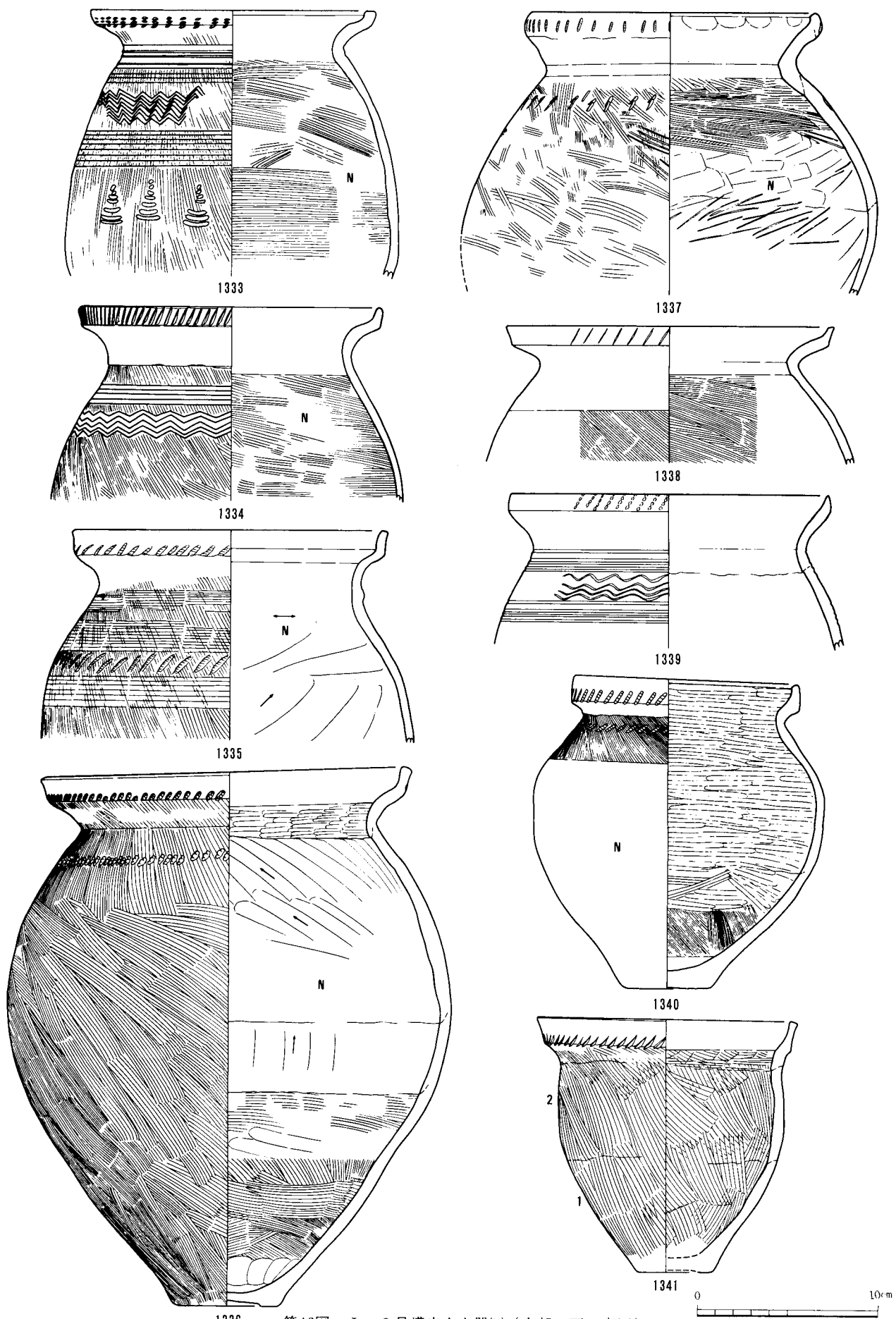
1309 第43図 I-3号溝出土土器(28) (上部の下、夔(4))



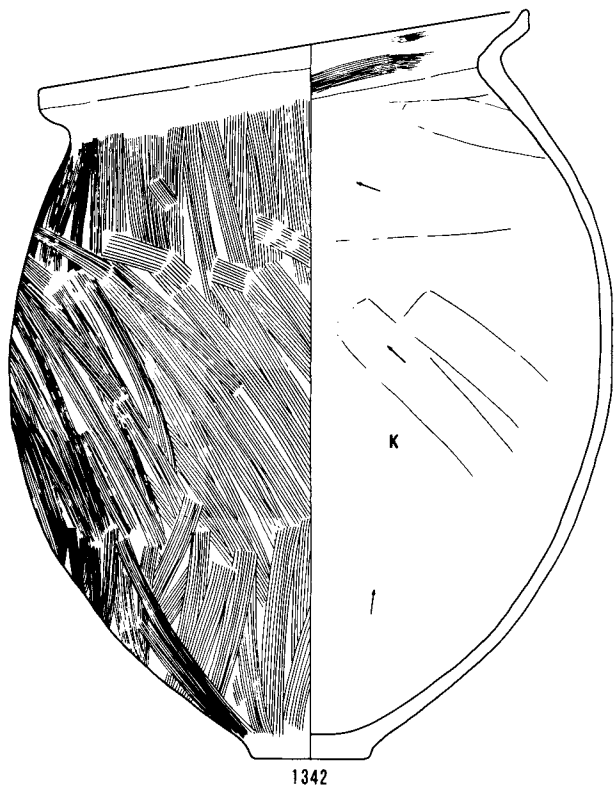
第44図 I-3号溝出土土器(29) (上部の下、甕(5))



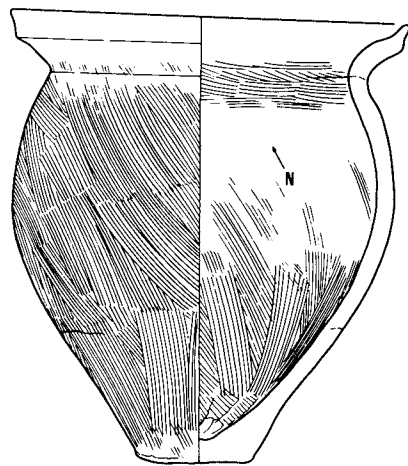
第45図 I-3号溝出土土器(30) (上部の下、甃(6))



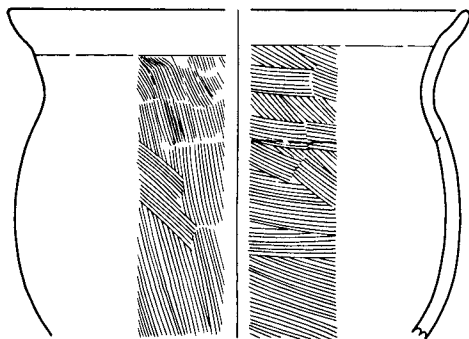
1336 第46図 I-3号溝出土土器(3) (上部の下、裏(7))



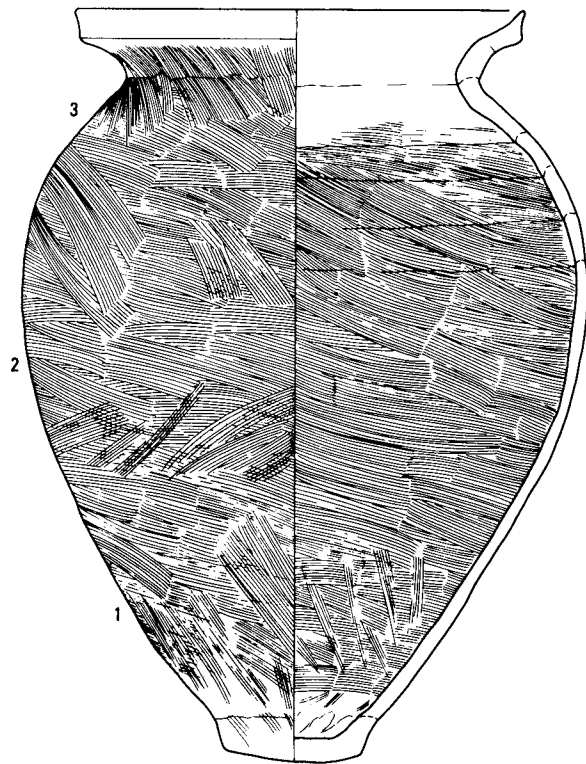
1342



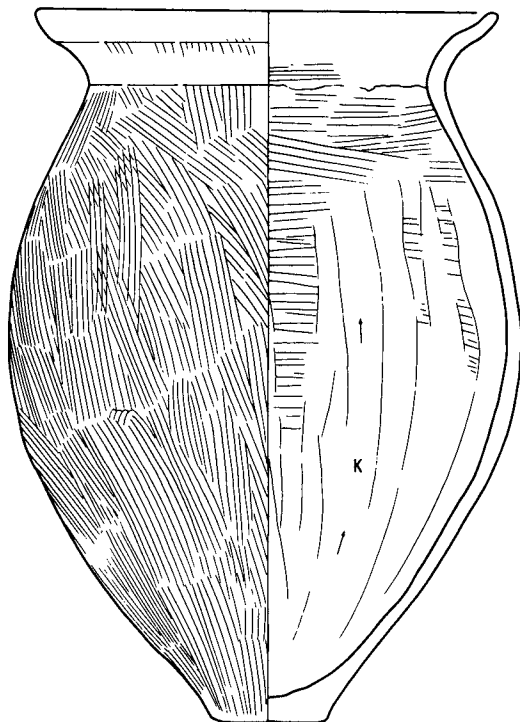
1345



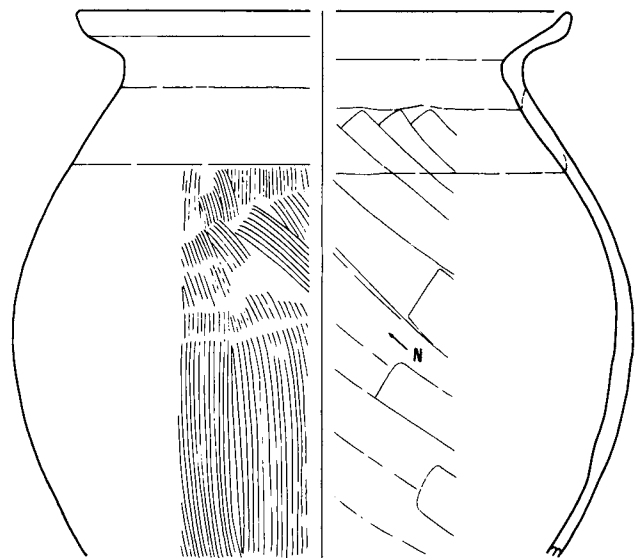
1343



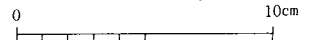
1346



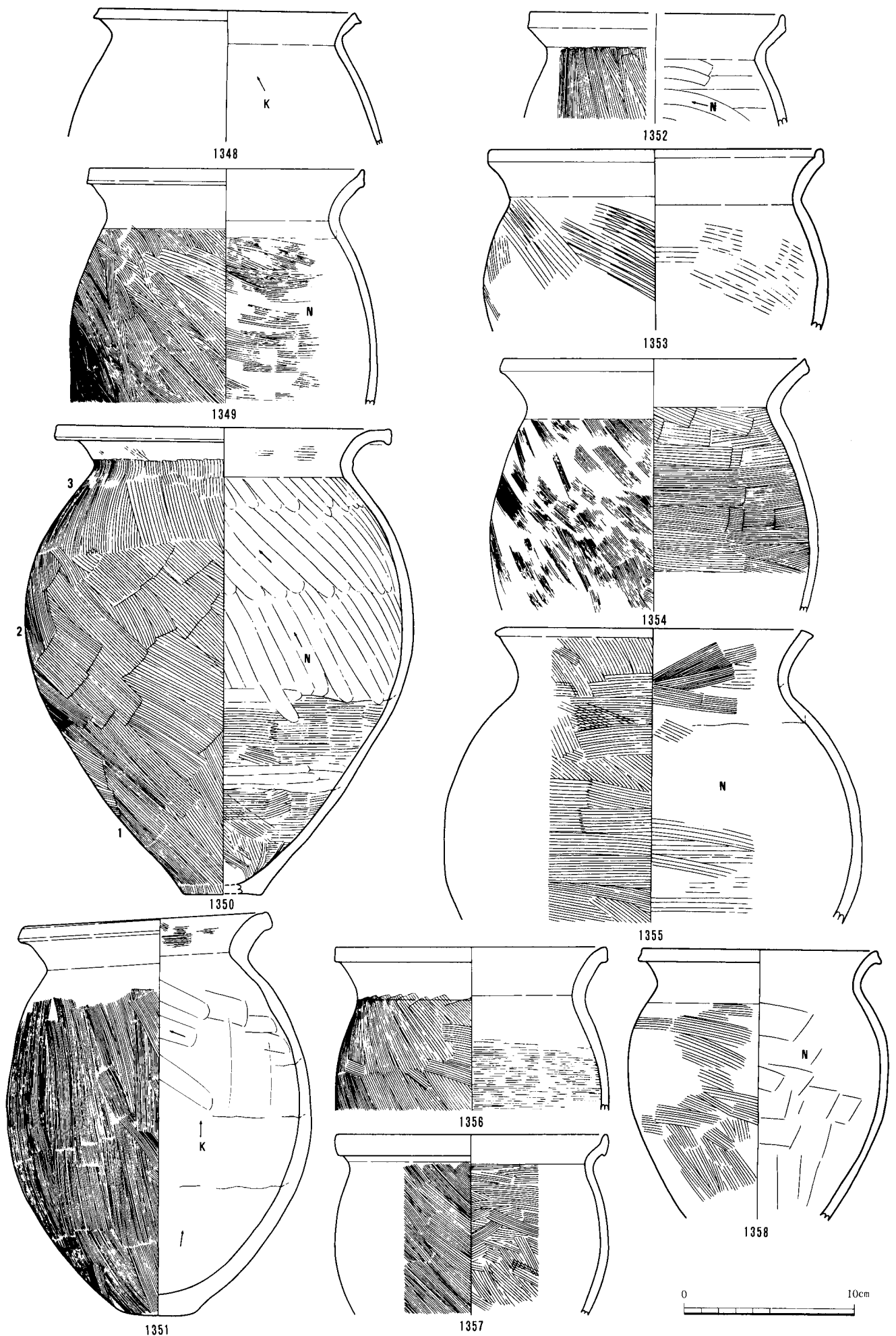
1344



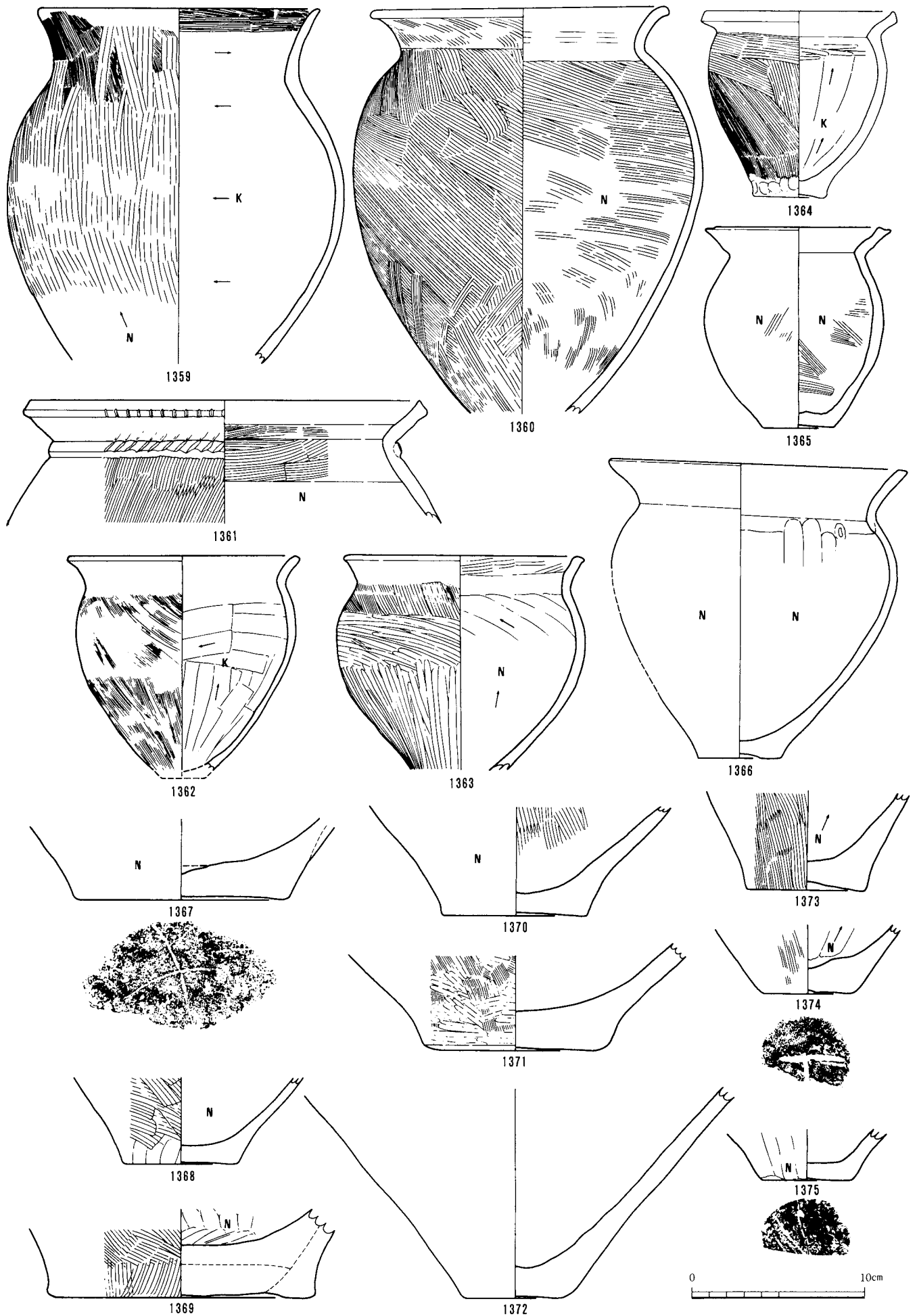
1347



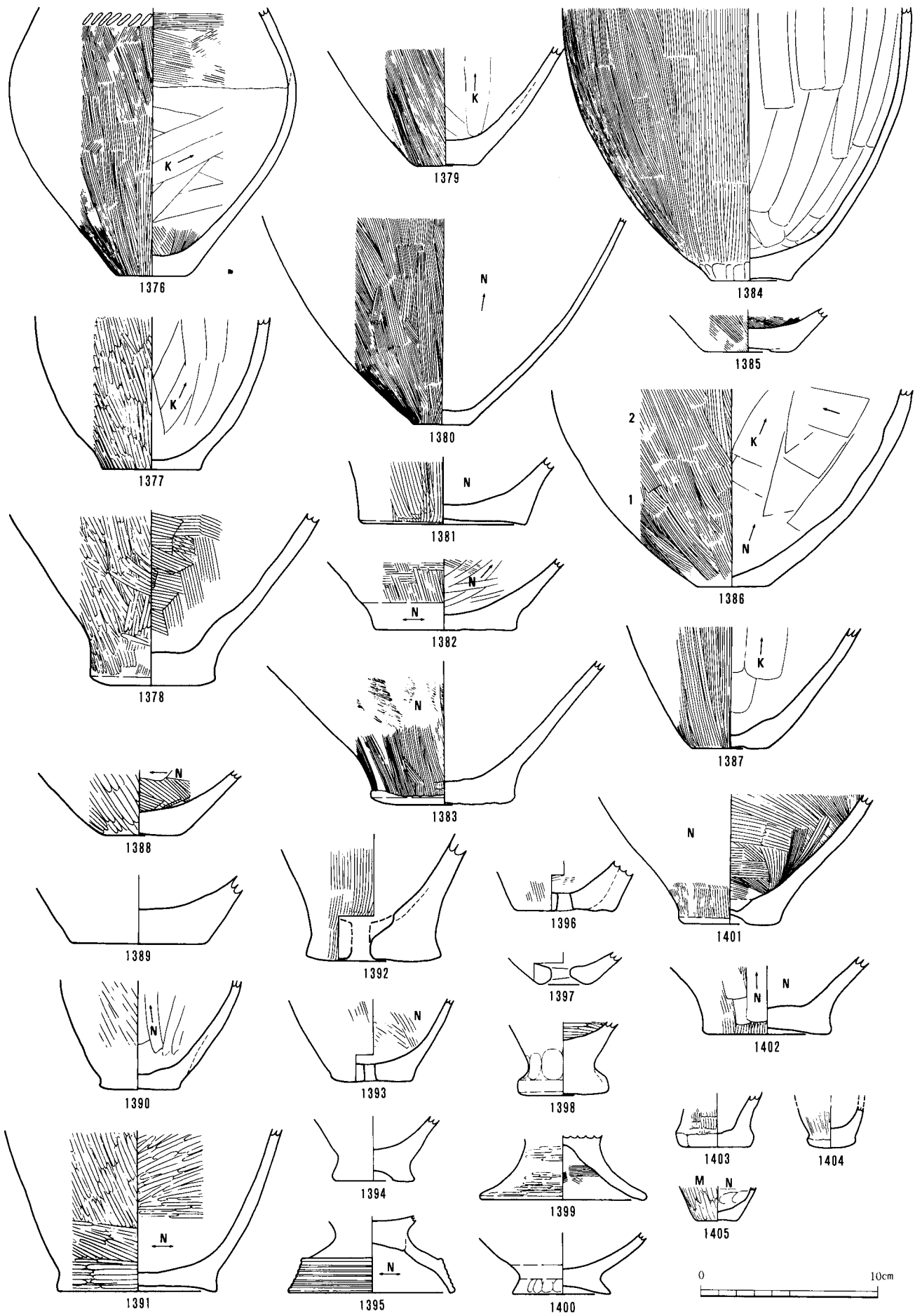
第47図 I-3号溝出土土器(32) (上部の下、甕(8))



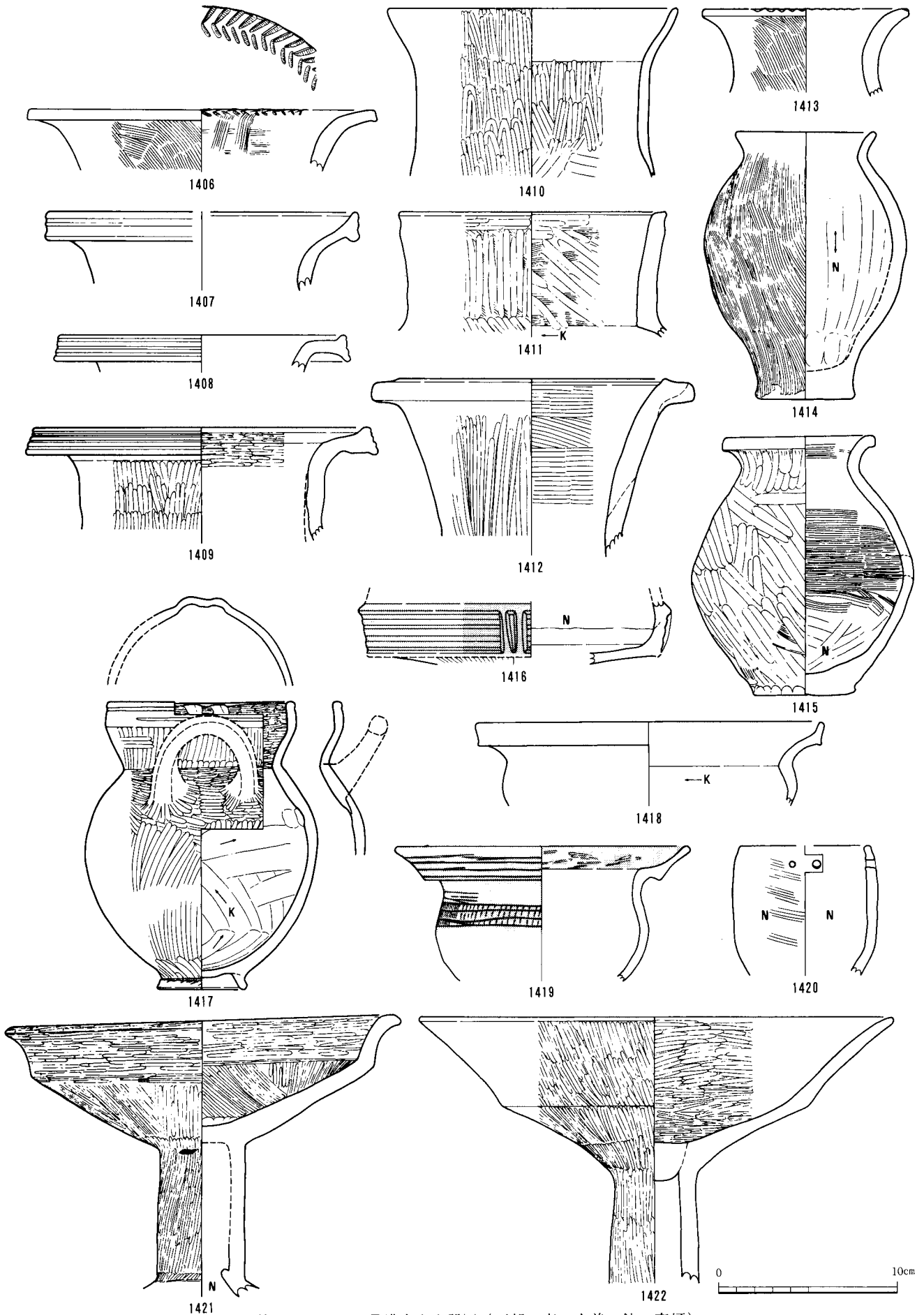
第48図 I-3号溝出土土器(3) (上部の下、甕(9))



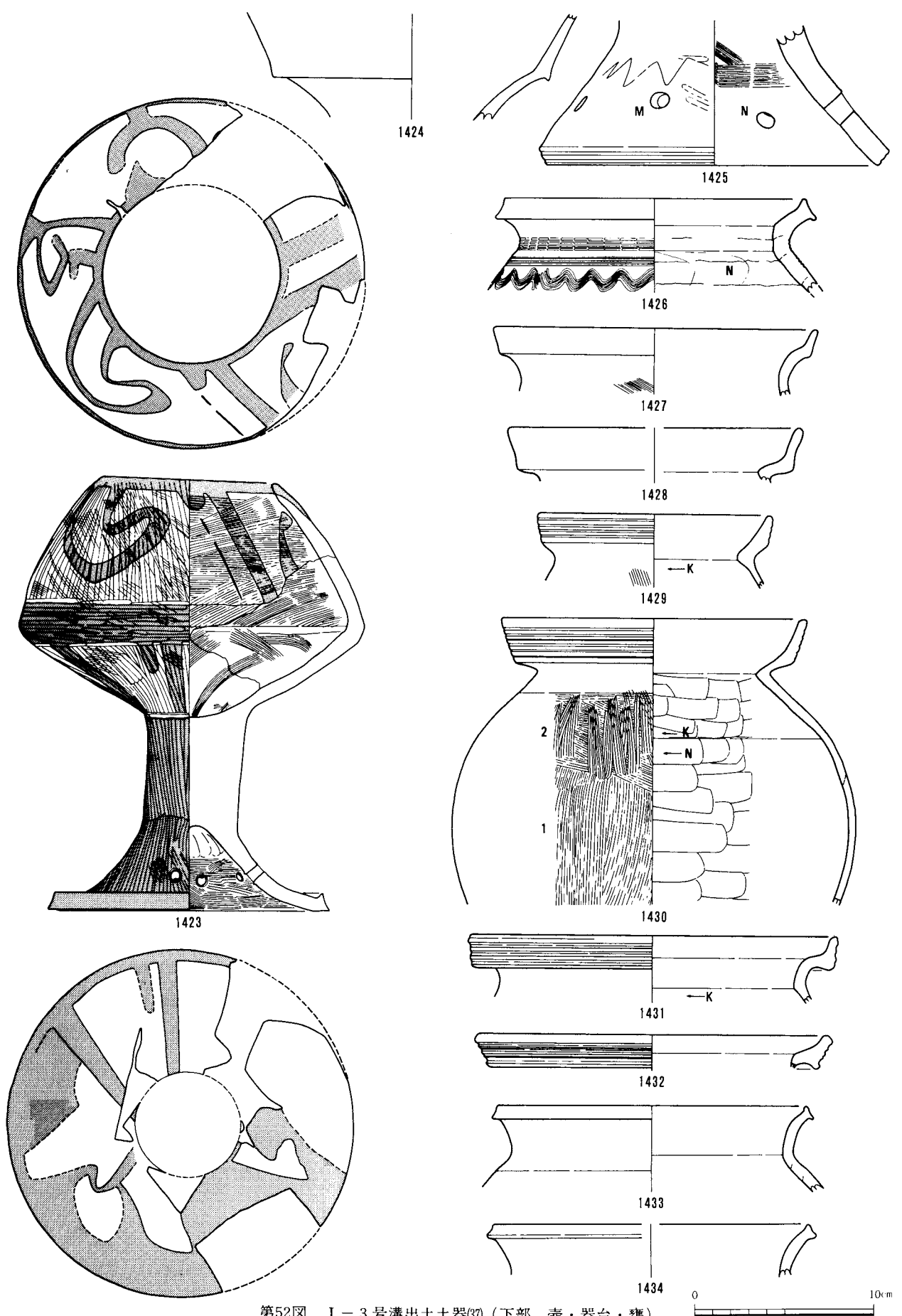
第49図 I-3号溝出土土器(34) (上部の下、甕(10)・(底部))



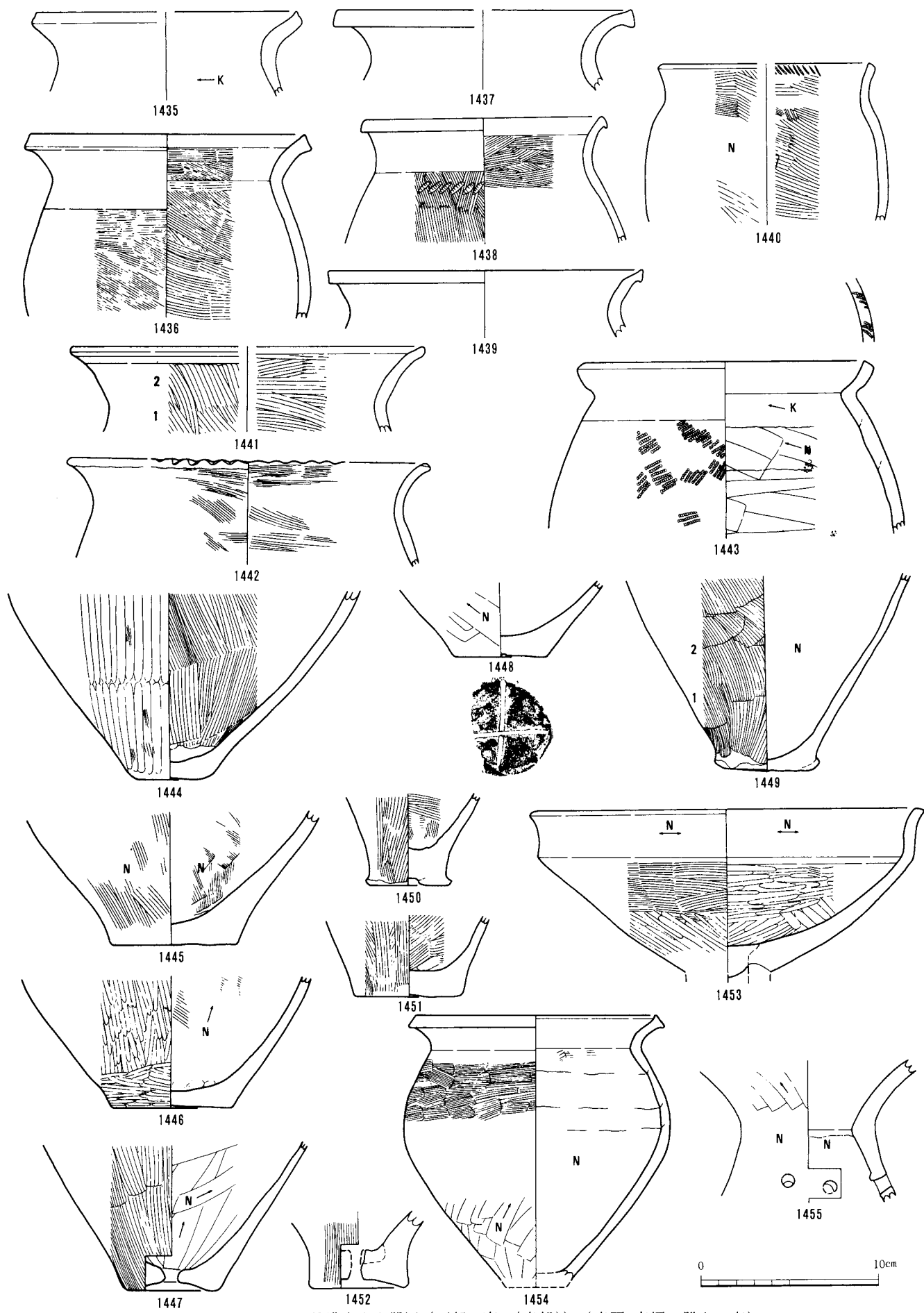
第50図 I-3号溝出土土器(35) (上部の下、(底部・脚部))



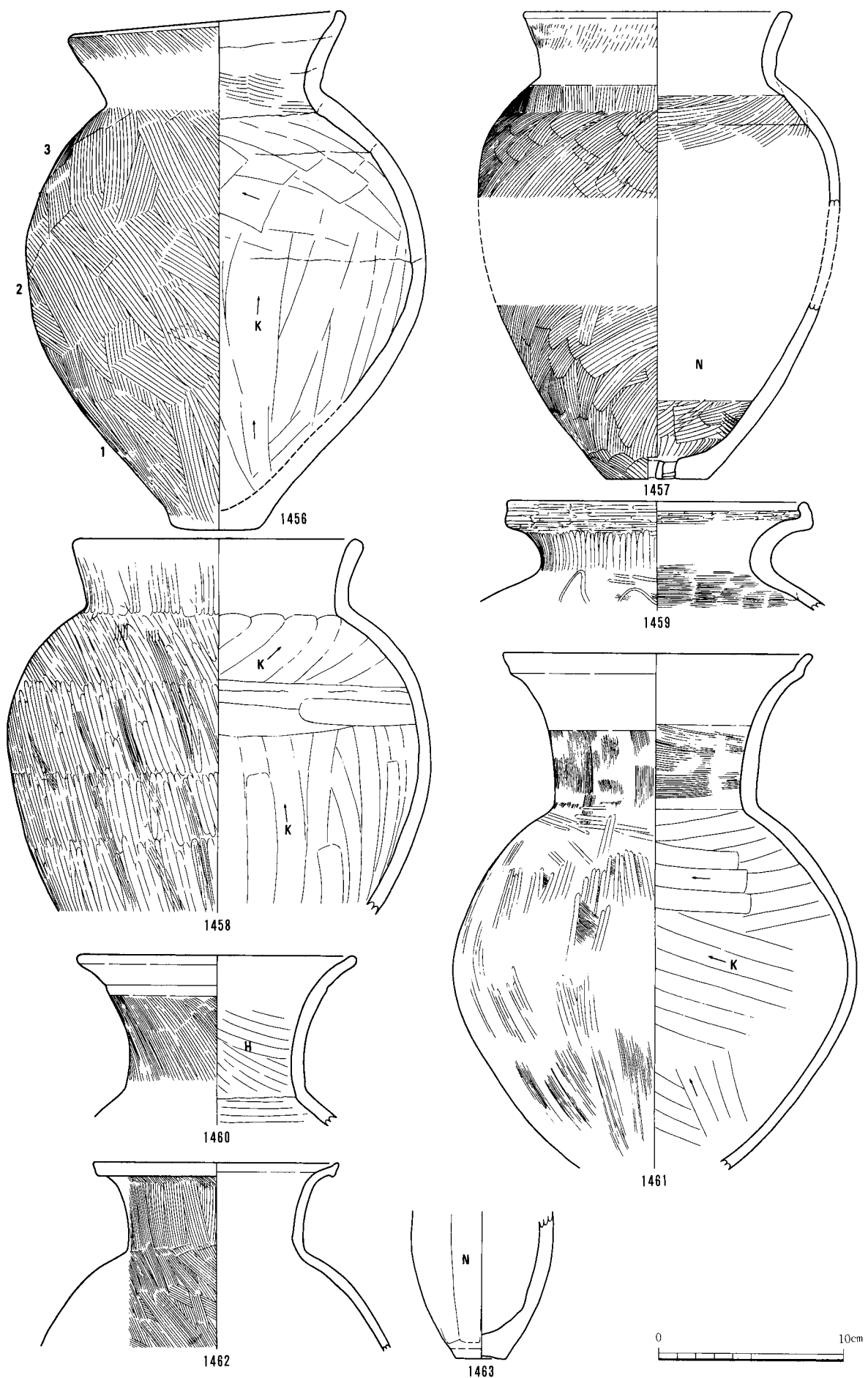
第51图 I-3号沟出土土器(36) (下部、壺・水差・鉢・高杯)



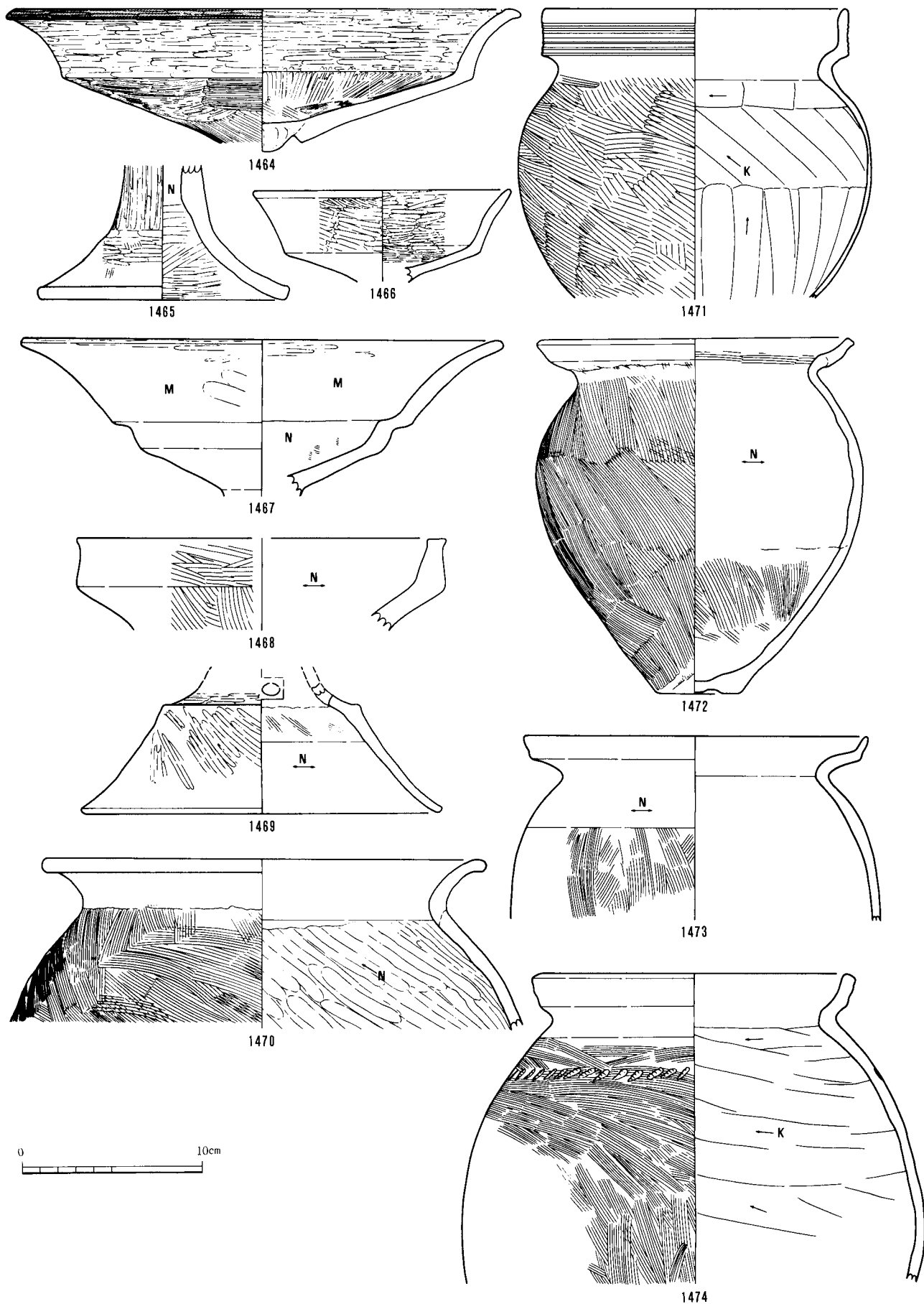
第52图 I-3号沟出土土器(37) (下部、壺・器台・甗)



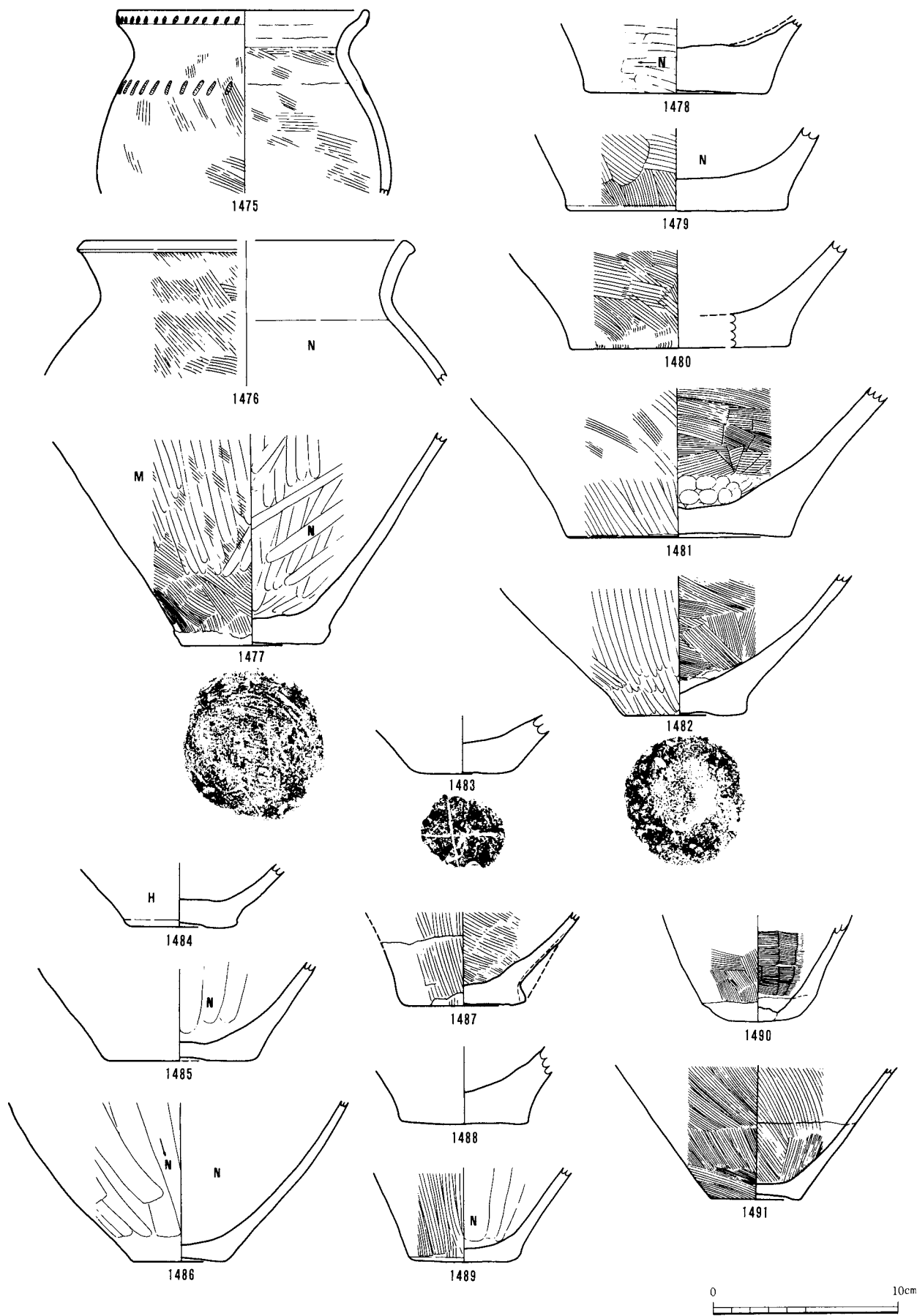
第53图 I-3号沟出土土器(38) (下部、甗·(底部)) (底面、高杯·器台·甗)



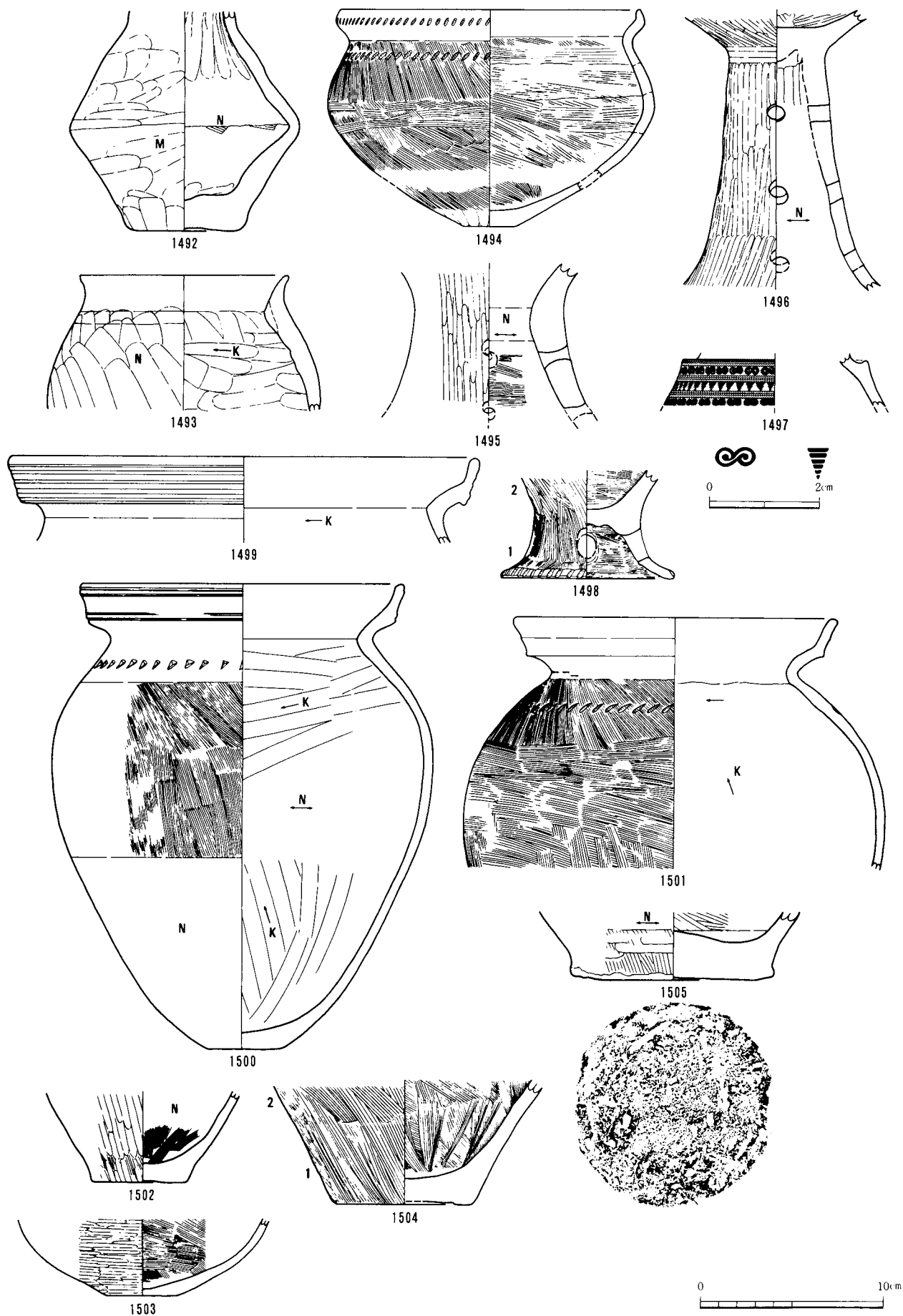
第54图 I-3号沟出土土器(39) (出土位置不明、壺(1))



第55図 I-3号溝出土土器(40) (出土位置不明、高杯又は器台・甕)



第56图 I-3号溝出土土器(4) (出土位置不明、甕・(底部))



第57図 I-3号溝出土土器(42) (出土位置不明、壺・鉢・高杯又は器台・甕・(底部))

5 O 調査区

(1) 調査区の概要

本遺跡東端部付近に位置する調査区である。排水路（第2-1号支線排水路）設置にかかり、幅3m、延長143m、面積約430㎡について昭和56年度に発掘調査を実施した。本調査区では、調査区北端の県道（若部・川原線）路肩を起点（T-0）とし、延長方向に10mごとに区分する小区（グリッド）を設定（T-1～14G.）した。さらに細かい位置については起点からの距離表示（m省略）を併用した。

調査区延長方向に沿った西壁側は、既設水路の掘削を受けていた。また、T-0～100までは耕地整理等によって遺構面の上端が削平されており、遺物包含層は存在しない。T-0～35付近は蓮田として利用されていたため、攪乱が顕著である。

本調査区の地形は北側2/3（T-0～101）が集落が立地可能な微高地で、遺構面は平坦化し、標高1.15m前後を測る。ただし、隣接するN調査区最高値は約1.2mであることから、少なくとも5cm程度は遺構面が削平されているようである。T-101以南は微高地との比高約0.6mを測る低湿地域が広がっている。

遺構はT-0～5区にみられ、北側（N調査区側）で分布密度がやや高い。主な検出遺構は土坑5、溝8、小穴約10であるが、弥生時代に遡るものは比較的少なく、時期不詳、あるいは近世以降の印象を受けた遺構が多い。全体的に出土遺物量は少なく、遺物箱数箱程度である。

(2) 遺 構

O-1号溝（第58、59図、図版17）

O-2～5にかけて北東方向に延びる幅1m前後の浅い溝。検出面からの深さ0.3m強を測る。上部には黒灰色粘砂、下部には汚れた地山砂が堆積している。覆土上部から土器片が少量出土（1507）した。弥生時代末～古墳時代初頭頃の遺構と推定される。

O-2号溝（第58、59図、図版17）

O-23～25にかけてほぼ東西方向に延びる。幅2.2～2.5m、検出面からの深さ0.4mを測る。本溝上部はO-6号溝の掘削で消滅している。土器片（1506）礫、板材、棒材（11、49）が少量出土した。弥生時代末～古墳時代初頭頃の遺構と推定される。

O-3号溝（第58図）

O-16～17にかけてほぼ東西方向に延びる。上端幅1.5m、検出面からの深さ0.2m強を測る。覆土はかなり攪乱を受けているが、弥生～古墳時代に一般的な土質である。湿入した土器細片が僅かに出土した。

O-4号溝（第58図）

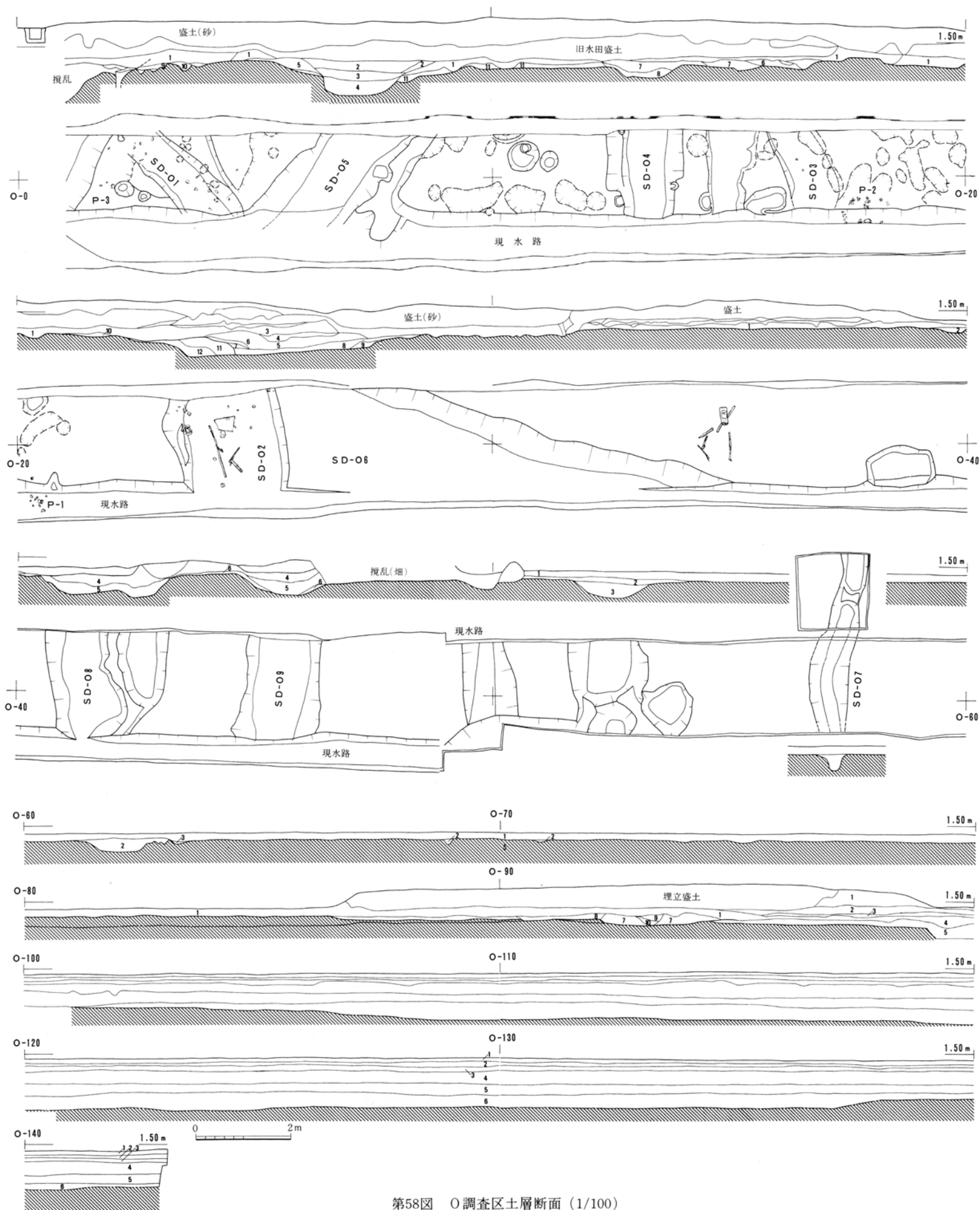
O-12～14にかけてほぼ東西方向に延びる。上端幅1.6m前後、深さ0.4m強を測る。出土遺物は皆無であった。覆土の状況から近世以降の可能性がある。

O-5号溝（第58図、図版18）

O-5～8にかけて北西方向に延びる。上端幅2m前後、深さ0.8mを測る。出土遺物は皆無であった。覆土の状況から近代以降のものである。

O-6号溝（第58図、図版17）

O-20～35にかけて北北東方向に延びる。幅3m弱、深さ0.5mと推定される。出土遺物は



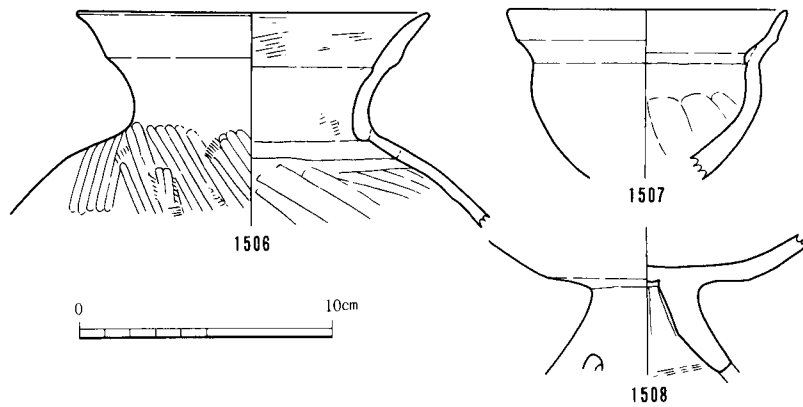
- O-0~20土層断面
1. 旧耕土攪乱層
 2. 暗褐色強粘 (硬、埋め戻した印象)
 3. 暗褐色強粘 (軟)
 4. 暗褐色強粘 (軟、 \uparrow より明るい)
 5. 灰褐色強粘
 6. 黒色粘砂に地山砂混入 (攪乱を受けた遺構覆土)
 7. 暗灰色砂、黒色粘砂塊、青灰色砂混在
 8. 黒灰色強粘
 9. SD-O1 覆土
 10. 淡青灰色砂
 11. 地山砂の攪乱

- O-20~40土層断面
1. 現代の攪乱層
 2. 地山砂に黒色砂混入 (層状堆積)
 3. 暗褐色強粘 (旧水田耕土)
 4. 暗灰色粘 (黒色強粘塊微混)
 5. 黒色強粘塊、地山砂、暗灰色粘混在
 6. 黒色強粘塊
 7. 5と同質
 8. 暗灰色強粘
 9. 暗褐色粘砂
 10. 地山砂に黒色粘砂混入
 11. 暗灰色粘に地山砂、黒色粘塊混入 (SD-O2)
 12. 汚れた緑灰色砂 (SD-O2)

- O-40~60土層断面
1. 耕土
 2. 暗褐色粘
 3. 黒褐色粘
 4. 明褐色強粘
 5. 暗灰色強粘
 6. 汚れた灰褐色細砂

- O-60~143土層断面
1. 耕土
 2. 床土 (黄褐色粘)
 3. 暗褐色粘
 4. 黒灰色強粘
 5. 淡灰色砂 (上部3cm粘質土混入)
 6. 暗青灰色細砂 (上部5cm粘砂)
 7. 灰色砂 (粗砂混入)
 8. 褐色粘
 9. 黒褐色粘砂
 10. 灰褐色砂

第58図 O調査区土層断面 (1/100)



第59図 O-1号溝(1507)、O-2号溝(1506)、O調査区遺物包含層等(1508)出土土器

皆無であり、覆土の状況から近世以降の可能性がある。

O-7号溝（第58図、図版18）

O-56～57にかけて、やや蛇行しつつ東西方向に延びる。幅0.8～0.5 m、検出面からの深さ0.4 mを測る。出土遺物は皆無であったが、覆土の土質から弥生～古墳時代に帰属する可能性が高い。

O-8, 9号溝（第58図）

いずれも近世以降の水路と考えられる。

6 U調査区

(1) 調査区の概要（第60～62図、図版19、20）

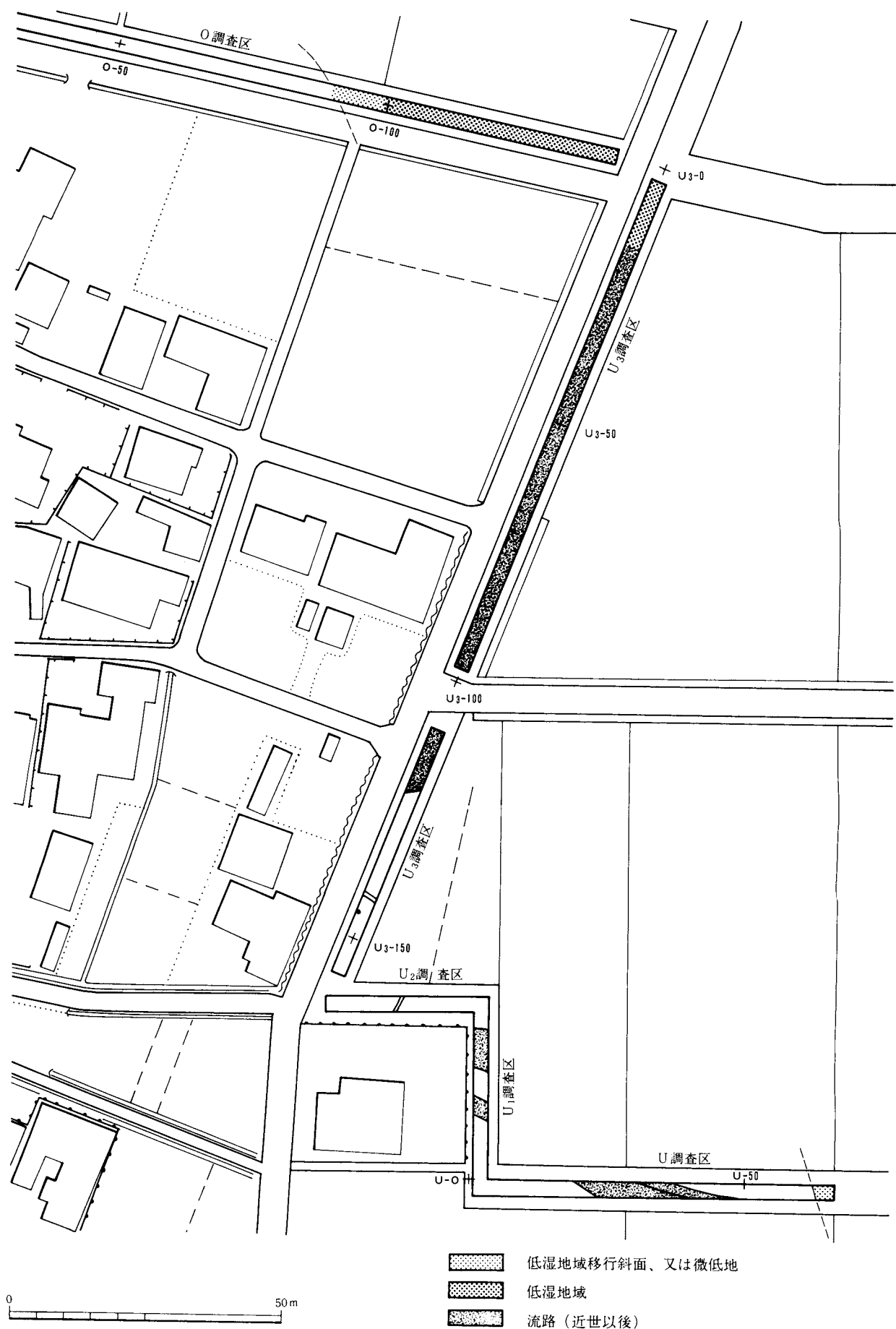
本遺跡東南端から南部付近に位置する調査区である。排水路（第6-1, 3号支線排水路）設置にかかり、幅約3 m、延長約280 mについて昭和57年度に発掘調査を実施した。現地調査の時点ではQ調査区（U₃区）、R調査区（U, U₁, U₂区）の名称を用いたが、市教委調査区との重複があり、報告書作成段階で名称を変更した。このため、遺構図原図、遺物等の記名は旧名称でなされている。

U₃区は調査区東端の第7-1号支線排水路中心線を起点（U₃-0）に、U区は第6-1号支線排水路屈折部を起点（U-0）とした。

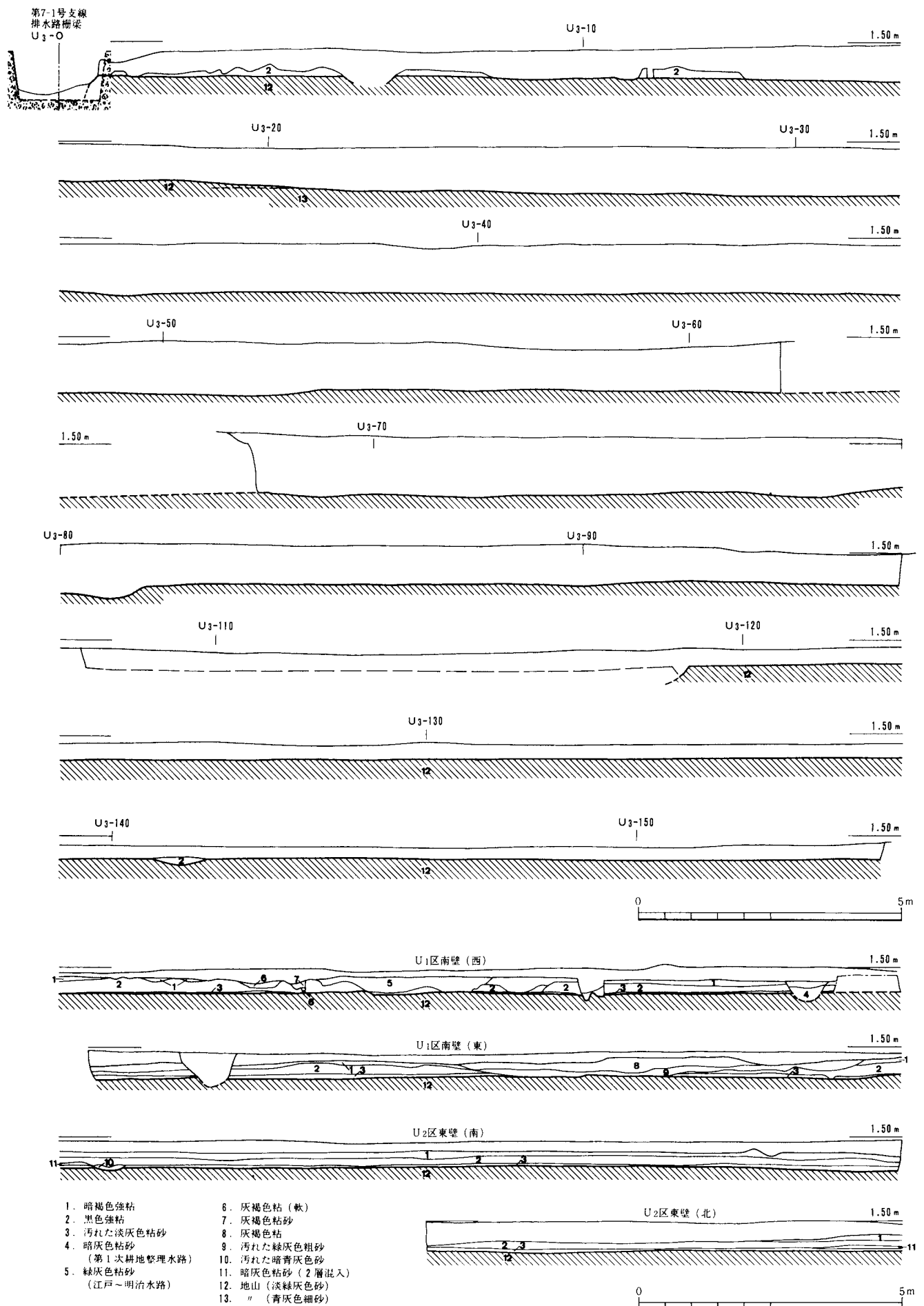
U₃区はU₃-15～122間が近世以降と考えられる旧河道として掘削されていたため、集落の立地しうる微高地の東南端は把握できなかった。U₃-123以西のU₃区は標高1.1 m弱、黄灰～淡緑灰色細砂を基盤とし、I, N, O調査区等と類似している。地質の点では集落の遺構が存在してもおかしくない地域であるが、U₃-140～150付近に幅約2 m、検出面からの深さ0.2 m前後の浅い溝1条と小穴を1箇所検出したのみである。

U₁, U₂区は調査区が現水路と重なったため、攪乱を受けた部分が多い。また、湧水が激しく遺構検出は十分にできなかったが、土層断面の観察では弥生～古墳時代の遺構はみられなかった。U₁区では近世以降の浅い水路2条を、U₁区では時期不詳の浅い溝1条を検出した。U₁, U₂区の地山面の標高は0.95～1.1 m弱でU₃, U区に比べ若干低位である。

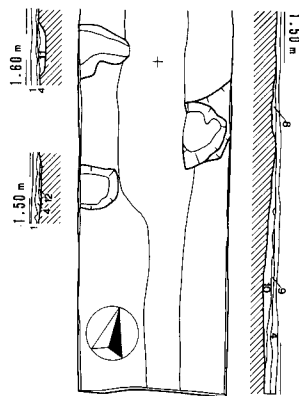
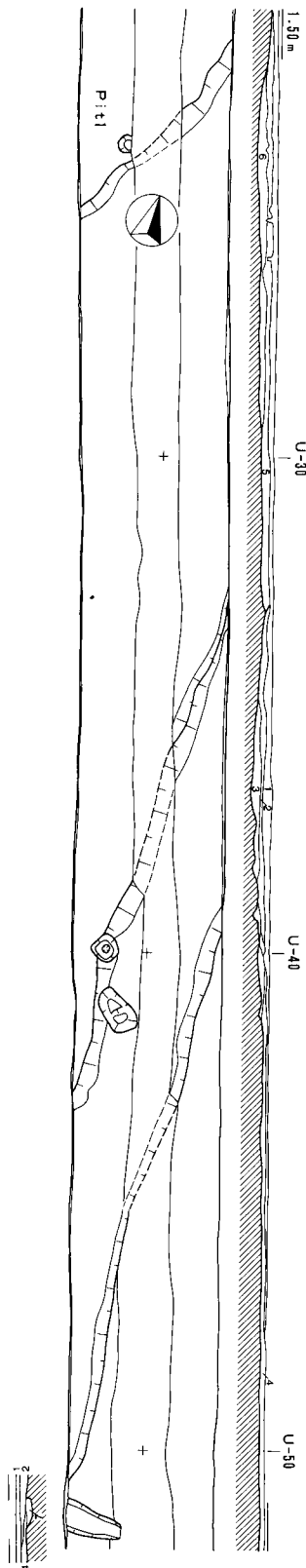
U区は黄灰～淡緑灰色細砂を基盤とする。地山面の標高は1.1～1.3 m弱で、U-0～60付近までの間は南方（S調査区方向）にむかって徐々に標高値が微増している。U区南端は南方に



第60図 U調査区位置図 (1/1,000)



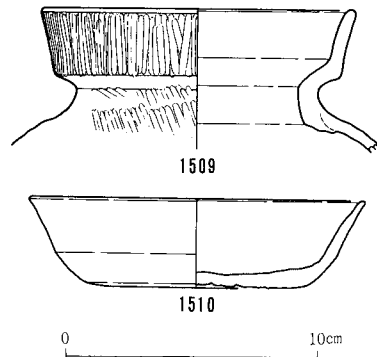
第61図 U₁~U₃調査区土層断面(1/100)



1. 耕土
2. 緑灰色砂に黄褐色粘混入
3. 緑灰色砂
4. 床土（灰色強粘）
5. 黒褐色強粘
6. 明オリーブ灰色強粘
7. 黒褐色粘に地山砂混入
8. 黒色粘砂（やや褐色おびる）
9. 汚れた緑灰色砂（黒色粘砂塊混入）
10. 汚れた緑灰色砂
11. 地山質砂と黒褐色粘砂が層状に堆積
12. 黒褐色粘砂に地山砂塊混入



第62図 U区（U-21～52, 59～66.5）遺構図（1/150）



第63図 U調査区出土土器

向かって緩く落ち込んでおり、S調査区北端との間約220mは低湿地が東側から入り込んでいると推定している。

本区はU₃区西部同様、地山の地質、標高の点では集落の遺構が存在してもおかしくない調査区であるが、弥生時代に遡る遺構としては南端付近に小土坑ないし溝が数基のみみられるだけである。U-20～50では近世以降の浅い水路2条を検出した。これらはU₁区検出の水路につながっている可能性が高い。

(2) 遺物（第63図）

全体に出土遺物は極めて少ない。前記U区南端付近小土坑からわずかに出土した弥生土器片、U-1号小穴（1510）以外には耕地整理等による混入品が少量発見された。

7 S 調査区

(1) 調査区の概要（第64, 65図）

遺跡の南部に位置する調査区である。排水路（第6-1号支線排水路）設置にかかり、幅3m、延長約180m、面積約550㎡について昭和57年度に発掘調査を実施した。なお、調査区途中の市道富永40号線横断暗渠部分については、既設暗渠により攪乱を受けているため調査区域から除外した。また、S-29区以南は現水路と重複しているため、一部は既に攪乱を受けていた。

本調査区では、延長方向に10mごとに区分する小区（グリッド）を設定した。さらに細かい位置については起点からの距離表示（m省略）を併用した。起点は当該排水路北端屈折部に設置し、U調査区の一部（U区）とは同一区分（距離表示）を行っている。

本調査区は県営ほ場整備事業にかかる分布調査によって新たに確認された地区であって、試掘坑の密度が粗く、その範囲は十分に把握できていない。特に北西部（遺跡中心部との接続部）は、ほ場整備地区外であって、範囲確認調査も全く行われていない。現段階ではR調査区付近から舌状に微高地が張り出し、その南端が本調査区付近にあたるものと考えている。

本調査区の生活面は最高所（S-27, 28区付近）で標高約1.5mを有し、遺跡中心部のH, I調査区に比べて約0.3m高位である。また、生活面は比較的平坦で、黄灰色ないし淡緑灰色細砂の基盤を厚さ約10cmの黒色粘砂層が覆っている。古墳時代以前の各遺構は黒色粘砂層中から掘り込んでいる。調査の際はこの黒色粘砂層と遺構覆土との識別が困難なため、遺構検出は黄灰色ないし淡緑灰色細砂層上端まで下げておこなった。

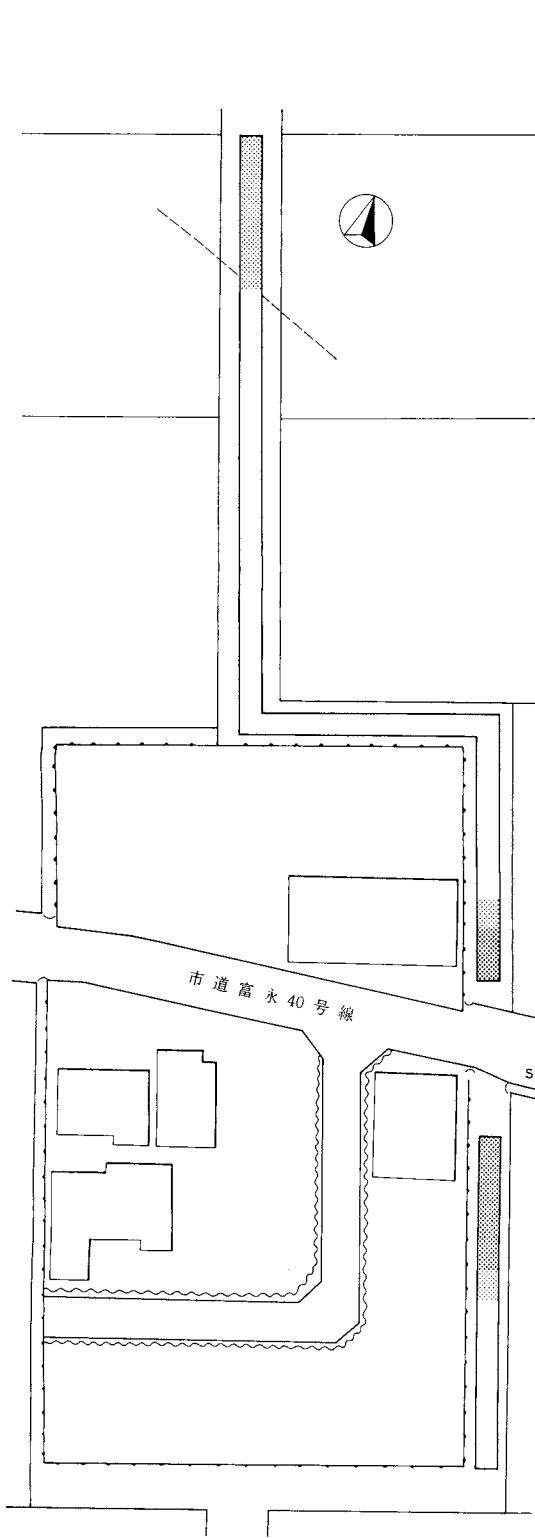
調査区の延長方向で見た場合、北部では、S-18, 19区で緩やかな落ち込みが見られ、低湿地に移行している。南部ではS-31区から市道富永40号線道路敷きをはさみ、S-36区にかけて、旧河道と考えられる大規模な落ち込みがみられる。調査区の延長方向で幅50m強、遺構面からの深さは市道北側のS-32区で最大0.5m、南側のS-35区で平均0.4mを測る。この落ち込みの時期の特定はまだできていない。覆土には弥生土器も少量含まれるが、上端の層位からはそれより新しいとすべき所見を得ている。ただ、この落ち込みの南側（S-35, 36区）は遺構密度が低く、出土土器に古墳時代以後のものが含まれ、基盤の土質も北側と異なっている。したがって、この落ち込みが集落の南限を画するものである可能性も否定できない。

近世以後と考えられるものを除いた検出遺構は、土坑48、井戸1、柱穴・小穴30以上、および溝17であって、ほとんどがS-22~29区に集中している。本調査区はH, M調査区とならび遺構密度が最も高く、また時期的にも弥生時代後期後葉から古墳時代初頭の短期に限られている。本遺跡では、弥生時代後期末葉以降の遺構は他調査区ではまとまって発見されておらず、集落内での居住域の移動をうかがわせている。

(2) 遺 構

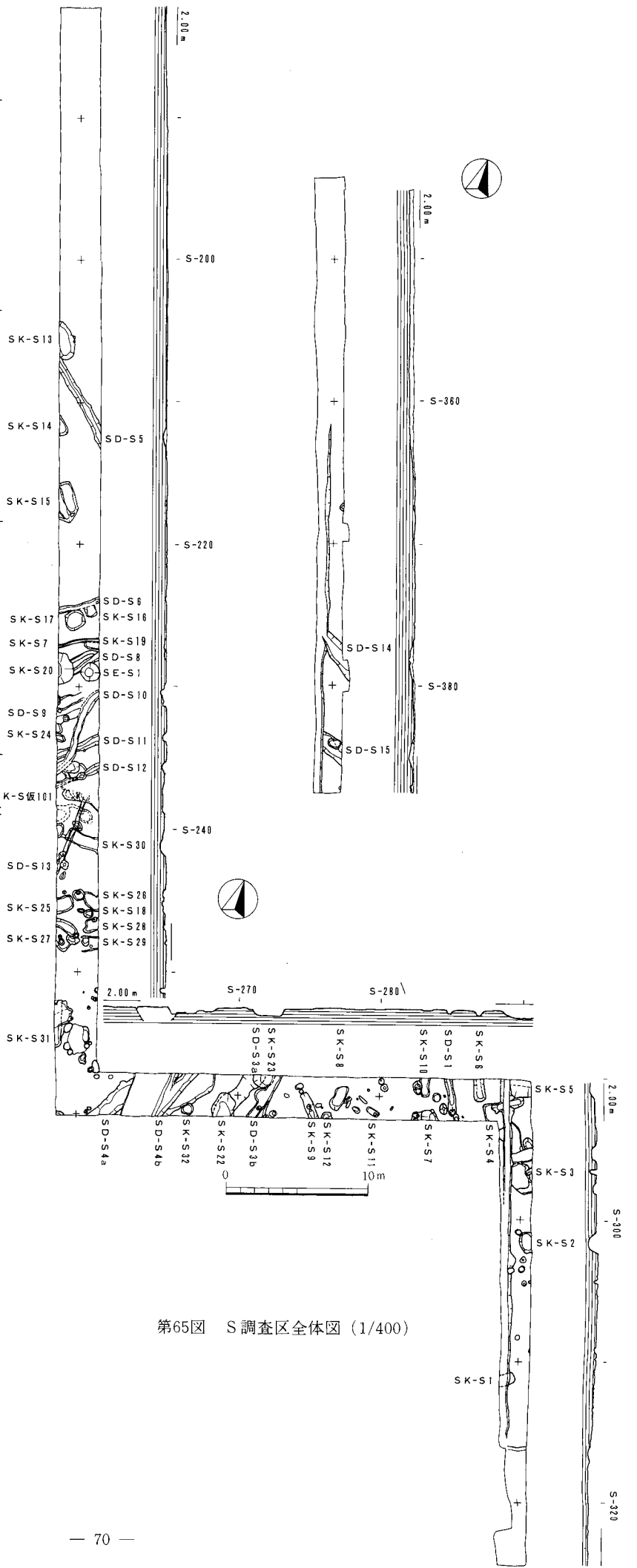
本調査区検出遺構は、狭長なトレンチ調査のため完掘したものは少ない。したがって主要な遺構のみ以下に記し、その他については一覧表（第2表）にまとめた。

各遺構の変遷を示すため、時期については、弥生時代後期後葉から古墳時代初頭にかけての能登地域での土器編年にしたがって、本調査区に限定してI~IVの小期に区分し、一覧表に付した。ただし、この区分はあくまで相対的な新古の目安であって、時代区分や時期幅を端的に示



低湿地域移行斜面
 又は微低地
 低湿地域

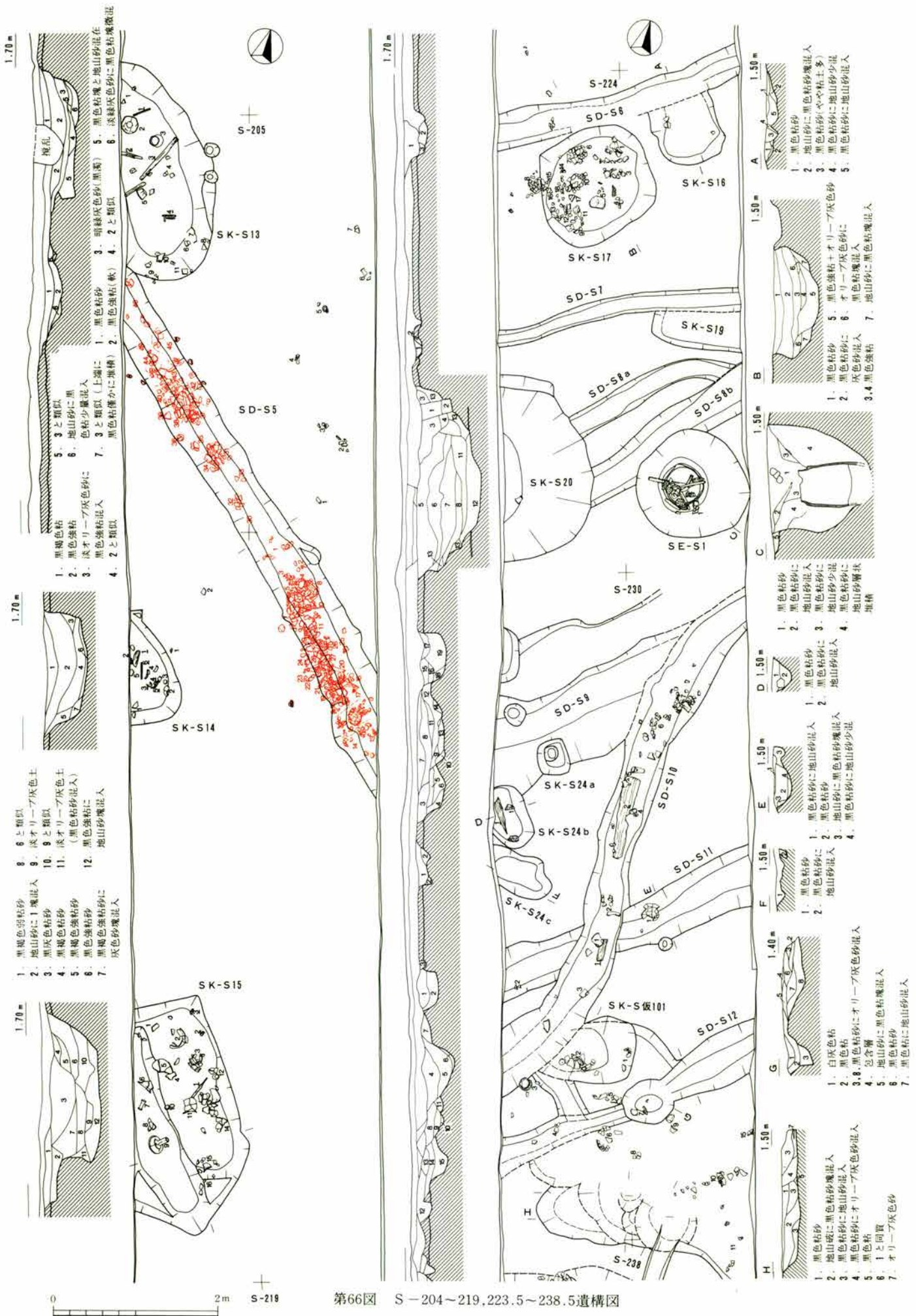
第64図 S調査区位置図 (1/1,000)



第65図 S調査区全体図 (1/400)

第2表 S調査区遺構一覧表

遺構名	位置		時期	小期 区分	発掘 範囲	備考 (各遺構の新古関係は覆土の切り合いによる)	掲載 土器番号
	小区	距離表示					
S-1号土坑	S-31G.	(S-311)	不詳	?	部分掘	用水路により西側消失。	
S-2号土坑	S-30G.	(S-300~302)	古墳時代初頭	IV	部分掘		1511~1522
S-3a号土坑	S-29G.	(S-293~295)	弥生時代後期後葉	II	部分掘	3a号土坑より古。	
S-3b号土坑	S-29G.	(S-294~295)	弥生時代後期後葉	II	全掘	3c号土坑より新。	
S-3c号土坑	S-29G.	(S-294~295)	弥生時代後期後葉	II	部分掘		1523~1551
S-3d号土坑	S-29G.	(S-296~298)	弥生時代後期後葉	II	部分掘	3c号土坑より古。	(3b号土坑は1533~1551)
S-3e号土坑	S-29G.	(S-293~295)	弥生時代後期後葉?	II?	部分掘	3d, 3f号土坑より新。	
S-3f号土坑	S-29G.	(S-297~298)	弥生時代後期後葉?	II?	部分掘		
S-4a号土坑	S-29G.	(S-291)	弥生時代後期後葉?	I?	完掘		
S-4b号土坑	S-28G.	(S-288~289)	弥生時代後期後葉?	I?	完掘	4a号土坑の続きか。	1552~1555
S-4c号土坑	S-28G.	(S-287~289)	弥生時代後期後葉	I	部分掘	深さ0.2m弱、土器僅少。	
S-5号土坑	S-29G.	(S-290~291)	弥生時代後期後葉	I	部分掘		1556~1603
S-6号土坑	S-28G.	(S-287)			部分掘	長さ1.6m以上、幅0.8m、深さ0.5m。土器、棒材、板材。	
S-7a号土坑	S-28G.	(S-284)	弥生時代後期後葉?	I又はII	部分掘	幅0.8m以上、土器僅少。	1604
S-8号土坑	S-28G.	(S-286~287)	弥生時代後期末葉	III	完掘		1605~1620
S-9号土坑	S-27G.	(S-274~275)	弥生時代後期後葉	I?	部分掘	長さ2.1m以上、幅0.7m、深さ0.5m。土器少。	1621
S-10a号土坑	S-28G.	(S-283)	弥生時代後期後葉	II?	完掘	10b号土坑より新。	1622, 1623
S-10b号土坑	S-28G.	(S-283)	弥生時代後期後葉	I又はII?	部分掘	10a号土坑より古。	
S-11号土坑	S-27G.	(S-279)			完掘	長さ0.9m強、幅0.4m強、深さ0.4m。土器少。	
S-12号土坑	S-27G.	(S-276)			部分掘	幅0.8m以上、深さ0.5m弱。	
S-13号土坑	S-20G.	(S-204~207)	弥生時代後期後葉	I	部分掘		1627~1634
S-14号土坑	S-21G.	(S-211~212)	弥生時代後期後葉	I	部分掘	深さ0.5m。土器、棒材他。	1624~1626
S-15号土坑	S-21G.	(S-215~218)	弥生時代後期後葉	I, III	部分掘		1635~1649
S-16号土坑	S-22G.	(S-224~225)			完掘	6号溝より古。土器僅少。	
S-17号土坑	S-22G.	(S-224~226)	弥生時代後期後葉	I	完掘		1650~1652, 1655~1660
S-18号土坑	S-24G.	(S-244~245)			部分掘	26号土坑より古。深さ0.2m。	
S-19号土坑	S-22G.	(S-227)			部分掘	S-7号溝より古。遺物なし。	
S-20号土坑	S-22G.	(S-222~224)			部分掘	8号溝より新?。幅2.3m強、深さ0.8m弱。土器僅少	
S-21号土坑	S-27G.	(S-271~272)			完掘	3b号溝との新古関係不明。深さ0.4m。土器	
S-22号土坑	S-27G.	(S-271~272)			部分掘	S-3b号溝より古	
S-23号土坑	S-27G.	(S-271~272)	弥生時代後期後葉	I	完掘	S-3b号溝より古。遺物なし。	
S-24a号土坑	S-23G.	(S-232)			完掘	柱穴か	
S-24b号土坑	S-23G.	(S-232~233)			部分掘	9号溝より古。長さ0.8m弱、深さ0.3m。礫、木片。	
S-24c号土坑	S-23G.	(S-233)			部分掘	幅0.5m、深さ0.2m弱。	
S-25号土坑	S-24G.	(S-244~245)	弥生時代後期後葉	I又はII	部分掘	幅1.1m、深さ0.3m弱。土器僅少。	1661
S-26号土坑	S-24G.	(S-244)			完掘	18号土坑より新。0.8×0.8m、深さ0.2m。柱穴と重複。	
S-27a号土坑	S-24G.	(S-246~247)			部分掘		
S-27b号土坑	S-24G.	(S-247~248)	弥生時代後期後葉	II~III?	完掘		1662~1666
S-27c号土坑	S-24G.	(S-246~248)	~後期末葉		部分掘		
S-28号土坑	S-24G.	(S-246~247)			部分掘	深さ0.2m。土器僅少。	
S-29a号土坑	S-24G.	(S-247~248)			部分掘	29b号土坑より新。掘り方不明瞭。	
S-29b号土坑	S-24G.	(S-247~248)	弥生時代後期後葉?	I?	完掘	柱穴か。板材。	
S-30a号土坑	S-24G.	(S-240~241)			部分掘	長さ0.2m。土器僅少。	
S-30b号土坑	S-23,24G.	(S-239~240)	弥生時代後期後葉	I又はII	完掘	13号溝より古?。板材。	
S-30c号土坑	S-23,24G.	(S-239~240)			部分掘	長さ1.0m、深さ0.4m。	
S-30e号土坑	S-23G.	(S-238~239)			完掘	13号溝より古?。0.9×0.9m、深さ推定0.3m。	
S-31a号土坑	S-25G.	(S-252~255)	弥生末~古墳初頭	III~IV	部分掘	31b, c号土坑より新。全長3.5m以上、深さ0.3m。	
S-31b号土坑	S-25G.	(S-252~254)	弥生時代後期後葉	I	部分掘	31c号土坑より新。幅推定1.0m、深さ推定0.3m強。	1667~1685
S-31c号土坑	S-25G.	(S-252~254)	弥生時代後期後葉	I	部分掘		
S-32号土坑	S-26G.	(S-266)	弥生時代後期後葉?	I?	完掘	0.9×0.7m、深さ0.1m。土器僅少。	1686
S-101号土坑	S-23G.	(S-235~236)	弥生時代後期後葉?	II?	完掘	10号溝より新。	1687
S-1号井戸	S-22G.	(S-223~224)	弥生時代後期後葉	I	完掘	8b号溝より新。桶転用井戸枠。	1688~1690
S-1号溝	S-28G.	(S-284~285)	弥生時代後期後葉?	I?	部分掘	幅0.45m~0.55m、深さ最大0.3m。土器、軽石。	1691, 1692
S-3a号溝	S-26,27G.	(S-268~271)			部分掘	22号土坑より新。幅1.0m~1.5m、深さ約0.2m。土器少。	1698, 1709
S-3b号溝	S-27G.	(S-270~273)	弥生時代後期後葉	I主体	部分掘	23号土坑より新。幅約0.6m、深さ約0.4m。土器、板材、棒材。	1699~1712
S-4a号溝	S-26G.	(S-260~265)	弥生時代後期後葉	I, III	部分掘	幅1.3~1.4m、深さ0.5m。木製品、土器少。	1713~1735
S-4b号溝	S-26G.	(S-264~267)	・古墳時代初頭		部分掘	幅推定1m弱、深さ0.3m弱。土器、木製遺物若干。	
S-5号溝	S-20,21G.	(S-207~213)	弥生時代後期後葉	I主体	部分掘	幅0.7~0.8m、深さ0.2m強。土器多。	1736~1764
S-6号溝	S-22G.	(S-223~224)			部分掘	16号土坑より新。幅0.4~0.5m、深さ0.1~0.2m。	
S-7号溝	S-22G.	(S-226~227)			部分掘	23号土坑より新。幅0.3m強、深さ0.1m強。	
S-8a号溝	S-22G.	(S-227~228)			部分掘	8b号溝より古。幅0.3m前後、深さ0.2m弱。	
S-8b号溝	S-22G.	(S-227~229)			部分掘	8a号溝より新。1号井戸より古。幅0.4m強、深さ0.2m弱。	
S-9号溝	S-23G.	(S-230~232)			部分掘	包含層上面からの別遺構のため詳細不明。深さ推定0.3m。	
S-10号溝	S-23G.	(S-230~236)	弥生時代後期後葉	I	部分掘	幅0.4~0.7m、深さ0.4m強。土器、建築部材。	1765~1772
S-11号溝	S-23G.	(S-233~235)	弥生時代後期後葉?	I?	部分掘	10号溝より古。幅0.5~0.7m、深さ0.3m前後。土器少。	1773
S-12号溝	S-23G.	(S-233~237)			部分掘	幅0.5~0.6m、深さ0.3m。	
S-13号溝	S-23,24G.	(S-237~243)			部分掘	幅0.4m、深さ0.2m弱。	
S-14号溝	S-37G.	(S-376~379)			部分掘	幅1.1m強、深さ0.4m弱。	
S-15号溝	S-38G.	(S-383~385)			部分掘	幅1.1~1.2m、深さ0.3m。	



第66図 S-204~219, 223.5~238.5遺構図

S-223.5~238.5西壁（第66図）土層説明

S-223.5~227.5西壁(S D-S 6,7)	S-230.5~234西壁(S K-S 24c, b, S D-S 9)	S-234~238西壁(S D-S 9,10,12)
1. 黒色粘砂	1,3,7,13,16 黒色粘砂	1. 明オリブ灰色砂に黒色粘砂混入
2. 地山砂に 黒色粘塊混入	2,4 オリブ灰色砂に黒色粘混入	2,4,15 黒色粘
3. 1と同質	5. オリブ灰色砂に黒色粘砂混入	3. オリブ灰色砂に黒色粘塊混入
S-227.5~230.5西壁(S K-S 20)	6,12 黒色粘	5,9 黒色粘にオリブ灰色砂少混
1. 黒色強粘	8,15,17 黒色粘にオリブ灰色砂混入	6,10 地山砂に黒色粘砂混入
2. 明オリブ灰砂に黒色粘塊混入	9. 明オリブ灰色砂	7. 黒褐色粘砂
3. 1と同質	10. オリブ灰色砂	8. 黒色粘砂
4. 黒褐色粘砂	11. 9に黒色粘混入	11. 黒色粘砂に地山砂混入
5. 黒色粘	14. 9に黒色粘砂混入	12. 黒灰色粘砂
6. 2と同質	18. 黒色粘砂に地山砂混入	13. 灰赤色粘
7. 5と同質	19. 地山砂に黒色粘塊微混	14. 黒色粘砂にオリブ灰色砂少混
8. 黒褐色粘		
11. 2と同質		
12. 黒色粘砂		
13. オリブ灰砂に黒褐色粘少混		

すものではないことを断っておく。

I 小期は本調査区 S-5 号土坑出土土器群を指標とし、柳田うわの式(柳田うわの遺跡溝 A)に該当する。同土坑出土土器群よりもやや先行するとみられるものも含めた。II 小期は S-3 b 号土坑出土土器群を指標とし、鹿首モリガフチ式(鹿首モリガフチ遺跡 T 18、奥原遺跡 2, 3, 4, 6 号住居址)に該当する。III 小期は本調査区 S-8 号土坑出土土器群を指標とする。能登地方では良好な資料が少なく、北加賀地方の月影 II 式の範疇に含まれる。

IV 小期は本調査区 S-2 号土坑出土土器群を指標とする。同坑以外では出土土器にまとまりを欠くため、下限は判然とせず、I, II 小期に比べればややあいまいである。概ね徳前 C 遺跡第 2 群土器と併行する。

S-2 号土坑(第 69, 71, 72, 133 図、図版 24, 74, 75, 92)

S-311 に位置する。平面形は楕円形を呈し、上端での規模は長径 1.7 m、短径推定 1.2 m、覆土上端からの深さ 0.7 m 測る。土器、木製品(建築部材(43)等)が出土した。土器は主に 7~10 層から甕を主体とする大形の破片がつぶれた状態で出土し、完形品(1512)を含む。本遺構出土土器は、従来本遺跡ではあまりまとまって出土土器したことのない、古墳時代初頭頃の一括性の高い土器群である。

S-3 a~f 号土坑(第 69, 72~74 図、図版 25, 26, 75, 76)

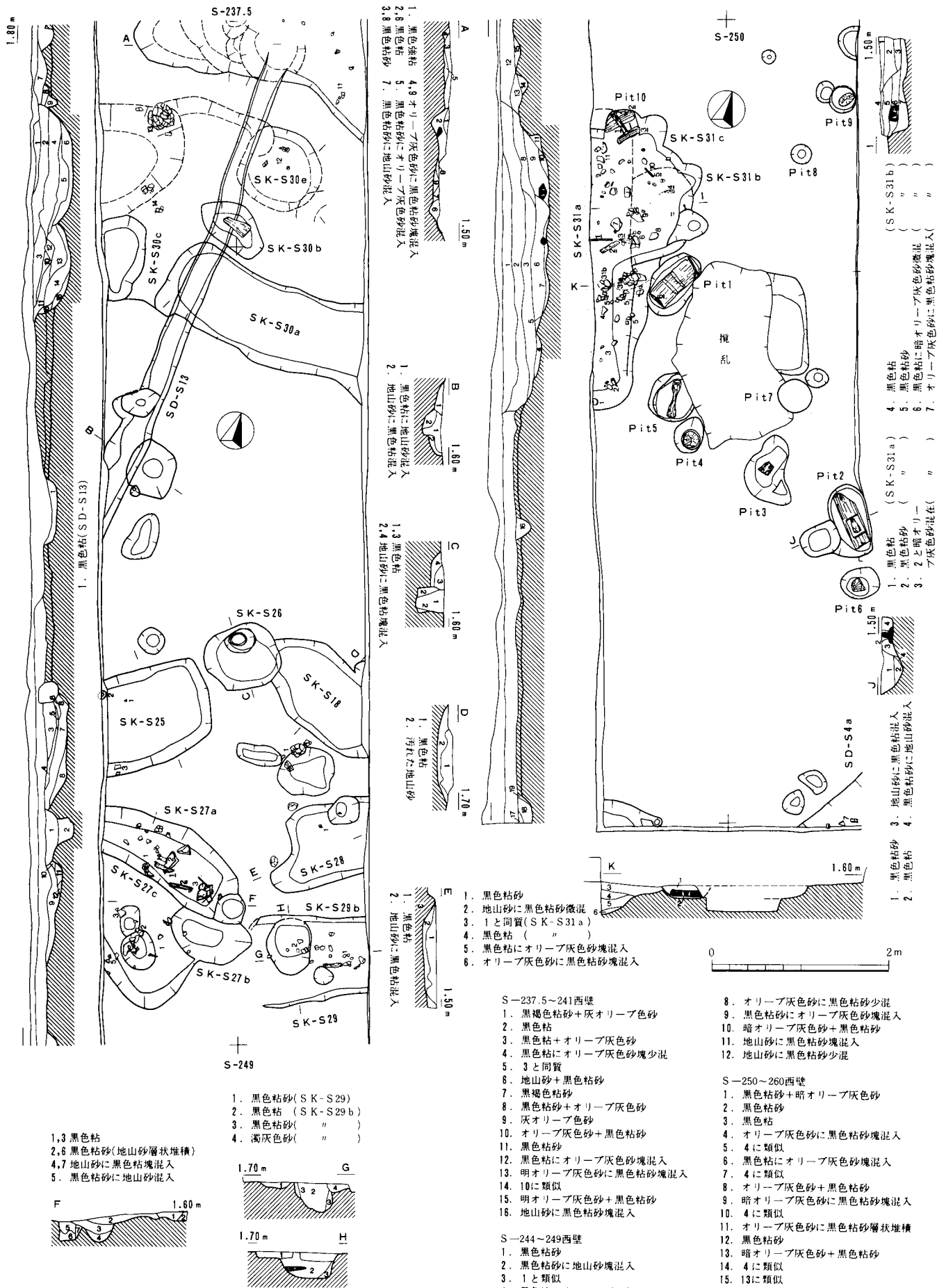
S-293~298 にかけて 6 基の土坑(3 a~3 f 号土坑)が重複している。各遺構の切り合いでは c→b、a→c、d→c、d・f→e の新古関係が確認できたが、出土土器からは 1527, 1529 の上面出土品を除けば、各遺構の時期差はあまり無いものと考えられる。3 b 号土坑は短径 0.7 m、深さ 0.4 m 弱を測る小形の長円形土坑である。下層(覆土第 4 層)には土器はほとんど含まれず、第 2 層中から集中して土器が出土した。この層は厚さ 5 cm 弱で、植物痕を含んだ黒色粘質土からなり、大形の土器片が重なりあっていた。おそらく一気に遺棄されたものであり、弥生時代後期後葉の良好な一括遺物である。

S-4 a, b 号土坑(第 69, 74 図、図版 26)

S-288~291 に位置し、中央を現水路に切られているが、本来は一つの土坑であろう。全長 2.4 検出面からの深さ 0.3 m を測る。出土遺物は少ない。

S-5 号土坑(第 69, 75~77, 129 図、図版 27, 76, 90)

S-290~291 に位置する。深さ 0.4 m 以上、大形の土坑であろう。底部には厚さ 3~4 cm で植物痕が密に堆積し、下部からは主に木製品が、上部では土器がつぶれた状態で出土した。他に灰白色土塊が出土した。木製品の多くは棒材、板材で焼け焦げたものがめだつ。これらに混じって出土した 2 点の鉄斧(手斧)柄(6, 7)は現在のところ県内最古のものである。本坑



第67図 S-237.5~249, 251~260遺構図

1. 黒色粘結 4,9 オリーブ灰色砂に黒色粘砂塊混入
 2,6 黒色粘 5. 黒色粘砂にオリーブ灰色砂混入
 3,8 黒色粘砂 7. 黒色粘砂に地山砂混入

1. 黒色粘に地山砂混入
 2. 地山砂に黒色粘混入

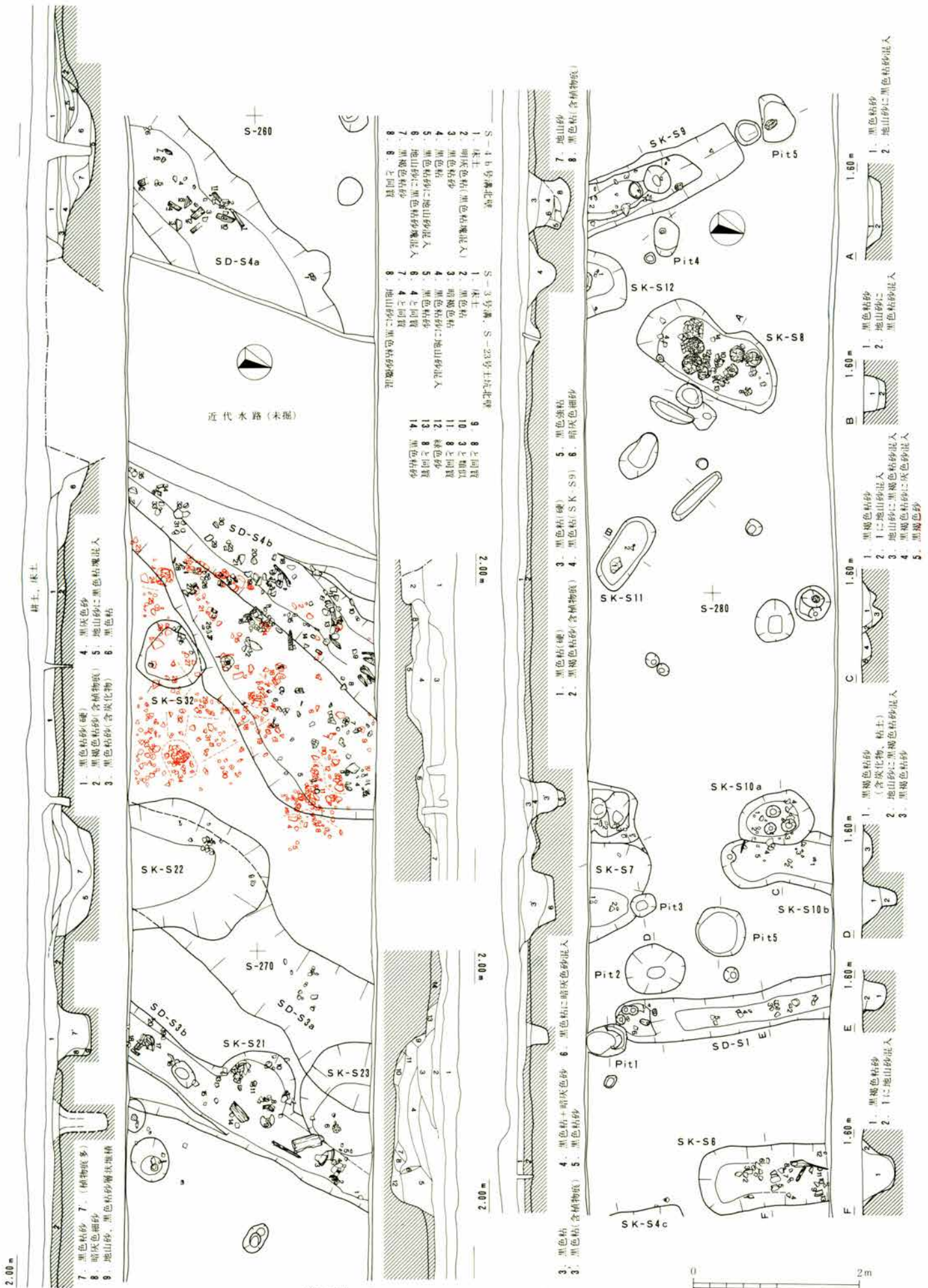
- 1,3 黒色粘
 2,4 地山砂に黒色粘塊混入

1. 黒色粘
 2. 汚れた地山砂

1. 黒色粘砂
 2. 地山砂に黒色粘砂塊混入
 3. 1と同質(SK-S31a)
 4. 黒色粘
 5. 黒色粘にオリーブ灰色砂塊混入
 6. オリーブ灰色砂に黒色粘砂塊混入

- S-237.5~241西壁
 1. 黒褐色粘砂+灰オリーブ色砂
 2. 黒色粘
 3. 黒色粘+オリーブ灰色砂
 4. 黒色粘にオリーブ灰色砂塊混入
 5. 3と同質
 6. 地山砂+黒色粘砂
 7. 黒褐色粘砂
 8. 黒色粘砂+オリーブ灰色砂
 9. 灰オリーブ色砂
 10. オリーブ灰色砂+黒色粘砂
 11. 黒色粘砂
 12. 黒色粘にオリーブ灰色砂塊混入
 13. 明オリーブ灰色砂に黒色粘砂塊混入
 14. 10に類似
 15. 暗オリーブ灰色砂+黒色粘砂
 16. 地山砂に黒色粘砂塊混入
- S-244~249西壁
 1. 黒色粘砂
 2. 黒色粘砂に地山砂塊混入
 3. 1と類似
 4. 黒色粘+暗オリーブ灰色砂
 5. オリーブ灰色砂に黒色粘砂層状堆積
 6. 1と類似
 7. 黒色粘砂+暗オリーブ灰色砂
- S-250~260西壁
 8. オリーブ灰色砂に黒色粘砂少混
 9. 黒色粘砂にオリーブ灰色砂塊混入
 10. 暗オリーブ灰色砂+黒色粘砂
 11. 地山砂に黒色粘砂塊混入
 12. 地山砂に黒色粘砂少混
- S-251~260西壁
 1. 黒色粘砂+暗オリーブ灰色砂
 2. 黒色粘砂
 3. 黒色粘
 4. オリーブ灰色砂に黒色粘砂塊混入
 5. 4に類似
 6. 黒色粘にオリーブ灰色砂塊混入
 7. 4に類似
 8. オリーブ灰色砂+黒色粘砂
 9. 暗オリーブ灰色砂に黒色粘砂塊混入
 10. 4に類似
 11. オリーブ灰色砂に黒色粘砂層状堆積
 12. 黒色粘砂
 13. 暗オリーブ灰色砂+黒色粘砂
 14. 4に類似
 15. 13に類似
 16. 4に類似
 17. 黒色粘砂+オリーブ灰色砂
 18. 4に類似
 19. 4に類似(黒色粘砂やや少)



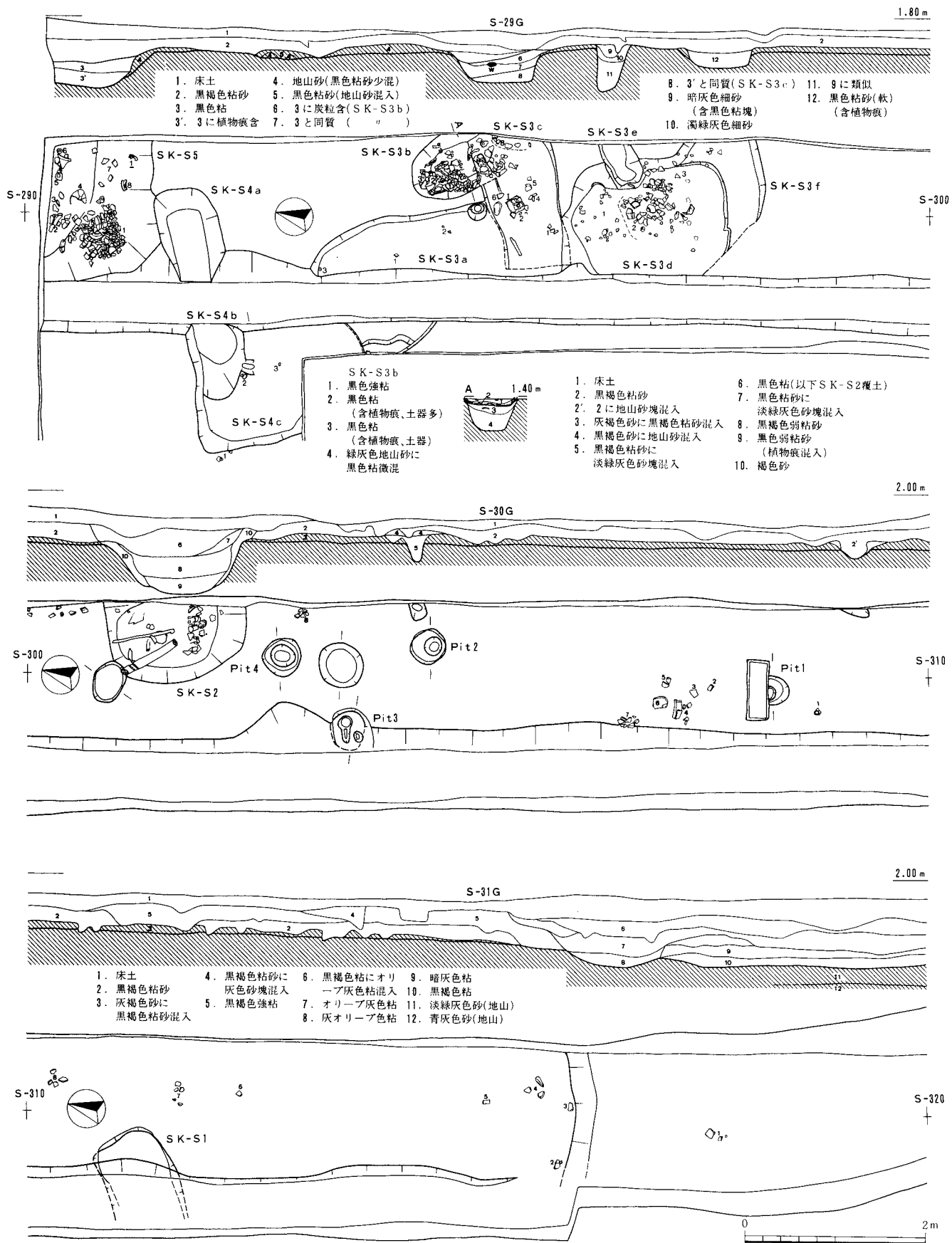


- S-4号溝北岸
1. 床土
 2. 明灰色粘(黒色粘混入)
 3. 黒色粘砂
 4. 黒色粘
 5. 黒色粘砂に地山砂混入
 6. 地山砂に黒色粘砂混入
 7. 黒褐色粘砂
 8. 黒色粘
- S-3号溝、S-23号土坑北岸
9. 8と同質
 10. 3と類似
 11. 8と同質
 12. 緑色砂
 13. 8と同質
 14. 黒色粘砂

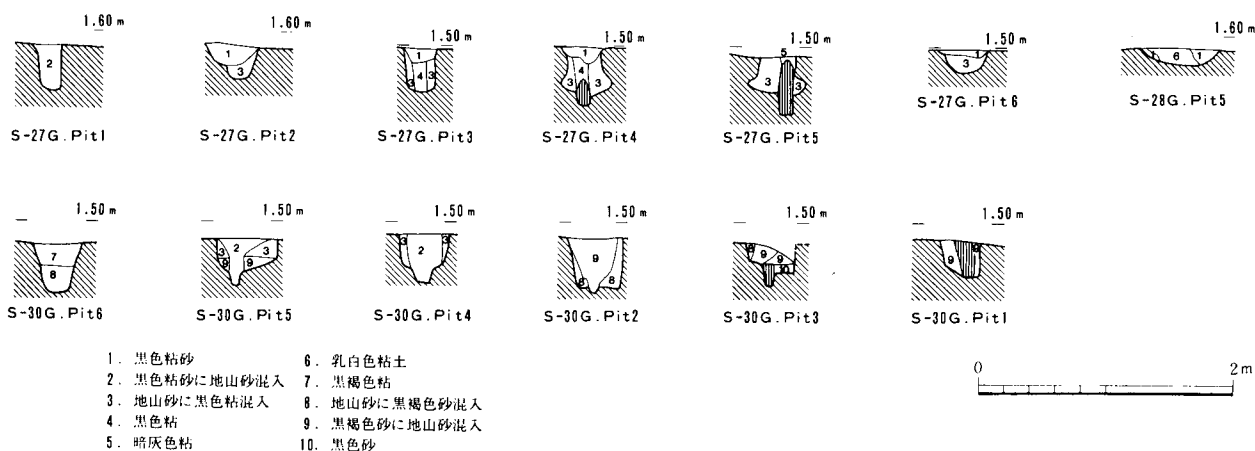
1. 黒色粘(硬)
2. 黒褐色粘砂(含植物灰)
3. 黒色粘(硬)
4. 黒色粘(SK-S9)
5. 黒色粘
6. 暗灰色細砂
7. 地山砂
8. 黒色粘(含植物灰)

- A
1. 黒褐色粘砂
 2. 地山砂に黒色粘砂混入
 3. 地山砂に黒褐色粘砂混入
 4. 黒褐色粘砂に灰色砂混入
 5. 黒褐色粘砂
- B
1. 黒褐色粘砂
 2. 地山砂に黒色粘砂混入
- C
1. 黒褐色粘砂
 2. 1に地山砂混入
 3. 地山砂に黒褐色粘砂混入
 4. 黒褐色粘砂に灰色砂混入
 5. 黒褐色粘砂
- D
1. 黒褐色粘砂(含炭化物、粘土)
 2. 地山砂に黒褐色粘砂混入
 3. 黒褐色粘砂
- E
1. 黒褐色粘砂
 2. 1に地山砂混入
- F
1. 黒褐色粘砂
 2. 地山砂に黒褐色粘砂混入

第68図 S-260~274.274~297.5遺構図



第69図 S-290~320遺構図



第70図 S調査区検出小穴

はS調査区では最古の時期に属する。

S-8号土坑(第68, 78図、図版28, 77)

S-286~287に位置し、完掘した数少ない土坑である。平面形は歪んだ隅丸長方形を呈し、上端での規模1.8×0.9mを測り、本来の深さは0.3m前後と推定できる。覆土第1層からはほぼ原形を保った状態の土器が出土した。各土器の上端は後世の削平によって欠失しているが、完形品を含む大破片を意図的に並べた可能性が高い。本坑出土土器は本遺跡の弥生時代後期末葉の標識となる良好な資料である。また、このタイプの土坑は本遺跡ではA調査区の弥生時代中期のものに類例があるが、該期のものとしては唯一である。

S-13号土坑(第66, 79図、図版29, 30, 77, 78)

S-204~207に位置する。平面形は3×1.5mの楕円形と推定でき、深さ0.5mを測る、しっかりとした土坑である。S-5号土坑と同時期の土器片および木製品が少量出土した。

S-15号土坑(第66, 80, 81図、図版30, 78)

S-215~218に位置する。平面形は不整形で、最大長2.9m、深さ0.7mを測る。覆土断面の観察では3基以上の土坑が重複しているが、湧水のため区分できなかった。覆土上半部から土器片および木片が出土した。土器は2時期に分かれ、1635, 1636, 1639~1642はS-5号土坑(弥生時代後期後葉)、1648を除く残りについてはS-8号土坑(弥生時代後期末葉)と併行する。

S-17号土坑(第66, 81, 129図、図版31, 78, 79, 90)

S-224~226に位置する。平面形は1.5×1.3mの歪んだ円形を呈し、検出面からの深さ0.6m弱を測る。底面近くの覆土第5層(黒色強粘+オリーブ灰色砂)から木包丁(1)が出土し、また、最上部からわりあいまとまって土器(遺構平面図3~18)が出土した。覆土下部の遺物(遺構平面図1, 2)は少ない。S-5号土坑と並行する、弥生時代後期後葉に属する遺構である。

S-27a~c号土坑(第67, 82, 131図、図版32, 90)

S-246~248に位置し、3基の土坑(27a~27c号土坑)が重複している。各遺構の切り合いからb→c→aの新古関係が確認できた。遺物は27a号土坑(1664, 1665)、27c号土坑(1662, 1663, 1666)から土器片が、27a号土坑から腐朽した有頭棒(30)等が出土した。

S-31 a～c号土坑（第67、83図、図版32、79）

S-252～254に位置し、3基の土坑（31 a～31 c号土坑）が重複している。各遺構の切り合いからc→b→aの新古関係が確認でき、31 a号土坑は生活面のかなり上部から掘り込んでいる。各土坑とも部分的な調査のため全容を明らかにできないが、31 a号土坑は全長3.5 m以上の大形の土坑である。また、これらの土坑と重複する柱穴との切り合いでは、礎板をもつS-25区 pit 1は31 a号土坑より新しい。根固めをもつS-25区 pit 10については確認できなかった。

各遺構からは甕を主体とする土器片および棒材が出土し、大部分は31 a、31 c号土坑からの出土品であるが、湧水のため遺物の帰属に不完全な部分がある。覆土断面から確実なものでは、1676は31 b号土坑に、1678は31 a号土坑に帰属する。掲載土器は2群に大別でき、古相を呈するものとして1668、1671、1673、1676、1677、1679が、新相を呈するものとして1680～1682があげられる。また、1669、1674、1675、1678は両群の中間に位置する可能性がある。これらのことから、31 c、b号土坑は弥生時代後期後葉に、31 a号土坑は弥生時代後期末葉～古墳時代初頭頃のものと考えられる。

S-23区土坑群（第66、67、84図、図版36、79、81）

S-235～240にかけてのごく狭い区域に10基を越える小土坑が集中している。そのため、付近一帯が黒色強粘質土で覆われ、湧水が著しいこともあって各遺構の検出は極めて不十分であった。このためS調査区の遺構数からはこれらは除外した。なお、1687は仮101号土坑、1653、1654、1775は当地点から出土したものである。

S-1号井戸（第66、84図、図版32、33）

S-223～224に位置する。円筒形削り抜き桶杵を井戸杵として再利用した井戸である。検出面から井戸底までの深さは約1.3 mを測り、青灰色砂層に達している。掘り形平面形は歪んだ円形で、上端で1.4×1.3 mを測る。井戸杵の上端は検出面から0.4 m下部にあり、2段構造の上段は抜き取られたものと考えられる。弥生時代後期後葉の土器片、礫、棒材が井戸廃棄後の杵上端の流入土中から出土した。

下段の杵は上端まで完全に遺存しており、器高78 cm、最大径55 cm、中央部の厚さ5 cmの大形品である。底部内面は幅約10 cmにわたり帯状に肥厚し、底板を補強する棧の残欠やほぞ穴が穿れている。なお、井戸杵は取り上げ途中で破損し、掲載できなかった。

S-1号溝（第68、84図、図版33、79）

S-284～285に位置し、北北西に延びる小規模な溝である。最大幅0.55 m、検出面からの深さ最大0.3 mを測る。覆土やや上部から弥生時代後期後葉の土器片および軽石が出土した。

S-3 a、b号溝（第68、85図、図版34、80）

S-268～273に位置し、ほぼ平行して北流する。両溝はS-21～23号土坑と重複し、S-23号土坑は両溝より古く、S-22号土坑は3 a溝より新しい。21号土坑との新古関係は把握できなかった。

3 a号溝は幅1.5～1.0 m、深さ0.2 m弱と浅く、遺物は1698、1709等少量の土器片が出土したにすぎない。3 b号溝は幅0.6 m前後、深さ0.4 mのしっかりとしたもので、比較的少量の土器片、板材、棒材が覆土中位から出土した。出土遺物は弥生時代後期後葉に帰属し、やや時期幅をもつがS-3 b号土坑までは下らないと考えられる。

S-4 a、b号溝（第68、86、129～133図、図版34、80、90、92）

S-260~267に位置し、やや東よりに北流する。中央部は近代の水路掘削により遺存しない。4 a号溝は幅1.3~1.4m、深さ約0.5mを測り、覆土中~上部から木製品(棒材、板材主体)と若干の土器片が出土した。4 b号溝は西側法面がはつきりせず、調査区北壁付近では4 a溝と重複している可能性もあるが、覆土断面の観察では確認できなかった。本溝東側一帯では検出面付近から多量の土器が出土した。(別色表示)

出土遺物の帰属がややあいまいなため、土器の掲載は一括(1713~1735)して行った。掲載土器は新古の2群に区分でき、前者はS-5号土坑と併行する弥生時代後期後葉に、後者(1728, 1733~1735)はS-31 a~c号土坑の新しい一群と併行する古墳時代初頭頃に位置付けられる。

S-5号溝(第66, 87~89図、図版35, 80, 81)

S-207~213に位置する。北西方向に流れる細い溝であり、幅0.7~0.8m、深さ0.2m強を測る。調査区域の延長7m全域から多量の土器が出土した。これらの出土位置はいずれも覆土上端部である。溝を埋め立てた痕跡は認められず、土砂の堆積によってその機能を失った段階でこれらの土器を並べたものであろう。土器の上端は後世の耕作によって欠失しているもののほぼ原位置を保っている。出土土器は他の遺構に比べ器台が多く、さらに細頸壺、台付装飾壺も含まれており、祭祀行為が行われたものとみられる。

本溝出土土器群はS調査区の最古の段階からやや幅をもつようであるが、S-3 b土坑出土土器群までは下らないと考えられ、I小期の範囲内ではほぼ収まるものであろう。掲載土器は2群に分別可能な様相を窺わせているが、検討不足のため本項では言及しない。

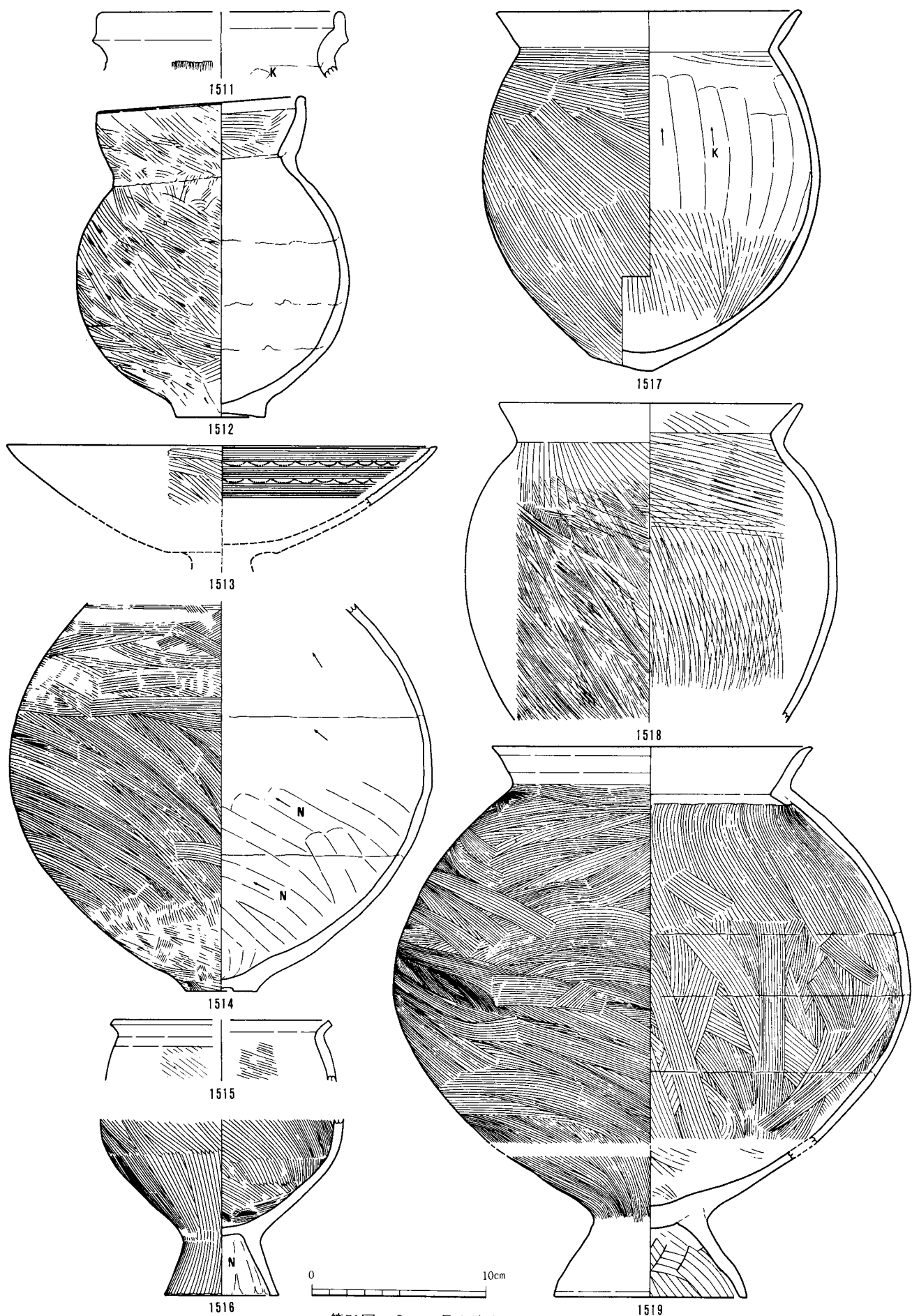
S-10号溝(第66, 90図、図版81)

S-230~236にかけてやや蛇行して北流する。幅0.4~0.7m、深さ0.4m強を測る。S-11号溝より新しい。大形の建築部材と土器片が出土した。弥生時代後期後葉の遺構である。

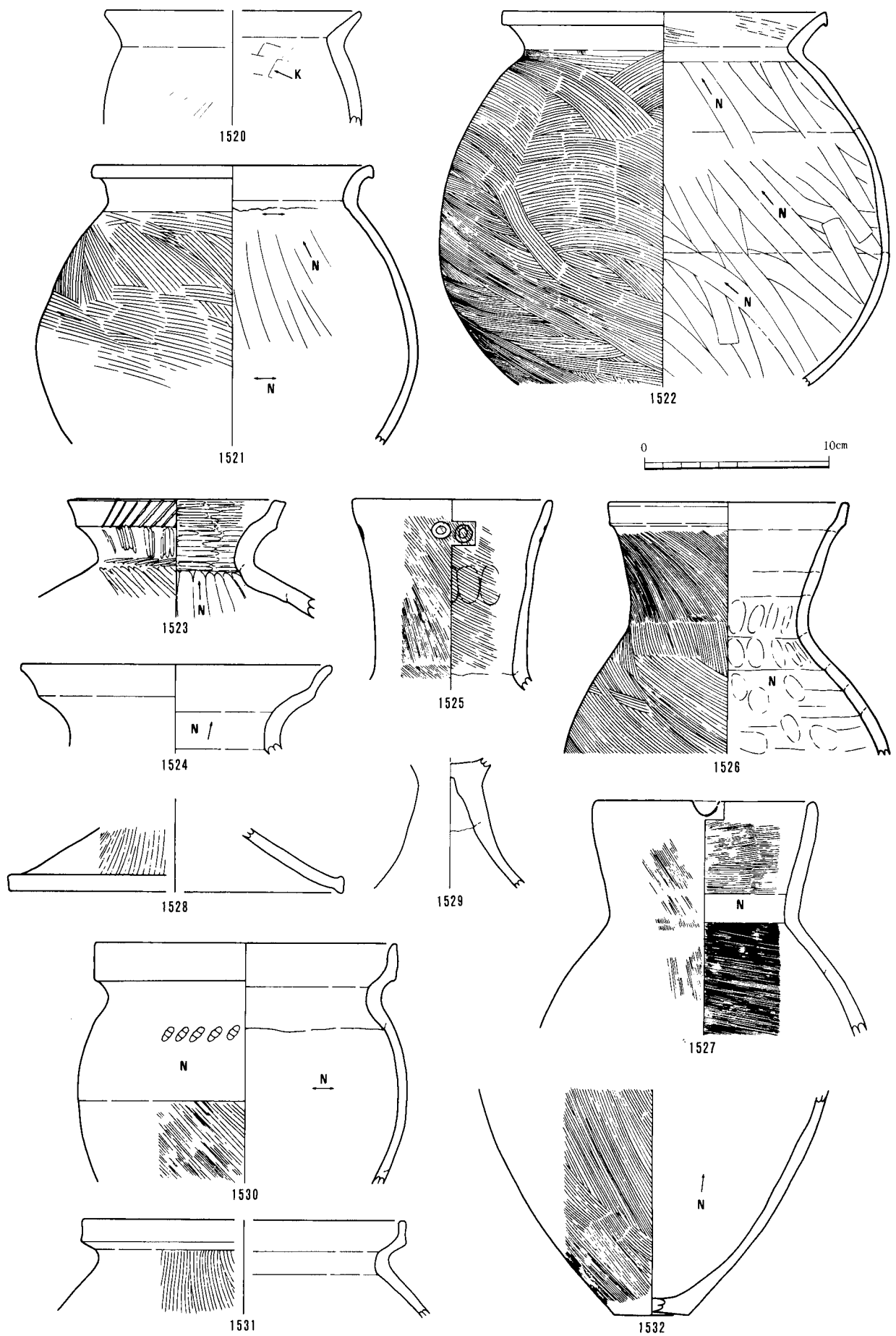
S調査区検出柱穴、小穴(第67~70図、図版37)

本調査区では30以上の小穴(ピット)を検出した。これらのなかには確実に掘立柱建物の柱穴となるものも含まれているが、調査区の幅が3mと狭いために建物規模の把握はできなかった。柱穴の多くはS-250~300に分布している。

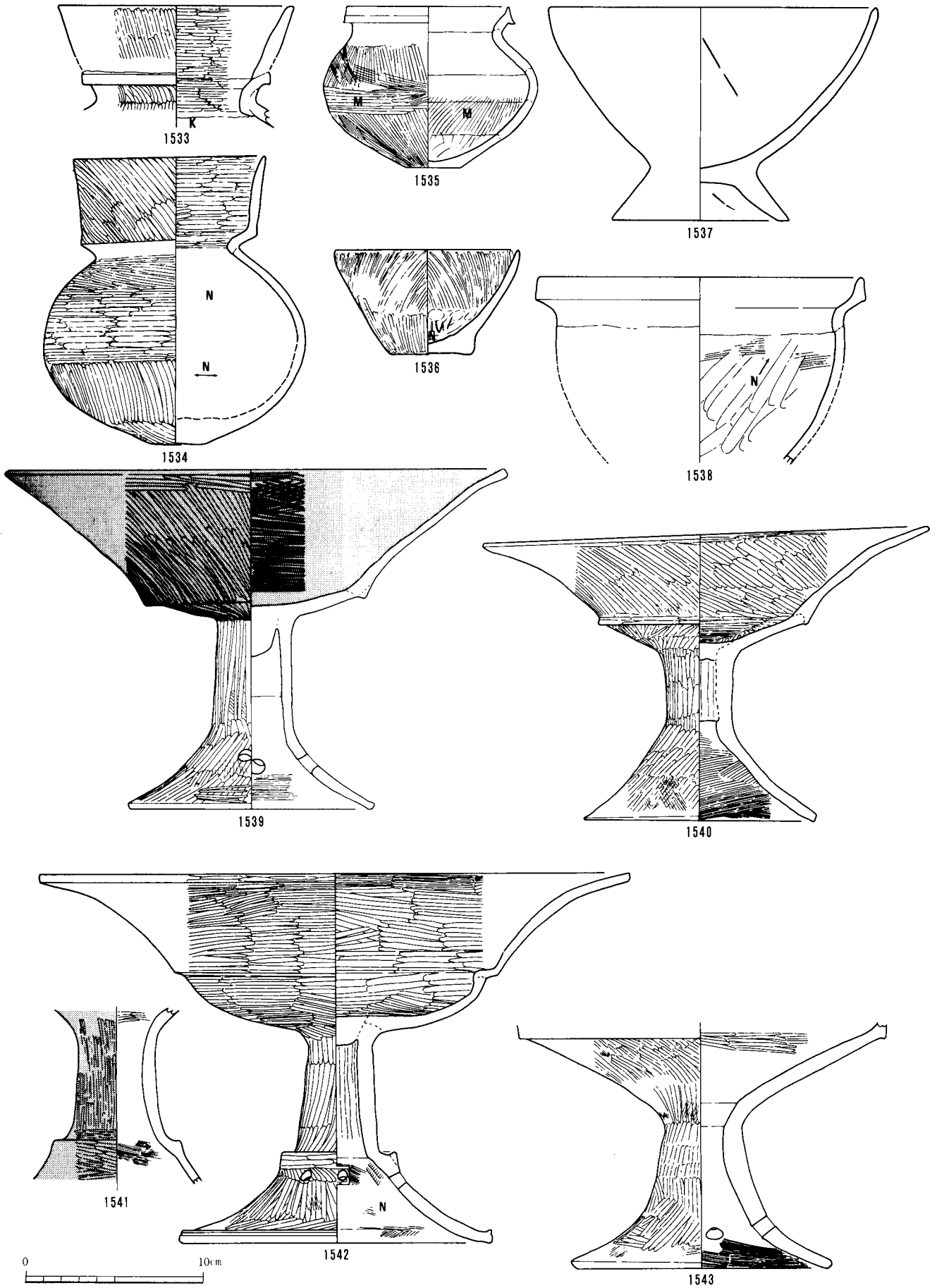
大型の礎板を持つものとして、S-25区 Pit 1, 2(第67図、図版37)がある。双方とも形態から同一建物の柱穴であろう。掘り方の平面形は楕円形で、上端での規模はそれぞれ0.8×0.5m、検出面からの深さ0.15mを測る。内部には、樹皮をつけたままで半裁した広葉樹を断面を下にして設置している。それぞれ掘り方ぎりぎりに納まる大ききで、62×24×10cm、62×20×10cm(最大長、最大幅、最大厚)を測る。柱の受け部は長さ約20cmのほぞ状に切り込みを設けている。Pit 2ではこの上に朽ちた柱根が残っているが、組合せの痕跡は特に認められない。S-25区 Pit 10では根がために建築部材を再利用している。また、同区 Pit 5では礎板または根がため用の部材が出土している。これら以外は柱を直接掘り方に設置しており、柱径のわかるものでは、S-25区 Pit 4が最も太く、径約20cmを測る。これ以外は15~20cm弱の柱径である。各柱穴のI~IV小期への時期区分は、出土土器が乏しく難しい。本遺跡全体の傾向として、遺構掘り方の底部付近がフラスコ状に広がっているものが多い。第70図にも数例みられるが、これは弥生時代においても地下水位が高く、湧水のため掘削直後から壁が崩壊したことを示している。本遺跡では未だ竪穴を1棟も検出していないが地山面をわずか30cm程度下げた地下水がしみ出す環境で果たして一般的な竪穴式住居で生活可能であったか疑問である。



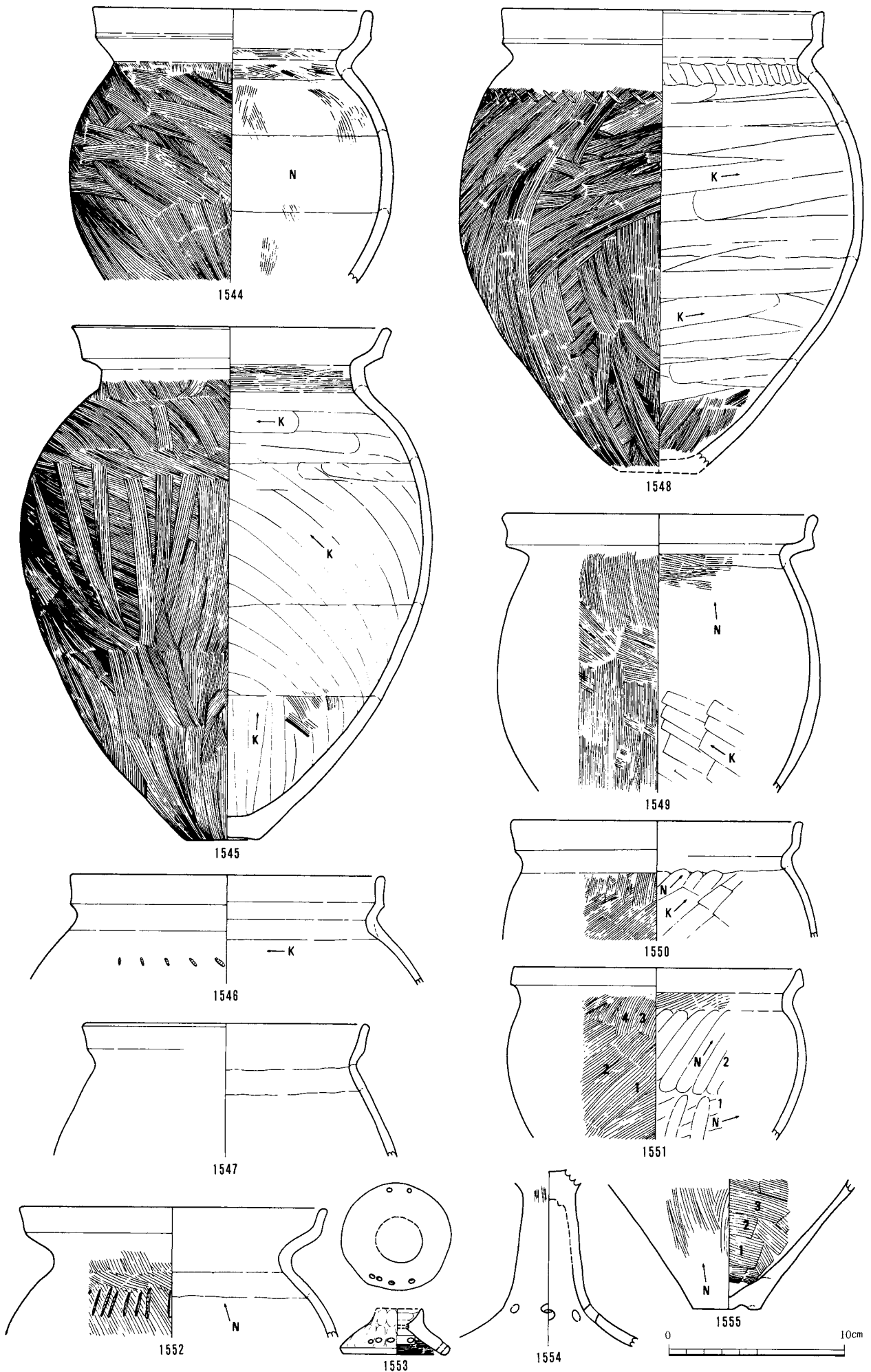
第71图 S-2号土坑出土土器(1)



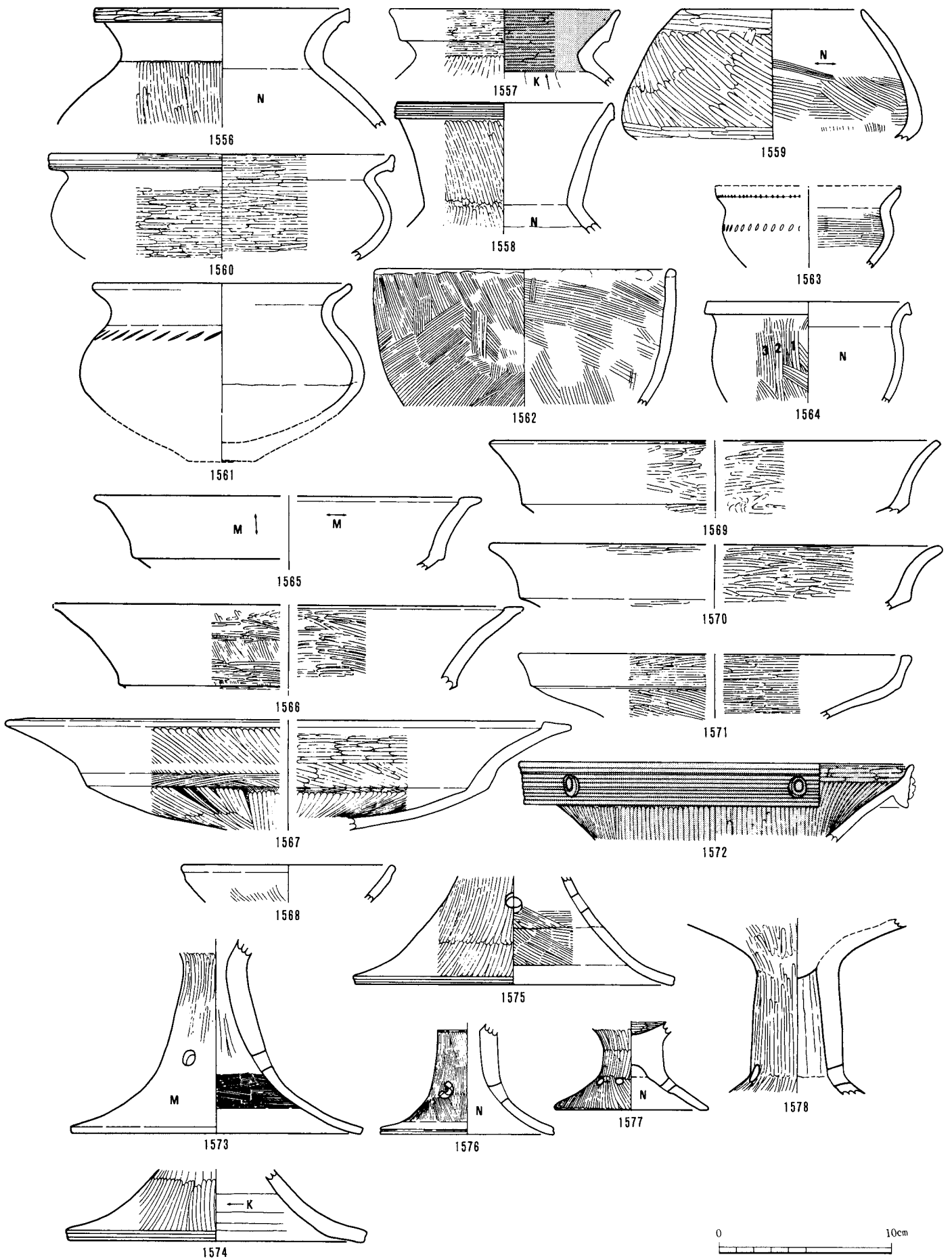
第72图 S-2号土坑 ((2)1520~1522)、S-3 a~d号土坑 ((1)1523~1532) 出土土器



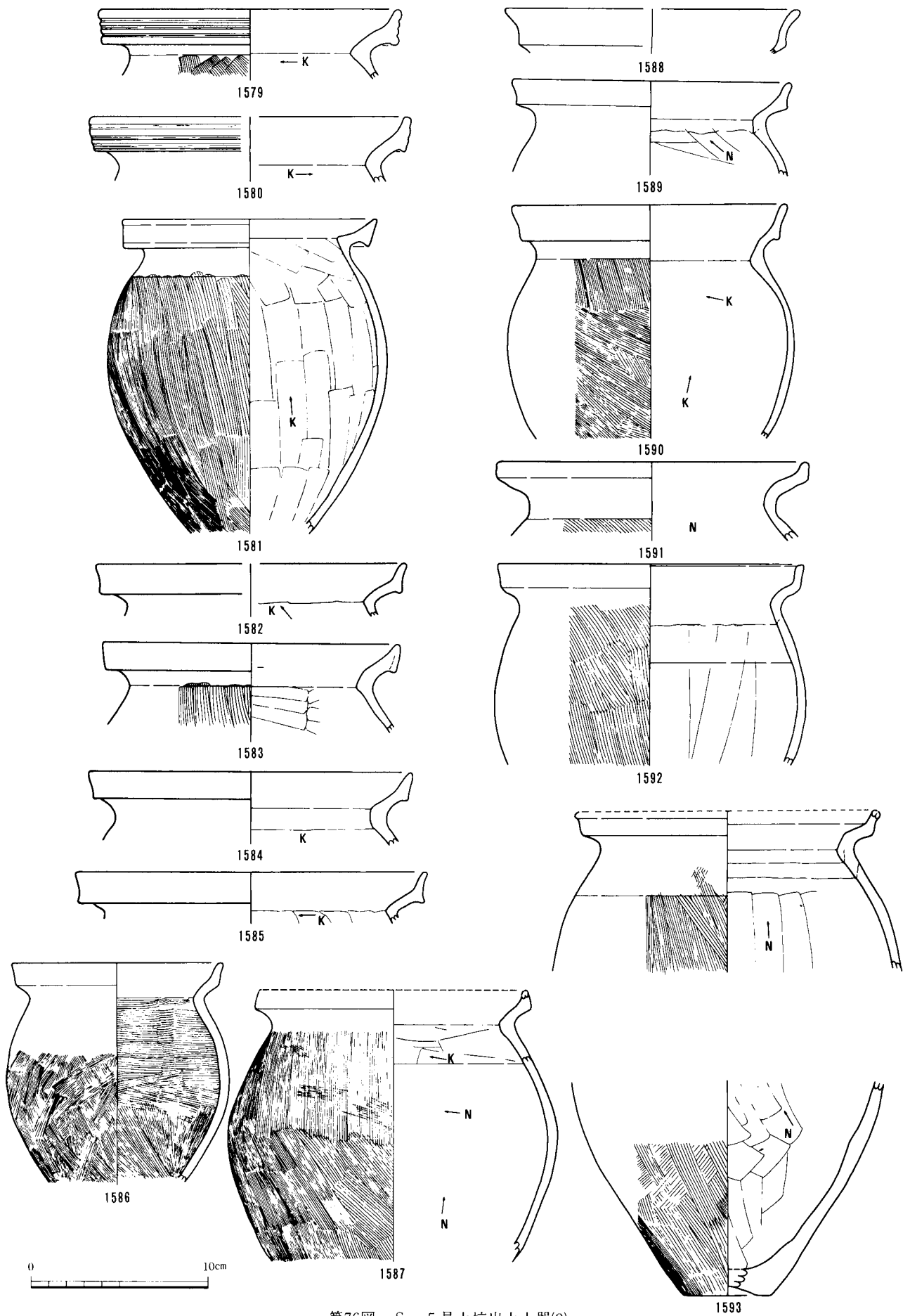
第73图 S-3b号土坑出土土器(1)



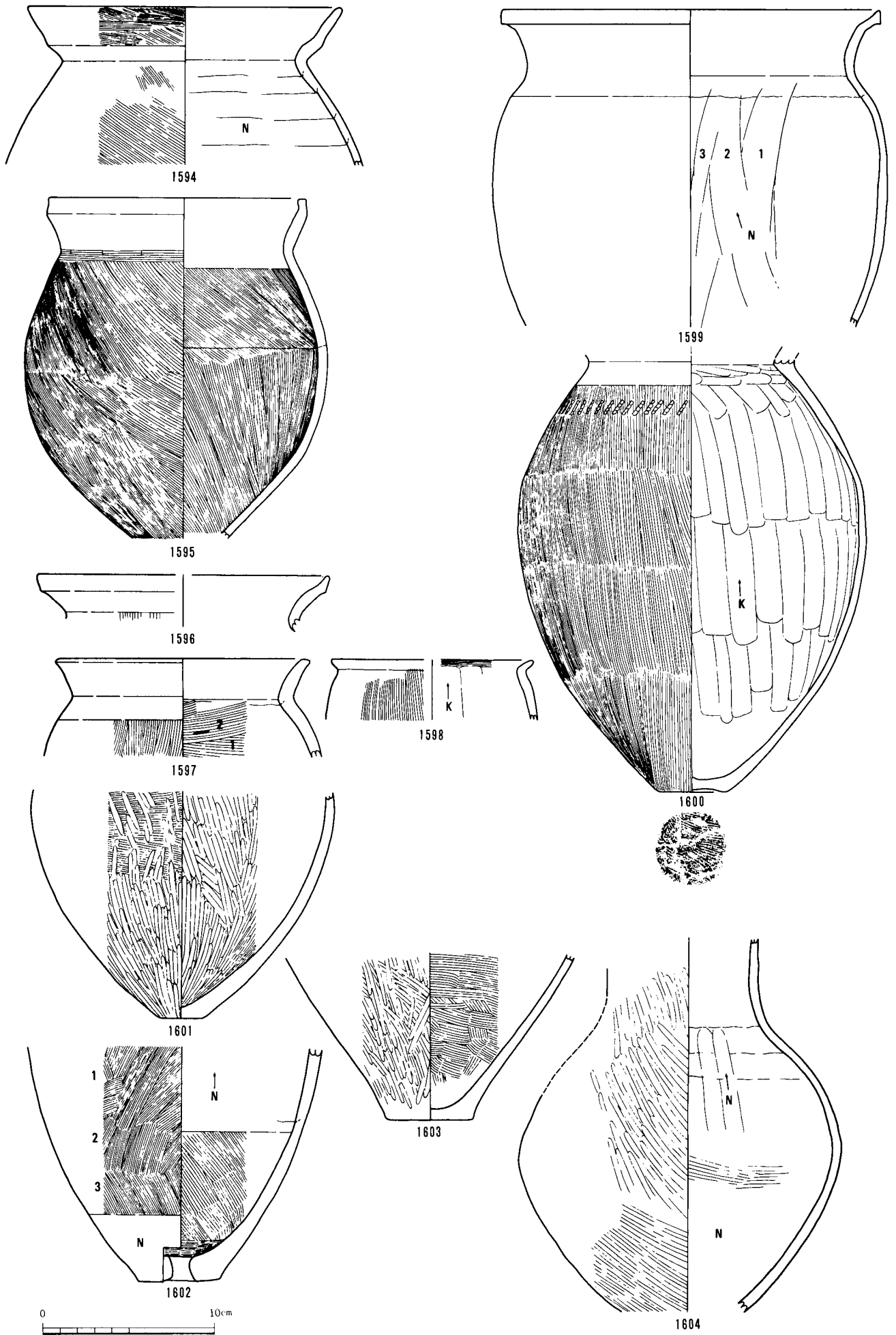
第74图 S-3 b号土坑(2)、S-4号土坑出土土器



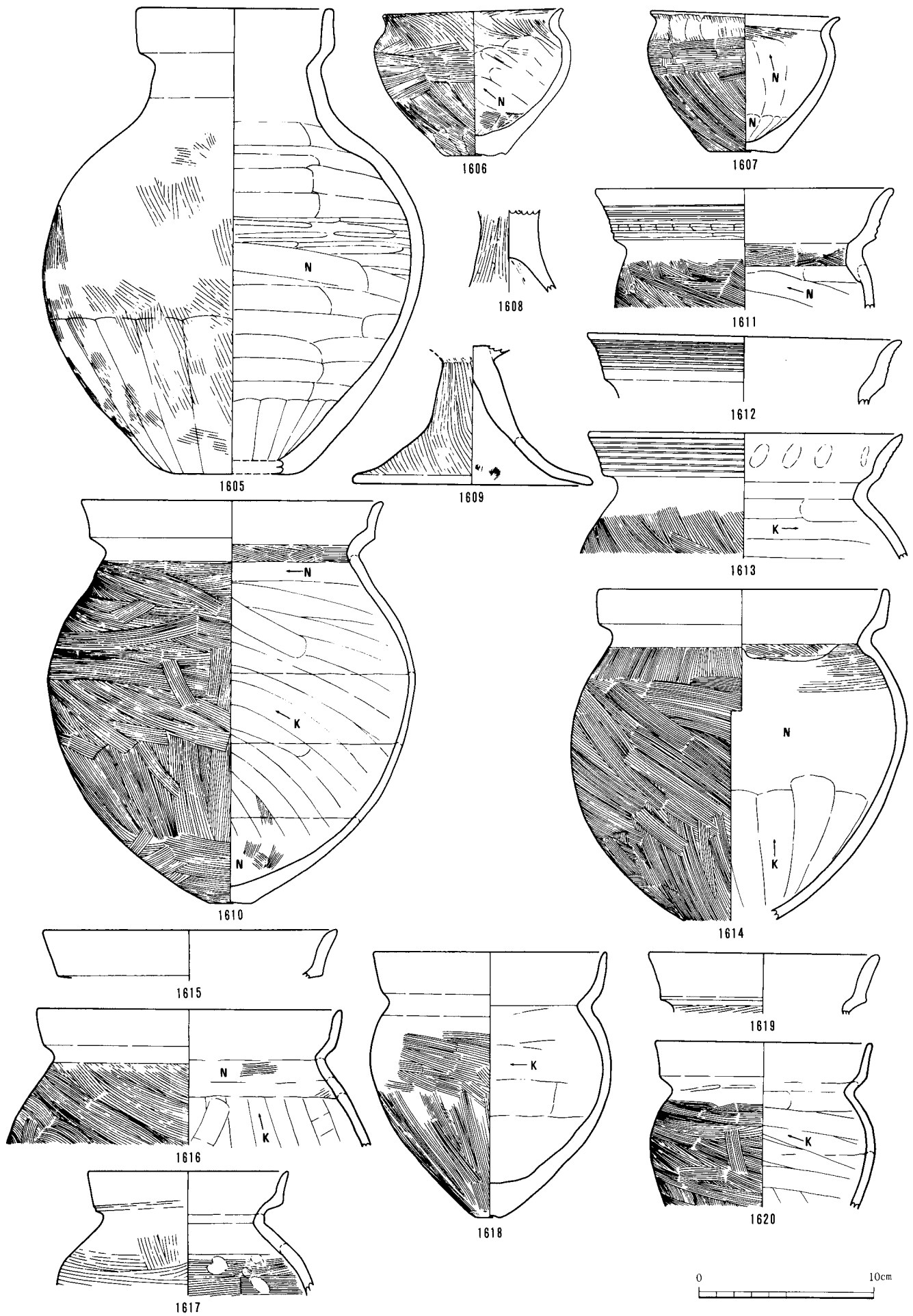
第75图 S-5号土坑出土土器(1)



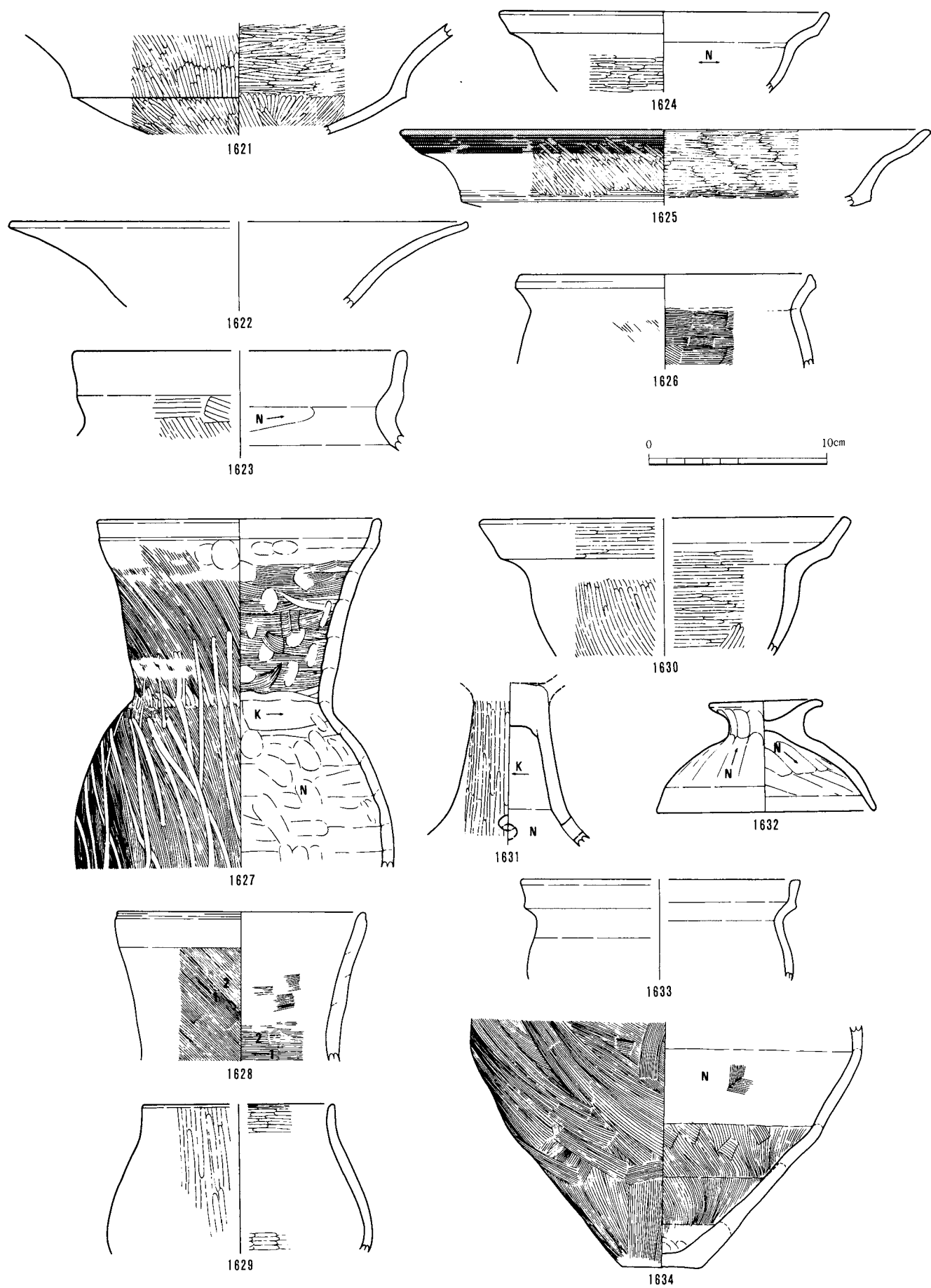
第76图 S-5号土坑出土土器(2)



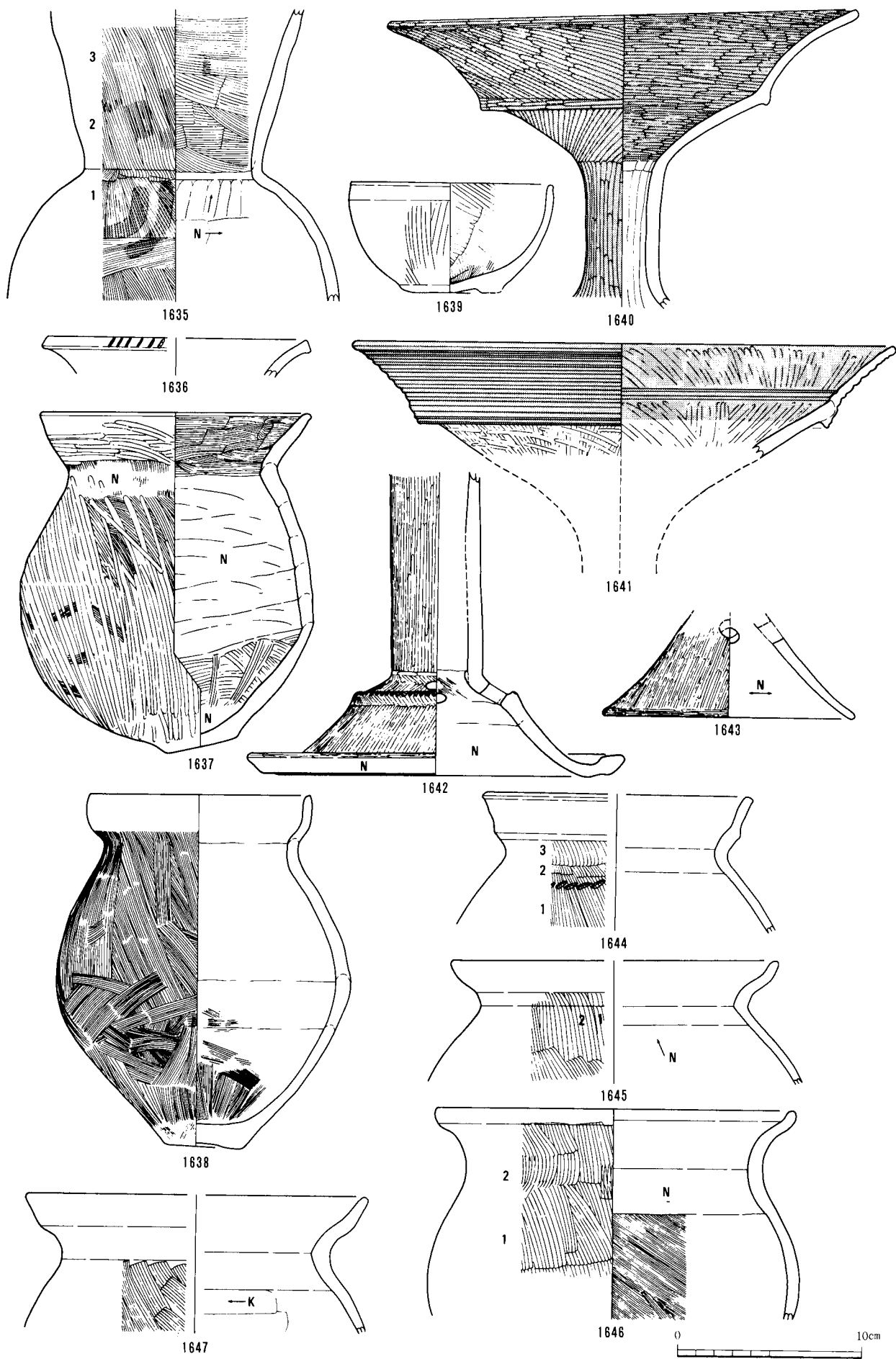
第77图 S-5号土坑((3)1594~1603)、S-7号土坑(1604)出土土器



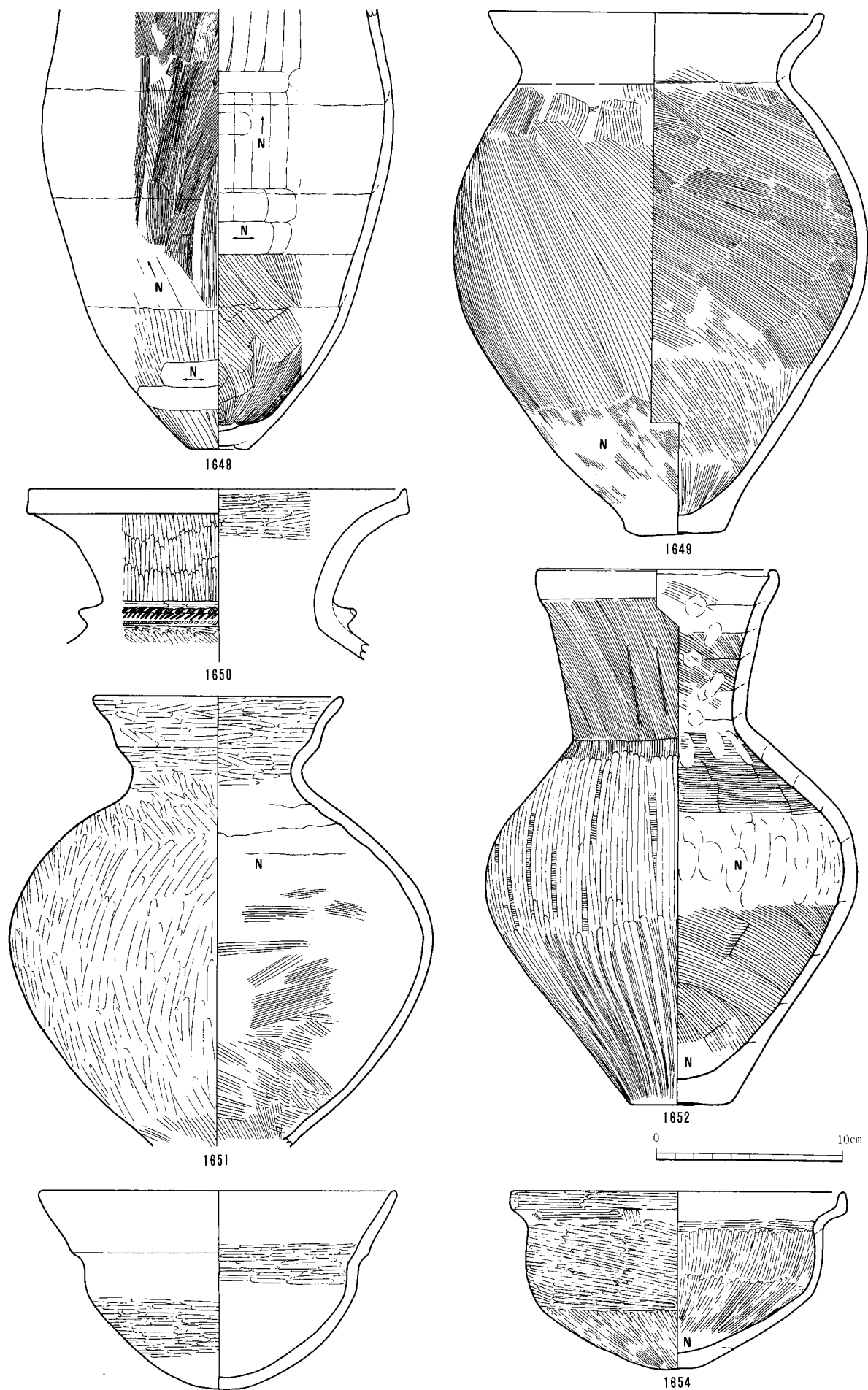
第78图 S-8号土坑出土土器



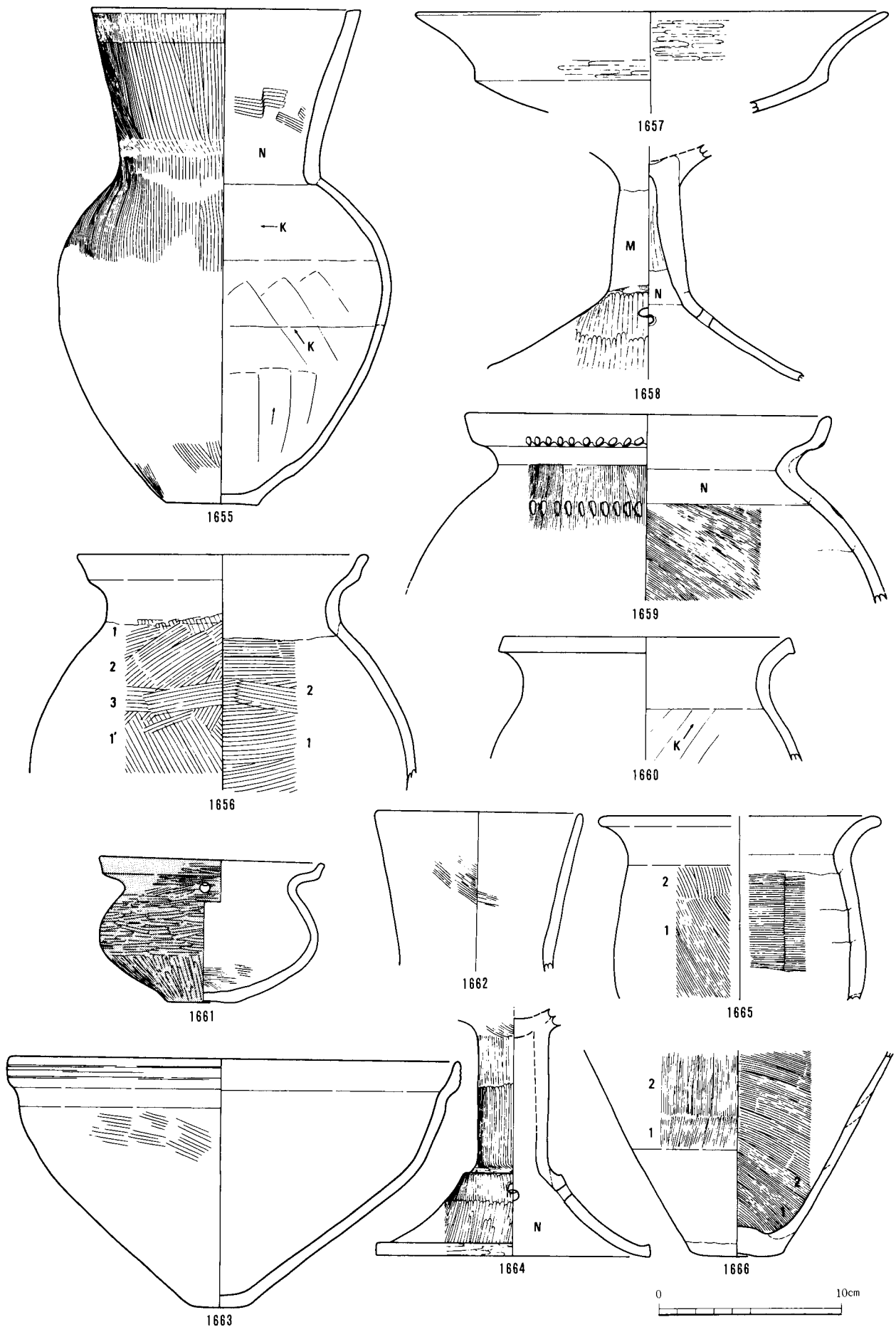
第79图 S-9号土坑(1621)、S-10a号土坑(1622,1623)、
S-13号土坑(1627~1634)、S-14号土坑(1624~1626)出土土器



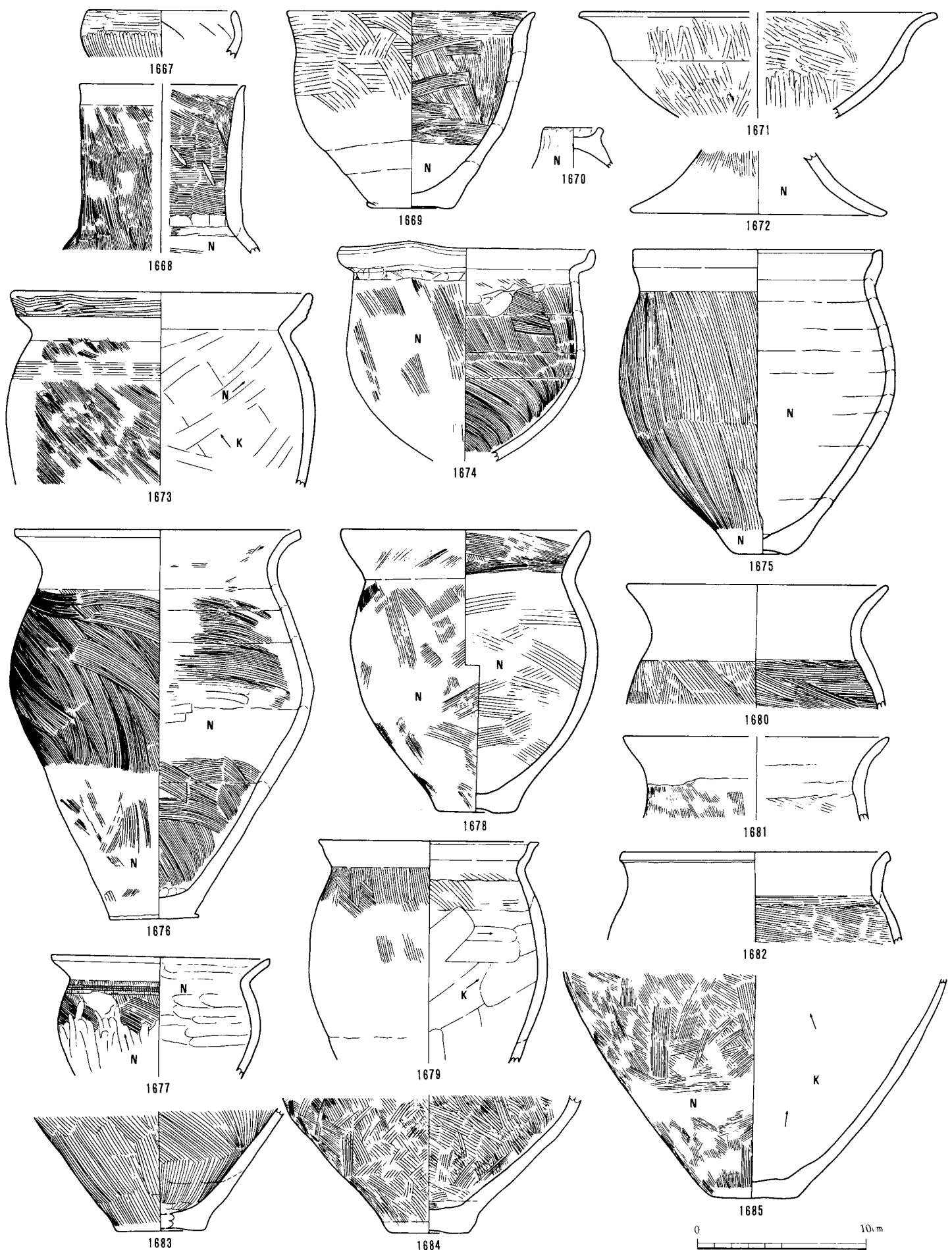
第80图 S-15号土坑出土土器(1)



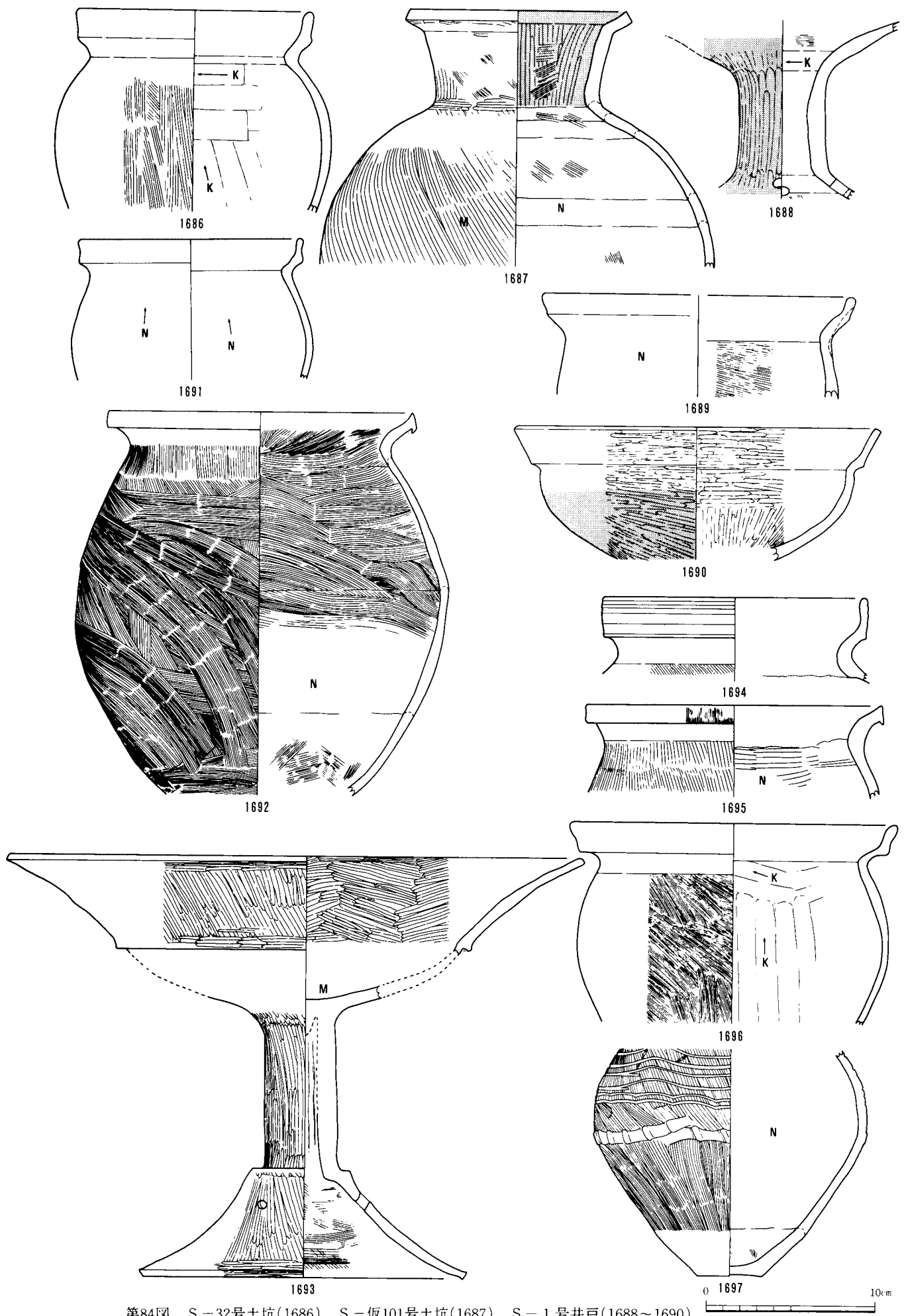
1653 第81图 S-15号土坑 ((2)1648,1649)、S-17号土坑(1650~1652)、S-23区土坑群(1653,1654)出土土器



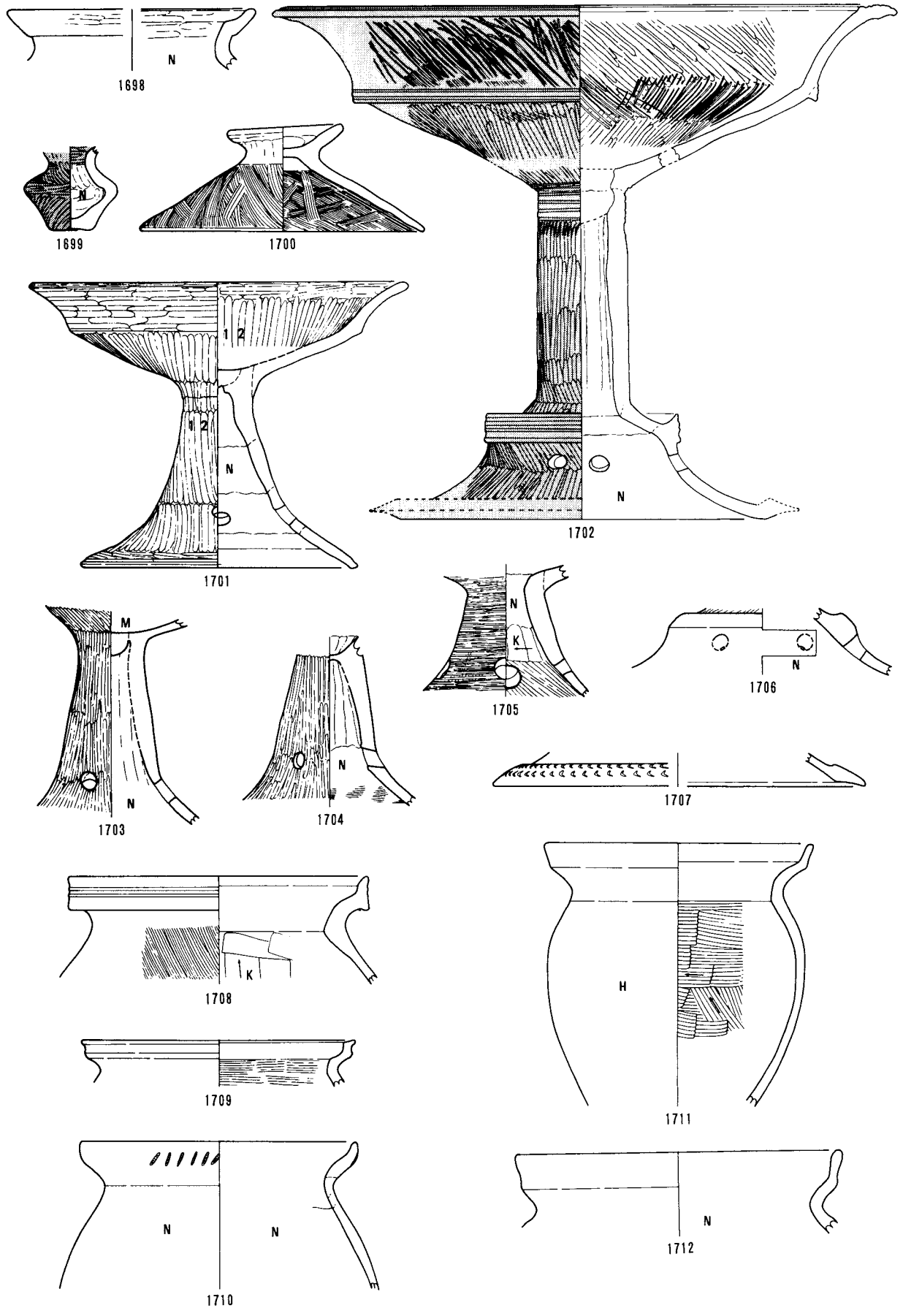
第82图 S-17号土坑(1655~1660)、S-25号土坑(1661)、
S-27 a~c号土坑(1662~1666)出土土器



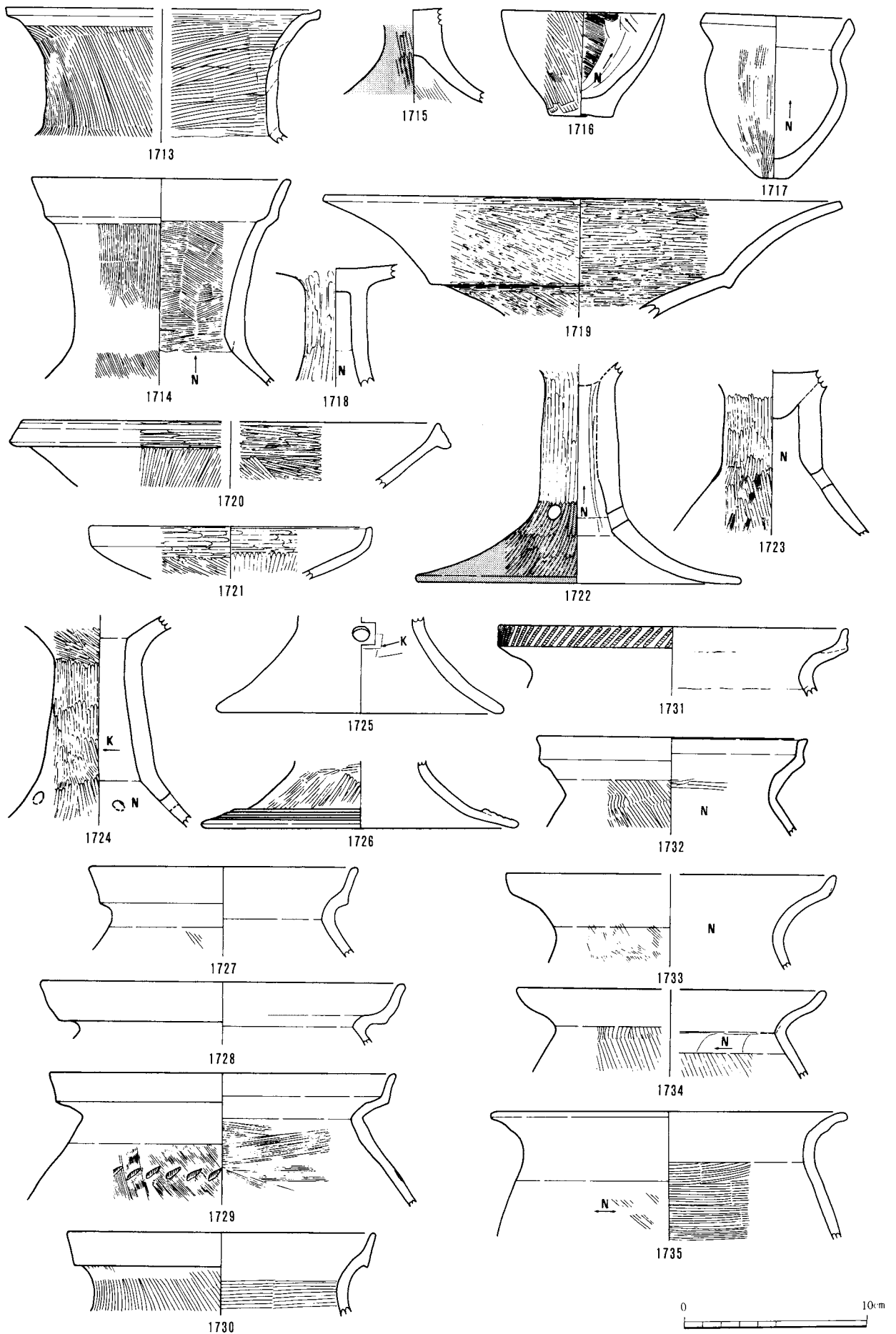
第83图 S-31 a ~ c 号土坑出土土器



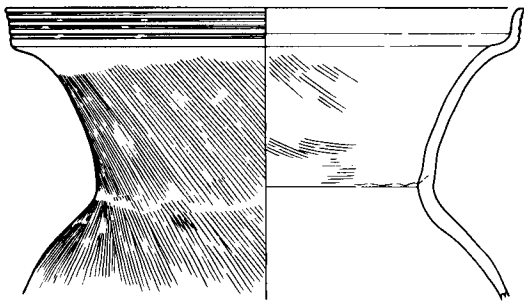
第84图 S-32号土坑(1686)、S-仮101号土坑(1687)、S-1号井戸(1688~1690)、S-1号溝(1691,1692)、S調査区遺物包含層(1693~1697)出土土器



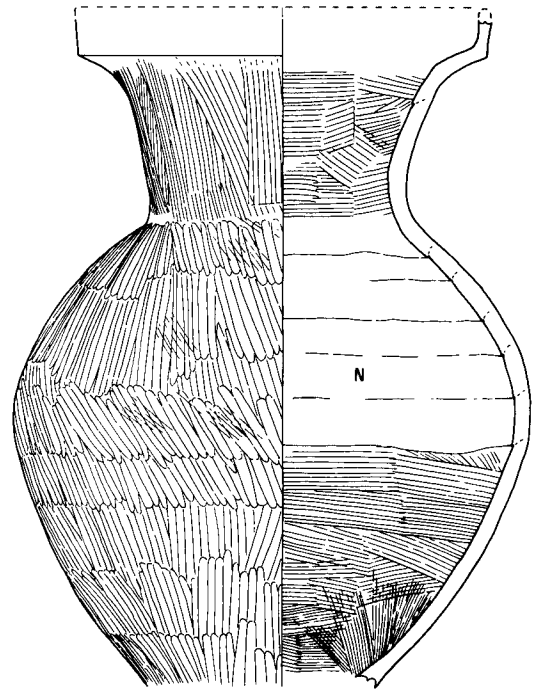
第85图 S-3 a号沟(1698)、S-3 b号沟(1699~1712)出土土器



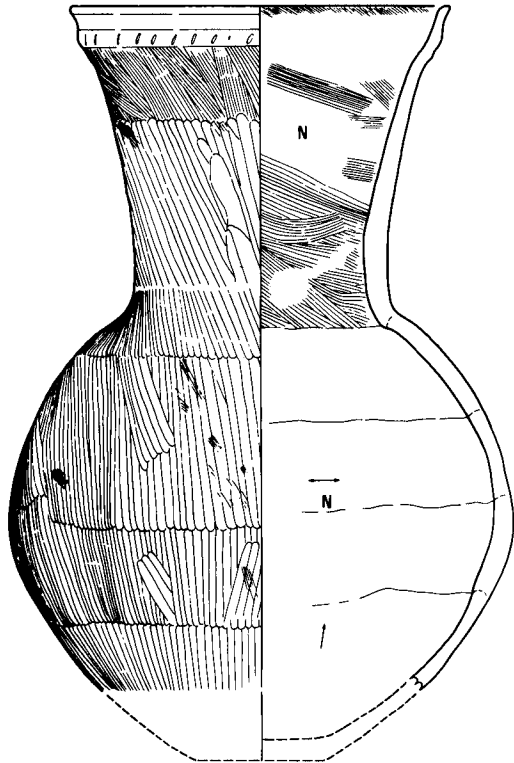
第86图 S-4 a, b号沟出土土器



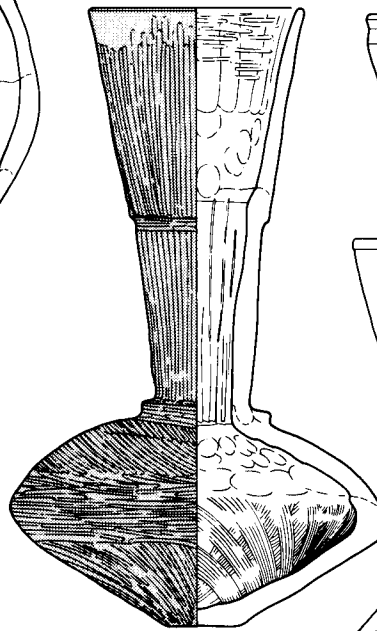
1736



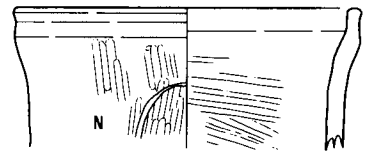
1739



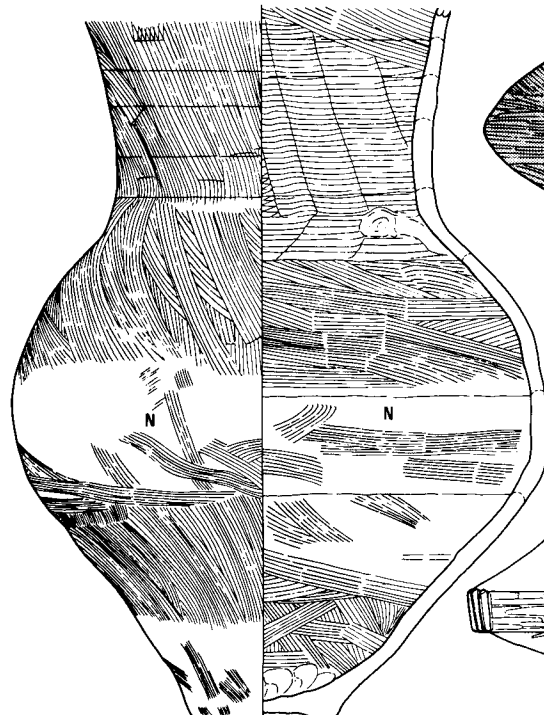
1737



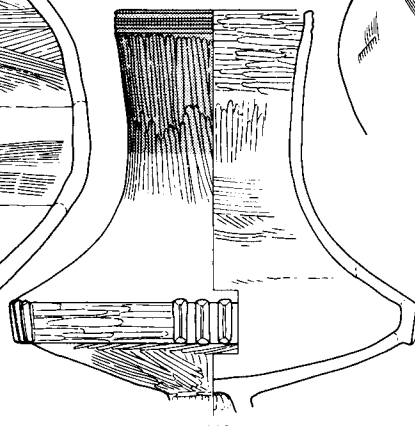
1742



1740



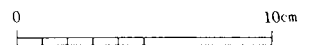
1738



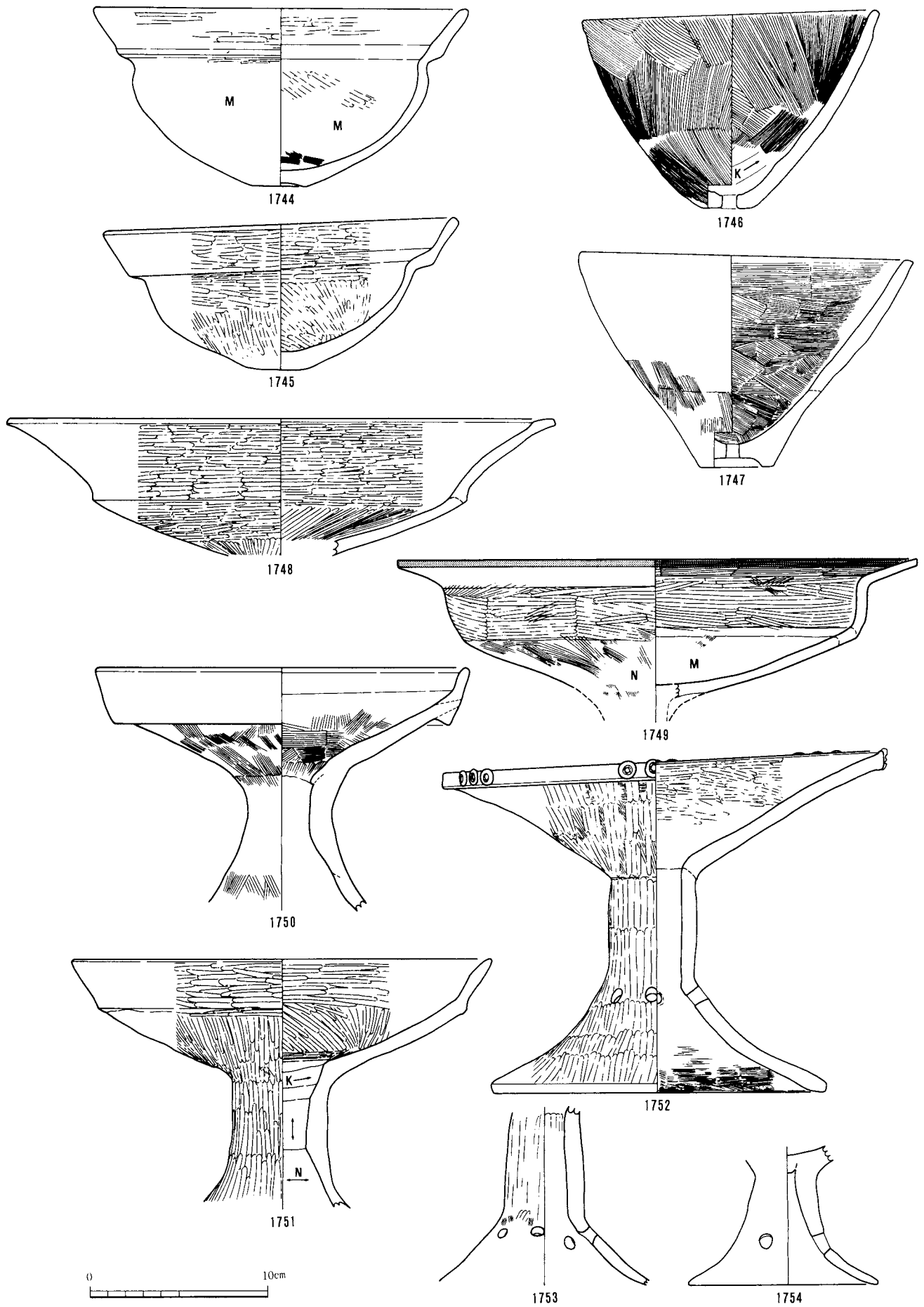
1743



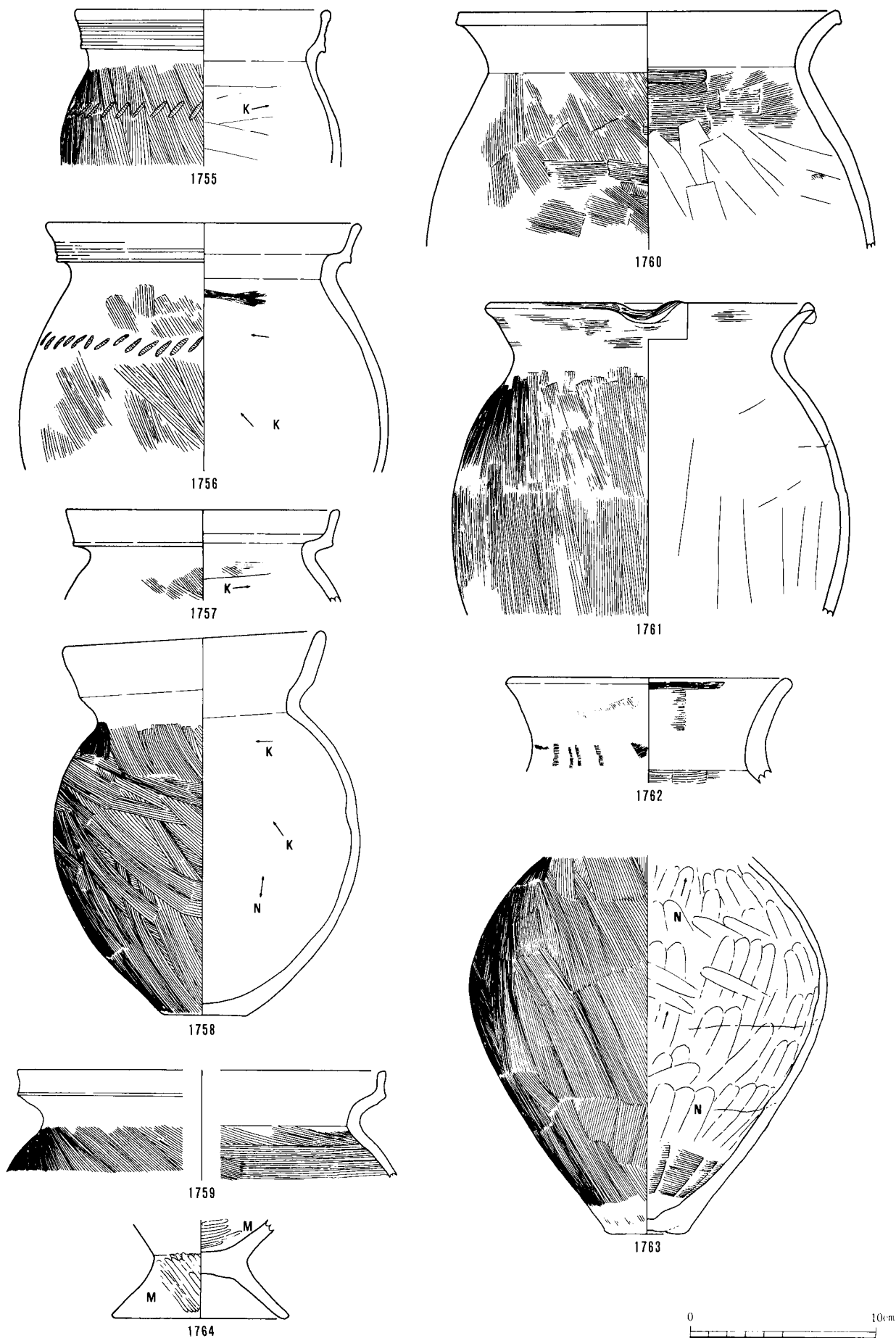
1741



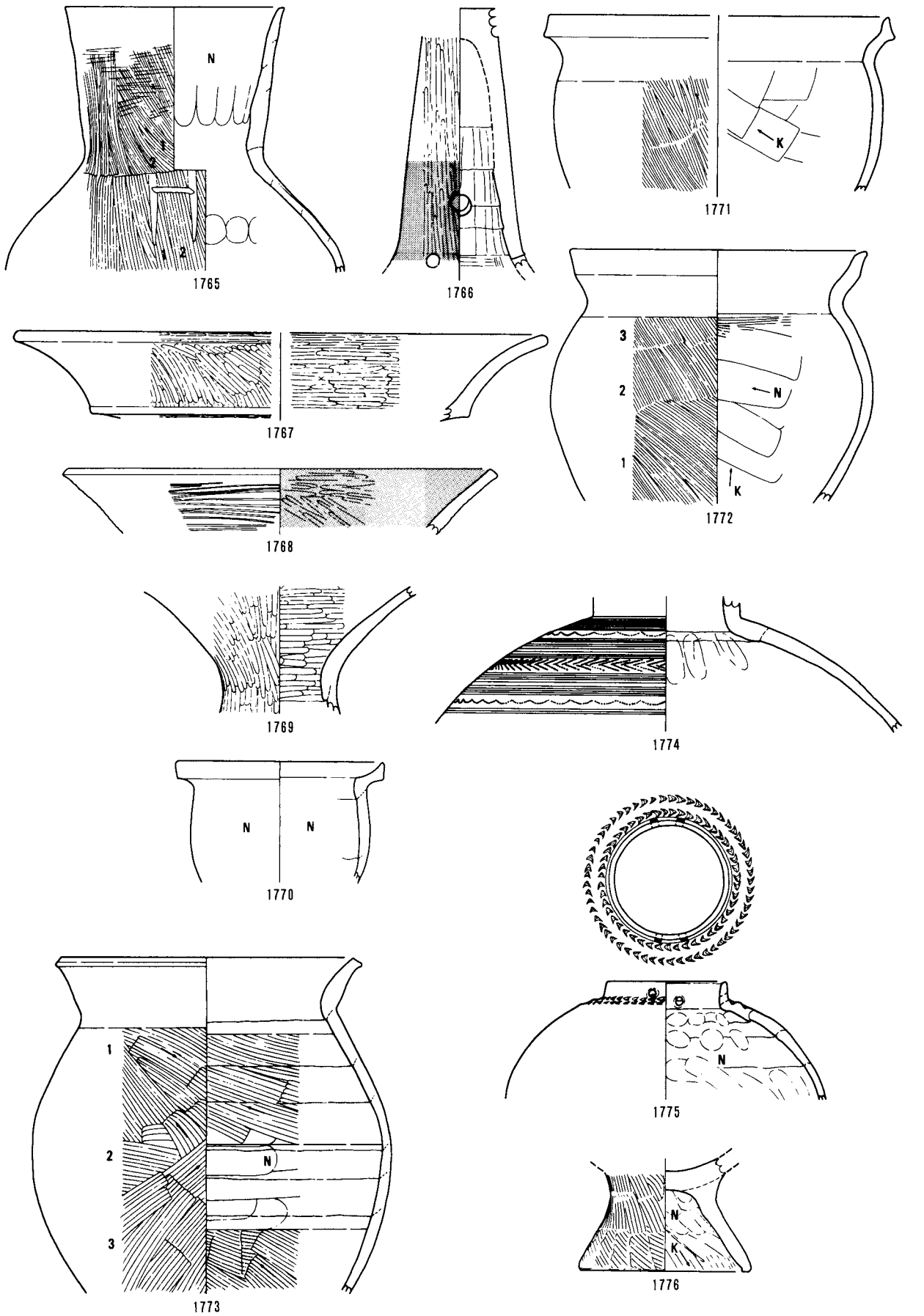
第87图 S-5号沟出土土器(1)



第88图 S-5号沟出土土器(2)



第89图 S-5号沟出土土器(3)



第90图 S-10号溝(1765~1772)、S-11号溝(1773)、
S調査区遺物包含層(1774~1776)出土土器

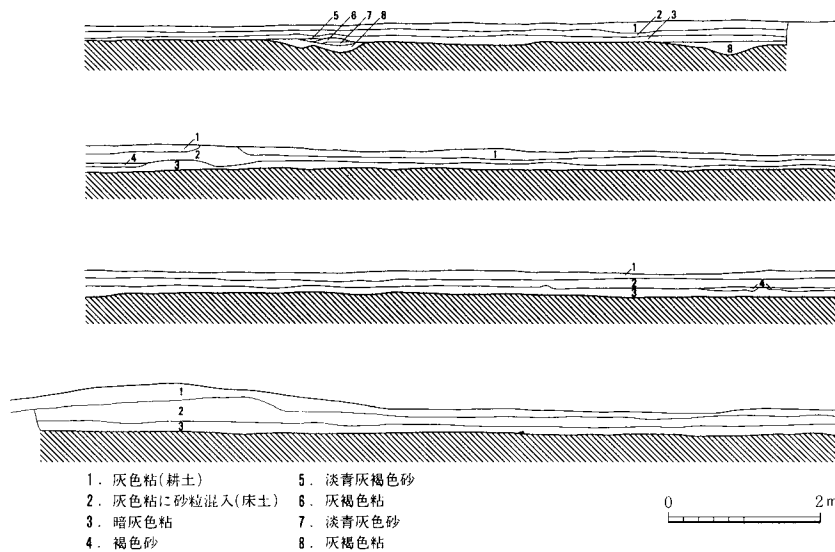
8 P 調査区

(1) 調査区の概要

本調査区は県営ほ場整備事業にかかる分調調査で新たに確認された地区であって、本遺跡の南端に位置する。排水路（第7-2号支線排水路）設置にかかり、遺物が出土した地点を中心に幅3m、延長40m、面積120㎡について昭和56年度に発掘調査を実施した。現水路と重複しているため、約1/3は既に攪乱を受けていた。

遺構は存在しないが、淡青灰色砂の平坦な基盤を厚さ約10cmの暗灰色粘質土層が覆っている。数点の細片化した須恵器、土師器、中世陶器が出土したが図化しえたものはない。

本調査区は、東部がほ場整備外であって範囲は把握できないが、現段階ではT調査区から拡がる遺跡の東側末端部にあたるものと考えている。



第91図 P 調査区断面図

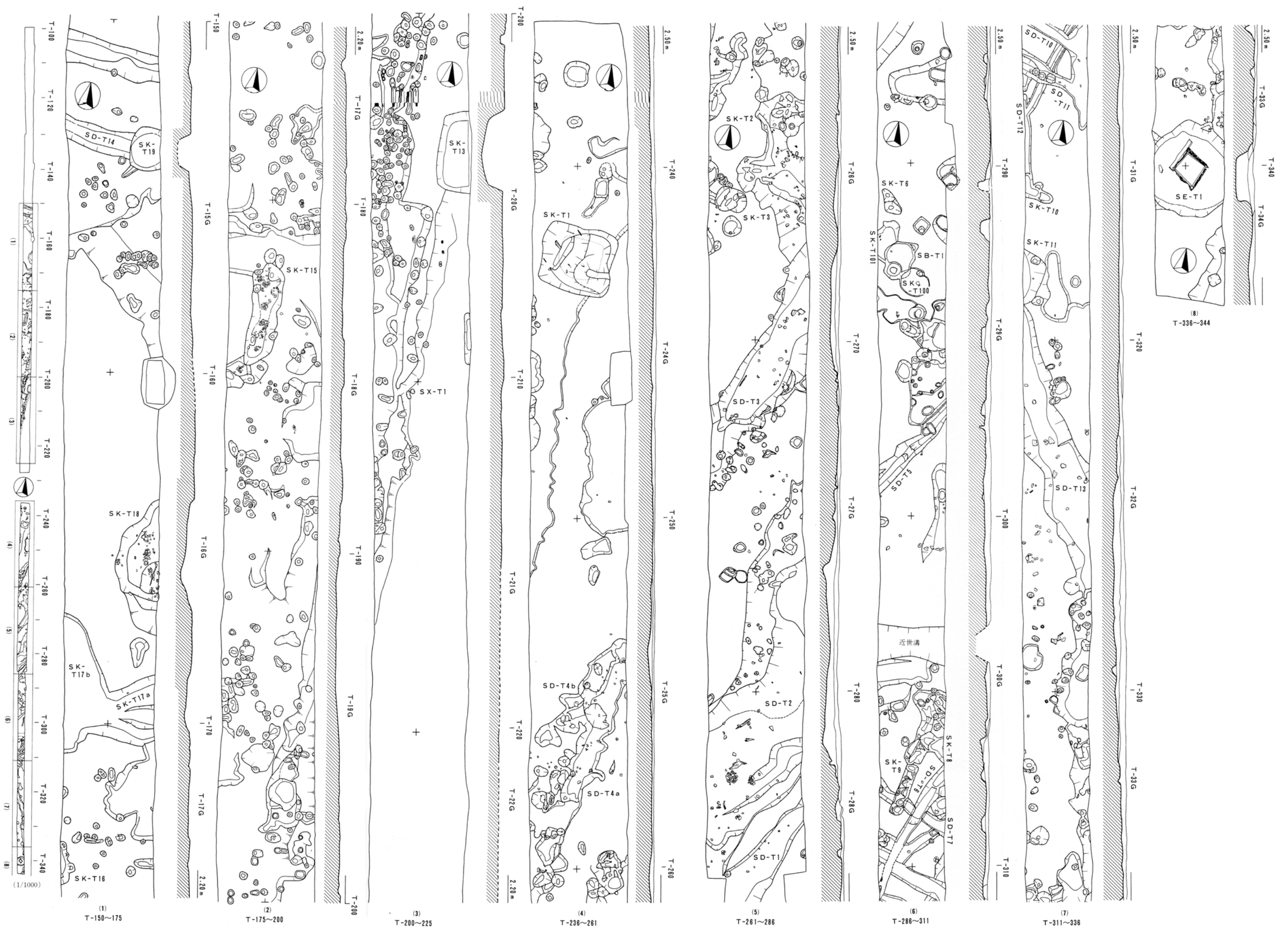
9 T 調査区

(1) 調査区の概要

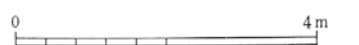
本遺跡の南端部に位置する調査区である。排水路（第6-1号支線排水路）設置にかかり、幅2~3m、延長約230m、面積約580㎡について昭和57年度に発掘調査を実施した。なお、調査区中程（T-228~236）の農道（第9号支線道路）との交錯部分については、農作業との関係で調査区から除外した。

本調査区では、軸を排水路中心線に合わせ、起点（T-0）を当該排水路北端屈折部の宅地境界擁壁端として、延長方向に10mごとに区分する小区（グリッド）を設定した。細かい位置については起点からの距離表示（m省略）を併用した。

調査の結果、近世以後と考えられるものを除く検出遺構は、土坑19、井戸1、溝20、掘立柱建物1、柱穴・小穴多数（木柱根が残るもの3）、および畔・足跡群である。この他に土坑状の凹み10程度が確認された。また土坑の中には柱穴と考えられる小坑も含まれているが、これは調査時の遺構名をそのまま載用している。



第92図 T調査区全体図



遺構面はT-23区付近を境に異なり、T-23区以南は標高約2.1~2.3mと比較的平坦である。黄灰色粘質砂の基盤を厚さ約10cmの灰色粘土層が覆い、奈良・平安時代の遺物を多く包含している。T-23区以北は標高約1.9~2.0mと若干低くなる。基盤は明緑灰色粘質砂で基盤上を一部黒褐色粘土層(T-13~15区)が覆っているが、ほぼ全面に暗紫灰色粘土層が形成されている。T-14区以北は遺構が皆無となり、遺物も僅少である。

本調査区はS調査区と同様に分布調査によって新たに確認された地区である。詳細な範囲は十分に把握できないが、奈良・平安時代の独立した集落が東部に広がるものと考えている。またT-16~18区で検出された弥生時代後期末葉から古墳時代前期の遺構は、S調査区より断続するものと推定される。

(2) 遺 構

T-1号井戸(第93, 107図、図版42, 82, 85, 86)

本調査区の南端(T-340)に位置する。一辺が内側で55~70cmを測る方形隅柱横棧型の井側をもつもので、上端は土圧で平面形が若干菱形を呈するが遺存状態は良い。掘り方は東西方向が調査区外となるが幅1.5m前後で平面形が隅丸方形を呈するものと考えられる。井側は残存長1.8~1.4mを測る隅柱に長さ0.8~0.7mを測る横棧が東西側で約1.0mの間隔で各2段、北側は東西横棧下段上に1段、南側はほぼ中間に1段が組み込まれる。残存長1.7~1.5m、幅約0.2m、厚さ3~4cmを測る側板が四方に各々8枚入る。北側と西側の上端には幅20cmと15cmを測る横板が井側を囲むように入る。深さは横板上端より1.8m、標高-1.5mを測り、検出面がほぼ使用面と考えられる。湧水が激しく現時点でも使用可能であった。井戸底より須恵器、土師器、木製皿(木製品13)等が出土した。機能時は平安時代前半とみられ、平安時代中期頃に廃絶したものと考えられる。

T-1号土坑(第94, 108図、図版43)

T-340に位置する。平面形は整った方形を呈し、上端での規模は1.9×2.0mを測り、深さ0.7mを測る。坑底はほぼ水平で1.0×1.2mの隅丸方形をなす。覆土は東側上端より西側坑底へ斜方向に暗灰色粘土が堆積し、その上を厚さが上端で2cm、坑底で8cmの炭化物が上端周囲より坑内全面を覆うかたちで堆積する。坑内からは焼壁や焼土が検出されず、廃棄坑で短時間に埋め戻されたものと考えられる。細片化した須恵器、土師器、木片等が出土したが、これをもって本坑の時期を特定することは無理があり、平安時代以降の造作と考えている。

T-2号土坑(第97, 109図、図版131)

T-26区に位置する。部分的な調査で詳細は不明であるが、不整形な浅い凹みで起伏があり深いところで0.14mを測る。南側がT-3号溝と切り合い、また複数の土坑、小穴が重なっている可能性があるが確認できなかった。坑内からの遺物は乏しく、遺構上面より平安時代前期の細片化した須恵器、土師器が多数出土した。

T-3号土坑(第92図)

T-2号土坑の西隣りに位置する。上端で0.6×0.9m、深さ0.13mを測る平面形が楕円形を呈する小坑である。遺物は皆無である。

T-6号土坑(第92図)

T-291に位置する。調査時に土坑としたが小穴が重なったものである。上端からの深さが北側で0.24m、南側で0.23mを測る。柱穴と考えられる。

T-7号土坑（第92図）

T-297に位置する。浅い凹状を呈するが、部分掘で詳細は不明である。須恵器の細片1点が出土した。

T-8号土坑（第92図、図版47）

T-306に位置する。部分掘で詳細不明。深さ約0.1mを測る。少量の土器が出土したが時期の特定には至らない。

T-9号土坑（第92図、図版47）

T-309に位置する。上端で0.35×1.54mを測る平面形が南北に細長い長方形を呈する。坑底は起伏があり上端からの深さが約0.2mの小穴が間隔は不定であるが並ぶ。また本坑の北側にも同様の小穴が列することから柵列と考えられるものである。須恵器、土師器の細片が出土した。

T-10号土坑（第92図）

T-315に位置する。部分掘で詳細は不明。

T-11号土坑（第96、110図）

T-318に位置する。部分的な調査のため詳細は不明。深さ約0.1mを測る。平安時代中頃の土師器が出土するが時期を決めるまでには至らない。

T-12号土坑（第92図）

T-294に位置する。複数の小穴が重なっているため形状は不明である。深さ約0.05mの浅い小坑である。

T-13号土坑（第92図）

T-204に位置する。調査区内での最大長が上端で2.3m、深さ0.6mを測る。出土遺物は皆無で時期の特定はできないが、調査時の土層観察等から中世以降のものと推察される。

T-15号土坑（第95、113図、図版43、82）

T-18区に位置する。平面形は南北に長い歪な長方形を呈する。上端で最大長3.0m、最大幅0.9m、深さ0.14mを測る。完形品（1825）を含む土器が押しつぶれた状態で出土した。本遺跡では検出例のない古墳時代前期中葉の遺構とみられる。

T-16号土坑（第92図）

T-174に位置する。部分的な調査で詳細は不明。上端からの深さ0.15mを測る。細片化した土師器が出土したが時期の特定はできない。

T-17a, b号土坑（第98、111図、図版44、46、82）

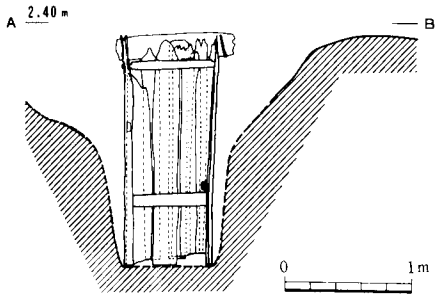
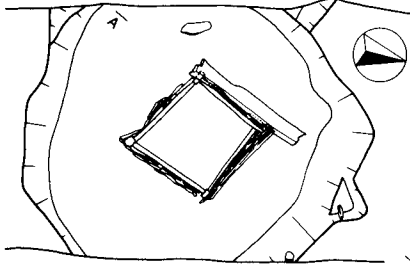
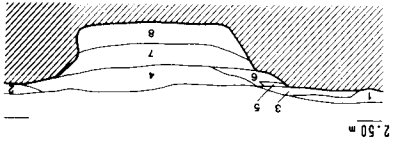
T-167～171に位置する。共に部分的な調査で詳細は不明。ほぼ軸線上で重なっている。深さは共に約0.2mを測る。両坑の新古関係は確認できなかった。弥生時代後期末葉の土器片が出土した。

T-18号土坑（第99、112図、図版44、82）

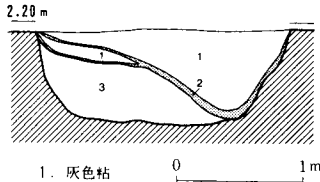
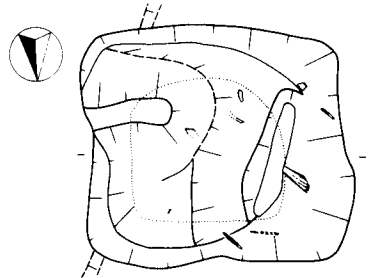
T-164～167に位置する。本坑も部分的な調査である。調査区での最大幅3.9m、上端からの深さ0.35mを測る。覆土下層より礫、木片数点と弥生時代後期末葉の土器が出土した。

T-19号土坑（第92図、図版46）

T-154に位置する。平面形がほぼ円形を呈するものとみられる。T-14号溝と重なっているが、新古関係は確認できなかった。土器が僅か出土したが時期の特定はできない。



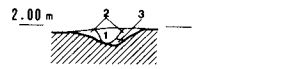
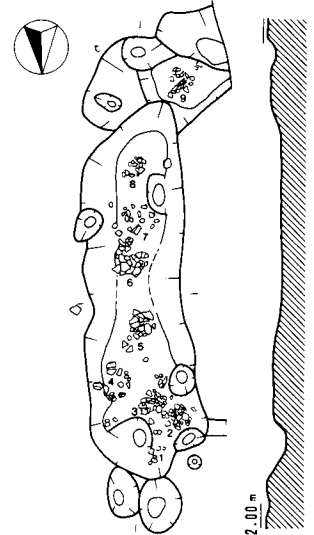
第93図 T-1号井戸(1/60)



- 1. 灰色粘
- 2. 炭化物
- 3. 暗灰色粘

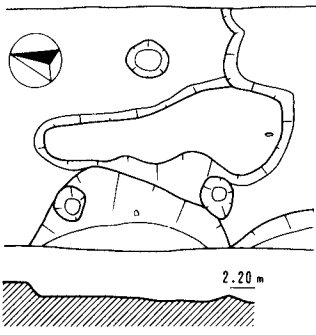
第94図 T-1号土坑(1/60)

- 1. 濁黄灰色粗砂
- 2. 明黑褐色粘砂
- 3. 黑褐色粘砂と粗砂混合
- 4. 暗黑褐色粘砂
- 5. 黑灰色砂
- 6. 明黑褐色粘砂
- 7. 黑褐色粘砂(鉄分を多く含む)
- 8. 黑色粘

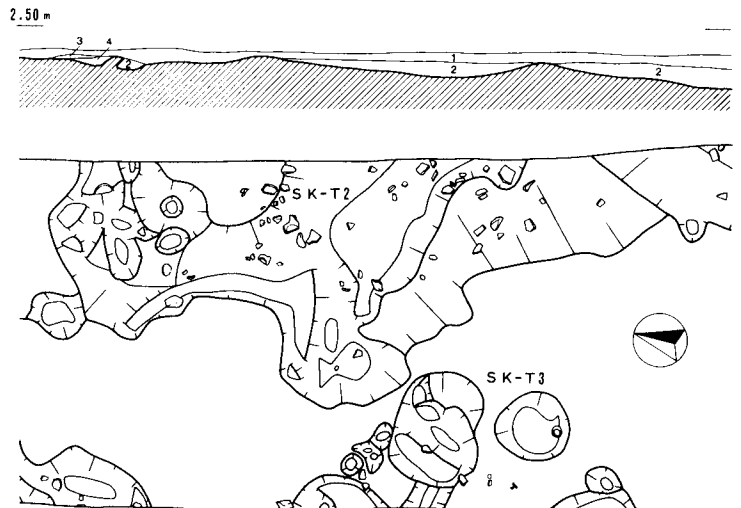


- 1. 黑灰色強粘
- 2. 暗灰色砂(炭粒混入)
- 3. 灰色粘

第95図 T-15号土坑(1/60)

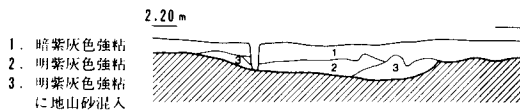


第96図 T-11号土坑(1/60)

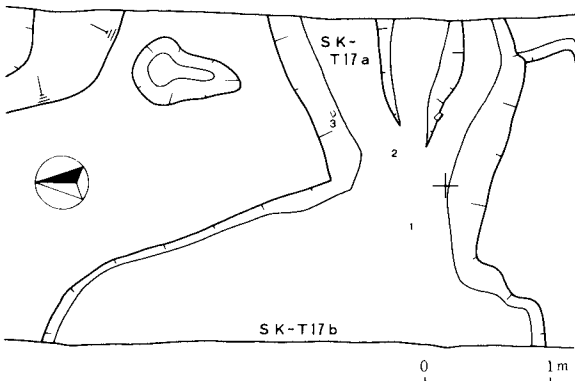


- 1. 灰色粘砂
- 2. 灰色粘
- 3. 地山砂に灰色粘混入
- 4. 灰色粘(炭粒混入)

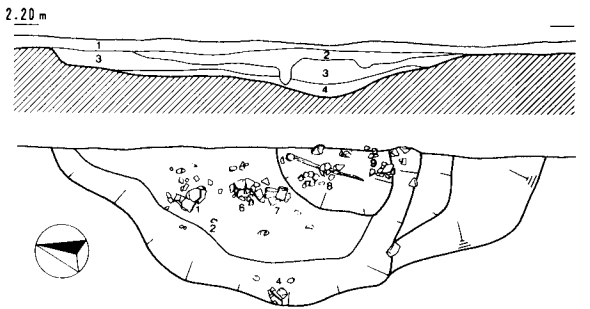
第97図 T-2, 3号土坑(1/60)



- 1. 暗紫灰色強粘
- 2. 明紫灰色強粘
- 3. 明紫灰色強粘に地山砂混入



第98図 T-17 a、17 b 土坑(1/60)



- 1. 暗紫灰色強粘
- 2. 黑褐色強粘
- 3. 暗褐色粘に砂混入
- 4. 黑褐色強粘に砂混入

第99図 T-18号土坑(1/60)

T-100号土坑（第92図）

T-294に位置し、T-1号建物の南側柱列間から検出された。平面形はほぼ円形を呈し、上端で径約0.9m、深さ0.14mを測る。坑底中心付近に柱根状の木片が遺存しており、柱穴と考えられる。須恵器、土師器の細片が僅かに出土した。

T-101号土坑（第92図、図版45）

T-293に位置する。部分的調査でまた他の遺構と重なっているため詳細は不明。土師器の細片が僅かに出土したが時期の特定には至らない。

T-1号溝（第92図）

T-284~288に位置する。T-2号溝と並行して北流する溝である。北側で幅0.6m、深さ約0.2mを測り、南側は幅1.4mと拡がり、深さも0.1m未満で不明瞭となる。細片化した須恵器、土師器が出土したが時期の特定はできない。

T-2号溝（第100、114図、図版45、46、82、86）

T-27~28区に位置する。幅約3.4m、深さ約0.2~0.4mを測る本調査区最大の溝である。部分的調査で詳細は不明であるが、陀行しつつ北流するものとみられる。覆土下層は腐植物と木片を含む灰色粘質土が堆積し、その上部の黑色粘質土層より礫と奈良時代初頭の土師器、平安時代前期の須恵器が混在して出土した。その中に「三家」の墨書銘を有する須恵器の鉢が含まれ、本調査区の性格を考える上で重要な資料である。

T-3号溝（第101、115図、図版46、82、83、86）

T-268~274に位置する。T-2号溝の北側に並行する幅約1.8mを測る溝である。T-272付近でやや括れ、検出面からの深さが0.12mから0.3mと段状に北方へ落ち込む。本溝からは「足国」と墨書された奈良時代前半の須恵器の杯（1838）を含む須恵器、手捏ね土器、礫等が出土した。本溝は平安時代には埋没し機能を停止していると考えられる。

T-4 a, b号溝（第102、116図、図版46、83、86）

T-254~260に位置する。T-4 a号溝は幅0.6~1.2m、深さ約0.1mを測り、南北方向に伸びる不整形な溝である。T-4 b号溝はT-4 a号溝の一部とも考えられ、また両溝は複数の土坑小坑が重なっているとも考えられるが部分的調査のため判然としない。奈良時代後半から平安時代前半の須恵器、土師器が出土した。

T-5号溝（第92図、図版46）

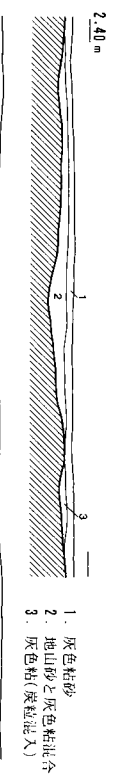
T-297~299に位置する。幅0.3~0.5mを測る南北方向に伸びる溝である。溝底は検出範囲のほぼ中央が浅くなり両側へ段状に深くなる。出土遺物はない。

T-6, 7, 10~12号溝（第104、117図、図版47、86）

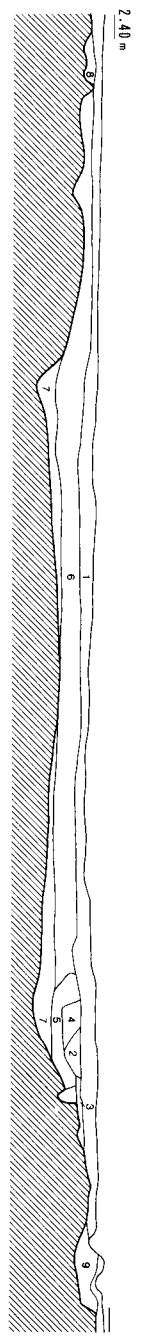
T-30、31区に位置する。幅0.3~0.5m、深さ0.1m前後を測る南北方向と東西方向に交錯する小規模な溝の一群である。T-6, 12号溝は南北方向に伸びる溝で約1mの間隔で並行する。T-7, 10, 11号溝は東西方向に伸びる溝で、T-10, 11号溝は東側で大きく開きつながる。細片化した須恵器、土師器が出土するが図化できたのはT-11号溝の須恵器（1849）1点である。平安時代前半以降の造作とみられる。

T-13号溝（第103、118図、図版47）

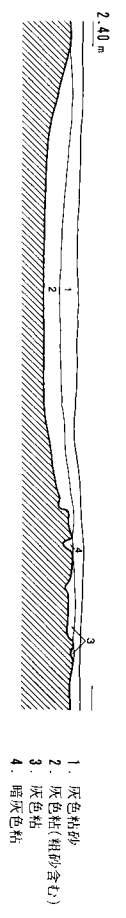
T-32区に位置する。上端で幅1.5~1.8m、深さ約0.1mを測り、東西方向に伸びる溝である。横断面は緩やかで溝底も平坦で東側がやや低くなる。礫と古墳時代後半の須恵器、平安時代前半の須恵器、土師器が混在して出土した。



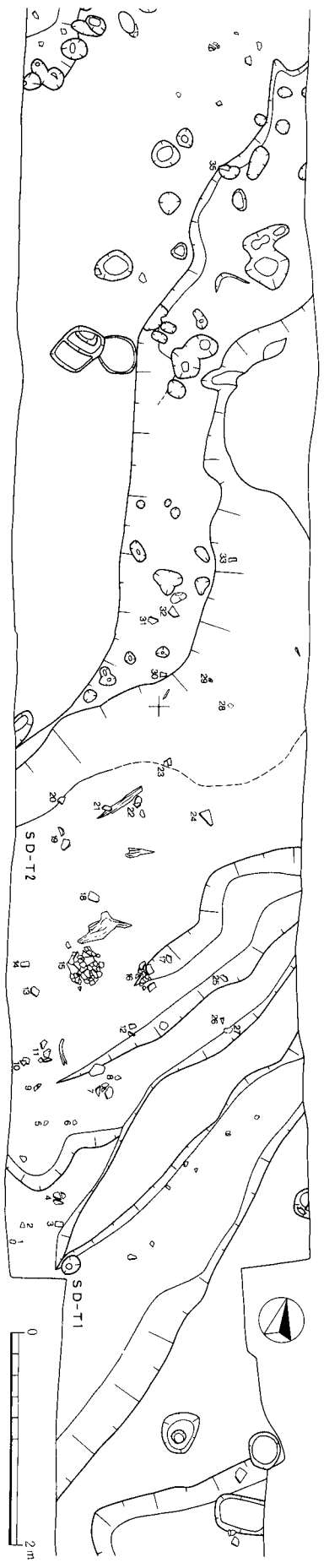
第102图 T-4 a, 4 b号溝(1/60)



第101图 T-3号溝(1/60)

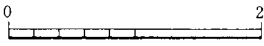
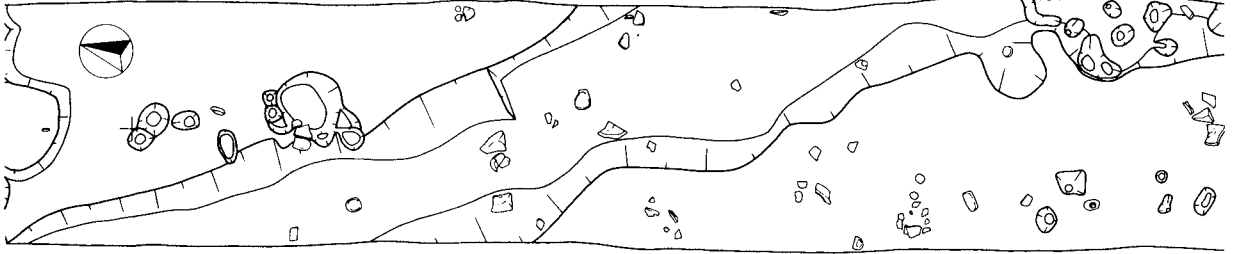
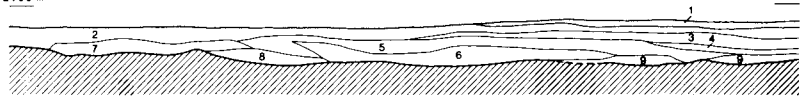


第100图 T-2号溝(1/60)

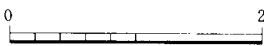
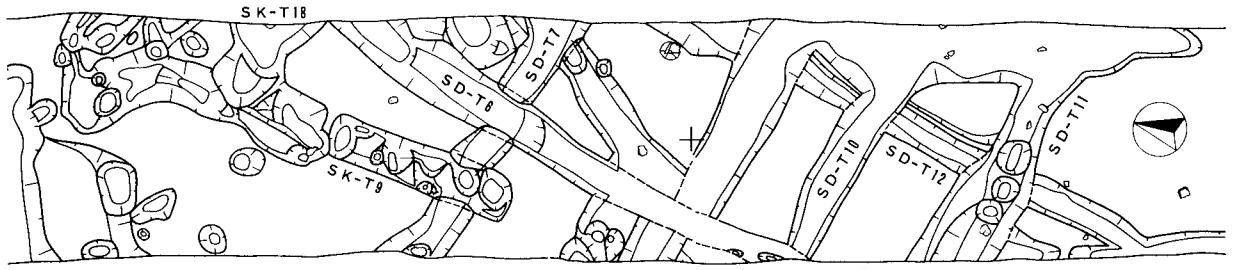


1. 灰色粘砂
2. 濁黄灰色粗砂
3. 黑褐色粘に粗砂多く混入
4. 灰褐色粗砂
5. 黄灰色粗砂
6. 黄褐色荒砂
7. 黑褐色粘と粗砂混合
8. 淡緑灰色粘に地山土混入
9. 黑色粘

2.50 m



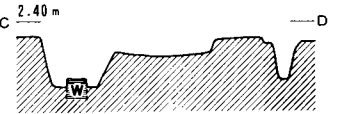
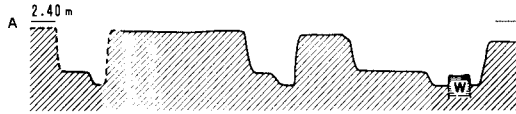
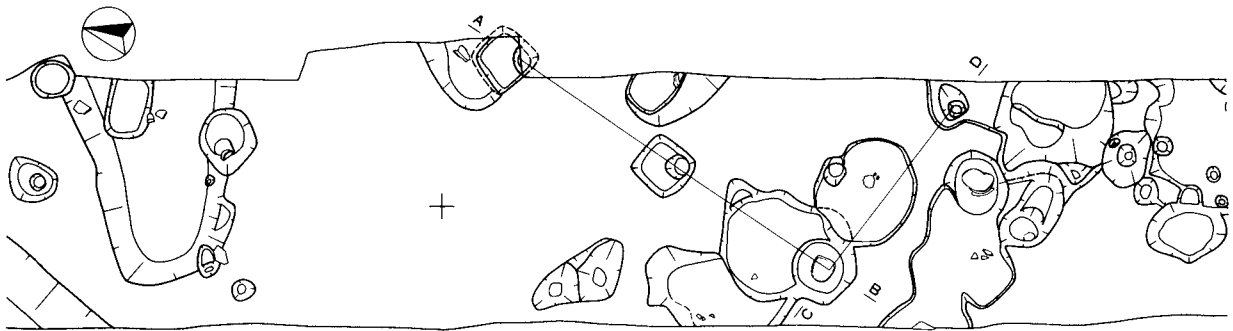
第103図 T-13号溝(1/60)



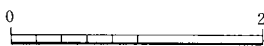
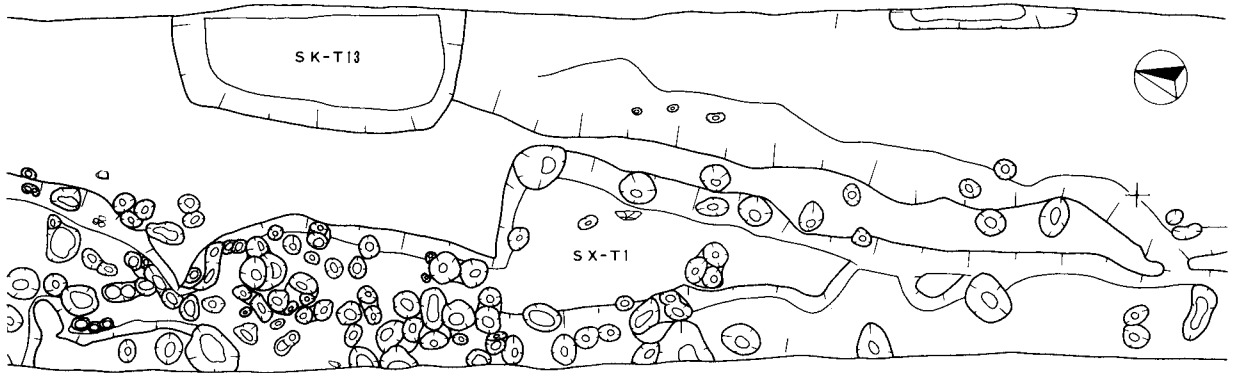
2.40 m



第104図 T-8, 9号土坑 T-6, 7, 10~12号溝(1/60)

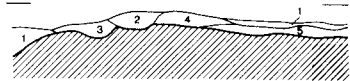


第105図 T-1号建物(1/60)

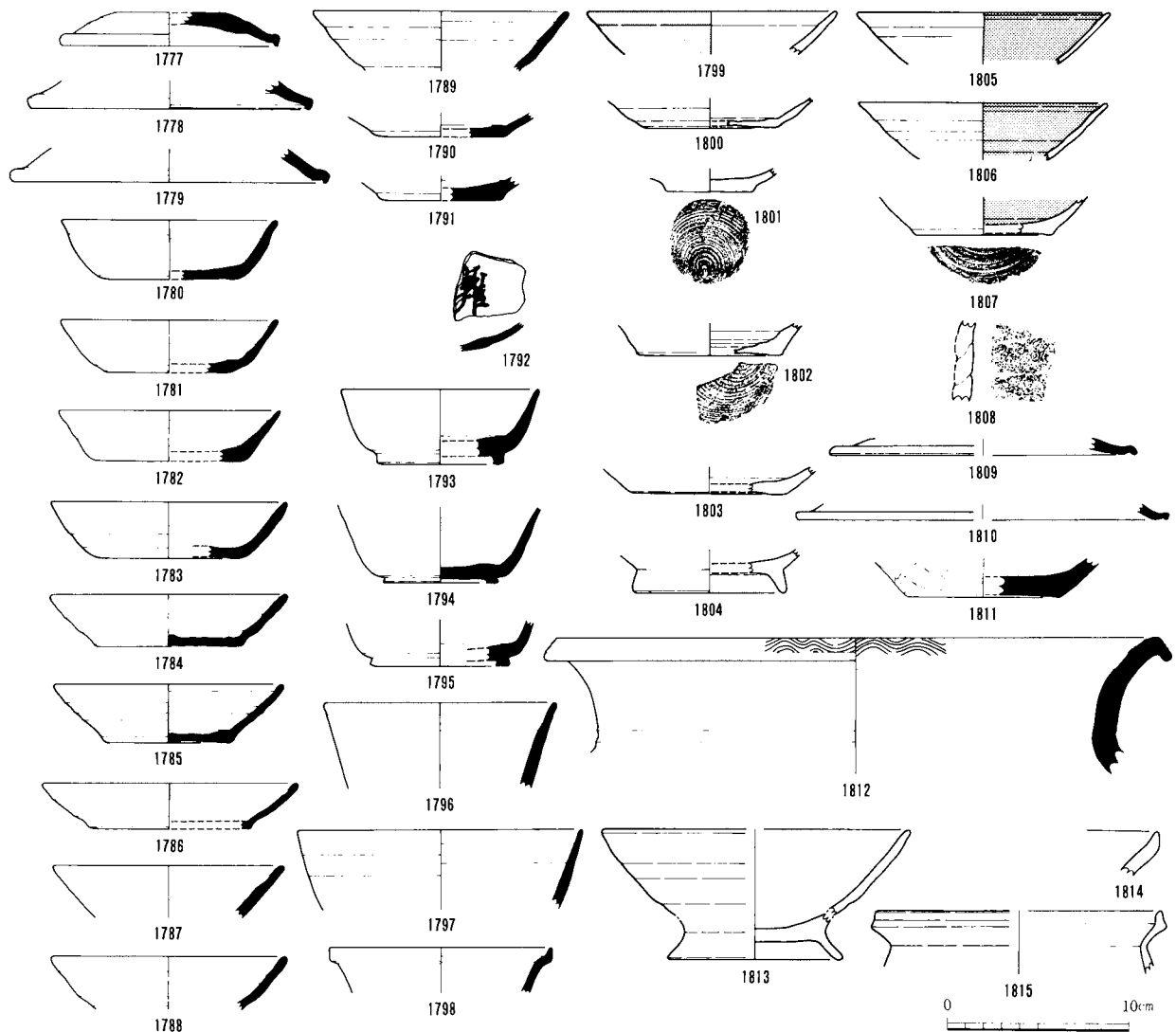


1. 暗黄褐色粘.....旧耕土
2. 黄褐色粗砂に暗黄褐色粘混入.....群盛土
3. 黄褐色砂に暗黄褐色粘多量混入.....旧耕土
4. 黄褐色粗砂(硬くしまる).....群盛土
5. 暗黄褐色粘砂

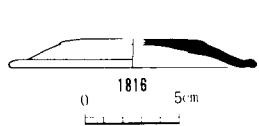
2.10 m



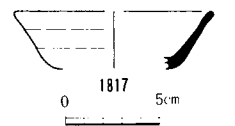
第106図 T-1号畔、足跡群(1/60)



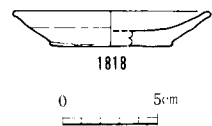
第107图 T-1号井戸出土土器 (1777~1815)



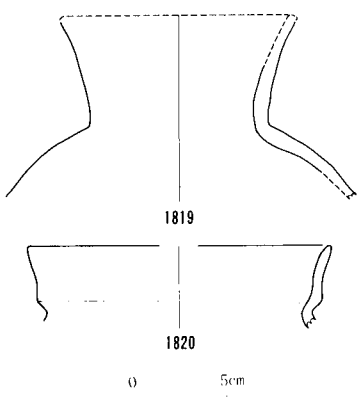
第108图 T-1号土坑出土土器 (1816)



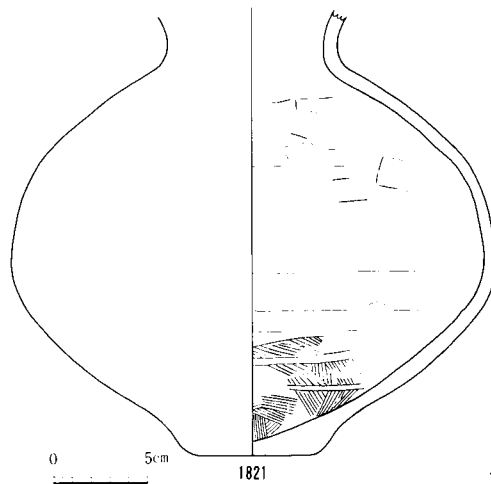
第109图 T-2号土坑出土土器 (1817)



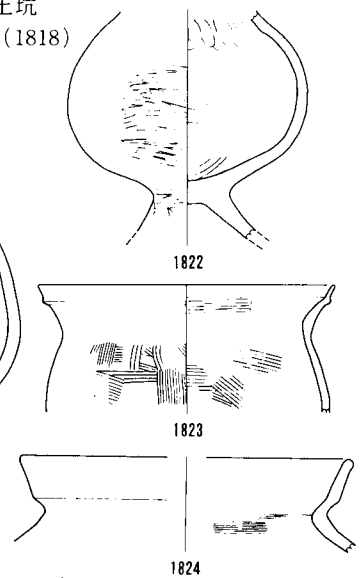
第110图 T-11号土坑出土土器 (1818)

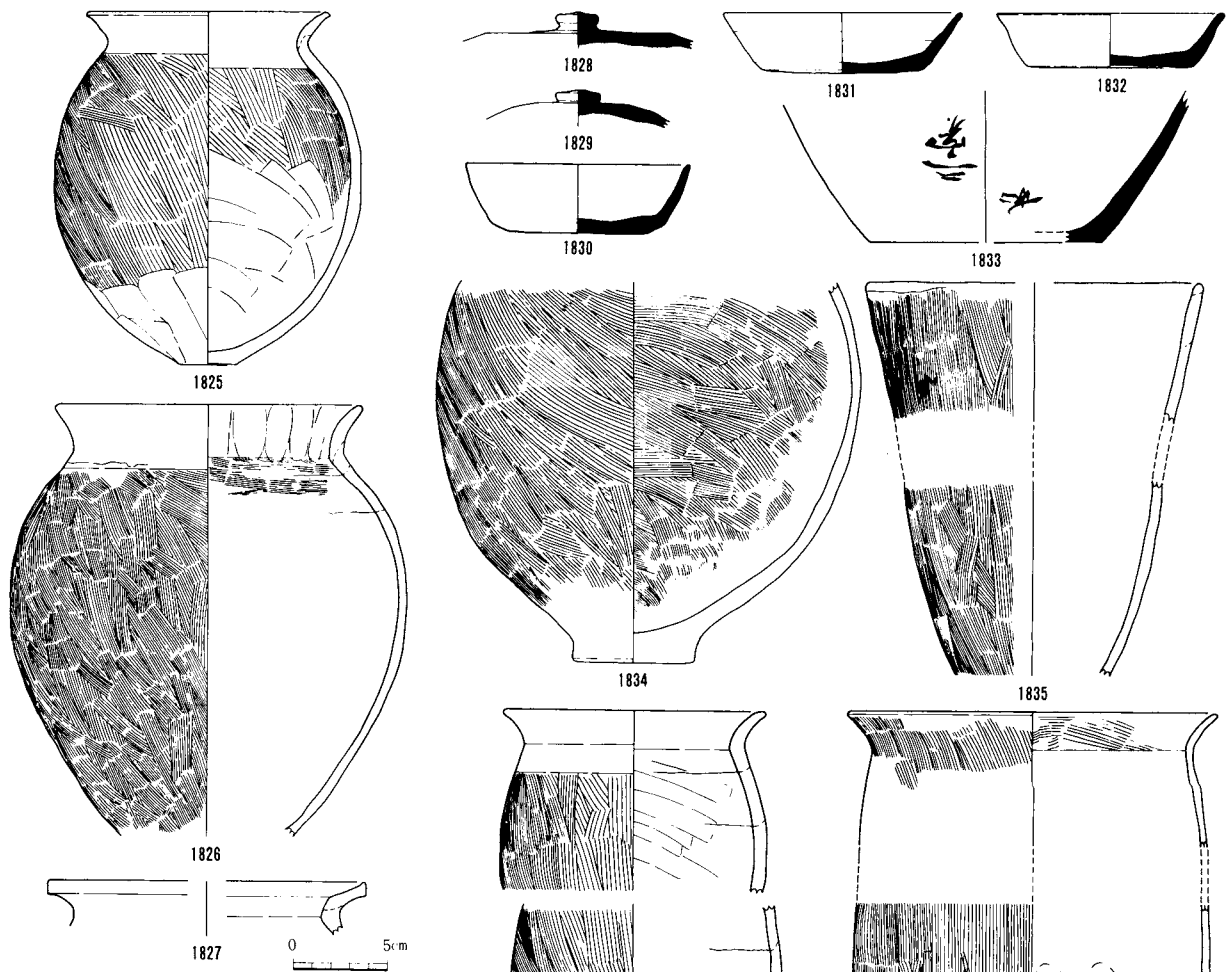


第111图 T-17a号土坑出土土器 (1819,1820)

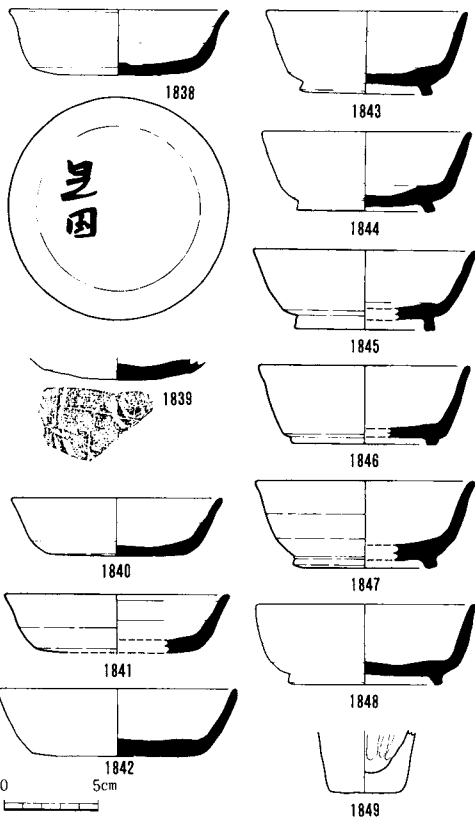


第112图 T-18号土坑出土土器 (1821~1824)



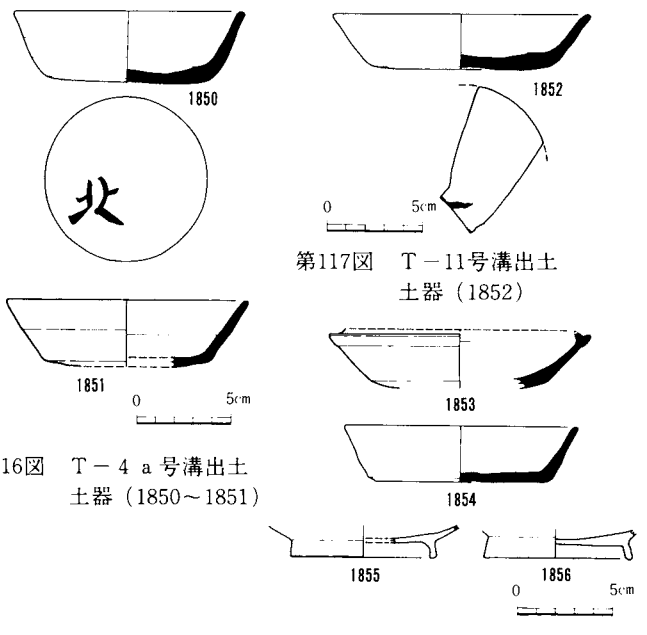


第113图 T-15号土坑
出土土器 (1825~1827)



第115图 T-3号沟出土土器 (1838~1849)

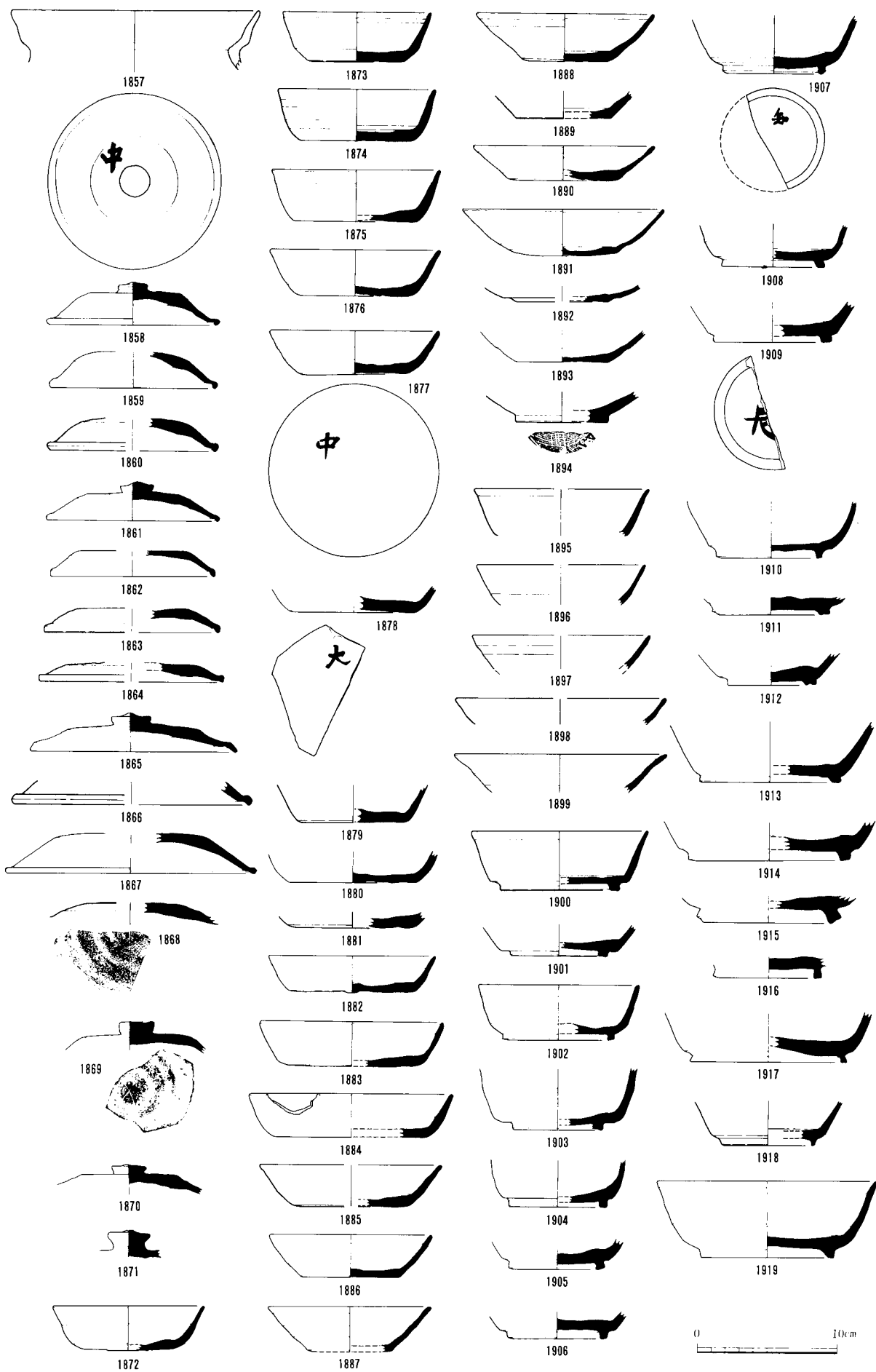
第114图 T-2号沟出土土器 (1828~1837)



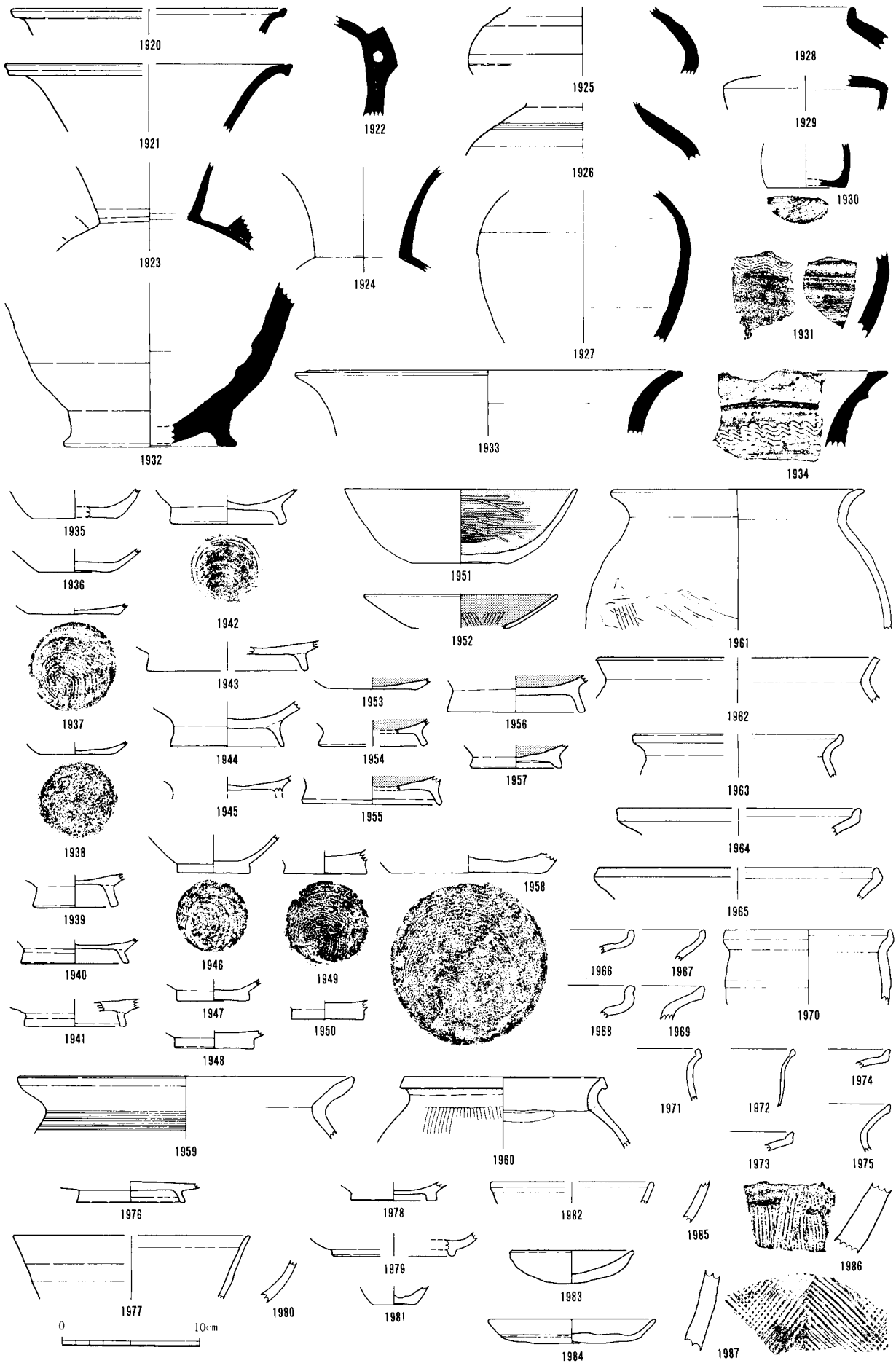
第117图 T-11号沟出土
土器 (1852)

第116图 T-4 a号沟出土
土器 (1850~1851)

第118图 T-13号沟出土土器 (1853~1856)



第119图 T調査区遺物包含層等出土土器(1)



第120図 T調査区遺物包含層等出土土器(2)

T-14号溝 (第92図)

T-151に位置する。上端で幅約0.7m、深さ0.2mを測り、東西方向に伸びる溝である。溝底は東側が若干低くなる。出土遺物は皆無である。

本溝より北側約1.5mに並行する浅い溝状遺構をもって、本調査区での検出遺構北端にあたる。

T-1号建物 (第105図、図版48)

T-29区に位置する。部分的調査で規模等は不詳である。L字状に並ぶ4個の柱穴で、柱間寸法は西側柱列で1.5m、南側柱列で1.7mを測る。掘り方は一辺0.4

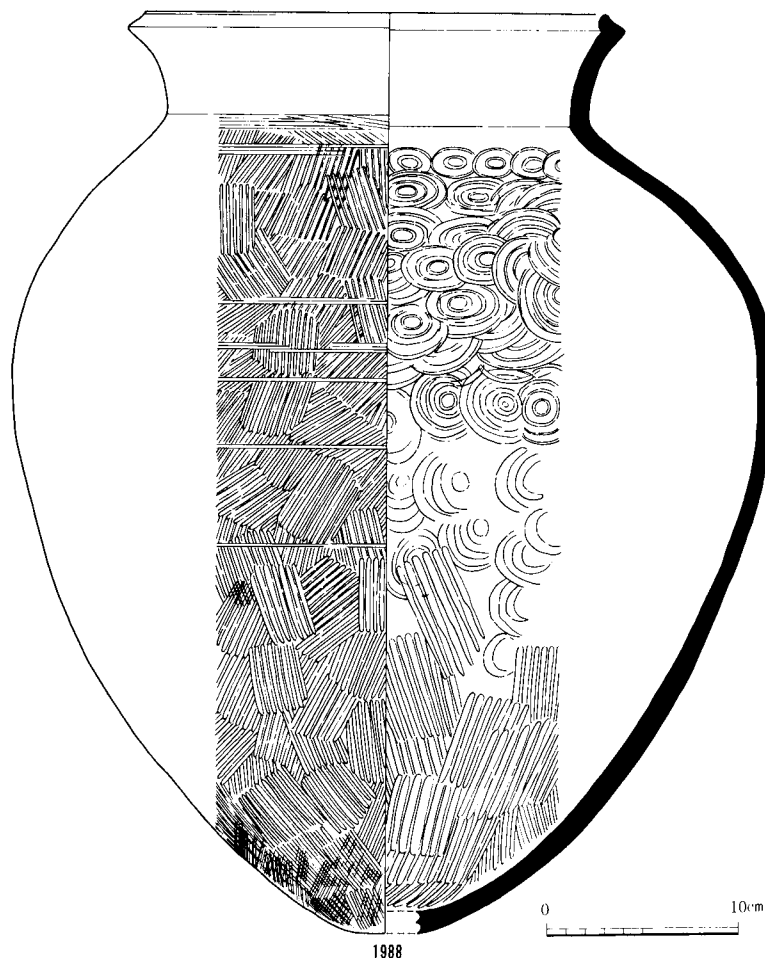
mの方形のものと、他の遺構と重なり平面形は不明であるが径約0.5mの略円形を呈すると考えられるものがある。上端からの深さ0.4mを測り、各柱穴には柱根が遺存していた。土器等の時期を特定する遺物は出土しなかった。

T-28~30区には、柱根が遺存する柱穴や、柱穴状の小坑が多数検出され、また付近からは奈良時代から平安時代前半頃の須恵器、土師器が出土していることから、該期の集落の中心地が同区を含む周辺から東側に広がっているものと推定される。

T-1号畔、足跡群 (第106図、図版48)

T-20、21区に位置する。畔は幅0.5~1.0mを測り、南北に伸びる。T-205付近から北方は幅約1.6mと道状に広がる。黄灰色砂質土が高さ約0.1m盛土され、硬くしまっていた。足跡は畔を狭んで西側で多数検出された。長径が0.1~0.3mを測る不整形な小楕円形を呈し、基盤からの深さ4~10cmを測る。覆土は旧耕土と推定される暗黄褐色粘質土で、底部は粗砂が多く混入していた。

狭長なトレンチ調査のため、どのように区画がなされていたかは不明である。時期の特定はできないが、周辺から細片化した須恵器、土師器が出土していること等から、平安時代を下らないものと考えている。



第121図 T調査区遺物包含層等出土土器(3)

第5表 掲載遺物観察表（土器）

凡 例

- 1 本表は（社）石川県埋蔵文化財整理協会の作成した遺物観察カードを補正、編集したものである。
- 2 土器の挿図、写真図版中の遺物番号は第一分冊からの続き番号であり、したがって第2分冊最初の土器番号は880である。また、土製品、木製品等はそれぞれに遺物番号を付した。
- 3 遺物の検索を容易にするために整理番号を併記した。この上2桁は実測年度(西暦)を表す。
- 4 法量の評価は、直接計測しえたものに(◎)、図上復元によるものには(復)、これら以外を(推)とする。概ね口縁部ならば2/3以上のものを(◎)、1/2～1/5程度を(復)、それ以下を(推)という評価である。
- 5 ナデは板ナデと指ナデ両者をさしている。また、ハケメ等の器面の調整方向がわかるものについて、見かけ上右回りをR、左回りをLと記した。
- 6 色調は『新版標準土色帳』（小山正忠・竹原秀雄）による。胎土中には海面骨片やシャモットが認められたが、時間的制約のため本表では示しえなかった。
- 7 最終調整が同一部位で複数みられる場合は、これらを併記した。また、調整順序がわかる場合は、たとえば「ハケメ後ナデ」のように記すことにした。
- 8 文様はその種類を記し、カッコ内に推定される施文原体を期すことにした。

番 号 整理番号	出 土 地 点	器 種	法量(評価) (cm)	成 形 ・ 調 整 部位 外面/内面	色 調 外面/内面 胎 土	遺存度	備 考 文様、記号、その他特記事項
880 83099	H-1号土坑 P-2	甕		口類部 ハケメ/	浅黄橙/浅黄橙 3mm礫1個、粗砂微	細片	
881 83052	H-5号土坑 P-5	(底部)	底径 7 (測)		黄褐/浅黄橙 粗砂少	底部 1/3	
882 83061	H-2号溝 P-5	甕	口径 16.5(◎) 体径 20.6(◎) 器高 21.2(◎)	口類部 ヨコナデ/ハケメ 体部 ハケメ/ナデ、ハケメ 底部 ナデ/ナデ	褐灰/灰黄褐 粗砂少、3mm礫微	完形	煤付着。黒斑。
883 83098	H-2号溝 P-4	壺		口類部 ハケメ/ハケメ 体部 ナデ/ハケメ	浅黄橙/灰白 粗砂少	小片	直線文、簾状文、斜行短線文。
884 83257	H-2号溝 P-3, P-5	甕	口径 21.8(測) 体部 21.6(測)	口類部 ナデ、ハケメ/ナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ナデ、ハケメ 底部 ハケメ/ナデ	灰白/灰白 粗砂多	1/3	煤付着。口縁端に刺突文(ハケ)。波状口縁。
885 83096	H-2号溝 P-2	(底部)	底径 5.9(◎)	底部 ハケメ/	灰白/灰白 2.5mm礫少、粗砂少	底部完	
886 83066	H-3号溝 P-3	甕	口径 13 (測)	口類部 不明	浅黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	小片	擬凹線。
887 83065	H-3号溝 P-3	壺	口径 12 (測)	口類部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/	にぶい黄橙/にぶい黄褐 粗砂少	口縁～ 体部 1/2	
888 83072	H-4号溝 P-7	(底部)	底径 7 (測)	底部 ハケメ/	浅黄橙/淡赤橙、灰白 砂少	底部 1/4	
889 83071	H-4号溝 P-3	(底部)	底径 8.3(◎)	底部 ハケメ/	灰白/浅黄橙 粗砂多	底部完	黒斑。
890 83073	H-4号溝 P-10	甕	口径 28 (測)	口類部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ	灰黄褐/にぶい黄褐 粗砂少	小片	口縁に刻み目(ヘラ)。
891 83059	H-5号溝 P-1	壺	口径 16 (測)	体部 /ハケメ	にぶい黄橙/灰 粗砂少	口類部 1/3	
892 83056	H-5号溝 P-3	壺	口径 14 (測)	口類部 ナデ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐 2～2.5mm礫少	1/5	
893 83053	H-5号溝	(脚部)	裾径 7 (測)	脚部 ナデ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐 粗砂少	脚部完	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
894 83057	H-5号溝 P-7	器台?	裾径 20 (測)	裾部	ヘラミガキ/ハケメ	浅黄橙/橙	小片	
895 83058	H-5号溝	甕	口径 23 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ハケメ	灰黄褐/にぶい黄橙 粗砂微	小片	煤付着。
896 83060	H-5号土坑 P-1	(底部)	底径 8.6(測)	底部	不明	淡黄/灰 粗砂少	底部完	黒斑。
897 83055	H-5号溝	(底部)		底部	不明	浅黄橙/橙 粗砂微	底部完	
898 83051	H-5号溝 P-2他	(底部)	底径 7.5(測)	体部 底部	ヘラミガキ/ナデ、ハケメ ヘラミガキ、ナデ/ハケメ	黄褐/暗灰 粗砂少	底部完	黒斑。
899 85703	H調査区 包含層	壺		体部	ヘラミガキ/ナデ	黄灰/黄褐 細砂	小片	ヘラによる文様あり。煤付着。
900 83097	H調査区	(底部)		底部	ハケメ/ヘラケズリ	灰褐/褐灰 粗砂少	小片	
901 83130	H調査区 包含層	高杯又は 器台		杯部	ナデ/ヨコナデ	橙/橙 細砂少	細片	
902 83126	M-1号土坑 P-1, P-4, S.B.	鉢	口径 14.4(測) 底径 5.1(測) 器高 8.1(測)	口縁部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ヘラミガキ/ハケメ後ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい橙/にぶい橙 0.5~1mm粗砂少	ほぼ 完形	黒斑。
903 83264	M-1号土坑 P-3	高杯		脚部	ヘラミガキ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 緻密	脚部 上半	透し孔(四方)。赤彩。
904 83177	M-1号土坑 S.B.	(底部)	底径 5.0(測)	底部	ハケメ/ナデ	灰、灰白/にぶい黄褐 礫少	底部完	
905 83174	M-3a号土坑 S.B.	壺	口径 12 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	口縁部 1/4	円形浮文(三個一対)。
906 83263	M-3b号土坑	器台		体部	不明	浅黄橙/浅黄橙 4mm礫数個	小片	
907 83075	M-4号土坑 P-2	甕	口径 22 (測)	口頸部	ハケメ/ハケメ	にぶい褐/にぶい褐 粗砂少	口縁 1/4	波状の口縁。煤付着。
908 83173	M-4号土坑 P-1	(底部)	底径 8.5(測)	底部	ハケメ/ナデ	浅黄橙/にぶい黄橙 礫少	底部完	黒斑。
909 83172	M-10号土坑	甕	口径 12 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ナデ	灰白/黄橙 礫多	口縁部 1/3	
910 83176	M-10号土坑	甕	口径 20 (測)	口頸部 体部	ナデ/ナデ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい褐 礫少	1/5	黒斑。
911 83076	M-7a号土坑	(底部)		底部	ハケメ?/ナデ	淡黄/黄橙 礫少	底部完	
912 83239	M-7b号土坑	(口縁 部)	口径 10 (測)	口頸部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	小片	口縁に刻み目(ヘラ)。煤付着。
913 83079	M-7b号土坑 第5層	(底部)	底径 4.1(測)	体部 底部	ヘラミガキ/ナデ ハケメ/ナデ	明黄褐/明黄褐 礫少、纖維含	底部完	煤付着。
914 83234	M-7b号土坑	器台		体部	ヘラミガキ/ナデ	黒/黒 礫少	小片	
915 83290	M-7b号土坑	甕	口径 22 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 礫少	小片	煤付着。
916 83178	M-7b号土坑 第3層	甕	口径 17 (測)	口頸部	ナデ/ナデ	明褐灰、橙/にぶい褐 礫少	小片	
917 83081	M-7b号土坑	甕	口径 9 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラケズリ	淡黄/にぶい黄 礫少	口頸部 1/4	煤付着。
918 83179	M-7b号土坑		頸径 13 (測)	体部	ハケメ/ハケメ後ナデ	浅黄橙/にぶい黄 礫少	小片	煤付着。
919 83074	M-7b号土坑	(底部)	底径 4.5(測)	体部 底部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ナデ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい橙 礫少	底部完。	
920 83082	M-7b号土坑	(底部)	底径 4.1(測)	底部	ヘラミガキ、ナデ/ヘラミガキ	黄橙/浅黄橙 礫少	小片	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
921 83078	M-7b号土坑 第2層	(底部)	底径 3.6(◎)	底部	ナデ/ヘラケズリ後ナデ	灰黄褐/褐灰 礫少	小片	
922 83077	M-7b号土坑 第2層	(底部)		底部	ハケメ/ナデ	にぶい橙/緑灰 礫少	底部完	煤付着。
923 83080	M-7b号土坑 第3層	(底部)		底部	ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	にぶい橙/にぶい橙 礫少	底部完	
924 83265	M-30号溝	高杯又は器台		脚柱部	ヘラケズリ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 粗砂少	脚柱部 1/2	杯接合部に沈線(ヘラ)。
925 83262	M-60号土坑	甕	口径 24 (匁)	口頸部	不明	浅黄橙/浅黄橙 粗砂多	小片	
926 83133	M-1号溝 P-1	高杯又は器台	裾径 20 (匁)	裾部	ヘラミガキ/ナデ	黒/浅黄橙 粗砂微	小片	黒斑。
927 83137	M-1号溝	杯(須恵器)	底径 8 (匁)	底部	回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂微	底部 1/5	
928 83135	M-3号溝	甕		口縁部	ヨコナデ/ヨコナデ	淡黄橙/淡黄橙 粗砂少	細片	擬凹線。
929 83131	M-5号溝	(底部)	底径 9 (匁)	底部	不明	橙/灰 0.5~2mm砂多	底部 1/4	黒斑。
930 83132	M-2号溝 P-3	器台	口径 20 (匁)	受部	不明	橙/橙 細砂微	口縁部 1/4	
931 83289	M-2号溝 P-2	壺	口径 14 (匁) 頸径 9 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 緻密	1/2	
932 83136	M-2号溝 P-6		口径 19 (匁)	口縁部	ヨコナデ/ハケメ後ナデ	灰白/灰白 砂微	小片	
933 83123	M-2号溝 P-4	鉢	口径 14.3(◎) 底径 6.1(◎) 器高 7.7(◎)	口縁部 体部 底部	ヨコナデ/ ハケメ/ ヨコナデ/ナデ	淡赤橙/灰赤 2~4mm礫、0.5~1mm粗砂多	ほぼ 完形	
934 83134	M-2号溝 P-6	高杯又は器台	口径 27 (匁)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 細砂少	口縁部 1/6	
935 83092	M-2号溝 P-6	高杯	口径 13 (匁)	杯部	不明	にぶい赤橙/橙 粗砂少	杯部 1/2	
936 83093	M-2号溝 P-3	高杯		脚部	ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	橙/にぶい赤橙 粗砂微	脚部 1/2	透し孔(三方二段)。
937 83090	M-2号溝 P-5	高杯	裾径 13.5(匁)	脚部	ヘラミガキ/ハケメ、ヘラケズリ	にぶい黄橙/橙 粗砂少	脚部 2/3	透し孔(三方二段)。
938 83091	M-2号溝 P-3	高杯		脚部	ナデ?/	橙/橙 細砂微	脚部 1/2	透し孔(三方二段)。
939 83094	M-2号溝 P-4	(底部)	底径 6.6(匁)	底部	ヘラケズリ後ナデ/ナデ?	にぶい橙/赤黒 粗砂少	底部 2/3	
940 83118	M-7号溝	壺	口径 26 (匁)	口頸部	ナデ、ハケメ/ナデ?	浅黄橙/明褐灰 砂、礫	口頸部 1/6	2個1対の円形浮文上に刺突文(竹管)。
941 83129	M調査区 包含層	壺又は甕	口径 10 (匁) 頸径 8 (匁)	口頸部 体部	ナデ/ナデ ハケメ/ナデ	にぶい橙/にぶい橙 1~3mm礫少	小片	
942 83128	M調査区 包含層	器台	受部径 9 (匁)	受部 脚部	/ナデ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm礫少	底部欠 受部 1/2	
943 83138	M調査区 ビット14	壺	体径 18 (匁)	体部	ナデ/ナデ	淡黄橙/淡黄橙 粗砂少	小片	
944 83256	M調査区 包含層	甕	口径 22 (匁) 頸径 18 (匁)	口頸部 体部	不明 ハケメ/	浅黄橙/褐灰 2mm礫多	1/6	
945 83139	M調査区 小穴	(口縁部)		口縁部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白/灰白 ほとんど砂含まず	細片	赤彩。
946 83149	M調査区 小穴	甕		口縁部	ナデ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	細片	煤付着。
947 83127	M調査区 包含層	(底部)	底径 5.0(◎)	底部	ハケメ/	橙/にぶい黄橙 2.5~4mm礫少	底部完	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
948 83125	M調査区 包含層	(底部)	底径 7.1(㉟)	底部	不明	淡黄/淡黄 2~4mm礫、1mm粗砂多	底部完	
949 83124	M調査区 包含層	(底部)	底径 8.5(㉟)	底部	ナデ?/ナデ?	浅黄橙、浅赤橙/赤黒 3mm礫少、0.5~1.5mm粗砂多	底部完	
950 83175	M調査区 包含層	(底部)	底径 4.0(㉟)	底部	ハケメ/ハケメ	明褐灰/褐灰 礫少	底部完	
951 85384	I-3号溝 S.B.A-4、他 (備考参照)	壺	口径 19.5(㉟) 頸径 10.3(㉟)	口縁部 頸部	ヘラミガキ/ナデ ヘラミガキ/ハケメのちケズリ、指ナデ	灰黄褐/灰黄褐 1~2mm粗砂少	口縁~ 肩部 1/2	NV121d(上部の下)P-75、 81,83接合。
952 85383	I-3号溝 S.B.A-4	壺	頸径 11(㉟)	頸部 体部	ヘラミガキ/ハケメ ヘラミガキ/ヘラケズリ	にぶい橙/にぶい橙 3mm礫多	口縁~ 肩部1/ 2以上	煤付着。
953 85387	I-3号溝 S.B.A-4、他 (備考参照)	壺	口径 25(㉟)	体部	ヘラミガキ/ナデ、板ナデ(?)	にぶい黄橙/灰白、褐灰 0.2~4mm砂やや多	体部 1/3	黒斑。NV121d(上部)P-20、 NV121c(上部)P-21接合。
954 85386	I-3号溝 S.B.A-4	壺	口径 14.0(㉟) 頸径 10.0(㉟) 体径 20.0(㉟)	口縁部 頸部 体部 底部	ナデ/ナデ ハケメ(L)/ナデ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐 1~2mm砂少	口縁~ 体部1/ 底部1/2	黒斑。
955 85201	I-3号溝 S.B.A-4	壺	口径 13.1(㉟) 頸径 12.8(㉟) 体径 19.8(㉟)	口縁部 体部	ハケメ/ナデ ハケメ/ケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~4mm砂礫やや多	口縁~ 体部 1/3	
956 85385	I-3号溝 S.B.A-4	壺	口径 10.8(㉟) 体径 19.1(㉟)	頸部 体部	ハケメ/ヨコナデ ハケメ/指ナデ(上半)、ハケメ(下半)	灰白、褐灰/褐灰 1~2mm礫少	頸部~ 体部 2/3	黒斑。肩部刺突文(ハケ)。
957 85382	I-3号溝 S.B.A-4	高杯	脚柱径 6.0(㉟) 裾径 21.3(㉟)	脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ケズリ ヘラミガキ/ヘラミガキ	淡灰褐/淡茶褐 0.5~1mm粗砂多	1/2	
958 85376	I-3号溝 S.B.A-4	鉢	口径 20(㉟) 頸径 17(㉟)	口縁部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ(?) 不明	淡橙/淡橙 1mm粗砂微	口頸部 1/6	
959 85377	I-3号溝 S.B.A-4	甕	口径 20(㉟) 頸径 16(㉟)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	にぶい橙/にぶい橙 1~2mm粗砂	口頸部 1/4	煤付着。
960 85381	I-3号溝 S.B.A-4、他 (備考参照)	甕	口径 19.4(㉟) 口径 22(㉟) 器高 26(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ(L)/ヘラケズリ ケズリ、ナデ/ヘラケズリ、ハケメ	明褐灰/明褐灰、にぶい黄橙 0.5~2mm粗砂やや少	ほぼ 完形	煤付着。NV121(上部)P-22、 NV121d(上部の下)P-63接 合。
961 86015	I-3号溝 S.B.A-4	甕	口径 18.6(㉟) 口径 21.1(㉟) 器高 26.6(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/指ナデ ハケメ/ナデ	灰白/灰白 砂少	1/2	煤付着。黒斑。肩部刺突文 (ハケ)。
962 85379	I-3号溝 S.B.A-4、他 (備考参照)	甕	口径 19(㉟) 口径 16(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/板ナデ	淡黄/灰黄 1mm粗砂微	口縁~ 体部 1/4	黒色付着物。肩部刺突文(ハ ケ)。NV121d(上部)P-37、 NV121d(上部の下)P-71接合。
963 85378	I-3号溝 S.B.A-4	甕	口径 17(㉟) 口径 14.0(㉟) 口径 15.8(㉟)	口頸部 体部	ナデ/ナデ ハケメ/指ナデ	明褐灰/明褐灰 2mm砂少	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
964 85375	I-3号溝 S.B.A-4	(底部)	底径 4.4(㉟)	底部	ハケメ/ナデ	灰白/灰白 0.5~2mm砂、3mm大礫多	底部完	黒斑。
965 85380	I-3号溝 S.B.A-4、他 (備考参照)	甕	口径 11.9(㉟) 口径 13(㉟) 器高 16(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ /? ハケメ(/)/ハケメ	にぶい橙/にぶい黄橙 2mm砂少	口縁~ 体部1/ 底部完	煤付着。口縁部、肩部刺突文 (クシ)。NV121c(上部)P- 24接合。
966 85389	I-3号溝 S.B.A-6-8	鉢	口径 14(㉟) 口径 6.2(㉟) 器高 7.7(㉟)	口縁部 底部	ナデ/ナデ ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙、浅黄橙/にぶい 黄橙 0.5~5mm砂礫少	口縁部 (㉟) 底部完	煤付着。黒斑。
967 86014	I-3号溝 S.B.A-4,6-8、 他(備考参照)	甕	口径 18.6(㉟) 口径 16.4(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ(上半)、ハケメ(下半)	にぶい黄/にぶい黄 2~3mm砂少	2/3	煤付着。肩部刺突文(ハケ)。 NV121b(上部の下)P-63接 合。
968 86022	I-3号溝 S.B.A-6-8、他 (備考参照)	甕	口径 14.5(㉟) 口径 13(㉟) 口径 15.5(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ケズリ ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/2	煤付着。口縁部刻み目(ヘ ラ)、肩部波状文(クシ)。N V121d(上部の下)P-63接合。
969 86058	I-3号溝 S.B.A-4,6-8、 他(備考参照)	甕	口径 21.8(㉟) 口径 26.7(㉟) 器高 32.8(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい黄/灰白 1mm砂	2/3	煤付着。NV121d(上部の 下)P-63接合。
970 85203	I-3号溝 S.B.A-4,10、他 (備考参照)	壺	口径 13.6(㉟) 口径 10.3(㉟) 口径 22.0(㉟)	口頸部 体部	ハケメ後ナデ/ヨコナデ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケ メ(下半)	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂やや多	底部欠 他完形	煤付着。肩部刺突文(ハケ)。 NV121d(上部の下)接合。
971 85390	I-3号溝 S.B.A-10	(脚部)	裾径 10.8(㉟)	脚部	ハケメ後ケズリ/ハケメ、指押え	にぶい橙/にぶい黄橙 0.5~4mm粗砂礫多	脚部 2/3	
972 85388	I-3号溝 S.B.A-4,10、他 (備考参照)	甕	口径 17.5(㉟) 口径 20.5(㉟) 器高 24.5(㉟)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ハケメ後ナデ ハケメ/ハケメ後ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 緻密、1~2mm小石微	ほぼ 完形	煤付着。NV121d(上部の 下)P-63,72接合。
973 85393	I-3号溝 S.B.A-11	壺	口径 18(㉟)	口頸部	/ナデ	黄灰/灰黄 1~2mm礫少	小片	口縁部線状刺突文(クシ)。 口唇部刺突文(クシ)。頸部 直線文(クシ)。
974 85391	I-3号溝 S.B.A-10,11、他 (備考参照)	甕	口径 16.0(㉟) 口径 13.8(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	明褐灰、灰白/明褐灰、灰白 1~2mm砂、4mm礫やや多	口縁~ 体部 2/3	NV121d(上部の下)P-65、 NV121b(下部?)接合。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
975 85392	I-3号溝 S.B.A-11	甕	口径 20 (匁) 頸径 18 (匁)	口頸部	ナデ(?) / ナデ、ケズリ	にぶい黄橙/灰黄褐 1~3mm粗砂礫	口頸部 1/5	肩部刺突文(ハケ)。
976 85395	I-3号溝 S.B.A-17	甕	頸径 7.1(匁) 体径 8.1(匁) 底径 3.6(匁)	体部 底部	ナデ/ナデ ヘラケズリ後ナデ/ナデ	にぶい黄褐/にぶい黄橙 0.2~3mm粗砂礫やや少	ほぼ完 形(口 縁欠)	煤附着?。炭化物附着?。
977 85394	I-3号溝 S.B.A-15	高杯又 は器台	裾径 12 (匁)	脚部	ヨコナデ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm砂微	小片	
978 85396	I-3号溝 S.B.B-1	高杯	杯部 35 (匁)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい橙/にぶい橙 0.5~3mm粗砂礫少	杯部 1/4	赤彩。
979 85363	I-3号溝 S.B.B-1	蓋	つまみ径 3.9(匁)		指押え、ハケメ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 2mm小石微	上半完	
980 85413	I-3号溝 S.B.B-1	高杯又 は器台				浅黄橙/浅黄橙 2~3mm砂礫少	脚柱部 1/2	透し孔(四方多段)。
981 85397	I-3号溝 S.B.B-1	器台	裾径 13.6(匁)	脚部	ヘラミガキ/ヘラケズリ、ハケメ、ナデ	灰白/灰白 0.2~1mm粗砂やや少	脚部完	透し孔(三方)。煤附着。
982 85399	I-3号溝 S.B.B-2	壺?	口径 14 (匁)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ	灰白/灰白 粗砂やや多、2mm大礫少	口縁部 1/4	
983 85401	I-3号溝 S.B.B-2	壺	口径 11.5(匁) 体径 17 (匁) 器高 25.6(匁)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ(?) / ハケメ /ハケメ、ナデ	褐/褐 1~2mm粗砂	ほぼ 完形	黒斑。口縁端部9ヶ所に刻み 目(ヘラ)。
984 85400	I-3号溝 S.B.B-2	甕	口径 16 (匁) 頸径 14 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	淡橙/淡橙 1mm粗砂やや多	口縁部 1/4 以下	煤附着。擬凹線。
985 85398	I-3号溝 S.B.B-1,2	甕	口径 16 (匁) 頸径 12 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙/浅黄 0.5~3mm粗砂、礫	口縁~ 体部 1/2	黒斑。煤附着。肩部に刺突文 (ハケ)。擬凹線。
986 85403	I-3号溝 S.B.B-3,4	甕	口径 15 (匁) 頸径 12 (匁) 体径 19 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm礫少	口縁~ 体部 1/3	口縁に刻み目(ヘラ)
987 85405	I-3号溝 S.B.B-3,4	甕	口径 15 (匁) 頸径 12 (匁) 体径 14 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ナデ ハケメ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂	口頸部 1/3	煤附着。肩部刺突文(ハケ)。
988 85402	I-3号溝 S.B.B-3,4	高杯又 は器台	裾径 18 (匁)	脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm以下粗砂微	小片	
989 85404	I-3号溝 S.B.B-3,4,他 (備考参照)	甕	口径 19.3(匁) 体径 15.8(匁) 器高 14.4(匁)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ナデ	灰褐/淡茶褐 0.5~2mm粗砂	ほぼ 完形	黒斑。煤附着。NW122a P -102接合。
990 85406	I-3号溝 S.B.B-6	壺		体部	ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂礫少	小片	赤彩。肩部に刺突文(クシ、 竹管)。
991 85407	I-3号溝 S.B.B-6	壺	頸径 13 (匁) 体径 18 (匁)	頸部 体部	ハケメ/ナデ、指ナデ ハケメ/指ナデ	灰白/浅黄橙 0.2~3mm粗砂、礫多		煤附着。
992 85408	I-3号溝 S.B.B-9	高杯	口径 21 (匁)	杯部	ヘラミガキ/ヨコナデ(上半)、ヘラミガ キ(下半)	にぶい橙/にぶい赤褐 殆ど砂混入なし	杯部 1/4	凹線文。
993 85409	I-3号溝 S.B.B-11	甕	口径 16 (匁) 頸径 11 (匁)	口頸部	ハケメ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	1/5	口縁刻み目。煤附着。
994 85410	I-3号溝 S.B.B-12	甕	口径 16 (匁)	口縁部	ハケメ後ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂多	小片	
995 85411	I-3号溝 S.B.B-19	壺	口径 11 (匁) 頸径 8 (匁)	口縁部	ハケメ後ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい黄/にぶい黄 1~3mm粗砂、礫多	口縁部 のみ1/ 4以上	
996 85412	I-3号溝 S.B.B-26	(底部)	底径 6 (匁)	底部	ハケメ/	にぶい浅黄橙/ 1mm前後砂多、3mm礫少	底部 のみ 1/2	内面に炭化物。
997 85130	I-3号溝 上部(?) NW122d P-8	壺?	口径 20 (匁)	口縁部	ハケメ、ヨコナデ/ヨコナデ	灰黄褐/灰褐 1~2mm礫微	口縁部 1/4	煤附着。
998 85186	I-3号溝 上部 NV120d P-4,16	壺	口径 23 (匁) 頸径 14 (匁)	口頸部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄褐、灰黄/灰黄、褐 0.5~1mm粗砂	口頸部 1/3	頸部に刻み目凸帯(ハケ)。
999 85185	I-3号溝 上部 NW122a P-21	壺	口径 21 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヘラミガキ	淡橙/淡橙 1~2mm粗砂	口頸部 1/3	赤彩。3個単位の円形浮文。 頸部凸帯。
1000 85191	I-3号溝 上部	壺	口径 11 (匁) 頸径 7 (匁)	口頸部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	赤橙/赤橙 0.5~2mm粗砂	口頸部 1/4	赤彩。
1001 85190	I-3号溝 上部 NW122b, c	壺	口径 15 (匁) 頸径 9 (匁)	口頸部	ヘラミガキ? /	黒褐/黄橙 0.2~0.5mm粗砂微	口頸部 1/4	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1002 85227	I-3号溝 上部 NV121c P-21	壺	口径 12.5(㉞) 頸径 8.5(㉞)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 殆ど砂混入なし	口頸部 1/3	
1003 86352	I-3号溝 上部(?) NW122a P-28	壺	口径 15(㉞) 頸径 9(㉞)	口頸部	ハケメ、ヨコナデ/	浅黄橙、淡橙/浅黄橙 1mm砂多	1/5	
1004 85168	I-3号溝 上部 NV121c P-31	壺	口径 17(㉞) 頸径 10(㉞)	口頸部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂やや多	口頸部 1/3	
1005 86024	I-3号溝 上部 NV121d P-26	壺?	口径 12.5(㉞) 頸径 10.2(㉞) 体径 15(㉞)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ?	にぶい橙/にぶい橙 0.5~2mm砂多、2mm大礫少	口縁~ 体部 1/2	煤付着。黒斑。
1006 85119	I-3号溝 上部 NV120b P-10	壺	口径 12(㉞) 頸径 11.5(㉞) 体径 16.5(㉞)	口頸部 体部	不明 不明	浅黄橙/浅黄橙 殆ど砂混入なし		
1007 85145	I-3号溝 上部 NV122c P-1	壺	口径 9.2(㉞) 体径 11.4(㉞) 器高 11.9(㉞)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ケズリ/ケズリ ケズリ/指押え	浅黄橙/浅黄橙 1mm粗砂やや多	完形	黒斑。
1008 85180	I-3号溝 上面 NV121c P-42	壺	口径 12.4(㉞) 体径 20(㉞) 器高 27.5(㉞)	口頸部 体部 底部	ハケメ後ヨコナデ/ナデ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄褐、褐 灰 1mm粗砂	1/2	煤付着。分割成形?。底面に 粗痕。
1009 85150	I-3号溝 上部 NV121c P-23	壺	口径 12.4(㉞) 体径 15.7(㉞) 器高 28.2(㉞)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ハケメ、ナデ ハケメ/ハケメ	淡茶褐/淡灰褐 0.5mm以下細砂	1/3	黒斑。
1010 85154	I-3号溝 上部 NV121c P-12	壺	口径 13.5(㉞) 頸径 11.8(㉞) 底径 5.3(㉞)	口頸部 体部 底部	ハケメ、ヨコナデ/ハケメ、ヨコナデ ハケメ/ハケメ、指押え ハケメ/ハケメ	淡茶褐、灰褐/淡茶褐 0.5mm以下細砂少	1/4	黒斑。煤付着。
1011 85164	I-3号溝 上部 NW122b P-17	壺	口径 16.0(㉞) 頸径 11.8(㉞)	口頸部 体部	ハケメ、ヨコナデ/ヨコナデ ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~4mm粗砂礫やや多	口頸部 3/4	
1012 85229	I-3号溝 上部 NW122a P-46,47	壺	口径 12.6(㉞) 頸径 10.5(㉞) 体径 19.5(㉞)	口頸部 体部	ハケメ後ヘラミガキ、ヨコナデ/ハケメ、 ナデ ハケメ/ナデ、ハケメ(下半)	浅黄橙/明褐灰 1~2mm粗砂少	底部 欠損	頸部竹管刺突文。煤付着。
1013 85231	I-3号溝 上部 NW121b P-29	壺	口径 18(㉞)	口頸部	ハケメ/	淡赤橙/淡赤橙 2mm砂多	口頸部 1/3	擬凹線。
1014 85233	I-3号溝 上部 NW122d P-1	壺	口径 12.7(㉞) 頸径 9.8(㉞)	口頸部 体部	ハケメ後ヘラミガキ、ナデ/ ヘラミガキ/指押え、ナデ	黄橙/黄橙 殆ど砂混入なし	口頸部 1/2	頸部記号文(ヘラ)。
1015 85224	I-3号溝 上部 NV120d P-3	壺	口径 13.5(㉞) 体径 19.0(㉞) 器高 27.5(㉞)	口頸部 体部 底部	ハケメ、ヨコナデ/ケズリ、ヨコナデ ハケメ/ケズリ、ナデ ハケメ/ケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm小石少	ほぼ 完形	底面ケズリ。
1016 85148	I-3号溝 上部 NV121d P-36,42	壺	口径 15.9(㉞) 頸径 10.1(㉞) 体径 22(㉞)	口頸部 体部	ハケメ、ヨコナデ/ケズリ後ナデ ハケメ/ナデ、ハケメ(下半)	淡茶褐、橙褐/淡灰褐 細砂多	1/4	黒斑。肩部刺突文(ハケ)。
1017 85228	I-3号溝 上部 NW122a P-20	壺	口径 14.5(㉞) 頸径 10.5(㉞)	口頸部	ハケメ/ハケメ、ヨコナデ	浅黄橙/浅黄橙 2mm細砂少	口頸部 1/4	凹線。
1018 85169	I-3号溝 上部 NW121b P-19, NV121d P-90	壺	口径 16(㉞) 頸径 11(㉞)	口頸部 体部	ハケメ、ヨコナデ/ハケメ、ヨコナデ ハケメ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~4mm粗砂礫やや多	1/4	
1019 85151 85700	I-3号溝 上部 NV121d P-49,90	壺	頸径 13.5(㉞) 底径 5.3(㉞)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	淡茶褐/淡茶褐 0.5mm以下細砂	1/5	頸部に記号文(ヘラ)。
1020 82073	I-3号溝 上部 NV? P-21	壺	頸径 11.9(㉞) 体径 20.0(㉞)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヨコナデ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ	黄褐/淡灰褐 砂含むが精良	口縁部 欠	
1021 85173	I-3号溝 上部 NV121d P-46	壺		口頸部 体部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~4mm粗砂礫やや多	頸~ 体部 小片	肩部に記号文(ヘラ)。煤付 着。
1022 85181	I-3号溝 上部の下 NW122a P-115	壺	口径 5.2(㉞) 体径 11.2(㉞) 器高 14.8(㉞)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	浅黄橙、橙/浅黄橙、橙 1~2mm砂	完形	
1023 85232	I-3号溝 上部 NV121a	壺	口径 7.7(㉞)	口頸部 体部	ハケメ、ナデ/ハケメ ハケメ/ナデ	にぶい褐/にぶい褐 1~2mm粗砂微	口縁完	
1024 85159	I-3号溝 上部 NV121c	壺	口径 7.7(㉞) 頸径 5.5(㉞) 体径 9.2(㉞)	口頸部 体部	ナデ/ナデ ハケメ?/ナデ	暗茶褐/暗褐 0.5~3mm粗砂礫	2/3	黒斑。凹線。
1025 85460	I-3号溝 上部 NW121b	壺	底径 4.0(㉞)	体部 底部	ナデ、ハケメ/ナデ ナデ、ハケメ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂礫やや多	体部 1/2	黒斑。
1026 86025	I-3号溝 上部 NV121c S.B.-W	壺?	頸径 10.8(㉞) 体径 16(㉞)	体部 底部	ハケメ、ナデ/ケズリ ケズリ/ハケメ後ナデ	浅黄橙/浅黄橙 砂	体部 1/3	黒斑。煤付着。
1027 85195	I-3号溝 上部 NW122b・c	壺	口径 12(㉞) 頸径 12(㉞)	口頸部 体部	不明 ハケメ?/ハケメ?	橙/橙 1~2mm粗砂	口縁~ 体部 1/4	黒斑。
1028 85158	I-3号溝 上部 NV120b P-7	壺	口径 8(㉞) 体径 16.0(㉞)	口頸部 体部	ハケメ/ナデ ハケメ/指ナデ	淡茶褐/灰茶褐 0.3~3mm粗砂多、礫微	口縁 1/3	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1029 85020	I-3号溝 上部 NW122b P-3	壺	口径 14 (匁) 頸径 10 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヘラミガキ/ハケメ後ナデ		浅黄橙/にぶい橙 0.2~3mm粗砂、礫やや多	口縁 2/3 欠	
1030 85225	I-3号溝 上部 NW122b P-20	壺	口径 6.8(匁) 体径 10.5(匁)	口頸部 ヘラミガキ/ハケメ後ナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄橙/灰黄褐 2mm礫散	1/2	
1031 86073	I-3号溝 上部 NW121b P-14 NV121d P-90	壺	体径 21 (匁)	体部 ヘラミガキ(?) /指ナデ、ハケメ		灰白/灰白 砂少	小片	
1032 85241	I-3号溝 上部 NW122b・c、 NW122d P-4	壺	体径 14 (匁)	体部 ヘラミガキ/指ナデ		浅黄橙/浅黄橙 2mm砂散	小片	
1033 85492	I-4号溝 上部 NV120b	鉢	口径 11.4(匁) 体径 11.3(匁) 器高 9.4(匁)	口頸部 ヨコナデ/ヘラミガキ 体部 /ヘラミガキ 底部 /ナデ		灰白/黒 1~2mm粗砂散	ほぼ 完形	頸部に2個1対の孔。黒斑。
1034 85035	I-3号溝 上部 NV120a	鉢	口径 12 (匁) 頸径 9 (匁) 体径 10 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ナデ		黒、褐灰/明褐灰、灰白 0.5~2mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/2	外面黒色物付着。
1035 85238	I-3号溝 上部 NW122a P-58,59	壺	口径 12.7(匁) 裾径 10.0(匁)	体部 ヘラミガキ/ナデ 脚部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂少	体部 (下半) ~ 脚部完	赤彩。
1036 85358	I-3号溝 上部 NW121d P-40	壺	口径 11.2(匁) 体径 18.3(匁)	口縁部 ヘラミガキ/ハケメ後ナデ、ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ナデ		淡黄/浅黄橙 粗砂散	1/2	赤彩で文様。
1037 85359	I-3号溝 上部(?) NW122b P-17	壺	口径 13 (匁)	口縁部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm粗砂少	口縁~ 体部 1/3	擬凹線。
1038 85144	I-3号溝 上部 NW122b P-1	鉢	口径 8.1(匁) 体径 8.4(匁) 器高 6.2(匁)	口縁部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ		灰黄褐/灰黄褐 0.5~2mm粗砂やや多	ほぼ 完形	
1039 85369	I-3号溝 上部 NV121c P-20	壺	口径 8 (匁) 底径 2.0(匁)	体部 ヘラミガキ/		浅黄橙/浅黄橙 1mm粗砂散	体部 1/4	体部上半に一对の把手。
1040 85318	I-3号溝 上部 NW122a	鉢	口径 22 (匁)	口頸部 不明 体部 ヘラミガキ/		浅黄橙/浅黄橙 2mm礫少	1/4	赤彩?。
1041 85336	I-3号溝 上部 NV121d P-18	鉢	口径 18.7(匁) 底径 4.2(匁) 器高 8.0(匁)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ、ヘラミガキ		暗褐/明茶褐 1~2mm粗砂散	完形	黒斑。煤付着。
1042 85353	I-3号溝 上部 NV121d P-5,6	鉢	口径 21 (匁) 体径 3 (匁) 器高 8.5(匁)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		浅黄橙/浅黄橙 0.5mm粗砂散	1/3	黒斑。
1043 85338	I-3号溝 上部 NV120d P-5	鉢	口径 16 (匁) 体径 12 (匁) 器高 8.7(匁)	口頸部 /ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ(上半)、ナデ(下半)		灰白/灰白 0.5~2mm粗砂やや多	1/2	黒斑。擬凹線。
1044 85349	I-3号溝 上部 NW122b P-16	鉢	口径 10.1(匁) 底径 3.3(匁) 器高 6.4(匁)	口縁部 ヘラミガキ/ナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂散	ほぼ 完形	
1045 85360	I-3号溝 上部 NV121c P-7	鉢	口径 7.5(匁)	体部 ヘラミガキ/		にぶい橙/明褐灰 殆ど砂混入なし	口縁部 のみ欠	
1046 85133	I-3号溝 上部 NW122b P-15	鉢	口径 12 (匁) 頸径 11 (匁) 体径 13 (匁)	口縁部 ヨコナデ/ハケメ後ナデ 体部 ハケメ/ナデ		にぶい褐/浅黄橙 2mm礫少	小片	煤付着。
1047 85036	I-3号溝 上部 NV120a	鉢	口径 12 (匁) 頸径 10 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヨコナデ/ヨコナデ		浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂礫やや多	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1048 85347	I-3号溝 上部 NW122b P-15	有孔鉢	口径 22.4(匁) 底径 5.3(匁) 器高 14.6(匁)	口縁部 ハケメ後ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂散	完形	底面に靱痕。黒斑。
1049 85337	I-3号溝 上部 NV121d P-90	有孔鉢	口径 16.0(匁) 底径 3.0(匁) 器高 16.7(匁)	口縁部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ		淡橙/淡橙灰 1~3mm粗砂、礫多	完形	黒斑。
1050 85339	I-3号溝 上部 NV121c P-28,31	有孔鉢	口径 14.6(匁) 器高 10.7(匁)	口縁部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ		灰白/にぶい黄橙 0.5~2mm粗砂やや多	2/3	
1051 85368	I-3号溝 上部 NW122b, c	鉢	口径 4 (匁) 底径 3 (匁) 器高 3.4(匁)	体部 指押え/指押え		灰白、にぶい黄橙/灰白、に ぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや少	ほぼ 完形	手握お土器。
1052 85293	I-3号溝 上部 NV120b P-7	高杯	口径 16.5(匁) 裾径 11.3(匁) 器高 15.9(匁)	杯部 ヘラミガキ/ハケメ後ヘラミガキ 脚柱部 ヘラミガキ/ハケメ、ヘラケズリ 裾部 /ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm小石	ほぼ 完形	杯部内面に炭化物。擬凹線。
1053 85323	I-3号溝 上部 NW122b P-18	高杯	口径 23.8(匁) 裾径 16.5(匁) 器高 18.4(匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ヘラミガキ/ヘラケズリ 裾部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい橙/にぶい橙 粗砂少	ほぼ 完形	透し孔(四方)。
1054 85290	I-3号溝 上部 NV121d P-40	高杯	口径 31 (匁) 裾径 18 (匁) 器高 23.7(匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ヘラミガキ/ヘラケズリ後ナデ 裾部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		淡橙/淡橙 細砂	杯部1/2 脚部1/2	黒斑。透し孔(三方)。
1055 85253	I-3号溝 上部 NW122b	高杯	口径 26.4(匁) 脚柱径 4.6(匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ハケメ?/ケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~3mm粗砂多、礫やや多	杯・脚 柱部 ほぼ完	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1056 85330	I-3号溝 上部 NW122b P-16	高杯	口径 11.3(㉔) 脚柱径 3.7(㉔)	杯部 脚柱部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 精緻	杯部~ 脚柱部 ほぼ完	黒斑。
1057 85277	I-3号溝 上部 NW122b P-10	高杯	口径 23.1(㉔)	杯部	ヘラミガキ(上半)、ハケメ(下半)/ヘラ ミガキ(上半)、ハケメ(下半)	にぶい黄褐/にぶい黄褐 0.5~2mm粗砂	杯部 1/4	
1058 85278	I-3号溝 上部 NW122a P-35	高杯	口径 32(㉔)	杯部	不明	橙/黄橙 0.5~2mm粗砂多	杯部 1/4	
1059 85309	I-3号溝 上部 NW122a P-21	高杯	口径 35(㉔)	杯部	ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/淡橙 0.5~1mm粗砂少	杯部 2/3	赤彩。黒斑。
1060 85287	I-3号溝 上部 NW122b P-20	高杯		脚柱部	ヘラミガキ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~2mm粗砂	脚柱部 完	透し孔(三方)。
1061 85308	I-3号溝 上部 ? P-41	高杯	裾径 17(㉔)	脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂やや多	脚部 1/2	
1062 85274	I-3号溝 上部 NV121c P-4	高杯	脚柱径 5.8(㉔)	杯部 脚柱部	ハケメ/ハケメ ヘラミガキ/ナデ、ハケメ	にぶい黄褐/にぶい黄褐、黒 褐 3mm礫	小片	赤彩?。接合部に幅広の凸帯 刺突文(ハケ)。
1063 85300	I-3号溝 上部 NW121b P-57	高杯	脚柱径 5.4(㉔)	脚柱部	ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ	にぶい橙/にぶい橙 1~3mm粗砂やや多礫少	脚柱部 完	透し孔(三方二段)。
1064 85328	I-3号溝 上部 NV121d P-48	高杯		杯部 脚柱部	ハケメ後ナデ/ハケメ ハケメ後ナデ/	浅黄橙/浅黄橙 細砂微	小片	接合部に剝離痕。
1065 85252	I-3号溝 上部 NW122b P-21	高杯	裾径 16.1(㉔)	杯部 脚柱部 裾部	ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラケズリ ヘラミガキ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~2mmの粗砂やや多	裾部 2/3	黒斑。赤彩。透し孔(四方)。
1066 85267	I-3号溝 上部 NW122b P-3	高杯	裾径 17(㉔)	脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ /ハケメ	浅黄橙、黄橙/浅黄橙、黄橙 0.5~2mm粗砂やや多	脚部 1/4	透し孔(四方)。
1067 85325	I-3号溝 上部 NV121c P-33	高杯	裾径 15(㉔)	杯部 脚部	ヘラミガキ?/ ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	淡黄/淡黄 2mm礫、粗砂少	杯部~ 脚部 2/3	黒斑。透し孔(四方)。
1068 85316	I-3号溝 上部 NV121d P-129	器台	裾径 16.1(㉔)	脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ナデ ヘラミガキ/ハケメ	褐灰/褐灰 2mm粗砂少	脚部 ほぼ完	赤彩。透し孔(三方)。
1069 85292	I-3号溝 上部 NV121d P-6	器台	受径 35(㉔) 裾径 20(㉔) 器高 24(㉔)	受部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ ヘラミガキ/ハケメ	淡橙/淡橙 1mm以下粗砂	2/3	透し孔(三方)。黒斑。
1070 85249	I-3号溝 上部 NV121d P-47	器台	受径 21.4(㉔) 裾径 17.8(㉔) 器高 15.1(㉔)	受部 体部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白/灰白 1~2mm粗砂やや多	完形	擬凹線。透し孔(四方)。
1071 85311	I-3号溝 上部 NV121d P-9	高杯又 は器台		脚柱部 脚部	ヘラミガキ/ナデ、ヨコナデ ヘラミガキ/ヨコナデ	浅黄橙、にぶい黄橙/浅黄橙、 にぶい黄橙 1mm以下粗砂微	脚部 1/2	黒斑。
1072 85329	I-3号溝 上部 NV121c P-31	高杯又 は器台		脚部	ヘラミガキ/	浅黄橙/浅黄橙 殆ど砂混入なし	1/3	スタンプ文(S字・三角形)。 擬凹線。赤彩。
1073 85315	I-3号溝 上部 NW122b P-14	高杯又 は器台	裾径 22.0(㉔)	裾部	ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄褐 殆ど砂混入なし	裾部 1/3	透し孔(四方)。黒色付着物 有り。
1074 85305	I-3号溝 上部 NV121d P-6.18	高杯又 は器台	裾径 22(㉔)	脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ、ナデ?	浅黄橙/浅黄橙 1.5~2mm粗砂少	脚部 2/3	赤彩。透し孔(四方)。
1075 85276	I-3号溝 上部 NW122b P-10,16	器台	裾径 16.8(㉔)	裾部	ヘラミガキ/ハケメ、ヨコナデ	にぶい褐/褐 細砂	口縁部 ほぼ完	擬凹線。
1076 85268	I-3号溝 上部 NW122b P-3	高杯又 は器台	裾径 15(㉔)	裾部	ヘラミガキ/ナデ?	にぶい橙/にぶい橙 0.5~2mm粗砂やや多	脚部 2/3	
1077 85306	I-3号溝 上部 P-60	高杯又 は器台	裾径 12.2(㉔)	裾部	/ハケメ、ナデ	赤橙、浅黄橙/淡赤橙、浅黄 橙(一部) 1~2mm粗砂少	脚部完	
1078 85288	I-3号溝 上部 NW122b P-13	高杯又 は器台	裾径 18(㉔)	裾部	ヘラミガキ/ハケメ	明黄褐/明黄褐 0.5~2mm粗砂	裾部 1/2	透し孔(四方)。
1079 85275	I-3号溝 上部(?) NW121b P-28	(脚部)	裾径 24(㉔)	裾部	ヘラミガキ/ハケメ後板ナデ	にぶい黄褐/にぶい黄褐、暗 褐 0.5mm粗砂	小片	
1080 85373	I-3号溝 上部(?) NW122d P-8	(脚部)	裾径 11(㉔)	脚部	ハケメ後ナデ/	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂やや多、3mm大 礫少	脚部 1/3	脚裾端部に刻み目(ヘラ)。
1081 85307	I-3号溝 上部 NW122a P-26	高杯又 は器台	裾径 10.5(㉔)	脚部	ヘラミガキ/	浅黄橙/浅黄橙 0.5~1mm粗砂	脚部完	透し孔(三方)。赤彩?。
1082 85067	I-3号溝 上部 NW121b P-7	甕	口径 12(㉔) 頸径 11(㉔) 体径 16(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/板ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂		擬凹線。煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1083 85062	I-3号溝 上部 NW122a	甕	口径 16 (㎜) 頸径 13 (㎜)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	黄橙、淡橙/淡橙 2mm粗砂		凹線。
1084 85083	I-3号溝 上部 NW122a P-16	甕	口径 11 (㎜) 頸径 11 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm砂		直線文、波状文(クシ)。擬凹線。
1085 85115	I-3号溝 上部 NV120b P-2	甕	口径 17.0(㉔) 頸径 14.1(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ(L)/ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm礫少	口縁~ 体部 2/3	擬凹線。肩部に刺突文(ハケ)。煤付着。
1086 85050	I-3号溝 上部 NV120b P-7	甕	口径 15.9(㉔) 頸径 15 (㎜) 体径 21 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/板ナデ	黄褐、赤橙/褐、暗褐 3mm礫多	口縁~ 体部 1/2	擬凹線。煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1087 86027	I-3号溝 上部 NV121d P-27 P-30,63,90	甕	口径 20.5(㉔) 体径 20.7(㉔) 器高 26.9(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ	淡黄/淡黄 砂多	2/3	擬凹線。肩部に刺突文(貝)。黒斑。煤付着。
1088 85088	I-3号溝 上部 NW122b P-17	甕	口径 18 (㎜) 頸径 15 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、 ナデ/ケズリ	にぶい褐/にぶい橙 1~2mm粗砂	口頸部 1/3	肩部に刺突文(ハケ)。煤付着。擬凹線。
1089 85122	I-3号溝 上部 NW122b P-17,19	甕	口径 20.7(㉔) 頸径 18.8(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/指ナデ、ケズリ	にぶい黄橙/灰褐 2~3mm礫少	口縁~ 頸部 3/4	肩部に刺突文(ハケ)。煤付着。
1090 86036	I-3号溝 上部 NW122 P-101	甕	口径 21.8(㉔) 頸径 15.9(㉔) 体径 25 (㎜)	口頸部 体部	ナデ/ナデ ハケメ/ケズリ	浅黄橙/浅黄橙 砂多	1/4	肩部に刺突文(貝)。擬凹線(刺突文と同一原体?)。
1091 85024	I-3号溝 上部 NV121d P-32	甕	口径 13.4(㉔) 頸径 10.9(㉔) 体径 12.5(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ(L)/ヘラケズリ	灰白/灰白、明褐灰 0.2~2mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/2	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文。
1092 85113	I-3号溝 上部 NW122a P-16,101	甕	口径 13.8(㉔) 体径 14.8(㉔) 器高 16.2(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ後ナデ ハケメ/ハケメ	黄褐/黄褐 1mm粗砂微	2/3	凹線。煤付着。肩部に刺突文。
1093 85089	I-3号溝 上部 ? P-13	甕	口径 15 (㎜) 頸径 13 (㎜)	口頸部 体部	不明 /ヘラケズリ	淡橙/灰黄 1~2mm粗砂	口頸部 1/3、 体部一 部残存	擬凹線。
1094 86039	I-3号溝 上部 NW122a P-16	甕	口径 15.6(㉔) 体径 19.3(㉔) 器高 22.6(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ	浅黄/浅黄 1~2mm砂多	1/4	煤付着。
1095 85118	I-3号溝 上部 NW122b P-5	甕	口径 15 (㎜) 体径 6 (㎜) 器高 18.5(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ	灰黄/にぶい黄褐 2mm礫少	体部1/2 口縁部 1/4	
1096 85026	I-3号溝 上部 NW122b P-20	甕	口径 14 (㎜) 頸径 11 (㎜) 体径 12 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ナデ/ハケメ	にぶい橙/浅黄橙 0.5~2mm砂やや多、3mm大石微	口縁~ 体部	煤付着。
1097 85006	I-3号溝 上部 NW122a P-45	甕	口径 12.6(㉔) 体径 10.3(㉔) 器高 10.0(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ナデ、ハケメ/ヘラケズリ	淡茶褐/淡茶褐 2~3mm礫微、細砂多	2/3	
1098 85077	I-3号溝 上部 NV121d P-41 46,65	甕	口径 18.5(㉔) 頸径 15.4(㉔) 体径 22.5(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 0.5mm粗砂少	口縁~ 体部下 半2/3	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1099 86055	I-3号溝 上部 NW122a P-55	甕	口径 17 (㎜) 体径 20.5(㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 砂多	1/5	黒斑。煤付着。
1100 85074	I-3号溝 上部 NV120d P-11	甕	口径 16.2(㉔) 器高 15.9(㉔) 底径 3.5(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ(?) /ハケメ(?) ハケメ(?) /ハケメ(?)	淡赤橙/淡赤橙 1~3mm粗砂礫多	ほぼ 完形	煤付着。
1101 85087	I-3号溝 上部 NW122b P-21	甕	口径 17 (㎜) 頸径 14 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/4	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。黒斑。
1102 85092	I-3号溝 上部 NW122a P-18	甕	口径 16 (㎜) 頸径 13 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙/浅黄橙 0.5~1mm粗砂少	口縁~ 体部 1/4	
1103 85177	I-3号溝 上部 NW122b P-15	甕	口径 19 (㎜) 頸径 14 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂多	頸部 1/2	
1104 85033	I-3号溝 上部 NW122a P-19	甕	口径 15 (㎜) 頸径 12 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ /ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂礫やや多	口縁 1/2	
1105 85029	I-3号溝 上部 NW122b P-19	甕	口径 16.5(㉔) 頸径 15.4(㉔) 体径 19.5(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~4mm粗砂礫	口縁~ 体部 2/3	煤付着。肩部に刺突文。
1106 86043	I-3号溝 上部 NW122b P-3,16	甕	口径 16.3(㉔) 頸径 12.8(㉔) 体径 16.4(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ヨコナデ(上半)、ハケメ(下半)/ヘラケズリ(下半)	浅黄橙/浅黄橙 砂多	1/4	凹線。煤付着。黒斑。
1107 85078	I-3号溝 上部 NV120b P-70	甕	口径 16.7(㉔) 頸径 13.3(㉔) 体径 15.6(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	灰白/灰白 1.5~2mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1108 85063	I-3号溝 上部 NW122a P-9	甕	口径 14 (㎜) 頸径 12 (㎜)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ	橙/橙 0.5~2mm粗砂礫微	口縁~ 体部 1/3	
1109 86359	I-3号溝 上部(?) NV120d P-21	甕	口径 17.5(㉔) 体径 16.0(㉔) 器高 18.4(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ、ナデ/指ナデ、指押え	にぶい黄橙/にぶい黄橙 砂多	完形	煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1110 85028	I-3号溝 上部 NW122b P-20	甕	口径 19 (測) 頸径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ (R) /		灰黄褐/にぶい黄橙、灰黄褐 0.2~2mm粗砂やや少	口縁~ 体部 1/4	煤付着。肩部に刺突文。
1111 85109	I-3号溝 上部 NV120b P-1	甕	口径 18.1(測) 体径 21.9(測) 器高 27.8(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ケズリ後ハケメ 底部 ハケメ、ナデ/ハケメ		浅黄橙、にぶい黄褐/浅黄橙 2mm礫少	ほぼ 完形	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1112 85066	I-3号溝 上部 NW122b P-17	甕	口径 16 (測) 頸径 16 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂やや多	口縁~ 体部1/ 4以下	
1113 85027	I-3号溝 上部 NV121d P-4	甕	口径 18 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 /ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		灰白、明褐灰/灰白、明褐灰 0.5~4mm粗砂礫やや多	口縁~ 体部 1/4	肩部に刺突文(ハケ)。
1114 86044	I-3号溝 上部 NW122b	甕	口径 16.2(測) 頸径 13.2(測) 体径 16.3(測)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/指ナデ、ハケメ(下半)		浅黄/浅黄 1mm砂少	1/3	煤付着。肩部に刺突文。
1115 86035	I-3号溝 上部 NV121d P-67,69	甕	口径 17.2(測) 頸径 13.9(測) 体径 23 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		にぶい橙/にぶい橙 粗砂やや多、3mm礫少	口縁% 体部%	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。内面に炭化物。
1116 85030	I-3号溝 上部 NV120d P-8,16	甕	口径 26.2(測) 体径 44.2(測) 器高 55.7(測)	口頸部 ハケメ、ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		灰白/灰白 緻密、細砂微	ほぼ 完形	口縁刻み目(ハケ)。肩部直線文、刺突文(櫛)。
1117 86037	I-3号溝 上部 NW121b P-25	甕	口径 17 (測) 頸径 14.4(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ		淡黄/淡黄 2mm砂	口縁~ 体部 1/2	煤付着。口縁刻み目(ハケ)。肩部直線文、刺突文、波状文(櫛)。
1118 86054	I-3号溝 上部 NW122b	甕	口径 18.5(測) 頸径 14 (測)	口頸部 ハケメ後ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/指ナデ		にぶい褐/灰褐 0.5~2mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/2	煤付着。口縁刺突文(ヘラ先)。肩部刺突文(ハケ)。
1119 85437	I-3号溝 上部 NW122b	(底部)	底径 15 (測)	底部 指ナデ/ハケメ		にぶい赤褐/黒褐 1~5mm礫多	小片	黒斑。
1120 85065	I-3号溝 上部 NV120d P-16	甕	口径 16 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/橙 0.5~5mm粗砂、礫	小片	黒斑。口縁刻み目(ヘラ)。
1121 86030	I-3号溝 上部? NW122b P-8,10	甕	口径 18.3(測) 体径 20.3(測) 器高 26.8(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(下半) 底部 ハケメ後ナデ/ハケメ、ナデ		淡黄/淡黄 1~2mm砂少	ほぼ 完形	黒斑・煤付着。分割成形?。
1122 85131	I-3号溝 上部 NW122b	甕	口径 15 (測) 頸径 13 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ?/ヘラケズリ		にぶい橙/にぶい黄橙 1~2mm礫微		煤付着。
1123 85058	I-3号溝 上部 NW122b, c	甕	口径 17 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、板ナデ		にぶい褐、灰褐/明褐、灰褐 1~3mm粗砂、礫やや多	口頸部 1/4	頸部に刺突文(ハケ)。
1124 85090	I-3号溝 上部 NV120d P-16	甕	口径 17 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ?/ナデ		明褐灰/にぶい黄橙 1~3mm粗砂、礫かなり多	小片	煤付着。
1125 85072	I-3号溝 上部 NV120b P-7	甕	口径 16.8(測) 頸径 14.2(測) 体径 19.3(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ 底部 ハケメ/ハケメ		明褐灰/明褐灰 0.5~1mm粗砂やや多	底部欠	煤付着。
1126 86353	I-3号溝 上部 ? P-15	甕	口径 16 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		浅黄橙/淡黄 1mm前後砂多	口縁~ 体部 1/4	
1127 85120	I-3号溝 上部 NW122b P-14	甕	口径 17 (測) 頸径 14 (測) 体径 18 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半)		灰黄/暗灰黄 2mm礫少	口縁~ 体部 1/4	煤付着。
1128 85049	I-3号溝 上部 NV120d P-16,33	甕	口径 16 (測) 頸径 14 (測) 体径 20 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(下半)		淡橙/黄褐 2mm以上礫	底部欠	煤付着。
1129 86046	I-3号溝 上部 NW122b P-17,20	甕	口径 16.7(測) 体径 18.4(測) 器高 21.9(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(下半) 底部 ハケメ後ナデ/ナデ		浅黄灰/浅黄灰 砂	1/3	煤付着。
1130 85069	I-3号溝 上部 NV121c P-8	甕	口径 15 (測) 頸径 13 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ヘラケズリ(下半)		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂	小片	黒斑。
1131 85070	I-3号溝 上部 NV121d	甕	口径 20 (測) 頸径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ		黄橙/黄橙 2mm礫多	口頸部 1/5	
1132 85064	I-3号溝 上部 NW122d P-4	甕	口径 20 (測) 頸径 17 (測)	口頸部 ナデ/ナデ		黄橙、赤橙/黄橙、赤橙 3mm礫多	口頸部 1/5	
1133 85034	I-3号溝 上部 NV120a P-?	甕	口径 16 (測) 頸径 14 (測) 体径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/		にぶい橙/橙 0.5~4mm粗砂礫多	口縁~ 体部 1/4	煤付着。
1134 85129	I-3号溝 上部 NV121d P-90	甕	口径 14 (測) 頸径 12 (測)	口頸部 ハケメ、ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/灰黄褐 1~2mm礫微	1/4	煤付着。肩部刺突文(ハケ)。
1135 85057	I-3号溝 上部 NW122b P-16	甕	口径 14 (測) 頸径 11 (測) 体径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ(上半)、板ナデ(下半)		にぶい黄褐/にぶい黄褐 1~2mm粗砂	1/5	煤付着。内面に炭化物。
1136 85454	I-3号溝 上部 NW122a P-23	(体・ 底部)	口径 23 (測) 底径 2.9(測)	体部 ヘラミガキ/ヘラケズリ 底部 ヘラミガキ/ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~4mm粗砂礫多		煤付着。底面にハケメ。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整 部位 外面/内面	色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
1137 85327	I-3号溝 上部 NW122b P-16	(脚部)	裾径 8	脚部 ハケメ/ナデ	にぶい橙/にぶい橙 2mm細礫少	脚部完	
1138 85266	I-3号溝 上部 NV120b P-10	(脚部)	裾径 11.6(◎)	脚部 ハケメ?/	浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂多	脚部完	
1139 85461	I-3号溝 上部 ? P-11	(底部)	底径 4.5(◎)	底部 ナデ、ハケメ/ハケメ	にぶい褐/黄灰 2mm礫多	底部完	煤付着。
1140 85449	I-3号溝 上部 NV121a	(底部)	底径 10.0(◎)	底部 ヘラミガキ/ナデ	橙/暗灰黄 2mm粗砂やや多	底部完	
1141 85439	I-3号溝 上部 ? P-55	(底部)	底径 5.1(◎)	底部 ナデ/ハケメ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 0.5mm粗砂	底部完	黒斑。内面炭化物。
1142 85487	I-3号溝 上部 NW122b P-3	(底部)	底径 3.0(◎)	底部 ヘラミガキ/板ナデ	にぶい黄橙/灰白 2mm礫微	底部完	
1143 85440	I-3号溝 上部 NW122d P-5	(底部)	底径 4.8(◎)	底部 ヘラミガキ/板ナデ	明黄褐/にぶい黄橙 0.5~2mm粗砂	底部完	
1144 85465	I-3号溝 上部 NW122b P-6,7	(底部)	底径 5.0(◎)	底部 ハケメ、ヘラケズリ/ヘラケズリ後ナデ	淡黄/灰黄 1~2mm粗砂少	底部完	煤付着。
1145 85417	I-3号溝 上部 NV121d P-70	(底部)	底径 4.7(◎)	底部 ヘラミガキ/	浅黄橙/褐灰 0.2~2mm粗砂多	底部 1/2	黒斑。底面にヘラ記号。
1146 86070	I-3号溝 上部 NV121c P-6	(底部)	底径 4 (◎)	底部 ハケメ/ナデ	浅黄橙/灰白 砂	底部 1/3	黒斑。煤付着。
1147 85466	I-3号溝 上部 NV121d P-4	(底部)	底径 3.7(◎)	底部 ハケメ/ヘラケズリ	にぶい橙/浅黄橙 2~3mm礫少	底部完	煤付着。
1148 85488	I-3号溝 上部 NW122a P-6	(底部)	底径 3.0(◎)	底部 不明	浅黄橙/褐灰 1~2mm礫少	底部完	
1149 85489	I-3号溝 上部 NW122a P-42	(底部)		底部 ハケメ/ヘラケズリ後ナデ	灰黄褐/にぶい黄橙 2mm礫少	底部完	煤付着。
1150 85226	I-3号溝 上部の下 NV120d, NV121c P-57	壺	口径 18 (◎) 頸径 12 (◎)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ痕/ヨコナデ 体部 ハケメ	灰黄褐/灰黄褐 2mm礫多	口縁~ 体部 1/3	口縁・肩部に竹管刺突文、頸・ 肩部に簾状文(櫛)。内面 に黒色付着物。
1151 85208	I-3号溝 上部の下 NV121d P-61,76 NV121b P-20	壺	口径 23 (◎) 頸径 14 (◎)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ(下半) 体部 ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂、礫	口頸部 小片	黒斑。頸部刻み目凸帯。口縁 に鋸歯文(ヘラ)、刺突文。頸・ 体部に鋸歯文(ヘラ)。
1152 85236	I-3号溝 上部の下 NW122b, d	壺	口径 12.1(◎) 体径 18 (◎) 器高 23.1(◎)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ(上半)、ヘラ ミガキ(下半) 底部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 1mm粗砂少	ほぼ 完形	煤付着。
1153 85221	I-3号溝 上部の下 NV121d P-94	壺	口径 19 (◎) 頸径 12 (◎)	口頸部 ヨコナデ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少		
1154 85175	I-3号溝 上部の下 NV120d	壺	口径 14.9(◎) 頸径 11.3(◎)	口頸部 ヨコナデ、ヘラミガキ/ヘラミガキ、ハケメ	淡黄/浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや少	口頸部 完	
1155 85206	I-3号溝 上部の下 NW122a P-109 ? P-25	壺	口径 10.1(◎) 頸径 16.3(◎)	口頸部 ヨコナデ?/ヨコナデ? 体部 ハケメ?/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂やや多	口頸部 1/2	
1156 85242	I-3号溝 上部の下 NV121c P-44	壺	口径 15.8(◎) 体径 27.0(◎) 器高 31.6(◎)	口頸部 ハケメ、ナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ 底部 ハケメ/ヘラケズリ	灰赤/灰赤 2mm礫少	ほぼ 完形	煤付着。黒斑。擬凹線。
1157 85198	I-3号溝 上部の下 NW122a, b	壺	口径 13.3(◎) 体径 18.7(◎) 器高 26.8(◎)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラケズリ 体部 ヘラミガキ/ヘラケズリ 底部 ヘラミガキ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~2mm粗砂やや多	ほぼ 完形	
1158 85207 85699	I-3号溝 上部の下 NW122a P-55	壺	口径 13 (◎) 頸径 10.2(◎)	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ、ハケメ後ミガキ(下半)/ナデ 底部 ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂、礫やや多	口頸部 2/3 底部完	
1159 85155	I-3号溝 上部の下 NW122a P-68	壺	口径 12.0(◎) 頸径 9.0(◎) 体径 17.7(◎)	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ(上半)、ナデ(下半)/ナデ	淡茶褐/淡茶褐 1mm粗砂微	2/3	黒斑。
1160 85199	I-3号溝 上部の下 P-112	壺	口径 15 (◎) 体径 20.5(◎) 器高 29.8(◎)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ(下半)/ヘラケズリ 体部 ハケメ/ヘラケズリ 底部 ハケメ/ヘラケズリ	灰白/灰白 2~4mm礫多	2/3	煤付着。黒斑。
1161 82070	I-3号溝 上部の下 NW121b P-33	壺	口径 12.6(◎) 体径 19.3(◎) 器高 29.3(◎)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/指ナデ、ハケメ(下半) 底部 ハケメ、ナデ/ハケメ	淡褐/淡褐 1~3mm砂やや多	ほぼ 完形	口縁に刻み目(ヘラ・全周の 1/4)。肩部に刺突文(ハ ケ)。
1162 85179	I-3号溝 上部の下 NW122a P-68	壺	口径 13 (◎) 頸径 10.6(◎)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ナデ、ハケメ	橙/にぶい橙 1mm粗砂微	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1163 85215	I-3号溝 上部の下 NW122a P-78,85	壺	口径 14.3(◎) 頸径 10.0(◎)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ?	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂やや多	口頸部 完	黒斑。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1164 85222	I-3号溝 上部の下 NW121b P-49	壺	口径 14.8(㉟) 頸径 11.8(㉟) 体径 23 (㉟)	口頸部 ナデ、ハケメ/ハケメ後ナデ 体部 ハケメ/ナデ		にぶい橙/にぶい橙 粗砂、2mm礫少	上半 1/2	黒斑。肩部に記号文(へら)、 刺突文(ハケ)。口縁に刻み 目(ハケ)。
1165 85213	I-3号溝 上部の下 NW122a P-103	壺	口径 17 (㉟) 頸径 13 (㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ナデ		にぶい褐/灰白 1~2mm粗砂やや多	小片	煤付着。頸部に刺突文(ハ ケ)。
1166 85205	I-3号溝 上部の下 NV121c	壺	口径 19.5(㉟) 底径 5.1(㉟)	体部 ナデ(上半)、ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂、礫少	体・ 底部完	煤付着。底部内面に褐色の付 着物。体部記号文(へら)、肩 部刺突文。
1167 86034	I-3号溝 上部の下 NV120d P-69	壺	口径 14.7(㉟) 体径 20.0(㉟) 器高 28.3(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/指ナデ、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		灰黄/灰黄 砂少	2/3	黒斑。煤付着。頸部に刺突文 (ハケ)。
1168 86016	I-3号溝 上部の下 NV121c P-43	壺	口径 13.4(㉟) 体径 21.4(㉟) 器高 31.1(㉟)	口頸部 ハケメ後ヘラミガキ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/指ナデ 底部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ		灰黄/灰黄 砂少	2/3	黒斑。煤付着。頸部に刺突文 (ハケ)。
1169 85223	I-3号溝 上部の下 NV121c P-22,42,54	壺	口径 13.0(㉟) 体径 21.3(㉟) 器高 30 (㉟)	口頸部 ハケメ後ヘラミガキ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ 底部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ		灰黄/灰黄 粗砂微	ほぼ 完形	煤付着。頸部に刺突文(ハ ケ)。
1170 85197	I-3号溝 上部の下 NV121d P-62 68,82,84,86	壺	口径 13.1(㉟) 体径 20.5(㉟) 器高 30.4(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ 底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	完形	黒斑。肩部に刺突文(ハケ)。
1171 85152	I-3号溝 上部の下 NV121d P-87	壺	口径 15.6(㉟) 体径 23.0(㉟) 器高 31.3(㉟)	口頸部 ハケメ後ヘラミガキ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/板ナデ 底部 ヘラミガキ/板ナデ		淡灰褐/灰褐/淡灰褐 1mm粗砂微	ほぼ 完形	黒斑。
1172 85210	I-3号溝 上部の下 NV121d P-72,76,78 NW121b P-35,52	壺	口径 9.8(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ		灰白/明褐灰 1~2mm砂微	口縁 体部 下半欠	
1173 85200	I-3号溝 上部の下 NV121d P-92	壺	口径 13.5(㉟) 体径 22.1(㉟) 器高 28.5(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ後ヘラミガキ/ヨコナデ、 ハケメ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ後ナデ 底部 ヘラミガキ/ナデ		浅黄橙/浅黄橙 1mm粗砂	ほぼ 完形	煤付着。黒斑。擬凹線。
1174 85171	I-3号溝 上部の下 NW121b P-10,35 NV121d P-68	壺	口径 12	口頸部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ 体部 ヘラミガキ/指ナデ		灰白/灰白 0.2~2mm粗砂やや多	1/2	
1175 85212	I-3号溝 上部の下 NW121b P-35	壺	口径 15.6(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 0.5~1mm粗砂微	口頸部 完	頸部に記号文(へら)。
1176 85167	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121	壺	口径 13.5(㉟) 頸径 11.1(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ		にぶい褐/にぶい褐 0.2~3mm粗砂、礫やや多	口縁部 2/3	頸部に粘土貼り付け。
1177 85209	I-3号溝 上部の下 NV121d P-77,69	壺	口径 15 (㉟) 頸径 11 (㉟)	口頸部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ、ヘラミガキ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂少	小片	
1178 85216	I-3号溝 上部の下 NW122a P-99 NW121b	壺	口径 13 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ナデ、ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂		
1179 85211	I-3号溝 上部の下 NW122a P-102 105,110	壺	口径 17 (㉟) 頸径 11 (㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂やや多	1/3	
1180 85165	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121	壺	口径 17 (㉟) 頸径 10 (㉟)	口頸部 ヨコナデ、ヘラミガキ/ヘラケズリ(下半)		にぶい橙/にぶい橙 0.5~4mm粗砂、礫多		
1181 85172	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121	壺	口径 17.2(㉟) 頸径 9.9(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ヘラミガキ/		浅橙/橙 0.2~3mm粗砂、礫多	口頸部 完	黒斑。
1182 85166	I-3号溝 上部の下 NW122a P-72	壺	口径 10.4(㉟)	口頸部 ハケメ/ハケメ		灰白/灰白 0.2~3mm粗砂やや多、礫少		
1183 85196	I-3号溝 上部の下 P-101	壺	口径 18 (㉟) 体径 28 (㉟) 器高 43 (㉟)	口頸部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ナデ/ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~3mm粗砂、礫	2/3	赤彩。頸部凸帯。
1184 85153	I-3号溝 上部の下 NV121c P-202	壺	口径 23.4(㉟) 頸径 15.4(㉟)	口頸部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ		暗茶褐/暗茶褐 1~4mm粗砂、礫	1/4	煤付着。頸部凸帯。口縁に円 形浮文(2個1対)。
1185 85149	I-3号溝 上部の下 NV121d P-94	壺	口径 21.4(㉟) 頸径 11.8(㉟)	口頸部 ヘラミガキ、ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミ ガキ、ナデ、ハケメ、ケズリ(下半)		淡橙褐、橙褐/淡橙褐、橙褐 0.5~2mm粗砂多	1/4	黒斑。頸部刻み目凸帯(ハ ケ)。
1186 85189	I-3号溝 上部の下 NW122a P-96	壺	口径 19 (㉟) 頸径 11 (㉟)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい橙/にぶい橙 1mm粗砂多	口頸部 1/4	擬凹線。
1187 85170	I-3号溝 上部の下 NV121d P-29,43 P-53,59,81,89,93	壺	口径 26.6(㉟) 頸径 14.5(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ後ヘラミガキ/ヨコナデ、 ハケメ		灰白、浅黄橙/褐灰 0.2~2mm粗砂やや多	口頸部 2/3	
1188 85230	I-3号溝 上部、上部の下 NV121d P-43	壺	口径 10 (㉟)	頸部 ヘラミガキ/ナデ、ヘラケズリ 体部 ヘラミガキ/指ナデ		灰黄褐/灰黄褐 1mm粗砂少		頸部に刻み目凸帯(ハケ)。
1189 86358	I-3号溝 上部の下 NW122d P-68	壺	口径 11 (㉟)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/		浅黄橙/灰白 1~2.5mm粗砂、礫微	口頸部 1/3	赤彩。
1190 85174	I-3号溝 上部の下 NW122a P-116	壺	口径 10.9(㉟) 体径 13.0(㉟) 器高 11.6(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラケズリ(上半)、指ナデ (下半) 底部 ヘラミガキ/指ナデ		灰白/灰白 0.5~2mm粗砂やや多	完形	擬凹線。頸部に2個1対の孔。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1191 85147	I-3号溝 上部の下 NW122d P-83	壺	口径 12.1(㉔) 底径 3.4(㉔)	口頸部 ナデ/ナデ 底部 ナデ/ナデ		灰白/灰白 0.5~2.5mm粗砂やや多	体部 3/4	赤彩?。黒斑。
1192 85183	I-3号溝 上部、上部の下 NV121d P-31 P-74	壺	口径 11(㉔) 口径 15(㉔) 器高 12.5(㉔)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ナデ 底部 ヘラミガキ/ナデ		褐/褐 0.5~2mm粗砂	2/3	赤彩。黒斑。
1193 85184	I-3号溝 上部、上部の下 NV121c P-21 NV121d P-53,63	壺	口径 12(㉔) 口径 14(㉔) 器高 10.9(㉔)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ナデ 底部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄褐、褐/褐 0.5~2mm粗砂	1/2	黒斑。
1194 85162 85163	I-3号溝 上部の下 NV121d P-68,89	壺	口径 12(㉔) 口径 11(㉔) 底径 4.0(㉔)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙、灰白/にぶい黄 橙 0.2~5mm粗砂多、礫やや多	口頸部 1/3 体部下 半1/4	黒斑。底面ハケメ。
1195 85156	I-3号溝 上部の下 NW122b	壺	口径 8(㉔) 口径 16.2(㉔)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ヘラミガキ、指ナデ(下半)/ナデ		茶褐/茶褐 0.5mm以下細砂、1mm以下粗 砂微	1/4	黒斑。
1196 85204	I-3号溝 上部の下 P-106	壺	口径 7.8(㉔) 口径 13.5(㉔) 器高 19.4(㉔)	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂、礫やや多	完形	
1197 85134	I-3号溝 上部の下 NW122a	壺又は 甕	口径 18(㉔) 口径 14(㉔)	口頸部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄褐/にぶい黄橙 2mm粗砂少	小片	煤付着。波状口縁。
1198 85091	I-3号溝 上部の下 NW122a P-108	壺	口径 16.0(㉔) 口径 12.8(㉔)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~5mm粗砂、礫多	口頸部 完	煤付着。
1199 85240	I-3号溝 上部、上部の下 NV121d NW121b P-29	壺	口径 25(㉔)	体部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		淡黄/灰黄 ほとんど砂混入なし	小片	
1200 85239	I-3号溝 上部の下 NW122b P-3 NW122b, d	壺	口径 26(㉔)	体部 ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケメ(下半)		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	体部 のみ 1/2	
1201 86018	I-3号溝 上部の下 NV121d P-63	壺	口径 8.5(㉔) 口径 6.7(㉔) 口径 17.0(㉔)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ、ヨコナデ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ(下半)		にぶい橙/にぶい橙 0.5~1mm砂微	口縁~ 体部完	赤彩。
1202 85356	I-3号溝 上部の下 NW122a P-82	壺	口径 19.4(㉔) 口径 24.8(㉔) 器高 28.9(㉔)	口頸部 /ハケメ 体部 ヘラミガキ/ 脚部 ヘラミガキ/ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 細砂微	ほぼ 完形	脚部に透し孔(六方二段)。 擬凹線。頸部に2個一対の孔。
1203 85219	I-3号溝 上部の下 NW121b P-35,51 NW122a P-101	壺	口径 16.6(㉔)	体部 ヘラミガキ/ナデ(上半)、ヘラミガキ(下 半) 脚部 ヘラミガキ/ナデ		浅黄橙/灰白 緻密、0.2~1mm粗砂少	1/2	赤彩。黒斑。
1204 85160	I-3号溝 上部の下 NW121b P-16	壺	口径 18.0(㉔)	体部 ヘラミガキ/ナデ		淡灰褐/淡灰褐 0.5mm粗砂	1/3	黒斑。
1205 85357	I-3号溝 上部、上部の下 NV121d P-37,83	壺	口径 10.2(㉔) 口径 18.1(㉔) 口径 16.8(㉔) 口径 23.4(㉔) 器高 23.4(㉔)	口頸部 ヘラミガキ/ナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ、ハケメ痕 脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		淡橙/淡橙 ほとんど砂の混入なし	体部 1/3	透し孔(三方)。
1206 85355	I-3号溝 上部、上部の下 NW122a P-52,71 NW122c P-70	壺	口径 19.8(㉔) 口径 16.0(㉔)	体部 ヘラミガキ/ナデ 脚部 ヘラミガキ/ヘラケズリ、ナデ、ハケメ痕		灰黄/灰黄 2mm以下砂少	体部 上半欠	透し孔(三方)。
1207 85372	I-3号溝 上部の下 NW122a P-72,74,83	壺	口径 13	体部 ハケメ/ナデ 脚部 ハケメ/ナデ		灰白/灰白 0.2~2mm粗砂少		
1208 85346	I-3号溝 上部の下 NW122a P-101,102	壺	口径 12.6(㉔) 口径 17.1(㉔) 器高 10.2(㉔)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm砂少	完形	煤付着。
1209 85351	I-3号溝 上部の下 NW122 P-69 NV121b P-33	壺	口径 11.0(㉔) 口径 15.2(㉔)	口頸部 不明 体部 ヘラミガキ?/ヘラケズリ		浅黄橙、淡赤橙/浅黄橙 1~3mm粗砂、礫多	口頸部 1/2	煤付着。口縁に孔。
1210 85344	I-3号溝 上部の下 NW122a P-102	壺	口径 17(㉔)	体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい橙、橙/にぶい橙 0.5~2mm粗砂	小片	
1211 85367	I-3号溝 上部の下 NV121c P-46,48	水差	口径 10.9(㉔) 口径 8.6(㉔)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ後ヘラミガキ/ナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ、ヘラケズリ		灰白/灰白 0.2~3mm粗砂、礫やや多	口縁~ 体部 1/2	
1212 85365	I-3号溝 上部の下 NW121b P-47 NW122a P-95,74	水差	口径 13.0(㉔) 口径 16(㉔) 器高 19(㉔)	口頸部 ヨコナデ、ヘラミガキ/ヨコナデ、ナデ 体部 ヘラミガキ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm礫少	1/2	底面にヘラ記号。
1213 86053	I-3号溝 上部の下 NW121b, 122a P-117	鉢	口径 25.4(㉔)	口頸部 ヨコナデ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		浅黄橙/浅黄橙 砂少	1/2	黒斑。赤彩。擬凹線。
1214 85335	I-3号溝 上部の下 NW121 P-34	鉢	口径 19.2(㉔) 口径 14.8(㉔) 器高 9.7(㉔)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 底部 ヘラミガキ/ナデ		淡茶褐/淡茶褐 1mm粗砂少	完形	黒斑。煤付着。擬凹線。
1215 85345	I-3号溝 上部の下 NW122a P-101	鉢	口径 18.4(㉔) 口径 15.8(㉔) 器高 8.7(㉔)	口頸部 ヨコナデ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 底部 /ヘラミガキ		灰白/灰白 2mm粗砂少	ほぼ 完形	赤彩?。
1216 85361	I-3号溝 上部の下 NV121d P-90	鉢	口径 18(㉔)	口頸部 ヨコナデ/		橙/橙 ほとんど砂混入なし	小片	
1217 85012	I-3号溝 上部の下 NV121d NV121c P-57	鉢	口径 12.8(㉔) 口径 12.4(㉔) 口径 14.5(㉔)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ(上半)、ナデ(下半)/ナデ		黒褐/淡茶褐 細砂	2/3	黒斑。煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1218 85340	I-3号溝 上部、上部の下 NV121c P-25 NV121d P-63	鉢	口径 17.6(◎) 体径 15.8(◎) 器高 9.3(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ ナデ、ハケメ/ハケメ	浅黄橙、にぶい橙/浅黄橙、 褐灰 0.2~1mm粗砂やや多	ほぼ 完形	煤付着。
1219 85343	I-3号溝 上部の下 NW122a P-97	鉢	口径 17(◎) 口径 15(◎) 体径 16(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ /ハケメ(上半)、指ナデ(下半)	にぶい黄褐/浅黄橙、灰褐 0.5~2mm粗砂、礫	1/3	煤付着。
1220 85352	I-3号溝 NV121c P-10,46 NV121d P-54	鉢	口径 17.4(◎) 口径 14.7(◎) 体径 17.8(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ 不明	浅黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂、礫	体部 2/3	
1221 85350	I-3号溝 上部の下 NW122a P-96,99,101,102	鉢	口径 14.9(◎) 口径 11.6(◎) 器高 8.2(◎)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5mm粗砂少	ほぼ 完形	赤彩。
1222 86042	I-3号溝 上部の下 NW122a P-68	鉢	口径 13(◎) 底径 3.7(◎) 器高 7.2(◎)	口頸部 体部 底部	不明 ハケメ?/ナデ ヘラズリ/ナデ	明褐灰/浅黄橙 0.5~2mm粗砂多	1/2	黒斑。
1223 85370	I-3号溝 上部の下 NV120b P-17	鉢	口径 10.0(◎) 底径 5.2(◎) 器高 7.1(◎)	口頸部 体部 底部	ハケメ、指ナデ/ハケメ ハケメ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 4~5mm礫微	完形	
1224 85450	I-3号溝 上部の下 NV120a	鉢	口径 6.3(◎) 底径 4.3(◎) 器高 6.1(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/指押え ナデ/指押え	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm粗砂	完形	
1225 85341	I-3号溝 上部の下 NW121b P-35	鉢	口径 19(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ ハケメ/ヘラズリ	灰白、灰赤/灰白、浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	1/3	黒斑。
1226 85342	I-3号溝 上部の下 NV120a NW122 P-99, NV121d P-66	有孔鉢	口径 19(◎) 器高 14(◎)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ハケメ ハケメ/ハケメ	灰白/灰白 1mm粗砂	1/2	黒斑。
1227 85348	I-3号溝 上部の下 NV121d P-87 NV121b P-33	有孔鉢	口径 21.8(◎) 底径 3.5(◎) 器高 16.0(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ハケメ ハケメ/ハケメ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	完形	
1228 86017	I-3号溝 上部の下 NV121	蓋	つまみ径 口径 17.1(◎) 口径 17.1(◎) 器高 9.3(◎)	つまみ部 体部 口縁部	ハケメ後ナデ/ナデ ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白/灰白 2mm粗砂少	完形	黒斑。
1229 85324	I-3号溝 上部の下 NV121 P-39 NV121b P-35	高杯	口径 25.5(◎) 裾径 16.5(◎) 器高 19.8(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ ヘラミガキ/ハケメ	にぶい赤橙/にぶい赤橙 粗砂、礫少	ほぼ完	黒斑。透し孔(三方)。
1230 85294	I-3号溝 上部の下 P-81	高杯	口径 25.6(◎) 裾径 18.5(◎) 器高 22.6(◎)	杯部 脚部	/ヘラミガキ ヘラミガキ/ハケメ	褐灰/褐灰 1~3mm粗砂多、礫少	杯部1/2 脚部1/2	透し孔(四方)。
1231 85319	I-3号溝 上部の下 NV120b P-20,22	高杯	口径 22(◎)	杯部	ヨコナデ(上半)、ハケメ後ヘラミガキ/ ヨコナデ(上半)、ハケメ後ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 2mm礫少	杯部 1/2	黒斑。
1232 85297	I-3号溝 上部の下 NV121d P-85,74	高杯	口径 26.4(◎)	杯部 脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ハケメ痕	淡橙/淡橙 0.5~3mm粗砂、礫	杯部1/2 脚柱部 完	透し孔(三方)。
1233 85254	I-3号溝 上部 NW122a P-24,28,22,102	高杯	口径 23.9(◎) 裾径 16.3(◎) 器高 18.7(◎)	杯部 脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ、ハケメ痕	浅黄橙/浅黄橙、灰白 0.2~7mm粗砂、礫多	1/3	透し孔(三方)。
1234 85272	I-3号溝 上部 下部 NV121d P-90 NW121b P-35 NW122a P-121	高杯	裾径 19(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ、ナデ ヘラミガキ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 粗砂微	脚部 2/3	黒斑。赤彩?。
1235 85269	I-3号溝 上部の下 NW121a, b NW122b, d NW121b	高杯	裾径 18(◎)	脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ハケメ、ナデ ヘラミガキ/ナデ	にぶい褐、にぶい黄橙/灰褐、 にぶい橙 0.2~1mmの粗砂微	脚部完	黒斑。煤付着。透し孔(四方)。
1236 85298	I-3号溝 上部の下 NV-121d P-59	高杯	裾径 17.8(◎)	杯部 脚柱部 裾部	/ヘラミガキ ヘラミガキ/ ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ	淡橙/浅黄橙 0.5~1.5mm粗砂少		
1237 85263	I-3号溝 上部の下 NV120b P-13 NV120d P-26	高杯	口径 24(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ、ナデ ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙、明褐灰/灰白、 浅黄橙 0.2~3mm粗砂、礫やや多	杯部 1/4 脚柱部 完	黒斑。
1238 85295	I-3号溝 上部、上部の下 NW121b P-119	高杯	口径 29.5(◎) 裾径 19.8(◎) 器高 23.2(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~2mm粗砂	ほぼ 完形	赤彩。把手痕あり。
1239 85291	I-3号溝 上部の下 NV121c P-53	高杯	口径 29.3(◎) 裾径 16.8(◎) 器高 23.3(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ ヘラミガキ/ハケメ	にぶい褐/にぶい褐 2mm以上粗砂	完形	赤彩。透し孔(四方)。把手付。
1240 85248	I-3号溝 上部の下 NW122a P-101,112,113,12 1 NV121d P-74	高杯	口径 31.5(◎) 裾径 22.3(◎) 器高 27.4(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	赤褐、淡茶褐/赤褐、淡茶褐 細砂多	ほぼ 完形	赤彩。透し孔(四方)。
1241 85334	I-3号溝 上部の下 NW121b P-31,37	高杯	口径 29.8(◎) 裾径 20.6(◎) 器高 24.0(◎)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	浅黄/浅黄 ほとんど砂の混入なし	ほぼ 完形	把手痕あり。透し孔(四方)。 脚部に刻み目(ハケ)。
1242 85659	I-3号溝 上部の下 NW122a P-101,121	高杯	口径 21.2(◎)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	杯部 1/2	赤彩。
1243 85262	I-3号溝 上部の下 NW122a P-8 8,85,104,103,25	高杯	口径 25.2(◎)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~3mm粗砂、礫やや少		黒斑。
1244 85261	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121	高杯	口径 25.0(◎)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白、にぶい橙/灰白、にぶ い橙 0.2~4mm粗砂、礫やや多	杯部 上半完	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整 部位 外面/内面	色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
1245 85283	I-3号溝 上部の下 NW122a P-69	高杯	口径 24 匁	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい褐/にぶい褐 1mm粗砂	杯部 1/3	黒斑。
1246 85271	I-3号溝 上部の下 NW121b P-29 NV121d P-90	高杯	口径 36 匁	杯部 ナデ(上半)、ヘラミガキ(下半)/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~3mm粗砂多	杯部 1/2	黒斑。赤彩。
1247 85281	I-3号溝 上部、上部の下 NW121b	高杯	口径 26.7(匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2mm以下細砂	杯部 ほぼ完	
1248 86355	I-3号溝 上部、上部の下 NW122a P-61,65 NW122b P-20	高杯	口径 24 匁	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白/灰白 1~2mm粗砂やや多	杯部 1/4	黒斑。
1249 86357	I-3号溝 上部の下 NW122a P-119	高杯?	口径 28 匁	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい橙/灰褐 0.5~1mm粗砂少、4mm礫微	1/3	黒斑。
1250 85314	I-3号溝 上部の下 NW122a P-129	高杯		脚部 ナデ/ヨコナデ、ハケメ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 2~3mm礫少	1/3	
1251 85270	I-3号溝 上部、上部の下 NV121c P-37	高杯	裾径 13.3(匁)	杯部 /ナデ 脚柱部 ハケメ/ナデ 裾部 ハケメ/板ナデ	浅黄橙/にぶい橙 2mm以上礫	脚部完	
1252 85331	I-3号溝 上部の下 NW121b P-51,40	高杯又は器台	裾径 19.5(匁)	脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 微砂少	裾部 1/2	脚部凸帯に刻み目。透し孔(四方)。
1253 85280	I-3号溝 上部の下 P-75,74	高杯又は器台	裾径 22 匁	脚部 ヘラミガキ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂微	脚部 1/2	黒斑。透し孔(五方)。擬凹線。
1254 85259	I-3号溝 NW122b,c,d NW122b P-3	高杯又は器台	裾径 22 匁	脚部 ヘラミガキ/ハケメ	灰褐/灰褐 0.2~2mm粗砂少	裾部 1/2	透し孔(三方)。
1255 85332	I-3号溝 上部の下 NV120b P-19	高杯又は器台	裾径 17 匁	脚部 /ナデ	浅黄橙/浅黄橙 ほとんど砂の混入なし	小片	赤彩?。脚部に刺突文(竹管か?)
1256 85284	I-3号溝 上部の下 NW122a P-67,68	高杯?	裾径 16 匁	脚部 ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 0.2mm粗砂	脚部 1/4	透し孔。
1257 85265	I-3号溝 上部の下 NW122a P-88	高杯	口径 14.1(匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂少	杯部完	
1258 85285	I-3号溝 上部、上部の下 NW122a P-37,96	高杯	口径 14 匁	杯部 不明 脚柱部 不明	橙/橙 1mm粗砂	1/2	
1259 85304	I-3号溝 上部の下 NW122a P-91	高杯	口径 15 匁	杯部 ヨコナデ、ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい橙/浅黄橙 1~1.5mm大粗砂少	杯部 1/5	
1260 85302	I-3号溝 上部の下	高杯	口径 13 匁	杯部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラミガキ	にぶい黄橙/褐灰 緻密	杯部 1/4	煤付着。
1261 85264	I-3号溝 上部の下 NV121d P-59	高杯	口径 13 匁	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂少	杯部 1/3	
1262 85322	I-3号溝 上部の下 NV121a	高杯	裾径 14.5(匁)	杯部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ	にぶい橙/にぶい橙 2mm礫少	1/2	
1263 85250	I-3号溝 上部の下 NW121d P-57,90, 79 NW121b P-35	高杯又は器台	裾径 22.4(匁)	裾部 ヘラミガキ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや少	裾部 3/4	スタンプ文(S字、三角)。透し孔(三方)。
1264 85289	I-3号溝 上部の下 NW121c,NW122a P-45,99,112,119	器台	受部径19.3(匁) 裾径 11.9(匁) 器高 14.9(匁)	受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ケズリ(上半)、ナデ(下半)	にぶい黄橙、にぶい赤橙/浅黄橙 2mm砂少	ほぼ完形	擬凹線。
1265 85247	I-3号溝 上部の下 NW122a P-117	器台	口径 24.3(匁) 裾径 19.2(匁) 器高 18.5(匁)	受部 /ヘラミガキ 体部 ヘラミガキハケメ後/ケズリ 脚部 ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	淡橙褐/淡橙褐 1mm粗砂多	完形	黒斑。擬凹線。透し孔(四方)。
1266 85321	I-3号溝 上部の下 NV121d,c P-46	器台	裾径 20 匁	脚部 ヘラミガキ/ケズリ、ナデ	にぶい黄橙/浅黄 2mm程度礫微	脚部 1/2	擬凹線。赤彩。透し孔(四方)。
1267 85286	I-3号溝 上部の下 NW122a P-67,62	器台又は高杯	口径 27 匁	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	橙、浅黄橙/橙、浅黄橙 1mm粗砂	1/4	
1268 85260	I-3号溝 上部、上部の下 NW122a P-121,2	器台	口径 24.8(匁)	受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~1mm粗砂やや多	受け部 口縁 2/3	
1269 85296	I-3号溝 上部の下 P-79	器台	裾径 15.2(匁)	体部 ヘラミガキ/ 脚部 ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~0.5mm砂微	受部口縁全部 欠損	2孔1対透し孔(三方)。
1270 85310	I-3号溝 上部の下 NW122a P-73,72	器台	受部径28.9(匁) 裾径 20.2(匁) 器高 23.4(匁)	受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ハケメ後ヨコナデ	浅黄橙/浅黄橙 0.5mm粗砂微	ほぼ完形	2孔1対透し孔(四方)。
1271 85320	I-3号溝 上部の下 NV121d P-63	器台	裾径 18 匁	受部 ヘラミガキ/ 脚部 ヘラミガキ/ケズリ、ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 2mm礫微	脚部 ほぼ完形	赤彩。透し孔(三方)。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1272 86361	I-3号溝 上部の下 NV121d P-53	器台	裾径 17.6(◎)	受部 脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ、ナデ、ハケメ	灰白/灰白 1mm粗砂少	脚部 ほぼ完	赤彩。透し孔(三方)。
1273 85313	I-3号溝 上部の下 NW122a P-92	器台		受部 脚柱部	ヘラミガキ?/ヨコナデ ヘラミガキ/ヨコナデ	にぶい黄橙/灰黄褐 2~3mm礫微	脚柱部 完	透し孔(四方)。
1274 85279	I-3号溝 上部の下 NV121c 122a, P-44	器台	裾径 15 (◎)	受部 脚柱部 脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ケズリ ヘラミガキ/ヨコナデ	黄褐/黄褐 1mm粗砂多	脚部 1/4	赤彩。擬凹線。透し孔。
1275 85299	I-3号溝 上部の下 W-8付近	器台?	裾径 14.0(◎)	体部 脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ? ヘラミガキ/ハケメ	浅黄/浅黄橙 1~3mm粗砂やや多、3mm礫少		透し孔。
1276 85126	I-3号溝 上部の下 NW121b	甕	口径 14.7(◎) 頸径 12.0(◎)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ケズリ	灰黄褐/浅黄橙 1mm粗砂微	口頸部 2/3	煤付着。擬凹線。
1277 86059	I-3号溝 上部の下 NW122a P-90,97	甕	口径 19 (◎) 頸径 16 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ケズリ	浅黄橙/浅黄橙 砂多	口縁~ 体部 2/3	煤付着。凹線。肩部に刺突文(ハケ)。
1278 86045	I-3号溝 上部の下 NW122a P-100,101	甕	口径 17.4(◎) 体径 20.4(◎) 頸径 15.8(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ケズリ	浅黄橙/浅黄橙 2mm砂多	1/5	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ハケ)。
1279 85060	I-3号溝 上部の下 NW122a P-97	甕	口径 16 (◎) 頸径 14 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ?/ヘラケズリ	にぶい橙/にぶい橙 1~2mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/4	擬凹線。
1280 85061	I-3号溝 上部の下 NW122b, d	甕	口径 15 (◎) 頸径 12 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/板ナデ	橙/淡橙 0.5~4mm粗砂、礫		煤付着。擬凹線。
1281 85132	I-3号溝 上部の下 NV121d P-53	甕	口径 17 (◎) 頸径 14 (◎)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラケズリ	灰黄褐/浅黄 1~2mm粗砂少	口頸部 1/4	煤付着。凹線。
1282 85073	I-3号溝 上部の下 NV120a	甕	口径 17.7(◎) 体径 20.9(◎) 器高 26.2(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ後ナデ ハケメ/ハケメ	灰白色/明褐灰 0.5~2mm粗砂、礫少	ほぼ 完形	煤付着。
1283 86041	I-3号溝 上部の下 NW121b NW122a P-121	甕	口径 18.2(◎) 頸径 16.0(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~5mm粗砂礫多	1/2	煤付着。
1284 85040	I-3号溝 上部の下 NW121b P-51	甕	口径 21 (◎) 頸径 18 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙、灰白 0.2~4mm粗砂礫やや多		煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1285 85143	I-3号溝 上部の下 NW121b, d	甕	口径 20.5(◎) 体径 29.0(◎) 器高 33.7(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ケズリ ハケメ/ケズリ後ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄褐 2mm細礫少	ほぼ完	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1286 85014	I-3号溝 上部の下 NV120b P-11 19,20	甕	口径 16.8(◎) 体径 13.0(◎) 器高 23.3(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ後ナデ/ヘラケズリ ナデ、ハケメ/ヘラケズリ	にぶい褐/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	完	煤付着。
1287 85081	I-3号溝 上部の下 NW122a P-98,97	甕	口径 16.5(◎) 体径 21.7(◎) 器高 27.2(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) ハケメ/ハケメ	にぶい黄、にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂礫多	ほぼ完	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1288 85010	I-3号溝 上部の下 NW122a P-74,79	甕	口径 17.5(◎) 頸径 15.4(◎) 体径 20.1(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ、ナデ(下半)/ハケメ	淡茶褐/淡茶褐 1~2mm粗砂多	4/5	煤付着。
1289 85116	I-3号溝 上部の下 NW121b P-35	甕	口径 16.2(◎) 頸径 13.7(◎) 体径 19.8(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ、ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂少	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1290 86033	I-3号溝 上部の下 NV121d P-73	甕	口径 15.3(◎) 頸径 11.9(◎) 体径 16 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ、ケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~1.5mm砂多	口縁~ 体部 上半 ほぼ完	煤付着。擬凹線。
1291 85032	I-3号溝 上部の下 NV121d P-81	甕	口径 17 (◎) 頸径 13 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.2~2mm粗砂多	小片	口縁内側に指頭圧痕。擬凹線。
1292 85193	I-3号溝 上部の下 NV121d P-74	甕	口径 17 (◎)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	赤橙、赤灰/赤橙、赤灰 1~2mmの粗砂	口縁部 1/4	擬凹線。
1293 85097	I-3号溝 上部の下? NV121c P-57	甕	口径 15 (◎) 頸径 13 (◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~1.5mm粗砂少	小片	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ハケ)。
1294 86071	I-3号溝 上部の下 NW122a P-123	甕	口径 17 (◎) 頸径 14 (◎)	口頸部	ナデ、ハケメ?/ナデ	砂	口縁部 1/5	凹線。黒斑。
1295 85075	I-3号溝 上部の下 NW122a P-104,118	甕	口径 17.0(◎) 頸径 14.0(◎) 体径 18.8(◎)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ、ナデ/ケズリ ハケメ、ナデ/ケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂、礫	ほぼ完	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ヘラ)。
1296 85059	I-3号溝 上部の下 NW122a P-77	甕	口径 17.4(◎) 頸径 14.6(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂		煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ヘラ)。
1297 85009	I-3号溝 上部の下 NW122a P-90	甕	口径 15.9(◎) 頸径 13.5(◎) 体径 20.3(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ	淡茶褐/淡茶褐 1~3mm粗砂多、礫微	3/4	黒斑。煤付着。擬凹線。
1298 86061	I-3号溝 上部の下 NV120b P-7,15	甕	口径 17.4(◎) 頸径 14.0(◎) 体径 21.6(◎)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 砂多	口頸部 完 体部1/4	黒斑。煤付着。擬凹線。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1299 85096	I-3号溝 上部の下 NW122a	甕	口径 18 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~1.5mm粗砂やや多	口頸部 1/5	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ハケ?)。
1300 86038	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121	甕	口径 18 (測) 頸径 15.5(測) 体径 23 (測)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙、黒褐 0.5~2mm砂多	口縁~ 体部 1/6	煤付着。
1301 85111	I-3号溝 上部の下 NW122a P-87	甕	口径 16.2(測) 体径 20.5(測) 器高 23.7(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄褐/にぶい黄褐 2mm砂少	ほぼ完	煤付着。凹線。肩部に刺突文(ヘラ?)。
1302 85098	I-3号溝 上部の下 NV121d P-76	甕	口径 20 (測) 頸径 18 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂やや多	口頸部 1/6	黒斑。擬凹線。
1303 85099	I-3号溝 上部の下 NW121b P-52	甕	口径 22 (測) 頸径 18 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂多	口頸部 1/5	煤付着。擬凹線。
1304 85095	I-3号溝 上部の下 NV121c P-56	甕	口径 16 (測) 頸径 11 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ケズリ(?)		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂	口頸部 1/5	煤付着。擬凹線。
1305 85194	I-3号溝 上部の下	甕	口径 18 (測) 頸径 16 (測)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ		にぶい黄橙/浅黄橙 0.5~1.5mm粗砂	小片	煤付着。擬凹線。
1306 85076	I-3号溝 上部の下 NW122a P-98	甕	口径 18.2(測) 体径 23.0(測) 器高 27.0(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ナデ/ヘラケズリ 底部 ハケメ後ナデ/ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂、礫かなり多	ほぼ 完形	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(貝?)。
1307 85031	I-3号溝 上部の下 NV121d P-75	甕	口径 15 (測) 頸径 12 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		灰白、浅黄橙/にぶい褐 0.2~3mm粗砂、礫多	口頸部 1/3	擬凹線。
1308 85038	I-3号溝 上部の下 NV121c P-54	甕	口径 15 (測) 頸径 11.5(測) 体径 16 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		灰白、にぶい黄橙/灰白、にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	体部 下半欠	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ハケ)。
1309 85047	I-3号溝 上部の下 NW122a P-81	甕	口径 17 (測) 体径 19.0(測) 器高 25.9(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 板ナデ/ナデ 底部 板ナデ/ナデ		明赤灰、にぶい橙/橙、黄橙、 にぶい褐 1~3mm砂礫微	1/2	煤付着。肩部に刺突文(ヘラ)。擬凹線。
1310 85019	I-3号溝 上部の下 NV121d P-52 60,63	甕	口径 14.9(測) 体径 12.2(測) 器高 18.3(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヨコナデ(上半)、ハケメ(下半)/ヘラケズリ 底部 ハケメ、ナデ/ヘラケズリ		にぶい褐/にぶい橙 0.2~3mm粗砂、礫やや多	ほぼ 完形	煤付着。擬凹線。
1311 86050	I-3号溝 上部の下 NW122a P-99,101	甕	口径 15.6(測) 頸径 13.2(測) 体径 16 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		/褐、暗褐 1mm砂多	底部欠	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ヘラ?)。
1312 85127	I-3号溝 上部の下 NV121d P-72,74	甕	口径 17.7(測) 頸径 13.6(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂少	口頸部 1/2	煤付着。擬凹線。
1313 85094	I-3号溝 上部の下 NW122a P-82	甕	口径 19 (測) 頸径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂	口頸部 1/4	擬凹線。
1314 85041	I-3号溝 上部の下 NW122a P-128,121	甕	口径 18 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい褐 0.2~3mm粗砂、礫やや多	口縁~ 体部 2/3	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ハケ)。
1315 85102	I-3号溝 上部の下 NW122a P-96	甕	口径 23 (測) 頸径 18 (測)	口頸部 不明		浅橙/浅黄橙 1~3mm粗砂、礫やや多	口頸部 1/4	
1316 85105	I-3号溝 上部の下 NV121d P-86,87, 93 NV121b P-21	甕	口径 23.9(測) 体径 31.5(測) 器高 36.5(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ 底部 ハケメ/ヘラケズリ		浅黄橙/灰白 0.5~4mm粗砂、礫少	ほぼ完	黒斑。煤付着。
1317 86028	I-3号溝 上部の下 NW122a P-12 0,122,121	甕	口径 16.6(測) 体径 20.6(測) 器高 25.1(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ痕 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ハケメ、ナデ		浅黄/浅黄 砂	2/3	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1318 85103	I-3号溝 上部の下 NV121d P-51	甕	口径 20 (測) 頸径 17 (測)	口頸部 不明		にぶい橙/褐灰 1~3mm粗砂、礫やや多		
1319 85110	I-3号溝 上部の下 NW122a P-102	甕	口径 18.4(測) 体径 18.5(測) 器高 25.2(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ 底部 ハケメ/ヘラケズリ		にぶい黄褐/にぶい黄褐 2mm礫多	2/3	煤付着。
1320 85235	I-3号溝 上部の下 NV121d P-94,87	甕	口径 16.1(測) 体径 22 (測) 器高 29 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ(中~上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		灰黄褐/灰黄褐 砂微	1/2	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1321 86069	I-3号溝 上部の下 NW122a P-118	甕	口径 18 (測) 頸径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ		灰白/灰白 砂多	口縁部 1/4	黒斑。煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1322 85125	I-3号溝 上部の下 NV121d P-8 4,72,40,46,83	甕	口径 20 (測) 頸径 16 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ?/?		にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm礫少	口縁部 1/2	煤付着。口縁に刻み目(ハケ)。
1323 86057	I-3号溝 上部の下、上部 NV121d P-53,46	甕	口径 17 (測) 頸径 14 (測) 体径 19 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ		橙、黄橙/橙 1~2mm砂少	1/4	煤付着。
1324 85011	I-3号溝 上部の下 NW122a	甕	口径 16.8(測) 体径 21.6(測) 器高 28.2(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ(上半)、ハケメ/ハケメ(上半)、ケズリ(中位) 底部 ハケメ/ナデ		淡灰褐/暗灰褐 0.5~3mm粗砂、礫多	2/3	黒斑。煤付着。
1325 86476	I-3号溝 上部の下 NW122a P-112	甕	口径 17 (測) 頸径 14.5(測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ		黄橙、黄褐/黄橙 0.5~1.5mm砂多	口縁部 2/3	煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1326 85044	I-3号溝 上部の下 NW122 P-91	甕	口径 16.1(㉞) 体径 15.7(㉞) 器高 15.7(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ(上半)、ケズリ(下半) 底部 ハケメ/ケズリ		赤灰/暗赤灰 2mm砂少	ほぼ 完形	煤付着。
1327 85093	I-3号溝 上部の下 NW122a P-18,16	甕	口径 14(㉞) 頸径 13(㉞) 体径 17(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 1~1.5mm粗砂少	小片	
1328 85157	I-3号溝 上部の下 NW121b	甕	口径 17.3(㉞) 頸径 14.2(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		淡灰褐/淡灰褐 2mm粗砂多	1/4	
1329 85025	I-3号溝 上部の下 NW122a P-98	甕	口径 15(㉞) 頸径 13(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ、ナデ?/指ナデ?		にぶい橙/明褐灰 0.2~3mm粗砂少、礫微	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1330 85005	I-3号溝 上部の下 NW122a P-90	甕	口径 12.8(㉞) 体径 11.2(㉞) 器高 10.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ 底部 ナデ/ナデ		淡灰褐/淡橙褐 1~3mm粗砂、礫	完形	煤付着。
1331 85002	I-3号溝 上部の下 NW121b P-25,35 NV121d P-90	甕	口径 12.9(㉞) 体径 10.7(㉞) 器高 12.1(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 指ナデ/ハケメ 底部 /板ナデ		赤橙/赤橙 0.5~7mm粗砂、礫多	2/3	黒斑。
1332 85052	I-3号溝 上部の下 NW122a P-68	甕	口径 12(㉞) 頸径 10(㉞) 体径 13(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヘラミガキ/ヘラケズリ		橙/赤橙 1~6mm礫多	1/4	煤付着。
1333 86048	I-3号溝 上部の下 NW122a P-98,101	甕	口径 16.5(㉞) 体径 18.7(㉞) 頸径 12.3(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ		にぶい黄/にぶい黄 1mm砂少	口縁部 2/3 体部 小片	煤付着。口縁に刺突文(ヘラ)、体部に直線文、波状文(櫛)。
1334 86060	I-3号溝 上部の下 NW122a,b,c P-17	甕	口径 17(㉞) 頸径 13.6(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ		にぶい褐/にぶい褐 砂少	口縁部 完形	煤付着。口縁部刻み目(ヘラ)、体部直線文、波状文(櫛)。
1335 85117	I-3号溝 上部の下 NV121d P-77,73	甕	口径 17.7(㉞) 頸径 14.8(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ		にぶい橙/にぶい橙 砂少	口縁~ 体部 2/3	口縁部刻み目(ハケ)。肩部に刺突文(ハケ)。
1336 85045	I-3号溝 上部の下 NV121d P-63	甕	口径 19.7(㉞) 体径 25(㉞) 器高 30.1(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラミガキ 体部 ハケメ/ナデ、ハケメ痕(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		暗褐/暗褐 1mm粗砂微	ほぼ完	煤付着。口縁刻み目(ハケ)、肩部に刺突文(ハケ)。
1337 85017	I-3号溝 上部の下 NV121c P-58	甕	口径 16.6(㉞) 頸径 13.8(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(中)		浅黄橙/浅黄橙、黒褐 0.2~4mm粗砂やや多、礫少	1/2	煤付着。口縁に刻み目(ハケ)。肩部に刺突文(ヘラ?)。
1338 85128	I-3号溝 上部の下 NW122a P-119 NV120d P-6 NV121d P-63	甕	口径 18(㉞) 頸径 15(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 砂の混入殆どなし	口縁部 1/2	煤付着。口縁に刻み目(ヘラ)。
1339 85123	I-3号溝 上部の下、上部 NV121c P-5 NW122a P-31,72	甕	口径 18(㉞) 頸径 15(㉞)	口縁・体部 不明		浅黄橙/灰 2mm礫少	口縁~ 体部 1/3	体部に直線文、波状文(櫛)、口縁に刺突文(櫛)。
1340 85043	I-3号溝 上部の下、上部 NV120d P-31 10,30	甕	口径 13(㉞) 体径 16(㉞) 器高 17.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヘラミガキ 体部 ハケメ(上半)、ナデ(下半)/ヘラミガキ 底部 ナデ/ナデ、ハケメ		浅黄橙、にぶい黄橙/褐灰 0.2~2mm粗砂多	1/2	黒斑。煤付着。口縁部刻み目(ハケ)。肩部刺突文(ハケ)。
1341 85108	I-3号溝 上部の下? NW122a P-69	甕	口径 14.6(㉞) 体径 12.6(㉞) 器高 14.2(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄褐/にぶい黄褐 2mm礫少	ほぼ 完形	煤付着。口縁部刻み目(ハケ)。
1342 85004	I-3号溝 上部の下、上部 NW121a P-100 NW121b P-33	甕	口径 19.4(㉞) 体径 23.8(㉞) 器高 29.3(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ 底部 ハケメ/ナデ		淡灰褐、茶褐/茶褐 0.5~3mm粗砂多、礫少	完形	黒斑。
1343 85104	I-3号溝 上部の下 NW122a P-63	甕	口径 18(㉞) 頸径 15(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~5mm礫少	口縁 1/5	煤付着。
1344 86023	I-3号溝 上部の下、上部 NV121d P-8,62	甕	口径 18(㉞) 体径 20(㉞) 器高 28.0(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ケズリ(下半) 底部 ハケメ/ケズリ		浅黄橙/浅黄橙、にぶい黄褐 0.5~1.5mm砂多	ほぼ 完形	煤付着。
1345 85106	I-3号溝 上部の下 NW122a P-117,118	甕	口径 15.6(㉞) 体径 14.9(㉞) 器高 17.8(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ 底部 ハケメ/ハケメ		灰赤/灰赤 2mm礫少	ほぼ 完形	煤付着。
1346 85114	I-3号溝 上部の下 NW122a P-130	甕	口径 17.5(㉞) 体径 22.1(㉞) 器高 29.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ハケメ		灰黄/浅黄橙 粗砂少	ほぼ 完形	煤付着。
1347 85051	I-3号溝 上部の下 NW121b P-41	甕	口径 19(㉞) 頸径 16(㉞) 体径 25(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/板ナデ		浅黄橙/浅黄橙、暗褐 2mm礫多	1/4	煤付着。
1348 85100	I-3号溝 上部の下 NV120b, a P-18, W-8 付近	甕	口径 15.0(㉞) 頸径 13.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ?/ケズリ		にぶい橙/にぶい褐 0.5~1.5mm粗砂	体部 下半欠	煤付着。黒斑。
1349 85046	I-3号溝 上部の下 NV121d P-91	甕	口径 16.0(㉞) 頸径 13.6(㉞) 体径 18(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ		橙、黄橙/橙 2mm礫微	4/5	
1350 85015	I-3号溝 上部の下 NV121d P-63	甕	口径 19.6(㉞) 体径 22.8(㉞) 器高 17.2(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/指ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙、黒褐 0.2~3mm粗砂やや多、礫微	ほぼ 完形	煤付着。
1351 85013	I-3号溝 上部の下 NW122a P-12 1,118,119	甕	口径 14.9(㉞) 体径 17.8(㉞) 器高 23.6(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ 底部 ハケメ/ヘラケズリ		灰白/灰白 0.2~3mm粗砂やや多、礫微	ほぼ 完形	煤付着。
1352 85053	I-3号溝 上部の下 NW122a P-109	甕	口径 15(㉞) 頸径 13(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/板ナデ		橙/橙 0.2~2mm粗砂やや多	小片	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成 形 ・ 調 整		色 調 外 面/内 面 胎 土	遺存度	備 考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1353 86029	I-3号溝 上部の下 NW122a P-107,108	甕	口径 19.3(㉟) 頸径 17.0(㉟) 体径 20.0(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙/淡橙、浅黄橙 2~4mm粗砂礫多	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1354 85080	I-3号溝 上部の下 NV121d P-94, 90,92,88	甕	口径 17.7(㉟) 頸径 14.9(㉟) 体径 19 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(下半)		にぶい橙/にぶい橙 1~1.5mm砂少	口縁~ 体部 2/3	煤付着。
1355 85021	I-3号溝 上部の下 NV121c P-51	甕	口径 18 (㉟) 頸径 16 (㉟) 体径 24 (㉟)	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙、浅 黄橙 0.2~2mm粗砂やや多		煤付着。
1356 85022	I-3号溝 上部の下、上部 NV121d P-8 1,83,30	甕	口径 16.1(㉟) 頸径 13.5(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙、にぶい橙/浅黄橙 0.2~6mm粗砂少、礫微	2/3	煤付着。
1357 85101	I-3号溝 上部の下 NV121d P-83	甕	口径 16 (㉟) 頸径 14	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		褐灰/浅黄橙 1mm粗砂	口頸部 1/3	煤付着。内面に暗褐色の付着 物。
1358 86047	I-3号溝 上部の下 NW122a P-97	甕	口径 14 (㉟) 頸径 12 (㉟) 体径 15 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/板ナデ		暗褐、にぶい黄橙/にぶい黄 橙 緻密	1/3	煤付着。
1359 86051	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121	甕	口径 16.2(㉟) 体径 19.6(㉟) 頸径 14.4(㉟)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ハケメ、ヘラケズリ 体部 ハケメ(上半)、ナデ(下半)/ヘラケズリ		浅黄橙/浅黄橙 砂多	口縁~ 体部 1/2	黒斑。煤付着。
1360 86031	I-3号溝 上部の下 NW122a P-121,119	甕	口径 16.8(㉟) 体径 20.3(㉟) 頸径 14.2	口頸部 ハケメ後ナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ		淡黄/淡黄 砂	2/3	煤付着。
1361 85124	I-3号溝 上部の下 NV121b	甕	口径 24 (㉟) 頸径 20 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ(下半) 体部 ハケメ/ナデ		橙/にぶい黄橙、橙 殆んど砂なし	1/5	口縁に刻み目。頸部刻み目凸 帯(ハケ)。
1362 85003	I-3号溝 上部の下 NV120b P-19,22	甕	口径 13.5(㉟) 頸径 11.7(㉟) 体径 12.7(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		にぶい橙/にぶい橙 1~3.5mm粗砂、礫多	底部欠	煤付着。
1363 85007	I-3号溝 上部の下 NV121d P-63	甕	口径 13.3(㉟) 頸径 12.5(㉟) 体径 14.5(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ、ナデ 体部 ハケメ(上半)、ヘラミガキ(下半)/ナデ		暗褐/茶褐 1~4mm粗砂礫微	2/3	黒斑。煤付着。
1364 87001	I-3号溝 上部の下 ? P-53	甕	口径 11.3(㉟) 体径 9.9(㉟) 器高 10.7(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラミガキ(上半)、ヘラケズリ 底部 ハケメ、指押え/ヘラケズリ		灰白/淡黄 緻密1mm大の砂	ほぼ 完形	煤付着。
1365 85001	I-3号溝 上部の下 NV120a W-8付近	甕	口径 10.7(㉟) 体径 10.2(㉟) 器高 11.7(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ハケメ、ナデ 底部 ナデ/ハケメ、ナデ		灰黄/灰黄 0.5~1mm粗砂微	1/2	黒斑。煤付着。
1366 85048	I-3号溝 上部の下 NV121d P-65,16	甕	口径 17 (㉟) 体径 16 (㉟) 器高 17 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ナデ、ナデ 底部 /ハケメ後ナデ		にぶい黄橙、にぶい黄褐/に ぶい黄橙 0.5~3mm粗砂多、礫微	ほぼ 完形	煤付着。
1367 85418	I-3号溝 上部の下? NV121c P-205	(底部)	底径 13 (㉟)	底部 ナデ/		にぶい橙/明褐灰 0.2~4mm粗砂、礫多	底部 1/2	底面にヘラ記号。
1368 85432	I-3号溝 上部の下? NV121c P-202	(底部)	底径 6.8(㉟)	底部 ヘラケズリ後ハケメ/ハケメ後ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂	底部完	
1369 85473	I-3号溝 上部の下 NV122a P-99	(底部)	底径 15.6(㉟)	底部 ハケメ、ナデ/指ナデ		灰黄褐/灰黄褐 3~5mm礫多	底部完	
1370 85472	I-3号溝 上部の下 NW121b P-48	(底部)	底径 8.5(㉟)	底部 ナデ/ナデ、ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm礫少	底部完	黒斑。
1371 85457	I-3号溝 上部の下 P-72	(底部)	底径 11.0(㉟)	底部 ハケメ、ヘラミガキ/		にぶい黄橙/灰黄褐 1~7mm粗砂、礫多	底部完	
1372 85443	I-3号溝 上部の下 NV121c P-53	(底部)	底径 5.9(㉟)	底部 不明		暗赤褐/にぶい黄橙 1mm粗砂多、3mm礫	底部完	黒斑。
1373 85464	I-3号溝 上部の下? NV121c P-201	(底部)	底径 6.8(㉟)	底部 ハケメ/ナデ		暗褐灰/黒褐 0.5~3mm粗砂、礫多	体部大 半欠 底部完	
1374 85416	I-3号溝 上部の下 NV121d P-62	(底部)	底径 6 (㉟)	底部 ハケメ/指ナデ		灰白/浅黄橙 0.2~2mm粗砂多	底部 のみ 1/2	黒斑。煤付着。底面にヘラ記 号。
1375 85414	I-3号溝 上部、上部の下 NV121c	(底部)	底径 5.1(㉟)	底部 板ナデ/ナデ		灰白/にぶい浅黄橙 0.2~3mm粗砂、礫少	底部 2/3	煤付着。黒斑?。底面にヘラ 記号。
1376 85455	I-3号溝 上部の下 ? P-46	(体・ 底部)	体径 16 (㉟) 底径 4.1(㉟)	体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ケズリ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂礫	体部 1/3 底部完	煤付着。肩部に刺突文。
1377 85456	I-3号溝 上部、上部の下 NV121d, NV121c	(底部)	底径 5.6(㉟)	底部 ヘラミガキ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/黒褐 1~3mm粗砂礫		煤付着。
1378 85458	I-3号溝 上部の下 NV121d P-80	(底部)	底径 6.8(㉟)	底部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ		灰白/灰白 0.5~1.5mm粗砂多	底部完	黒斑。
1379 85421	I-3号溝 上部の下 NW121b P-29	(底部)	底径 3.7(㉟)	底部 ハケメ/ヘラケズリ		灰白/灰白 0.2~3mm粗砂、礫多、8mm礫微	底部完	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1380 85453	I-3号溝 上部の下 P-72	(底部)	底径 3.6(◎)	体部 底部	ハケメ/ナデ? ハケメ/ナデ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 1~1.5mm砂多	体部 下半 1/2	煤付着。内面に黒色付着物。
1381 85445	I-3号溝 上部の下 NV120 b P-18	(底部)	底径 9.3(◎)	底部	ハケメ/ハケメ後ナデ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 0.5~2mm粗砂	底部完	黒斑。
1382 85474	I-3号溝 上部の下 NV120 d	(底部)	底径 8.2(◎)	底部	ハケメ、ヨコナデ/ハケメ、ナデ	灰黄褐/暗褐 1mm粗砂微	底部完	黒斑。
1383 85430	I-3号溝 上部の下? NV121 c P-203	(底部)	底径 8.2(◎)	体部 底部	ハケメ後ナデ/ ハケメ/	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂、4mm礫	底部完	煤付着。
1384 85016	I-3号溝 上部の下 NV120 d P-26	(体・ 底部)	底径 4.4(◎)	体部 底部	ハケメ/ヘラケズリ ハケメ、指押え/ヘラケズリ	黒褐/にぶい褐、褐灰 0.2~2mm粗砂やや多	体部下 半1/6 底部完	煤付着。内面に炭化物。
1385 85486	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-68	(底部)	底径 5.0(◎)	底部	ハケメ/ハケメ	灰黄褐/灰褐 1mm粗砂微	底部完	
1386 85483	I-3号溝 上部の下 NV121 d P-76	(底部)	底径 4 (◎)	体部 底部	ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/灰 2~3mm礫少	1/2	
1387 85422	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-67	(底部)	底径 4.2(◎)	底部	ハケメ/ケズリ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂多	底部完	煤付着。
1388 85485	I-3号溝 上部の下 NV121 d P-53	(底部)	底径 4.3(◎)	底部	ヘラミガキ/ナデ、ハケメ	にぶい黄橙/褐灰 ほとんど砂なし	底部完	
1389 85475	I-3号溝 上部の下 NW121 b P-35	(底部)	底径 7.6(◎)	底部	不明	灰黄褐/にぶい黄橙 1~2mm礫少	底部完	
1390 85426	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-99	(底部)	底径 4.8(◎)	底部	ハケメ/指ナデ、ナデ	にぶい黄橙/灰白 0.2~2mm粗砂多	底部完	
1391 85481	I-3号溝 上部の下 NV121 c P-50	(底部)	底径 9.0(◎)	体部 底部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ	淡黄/灰黄 1~2mm礫微	底部完	黒斑。
1392 85423	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-131	(底部)	底径 8 (◎)	底部	ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/黒褐 0.2~2mm粗砂多	底部 1/2	底部穿孔。煤付着。
1393 85476	I-3号溝 上部の下 NV121 b P-27	(底部)	底径 4.2(◎)	底部	ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ	浅黄橙/浅黄橙 2mm礫微	底部完	底部穿孔。
1394 85477	I-3号溝 上部の下 NW121 b P-29	(底部)	底径 4.2(◎)	底部	/ナデ?	浅黄橙/浅黄橙 2~3mm礫少	底部完	黒斑。
1395 85243	I-3号溝 上部の下? NV121 c P-57	(脚部)	裾径 10 (◎)	底部	ナデ/ナデ	にぶい橙/にぶい橙 1~2mm粗砂やや多		擬凹線。
1396 85470	I-3号溝 上部の下 NW122 b, d	(底部)	底径 6 (◎)	底部	ナデ/ハケメ、ナデ	灰黄褐/灰黄褐 1~2mm礫少	底部 1/4	底部穿孔。
1397 85444	I-3号溝 上部の下 NV121 c	(底部)		底部	不明	橙、にぶい黄橙/橙 2mm粗砂	底部完	黒斑。底部穿孔。
1398 85451	I-3号溝 上部の下 NW122 b, d	(底部)	底径 5.1(◎)	底部	指押え、ナデ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂	底部完	黒斑。
1399 86354	I-3号溝 上部の下、上面 NW122 b, c	(脚部)	裾径 9.4(◎)	脚部	ヘラミガキ/ハケメ、ヨコナデ	浅黄橙/灰白 0.5~1.5mm粗砂	脚部 2/3	
1400 85479	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-119	(底部)	底径 5.5(◎)	底部	不明	灰褐/浅黄橙 1~1.5mm粗砂少	底部完	
1401 85429	I-3号溝 上部の下 NV121 c P-53	(底部)	底径 5.2(◎)	体部 底部	ナデ/ハケメ ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~4mm礫やや多	底部完	黒斑。
1402 85431	I-3号溝 上部の下? NV121 c P-201	(底部)	底径 6.8(◎)	底部	ハケメ、ナデ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~7mm粗砂、礫	底部完	黒斑。煤付着。
1403 85480	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-99	(底部)	底径 4.1(◎)	底部	ハケメ/ナデ	灰黄褐/褐灰 1mm以下粗砂微	底部完	
1404 85471	I-3号溝 上部の下 NW122 a	(底部)	底径 2.6(◎)	底部	ハケメ/	ほとんど砂なし	底部完	
1405 85478	I-3号溝 上部の下 NW122 a P-98	(底部)	底径 2.3(◎)	底部	ヘラミガキ/ナデ	明褐灰/灰白 ほとんど砂なし	底部完	
1406 85142	I-3号溝 下部 NW122 a	壺	口径 19 (◎)	口縁部	ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂微	小片	口縁に縹杉文刺突文(ハケ)。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1407 85192	I-3号溝 下部 NW121 b	壺	口径 17 (匁)	口縁部	ヨコナデ/ヨコナデ	黄橙/にぶい褐 1mm粗砂	口縁部 1/5	擬凹線？
1408 85178	I-3号溝 下部 NW122 a	壺	口径 16 (匁)	口縁部	ヨコナデ/ヨコナデ	淡橙/淡橙 0.5~3mm粗砂、礫やや少		擬凹線。
1409 85187	I-3号溝 下部 NV121 d	壺	口径 19 (匁)	口頸部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 3mm礫	口頸部 1/3	擬凹線。
1410 85217	I-3号溝 下部 NW122 a	壺	口径 16 (匁)	口頸部	ヘラミガキ/ヨコナデ、ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少	口頸部 1/4	
1411 85234	I-3号溝 下部 NW122 a	壺	口径 15 (匁) 口径 14 (匁)	口頸部	ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ後ヘラミガキ、 ヘラケズリ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 殆んど砂なし	小片	
1412 85188	I-3号溝 上部の下、下部 NW122 a	壺	口径 15 (匁)	口頸部	ヨコナデ、ヘラミガキ/ハケメ	にぶい褐/にぶい橙 1~2mm粗砂	口頸部 1/3	内面に黒褐色の付着物。
1413 85218	I-3号溝 下部(?) NV121 d	壺	口径 11 (匁)	口頸部	ハケメ/	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂、礫やや多	口頸部 1/3	煤付着。口縁部波状。頸部内 面に黒色の付着物。
1414 85237	I-3号溝 下部 NV121 d	壺	口径 8 (匁) 口径 11.5(匁) 器高 15.0(匁)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	灰黄/灰黄 2mm礫少	口縁~ 体部 1/2	
1415 85146	I-3号溝 下部 NW121 b P-58	壺	口径 8.4(匁) 口径 12.4(匁) 器高 14.5(匁)	口頸部 体部 底部	ハケメ・ナデ/ハケメ、ヨコナデ ハケメ後ナデ/ハケメ ハケメ、ナデ/ナデ	灰白/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂やや多	完形	黒斑。
1416 85374	I-3号溝 上部の下、下部	壺	口径 18 (匁)	体部	ナデ、ヘラミガキ/ナデ	/黒褐 0.5mm粗砂	小片	赤彩。体部に凸帯。その上に 擬凹線、浮文。
1417 85366	I-3号溝 上部の下、下部 NW122 a P-17	水差	口径 10.2(匁) 口径 13 (匁) 器高 16.1(匁)	口頸部 体部 底部	ヘラミガキ、ヨコナデ/ヘラミガキ ヘラミガキ/指押え(上半)、ヘラケズリ ヘラミガキ/ヘラケズリ	明赤褐/明赤褐 1mm細砂	2/3	黒斑。注口部有り。
1418 85362	I-3号溝 下部 NW121 b	鉢	口径 20 (匁) 口径 16 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ /ヘラケズリ	にぶい黄褐/にぶい橙 2mm礫少	小片	
1419 86056	I-3号溝 下部 NW122	鉢	口径 16.5(匁) 口径 12 (匁) 口径 11 (匁)	口頸部 体部	/ヘラミガキ 不明	灰褐/にぶい赤褐 2mm以下粗砂やや多、纖維少	口縁~ 体部 1/4	黒斑。煤付着。赤彩。擬凹線。
1420 85371	I-3号溝 下部(?) NW122 a P-201	鉢	口径 7 (匁) 口径 8 (匁)	口縁部 体部	ハケメ後ナデ/ナデ ハケメ後ナデ/ナデ	灰白、にぶい黄橙/灰白、に ぶい黄橙 0.2~2mm粗砂少	小片	口縁部に2孔1対の孔。
1421 85251	I-3号溝 下部 NV121 d P-105	高杯	口径 22.4(匁)	杯部 脚柱部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラケズリ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~1mm粗砂やや多	脚部 欠	黒斑。
1422 85301	I-3号溝 下部 NW122 a P-43	高杯	口径 26 (匁)	杯部 脚柱部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/	灰白/灰白 0.5~1mm粗砂微	杯部 ほぼ 完形	黒斑。
1423 82063	I-3号溝、 I-4号溝 NV120 a	壺	口径 (匁) 口径 (匁) 器高 (匁)	体部 脚部	ヘラミガキ/ハケメ ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 緻密、細砂少	ほぼ 完形	赤彩によって文様。黒斑。脚 部透し孔(十方)。
1424 85255	I-3号溝 下部 NW121 b	器台		受部	不明	淡橙/橙 0.2~2mm粗砂やや多	小片	
1425 85282	I-3号溝 下部 NW122 a P-74 NW122 b	器台?	裾径 8 (匁)	脚部	ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	にぶい橙/にぶい橙、橙 2mm礫	脚部 3/4	黒斑。擬凹線。透し孔(六 方)、記号文？
1426 85121	I-3号溝 上部の下の下 NW122 a	甕	口径 17 (匁) 口径 15 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、指ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	口頸部 1/3	煤付着。籬状文、直線文、波 状文(櫛)。
1427 85139	I-3号溝 下部 NW122 a	甕	口径 18 (匁) 口径 15 (匁)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ痕/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 殆んど砂なし	口縁部 1/5	煤付着。
1428 85141	I-3号溝 下部 NW121 b	甕	口径 16 (匁) 口径 13 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 2mm礫少	細片	
1429 85137	I-3号溝 下部 NW122 a	甕	口径 13 (匁) 口径 11 (匁)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラケズリ	灰黄褐/灰黄褐 1mm以下粗砂微	口縁部 1/2	煤付着。擬凹線。
1430 85055	I-3号溝 下部 NW122 a	甕	口径 17 (匁) 口径 22 (匁) 口径 13 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ(上半)、板ナデ(下半)	にぶい黄橙/にぶい褐、暗赤 褐 0.2~2mm粗砂	口縁~ 体部 1/4	煤付着。擬凹線。
1431 85136	I-3号溝 下部 NW122 a	甕	口径 20 (匁) 口径 17 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	細片	煤付着。擬凹線。
1432 85135	I-3号溝 下部 NW122 a	甕	口径 19 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂微	細片	煤付着。擬凹線。
1433 85037	I-3号溝 下部 NW122 a	甕	口径 17 (匁) 口径 16 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ	浅黄橙/にぶい黄橙 0.5~4mm粗砂、礫やや多	口縁部 ~頸部 1/4	煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1434 85042	I-3号溝 下部 NW122a	甕	口径 18 (匁) 類径 12 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい橙 0.5~2mm粗砂少、4mm礫やや多	小片	
1435 85084	I-3号溝 下部 NV121d	甕	口径 15 (匁) 類径 12 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂、礫やや多	小片	煤付着。
1436 85039	I-3号溝 下部 NW122a	甕	口径 16 (匁) 口径 16 (匁) 類径 13 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙、灰 黄褐 0.2~2mm粗砂やや多、4mm 礫やや少	口縁~ 体部 1/4	煤付着。
1437 85220	I-3号溝 下部 NW121b	甕	口径 17 (匁) 類径 13 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	小片	黒斑。
1438 85086	I-3号溝 下部 NW121b, NW122a	甕	口径 14 (匁) 類径 12 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ヘラケズリ?	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少		肩部に刺突文(ハケ)。
1439 85140	I-3号溝 下部 NW121b	甕	口径 18 (匁) 類径 15 (匁)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂少	小片	
1440 85085	I-3号溝 下部 NW122a	甕	口径 12 (匁) 類径 11 (匁)	口頸部 体部	ハケメ/ハケメ ハケメ、ナデ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少		煤付着。黒斑。口縁内面に刺 突文(ハケ)。
1441 85071	I-3号溝 下部 NV121d	甕	口径 20 (匁) 類径 16 (匁)	口頸部	ハケメ/ハケメ	灰褐/黒褐 細砂微	口頸部 1/4	黒斑。
1442 85138	I-3号溝 下部 NW122a	甕	口径 20 (匁) 類径 18 (匁)	口頸部	ハケメ/ハケメ	暗灰黄/にぶい黄褐 1~2mm砂微	口頸部 1/5	煤付着。波状口縁。
1443 85082	I-3号溝 下部(?) NW122b, d	甕	口径 16 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ 縄文/ヘラケズリ(上半)、板ナデ(下半)	黒褐/にぶい黄褐 1mm粗砂	小片	煤付着。口縁端部に縄文。
1444 85467	I-3号溝 下部(?) NW122b, d	(底部)	底径 4.2(匁)	底部	ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm礫微	底部完	
1445 85482	I-3号溝 下部(?) NW122b, d	(底部)	底径 7.2(匁)	底部	ハケメ後ナデ/ハケメ後ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄褐 2~3mm礫少	底部完	黒斑。
1446 85463	I-3号溝 下部、上部の下	(底部)	底径 6.8(匁)	底部	ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少	底部完	煤付着。黒斑。内面に炭化物。
1447 85441	I-3号溝 下部 NW122b, d	(底部)	底径 5.3(匁)	底部	ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm粗砂、礫多		黒斑。底部穿孔。
1448 85419	I-3号溝 下部 NW122a	(底部)	底径 5.3(匁)	底部	板ナデ/	にぶい黄橙/明褐灰、褐灰 0.2~2mm粗砂やや多	底部 2/3	底面にヘラ記号。
1449 85442	I-3号溝 下部(?) NW122b, d	(底部)	底径 5.9(匁)	底部	ハケメ/ナデ	浅黄褐/浅黄褐、黒褐 0.5mm粗砂微		黒斑。
1450 85484	I-3号溝 下部 NV121d	(底部)	底部 5.2(匁)	底部	ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい褐/にぶい褐 2~3mm礫微	底部完	
1451 85434	I-3号溝 下部 NV122c	(底部)	底径 6.2(匁)	底部	ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm粗砂	底部完	煤付着。
1452 85424	I-3号溝 下部(?) NV121d	(底部)	底径 6 (匁)	底部	ハケメ/ナデ	灰白、灰黄褐/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂多	底部 1/2	底部穿孔。
1453 85258	I-3号溝 底面 NW122a, b, d	高杯	口径 12.1(匁)	杯部	ヨコナデ(上半)、ハケメ後ヘラミガキ(下 半)/ヨコナデ(上半)、ヘラミガキ(下半)	灰白、にぶい黄橙/灰白、に ぶい黄橙 0.2~4mm粗砂、礫やや多	杯部 1/2	
1454 85018	I-3号溝 底面 NV121c, NV120c	甕	口径 14.5(匁) 口径 15.1(匁)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ハケメ後ナデ ハケメ(上半)、板ナデ/ナデ 板ナデ/ナデ	浅黄橙/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂多	2/3	黒斑。煤付着。
1455 85756	I-3号溝 底面 NW122a	器台		脚柱部	板ナデ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多、3mm 礫やや少	細片	黒斑。透し孔(2孔1対)。
1456 85112	I-3号溝 東端断面	壺	口径 14.9(匁) 口径 21.5(匁) 器高 27.8(匁)	口頸部 体部 底部	ハケメ後ナデ/ハケメ後ナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm粗砂礫微	完形	黒斑。煤付着。
1457 85056	I-3号溝 NV121d P-17	壺	口径 14 (匁) 口径 13 (匁) 口径 19 (匁)	口頸部 体部 底部	ハケメ後ナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ、ナデ(下半) ハケメ/ハケメ	浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.5~1mm粗砂	口縁~ 体部1/2 底部1/3	黒斑。底部穿孔(数不明)。
1458 85008	I-3号溝 NV121c	壺	口径 14.8(匁) 口径 14.1(匁) 口径 23 (匁)	口頸部 体部	ヨコナデ、ヘラミガキ/ヨコナデ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ(中位)、ヘラ ケズリ	橙褐、淡橙褐/茶褐、暗褐 1~2mm粗砂礫微	1/3	黒斑。煤付着。
1459 85176		壺	口径 16.2(匁) 口径 12 (匁)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ハケメ	灰白、明褐灰/灰白、明褐灰 0.2~2mm粗砂少	口頸部 1/2	煤付着。肩部に記号文?。
1460 86072	I-3号溝 上部の下 NV121d P-53	壺	口径 15 (匁) 口径 9.4(匁)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ	淡黄/淡黄 砂多	口縁部 ほぼ完	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1461 85202	I-3号溝 NV121d P-21	壺	口径 16.7(○) 頸径 10.9(○) 体径 21.8(○)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラケズリ		浅黄橙/灰白 1~3mm粗砂礫やや多	口頸部 1/3	
1462 85214	I-3号溝	壺	口径 13 (○) 頸径 10 (○)	口頸部 ハケメ/ハケメ、ナデ 体部 ハケメ/		浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂礫少	口頸部 1/2	
1463 85662		壺	底径 2.8(○)	体部 板ナデ/ 底部 ナデ/		黄褐/黒褐 0.5~2mm粗砂	体部 1/4 底部完	黒斑。煤付着。
1464 85660		高杯	口径 28.4(○)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		灰白/灰白 0.2~3mm粗砂礫やや多	杯部 1/2	黒斑。赤彩。
1465 85661		高杯又は器台	裾径 13.8(○)	脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.2~3mm粗砂礫やや多	1/2	
1466 86356	NV120a, b	高杯	口径 14 (○)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		淡橙/浅黄橙 1~2mm粗砂やや多	杯部 1/2	
1467 85246	I-3号溝 NW122b	高杯	口径 26.3(○)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ(上半)、ナデ? (下半)		淡赤褐/淡赤褐 0.5~1mm粗砂	1/4	
1478 85303	I-3号溝 NV121d	高杯又は器台	口径 22 (○)	口縁部 ハケメ/ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2.5mm粗砂礫やや多	口縁部 1/6	
1469 85312	I-3号溝 P-31	高杯又は器台	裾径 20 (○)	脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ヨコナデ		橙/にぶい橙 1~2mm粗砂微	脚部 1/3	黒斑。透し孔(四方)。
1470 86032	I-3号溝 NW122b	甕	口径 24.3(○) 頸径 20.0(○)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/指ナデ		浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂やや多、礫微	口縁~ 体部 1/2	黒斑。
1471 86052	NV121d S. B. -A	甕	口径 16.2(○) 頸径 14.8(○) 体径 19.2(○)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 砂多	口頸部 完	黒斑。擬凹線。
1472 85107	I-3号溝 NW122a, b	甕	口径 17.2(○) 体径 17.8(○) 器高 19.4(○)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ナデ		灰赤/灰赤 粗砂少	ほぼ 完形	煤付着。
1473 86049	I-3号溝 NW122b	甕	口径 18.5(○) 頸径 14.5(○) 体径 20 (○)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ(上半)、ハケメ(下半)/		黄橙/黒褐 砂多	口縁~ 体部 1/3	煤付着。
1474 86026	I-3号溝(?)	甕	口径 17 (○) 頸径 15.5(○) 体径 25 (○)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		浅黄橙/にぶい黄橙 1~3mm砂多	口縁~ 体部 2/3	黒斑。肩部に刺突文(ハケ)。
1475 86040	I-3号溝 NW121b	甕	口径 13.5(○) 頸径 11.5(○)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		淡橙褐/淡橙褐 1~2mm砂多	口頸部 ほぼ完	口縁に刻み目(ハケ)。肩部に刺突文(ハケ)。
1476 85068	I-3号溝 NV121d	甕	口径 17 (○) 頸径 16 (○)	口頸部 ハケメ後ナデ/ハケメ 体部 ハケメ/ナデ		にぶい黄褐/にぶい黄褐 0.5~2mm粗砂	口縁部 ~肩部 1/4	煤付着。
1477 85468	I-3号溝 NW122b	(底部)	底径 8.4(○)	底部 ハケメ後ヘラミガキ/板ナデ		にぶい黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂少	底部完	初圧痕。
1478 85436	I-3号溝 NW122a P-203	(底部)	底径 4.8(○)	底部 ハケメ後ナデ/ナデ		明褐、にぶい褐/にぶい黄褐 0.2~2mm粗砂やや多、4mm礫	底部完	黒斑。
1479 85664		(底部)	底径 12 (○)	底部 ハケメ/ナデ		にぶい黄橙/黄褐 0.5~2mm粗砂	底部 1/2	黒斑。
1480 85462	I-3号溝 NW122a P-201	(底部)	底径 11.8(○)	底部 ハケメ/ナデ?		にぶい黄橙/黒褐 0.5~3.5mm粗砂、礫多	底部 1/4	
1481 85665		(底部)	底径 12.0(○)	底部 ハケメ/ハケメ、指押え		にぶい黄橙/にぶい黄褐 0.5~2mm粗砂礫	底部 1/2	黒斑。
1482 85469	I-3号溝 NV122a P-202	(底部)	底径 6.9(○)	底部 ヘラミガキ/ハケメ		灰黄褐/灰黄褐 2~3mm礫少	底部完	内面に黒色物。初圧痕。
1483 85415	I-3号溝 NW122a	(底部)	底径 5 (○)	底部 不明		浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂多	底部完	底面にヘラ記号。
1484 85446	I-3号溝 NW122b	(底部)	底径 4.9(○)	底部 ハケメ/		淡黄/橙 1~2mm粗砂多	底部	黒斑。
1485 85425	NW122a	(底部)	底径 8.3	底部 ナデ?/指ナデ		灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.5~5mm粗砂礫多	底部完	
1486 85448	I-3号溝 NW122b	(底部)	底径 5.1(○)	底部 板ナデ/ナデ		にぶい黄橙/浅黄 2~3mm礫やや多	底部完	煤付着。
1487 85420	I-3号溝 NW122a P-202	(底部)	底径 6.6(○)	底部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄橙/褐灰、黒褐 0.2~2mm粗砂やや多	底部完	底部の粘土はり合わせ。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1488 85663		(底部)	底径 4.9(㉔)	底部	不明	黒褐/淡黄橙 0.5~4mm粗砂礫多	底部完	
1489 85447	I-3号溝 NW122b	(底部)	底径 4.9(㉔)	底部	ハケメ/板ナデ	灰褐/にぶい黄褐 0.5~2mm粗砂やや多	底部完	黒斑。煤付着。内面に炭化物。
1490 85459	I-3号溝 NW122a	(底部)		底部	ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/明褐灰 1~1.5mm粗砂やや多	底部完	
1491 85427	I-3号溝 NW122a P-119	(底部)	底径 4.8(㉔)	底部	ハケメ/ハケメ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂多、3mm礫少	底部	黒斑。煤付着。
1492 85161	耕土 NW122b	壺	口径 12.6(㉔) 底径 6.4(㉔)	体部 底部	ヘラミガキ/指ナデ(上半)、ナデ ヘラミガキ、ナデ/ナデ、指ナデ	淡灰褐/淡灰褐 0.5~2mm粗砂	2/3	黒斑。
1493 85054	I-3号溝 上部の上 NW122b, c	壺?	口径 11(㉔) 頸径 11(㉔) 口径 15(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ 板ナデ/ヘラケズリ	淡赤橙/明黄褐 0.2~7.5mm粗砂礫	口縁~ 体部 1/4	黒斑。
1494 85354	I-3号溝 上部、上部の下 NW121b	鉢	口径 16.5(㉔) 口径 18.0(㉔) 器高 12(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ ハケメ、ヘラケズリ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂礫	ほぼ 完形	煤付着。口縁に刻み目。肩部に刺突文。
1495 85257	I-3号溝 上部の上の下 NV121d	器台		脚柱部	ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂少	小片	透し孔(四方二段)。
1496 85326	I-3号溝 上部の上の下 NV121d	高杯		杯部 脚部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm砂少	脚部 2/3	黒斑。透し孔(四方三段)。
1497 85333	I調査区 包含層 NW122b	高杯又は 器台		脚部	不明	浅黄橙/浅黄橙 殆んど砂なし	小片	赤彩。スタンプ文(S字、三角形)。
1498 85273	I-3号溝 上部の上の下 NV121d	(脚部)	裾径 9(㉔)	脚部	ハケメ/ハケメ	にぶい黄褐/黒褐、にぶい黄褐 0.5mm粗砂	脚部 1/2	透し孔(四方)。裾に刻み目(ハケ)。
1499 85023	I-3号溝 上部の上 NV120a	甕	口径 26(㉔) 頸径 22(㉔)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	口頸部 1/2	擬凹線。
1500 85079	I-3号溝 上部の上 NV120a	甕	口径 17.7(㉔) 口径 21.0(㉔) 器高 25.5(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ(上半)、ナデ(下半)/ナデ(中位)、ヘラケズリ ナデ/ヘラケズリ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~2mm粗砂	1/2	煤付着。擬凹線。肩部に刺突文(ヘラ)。
1501 86442	I-3号溝 上部の上 NV120a	甕	口径 17.6(㉔) 口径 13.4(㉔) 口径 23(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	褐灰/にぶい褐 砂多	1/4	黒斑。煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1502 85490	I-3号溝 上部の上の下 NV121d	(底部)	底径 5.2(㉔)	底部	ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 殆んど砂なし	底部完	黒斑。
1503 85438	I-3号溝 上部の下 NW122b, c	(底部)	底径 4.0(㉔)	底部	ヘラミガキ/ハケメ	浅黄、淡黄/浅黄 1~2mm粗砂微		
1504 85428	I-3号溝 上部の上 NW122b, c P-70	(底部)	底径 7.4(㉔)	底部	ハケメ/ハケメ	灰褐/明黄褐 細砂	底部完	
1505 85491	I-3号溝 上部の上の下 NV121d	(底部)	底径 11.0(㉔)	底部	ハケメ後ナデ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂微	底部	黒斑。靱圧痕。
1506 83067	0-2号溝 P-1	壺	口径 13.8(㉔)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ハケメ後ナデ、ヘラミガキ/指ナデ	にぶい黄橙/灰黄褐 細砂	口頸部 完	黒斑。
1507 83068	0-1号溝	甕	口径 10.8(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ナデ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 粗砂少	1/2	
1508 83069	0-20~21G. P-1	高杯		杯部 脚部	不明 /ハケメ	橙/橙 緻密	杯下半 脚上半 完	透し孔(三方)。
1509 83187	U-1号ビット	壺	口径 12(㉔) 頸径 10(㉔)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ナデ ナデ、ヘラミガキ/指ナデ	褐灰/にぶい黄橙 0.5~1.5mm粗砂多	口縁部 1/3	内外面に煤。
1510 83186	U-12G. 地山直上	須恵器 杯	口径 13(㉔) 底径 9(㉔) 器高 3.5(㉔)	体部 底部	回転ナデ/回転ナデ ナデ、ヘラ切り/回転ナデ	灰/灰 1mm粗砂多、4mm礫微	1/4	須恵器。重ね焼の痕跡。
1511 85561	S-2号土坑 一括	壺	口径 14(㉔) 頸径 13(㉔)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラケズリ	灰白、にぶい黄橙/にぶい橙、 にぶい褐 0.2~3mm粗砂礫やや多	細片	煤付着。
1512 86003	S-2号土坑	壺	口径 11.8(㉔) 口径 15.4(㉔) 器高 18.0(㉔)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ナデ ハケメ(ケズリの)/ナデ ハケメ/ナデ	灰白/黒褐 1~4mm砂礫多	完形	黒斑。
1513 86003	S-2号土坑	高杯		杯部	ヘラミガキ/	淡褐/淡褐 精緻	小片	内面直線、波状文。
1514 82057	S-2号土坑	(体、 底部)	口径 24(㉔) 底径 4.0(㉔)	体部 底部	ハケメ/板ナデ ハケメ/板ナデ	—/黒褐 緻密、砂殆ど含まず	1/2	煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1515 85563	S-2号土坑 一括	甕	口径 13 ㊦ 頸径 12 ㊦	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		—/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	小片	煤付着。
1516 86002	S-2号土坑	甕	脚径 6.5(㉞)	体部 ハケメ/ハケメ 脚部 ハケメ/指ナデ、ナデ		暗茶褐/暗茶褐 0.5~2mm粗砂微	脚部完	煤付着。
1517 86005	S-2号土坑 一括	甕	口径 17.2(㉞) 体径 19 ㊦ 器高 20.0(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ナデ		にぶい黄/にぶい黄 1~2mm砂多	1/2	煤付着。
1518 86019	S-2号土坑 一括	甕	口径 17.1(㉞) 体径 20.8(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		にぶい黄/にぶい黄 2mm砂	1/2	黒斑。煤付着。内面に炭化物。
1519 82058	S-2号土坑	甕	口径 18.0(㉞) 体径 29.2(㉞) 脚径 11.0(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ 脚部 ナデ/ハケメ		暗灰黄/灰黄褐 1~3mm砂礫多	体部 1/2 欠	煤付着。
1520 85562	S-2号土坑 一括	甕	口径 14 ㊦ 頸径 12 ㊦	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヨコナデ、ハケメ(下半)/ヘラケズリ		灰白/にぶい黄橙、にぶい橙 0.2~2mm粗砂やや多、3mm 礫少	小片	煤付着。
1521 86020	S-2号土坑 一括	甕	口径 15 ㊦ 頸径 13.5(㉞) 体径 21 ㊦	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ		/暗褐 細砂少	1/2	煤付着。
1522 82037	S-2号土坑	甕	口径 17.5(㉞) 頸径 15 ㊦ 体径 24.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/板ナデ		黄褐/暗灰黄 1~2mm砂微	1/2	煤付着。
1523 85567	S-3 a号土坑 西側	壺	口径 12 ㊦ 頸径 8.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/指ナデ		淡黄/淡黄 1mm細砂微	口頸部 1/3	口縁に刺突文(櫛?)。
1524 85580	S-3 d号土坑 P-2	壺	口径 17 ㊦ 頸径 11 ㊦	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ナデ		にぶい黄橙/にぶい橙 細砂少、2mm礫微	小片	
1525 85577	S-3 c号土坑 P-3	壺	口径 11 ㊦ 頸径 8 ㊦	口頸部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙/浅黄橙、灰白 0.2~2mm粗砂やや多	1/4	口縁部2個1対の竹管刺突文 (全周4ヶ所)。
1526 82067	S-3 d号土坑 P-2	壺	口径 13 ㊦ 頸径 9.5(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ナデ 体部 ハケメ/ナデ		淡(黄)褐/灰褐 精緻で砂含まず	1/2	
1527 85565	S-3号土坑 上面	壺	口径 12 ㊦ 頸径 10 ㊦	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ		灰白/灰白 0.2~1mm粗砂やや多	口縁~ 体部 1/4	口縁に焼成前の抉りあり。
1528 85573	S-3 d号土坑 P-2	高杯又 は器台	裾径 18 ㊦	脚部 ヘラミガキ/		浅黄橙、橙/淡橙 1mm粗砂	1/5	
1529 85566	S-3号土坑 上面	高杯		脚部 不明		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	脚柱部 完	
1530 85579	S-3 c号土坑 S-3 b号土坑 上面	甕	口径 16.5(㉞) 頸径 14.9(㉞) 体径 18.0(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヨコナデ(上半)、ハケメ(下半)/ナデ		灰白、にぶい黄橙/灰白、に ぶい黄橙 0.2~4mm粗砂礫多	口縁~ 体部 上半完	肩部に刺突文(ハケ)。
1531 85572	S-3 d号土坑 P-2	甕	口径 17 ㊦ 頸径 16 ㊦	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/		暗赤灰/暗赤灰 1mm粗砂多		
1532 85578	S-3 c号土坑 P-1(黒色粘砂) P-2	(底部)	底径 4 ㊦	体部 ハケメ/ナデ 底部 ハケメ/ナデ		明褐灰/灰白、にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多、3mm礫少		煤付着。
1533 85569	S-3 b号土坑	壺	口径 13.2(㉞) 頸径 9.3(㉞)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ、ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂微	口頸部 完	黒斑。
1534 85646	S-3 b号土坑 S.B.第2層	壺	口径 10.7(㉞) 体径 14.6(㉞) 器高 16.1(㉞)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ナデ 底部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	ほぼ 完形	黒斑。内、外面に黒色物付着。
1535 82043	S-3 b号土坑 第2層	壺	口径 9.0(㉞) 体径 12.1(㉞) 器高 8.9(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ(上半)、ヘラ ミガキ(下半) 底部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい橙/浅黄橙 1~2mm粗砂少	ほぼ 完形	黒斑。
1536 82075	S-3 b号土坑 S.B.第2層	鉢	口径 10.4(㉞) 底径 4.4(㉞) 器高 5.2(㉞)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 底部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄褐/浅黄橙 2mm砂少	完形	黒斑。
1537 82041	S-3 b号土坑 P-2	鉢	口径 9.3(㉞) 裾径 18.2(㉞) 器高 11.8(㉞)	口頸部 ナデ/ナデ 脚部 ナデ/ナデ		浅黄橙/黄橙 1~2mm粗砂、海綿骨片多	ほぼ 完形	黒斑。
1538 85576	S-3 b号土坑 第2層一括	鉢	口径 18.2(㉞) 頸径 16.0(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 /指ナデ、ハケメ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm礫少	2/3	煤付着。
1539 82026	S-3 b号土坑 上面、第2層	高杯	口径 28.3(㉞) 裾径 13.6(㉞) 器高 18.8(㉞)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラケズリ 裾部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ後ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂やや多、4mm礫少	ほぼ 完形	赤彩。透し孔(四方)。
1540 82025	S-3 b号土坑 第2層	高杯	口径 25.0(㉞) 裾径 12.8(㉞) 器高 16.5(㉞)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ハケメ		にぶい赤褐/にぶい赤褐、灰 褐 2~3mm礫多	ほぼ 完形	
1541 85570	S-3 b号土坑 第2層	器台		脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm砂少		赤彩。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1542 82027	S-3b号土坑南	高杯	口径 33 (㉔) 底径 17.7(㉔) 器高 20.6(㉔)	杯部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙、にぶい黄褐/灰黄、黒褐 1mm粗砂やや多、3mm礫少	ほぼ完形 杯部 1/3欠	赤彩。透し孔(三方、2個1組)。
1543 82028	S-3b号土坑第2層 P-8	器台	裾径 14.5(㉔)	受部 脚柱部 裾部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい橙 0.5~2mm粗砂やや少	脚部完	赤彩?。透し孔(四方)。
1544 82044	S-3b号土坑 P-2	甕	口径 16.1(㉔) 頸径 13.6(㉔) 体径 18.5(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ハケメ、ナデ	黄橙/浅黄 1~2mm粗砂	口頸部 1/3	煤付着。黒斑。
1545 82080	S-3b号土坑第2層	甕	口径 18.2(㉔) 体径 23.6(㉔) 器高 29.2(㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ		ほぼ完	煤付着。
1546 85571	S-3b号土坑第2層 S.B.第2層	甕	口径 18 (㉔) 頸径 17 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ?/ヘラケズリ	淡橙、にぶい橙/淡橙、にぶい橙 3mm礫やや多	1/2	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1547 85575	S-3b号土坑第2層、黒色粘土層	甕	口径 16.0(㉔) 頸径 15.0(㉔) 体径 20 (㉔)	口頸部 体径	ヨコナデ/ヨコナデ 不明	褐灰/灰黄褐 2~3mm礫少	口縁~ 体部 2/3	煤付着。
1548 82065	S-3b号土坑第2層	甕	口径 18.4(㉔) 体径 22.8(㉔) 器高 26 (㉔)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄 1~4mm粗砂礫多	1/2	煤付着。肩部に刺突文。
1549 85564	S-3b号土坑 P-2	甕	口径 18 (㉔) 頸径 15 (㉔) 体径 18 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ナデ(上半)、ヘラケズリ(下半)	灰白、明灰白/にぶい黄橙、褐灰 0.2~3mm粗砂礫多		煤付着。
1550 85574	S-3b号土坑南半分	甕	口径 16.6(㉔) 頸径 15.8(㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ、指ナデ	浅黄/浅黄 2~3mm礫少	口頸部 完	黒斑。
1551 85568	S-3b号土坑	甕	口径 16 (㉔) 体径 17 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/指ナデ	にぶい黄橙/にぶい橙 1~2mm礫少	口縁部 1/3 胴部 一部	煤付着。
1552 85581	S-4号土坑覆土内	甕	口径 18 (㉔) 頸径 13 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/指ナデ	にぶい黄橙、橙/にぶい黄橙 2~3mm礫少	小片	肩部に刺突文(ハケ)。
1553 85584	S-4c号土坑上	蓋	口径 6.5(㉔) つまみ径 3 (㉔)	つまみ部 口縁部	指押え/ナデ 指ナデ/ハケメ	にぶい黄橙/褐灰 殆ど砂なし	ほぼ完形	穿孔(6ヶ所)。
1554 85583	S-4c号土坑上面	高杯		脚部	ハケメ?/	浅黄橙/浅黄橙 1~2mm粗砂微		透し孔(八方)。
1555 85582	S-4c号土坑上面	(底部)	底径 3.8(㉔)	体部 底部	ハケメ/ハケメ ナデ/ハケメ	にぶい黄褐/褐灰 殆ど砂なし	底部完	煤付着。
1556 86248	S-5号土坑 P-5	壺	口径 15 (㉔) 頸径 12 (㉔)	口頸部 体部	ヘラミガキ、ヨコナデ/ヨコナデ ヘラミガキ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 砂		
1557 85590	S-5号土坑 P-5の下部	壺	口径 8 (㉔) 頸径 10 (㉔)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラケズリ	にぶい黄褐/淡黄 2mm粗砂やや多	口縁部 1/4	赤彩。
1558 85603	S-5号土坑 P-1、底	壺	口径 13 (㉔) 頸径 9 (㉔)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヨコナデ ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/淡黄 0.2mm粗砂		黒斑。擬凹線。
1559 86249	S-5号土坑 P-1の下部	壺	口径 10.6(㉔)	口縁部 体部	ヘラミガキ/ヨコナデ ヘラミガキ/ハケメ	灰白/オリーブ黒 微砂多		
1560 85612	S-5号土坑	鉢	口径 20 (㉔) 頸径 18 (㉔) 体径 20 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙、灰白、明褐灰/浅黄橙、灰白、明褐灰 0.2~2mm粗砂やや少	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1561 85613	S-5号土坑	鉢	口径 16 (㉔) 頸径 13 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ 不明	にぶい黄橙/にぶい褐 2mm粗砂少	1/4	肩部に刺突文(ハケ)。
1562 86255	S-5号土坑 P-1、底	鉢	口径 17 (㉔)	口縁部 体部	ナデ、ハケメ/ナデ、ハケメ ハケメ/ハケメ、ナデ	浅黄/浅黄 1mm砂少	1/6	
1563 86280	S-5号土坑 上面	鉢	口径 11 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ナデ/ハケメ	浅黄/浅黄 1~2mm砂少	1/5	口縁、肩部に刻み目。
1564 85588	S-5号土坑 P-1	鉢	口径 12 (㉔) 頸径 11 (㉔) 体径 11 (㉔)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい橙 1~3.5mm粗砂、礫多	1/3	黒斑。
1565 86277	S-5号土坑 P-5の下部	高杯又は器台	口径 22 (㉔)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂、繊維多		
1566 86278	S-5号土坑 P-5の下部	高杯又は器台	口径 27 (㉔)	杯部	ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少		
1567 85609	S-5号土坑 P-1、底	高杯	口径 30 (㉔)	杯部	ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ後ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 細砂微	杯部 1/5	黒斑。
1568 85614	S-5号土坑 P-1、底	高杯?	口径 12 (㉔)	杯部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ	浅黄橙、浅橙/浅黄橙、浅橙 0.2~1mm粗砂やや少	口縁部 1/2	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整 部位 外面/内面	色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
1569 86276	S-5号土坑 P-5の下部	高杯	口径 26 (匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	褐灰/褐灰 1mm粗砂、繊維少		
1570 86254	S-5号土坑 P-1の下部	高杯	口径 26 (匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂少	小片	
1571 85609	S-5号土坑 P-6	高杯	口径 22 (匁)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	黄橙/黄橙 1~2mm粗砂微		
1572 85604	S-5号土坑	器台	口径 24 (匁)	受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	淡橙/淡橙 殆ど砂なし	1/4	赤彩。円形浮文(五ヶ所)。
1573 85610	S-5号土坑	器台	裾径 17 (匁)	脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~1mm粗砂少	脚部 2/3	透し孔(三方)。
1574 85606	S-5号土坑 P-8	高杯又は器台	裾径 17 (匁)	脚部 ヘラミガキ/ヘラケズリ	灰黄/浅黄 1~2mm粗砂多	1/2	黒斑。
1575 85608	S-5号土坑	高杯又は器台	裾径 19 (匁)	脚部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	橙、浅黄橙/にぶい黄橙、橙 細砂微	脚裾部 1/2	透し孔(四方)。
1576 85611	S-5号土坑 P-1の下部	高杯又は器台	裾径 10 (匁)	脚部 ハケメ、ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂少	脚部 1/2	半截竹管様のもの穿孔。透し孔(三方)。
1577 85607	S-5号土坑	(脚部)	裾径 9 (匁)	脚部 ヘラミガキ/ヘラミガキ、ナデ	橙/橙 0.5~粗砂微	脚部 1/2	透し孔(三方2孔一組)。
1578 86251	S-5号土坑 底	高杯		脚部 ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm砂少	脚柱部 完	透し孔(三方)。
1579 85592	S-5号土坑 P-1	甕	口径 17 (匁) 頸径 13 (匁)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ヘラケズリ	橙/にぶい橙 1~2mm粗砂	口縁部 1/4	煤付着。擬凹線。
1580 85594	S-5号土坑 P-1	甕	口径 17 (匁) 頸径 15 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	灰褐/にぶい褐 1mm粗砂微	口縁部 1/4	黒斑。擬凹線。
1581 85589	S-5号土坑 P-1、上面	甕	口径 14 (匁) 頸径 12 (匁) 体径 16 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙、橙/暗褐、黒褐 0.5~3mm粗砂、礫	口縁~ 体部 1/2	黒斑。
1582 86253	S-5号土坑 P-1	甕	口径 17 (匁) 頸径 14 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	—/褐 1mm細砂少	小片	煤付着。
1583 85593	S-5号土坑 P-1	甕	口径 17 (匁) 頸径 14 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	浅黄、灰褐/浅黄、灰褐 2~3mm礫多	口縁~ 体部 1/4	
1584 86279	S-5号土坑 上面	甕	口径 18.2(匁) 頸径 15.2	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	灰黄/灰黄 1mm砂少		黒斑。
1585 86282	S-5号土坑 上面、P-1	甕	口径 19.8(匁) 頸径 16.6(匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ヘラケズリ	灰黄/灰黄 1mm砂	口頸部 1/4	黒斑。
1586 85595	S-5号土坑 P-1の下部	甕	口径 17.8(匁) 頸径 9.8(匁) 体径 12.6(匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ(上半)、ハケメ(下半)/ハケメ	浅黄/浅黄橙 0.2~2mm粗砂礫少	1/2	
1587 85602	S-5号土坑 P-1	甕	頸径 14 (匁) 体径 19 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ(上半)、ナデ(下半)	にぶい黄褐/にぶい黄褐 2~3mm礫少	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1588 85599	S-5号土坑 P-1の下部	甕	口径 16 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい橙/にぶい橙 2mm礫少	小片	
1589 85598	S-5号土坑 P-1の下部	甕	口径 16 (匁) 頸径 13 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐 1mm粗砂微	口縁部 1/3	煤付着。
1590 85597	S-5号土坑	甕	口径 15 (匁) 頸径 13 (匁) 体径 16 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙/浅黄橙 1~3mm粗砂礫	口縁~ 体部 1/4	煤付着。
1591 86252	S-5号土坑 P-8	甕	口径 17 (匁) 頸径 14 (匁)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙、褐 砂少	口縁部 破片	煤付着。
1592 85600	S-5号土坑	甕	口径 17.1(匁) 頸径 15.0(匁) 体径 17.3(匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ(下半)、ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm礫少		煤付着。
1593 85591	S-5号土坑 P-1	甕	頸径 14 (匁) 底径 5 (匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ 底部 ハケメ/ナデ	淡橙、にぶい橙/淡橙、黒褐、 褐灰 2mm粗砂		煤付着。
1594 85587	S-5号土坑 P-2	甕	口径 18 (匁) 頸径 14 (匁)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 0.2~3mm粗砂礫やや多		煤付着。
1595 85596	S-5号土坑	甕	口径 14.8(匁) 頸径 13.5(匁) 体径 17.6(匁)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ	にぶい橙/にぶい橙 1~2mm粗砂礫少	底部欠	煤付着。内面に黒色の付着物。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1596 86247	S-5号土坑 P-5	甕	口径 17 (測) 頸径 14 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ	灰黄褐/灰黄褐 砂	口縁部 破片	
1597 85586	S-5号土坑 P-1の下部	甕	口径 15 (測) 頸径 13 (測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	灰白/灰白 0.2~3mm粗砂、礫やや多	口縁部 1/4	
1598 86281	S-5号土坑 P-1の下部 P-8	甕	口径 12 (測)	口頸部 体部	ナデ/ハケメ ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂	小片	煤付着。
1599 85601	S-5号土坑 P-5	甕	口径 22 (測) 頸径 19 (測) 体径 24 (測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ?/指ナデ	浅黄橙/にぶい橙 2~3mm礫少	口縁~ 体部 1/3	煤付着。
1600 85585	S-5号土坑	甕	体径 20 (測) 底径 4.1(測)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~4mm粗砂、礫多	1/3	煤付着。肩部に刺突文(ハケ)。
1601 85615	S-5号土坑 P-4	(底部)	底径 2.5(測)	体部 底部	ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/黒褐 0.5~4mm粗砂礫多	1/3	黒斑。
1602 85617	S-5号土坑 上面	(底部)	底径 4.7(測)	体部 底部	ハケメ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) ナデ/ハケメ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂やや多	1/2	底部穿孔。
1603 85616	S-5号土坑 P-1の下部	(底部)	底径 5.1(測)	底部	ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5mm砂微	底部完	黒斑。煤付着。
1604 86004	S-7号土坑	壺	体径 17.5(測)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ナデ ヘラミガキ/ナデ、ハケメ(中位)	灰白/灰白 微砂	1/2	煤付着。
1605 86008	S-8号土坑 P-3	壺	口径 11.4(測) 体径 22.0(測) 器高 26.6(測)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ナデ ハケメ(上半)、ヘラケズリ後ハケメ/ナデ ヘラケズリ後ハケメ/ナデ	淡黄/淡黄 砂多	ほぼ 完形	黒斑。煤付着。
1606 82024	S-8号土坑 P-9	鉢	口径 10.4(測) 体径 10.6(測) 器高 8.2(測)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ナデ ハケメ/ハケメ	灰黄褐/にぶい黄 2mm砂少	ほぼ 完形	黒斑。内面に黒色の付着物。
1607 86012	S-8号土坑 P-10,11,12,13	鉢	口径 10.7(測) 体径 10.6(測) 器高 7.8(測)	口頸部 体部 底部	ハケメ、ナデ/ナデ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	にぶい黄/にぶい黄 1~2mm砂少	完形	煤付着。
1608 82052	S-8号土坑 P-4	高杯		脚部	ヘラミガキ/ナデ?、ハケメ?	灰黄/淡黄 1~3mm粗砂少	小片	
1609 82050	S-8号土坑 P-2	高杯	裾径 13.9(測)	脚部	ヘラミガキ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂礫多	脚部完	黒斑。煤付着。
1610 82045	S-8号土坑 P-6	甕	口径 17.3(測) 体径 21.2(測) 器高 22.9(測)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ、ナデ	黒褐/灰黄 1~3mm粗砂礫多	ほぼ 完形	煤付着。
1611 82046	S-8号土坑 P-10	甕	口径 17 (測) 頸径 13.5(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/指ナデ	浅黄、黄灰/にぶい黄橙 粗砂	口頸部 1/2	擬凹線。煤付着。
1612 82048	S-8号土坑 P-5	甕	口径 18 (測)	口縁部	不明	灰黄/にぶい黄橙 粗砂多	小片	擬凹線。
1613 82056	S-8号土坑 P-6	甕	口径 17.9(測) 頸径 14.2(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	橙/浅黄橙 1~2mmの粗砂多	口頸部 完	擬凹線。煤付着。口縁部内面に指頭圧痕。
1614 86006	S-8号土坑 P-5	甕	口径 16.5(測) 体径 18.7(測) 頸径 14.7(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ(上半)、ヘラケズリ(下半)	明褐灰/明褐灰 2~4mm粗砂少	2/3	煤付着。
1615 82047	S-8号土坑 P-10,13	甕	口径 17 (測)	口縁部	/ヨコナデ	にぶい橙/褐灰 1~2mm粗砂	口縁部 1/4	煤付着。
1616 82053	S-8号土坑 P-1	甕	口径 17.6(測) 頸径 15.6(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ(上半)、ヘラケズリ(下半)	浅黄/浅黄 1~3mm粗砂礫多	口縁~ 体部 1/3	煤付着。
1617 82055	S-8号土坑 P-11	甕	口径 11.6(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ナデ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	口縁~ 体部 1/2	煤付着。
1618 86010	S-8号土坑 P-9,10,11,12, 13	甕	口径 13.4(測) 体径 13.9(測) 器高 15.2(測)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ	灰黄褐/にぶい黄褐 0.5~2mm砂少	ほぼ 完形	黒斑。煤付着。
1619 82054	S-8号土坑 P-8,9	甕	口径 12.2(測)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	灰白/淡黄 1~2mm粗砂	1/4	
1620 82049	S-8号土坑 P-12	甕	口径 12.5(測) 頸径 10.4(測) 体径 12.8(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄/浅黄橙 1~3mmの粗砂多	口頸部 完	煤付着。
1621 85618	S-9号土坑 P-2	高杯又は器台		杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.5~1mm粗砂微		赤彩。
1622 85620	S-10a号土坑 P-4	高杯又は器台	口径 26 (測)	杯部	不明	黄橙/橙 1~2mm粗砂	杯部 1/5	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整 部位 外面/内面	色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
1623 85619	S-10a号土坑 P-4	壺	口径 13 ㎜ 頸径 12 ㎜	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、指ナデ(?)	淡黄/灰白 0.5mm粗砂微	口縁部 のみ	
1624 85627	S-14号土坑 P-5	鉢	口径 19 ㎜	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ	にぶい褐、灰褐/にぶい褐、 灰褐 緻密	小片	
1625 85628	S-14号土坑 P-3	高杯	口径 30 ㎜	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 殆ど砂なし	口縁部 1/6	黒斑。赤彩。擬凹線。
1626 85629	S-14号土坑 P-4	甕	口径 16 ㎜ 頸径 15 ㎜	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ?/ハケメ	にぶい褐/にぶい褐 2mm礫少	口縁部 1/8	煤付着。
1627 82069	S-13号土坑 P-2の下、 P-3	壺	口径 15.8(㉞) 頸径 11.3(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ	淡黄褐/淡灰褐 精緻(砂含まず)	口頸部 完	赤彩(口唇部)。
1628 85621	S-13号土坑 P-5	壺	口径 14.2(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂やや少	口縁部 完	
1629 85623	S-13号土坑 P-6	壺	口径 11 ㎜ 体径 15 ㎜	口縁部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/にぶい黄橙、褐灰 0.2~2mm粗砂やや多	小片	
1630 85624	S-13号土坑 P-4	鉢	口径 20 ㎜ 頸径 15 ㎜	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/褐 1~3mm粗砂多	小片	
1631 85622	S-13号土坑 P-4の下部	高杯		脚部 ヘラミガキ/ヘラケズリ、ナデ	灰白、浅黄橙/灰白、褐灰 0.2~2mm粗砂やや多	脚部	透し孔(四方)。
1632 85626	S-13号土坑 P-2の下部	蓋	紐径 6.4(㉞) 口径 12.3(㉞) 器高 6.2(㉞)	つまみ部 指ナデ/ナデ 体部 指ナデ/ナデ 口縁部 ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい橙/にぶい褐、にぶい 橙 1~2mm粗砂少	ほぼ 完形	
1633 85625	S-13号土坑 P-9	甕	口径 15 ㎜ 頸径 14 ㎜ 体径 15 ㎜	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ	橙/橙、褐 1~3mm粗砂、礫やや多	小片	煤付着。
1634 82040	S-13号土坑 P-2	(底部)	底径 4.4(㉞)	体部 ハケメ/ナデ 底部 ハケメ/ハケメ、ナデ	灰黄褐/灰黄褐 1~2mm砂	体部 下半完	煤付着。
1635 85634	S-15号土坑 底	壺	頸径 9.8(㉞)	頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂、粗砂	口頸部 ほぼ完	黒斑。赤彩で文様。
1636 85632	S-15号土坑 底	壺	口径 14 ㎜	口縁部 ヨコナデ/ヨコナデ	橙/橙 細砂	小片	口縁に刻み目(ハケ)。
1637 82074	S-15号土坑	甕	口径 14.6(㉞) 体径 16.0(㉞) 器高 18.4(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ/ハケメ 体部 ハケメ後ヘラミガキ/ナデ 底部 ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄褐/にぶい黄褐 1~2mm粗砂少	ほぼ 完形	
1638 82042	S-15号土坑 P-8	甕	口径 12 ㎜ 体径 16.1(㉞) 器高 19.1(㉞)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヨコナデ 底部 ハケメ、ナデ/ハケメ	灰黄/黒褐 1~3mm砂礫多	1/2	煤付着。
1639 85639	S-15号土坑 P-13	鉢	口径 11 ㎜ 底径 3.8(㉞) 器高 6.0(㉞)	口縁部 ヨコナデ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ヨコナデ/ハケメ	橙/橙 0.2~1mm粗砂やや多	ほぼ 完形	
1640 85633	S-15号土坑 P-1 S-5号土坑 P-16	器台	受部径25 ㎜	受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ナデ	灰白/灰白 細砂、粗砂	受部~ 体部 1/2	赤彩。
1641 82076	S-15号土坑 P-4	器台	口径 29.6(㉞)	受部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ	淡黄褐/淡黄褐 精緻	小片	擬凹線。赤彩。
1642 85631	S-15号土坑 P-9	高杯又は 器台	裾径 20.8(㉞)	脚柱部 ヘラミガキ/ナデ 裾部 ヘラミガキ/ハケメ、ヨコナデ	灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.2~0.5mm粗砂	脚部 4/5	黒斑。煤付着。透し孔(四方)。
1643 85630	S-15号土坑 P-2,3,4,13,14	高杯又は 器台	裾径 13.7(㉞)	脚部 ヘラミガキ/ナデ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂やや少	裾部完	透し孔(四方)。
1644 85635	S-15号土坑 P-13	甕	口径 14 ㎜ 頸径 12 ㎜	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ナデ 体部 ハケメ/	淡黄/淡黄 1~2mm粗砂	小片	黒斑。肩部に刺突文(ハケ)。
1645 85636	S-15号土坑 底	甕	口径 18 ㎜	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/板ナデ	黄橙/浅黄 細砂微	小片	黒斑。
1646 85640	S-15号土坑 P-6	甕	口径 19 ㎜ 頸径 16 ㎜	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい赤褐/にぶい赤褐 1~2.5mm粗砂やや多	口頸部 1/3	煤付着。
1647 85637	S-15号土坑 P-15	甕	口径 19 ㎜ 頸径 15 ㎜	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	黄橙/橙 1~4mm粗砂、礫	小片	煤付着。
1648 85638	S-15号土坑 P-5	(体・ 底部)	体径 19 ㎜ 底径 2.8(㉞)	体部 ハケメ、ナデ/ナデ、ハケメ(下半) 底部 ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 3mm礫微	1/3	黒斑。
1649 86007	S-15号土坑 P-12	甕	口径 17.9(㉞) 体径 22.2(㉞) 器高 27.8(㉞)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ後ナデ/ハケメ	灰白/灰白 1~2mm砂少	完形	煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1650 85650	S-17号土坑 P-8	壺	口径 20.4(㉟) 頸径 12.4(㉟)	口頸部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~1mm粗砂少	口頸部 4/5	頸部に刻み目凸帯(ハケ)。
1651 86011	S-17号土坑 P-5,6, P-15下 S.B.	壺	口径 13.5(㉟) 頸径 9.1(㉟) 体径 22.9(㉟)	口頸部 体部	ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケメ	にぶい橙/浅黄橙、褐灰 0.5~2mm粗砂少	口縁~ 体部 2/3	黒斑。
1652 82066	S-17号土坑 P-5,13, P-18下	壺	口径 12.6(㉟) 体径 20(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ、ハケメ ハケメ後ヘラミガキ/ナデ	灰白/灰白 1mm粗砂少	1/4	煤付着。黒斑。頸部に記号文(ヘラ)。
1653 85654	S-23G. 東側	鉢	口径 19(㉟) 器高 10.7(㉟)	口頸部 体部	不明 ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白/灰白、にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	口縁 3/4	
1654 86230	S-23G. 東側	鉢	口径 18.0(㉟) 器高 9.6(㉟)	口頸部 体部 底部	ヘラミガキ/ヨコナデ ヘラミガキ/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ	浅黄/浅黄 1mm粗砂少	ほぼ 完形	煤付着。
1655 82034	S-17号土坑 S.B.第2層	壺	口径 14.8(㉟) 体径 18.5(㉟) 器高 27.2(㉟)	口頸部 体部 底部	ハケメ、ヨコナデ/ハケメ後ナデ ハケメ/ヘラケズリ ハケメ/ヘラケズリ	灰白/浅黄、黒褐 1mm粗砂微	ほぼ 完形	煤付着。
1656 85647	S-17号土坑 P-5 S.B.第2層	壺	口径 16.1(㉟) 頸径 12.9(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2~3mm粗砂少	口縁部 ~肩部	煤付着。
1657 85651	S-17号土坑 P-6,12,18	高杯	口径 26(㉟)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰黄/灰黄 1~2mm粗砂少		
1658 85652	S-17号土坑 P-6,12,18	高杯		脚柱部 脚部	/ヨコナデ ヘラミガキ/	灰黄/灰黄 1~2mm粗砂微		透し孔(四方)。
1659 85648	S-17号土坑 P-1	甕	口径 20(㉟) 頸径 16(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	灰白、浅黄橙/灰白 0.2~3mm粗砂、礫やや多	口縁部 1/3	煤付着。口縁部刻み目。肩部に刺突文。
1660 85649	S-17号土坑 P-15,18,7	甕	口径 16(㉟) 頸径 14(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ /ヘラケズリ	灰白/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	口縁部 1/2	煤付着。
1661 86009	S-25号土坑 P-2	壺	口径 12.5(㉟) 体径 12.1(㉟) 器高 7.8(㉟)	口頸部 体部 底部	ヘラミガキ/ヨコナデ ヘラミガキ/ナデ ヘラミガキ/ハケメ後ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂少	ほぼ 完形	黒斑。赤彩。頸部に穿孔孔有り。
1662 85644	S-27c号土坑 P-4	壺	口径 12(㉟)	口頸部	ハケメ/ハケメ?	淡黄橙/淡黄橙、淡橙 0.2~2mm粗砂少	口縁部 1/4	黒斑。
1663 86231	S-27号土坑 P-2	鉢	口径 25.2(㉟) 底径 3.0(㉟) 器高 13.7(㉟)	口頸部 体・底部	ヨコナデ/ ハケメ/	浅黄橙、暗赤灰/浅黄橙、暗赤灰 0.5~1.5mm粗砂多	完形	擬凹線。?
1664 85642	S-27a号土坑 P-2 S-27c号土坑 P-5	高杯	裾径 15(㉟)	脚部	ヘラミガキ/ナデ	灰白/灰白 0.2~2mm粗砂やや多	脚部 ほぼ完	黒斑。透し孔(四方)。
1665 85641	S-27a号土坑 P-3	甕	口径 15(㉟) 頸径 12(㉟) 体径 14(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	灰白/灰白 0.2~3mm粗砂礫やや多	小片	煤付着。
1666 85643	S-27c号土坑 P-2,4	(底部)	底径 5(㉟)	体部 底部	ハケメ/ハケメ ナデ/ハケメ、ナデ	灰白、にぶい黄橙/灰白、にぶい黄橙 0.5~2mm粗砂やや少	底部 1/2	煤付着。
1667 86240	S-31号土坑 P-10	壺?	口径 8.8(㉟)	口縁・体部	ヘラミガキ/ヨコナデ	浅黄橙/浅黄橙 微砂多	小片	
1668 86235	S-31号土坑 P-6	壺	口径 10(㉟) 頸径 10(㉟)	口頸部	ハケメ/ハケメ、ナデ	灰黄/灰黄、黒褐 微砂少	小片	黒斑。煤付着。
1669 82078	S-31a~c号土坑 S-3c号土坑 P-6,8,11	鉢	口径 15.0(㉟) 底径 4.8(㉟) 器高 11.7(㉟)	口頸部 体部 底部	ハケメ/ハケメ ハケメ/ハケメ /ナデ	淡(橙)褐色/淡(橙)褐色 砂微	1/2	
1670 86237	S-31号土坑 P-5	蓋	つまみ径 3.6(㉟)	つまみ部	指ナデ/ナデ	浅黄/浅黄 2~3mm粗砂		
1671 86242	S-31号土坑 P-12	高杯又は器台	口径 21(㉟)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	浅黄橙/褐灰 微砂少	小片	黒斑。
1672 86239	S-31c号土坑	高杯又は器台	裾径 15(㉟)	脚部	ハケメ、ヨコナデ/ナデ	にぶい黄/灰黄 殆ど砂なし		黒斑。
1673 86238	S-31a号土坑 P-1, S.B. S-31c号土坑 S-31号土坑 P-10	甕	口径 18(㉟) 頸径 16(㉟) 体径 19(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ後ナデ	黒褐/褐、暗褐 細砂やや多	1/4	煤付着。擬凹線。
1674 82059	S-31号土坑 P-2	甕	口径 15.5(㉟) 頸径 13.5(㉟) 体径 14.5(㉟)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ後ナデ/ハケメ	灰黄 1~2mm粗砂微	口頸部 ほぼ完 体部1/3	煤付着。
1675 82071	S-31号土坑 P-11	甕	口径 15(㉟) 体径 16.5(㉟) 器高 18.0(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ ハケメ、ナデ/ナデ	淡褐/淡褐 砂微	1/4	煤付着。内面に炭化物。
1676 82060	S-31号土坑 P-5,8 S-31b号土坑 S.B.第2層	甕	口径 17(㉟) 体径 18.5(㉟) 器高 23.1(㉟)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ ハケメ、ナデ/ハケメ	灰褐/にぶい赤褐 1~4mm粗砂礫多	口頸部 1/2	煤付着。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1677 86232	S-31号土坑 P-5	甕	口径 13 (調) 体径 12 (調) 頸径 10.8(調)	口頸部 ヨコナデ/ナデ 体部 ハケメ(上半)、ナデ(下半)/ナデ		灰白/浅黄橙 1~2mm砂少	1/4	煤付着。
1678 86013	S-31号土坑、P-5 S-31a号土坑 S.B.第1層 S-31b号土坑	甕	口径 15 (調) 体径 14.9(調) 器高 16.8(調)	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ナデ		浅黄橙/浅黄橙 2~5mm粗砂、礫多	1/2	黒斑。
1679 86241	S-31a号土坑 S-31b号土坑 P-9	甕	口径 13.3(調) 体径 14.4(調) 頸径 11.6(調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ヘラケズリ(下半)		黄灰/黄灰 1~2mm砂	1/2	煤付着。
1680 86233	S-31号土坑 P-11 S-31a,b号土坑	甕	口径 15.4(調) 頸径 12.5(調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		黄灰/黄灰 1~2mm砂多	1/4	煤付着。
1681 86234	S-31号土坑 P-3	甕	口径 16 (調)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ		浅黄/淡黄、暗灰黄 砂少	小片	煤付着。
1682 86236	S-31号土坑 P-5 S-31a号土坑	甕	口径 15.8(調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 /ハケメ		浅黄/浅黄 2mm砂少	口縁部 1/4	煤付着。
1683 86244	S-31a号土坑 P-12	(底部)	底径 5.4(調)	底部 ハケメ/ハケメ		浅黄/浅黄 1mm砂	底部 1/3	煤付着。底面にヘラ記号。
1684 86243	S-31a号土坑 P-1, S.B.	(底部)	底径 4.9(調)	底部 ハケメ/ハケメ		灰黄褐/褐灰 0.2~1mm粗砂やや多	底部完	黒斑。煤付着。
1685 86245	S-31号土坑 P-12	(底部)	底径 5.3(調)	体部 ハケメ/ヘラケズリ 底部 ハケメ、ナデ/ヘラケズリ		灰黄/灰黄、黒褐 砂多	底部完	黒斑。煤付着。
1686 85645	S-32号土坑	甕	口径 14 (調) 頸径 12 (調) 体径 16 (調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		灰白、浅黄橙/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂多	口縁部 1/4	煤付着。
1687 82061	仮101号土坑 上面 P-2	壺	口径 12.8(調) 頸径 9.8(調)	口頸部 ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ後ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		浅黄橙/	口縁~ 体部 2/3	赤彩。
1688 85533	S-1号井戸 P-2	器台		受部 ヘラミガキ/ハケメ 脚柱部 ヘラミガキ/ナデ?		灰白、淡橙、橙/淡橙 0.2~2mm粗砂やや多		赤彩。透し孔(四方)。
1689 85534	S-1号井戸 P-2	甕	口径 18 (調) 頸径 16 (調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ハケメ		灰白/灰白 0.2~2mm粗砂やや多	小片	
1690 85532	S-1号井戸 P-1	鉢	口径 21.6(調) 頸径 19.0(調)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい橙/にぶい橙 0.2~4mm粗砂礫やや多	口縁部 2/3	赤彩。煤付着?。
1691 85535	S-1号溝 P-3	甕	口径 13 (調) 頸径 12 (調) 体径 14 (調)	口頸部 ナデ/ナデ 体部 ハケメ後ナデ/ナデ		にぶい橙/にぶい橙 1~1.5mm粗砂少	口縁~ 体部 1/3	煤付着。
1692 82064	S-1号溝? P-6	甕	口径 18 (調) 頸径 15.5(調) 体径 22.5(調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(下半)		にぶい黄褐/浅黄 1~2mm粗砂多	底部欠	黒斑。煤付着。
1693 82001	S-26G. S-265~270 P-24包含層	高杯	口径 35 (調) 裾径 19.4(調)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ヘラミガキ/ 裾部 ヘラミガキ/ハケメ		橙褐/橙褐 細砂少	杯部 下半欠	透し孔(三方)。
1694 86270	S-27G. 南壁 S.B. 包含層	甕	口径 15.5(調) 頸径 14 (調)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ		にぶい黄褐/にぶい黄褐 砂多		煤付着。擬凹線。
1695 86250	S-29~33G. 包含層	甕	口径 17.5(調) 頸径 15.3(調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ後ナデ		灰黄褐/灰黄褐 砂		
1696 85653	S-30G. P-3~5, 7 包含層	甕	口径 19.2(調) 頸径 15.8(調) 体径 18.3(調)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ケズリ		灰黄褐/にぶい黄橙 0.5~3mm粗砂礫多	口縁~ 体部 2/3	煤付着。
1697 82062	S-26G. S-266~268 包含層	(体・ 底部)	体径 16 (調) 底径 4 (調)	体部 ハケメ/ナデ 底部 ナデ/ナデ		黒褐/オリーブ褐 1~2mm砂礫少	体部 下半 1/3	煤付着。体部上半にヘラ沈線。 体部中央に粘土帯。
1698 86275	S-3a号溝	壺	口径 13 (調) 頸径 10 (調)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ(上半)、ナデ(下半)		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm砂少	小片	
1699 82072	S-3b号溝 P-20	壺	体径 5.0(調)	頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体・底部 ヘラミガキ/ナデ		淡(灰)褐/淡(灰)褐 精緻	口縁欠	赤彩。
1700 82079	S-3b号溝 P-9	蓋	つまみ部 6.0(調) 口径 15.2(調) 器高 5.8(調)	つまみ部 ナデ/ナデ 体部 ハケメ/ハケメ 口縁部 ハケメ/ハケメ		淡(黄)褐/淡(黄)褐	完形	炭化物付着。赤彩?。煤付着。
1701 85317	S-3b号溝 P-11,12	高杯	口径 20.5(調) 裾径 15.0(調) 器高 15.2(調)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ナデ		灰黄褐/灰黄褐 1~2mm粗砂少	ほぼ 完形	煤付着。透し孔(四方)。
1702 82002	S-3b号溝 S-26G. P-2, 3, 5	高杯	口径 34 (調) 底径 19 (調) 器高 28 (調)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ヘラミガキ/ 脚基部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄橙/にぶい橙 2mm砂少	1/3	赤彩。透し孔(四方)。擬凹線。
1703 86269	S-3b号溝 P-19	高杯		杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 微砂少		透し孔(三方)。

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形調整		色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1704 86267	S-3 b号溝 南S.B.	高杯		脚部	ヘラミガキ/ナデ、ハケメ	灰黄/灰黄 砂少		煤付着。透し孔(三方)。
1705 86271	S-3 b号溝 南S.B.	器台		脚部	ハケメ後ヘラミガキ/ヘラケズリ、ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm砂	脚部	透し孔(四方)。
1706 86273	S-3 b号溝 P-11	高杯又は器台		脚部	ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 微砂少	裾部 1/5	透し孔有り。
1707 86272	S-3 b号溝 P-5	高杯	裾径 20 (測)	裾部	ナデ/ナデ	浅黄/浅黄 砂	小片	脚部に刺突文(半截竹管)。
1708 85536	S-3 b号溝 P-7	甕	口径 16 (測) 頸径 14 (測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ヘラケズリ	灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや多	口縁部 1/3	癭凹線。
1709 86274	S-3 a号溝	甕	口径 15 (測) 頸径 13 (測)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ	暗灰黄/暗灰黄 1mm砂多	口縁部 1/4	
1710 85537	S-3 b号溝 南S.B.	甕	口径 15.1(測) 頸径 12 (測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ナデ/ナデ	にぶい橙/にぶい橙 0.2~2mm粗砂やや多	口縁部 1/2	煤付着。口縁刻み目(ハケ)。
1711 85538	S-3 b号溝 P-17	甕	口径 14.2(測) 頸径 11.3(測) 体径 13.7(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	灰赤、浅黄橙/淡黄、褐灰、 黒褐 1mm粗砂微		煤付着。
1712 86268	S-3 b号溝 南S.B.	甕	口径 18 (測) 頸径 15 (測)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	浅黄/浅黄 砂少	小片	煤付着。
1713 86265	S-4 号溝 P-11	壺	口径 17.4(測)	口頸部	ハケメ/ハケメ	灰黄/灰黄 0.5~1mm砂少	小片	
1714 85544	S-4 b号溝 P-17	壺	口径 14.2(測) 頸径 9.4(測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ、 ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂少	口頸部 4/5	
1715 86263	S-4 b号溝 上面 P-29	高杯		脚部	ヘラミガキ/ハケメ	にぶい橙/にぶい橙 微砂やや多	脚部	赤彩。
1716 85540	S-4 a号溝 P-6	鉢	口径 8.8(測) 底径 3.5(測) 器高 5.7(測)	口・体部 底部	ハケメ/ハケメ、ナデ ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙	ほぼ 完形	
1717 85543	S-4 b号溝 P-34,36	鉢	口径 7.9(測) 体径 7.7(測) 器高 8.9(測)	口頸部 体部 底部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ナデ ハケメ/ナデ	浅黄橙、淡赤橙/浅黄橙 1~1.5mm粗砂やや多	ほぼ 完形	黒斑。煤付着。
1718 86264	S-4 b号溝 P-1	高杯		杯部 脚部	/ヘラミガキ ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~1mm粗砂少		
1719 85548	S-4 b号溝 P-2, 5	高杯又は器台	口径 28 (測)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	灰白、浅黄橙/灰白、浅黄橙 0.2~2mm粗砂やや少		
1720 86266	S-4 b号溝 P-19	高杯又は器台	口径 23 (測)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 砂少		黒斑。
1721 85550	S-4 b号溝 P-30	高杯	口径 16 (測)	杯部	ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 殆ど砂混入なし	小片	
1722 85549	S-4 b号溝 P-1	高杯又は器台	裾径 17.6(測)	脚部	ヘラミガキ/ナデ	にぶい橙/にぶい橙 0.5~粗砂微	脚部完	赤彩。煤付着。透し孔(三方)。
1723 85547	S-4 b号溝 P-35	高杯		脚部	ヘラミガキ/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~砂微	裾部 一部	煤付着。透し孔有り。
1724 85546	S-4 b号溝 P-9	器台		脚部	ヘラミガキ/ヘラケズリ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~1.5mm砂		透し孔(三方)。
1725 86261	S-4 b号溝 P-21	高杯又は器台	裾径 15 (測)	脚部	ヘラミガキ?/ヘラケズリ(上半)	浅黄橙/浅黄橙 緻密	脚部 1/2	黒斑。透し孔有り。
1726 86259	S-4 b号溝 P-12,17下,28	高杯又は器台	裾径 17 (測)	脚部	ヘラミガキ/ナデ?	にぶい黄橙/灰黄褐 細砂少	脚部 1/3	癭凹線。
1727 85541	S-4 b号溝 P-30	甕	口径 15 (測) 頸径 12 (測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ?/	にぶい橙/にぶい黄橙 1mm粗砂微	口縁~ 体部 1/5	煤付着。
1728 85542	S-4 b号溝 P-17,27	甕	口径 19.9(測) 頸径 15.8(測)	口頸部	ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm礫少	口縁部 完	
1729 86256	S-4 b号溝 P-16	甕	口径 19 (測) 頸径 15.5(測)	口頸部 体部	ヨコナデ/ヨコナデ ハケメ/ハケメ	灰黄褐/灰黄褐 2mm粗砂多、繊維多4mm礫少	口縁部 1/4	肩部に刺突文(ハケ)。
1730 86258	S-4 号溝 P-31	甕	口径 17 (測)	口頸部	ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少		

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成形・調整 部位 外面/内面	色調 外面/内面 胎土	遺存度	備考 文様、記号、その他特記事項
1731 86262	S-4号溝 P-17の下	甕	口径 19 (㊦) 頸径 12 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ ハケメ/ナデ	灰黄/灰黄 1~2mm粗砂		黒斑。煤付着。口縁部に刺突文(ハケ)。
1732 86257	S-4b号溝 P-4	甕	口径 15 (㊦) 頸径 12 (㊦)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ナデ	褐灰/褐灰 0.2~2mm粗砂、繊維やや多	口縁部 1/4	
1733 85545	S-4b号溝 P-35	甕	口径 18 (㊦) 頸径 12 (㊦)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ナデ 体部 ヨコナデ、ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/浅黄橙 0.5~1mm粗砂少	小片	
1734 85560	S-4a号溝 上面・覆土	甕	口径 17 (㊦) 頸径 13 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂微	1/5	黒斑。
1735 85539	S-4a号溝 上面	甕	口径 20 (㊦) 頸径 16 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ後ナデ/ハケメ	灰黄褐/褐灰 1~2mm礫少	小片	煤付着。
1736 82017	S-5号溝 P-34 (S-21G.付近)	壺	口径 20 (㊦) 頸径 13 (㊦)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ハケメ/ナデ	にぶい黄橙/暗灰黄 0.5~1mm粗砂やや多	1/6	擬凹線。
1737 82035	S-5号溝 P-15	壺	口径 15 (㊦) 頸径 10.5(㊦) 体径 20 (㊦)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ後ヘラミガキ/ハケメ、 ナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ	灰黄/にぶい黄橙 細砂微	1/2	黒斑。
1738 82036	S-5号溝 上面	壺	口径 12.8(㊦) 体径 20.5(㊦)	口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ 底部 ハケメ、ナデ/ハケメ	浅黄/にぶい黄橙 1~2mm粗砂少	2/3	煤付着。
1739 82019	S-5号溝 P-3, 5, 7, 11	壺	口径 10.1(㊦) 体径 20.1(㊦)	口頸部 ヨコナデ、ハケメ/ヨコナデ、ハケメ 体部 ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケメ(下半)	にぶい橙/にぶい橙、褐灰色 1mm粗砂やや少、礫少	1/2	黒斑。煤付着。
1740 82030	S-5号溝 P-5	壺	口径 13.5(㊦)	口縁部 ヨコナデ、ヘラミガキ/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.2~2mm粗砂やや少	小片	口縁に記号文。
1741 82038	S-5号溝 P-44	壺	口径 14.5(㊦) 体径 17 (㊦)	口頸部 ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ 体部 ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ	灰白/灰黄 細砂微	1/3	煤付着。
1742 82068	S-5号溝 P-9, 24	壺	口径 8.5(㊦) 体径 14.2(㊦) 器高 24.1(㊦)	口縁部 ヘラミガキ/ヘラケズリ、ナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 ヘラミガキ/ハケメ	淡(黄)褐/淡(黄)褐 1mm砂微	完形	赤彩。頸部に凸帯。
1743 82018	S-5号溝 P-3~5, 11	壺	口径 8 (㊦) 体径 16.4(㊦)	口縁部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ハケメ、ヘラミガキ?	灰黄褐/灰黄褐、褐灰 0.5~2mm粗砂やや多	脚部欠	赤彩。擬凹線。体部中央に突帯、浮文あり。
1744 82021	S-5号溝 P-18, 41	鉢	口径 21 (㊦) 底径 3.0(㊦) 器高 9.9(㊦)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 底部 /ハケメ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 殆ど砂混入なし	1/6	
1745 82020	S-5号溝 P-46	鉢	口径 20.0(㊦) 底径 3.4(㊦) 器高 8.4(㊦)	口頸部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 体部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 底部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~1.5mm粗砂微	完形	
1746 82022	S-5号溝 P-27	有孔鉢	口径 16.5(㊦) 底径 2.7(㊦) 器高 11.2(㊦)	口縁部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ/ヘラケズリ	赤褐/赤褐 1~2mm粗砂少	完形	黒斑。
1747 82023	S-5号溝 東溝 P-18	有孔鉢	口径 18.6(㊦) 底径 4.1(㊦) 器高 12.0(㊦)	口縁部 ハケメ?/ハケメ 体部 ハケメ/ハケメ 底部 ハケメ?/ハケメ	にぶい黄橙/にぶい橙 0.5~2mm粗砂多、3mm礫少	完形	黒斑。
1748 82003	S-5号溝 P-7, 11	高杯又は器台	口径 31 (㊦)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 0.5~1mm粗砂やや多	1/3	
1749 82039	S-5号溝 P-2, 12, 28	高杯	口径 28.9(㊦)	杯部 ヨコナデ、ハケメ後ヘラミガキ(上半)、ハケメ後ナデ(下半)/ヘラミガキ	灰白/灰白 細砂微	杯部 完形	赤彩。黒斑。
1750 82008	S-5号溝 P-8	器台	受部径20.9(㊦)	受部 ヨコナデ(上半)、ハケメ(下半)/ヨコナデ(上半)、ハケメ(下半) 脚部 ハケメ/ハケメ	浅黄橙/浅黄橙 0.5~2mm粗砂やや多、4mm礫少	脚部欠	赤彩?。
1751 82007	S-5号溝 P-38, 39, 41	器台	受部径23.6(㊦)	受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ/ヘラケズリ	明褐灰/にぶい橙 1mm粗砂微	2/3	黒斑。
1752 82006	S-5号溝 P-5, 6, 11	器台	受部径24.6(㊦) 裾径 18.7(㊦) 器高 19.0(㊦)	受部 ハケメ後ヘラミガキ/ヘラミガキ 脚柱部 ヘラミガキ/ナデ 裾部 ヘラミガキ/ナデ、ハケメ 脚部 ヘラミガキ/	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~3mm粗砂礫少	ほぼ 完形	口縁に3個1組の円形浮文および、竹管刺突文。透し孔(四方)。
1753 82033	S-5号溝 P-40, 42	高杯又は器台	口径 17 (㊦) 頸径 14 (㊦) 体径 20 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	にぶい黄橙、褐灰/にぶい黄橙 0.5~1.5mm粗砂多	脚柱部 完形	透し孔(四方)。
1754 82004	S-5号溝 P-26	高杯	口径 11 (㊦)	杯部 /ヘラミガキ 脚部 不明	にぶい橙/赤橙 1~2mm粗砂多		透し孔(三方)。
1755 82014	S-5号溝 P-29	甕	口径 13.9(㊦) 頸径 12 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	にぶい灰黄褐/にぶい灰黄褐 1mm粗砂少	1/2	煤付着。体部上半に刺突文(ハケ)。擬凹線。
1756 82009	S-5号溝 P-8下部、P-15	甕	口径 17 (㊦) 頸径 14 (㊦) 体径 20 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	明褐灰/にぶい黄橙 1~2mm粗砂多	1/2	煤付着。体部上半に刺突文(ハケ)。擬凹線?。
1757 82015	S-5号溝 P-1	甕	口径 15 (㊦) 頸径 12 (㊦)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ	淡黄/にぶい黄橙 1mm粗砂微	1/8	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)		成 形 ・ 調 整		色 調 外面/内面 胎 土	遺存度	備 考 文様、記号、その他特記事項
			部位	部位	外面/内面	外面/内面			
1758 82012	S-5号溝 P-17	甕	口径 14.3(㉟) 体径 16.6(㉟) 器高 20.8(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ(上半)後ナデ(下半) 底部 ハケメ/ナデ		にぶい橙/にぶい橙 1~2mm粗砂少	完形	煤付着。黒斑。	
1759 82016	S-5号溝 P-27	甕	口径 20 (㉟) 頸径 17 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		にぶい褐/にぶい黄褐 1mm粗砂少	小片	煤付着。	
1760 82010	S-5号溝 P-39, 40, 46	甕	口径 21 (㉟) 頸径 17 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ (上半)、ヘラケズリ (下半)		にぶい橙/にぶい橙 0.5~2mm粗砂やや多、4mm礫微	口縁~ 体部 2/3	煤付着。	
1761 82013	S-5号溝 P-37, 43	甕	口径 18 (㉟) 頸径 15 (㉟) 体径 22 (㉟)	口頸部 ハケメ後ヨコナデ/ハケメ後ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~1.5mm粗砂少	口縁~ 体部 1/4	煤付着。注口部分あり。	
1762 82011	S-5号溝 P-5	甕	口径 15 (㉟)	口頸部 ハケメ後ヨコナデ/ハケメ、ヨコナデ		灰白/灰白 0.2~2mm粗砂			
1763 82029	S-5号溝 P-31 S-21G.	(体・ 底部)	体径 19.4(㉟) 底径 4.2(㉟)	体部 ハケメ/指ナデ 底部 ハケメ、ナデ/ハケメ、ナデ		茶褐/褐 1~2mm砂やや多	1/2	煤付着。	
1764 82005	S-5号溝 P-36	(脚部)	裾径 10 (㉟)	脚部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		浅黄橙/浅黄橙 0.5~3mm粗砂少			
1765 85554	S-10号溝 P-1, P-2	壺	口径 11.8(㉟) 頸径 9.6(㉟)	口頸部 ナデ、ハケメ/ナデ 体部 ハケメ/ナデ		にぶい黄橙/灰白 0.2~1mm粗砂やや少	1/2	肩部に記号文。煤付着?。	
1766 85555	S-10号溝 P-5	高杯		脚柱部 ヘラミガキ/ハケメ、ナデ		浅黄/黄褐 0.2mm細砂微	脚部完	赤彩。煤付着。透し孔(二方三方)。	
1767 85557	S-10号溝 P-5	高杯又 は器台	口径 29 (㉟)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい黄橙/浅黄 0.5~2mm粗砂	杯部 1/4		
1768 85558	S-10号溝 上面	高杯又 は器台	口径 20 (㉟)	杯部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm砂少	1/4	黒斑。赤彩。	
1769 85556	S-10号溝 P-5	器台		受部 ヘラミガキ/ヘラミガキ		1~4mm粗砂、礫	受部 1/4		
1770 85551	S-10号溝 P-1	甕	口径 11 (㉟) 頸径 9 (㉟) 体径 10 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ナデ/ナデ		灰白、褐灰/にぶい黄橙 0.2~6mm粗砂、礫やや多	口縁部 1/4	煤付着。	
1771 85552	S-10号溝 P-6	甕	口径 18 (㉟) 頸径 16 (㉟) 体径 17 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ヘラケズリ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~2mm礫少	1/2		
1772 85553	S-10号溝 P-1	甕	口径 16 (㉟) 頸径 14 (㉟) 体径 17.1(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ナデ (上半)、ヘラケズリ (下半)		2mm礫少	1/2	煤付着。	
1773 85559	S-11号溝 P-1	甕	口径 16 (㉟) 頸径 14 (㉟) 体径 19 (㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ、指ナデ (中位)		にぶい黄橙/にぶい黄橙、橙 褐 1mm粗砂	1/2	煤付着。	
1774 86001	S調査区 包含層	壺	頸径 8 (㉟)	体部 ナデ?/ナデ?		橙/にぶい橙 緻密	小片	黒斑。煤付着。直線文、綾杉文、波状文(櫛)。	
1775 82007	S-23, 24G. P-14 包含層	壺	口径 6.2(㉟)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 /ナデ		淡黄褐色/灰褐、暗褐	口縁~ 体部上 半1/2	頸部に刺突文(ヘラ)。頸部に2個1対の孔。	
1776 86364	S調査区	(脚部)	裾径 9.2(㉟)	脚部 ハケメ/ヘラケズリ、指ナデ		にぶい黄橙/にぶい黄橙 礫多	脚部完	煤付着。	

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整		色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ 他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)	部位	外面/内面			
1777 83347	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯蓋	口径 12.0 (復)		天井部 回転ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	紫灰/灰白 緻密・良	1/6		
1778 83349	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯蓋	口径 16 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 2mm礫数個・良	1/10		
1779 83348	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯蓋	口径 18 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 緻密・やや不良	1/8		
1780 83337	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 12 (推) 底径 8 (推)	器高 3 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂・良	1/4 以下		
1781 83339	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 12 (推) 底径 7 (推)	器高 3 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 緻密・良	1/4 以下		
1782 83345	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 12 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	黄灰黒/黒褐 2mm礫2個、粗砂・良	1/7		

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整 部位 外面/内面	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1783 83333	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 13 (推) 底径 8 (推)	器高 3 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白、灰/灰白 3mm礫数個・良	1/4 以下	
1784 83330	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 13.0 (復) 底径 8.0 (復)	器高 2.9 (復)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り/回転ナデ	灰白、灰/灰 2mm礫数個・良	1/3	
1785 83331	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 12.7 (復) 底径 7.0 (復)	器高 3.2 (復)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白、灰/灰白 2mm礫数個・良	1/4	
1786 83344	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 14 (推) 器高 3 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫1個・良	1/8	
1787 83338	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 13 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ	暗オリーブ灰/オリーブ灰 3mm礫1個・良	1/4 以下	外面煤付着。 口縁部
1788 83335	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 13.1 (復)		体部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫1個、粗砂・不良	1/4	口縁部
1789 83343	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 14 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ	オリーブ灰/オリーブ灰 2mm礫数個、粗砂・良	1/6	口縁部
1790 83334	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	底径 7 (推)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 緻密・良	1/4 以下	
1791 83340	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	底径 7 (推)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 緻密・良	1/8	底部
1792 83350	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯			体部 回転ナデ/回転ナデ	灰白、暗灰/褐灰、暗灰 細砂・不良	小片	内側面「難」。 墨書。
1793 83336	T-1号井戸 井戸底	須恵器 有台杯	口径 11.0 (復) 底径 7.0 (復)	器高 4.0 (復) 高台高 0.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 /回転ナデ	灰/灰 緻密・良	1/4	
1794 83332	T-1号井戸 井戸底	須恵器 有台杯	底径 6.4 (復) 高台高 0.3 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白、灰/灰 3mm礫1個、粗砂・良	1/4	底部
1795 83341	T-1号井戸 井戸底	須恵器 有台杯	底径 8 (推)	高台高 0.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 /回転ナデ	灰/灰、断面灰白 緻密・良	1/6	
1796 83342	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯			体部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂・良		口縁部
1797 83346	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	口径 16 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 緻密・良	1/8	口縁部
1798 83351	T-1号井戸 井戸底	須恵器 瓶	口径 12 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	赤灰/暗赤灰 1mm粗砂・良	1/8	口縁部
1799 83354	T-1号井戸 井戸底	土師器 碗	口径 14 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	赤褐/灰黄褐 緻密・良	1/8	外面赤彩。 口縁部
1800 83357	T-1号井戸 井戸底	須恵器 杯	器高 1.6 (復) 底径 7.3 (復)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ状具ナデ、ヘラ切り/回転ナデ	浅黄橙/浅黄橙 3mm礫微、粗砂・不良	1/3	底部
1801 83359	T-1号井戸 井戸底	土師器 碗	底径 5 (◎)		底部 糸切り/回転ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄褐 緻密・良	底部	
1802 83356	T-1号井戸 井戸底	土師器 碗	底径 8 (推)		底部 糸切り/回転ナデ	黒褐/にぶい黄橙 粗砂、細砂・良	1/4	底部
1803 83360	T-1号井戸 井戸底	土師器 碗	器高 2 (復) 底径 8 (復)		底部 糸切り/回転ナデ	にぶい橙/にぶい褐 粗砂・良	1/4	底部
1804 83353	T-1号井戸 井戸底	土師器 有台碗	底径 8.4 (復) 高台高 1.3 (◎)		底部 /回転ナデ	淡赤橙/褐灰 粗砂、細砂、緻密・良	1/2	底部
1805 83361	T-1号井戸 井戸底	内黒土器 碗	口径 14 (推)		体部 回転ナデ/ナデ・ミガキ	にぶい黄橙、黒/黒 粗砂・良	1/5	口縁部
1806 83358	T-1号井戸 井戸底	内黒土器 碗	口径 14 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ 体部 回転ナデ/ミガキ	にぶい黄橙/黒 粗砂・良	1/8	口縁部
1807 83355	T-1号井戸 井戸底	内黒土器 碗	底径 7 (復)		底部 糸切り/ミガキ	にぶい黄橙/黒 粗砂・良	1/3	底部
1808 83352	T-1号井戸 井戸底	製塩土器				にぶい赤褐/褐灰 2mm礫微、粗砂・良	小片	
1809 83365	T-1号井戸 堀り方	須恵器 杯蓋	口径 17 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂・良		口縁部

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1810 83366	T-1号井戸 堀り方	須恵器 杯蓋	口径 20 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂・良	口縁部	
1811 83364	T-1号井戸 堀り方	須恵器 壺又は瓶	底径 8.4 (復)		体部 ケズリ/回転ナデ 底部 ナデ/回転ナデ	灰/灰 1mm以下粗砂、細砂多・良	底部	
1812 83363	T-1号井戸 堀り方	須恵器 甕	口径 33 (推)		口頸部 回転ナデ/回転ナデ	暗緑灰/灰、暗緑灰 粗砂・良	1/8 口縁部	口縁内面と口 唇部に波状文。
1813 83369	T-1号井戸 堀り方	土師器 有台碗	口径 17 (推) 底径 10 (復)	高台高 1.0 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 /回転ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm以下粗砂多・良	破片	
1814 83367	T-1号井戸 堀り方	土師器 口縁				褐灰/にぶい黄橙 1mm以下粗砂、細砂・良	口縁部	外面煤付着。
1815 83368	T-1号井戸 堀り方	土師器 甕口縁	口径 16 (推) 頸径 14 (推)		口頸部 回転ナデ/回転ナデ	灰黄褐/にぶい黄橙 細砂、雲母粒・良	口縁部	内外面煤付着。
1816 83362	T-1号土坑 炭下層	須恵器 杯蓋	口径 13 (推)		天井部 ナデ、ヘラ切り/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 1mm粗砂少・良	1/5	転用甕。
1817 83294	T-2号土坑	須恵器 杯	口径 10 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 0.2mm粗砂少	口縁部	
1818 83304	T-11号土坑	土師器 皿	口径 10 (推) 底径 6 (復)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 糸切り/回転ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1mm粗砂少・良	底部	

番号 整理番号	出土地点	器種	法量(評価) (cm)	成 形 ・ 調 整		色 調 外面/内面 胎 土	遺存度	備 考 文様、記号、その他特記事項
				部位	外面/内面			
1819 83298	T-17a号土坑 P-1	壺	頸径 12 (測)	口頸部 ハケメ後ナデ/ナデ 体部 ヘラミガキ/ナデ		灰白/灰白 3~4mm礫少	頸部完	
1820 83300	T-17a号土坑 P-2	甕	口径 16 (測)	口頸部 ヘラミガキ/		灰白/淡橙 1~3mm礫多	小片	
1821 83297	T-18号土坑 P-1~6	壺	頸径 10 (測) 体径 25 (測) 底径 6.8(◎)	頸部 ヘラミガキ/ 体部 ヘラミガキ/ナデ(上半)、ハケメ(下半) 底部 /ハケメ		浅黄橙/暗灰 1~2mm粗砂多	頸部 1/2 底部完	黒斑。赤彩。
1822 83303	T-18号土坑 P-9	壺	体径 12 (測)	体部 ヘラミガキ/ナデ 脚部 ヘラミガキ/ナデ		にぶい黄/黄灰 1mm粗砂小	体部完	赤彩?。
1823 83302	T-18号土坑 P-7, 8	甕	口径 15 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		灰褐/灰褐 2.5mm小礫微	小片	煤付着。
1824 83299	T-18号土坑 P-6	甕	口径 17 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ、ハケメ		浅黄橙/浅黄橙 1~3mm礫多	小片	煤付着。
1825 83295	T-15号土坑 P-2, 3, 6, 7	甕	口径 13 (測) 底径 3.0(◎) 器高 18.4(◎)	口頸部 ナデ/ナデ 体部 ハケメ/ハケメ(上半)、ナデ(下半) 底部 ハケメ/ナデ		にぶい黄橙/灰 1~4mm粗砂礫多	1/3	煤付着。
1826 83296	T-15号土坑 P-6	甕	口径 16 (測)	口頸部 ヨコナデ/ヨコナデ 体部 ハケメ/ハケメ		浅黄橙/にぶい黄橙 2mm礫少	1/2	煤付着。
1827 83301	T-15号土坑	甕	口径 16 (測)	口頸部 不明		灰白/にぶい黄橙 2mm礫少	小片	黒斑。

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1828 83311	T-2号溝 P-31	須恵器 杯蓋	鈕径 2.3 (◎)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ	明緑灰/明オリブ灰 0.5~粗砂少・良	1/5	
1829 83312	T-2号溝 P-31	須恵器 杯蓋	鈕径 2.3 (◎)		天井部 ヘラケズリ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫少・良	鈕完	
1830 83308	T-2号溝 P-31	須恵器 杯	口径 12 (推) 底径 7.4 (◎)	器高 3.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm以上礫少・やや不良	1/3	
1831 83309	T-2号溝 P-31	須恵器 杯	口径 13 (推) 底径 8 (推)	器高 3.2 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 礫少・やや不良	1/4	
1832 83310	T-2号溝 P-4	須恵器 杯	口径 12 (推) 底径 8.6 (復)	器高 2.9 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫少・良	1/3	外底に墨痕。

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1833 83511	T-2号溝 P-32	須恵器 鉢	底径 12 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラケズリ/	灰白/灰白 礫少微・不良	破片	体外「三家」墨書。 体内「□」墨書。
1834 83326	T-2号溝	土師器 壺?	底径 6.5 (◎)		体部 ハケメ/ハケメ 底部 /ハケメ	灰白、浅黄橙/灰白 2mm礫少・良	体部 1/3	体外黒斑。
1835 83305	T-2号溝 P-8(13,14)	土師器 甗?	口径 18 (推)		体部 ハケメ/ナデ?	にぶい黄橙/にぶい黄橙 1~1.5mm粗砂多・良	口縁部 体部	体外黒斑。
1836 83307	T-2号溝 P-16	土師器 甗	口径 14 (復)		口頸部 ナデ/ナデ 体部 ハケメ/ナデ、オサエ	にぶい橙/浅黄橙 0.5~1mm粗砂多・良	1/2	
1837 83306	T-2号溝 P-15	土師器 甗	口径 19.1 (復)		口頸部 ハケメ/ハケメ 体部 ハケメ/ナデ、ハケメ	浅黄橙、明褐灰/浅黄橙 粗砂粒多・良	口頸部 体部	外面煤付着。
1838 83512	T-3号溝 P-57	須恵器 杯	口径 11.4 (◎) 底径 8.9 (◎)	器高 3.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/明青灰 3~5mm小礫微、粗砂粒少・良	完形	外底「足国」 墨書。
1839 83322	T-3号溝 P-56	須恵器 杯	底径 8 (推)		底部 ヘラ切り/回転ナデ	灰白/灰白 2mm以上礫・やや不良	底部	外底ヘラ記号。
1840 83317	T-3号溝 P-58	須恵器 杯	口径 11.0 (復) 底径 7 (推)	器高 3.0 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫少・やや不良	1/4	
1841 83314	T-3号溝 P-60	須恵器 杯	口径 11.8 (復) 底径 9 (推)	器高 3 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫少・良	1/4	
1842 83318	T-3号溝 P-53	須恵器 杯	口径 12 (推) 底径 9 (推)	器高 3.8 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 粗砂少・不良	1/5	
1843 83316	T-3号溝 P-55	須恵器 有台杯	口径 10.5 (復) 底径 7 (◎)	器高 4.4 (◎) 高台高 0.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 4mm礫3個・良	1/2	
1844 83315	T-3号溝 P-42	須恵器 有台杯	口径 11 (◎) 底径 7.4 (◎)	器高 4.2 (◎) 高台高 0.6 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 1~2mm粗砂少・良	3/4	外面墨、転用 靨。体内煤付 着。
1845 83321	T-3号溝 P-55	須恵器 有台杯	口径 12 (推) 底径 7.4 (復)	器高 4.1 (◎) 高台高 0.7 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 2mm礫少・良	1/4	
1846 83319	T-3号溝 P-53	須恵器 有台杯	口径 11 (推) 底径 7.6 (復)	器高 4.1 (◎) 高台高 0.3 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	明オリブ灰/灰白 2mm礫少・やや不良	1/5	
1847 83320	T-3号溝 P-55	須恵器 有台杯	口径 11 (推) 底径 7.5 (復)	器高 4.5 (◎) 高台高 0.6 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2mm以上礫少・やや不良	1/5	
1848 83313	T-3号溝 P-61	須恵器 有台杯	口径 11.5 (復) 底径 8.1 (◎)	器高 4.2 (◎) 高台高 0.6 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 礫少・やや不良	1/4	外底墨痕?。
1849 83323	T-3号溝 P-65	手捏ね 土器	底径 3.8 (◎)			灰白/浅黄橙 1.5~2mm礫多	底部	
1850 83324	T-4 a号溝	須恵器 杯	口径 12.1 (復) 底径 8.6 (◎)	器高 3.8 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ナデ、ヘラ切り/回転ナデ	灰白/灰白 2.5mm礫少・やや不良	完	外底「国」墨 書。
1851 83325	T-4 a号溝	須恵器 杯	口径 13 (推) 底径 9 (推)	器高 3.5 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ナデ、ヘラ切り/回転ナデ	灰白、オリブ灰/灰白 2mm礫少・良	1/6	外底「□」墨 書。
1852 83327	T-11号溝 (T-31G)	須恵器 杯	口径 13 (推) 底径 9 (推)	器高 2.9 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ナデ、ヘラ切り/回転ナデ	灰白/灰白 2mm礫少・良	1/4	外底「□」墨 書。
1853 83428	T-13号溝 (T-32G)	須恵器 杯身	受部径 14 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラケズリ/回転ナデ	青灰/青灰 粗砂粒微・良	1/6	
1854 83328	T-13号溝 (T-32G)	須恵器 杯	口径 12 (推) 底径 8.9 (◎)	器高 3.0 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ナデ、ヘラ切り/回転ナデ	明褐灰/灰褐 2mm以上礫少・良	1/3	
1855 83421	T-13号溝 (T-32G)	土師器 有台碗	底径 7.7 (復) 高台高 0.9 (◎)		摩耗	淡橙/淡橙 粗砂粒微・良	底部 1/2	
1856 83329	T-13号溝 (T-32G)	須恵器 有台碗	底径 7.8 (◎) 高台高 1.1 (◎)		摩耗	黄橙/黄橙 0.5mm粗砂多・良	底部完	
1857 83371	T-29区 P-3	土師器 甗	口径 18.0 (復)			灰白/灰白 3.0~4.0mm小礫多		
1858 83441	T-25区	須恵器 杯蓋	口径 13.0 (復) 器高 3.1 (復)	鈕径 2.5 (◎)	天井部 ナデ、ヘラ切り/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 3~5mm礫数個、0.2~2mm 粗砂・良	口縁部 3/4 欠損	天井外「中」 墨書。
1859 83431	T-33区 P-30	須恵器 杯蓋	口径 12.0 (◎)		天井部 ナデ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 3~5mm小礫1個、粗砂・ やや不良		鈕欠損

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整		色 調 外 面 / 内 面 胎 土 ・ 焼 成	遺 存 度	文 様 ・ 記 号 ・ そ の 他 特 記 事 項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)	部位	外 面 / 内 面			
1860 83404	T-27区 P-34	須恵器 杯蓋	口径 12 (推)		天井部 ナデ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	明褐色/青灰 2mm以下粗砂・良	1/5	内面墨痕、墨溜。	
1861 83507	T-34区	須恵器 杯蓋	口径 12.3 (復) 器高 2.7 (◎)	鈕径 2.5 (◎)	天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 3mm小礫数個・良	1/2	内面使用痕。	
1862 83463	T-27区	須恵器 杯蓋	口径 11.8 (復)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 粗砂微少・やや不良	1/4		
1863 83454	T-26区	須恵器 杯蓋	口径 13 (推)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	にぶい黄橙/灰白 0.5~2mm粗砂・やや不良	1/5		
1864 83451	T-25区	須恵器 杯蓋	口径 13 (推)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2.5~3mm礫3個、粗砂、 細砂・良	1/7		
1865 83409	T-30区 P-6	須恵器 杯蓋	口径 14.6 (◎) 器高 2.8 (◎)	鈕径 2.8 (◎)	天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/青灰 2~3mm小礫少量、粗砂多 ・良	完形		
1866 83405	T-27区 P-34	須恵器 杯蓋	口径 17 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	浅黄/浅黄 粗砂少・不良	口縁部		
1867 83478	T-30区	須恵器 杯蓋	口径 17.8 (復)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ 口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 細砂粒少・やや不良	1/4		
1868 83379	T-21区 P-2	須恵器 杯蓋			天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ	暗青灰/青灰 粗砂多・良	天井部 1/5	天井内ヘラ記 号。	
1869 83501	T-33区	須恵器 杯蓋	鈕径 2.4 (◎)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ	明オリブ灰/明オリブ 灰 粗砂・良	天井部 1/3	天井内ヘラ記 号。	
1870 83403	T-26区 P-105	須恵器 杯蓋	鈕径 2.4 (◎)		天井部 ナデ、ヘラケズリ/回転ナデ	淡青灰/淡青灰 4mm礫、粗砂・良	天井部 1/4	天井外墨痕。	
1871 83456	T-26区	須恵器 杯蓋	鈕径 3.0 (◎)		鈕部 回転ナデ	灰白/灰白 粗砂、細砂やや精良・良	鈕		
1872 83483	T-32区	須恵器 杯	口径 10.9 (復) 底径 6.2 (復)	器高 3.3 (復)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂少、3.0mm小礫1個・	1/4		
1873 83504	T-34区	須恵器 杯	口径 10.6 (復) 底径 7.0 (復)	器高 3.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂少・良	1/2		
1874 83394	T-25区 P-108	須恵器 杯	口径 11.0 (復) 底径 8.0 (復)	器高 3.7 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2~3mm礫数個、0.2~2 mm粗砂・良	底部と 体部の 1/4	外底「罫」墨 書。	
1875 83426	T-32区 P-12	須恵器 杯	口径 12.2 (復) 底径 8.8 (復)	器高 3.7 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 2~5mm礫少、細砂・良	1/2		
1876 83446	T-25,26区	須恵器 杯	口径 12.0 (復) 底径 8.0 (復)	器高 3.3 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 3mm礫少、細砂・良	1/2	外底「罫」墨書。	
1877 83401	T-26区 P-105	須恵器 杯	口径 12.2 (◎) 底径 7.9 (◎)	器高 3.2 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	明褐色/明褐色 3~5mm礫少・やや不良	1/2	外底「中」墨書。	
1878 83460	T-26区	須恵器 杯	底径 8.8 (復)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	淡青灰/淡青灰 1~2mm粗砂・良	底部	外底「大」墨書。	
1879 83406	T-27区 P-36	須恵器 杯	底径 8.0 (復)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	淡青灰/淡青灰 5~8mm礫1個、粗砂・良	底部 1/2	外底墨痕。	
1880 83476	T-30区	須恵器 杯	底径 9.2 (復)		底部 ヘラ切り/回転ナデ	灰/灰 3~4mm礫、粗砂・良	1/2		
1881 83427	T-32区 P-11	須恵器 杯	底径 9 (推)		底部 ヘラ切り/回転ナデ	オリブ灰/オリブ灰 粗砂少・不良	底面 1/5	底底墨痕。	
1882 83505	T-34区	須恵器 杯	口径 11.9 (復) 底径 9.2 (復)	器高 2.7 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 2~4mm礫少・良	2/3		
1883 83425	T-32区 P-1	須恵器 杯	口径 13.2 (復) 底径 9.4 (復)	器高 3.2 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂少・良	1/2	外底、ヘラ記 号。	
1884 83413	T-31区 P-5	須恵器 杯			体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂少・良	1/6	口縁部割れ口 にタール附着。	
1885 83398	T-26区 P-80	須恵器 杯	口径 13 (推) 底径 8 (推)	器高 3 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	明褐色/灰白 1mm以下粗砂、細砂・不良	1/5		
1886 83498	T-33区	須恵器 杯	口径 11.6 (復) 底径 6.8 (復)	器高 3.1 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	オリブ灰/オリブ灰 3~4mm小礫数個・良	1/4		

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整 部位 外面/内面	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1887 83477	T-30区	須恵器 杯	口径 11.4 (復) 底径 6 (推)	器高 3 (推)	体部 回転ナデ/回転ナデ	オリブ灰/灰 3mm小礫2個、粗砂少・良	1/5	
1888 83430	T-33区 P-33	須恵器 杯	口径 12.6 (復) 底径 6.2 (◎)	器高 3.4 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 粗砂微、砂っぽい・不良	1/3	
1889 83374	T調査区	須恵器 杯	底径 7.0 (復)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 6mm礫1個、粗砂・やや不良	小片	
1890 83506	T-34区	須恵器 杯	口径 13.0 (復) 底径 7.9 (復)	器高 2.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り/回転ナデ	緑灰/緑灰 3mm小礫2個、粗砂少・良	1/2	
1891 83424	T-32区 P-4	須恵器 杯	口径 14.4 (復) 底径 7.9 (◎)	器高 3.3 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰、淡褐/灰、淡褐 3mm小礫2個、粗砂少・良	ほぼ 完形	
1892 83459	T-26区	須恵器 杯	底径 7 (推)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	明青灰/明青灰 1mm以下粗砂、細砂・良	底部	
1893 83472	T-29区	須恵器 杯	底径 6.6 (復)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 8mm程度の礫1個・良	底部 1/2	外底「□□」 墨書。
1894 83455	T-26区	須恵器 碗	底径 7.0 (復)		底部 糸切り/回転ナデ	灰白/灰白 緻密・良	底部	平高台。施釉 陶器？。
1895 83375	T調査区	須恵器 杯	口径 12 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰白 粗砂、細砂ほぼ精良・良	口縁部 小片	
1896 83452	T-25区	須恵器 杯	口径 12 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 0.5~2mm粗砂・良	口縁部 小片	
1897 83457	T-26区	須恵器 杯	口径 13 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 2~3mm礫3個、粗砂、細砂・良	口縁部 小片	
1898 83388	T-24区	須恵器 杯	口径 15 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 1mm以下粗砂・不良	口縁部 小片	口縁部にター ル付着。
1899 83484	T-32区	須恵器 杯	口径 15.2 (復)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 3.0~4.0mm小礫2個・良	口縁部	
1900 83399	T-26区 P-100	須恵器 有台杯	口径 13.0 (復) 底径 9.0 (復)	器高 4.3 (◎) 高台高 0.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰白 2mm以下粗砂・良	1/2	外底、転用硯。
1901 83396	T-26区 P-70	須恵器 有台杯	底径 7.0 (復) 高台高 0.4 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/青灰 0.2~2mm粗砂・良	底部	
1902 83482	T-32区	須恵器 有台杯	口径 11.5 (復) 器高 4.0 (◎)	底径 7.1 (復) 高台高 0.5 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	青灰/青灰 粗砂粒少・良	1/2	
1903 83458	T-26区 北	須恵器 有台杯	底径 6.0 (復) 高台高 0.5 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	青灰/灰 2mm礫少、粗砂・良	底部~ 体部	
1904 83461	T-26区	須恵器 有台杯	底径 7.0 (復) 高台高 0.5 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	青灰/灰 2~4mm礫、粗砂・良	底部~ 体部	
1905 83412	T-31区 P-1	須恵器 有台杯	底径 5.8 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 2.5mm小礫1個・やや不良	底部	外底「墨書」。
1906 83393	T-25区 P-130	須恵器 有台杯	底径 7.0 (復)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 2~3mm礫微、粗砂・良	底部	外底「墨書」。
1907 83510	T-27区 P-109	須恵器 有台杯	底径 6.7 (復) 高台高 0.6 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰白 緻密・やや不良	1/3	外底「知」墨書。
1908 83385	T-24区 P-134	須恵器 有台杯	底径 7.0 (復) 高台高 0.5 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 4mm礫1個・良	底部	
1909 83445	T-25区	須恵器 有台杯	底径 8.0 (復) 高台高 0.6 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	青灰/灰 1~2mm粗砂・良	底部 1/2	外底「国」墨書。
1910 83467	T-28区	須恵器 有台杯	底径 6.8 (◎) 高台高 0.6 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	オリブ灰/青灰 粗砂粒微・良	1/3	
1911 83468	T-28区	須恵器 有台杯	底径 7.2 (復) 高台高 0.5 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂粒少・良	底部	
1912 83475	T-30区	須恵器 有台杯	底径 6.2 (◎) 高台高 0.4 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 ほぼ精良・良	底部	
1913 83402	T-26区 P-105	須恵器 有台杯	底径 10.0 (復) 高台高 0.4 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	暗青灰/青灰 4~3mm礫微、粗砂・良	体部~ 底部 1/4	

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整 部位 外面/内面	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1914 83410	T-30区 P-1	須恵器 有台杯底部	底径 10.2 (復) 高台高 0.7 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	暗青灰/灰 1~2mm粗砂少・良	1/4 底部	
1915 83499	T-33区	須恵器 有台杯	底径 8.9 (復) 高台高 1.0 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	オリーブ灰/灰白 2~4mm小礫微・良	底部	
1916 83469	T-28区	須恵器 有台杯	底径 6.7 (◎) 高台高 0.8 (◎)		底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 4.5mm小礫1個、粗砂・良	底部	
1917 83411	T-31区 P-2	須恵器 有台杯	底径 10 (推) 高台高 0.4 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 4mm小礫1個・良	1/4 底部	
1918 83384	T-23区	須恵器 有台杯	底径 7.0 (復) 高台高 0.5 (◎)		体部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 1~3mm粗砂・良	小片	
1919 83466	T-28, 31区	須恵器 有台杯	口径 15.6 (復) 底径 9.4 (復)	器高 5.5 (◎) 高台高 0.6 (◎)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂粒少・良	1/2	
1920 83386	T-24区	須恵器 瓶	口径 20 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	明褐灰/灰 0.5mm前後粗砂多・やや不良	口縁部 小片	
1921 83397	T-26区 P-71	須恵器 瓶	口径 21 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	青灰/オリーブ灰 3~5mm礫数個、粗砂・良	口縁部	
1922 83429	T-32区 P-14	須恵器 双耳瓶			耳部 張付け、ヘラ切り、ナデ	灰白/灰 砂少・良	耳部片	
1923 83485	T-32区	須恵器 双耳瓶	頸径 7.3 (◎)		頸部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰 ほぼ精良・良	頸部	
1924 83432	T-33区 P-31	須恵器 瓶	頸径 7.2 (◎)		頸部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰 粗砂微・やや不良	頸部	
1925 83462	T-27区	須恵器 壺			肩部 回転ナデ/回転ナデ	灰/オリーブ灰 3.0mm小礫5個・良	肩部	
1926 83392	T-25区 P-129	須恵器 壺			肩部 回転ナデ/回転ナデ	灰オリーブ/灰 0.5mm以下粗砂・良	肩部	
1927 83440	T-25区	須恵器 壺又は瓶	体径 16 (推)		体部 回転ナデ/回転ナデ	灰/灰白 粗砂、細砂極めて精良・良	体部 破片	
1928 83387	T-24区	須恵器 短頸壺?			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	明灰褐/灰褐 精良・良	口縁部	
1929 83380	T-21区 P-2	須恵器 蓋			天井部 回転ナデ/回転ナデ	オリーブ灰/灰 3~4mm礫少、粗砂多・良	小片	
1930 83497	T-33区	須恵器 小型瓶	底径 5.6 (復)		体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 静止米切り/回転ナデ	オリーブ灰/オリーブ灰 粗砂微	底部 1/2	
1931 83448	T-25区	珠洲焼 小型壺			体部 回転ナデ/回転ナデ	青灰/灰白 細砂、極めて精良・良	破片	肩部に波状文。
1932 83442	T-25区	須恵器 壺又は瓶	底径 18.0 (復)		体部 カキ目、ナデ/タタキ、ナデ	オリーブ灰/オリーブ灰 2~3mm礫数個、粗砂多・良	底部	内面降灰粘。
1933 83408	T-30区 P-1	須恵器 甕	口径 26.2 (復)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰 2~5mm礫少、粗砂・良	口縁部	
1934 83415	T-31区 P-5	須恵器 甕			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	暗青灰/灰 小礫数個・良	口縁部	頸部に波状文。
1935 83447	T-25区	土師器 碗	底径 6.0 (復)		摩耗	にぶい黄橙/にぶい黄橙 2mm以下粗砂、細砂	底部	
1936 83494	T-32区	土師器 碗	底径 5.1 (◎)		摩耗	浅黄橙/浅黄橙 2.5~5.0mm小礫少	底部	
1937 83503	T-33区	土師器 碗?	底径 6.7 (◎)		底部 米切り/摩耗	浅黄橙/にぶい褐 粗砂少	底部	
1938 83420	T-32区 P-19	土師器 碗又は皿	底径 5.4 (◎)		底部 米切り/摩耗	淡橙/淡橙 粗砂多	底部	
1939 83471	T-29区	土師器 有台碗 又は皿	底径 5.4 (復) 高台高 1.5 (◎)		摩耗	橙/淡橙 粗砂少	1/4	
1940 83433	T-33区	土師器 有台碗?	底径 7.4 (復) 高台高 0.9 (◎)		摩耗	橙/橙 粗砂少	底部	

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整 部位 外面/内面	色 調 外面/内面 胎 土 ・ 焼 成	遺存度	文様・記号・そ の他特記事項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1941 83502	T-33区 P-38	土師器 有台碗	底径 7.8 (◎) 高台高 0.8 (◎)		底部 ナデ/回転ナデ	浅黄/浅黄 3mm礫1個、粗砂少	底部 破片	
1942 83416	T-32区 P-24	土師器 有台碗	底径 7.3 (◎)		底部 糸切り/回転ナデ	浅黄橙/浅黄橙 3mm程小礫数個、砂粒少	底部	
1943 83496	T-32区	土師器 有台碗	底径 11 (推) 高台高 1.2 (◎)		摩耗	にぶい黄橙/浅黄橙 粗砂少	底部	
1944 83390	T-25区 P-109	土師器 有台碗	底径 8.0 (復) 高台高 1.9 (◎)		摩耗	灰赤/黒 0.2~2mm粗砂、細砂	底部	
1945 83419	T-32区 P-22	土師器 有台碗			摩耗	浅黄橙/浅黄橙 粗砂少	底部	
1946 83418	T-32区 P-16	土師器 碗	底径 5.6 (◎)		底部 糸切り/ミガキ	黒褐/黒褐 粗砂少	底部	平高台。
1947 83500	T-33区	土師器 碗?	底径 5.2 (◎)		底部 糸切り/ナデ	浅黄/灰黄 2~3mm小礫3個、粗砂少	底部	平高台。
1948 83378	T-20区 P-3	土師器 碗又は皿	底径 5.7 (◎)		摩耗	灰白/灰白 1mm以下粗砂、細砂	底部	平高台。
1949 83495	T-32区	土師器 碗又は皿	底径 6.0 (◎)		底部 糸切り/ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	底部	平高台。
1950 83470	T-29区	土師器 碗又は皿	底径 5.3 (◎)		摩耗	浅黄橙/浅黄橙 3~5mm小礫少	底部	平高台。
1951 83391	T-25区 P-109	内黒土器 碗	口径 17.0 (復) 底径 7.0 (復)	器高 5.3 (◎)	体部 摩耗/ミガキ 底部 摩耗/ミガキ	灰白/淡黒 1mm以下粗砂、細砂多	1/4	
1952 83423	T-32区 P-8	内黒土器 碗	口径 14 (推)		口縁部 摩耗/ミガキ	淡橙/黒 粗砂少	口縁部	
1953 83422	T-32区 P-8	内黒土器 碗	底径 6.4 (復)		底部 糸切り?/ミガキ	淡橙/黒 粗砂少	底部	1952と同一個 体か?。
1954 83473	T-30区	内黒土器 有台碗	底径 7 (推)		摩耗	浅黄橙/黒 粗砂少	底部	
1955 83509	T-34区 P-43	内黒土器 有台碗	底径 10.0 (復) 高台高 1 (◎)		摩耗	橙/黒 粗砂少	底部	
1956 83417	T-32区 P-18	内黒土器 有台碗 又は鉢	底径 9.0 (復)		底部 ナデ/ミガキ	淡橙/黒 砂粒少	底部	
1957 83400	T-26区 P-104	内黒土器 有台碗	底径 6.7 (◎)		摩耗	淡橙/黒 粗砂、砂粒	底部	
1958 83434	T-33区 P-38	土師器 鉢	底径 11.6 (◎)		底部 糸切り/ナデ	淡橙/橙褐 粗砂少	底部	
1959 83487	T-32区	土師器 甕	口径 24.0 (復) 頸径 20.2 (復)		口縁部 摩耗 肩部 ハケメ/ナデ	浅黄橙/浅黄橙 3~5mm小礫少	口縁部	
1960 83370	T-29区 P-2	土師器 甕	口径 14.5 (復)		口縁部 ナデ/ナデ 肩部 ハケメ/ナデ	灰白/灰白 3mm前後小礫少	口縁部	
1961 83407	T-29区 P-3	土師器 甕	口径 17.9 (◎) 頸径 15.6 (◎)		口縁部 摩耗 体部 ハケメ/摩耗	淡黄橙/淡黄橙 2~3mm礫、2mm以下粗砂	1/3	外面に煤付着。
1962 83444	T-25区	土師器 甕	口径 20 (推) 頸径 19 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	灰白/灰白 粗砂、細砂	口縁部 小片	
1963 83449	T-25区	土師器 甕	口径 15 (推) 頸径 13 (推)		摩耗	灰褐/暗赤褐 粗砂少	口縁部 小片	口縁部に煤付 着。
1964 83377	T-20区 P-3	土師器 甕又は埴	口径 38 (推)		摩耗	明褐灰/灰白 0.2~1mm粗砂	口縁部 小片	
1965 83381	T-21区 P-3	土師器 甕又は埴	口径 20 (推)		摩耗	明褐灰/明褐灰 2mm以下粗砂多	口縁部 小片	
1966 83490	T-32区	土師器 甕又は埴			摩耗	にぶい黄橙/浅黄橙 粗砂少	口縁部 小片	
1967 83489	T-32区	土師器 甕又は埴			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	浅黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	口縁部 小片	

番号 整理番号	出土地点	器種	法 量		成 形 ・ 調 整	色 調 外 面 / 内 面	遺 存 度	文 様 ・ 記 号 ・ そ の 他 特 記 事 項
			(部位)(cm)(評価)	(部位)(cm)(評価)				
1968 83491	T-32区	土師器 甕又は埴			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 細砂少	口縁部 小片	外面に煤付着
1969 83488	T-32区	土師器 甕又は埴			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	にぶい黄橙/にぶい黄橙 粗砂少	口縁部 小片	
1970 83486	T-32区	土師器 甕	口径 11.8 (復)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ 体部 回転ナデ/回転ナデ	暗褐/黄橙 粗砂少	1/4	
1971 83492	T-32区	土師器 甕			口縁部 摩耗/回転ナデ	浅黄橙/浅黄橙 粗砂微少	口縁部 小片	
1972 83436	T-34区	土師器 甕又は埴			摩耗	にぶい黄褐/黒褐 粗砂少	口縁部 小片	
1973 83493	T-32区	土師器 甕又は埴			摩耗	浅黄橙/浅黄橙 細砂微少	口縁部 小片	
1974 83508	T-34区	土師器 甕又は埴			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	明褐灰/にぶい褐 粗砂少	口縁部 小片	
1975 83435	T-34区	土師器 甕			口縁部 回転ナデ/回転ナデ	黒褐/浅黄橙 5.0mm小礫1個、粗砂少	口縁部 小片	
1976 83373	T調査区	緑釉 有台碗?	底径 7.8 (◎) 高台高 0.9 (◎)		底部 丁寧な回転ナデ/回転ナデ	明緑灰/明緑灰 精良・良	底部完	全面に施釉。
1977 83376	T-15区 P-1	灰釉 碗	口径 17 (推)		口縁部 回転ナデ/回転ナデ	淡オリーブ灰/淡オリーブ 灰 精良・良	口縁部 破片	口縁部全面に 施釉。
1978 83479	T-31区	近世陶磁 器 有台碗	底径 4.8 (復)		高台部 ケズリ出し	オリーブ灰?/淡緑 うすい灰色を呈する・良	1/4	内面施釉。
1979 83450	T-25区	灰釉 有台碗	底径 9 (推)		高台部 張り付け	灰白/灰白 1mm以下粗砂・良		内面施釉。
1980 83443	T-25区	灰釉 碗			体部下半 ケズリ/施釉	灰白/オリーブ灰 大旨精良	破片	内面施釉。
1981 83437	T-14区	灰釉 小壺	底径 3.0 (復)		底部 ケズリ/回転ナデ	淡オリーブ灰/淡オリーブ 灰 精良	底部 1/2	体外、施釉。 内底一部釉。
1982 83439	T-13区	近世陶磁 器 碗	口径 12 (推)			明オリーブ灰/明オリーブ 灰 精良	口縁部 小片	口縁部施釉。
1983 83389	T-25区 P-117	土師質 皿	口径 9.0 (復) 器高 24 (◎)		オサエ、ナデ/オサエ、ナデ	にぶい橙/灰白 5×4.5mm礫1個、3mm前 後礫数個、粗砂	3/4	
1984 83474	T-30区	土師質 皿	口径 11.9 (復) 器高 1.7 (◎)		オサエ、ナデ/オサエ、ナデ	浅黄橙/浅黄橙 粗砂少	1/4	
1985 83438	T-18区	瀬戸・美 濃 天目碗				黒褐/黒褐 雲母粒、細砂含むが精良	体部 小片	体部内外面施 釉。
1986 83395	T-25区 P-131	珠洲焼 鉢			体部 回転ナデ/オロシ目	青灰/青灰 細砂・良	破片	
1987 83383	T-22区 P-1	珠洲焼 壺?			体部 タタキ/ナデ	灰オリーブ/青灰 0.2~1mm粗砂多・良	破片	
1988 P-14	T-32区	須恵器 甕	口径 24 器高 48	頸径 22 体径 40	口縁部 回転ナデ/回転ナデ 体部 タタキ/タタキ	灰/灰、灰白 精密・良	完形	内面は下半が 平行タタキ、 上半が同心円 タタキ。
1989	W調査区	須恵器 有台杯	口径 11.8 器高 4.0	底径 7.4 高台高 0.5	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰/灰 1mm前後粗砂少・良	完	外底「三宅」 墨書。外底ヘ ラ記号。
1990 86420	W-5区	須恵器 杯	口径 12.0 (復) 器高 3.0 (◎)	底径 8.2 (復)	体部 回転ナデ/回転ナデ 底部 ヘラ切り後ナデ/回転ナデ	灰黄/灰黄 砂粒微・良	1/3	外底「□」墨書。

10 各調査区出土土製品

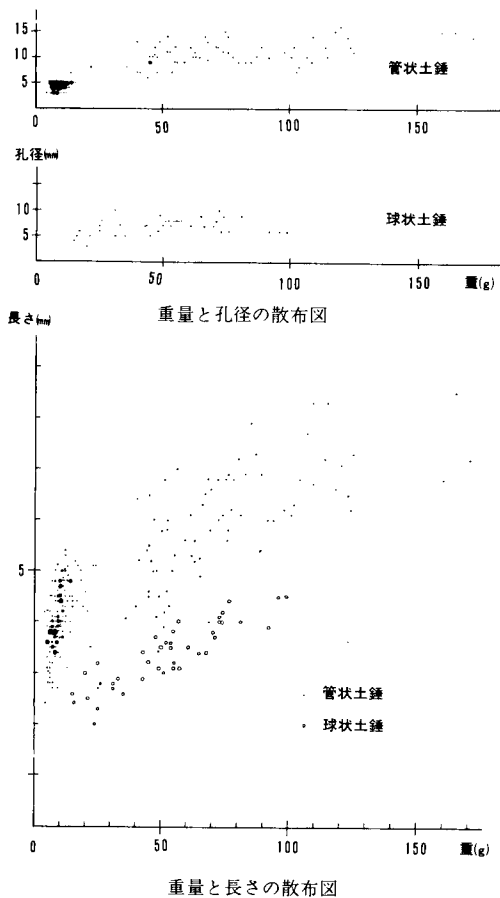
(1) 土 錘 (第124図1～37、図版87)

総数で492個出土しているが、遺構からの出土は少なく包含層等からの出土が大多数を占めているので、土錘の年代的位置付けは困難である。弥生時代や平安時代の遺構から出土していることから、土錘も概ねこの年代幅に収ると考えられる。なお近世のものと思われる土錘も少数みられる。土錘は管状と球状のものがある。いずれも手捏ね成形で心棒に粘土を巻きつけ棒を抜いたものである。

管状土錘のうち径が15mm前後で長さ30～40mm、20g以下のものが大多数を占めている。孔の端面を平坦に整形しているものと未調整のものがある。未調整のものが型式的に遡ると考えられるが、平安時代の以降からも未調整品が出土しているので絶対的な時間差と理解することはできない。また、径が30～40mmや長さ50mm以上の大型品の重量は約50gを越え、100gを越える大型の土錘もみられる。

球状土錘は20～100gの重量があり管状土錘のように明確に大型・小型の区別はつけにくい。I-3号溝出土品の孔端面は未調整であるが、その他のなかには内側に窪ませるようにしているものがあり、管状土錘と同じように型式的に遡ると考えられる。

土錘を網漁を前提とした遺物と考えると、重量は形態よりも大きさに規定され、またそれを支える網糸の太さを規定するであろう。すなわち、それぞれの重さの目的とするものが異なることを予想させる。



第122図 土錘の量分布

第4表 調査地区別土製品点数一覧表

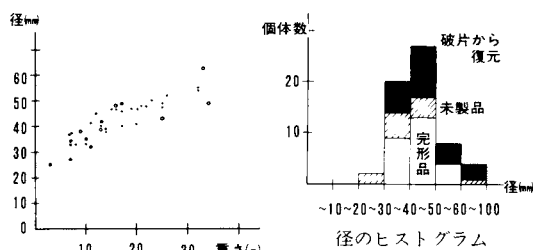
器種/調査地区	H	I	J	K	L	M	N	O	P	S	T	U	V	W	?	計
土 総 数	-	14	124	-	29	1	6	-	-	2	8	-	159	149	-	492
錘 管 状	-	1	49	-	26	-	5	-	-	1	8	-	78	68	-	238
錘 球 状	-	13	16	-	3	-	1	-	-	1	-	-	5	15	-	54
紡 錘 車	1	10	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	15	-	58
土製丸玉	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5
銅鐸形土製品	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
分銅形土製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
垂 飾 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
不 明	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	-	13
小 計 計	2	26	151	0	31	1	6	0	0	3	8	0	169	176	0	573

第5表 遺構出土土製品一覧表

遺 構 名	出土土製品 (点数)	遺 構 名	出土土製品 (点数)
H-4号溝	紡錘車(1)	S-5号土坑	土製垂飾品(1)
I-3号溝	紡錘車(1)、土製丸玉(1)、土錘(13)	S-4b号溝	土錘(1)
I-4号溝	紡錘車(2)、銅鐸形土製品(1)	V-6号土坑	土錘(1)
M-5号溝	土錘(1)	V-3,4号溝	土錘(5)
N-2号土坑	土錘(1)	V-6,7号溝	土錘(4)
N-1号溝	土錘(1)		

(2) 土製丸玉 (第124図38~42、図版87)

ほぼ球形ないし若干の楕円形を呈し、孔径2mm弱を測り、球形の土錘と区別した(38, 39)。40~42の表面には小さな管状のもので刺突することによって装飾を施している。そのデザインは個体によって多様である。

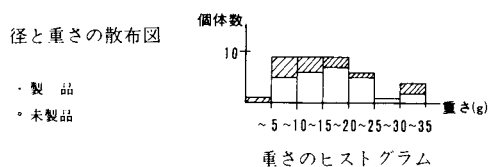


(3) 土製紡錘車・同未製品

(第124図43~第125図109、図版87・88)

円盤状の未製品も含めて67個出土している。

全て土器片を円形に整形し、穿孔することによ



第123図 紡錘車の法量分布

って紡錘車としたタイプである。直径3~5cm、重さ5~25g程度のもが主体を占めているが、稀に43のような直径12cm、70g以上のものも存在している。土器片の二次利用のために、円形を意図しながらも打ち欠きによってかなり歪んだ形状を示すものも多く、反対に周縁を磨いているものもある。この違いは穿孔途中のものでもみられる。先端が尖る錐状のもので両面から穿孔されている。一方あるいは両方の孔が大きく開いているものも多く、穿孔作業にかなりのブレが生じていたものと考えられる。

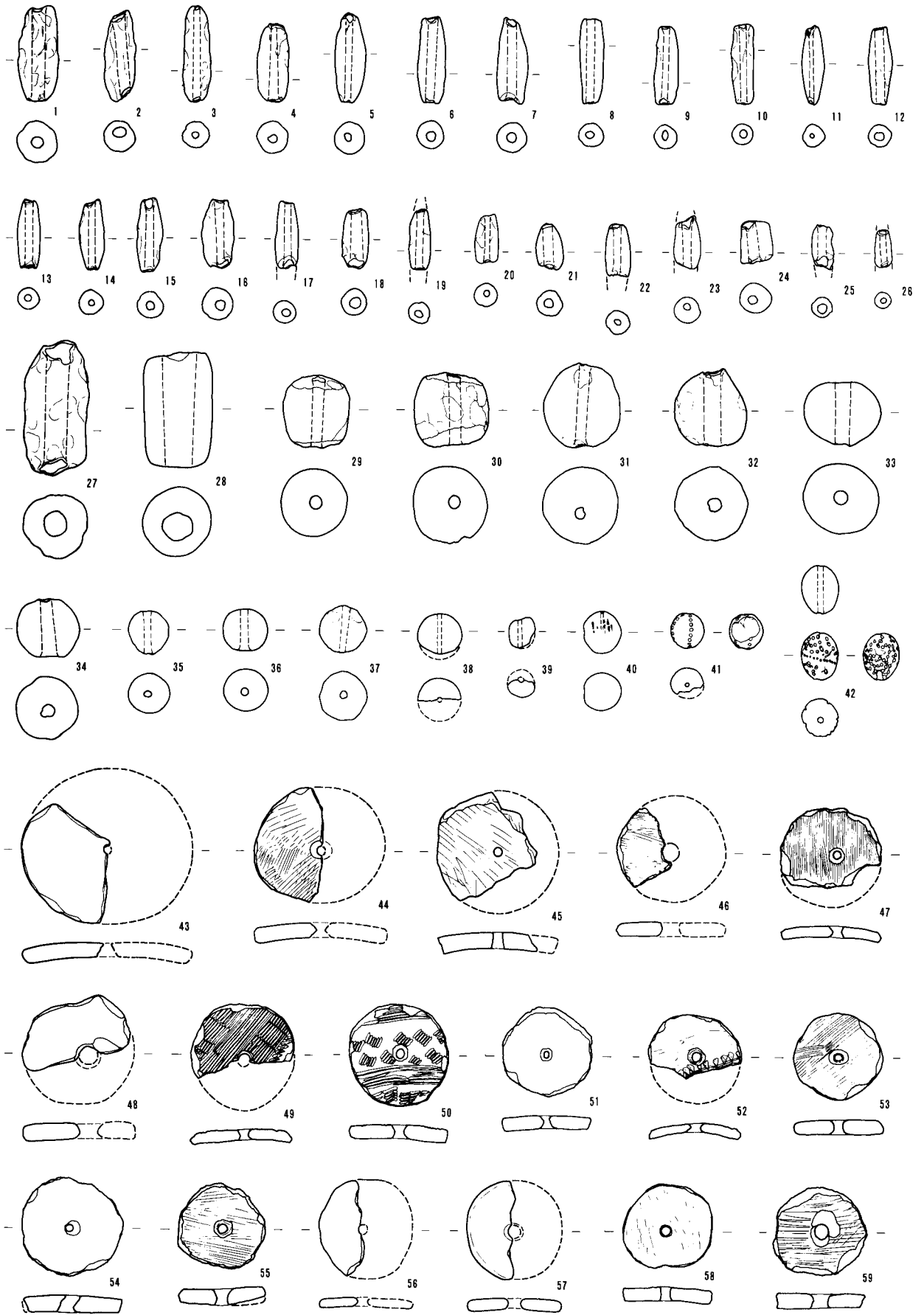
土器片利用の紡錘車(B類)は弥生中・後期を中心にみられる。本資料の所属時期を明確にしえないが、中期の土器片を利用しているものや条痕文土器片を利用しようとしているもの(108)があり、年代の一端を示している。またI-3号溝(後期)からも出土している。したがって、吉崎・次場遺跡では弥生時代全般にわたってB類紡錘車が使われ、当初から紡錘車として作られたA類の欠落を予想させる。

(4) 銅鐸型土製品 (第1分冊第37図148、図版89)

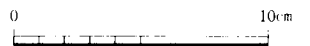
片面のみ遺存している。小型品でレンズ状の断面形を示し、銅鐸の雰囲気を与えているものの全体の形状は大きく異なる。すなわち平面で鐸形を呈するのみで、鱗・舞・型持孔および文様は表現されていない。頂部に径5mm強の小孔を穿つことによって鈕を表現しているのみである。鐸身は無文で指ナデ・ハケメ調整が残り、精巧な作りとはいえない。

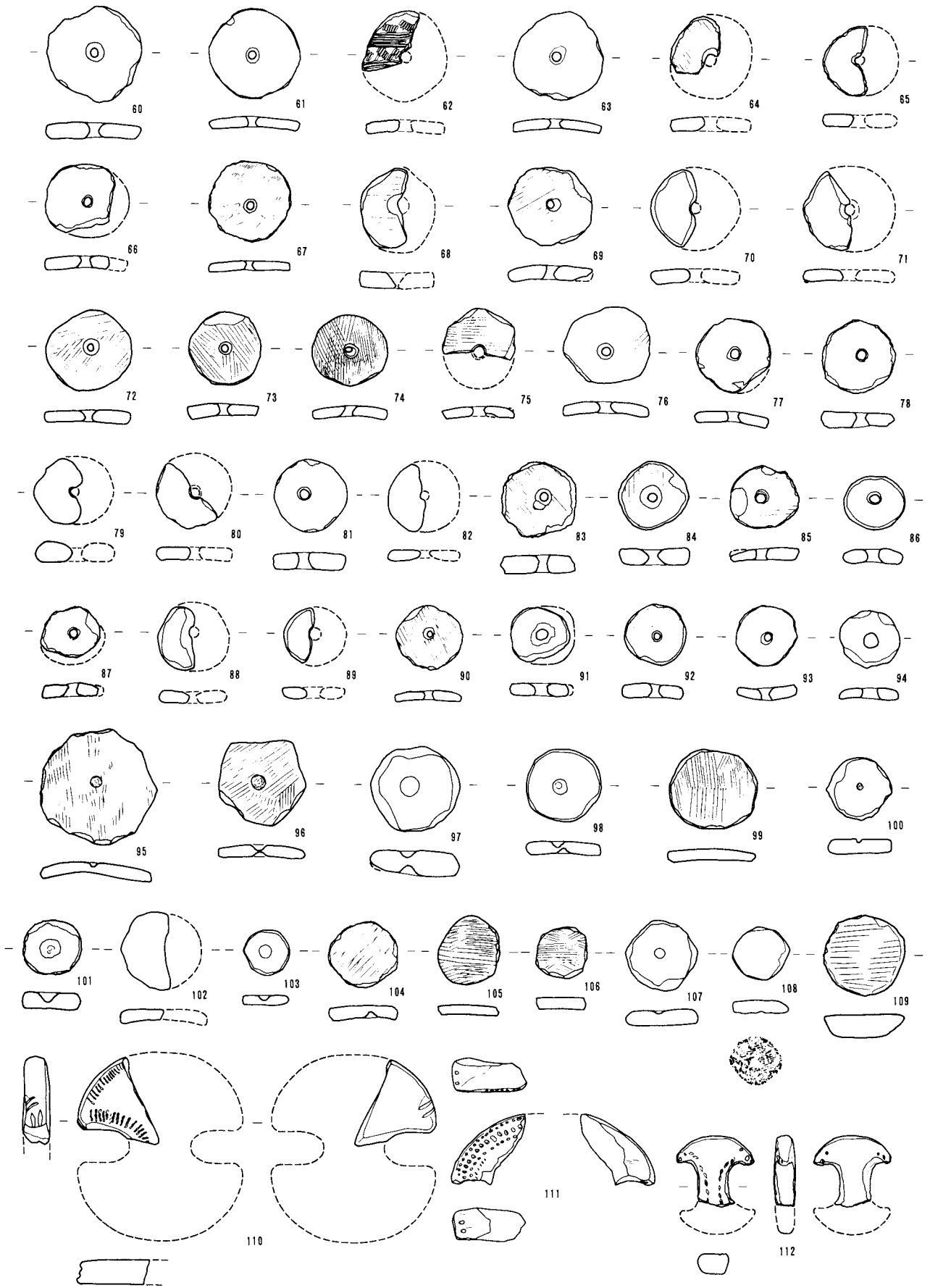
(5) 分銅型土製品 (第125図110~112、図版88)

いずれも破片で110・111が大型品、112が小型品で、全て片面のみの装飾である。110の周囲には穀腹縁のような文様が施されているが、おそらく櫛状工具による刺突文と考えられる。図上の左端および裏面でやや上がったところに各2孔がある。製作時に一方の2孔が破損したためにもう一方の孔を設けたものと思われ、裏面の2孔がそれに該当しよう。111の上縁部に径1mmの細い管状のもので3列の刺突文を施している。部分的にへラによる刺突もみられる。110と同様に頂部から下方に2孔が貫通している。112のくびれ部は長い。文様は小さな長楕円形の管状のものによる1列の刺突文でくびれ部のみ施されている。両端には表から裏にかけて2孔が貫通している。胎土は基本的に土器と同じであるが、これらが本遺跡で作られたものなのかそれとも搬入されたものか確定し難い。なお、胎土中に海綿骨片を含んでいない。



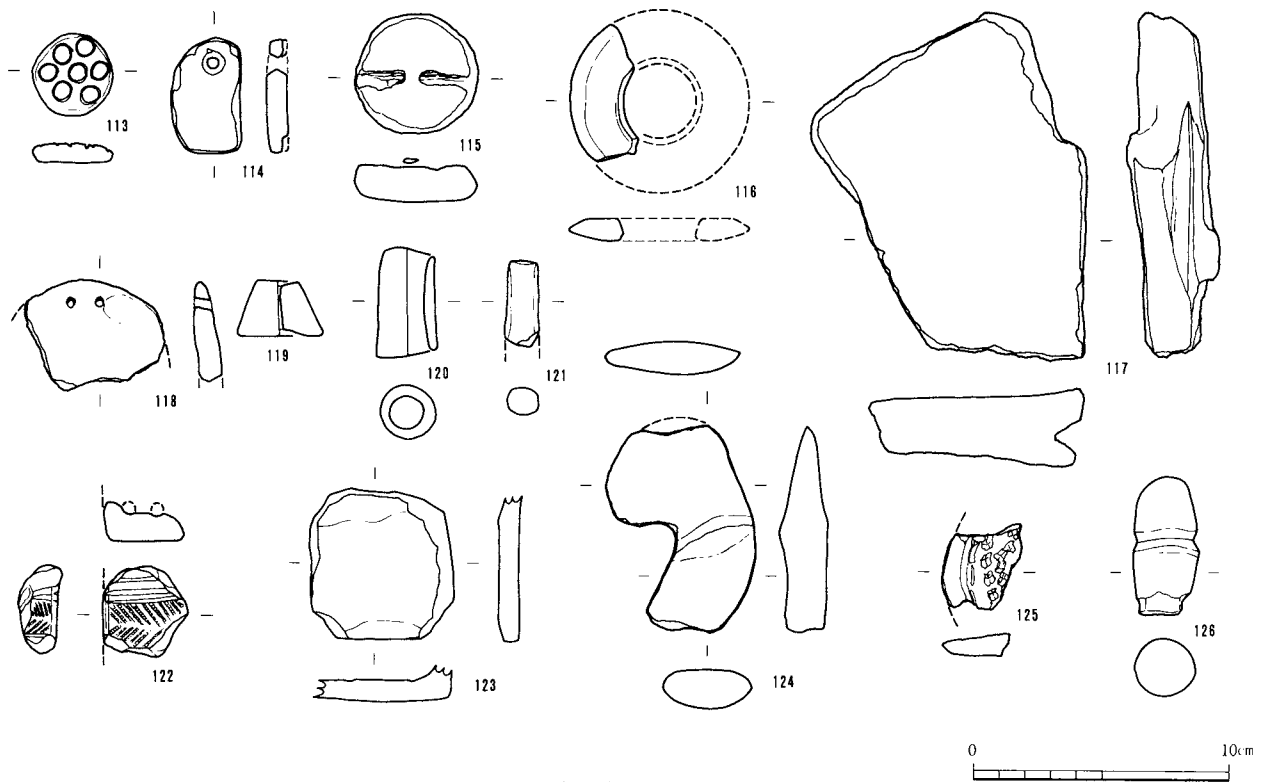
第124图 各調査区出土土製品(1)





第125図 各調査区出土土製品(2)

0 10cm



第126図 各調査区出土土製品(3)

(6) 不明土製品 (第126図113~126、図版88)

113は円盤状を呈し、竹管状のもので刺突することによって文様をつくっている。孔はなく周縁も剥離した痕跡がない。114は扁平で若干の反りをもつ。上部には孔が両側からあけられているものの、明確な紐ずれは認められない。外面は丁寧なヘラミガキが施され、垂飾品と考えられる。115は円盤状を呈し、一面には径2~3mmの孔が表面横方向に穿ち紐を通せるようになっている。垂飾品とも考えられるが、それにしては貧弱で用に耐えるか疑問である。

116の周縁は尖り、断面が中膨れの三角形を呈する。内径部分は傾斜をもっている。風化が激しく使用痕は不明である。117は1点のみ図示したが、同一個体と考えられるものが他に5点ほどある。厚さは約2cm強を測る。面はナデによって平滑に仕上げられ、端面はヘラケズリによって粗く仕上げられている。また、端面に切込みが見られるものもある。全体の形状は全く不明である。

118は一側縁のみ遺存している。径3mmの孔が2つ開けられており垂飾品とも考えられるが、胎土も荒く粗雑な作りである。119は円錐台形を呈し、中央に2mm強の孔が開けられている。上・下面とも若干窪められ、はずみ車と考えられる。121は円柱形で途中で折れている。摩滅が著しい。

122はほぼ直角に屈曲する面をもち、3条の沈線と櫛による綾杉状刺突文が施されている。内部縦方向に2孔の痕跡がある。123はやや反りをもつ扁平な板で、一方端がほぼ直角近くに屈曲している。平滑にするためにヘラケズリを施している。124は現状でくの字状で中ほどで隆起している。内側が平担に作られ、隆起部分より上は扁平に、それより下は長楕円形になっている。125は円盤状を呈するものと考えられる。一面には圏線内に刺突文がみられる。施文原体は不明。

第6表 土製品計測表

() は残存部計測値

報告 番号	整理 番号	名 称	出 土 地 点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	孔径 (cm)	報告 番号	整理 番号	名 称	出 土 地 点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	孔径 (cm)
1	83159	土 鉢	L-NT120G.	5.1	2.2		23	0.7	64	86384	紡錘車	W-5G.	4.5		0.9	(7)	
2	83164	土 鉢	L-NT120G.	4.8	1.7		11	0.6	65	86121	紡錘車	V-NS118a・bG.	4		0.7	(6)	
3	83213	土 鉢	L-NT121G.	5.0	1.4		11	0.4	66	86163	紡錘車	W-1G.	4.5		0.8	(12)	
4	83167	土 鉢	L-NT120G.	4.1	1.7		12	0.4	67	86385	紡錘車	W-6G.	4.5		0.6	13	
5	83162	土 鉢	L-NT120G.	4.6	1.7		12	0.4	68	85671	紡錘車	J-10G.			0.9	(11)	
6	83166	土 鉢	L-NT120G.	4.5	1.5		9	0.5	69	85682	紡錘車	J-11G.	4.4		0.8	17	
7	83165	土 鉢	L-NT120G.	4.5	1.6		10	0.5	70	85668	紡錘車	J-11G.			0.8	(8)	
8	83248	土 鉢	L-NT121G.	4.5	1.3		8	0.4	71	85687	紡錘車	J-8G.			0.7	(8)	
9	83208	土 鉢	L-NT120G.	4.1	1.3		7	0.4	72	85686	紡錘車	J-7G.	4.5		0.7	15	
10	83171	土 鉢	L-NT120G.	4.2	1.1		6	0.4	73	85674	紡錘車	I-3号溝(上部の下)	4.0		0.7	12	
11	83209	土 鉢	L-NT120G.	4.2	1.2		5	0.2	74	85684	紡錘車	L-NT120G.	4.0		0.6	12	
12	83211	土 鉢	L-NT120G.	4.0	1.3		6	0.4	75	86390	紡錘車	W-6・7G.	4		0.6	(7)	
13	83217	土 鉢	L-NT121G.	3.6	1.2		5	0.4	76	85683	紡錘車	J-8G.	4.3		0.6	16	
14	83169	土 鉢	L-NT120G.	3.6	1.3		5	0.4	77	86386	紡錘車	W-6G.	4		0.7	(13)	
15	83157	土 鉢	L-NT120G.	3.8	1.4		6	0.4	78	86166	紡錘車	W-5G.	3.9		0.8	14	
16	83163	土 鉢	L-NT120G.	3.6	1.7		9	0.5	79	85691	紡錘車	J-11G.			1.1	(8)	
17	83168	土 鉢	L-NT120G.	(3.5)	1.3		(6)	0.4	80	85689	紡錘車	J-5G.	4		0.8	(7)	
18	83216	土 鉢	L-NT121G.	3.1	1.4		5	0.6	81	85685	紡錘車	不明	3.9		0.9	17	
19	83210	土 鉢	L-NT120G.	(3.2)	1.2		(4)	0.4	82	85697	紡錘車	J-8G.			0.6	(5)	
20	83170	土 鉢	L-NT120G.	2.5	1.3		5	0.3	83	86120	紡錘車	V-NS118a・bG.	4.1		1.0	20	
21	83219	土 鉢	L-NT121G.	(2.4)	1.4		(4)	0.5	84	85667	紡錘車	I-3号溝(上部の下)	3.6		0.8	14	
22	83207	土 鉢	L-NT120G.	(2.7)	1.3		(5)	0.4	85	86375	紡錘車	W-2G.	3.7		0.7	8	
23	83218	土 鉢	L-NT121G.	(2.8)	1.4		(5)	0.4	86	85673	紡錘車	不明	3.1		0.8	7	
24	83214	土 鉢	L-NT121G.	(2.2)	1.7		(5)	0.5	87	86377	紡錘車	W-2G.			0.7	(6)	
25	83206	土 鉢	L-NT120G.	(2.3)	1.1		(2)	0.5	88	85669	紡錘車	J-10G.			0.7	(6)	
26	83220	土 鉢	L-NT121G.	(1.9)	(0.9)		(2)	0.3	89	85670	紡錘車	J-11G.			0.6	(3)	
27	83158	土 鉢	L-NT120G.	7.1	3.4		63	1.2	90	85680	紡錘車	J-10G.	3.5		0.5	8	
28	83095	土 鉢	M-5号溝P-1	6.2	3.7		85		91	86164	紡錘車	W-2G.			0.7	(7)	
29	85733	土 鉢	V-5号溝No.34	3.9	3.6		51	0.6	92	85672	紡錘車	J-11G.	3.2		0.8	10	
30	85738	土 鉢	V-5号溝	4.0	4.1		69	0.6	93	86383	紡錘車	W-5G.	3.3		0.8	9	
31	83160	土 鉢	L-NT120G.	4.5	4.1		76	0.6	94	83070	紡錘車	H-4号溝P-2	3.2		0.7		
32	83212	土 鉢	L-NT121G.	3.8	3.9		56	0.7	95	85692	紡錘車未製品	J-11G.	6.2		0.7	34	
33	86260	土 鉢	S-4b溝	3.4	4.1		49	0.8	96	85694	紡錘車未製品	J-11G.	4.6		0.7	17	
34	83161	土 鉢	L-NT120G.	3.1	3.4		30	0.7	97	85675	紡錘車未製品	J-10G.	4.6		1.4	34	
35	86116	土 鉢	V-NS118dG.	2.2			11	0.4	98	85676	紡錘車未製品	J-12G.	4.0		0.7	13	
36	86368	土 鉢	V-NS118bG.	2.2	2.4		12	0.4	99	85678	紡錘車未製品	J-11G.	4.5		0.6	16	
37	86117	土 鉢	V-耕土	2.6			(13.6)	0.3	100	85693	紡錘車未製品	J-13G.	3.3		0.8	10	
38	86367	土製丸玉	V-NT119aG.	(2.1)	2.4		(6)	0.2	101	86087	紡錘車未製品	V-NS118dG.	3.2		0.8	11	
39	83215	土製丸玉	L-NT121G.	1.6			(2)	0.2	102	85695	紡錘車未製品	J-6G.			0.7	11	
40	86369	土製丸玉	V-NS118b.	2.2	2.1		9	0.2	103	85677	紡錘車未製品	J-9G.	2.4		0.6	3	
41	86366	土製丸玉	I-3号溝(上部の下)	1.9	1.8		(4.2)		104	86378	紡錘車未製品	W-3G.	3.8		0.7	9	
42	86365	土製丸玉	W-3G.	2.5	2.0		8	0.3	105	86394	紡錘車未製品	W-4G.	3.4		0.4	7	
43	86387	紡錘車	W-6G.			0.9	(26)		106	86393	紡錘車未製品	W-4G.	2.7		0.7	7	
44	86389	紡錘車	W-6・7G.	7		0.9	(24)		107	85679	紡錘車未製品	J-11G.	3.6		0.8	13	
45	86381	紡錘車	W-5G.			1.0	(30)		108	86395	紡錘車未製品	W-4G.	4.3		1.3	25	
46	86118	紡錘車	V-NS118bG.			0.8	(9)		109	83250	紡錘車未製品	L-NT121G.	2.9		0.7	8	
47	86382	紡錘車	W-5G.	5.5		0.6	(19)		110	86370	分銅形土製品	W-2G.					
48	85690	紡錘車	J-11G.	6		0.9	(22)		111	86371	分銅形土製品	W-3G.					
49	86373	紡錘車	W-5G.	5.5		0.7	(18)		112	86372	分銅形土製品	W-3G.	(3.7)	4.0	1.1		
50	86165	紡錘車	W-5G.	5.5		0.8	32		113	85666		H-5G.	3.2		0.8	9	
51	86161	紡錘車	W-2G.	4.8		0.7	22		114	85698	垂飾品	S-5号土坑	4.5	2.7	0.9	13	
52	86175	紡錘車	W-5G.	4.9		0.6	(10)		115	86160		W-5G.	4.9		1.7	45	
53	85688	紡錘車	J-5G.	4.6		0.8	21		116	86396		W-4G.					
54	86119	紡錘車	V-NS118a・bG.	5.4		0.9	32		117	86456		W-3・4・6・7G.					
55	86380	紡錘車	W-4G.	4.7		1.1	21		118	86343		J-7G.					
56	85696	紡錘車	J-11G.			0.5	(9)		119	86098		V-NT117bG.	3.4		2.3	23	
57	86392	紡錘車	W-8G.	(5.3)		0.8	(12)		120	86112		V-NS118bG.					
58	86388	紡錘車	W-6・7G.	4.7		0.8	19		121	86113		V-NT119aG.					
59	86162	紡錘車	W-1G.	5.0		0.9	24		122	86397		W-4G.					
60	85681	紡錘車	J-8G.	4.9		0.9	26		123	86419		W-2G.					
61	86376	紡錘車	W-2G.	4.9		0.7	16		124	86398		W-6・7G.					
62	86374	紡錘車	W-5G.			0.7	(7)		125	86379		W-3G.					
63	86391	紡錘車	W-8G.	4.8		0.5	15		126	86399	土 鉢(?)	W-5G.	5.4		2.6	32	

11 各調査区出土石器、玉類

(1) 石器 (第1分冊 第117~138,141図、図版76~94参照)

第1分冊では各調査区出土石器、玉類を一括収録した。その理由は遺構出土品が図化点数の20%以下と少なく、大部分が単独で時期の特定が困難な遺物包含層等からの出土品であるためである。第1分冊第4表に遺構出土石器、玉類を示したが、3種類以上が出土した遺構はI-3号溝、I-4号溝、N-2号土坑、V-5、6号土坑、V-5号溝の6箇所である。

第1分冊第3、4表(調査地区別石器、玉類出土(計測)点数一覧表・遺構出土石器、玉類一覧表)は器種分類に一部誤りがあるため修正し、第7、8表として以下に掲載する。

第7表 調査地区別石器、玉類出土(計測)点数一覧表(第1分冊第3表修正)

器種/調査地区	H	I	J	K	L	M	N	O	P	S	T	U	V	W	?	計
磨製石斧																
大型蛤刃石斧	2	17	7	-	4	-	3	-	-	-	-	-	4	12	-	49
片刃石斧	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5
扁平片刃石斧	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	6
柱状片刃石斧	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
小型両刃石斧	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
環状石斧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
未製品	-	4	9	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	12	1	31
環状石器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
はずみ車	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	12
石 鋸	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	6	-	12
石 錐	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	3	-	19
砥 石	1	6	6	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	10	-	26
叩き石	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	8
石包丁	-	6	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	16	-	33
石 錘	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
石 鏃類似石器	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4
石 磨製石鋸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
打製石鋸	1	5	11	-	1	-	1	-	-	-	-	-	41	32	4	96
未製品	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	4	-	43
石 槍	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
磨製石剣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
不定形刃器	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	-	15
石 核	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3
その他(名称不明石器)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	6
小 計	5	45	74	0	13	0	9	0	0	0	0	0	105	128	5	384

勾 玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
勾玉未製品	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
管 玉	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
管玉未製品	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	4	-	19
ガラス玉	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
垂 飾 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
玉未製品	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	7	-	13
小 計	0	2	3	0	3	0	2	0	0	0	0	0	19	13	0	42

第8表 遺構出土石器、玉類一覧表(第1分冊第4表修正)

遺 構 名	出土石製品(番号)	遺 構 名	出土石製品(番号)
H-5号溝	打製石鋸(243)	N-2号土坑	大型蛤刃石斧(1,41,48)
I-1号土坑	磨製石斧未製品(79)		磨製石斧未製品(91,97) 砥石(151,158)
I-1号井戸	大型蛤刃石斧(38)	N-5号土坑	管玉(388)
I-2号井戸	大型蛤刃石斧(37)	N-11号溝	管玉未製品(426)
I-3号溝	大型蛤刃石斧(7,13,17,20,30,35,40,42,43,46,47) 扁平片刃石斧(61) 小型両刃石斧(65) 磨製石斧未製品(76,81,88) はずみ車(101,103) 砥石(152,159,161,164,166,167) 叩き石(170,176) 石包丁(186,190,195,197) 石鋸(229,285) 管玉未製品(415)	V-4号土坑	石錐未製品(143)
		V-5号土坑	大型蛤刃石斧(19) 環状石斧(59) 石鋸(114)
		V-6号土坑	石鋸(117) 石鋸(322) 管玉未製品(421)
		V-9号土坑	石鋸(248)
		(V-1号溝)	石鋸(291)
		V-3号溝	石鋸(312)
I-4号溝	大型蛤刃石斧(21,24,32,24) 石包丁(192) 石錘(217)	(V-4号溝)	磨製石斧未製品(92) 石錐(125,134) 石鋸(275) 玉未製品(407) 管玉未製品(418)
L-1号土坑	小型両刃石斧(66)	V-5号溝	砥石(149) 石包丁(182) 石鋸(236,308,333) 管玉未製品(396,424) 玉未製品(408) その他(308)
N-1号土坑	磨製石斧未製品(98)	(V-7号溝)	石錐未製品(132)

注 カッコ書き遺構からの出土品は混入品である。

1) 磨製石斧

大型蛤刃石斧が多い。遺物包含層出土の同細片は図化していないこと、さらにほとんどの未製品が大型蛤刃石斧とみられることから両者を加えた場合、磨製石斧全体に占める割合は圧倒的である。

大型蛤刃石斧、同未製品（1～49, 69～96）

時期の把握できるものでは1,41,48,91（N-2号土坑）が弥生時代中期初頭頃に遡り、11,19（V-5号土坑）、24,32,45（I-4号溝）が中期、7,13,17,20,30,35,40,42,43,46,47,76,81,88（I-3号溝）、37（I-2号井戸）が後期前～後葉といえる。S調査区では石器の出土が皆無であり、本遺跡での石斧の下限は後期後葉でも古い段階と推定している。前出遺物からは時期による形態差は特に見出せなかった。

製品で完存するものは1点（2）のみでしかもかなり使い込んでいるため、規格を厳密に検討できないが、大形品では長さ15cm以上、刃幅平均6cm前後である。厚さは5cm弱のものと、やや扁平で3cm強のものに分かれるようである。重量は91（未製品）が739g、20（刃部欠損）が675gであることから厚手の重いもので700g程度と推定できる。明らかに小型品として区分できるものとして16～18, 49があげられる。これらは長さ12cm前後、重量200g程度と推定している。

未製品も土坑、溝の混入品とJ, W調査区遺物包含層の二次堆積品からなる。これまでの調査では工房跡は発見されていないが、まとまった資料としては本県唯一のものである。粗割・打裂調整、敲打調整の各段階未製品がみられる。研磨調整段階の未製品は折損した製品との区別が難しく、観察表で未製品としたものの中には含めていない。1～49の製品中に含まれている可能性がある。粗割・打裂調整段階（69～81,88,90）未製品には母岩を直方体に粗割した後、打裂調整をおこなっているものが大部分を占め、82のように転石を利用して粗割をせずに打裂調整をおこなっているものは僅かである。しかし、粗割をおこなっている15点のうち10点に自然面（風化面）が残っており、岩塊から芯材を精選したものだけでなく、岩塊の表面付近をも利用している。粗割段階の大きさは大形品で幅8～9cm、厚さ6cm前後を測る。ほとんどが中央部で折損しているため、長さははっきりしないが、71, 72から18cm前後、重量2～2.5kg程度はあったものと推定している。製品長12cm程度の小型品の未製品は抽出できなかった。

片刃石斧、同未製品（50～53,55,97,98,99）

本石器は第1分冊第5表（掲載遺物観察表（石器））において、扁平片刃もしくは扁平片刃？と分類したが、ここで訂正しておく。

長さ10cm以上の大型品で基端幅が刃部幅よりやや狭く、主面は平面ではなく横断面中央部は膨らんでいる。刃縁が円刃、刃面が凸刃である。51,52,55も本類とみられる。本類は縄文時代の定角式石斧に近い形態を呈している。遺構出土品で時期のわかるものに、同一個体である97,98（N-1, 2号土坑）がある。主面が曲面であることから装着方法の点で、また、当地の一般的な扁平片刃石斧に較べ大型であることから伐採石斧とも考えられる。

扁平片刃石斧（54,56,61,62,63,68）

時期の把握できるものは61（I-3号溝（上部の下））のみである。完形品が2点のみで分類できない。長さ6～8cmと4cm前後の小型のものがある。

柱状片刃石斧（57,60）

2点出土している。双方とも遺物包含層からの出土で、時期の特定はできない。57は刃縁が一部欠損しているが、ほぼ完形である。抉りはない。

環状石斧（58,59）

破片が2点出土している。59は中期に属する。復元した重量は58が500g、59が300g程度となる。孔（内）径はそれぞれ2.2, 3.8cm前後に復元できる。

小型両刃石斧（64～67）

67は小型の大型蛤刃石斧の刃部であろう。他は狭基で、重量20～30 g程度である。66は弥生時代中期、65は同後期後葉頃に属する。

2) 環状石器（100）

石材は緑色凝灰岩で風化が進み表面はもろい。環状になると推定しているが、歪みが大きく法量は復元できない。側縁に擦痕がみられる。用途不明。

3) はずみ車（101～112）

中心の穿孔状態や重量から「石製紡錘車」とはいい難く、機能的な器種名とした。形態は3類、法量は2類に分類できる。

形態では算盤玉形を呈し、中心の孔径が小さなI a類（101,103）、扁平な円錐形を呈し、中心の孔径はI a類と同様に小さいI b類（102,104,111,112）、および中心の孔径が大きく、ドーナツ形を呈するII類（105～110）に分類した。法量では外径11～14cmの大型品（101,102,111,112）と7～9 cmの小型品に区分できる。石質は白色凝灰岩が半数を占める。

I類の孔径は8 mm前後で、101,102の孔内面（先端付近）には回転擦痕が認められる。本類は綿密な器面調整（研磨）がなされ、また当時の器具としてはかなり真円に近く製作されている。重量は101,102は現存値845,135 gから推定して900,500 g、103は400 gを測る。用途は証明できないが、かなりの慣性力を持ち、また回転軸の上端に取付けることによってその重量も利用していると推定できる。したがって、舞鏝あるいはさらに複雑な器具の一部であることはほぼ間違いない。回転軸が細いことから石製品、特に玉の穿孔に使用していると想定したい。本類は福井県では玉生産をおこなっている遺跡で数例発見されている。

II類は孔（内）径2～3 cmで、I類なみに器面が平滑なもの（105）と表面が風化しているものがある。機能はI類と同じであるが用途は異なると考えている。遺構出土品で時期の把握できたものは101,103（I-3号溝、弥生時代後期前～後葉）である。

4) 石 鋸（113～124）

主として玉生産の施溝分割に使用された施溝具である。図化資料以外に細片が約10点出土している。石質は紅廉石片岩が7割を占め、他は雲母片岩、片磨岩である。図化したものはすべて破片であって器長は不明、幅は最大4.9 cm（113）、最小1.2 cm（122）、厚さ0.9～0.3 cmと大きさにばらつきがある。刃は両平刃または両凸刃で、刃縁が摩耗して丸みをもつものもある。両端に刃をつけたものは113,117,121,122、片端のものは116,118である。

遺構出土品で時期の特定できたものは114（V-5号土坑、弥生時代中期）1点である。

5) 石 錐（125～143）

石質は1点（142）を除きすべて輝石安山岩で、打製石錐は3類、磨製石錐は2類に分類できる。打製石錐は、頭部と錐部の境が明瞭なもの（125,128,129,131）、平面形が三角形で頭部と錐部の境が不明瞭なもの（126,127,130,133～135）、棒状のもの（136,137）がある。

138～140は破片のため分類できない。磨製石錐は錐部側縁を研磨し、多角柱または多角錐に仕上げたもの（141,142）と、玉錐未製品と考えられるもの（143）がある。掲載遺物観察表（石器）では使用痕のないものは未製品としたが、被穿孔物の材質によっては錐先端に使用痕が付かないこともありうるため、打製石錐についてはさらに検討が必要である。

6) 砥 石（144～169）

砥石は図化した26点以外にも細片や砥ぎ面状の使用面をもつ礫が多数出土している。石材は

安山岩類、凝灰岩類が多い。

形態から以下の6類に分類したが、出土品のほとんどが破片のため判然としない。

I類は扁平な直方体で大型のもの(144,145)、II類は扁平で不定形な大型若しくは中型のもの(160,161,162,164,165)、III類は直方体若しくは歪んだ六面体で中型のもの(151,152,157)、IV類は小型で直方体のもの(155,156)、V類は小型で自然礫を利用した不定形なものである(158,159)。147は砥ぎ面が凹んでいるがI類に類似した形態であろう。各類とも使用面は1面とは限らず、特にIII、IV類は数面を使用している。また、158は弥生時代中期初頭の玉砥石であって端部に径、深さともに約1cmの穿孔があり、内部に回転痕がみられる。

VI類(166~169)は太型蛤刃石斧の転用品であって、石斧の折損面(主として横断面)が研磨によって平滑化している。これらは大型の器物の研磨作業に使用したと考えられる。

7) 叩き石(170~177)

170,171は太型蛤刃石斧の転用品で、刃部で敲打している。177は側縁全周に敲打痕が見られ、中央部は敲打によって凹んでいる。170はI-3号溝上部から出土し、弥生時代後期後葉頃に属する。

8) 石包丁(178~209,222)

点数は33点と多いが器形を復元できるものは少ない。器面調整によって全面磨製品(I類)と、部分磨製品(II類)に大別できる。

I類は磨製石包丁として一般的な形態ではあるが、本遺跡では僅か2点(178,179)しか出土していない。このことは北陸地方での一般的傾向である。178は半月形直刃型で、復元長11cm前後である。222は本類の剥片とみられる。

II類(180~209)は量的には圧倒的に多い。基本的に刃部のみを研磨し、体部は軽く研磨しているものもあるが、剥離痕を残している。また、背部は図化資料には明確に研磨しているものではなく、母岩の風化面をとどめているものもある。全形がわかるものが少なく、法量差の数値化は困難である。いわゆる大型石包丁の抽出はできない。

形態では半月形直刃(178)、半月形外湾刃(196)、長方形直刃(184,186,201,207)、台形または半月形直刃(190,193,205)、台形または半月形外湾刃(199,202)の器形がある。II類中片刃は1点(184)のみで、刃部形態は直刃が大部分を占める。

210,211は石包丁II類でも小形品の石核の可能性もある。

9) 石鍬類似石器(212~215)

本石器は第1分冊第5表(掲載遺物観察表(石器))において、石鍬もしくは石鍬?と分類したが、ここで訂正しておく。

215以外は表面が平滑な河原石を剥離して利用しており、一面は自然面、背面は未調整である。片端は調整または使用によって丸く平滑化している。用途は不明である。

10) 石 錘(216,217)

216はいわゆる有頭石錘で、重量367gの完形品である。くびれ部には浅い溝を1条巡らせている。217はやや扁平な球形を呈し、重量277gの完形品である。中央部に幅1.6~2cm、深さ2~3mmの浅い溝を巡らせている。217はI-4号溝出土品で、弥生時代中期に属する。

11) 名称不明石器(218~221,223,224)

218は板状で各面が念入りに研磨され平滑である。両面穿による内径0.6cm、外径1.1cmの円孔がある。表面の一部に擦痕がみられる。219は扁平な棒状を呈し、おそらく端部付近で、細

くなった部分に径0.6cm前後の円孔がある。器面は全面研磨され、弱い稜線がみられる。221は分銅型で器面は研磨され、上端が一部欠失している。片面穿孔による径3～4mmの円孔がある。220,223,224はいずれも石質は粗粒砂岩で、220は両端は欠失している。粗い研磨調整で仕上げている。回転痕等の使用痕はみられない。223,224は中央部が膨らんだ棒状で完形品である。明瞭な使用痕はみられない。

12) 石 鏃

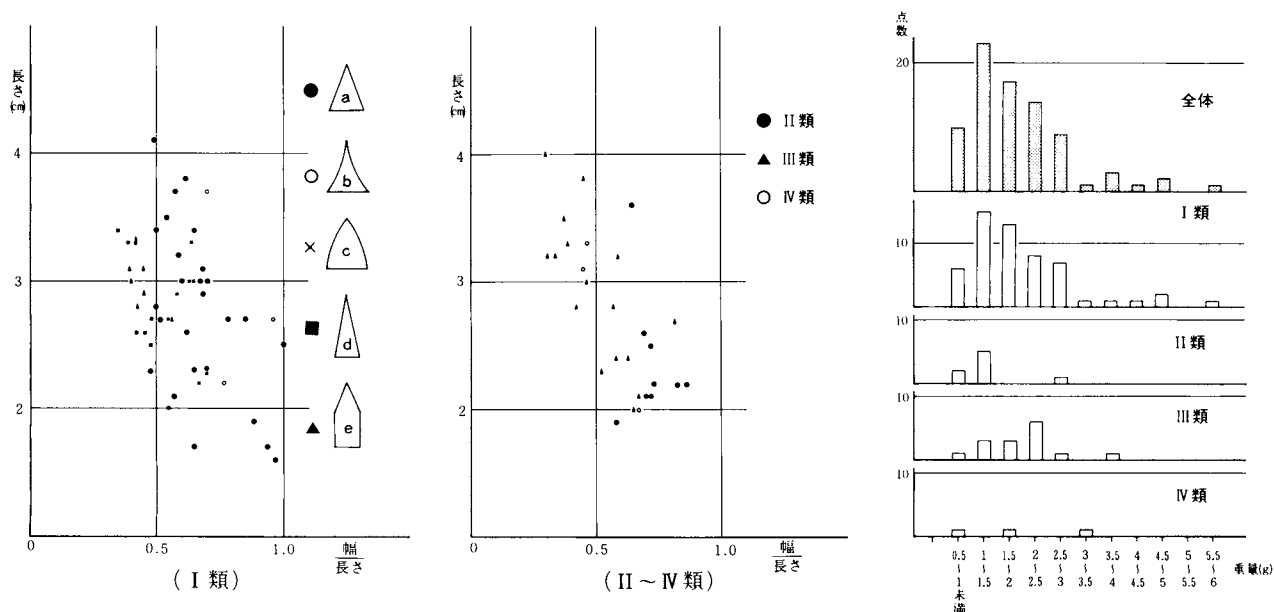
製品は若干の細片以外は出土品のほとんどを図化した。製品としたものは97点で、磨製石鏃1点、打製石鏃96点である。未製品は疑わしいものも一部含むが43点を抽出した。

磨製石鏃 (225)

1点出土した。石質は輝石安山岩である。基部に弧状の抉りを入れている。時期不詳。

打製石鏃、同未製品 (226～364,383)

製品は、平基 (I類)、凹基 (II類)、凸基 (III類)、凸基有茎 (IV類) に区分した。折損品で分類できないものもある。



第128図 打製石鏃の法量分布

I類は分類可能なものの64%を占める。細部形態からさらにa～eに細分できる。I a類は側辺が直線的なもので最も出土量が多い(28点、33%)。幅長比(幅/長さ)が0.5～0.7のものが主体で、0.8～1.0の幅広のものも少量含まれる。I b類(227,241,273)は側辺が内湾ぎみのもので量は少ない。I c類(236～238,243,251,263,267)は側辺が外湾ぎみのものである。I d類(249,250,255,257,258,265,275,280,300)は側辺が直線的で幅長比の小さな(0.35～0.5)形態で、I a類について多い。I e類(270,297,301～303,305～307)は五角形またはそれに近い平面形のものである。

II類は基部の抉が深いものは1点のみ(292)で、他はすべて浅く弧状のものである。側辺の形態は直線的なもの(II a類、259,287,289,291,293)と外湾ぎみなもの(II b類、271,281,284～286,288)がほぼ同量ある。

III類は尖基のものは1点のみ(311)で、明瞭な円基のものが5点(313,315～318)とやや膨らんだ程度のもので8点(248,260,264,294～296,298,299,304,314)ある。側辺の形態では直

線的なものが多く、内湾するものは1点のみ(264)である。細身のものは少なく(294~296, 299)、I d類とはあまり差異がない。基部以外はI e類に類似するもの(298,304)もわずかにみられる。

IV類はわずかに4点(319~322)のみ出土した。

遺構出土品がわずか数点のため、これらの時期的な取り扱いは困難である。未製品としたものも特定の工作遺構から出土したものではなく、各調査区からの集成である。一面に主要剥離面を残した扁平な三角錐状の段階のもの(334,335,338)は剥片ともみえるが、平基で小型のもの未製品としたい。

12) 石 槍 (366~368)

破片で大形なため剣との区別の問題が残るが、一応石槍とした。いずれも輝石安山岩製で、断面は菱形である。

13) 石 剣 (369)

V-12号土坑脇から出土した。時期の特定は困難である。有樋式磨製石剣片である。石質は頁岩であるが、本県に産出する一般的頁岩とはやや質を異にする所見が得られている。双孔の一部が残り、刃部は破損している。残存長5.1cm、復元幅4cm強をはかる。

14) 不定形刃器 (343,370~382,384)

第1分冊第5表(掲載遺物観察表(石器))では搔器、搔器?、?としたが訂正する。石質は375(フリント)を除きすべて輝石安山岩である。370~372は丁寧な細部調整がされており、243,373,374はやや雑である。削器と考えられる。375~377は楔形石器と考えられ、刃縁に使用痕がみられる。本石器は玉生産における施溝分割作業用とする考え方もあるが、本遺跡出土資料が玉生産用具と特定できるかは不明である。378~382,384は細部調整は部分的で未製品と推定している。

(2) 玉 類 (第1分冊 第139,140図)

勾玉・管玉・異形垂飾品がある。材質では翡翠・碧玉・メノウ(赤・白)・鉄石英・結晶片岩がみられ、メノウ以外に加工痕を確認した。玉石材はV・W調査区を中心に出土している。

1) 翡翠製玉類

翡翠は総重量で1.5kg程出土しており、そのうち加工痕がみられるものは16点を数えるにすぎない。原石は、自然面を残しているものから推定すれば、海岸の漂石よりも川の転石のようである。石核と考えられる408は最大の破片で、擦切り痕がみられるので当初はかなり大型であったと思われる。なお、翡翠で勾玉を作っていたと思われ、荒割—形割—研磨の工程が予想され、本資料でもある程度復元可能である。

401~410は施溝痕をもつ。碧玉製品に比べ溝幅は広くかつ深い。分割方法はともに同じと考えられるものの、剥離面から明確にしがたい。施溝具は不明だが、一側縁が横方向に稜をもって摩滅している剥片があり、これを施溝具にあてることもできよう。

400,402,405,409,410は剥片なので除外するとして、施溝方法を見てみることにする。399は平坦な一端面を基に隣接しかつ直交する二側面を縦方向に、もう一端面をさらに施溝分割して直方体を作っている。407,408は直方体を作ろうとして失敗した例であろう。401,403はその直方体をさらに薄くしたものと考えられる。401の場合剥離面が重複しないようにL字状に2ヶ所で計4ヶ所の施溝分割を施している。403の施溝部位は多少異なり一面に研磨が施され

ているが、基本的に401と同じ作業段階にあり、404はさらに研磨が進んだ段階である。なお398には擦切り痕はみられずおそらく小剥片をそのまま研磨して製品としようとしたものであろう。

385は勾玉の未製品である。全ての面に研磨痕がみられる。大きさの割にやや肉厚である。穿孔の痕跡はない。386は完成品である。体部はやや扁平で孔は片側から背よりに穿たれている。

2) 碧玉製玉類

緑色を呈する玉を考古学では碧玉と総称しているが、岩石学的にはこのような石は存在しない。本遺跡の碧玉質の石には緑色凝灰岩・輝緑凝灰岩・フリント・輝石安山岩・細粒砂岩が確認されている。いずれも管玉やその未製品・剥片・チップである。大部分が遺構から遊離した状況で出土しているので、時期を正確に特定することはできない。しかし弥生時代中・後期の遺構から出土していることに注目すると、上限を弥生時代に求められる。

寺村光晴氏によって荒割－形割－研磨－穿孔－仕上げの工程を示された。河村好光氏も述べているように製作過程を「分割、調整、加工」の工程に単純化できよう。その概念は『塚崎遺跡』の報告書に準じたい。ただし「加工工程」の語意をより明確にするために研磨・穿孔工程としたい。

分割工程

碧玉の原石はなく、石核・第1次剥片がわずかにみられる、荒割としての剥離作業は直接打撃によっているものと考えられる。これから順次剥離を繰り返して角柱状剥片を作り出す。主たる方法は石鋸によって溝を切り、楔による間接打撃による技術（擦切り）である。石鋸(113～124)は片岩系の石を、楔(375～377)はフリント・輝石安山岩を使用している。

擦切り溝は深いものと浅いものがある。深いものは幅も広く3～4mmで浅いものは2mm前後である。前者には第1次剥片などの大きな剥片に、後者は角柱状剥片に近づいた剥片に多くみられ、その使い分けがなされている。剥離面は比較的平坦である。新潟県下谷地遺跡における擦切りの分類では縦長に剥離するA系のものが多く、横長に剥離するB系は少ない。また、小口面にL字状に擦切られるb類が多い。

411～415は角柱状剥片の未成品である。411は擦切り分割による平坦な剥離面にさらに半截するための擦切り痕をもつ。その他の面も比較的平坦なので、擦切りによって剥片を作出していると考えられる。412は両小口面に擦切り痕をもつが、図面の下の方の剥離は最も新しく、一般的な板状剥片からの作出ではないようである。413・414は412よりも進んだ作業段階を示し、1面に研磨が施されている。これからさらに剥離される可能性も考えられる。

417,419～423は小さな角柱状剥片で、基本的にA系の技法で剥離されている。417は小口および側面に擦切りが施されている。板状剥片からの規則的な剥離ばかりではない。吉崎・次場遺跡では荒割段階で擦切りがみられ、その広汎な利用が認められる。なお、注目できる416は擦切りによる角柱削出作業中の剥片である。同一箇所を両側から擦切っている。おそらく426のような両側を研磨した板状剥片をカットする技法と思われる。

418,424,425には擦切り痕が認められない。それぞれ主要剥離面をもち、その他の面は間接打撃および押圧剥離によって角柱状剥片を作出している。弥生中期の遺構中から出土し、これらを擦切りによらない別系の技術とすべきか、それとも擦切りの痕跡が消えたものなのか判断できない。

調整工程

押圧剥離によって調整を加えているものは少なく、パンチを用いた間接剥離もみられる。注目できるのは413,414,421で平滑にするために研磨を施している。413はさらに半截しうる剥片で、1～2面を平滑にしているので四角柱を作るための作業とも考えられる。反対に小剥片を利用している421では四周を研磨し四角柱にしようと努力している。このように研磨作業が全て調整工程というわけではない。

研磨・穿孔工程 (394～397)

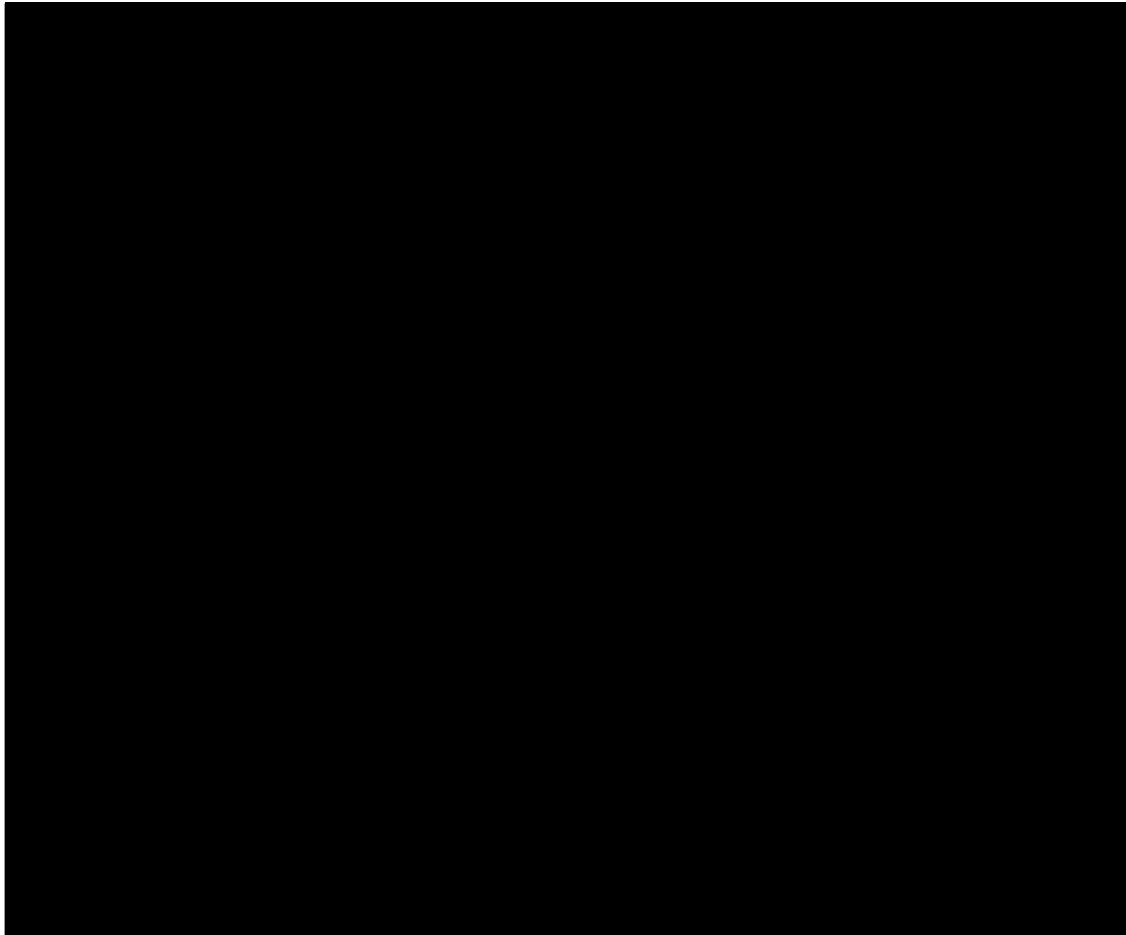
4点のみである。いずれも多角柱を呈し、側面は一般によくみられるように管玉の主軸方向あるいはやや斜行して研磨が施されている。394は大型品のためか主軸に直交する研磨痕もみられる。端面にも研磨痕がみられ、394の一方端面に浅い切込みがみられる。395の端面は未調整のまま、研磨が側面から端面へ施される例である。396,397の稜線は不明確である。なお小口面の小凹痕はみられない。

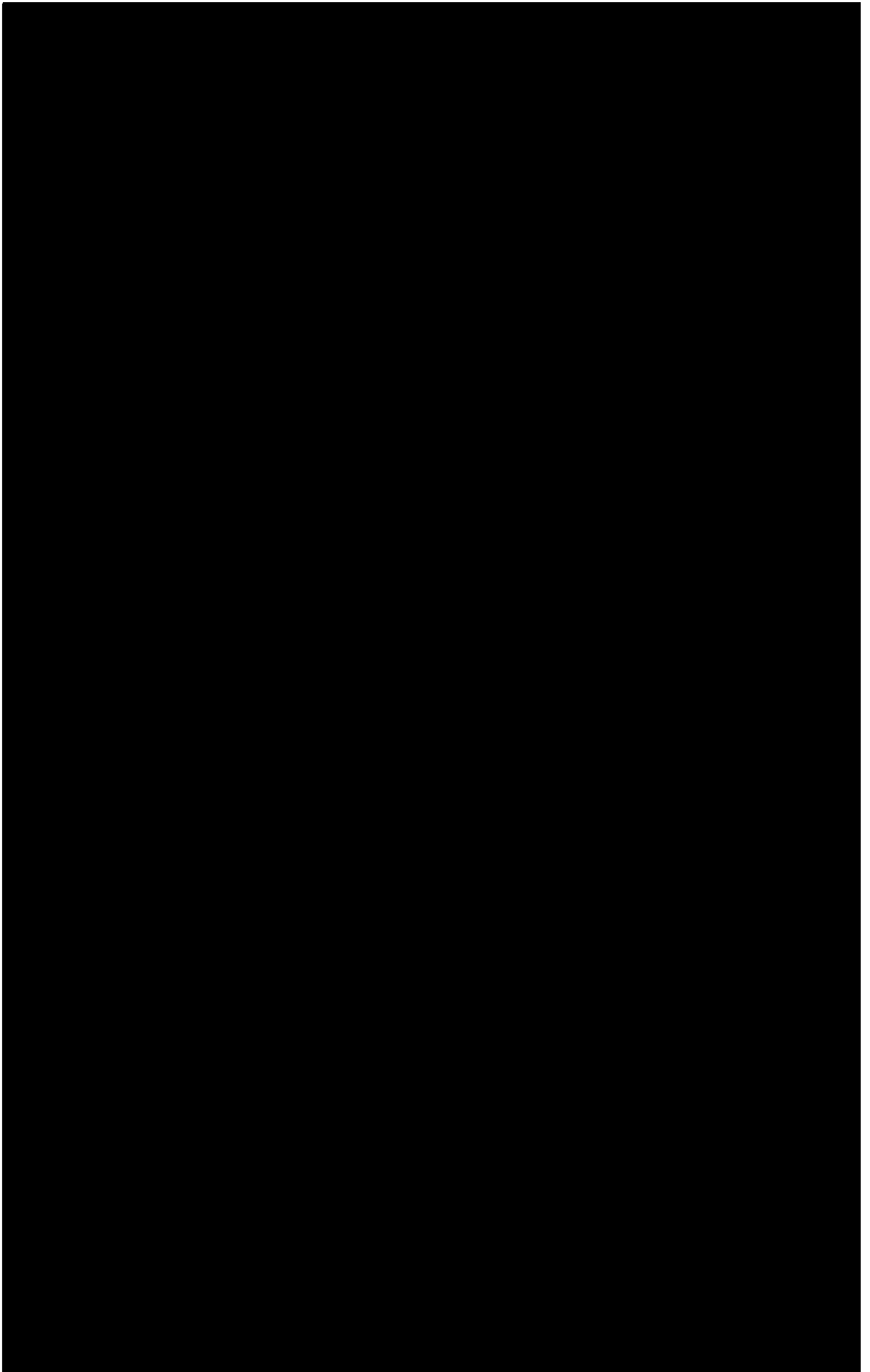
完成品 (387～390)

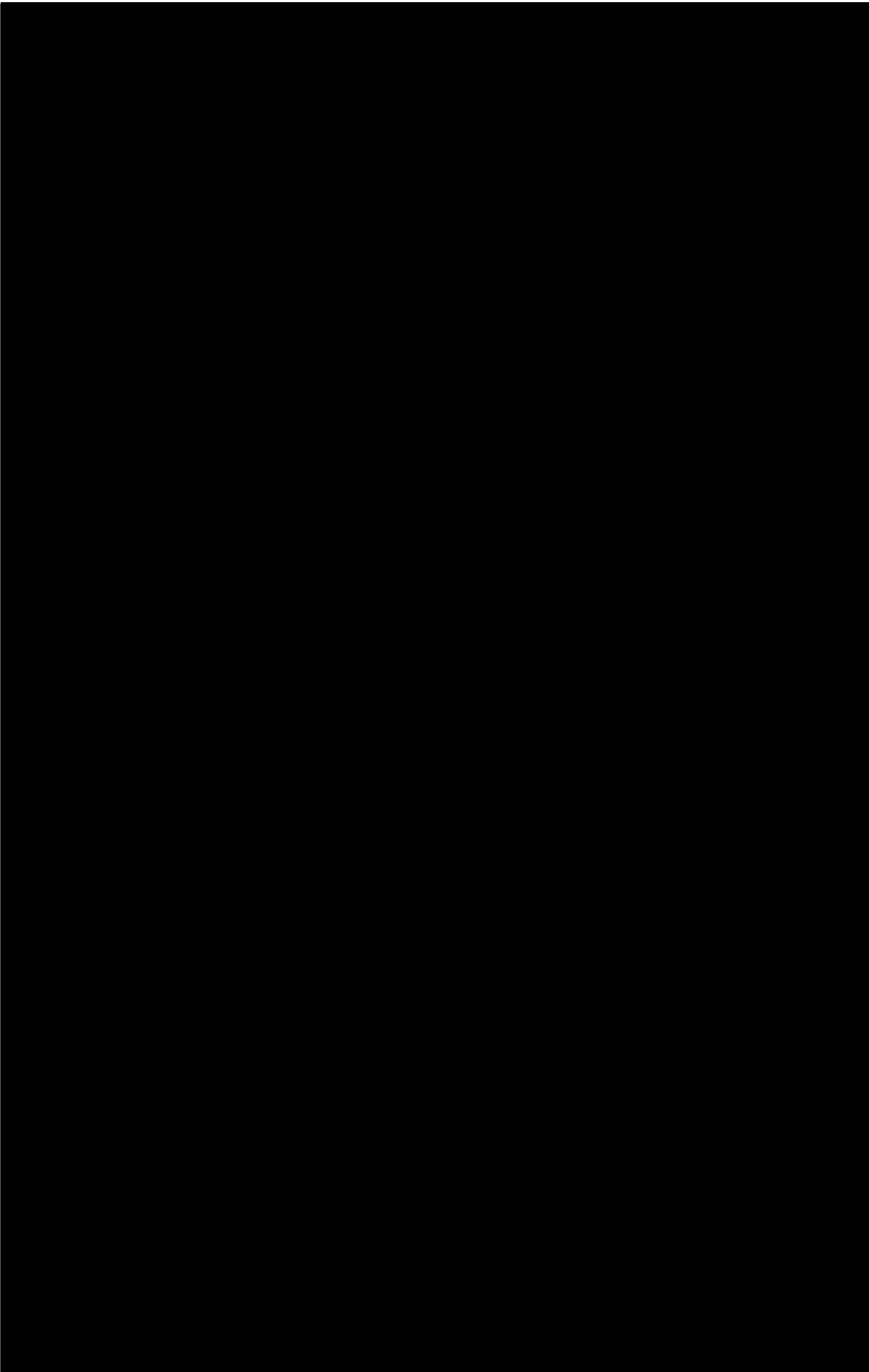
いずれも両側から穿孔されている。387,388は小型品で、弥生時代的なものである。硬質の石材で作られている。それに対し389,390はやや大型で軟質の石材である。

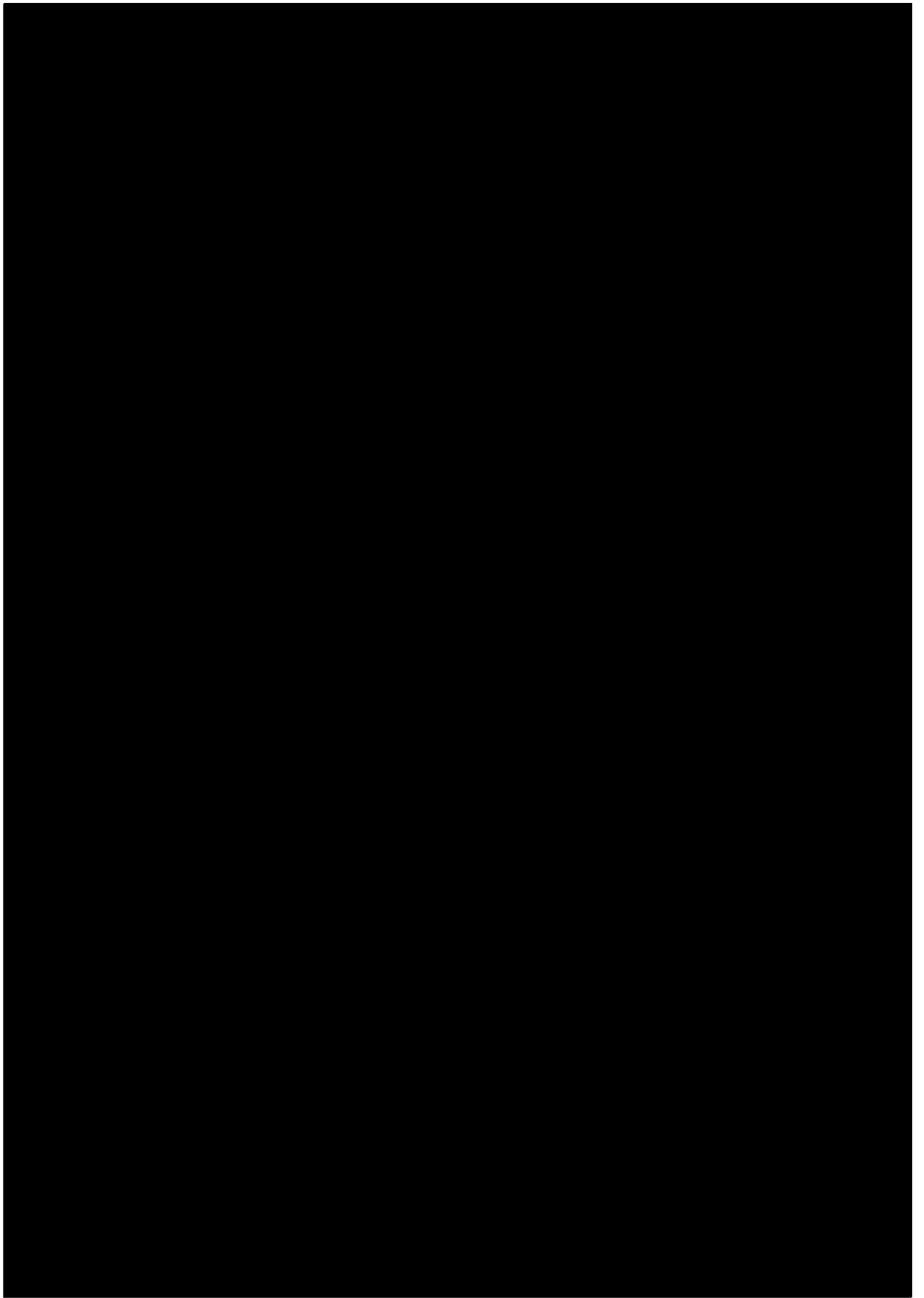
3) その他の玉類 (392,393)

392は板状の木の葉形を呈する。表裏および周囲は研磨によって整形されている。結晶片岩で作られている。393は粘板岩製で穿孔前の管玉状を呈する。荒く研磨が施され、未完成と考えられる。









13 各調査区出土木製品

本遺跡で確認された木製品は総数78点である（第31・32表）。出土状態では遺物包含層から出土しているものもわずかにみられるが、大半は土坑・溝・井戸などの遺構から検出されたものであり、遺構別の木製品出土状況については第30表に表している。木取りに関しては奈良県天理市布留遺跡の報告（金原正明・嶋倉巳三郎 1981 布留遺跡研究中間報告3『出土木器の樹種と木取りⅠ・Ⅱ』布留遺跡天理教発掘調査団）を参考にしている。

なお、樹種の欄に付されている番号は、鈴木三男氏が樹種同定の際に付けられた番号である。また、断面が楕円形のもののは法量の欄において幅と厚さで長軸・短軸を表している。

第30表 遺構出土木製品一覧表

遺 構 名	出土木製品 (番号)	遺 構 名	出土木製品 (番号)
I-3号溝	平鋏未製品(8) 柱状部材(41)	S-2号土坑	建築部材(43)
	長薄板材(44,45) ヘラ状木製品(47)	S-5号土坑	木鋏(5) 鉄斧柄(6,7)
	長厚板材(48)	S-14号土坑	薄板材(16,19)
I-4号溝	平鋏未製品(9) 丸鋏未製品(10)	S-17号土坑	木包丁(1)
	椅子(39)	S-27a土坑	有頭棒(30)
I-1号井戸	井戸杵(40)	S-4a溝	ヘラ状木製品(15) 板材(33)
N-2号土坑	鋏(2) 五辺曲折形木製品(20~22)		薄板材(34) 角材(35~38)
		棒材(31)	T-1号井戸
O-2号溝	平鋏未製品(11) 建築部材(49)	V-5号溝	鋏(3,4) 杭(51~78)

木包丁 (第129図1)

木製穂摘具のことである。S-17号土坑の第5層地山近くから1点出土している。背部の一部を欠損しているが、ほぼ完形であり、両側面は生きている。横長の平行四辺形を呈し、短辺の一辺が短く、刃部は背部に平行していない。長さは6.2cm、幅は13.8cm、厚さは1.5cmを測り、いくらか水分を含んだ状態での重さは50.0gである。製作技術的にはムクロジの木から本柱目材の薄板材を切り出し、丁寧に加工調整している。丸く加工された背部に平行して溝を片面に作り出しており、溝には加工痕がみられる。その断面は台形を呈し、最大幅で上面1.2cm、下面0.6cm、深さ0.4cmを測る。溝に2個1対の紐孔が穿孔されており、体部中央よりやや左側に片寄った所に位置する。紐孔はまず溝のある面からあけられ、引き続き他面から穿孔されており、直径は両面とも1.0cm、断面の中央付近は0.6cmと狭くなっている。刃部は片刃であり、溝のある面に作り出されており、断面の角度は約30度をなす。また、短辺は年輪と平行するように切断されており、刃部は年輪に対して約45度の角度を持っている。さらに、溝のある面の左側が木裏であり、右側が木表である。時期的には、弥生時代後期後葉に属する。

平 鋏 (第129図2~4)

N-2号土坑より1点、V-5号溝より2点出土している。2の残存状態は極めて悪く、3・4は鋏身から剥離した舟形隆起であり、広鋏か狭鋏か判別がつかないためにここでは平鋏と総称するものである。樹種はいずれもアカガシ亜属であり、木取りは板目材Ⅰであろう。

鋏未製品 (第130図8~11)

鋏の未製品と推定されるものは4点出土しており、その内訳は平鋏未製品3点(8・9・11)、丸鋏未製品1点(10)である。樹種の面からみると8~10がアカガシ亜属であり、11はキハダである。木取りでは板目材Ⅰが2点、板目材Ⅱ・追柱目材が各1点ずつである。

木 鋏 (第129図5)

S-5号土坑から1点出土しており、ヤスになる可能性もある。先端部は少しかけているがほぼ完形であり、全体的な形としては柳葉形をなしている。全長は7.8cm、幅0.9cm、厚さ0.7

を測り、茎部は長さ2.3cm、幅0.4cm、厚さ0.4cmである。平面での先端角度は20度をなし、断面での先端角度は41度を呈する。木取りは板目材Ⅰと推測され、利用樹木はヒノキ科?であると推定されている。所属時期は弥生時代後期後葉である。

鉄斧柄 (第129図6・7)

2点出土しており、いずれもS-5号土坑から検出され、弥生時代後期後葉の所産である。ここでは部位を斧台部と柄部に分け、さらに斧台部を台部と装着部に分けて考えている。

6は横斧の鉄斧柄であると推測される。樹種はサカキであり、幹と枝の股を利用しており、幹を斧台部とし、枝を柄部に当ててる。そして斧台部と柄部のなす角度は74度である。斧台基端から柄部の付け根にかけては、比較的きれいに削り加工しているが、全体に加工は荒く、枝幹材ほとんどそのままの状態の個所もある。装着部は先端にかけて細く尖っており、付け根部の平面形態は隅丸方形をなしている。また、装着部は斧台の前面中央にあるのではなく、正面から向って右寄りになっている。台部は長さ10.8cm、幅3.0cmであり、台部の断面は直径3.0cmのほぼ円形を呈する。装着部は長さ2.4cm、幅1.2cmであり、したがって斧台部の長さは13.2cmである。握り部の付け根は、長軸2.0cm、短軸1.7cmの楕円形となっている。

7も横斧の鉄斧柄であると推測される。サカキの枝幹材を素材とし、全体的に丁寧に削り加工されている。台部基端に削り痕が認められるが、他の部分は加工痕が観察できないほどきれいに調整されている。装着部は折損しており、その折れ口部分は直径1.4cmの円形を呈する。台部は長さ11.6cm、幅3.1cmであり、その断面は隅丸長方形に近い楕円形を呈する。柄部は欠損しており、長さは推定47.3cmでその先端は細くなっている。柄部の握り部は1.8×1.6cmのほぼ円形を呈する。柄部と斧台部のなす角度は約61度である。

皿状木製品 (第130図12)

トチノキの本柁目材?であり、周縁が部分的に炭化している。時期は不明である。

木 皿 (第130図13)

T-1号井戸から1点出土しており、平安時代の所産である。ケヤキの木柁目材であり、底面は肉厚である。底面に比べて立ち上がり部分は色調が黒ずんでいる。

椀状木製品 (第130図14)

弥生時代に属する可能性もあるが、時代・時期を明確にしえない。スギの板目材Ⅰを素材としており、全長36.6cm、幅8.8cm、厚さ1.0cmである。茎部では長さ7.0cm、幅2.4cm、厚さ0.9cmで端の方に向って薄くなっている。体部中央付近で孔が2個あけられており、その間隔は2.5cmである。表面での孔の直径は1.0~1.5cm、断面中央部では0.4~0.6cmを測る。この木製品は柄と組み合わされて使用されたものと考えられる。すなわち、柄を本体に重ね合わせ、茎部の所で一度きつく縛りつけ、さらに孔に紐を通してもう一度強く縛りつけたものと推測される。

有 頭 棒 (第131図28~30)

3点出土している。29はスギの追柁目材であり、布巻具になる可能性もある。28・30は漁具としての機能・用途も考えられよう。

五辺曲折形木製品 (第131図20~22)

N-2号土坑から3点出土している。所属時期はいずれも弥生時代前期末葉~中期初頭であり、樹種はマタタビ属である。

20は長さ96.5cm、直径4cm前後の心持材を4個所で折り曲げ、その内側に他の部と接合させるためのU字状の受け部を加工している。両面と内側側面部は平坦に加工されているが、外側

側面部は素材の形をそのまま生かして丸味を帯びている。両端は膨らむように製作されており、あたかも脚状となっている。法量においては、湾曲させて作られた製品の高さは42.6cm、幅61.0cmである。U字状の受け部は、高さ2.8～36cm、幅3.3～3.7cmである。また、作り出された5辺は、21.0～26.0cmの長さである。

21はU字状の受け部で折損しており、先端部に膨らみを持つことより脚部であると推測される。22にはU字状の受け部が認められることから、本体の一部であると考えられ、全表面積の半分が焼けて炭化してしまっている。

椅子 (第132図39)

I-4号溝から1点出土しており、弥生時代中期後葉の所産である。エノキ属の木を4分割して縦木取りし、一方の脚部の裏が年輪の心部に当たるようにし、もう一方の脚部側面と腰掛け部上面が木の外表に向い合うような方法で木取りされている。

桶 (第132図40)

I-1号井戸の枠である。時期的には弥生時代後期後葉に属し、スギの心持ち材を削り貫いて製作されている。上面はやや欠損しており、現存値で長軸46.4cm、短軸29.8cmの楕円形を呈し、厚さは約0.5cmである。底面は長軸57.1cm、短軸33.4cmの楕円形を呈し、厚さ4.4cmを測る。また、底面から上面までの高さはおよそ60.0cmである。底面から高さ10～12cmの所に段が付けれられており、その部分はやや厚くなっていて5cm前後を測る。有段面には幅3cm位の加工痕がみとめられる。また、底面から高さ2.5～4.0cmにかけて幅1.5cmのほぞ穴が穿孔されており、深さ2.0～3.0cmである。全体に加工・調整は丁寧であり、一個所蟻継で補修されている。

部材

8類に分類され、ここではこれらを部材と総称するものである。すなわち、建築部材(43・49)、板材(33・50)、薄板材(16～19・34)、長薄板材(44～46)、長厚板材(48)、棒材(26・27・31・32)、角材(35～38)、柱状部材(41・42)である。樹種ではスギが多いという傾向にある。

丸木杭 (第134図51～63, 第135図64～78)

V-5号溝から28本確認されている。これらはいずれも杭が打たれていたかのように並列して検出されており、先端部の削り痕の状態からは石斧・鉄斧のいずれによって加工されたものであるか判断しがたい。時期的には、弥生時代中期前葉～中葉に属する。

第31表 掲載遺物一覧表(木製品)

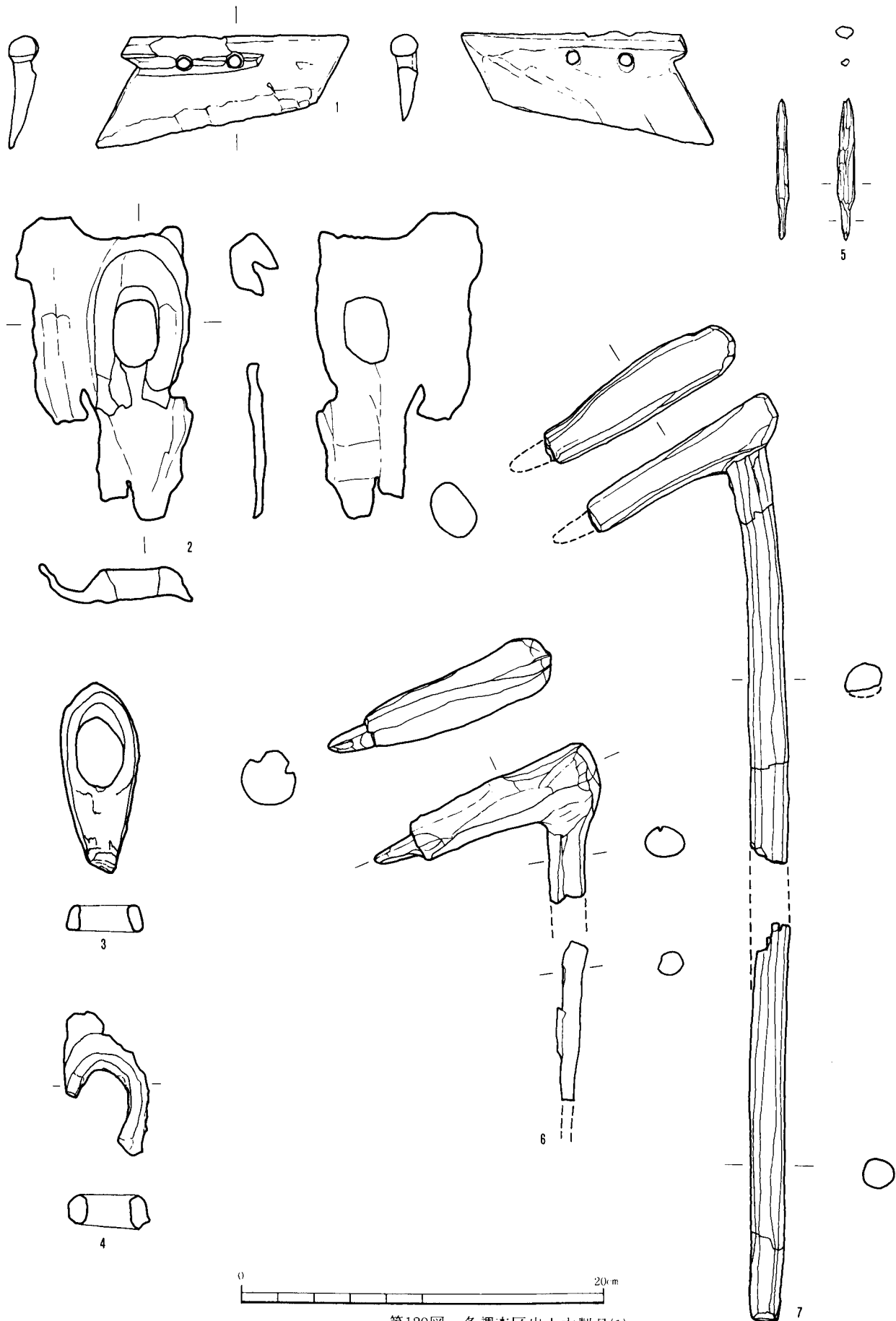
報告番号	器種	調査地区	出土地点	時代・時期	木取り	樹種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	
1	木包丁	S	S-17号土坑 第5層地山近く	弥生後期後葉	本榎目材	ムクロジ	8	13.4	6.1	1.7
2	平鋏	N	N-2号土坑	弥生前期末葉～中期初頭	板目材I	アカガシ亜属	39	16.4	9.5	1.8
3	平鋏	V	NT119 d V-5号溝	弥生中期前葉～中葉	板目材I?	アカガシ亜属	10	10.3	4.2	1.4
4	平鋏	V	NT119 d V-5号溝	弥生中期前葉～中葉	板目材I?	アカガシ亜属	11	7.8	4.6	1.8
5	木鋏	S	S-5号土坑 下	弥生後期後葉	板目材I?	ヒノキ科	7	7.8	1.0	0.6
6	鉄斧柄	S	S-5号土坑	弥生後期後葉	枝幹材	サカキ	4	19.4	13.2	3.0
7	鉄斧柄	S	S-5号土坑	弥生後期後葉	枝幹材	サカキ	6	50.0	11.6	3.1
8	平鋏未製品	I	I-3号溝 NW122 a W-30	弥生後期前葉～後葉	板目材I	アカガシ亜属	41	25.6	16.2	3.9
9	平鋏未製品	I	I-4号溝 NV120 b W-2	弥生中期後葉	板目材I	アカガシ亜属	1	24.8	16.4	3.4
10	丸鋏未製品	I	I-4号溝 NV120 b W-3	弥生中期後葉	追榎目材	ケヤキ	2	22.4	23.4	1.8
11	平鋏未製品	O	O-2号溝	弥生末～古墳初頭	板目材II	キハダ	29	35.2	26.6	6.0
12	皿状木製品	J	J-3 G 包含層	不明	本榎目材?	トチノキ	25	29.2	20.4	2.8
13	木皿	T	T-1号井戸	平安	本榎目材	ケヤキ	3	20.2	20.2	1.2
14	椀状木製品	N	N-3・4 G 包含層	不明(弥生の可能性大)	板目材I	スギ	13	36.4	8.8	1.1

報告番号	器種	調査地区	出土地点	時代・時期	木取り	樹種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	
15	へら状木製品	S	S-4 a 号溝 W-9	弥生後期後葉・古墳初頭	板目材 I ?	ムラサキシキブ属	9	26.5	3.5	1.2
16	薄板材	S	S-14号土坑	弥生後期後葉	板目材 I	スギ	5	18.8	7.4	0.7
17	薄板材	J	包含層	不明	本柱目材	スギ	19	13.2	5.2	0.6
18	薄板材	U	包含層	不明	板目材 I	スギ	37	9.8	6.0	0.4
19	薄板材	S	S-14号土坑 W-3	弥生後期後葉	本柱目材	アカガシ亜属	40	18.2	6.2	2.2
20	五辺曲折形木製品	N	N-2号土坑	弥生前期末葉～中期初頭	心持材	マタタビ属	23	42.6	60.2	3.4
21	五辺曲折形木製品	N	N-2号土坑	弥生前期末葉～中期初頭	心持材	マタタビ属	35	20.6	3.2	2.4
22	五辺曲折形木製品	N	N-2号土坑	弥生前期末葉～中期初頭	心持材	マタタビ属	24	27.6	3.6	2.8
23	柄穴穿孔棒材	J	J-2 G	不明	—	—	—	41.0	3.8	1.2
24	柄穴穿孔棒材	J	J-2 G	不明	板目材 I	スギ	22	34.4	2.8	1.2
25	柄穴穿孔板材	J	J-2 G	不明	板目材 II	スギ	12	34.4	14.0	1.6
26	棒材	J	J-3 G	不明	—	—	—	77.0	2.8	1.5
27	棒材	J	J-3 G	不明	—	—	—	65.8	2.2	2.0
28	有頭棒	J	J-3 G	不明	—	—	—	58.2	1.6	1.6
29	有頭棒	J		不明(弥生の可能性大)	追柱目材	スギ	14	21.0	3.0	1.8
30	有頭棒	S	S-27 a 号土坑	弥生後期後葉～後期末葉	板目材 I	スギ	38	14.8	1.2	1.0
31	棒材	N	N-2号溝	弥生前期末葉～中期初頭	板目材 I	ヤブツバキ	20	12.2	1.7	1.6
32	棒材	J	3 G	不明	板目材 I	スギ	21	32.4	2.0	1.4
33	板材	S	S-4 a 溝	弥生後期後葉・古墳初頭	板目材 I	スギ	26	15.8	5.8	2.0
34	薄板材	S	S-4 a 溝	弥生後期後葉・古墳初頭	追柱目材	スギ	16	16.6	8.0	0.8
35	角材	S	S-4 a 溝	弥生後期後葉・古墳初頭	板目材 I	スギ	15	26.0	4.6	2.7
36	角材	S	S-4 a 溝	弥生後期後葉・古墳初頭	板目材 I	スギ	18	25.4	5.2	3.2
37	角材	S	S-4 a 溝 W-4	弥生後期後葉	板目材 I	スギ	17	20.4	7.0	2.8
38	角材	S	S-4 a 溝 W-10	弥生後期後葉	板目材 I	スギ	27	22.0	7.0	2.6
39	椅子	I	I-4号溝 NV121 d	弥生中期後葉	縦木取り	エノキ属	28	27.6	4.6	5.0
40	桶	I	I-1号井戸	弥生後期後葉	心持材	スギ	36	57.3	34.5	60.0
41	柱状部材	I	I-3号溝 NV120 b・d	弥生後期前葉～後葉	—	—	—	23.6	12.0	9.2
42	柱状部材	—	不明	不明	不明	イヌシデ節	34	17.0	8.4	6.4
43	建築部材	S	S-2号土坑	古墳初頭	心持材	クマノミズキ類	33	40.6	5.1	4.8
44	長薄板材	I	I-3号溝 NW122 A W-30	弥生後期前葉～後葉	板目材 I	スギ	31	69.2	6.0	2.6
45	長薄板材	I	I-3号溝	弥生後期前葉～後葉	—	—	—	50.5	4.6	2.5
46	長薄板材	U	不明	不明	板目材 I	スギ	32	28.2	3.6	1.2
47	へら状木製品	I	I-3号溝	弥生後期前葉～後葉	—	—	—	62.1	6.4	1.8
48	長厚板材	I	I-3号溝	弥生後期前葉～後葉	—	—	—	101.8	20.2	7.0
49	建築部材	O	O-2号溝 W-1	弥生末～古墳初頭	—	—	—	39.4	15.8	10.0
50	板材	J	J-3 G	不明	板目材 I	スギ	30	43.6	18.1	3.4

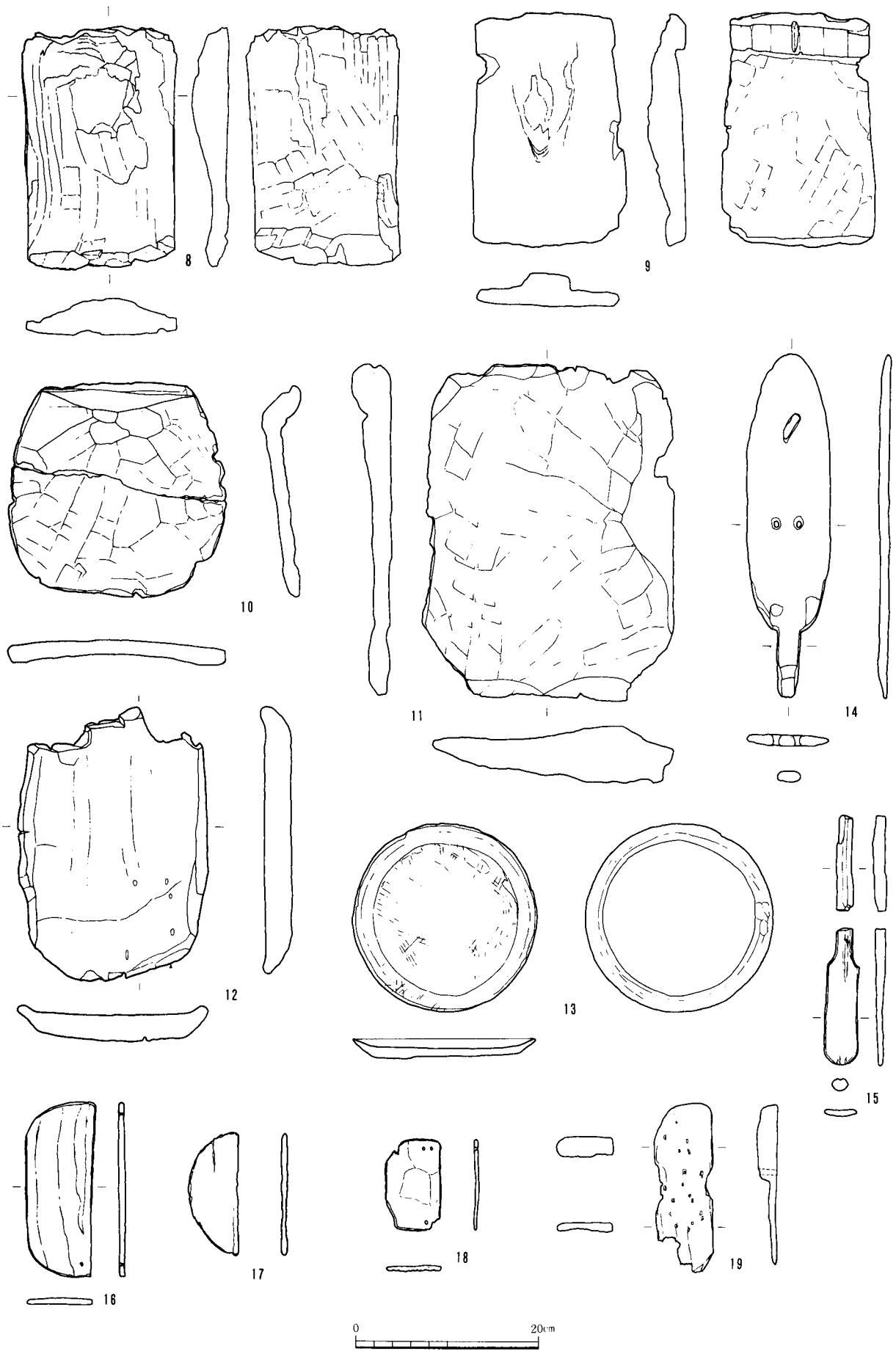
第32表 掲載遺物一覧表 (V-5号溝出土丸木杭)

報告番号	器種	調査地区	出土地点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)
51	丸木杭	V	V-5号溝 W-101	20.0	4.4	4.4
52	丸木杭	V	V-5号溝 W-121	27.0	5.0	4.6
53	丸木杭	V	V-5号溝 W-109	30.4	4.6	3.2
54	丸木杭	V	V-5号溝 W-108	35.6	6.0	4.4
55	丸木杭	V	V-5号溝 W-104	38.6	5.8	5.2
56	丸木杭	V	V-5号溝 W-124	46.2	5.6	4.8
57	丸木杭	V	V-5号溝 W-131	58.5	9.4	8.1
58	丸木杭	V	V-5号溝 W-127	60.2	8.4	8.2
59	丸木杭	V	V-5号溝 W-116	62.4	7.2	7.2
60	丸木杭	V	V-5号溝 W-117	56.4	14.4	9.6
61	丸木杭	V	V-5号溝 W-133	58.6	9.8	7.0
62	丸木杭	V	V-5号溝 W-123	67.1	13.2	9.2
63	丸木杭	V	V-5号溝 W-125	74.0	10.0	9.0
64	丸木杭	V	V-5号溝 W-107	23.2	9.2	8.2

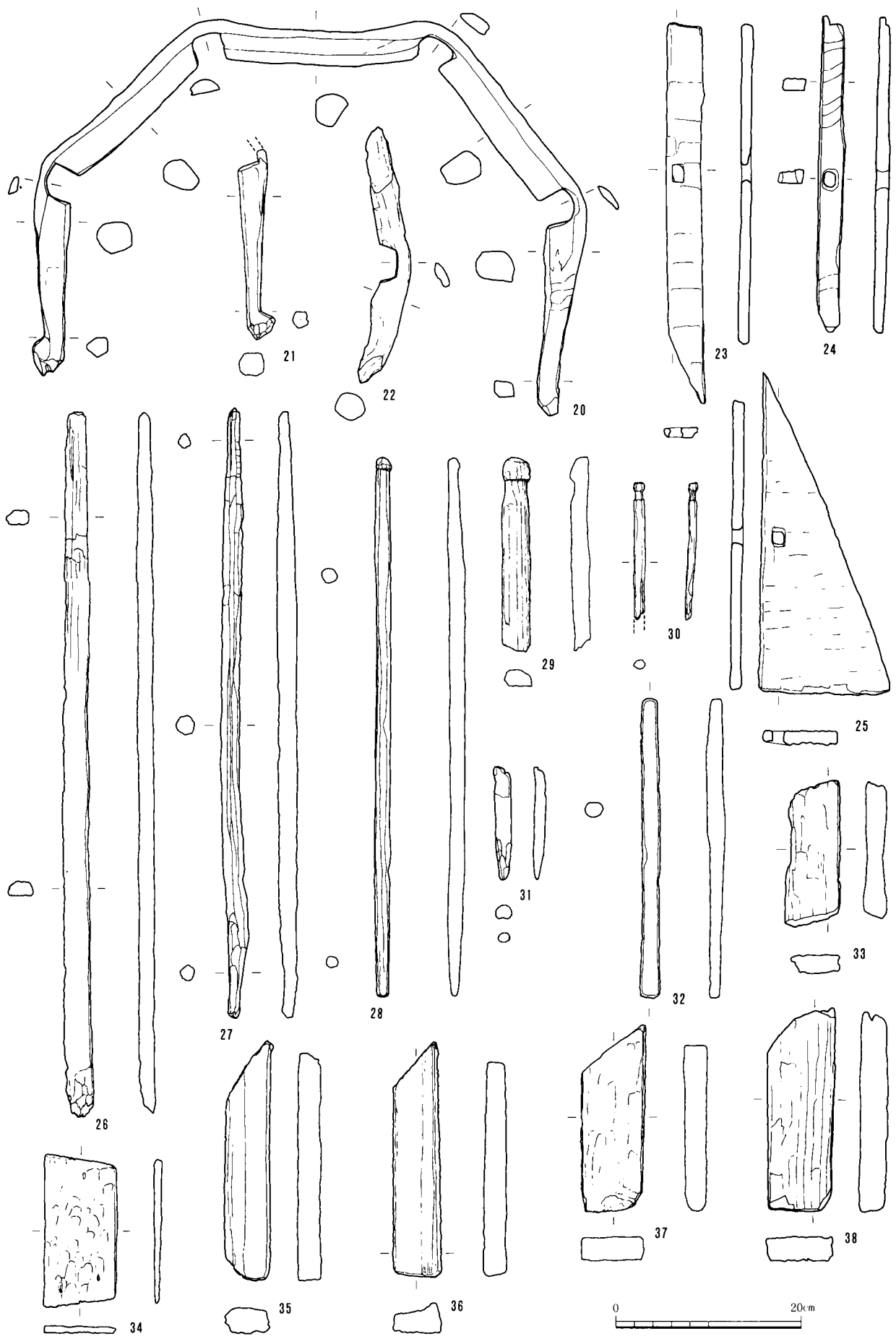
報告番号	器種	調査地区	出土地点	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)
65	丸木杭	V	V-5号溝 W-103	31.2	11.4	6.7
66	丸木杭	V	V-5号溝	33.1	8.4	8.4
67	丸木杭	V	V-5号溝 W-114	33.2	9.6	7.4
68	丸木杭	V	V-5号溝 W-115	33.2	9.4	7.8
69	丸木杭	V	V-5号溝 W-106	34.2	7.6	7.0
70	丸木杭	V	V-5号溝 W-126	32.8	8.2	8.0
71	丸木杭	V	V-5号溝 W-110	37.3	9.2	8.0
72	丸木杭	V	V-5号溝 W-122	36.6	10.8	7.4
73	丸木杭	V	V-5号溝 W-118	47.2	7.5	7.0
74	丸木杭	V	V-5号溝 W-103	41.8	8.7	8.4
75	丸木杭	V	V-5号溝 W-128	54.8	15.0	9.7
76	丸木杭	V	V-5号溝 W-105	52.7	7.4	7.0
77	丸木杭	V	V-5号溝 W-133	51.4	10.7	10.2
78	丸木杭	V	V-5号溝 W-120・119の2	54.8	10.6	6.4



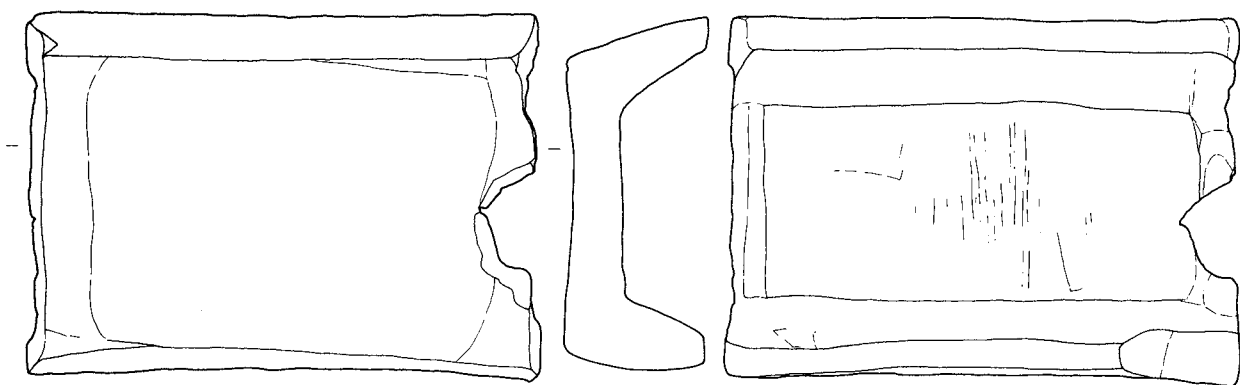
第129図 各調査区出土木製品(1)



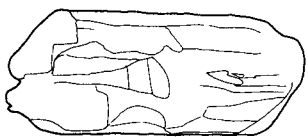
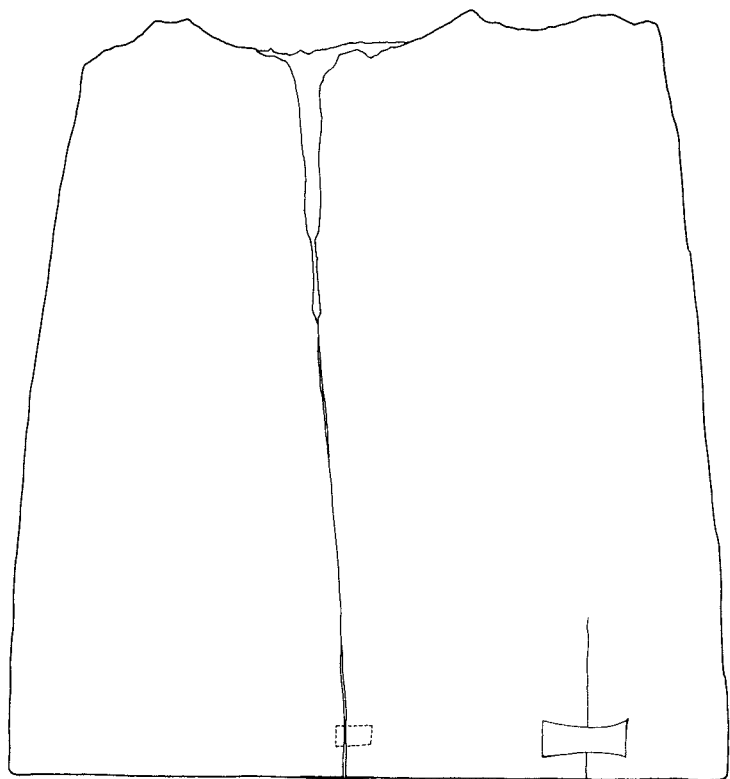
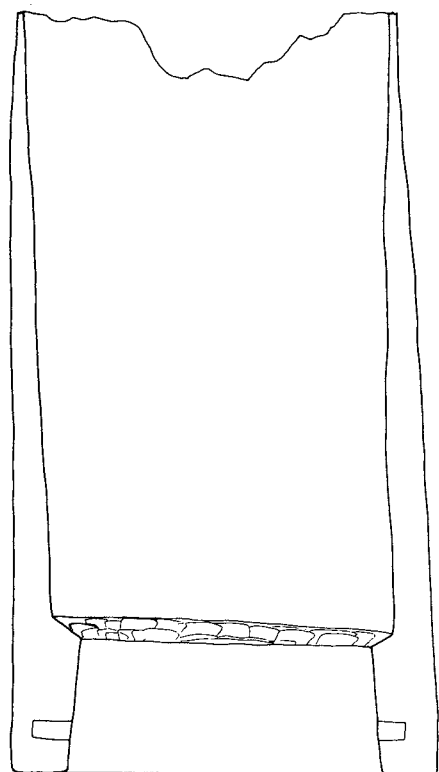
第130図 各調査区出土木製品(2)



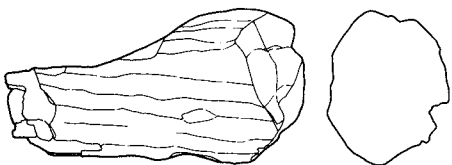
第131図 各調査区出土木製品(3)



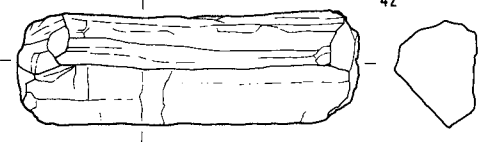
39



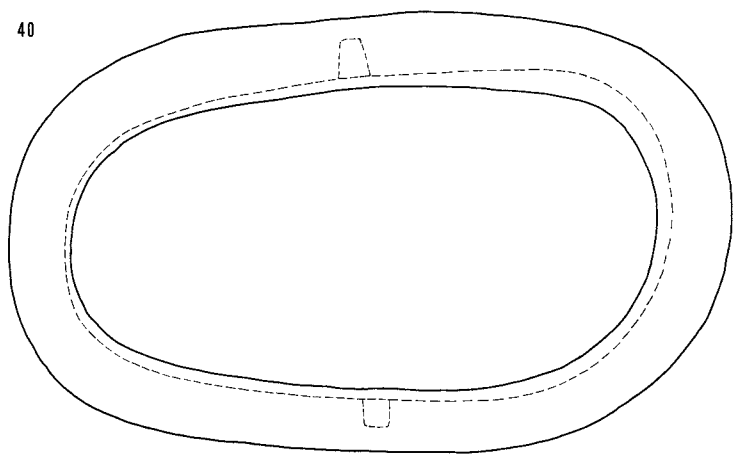
41



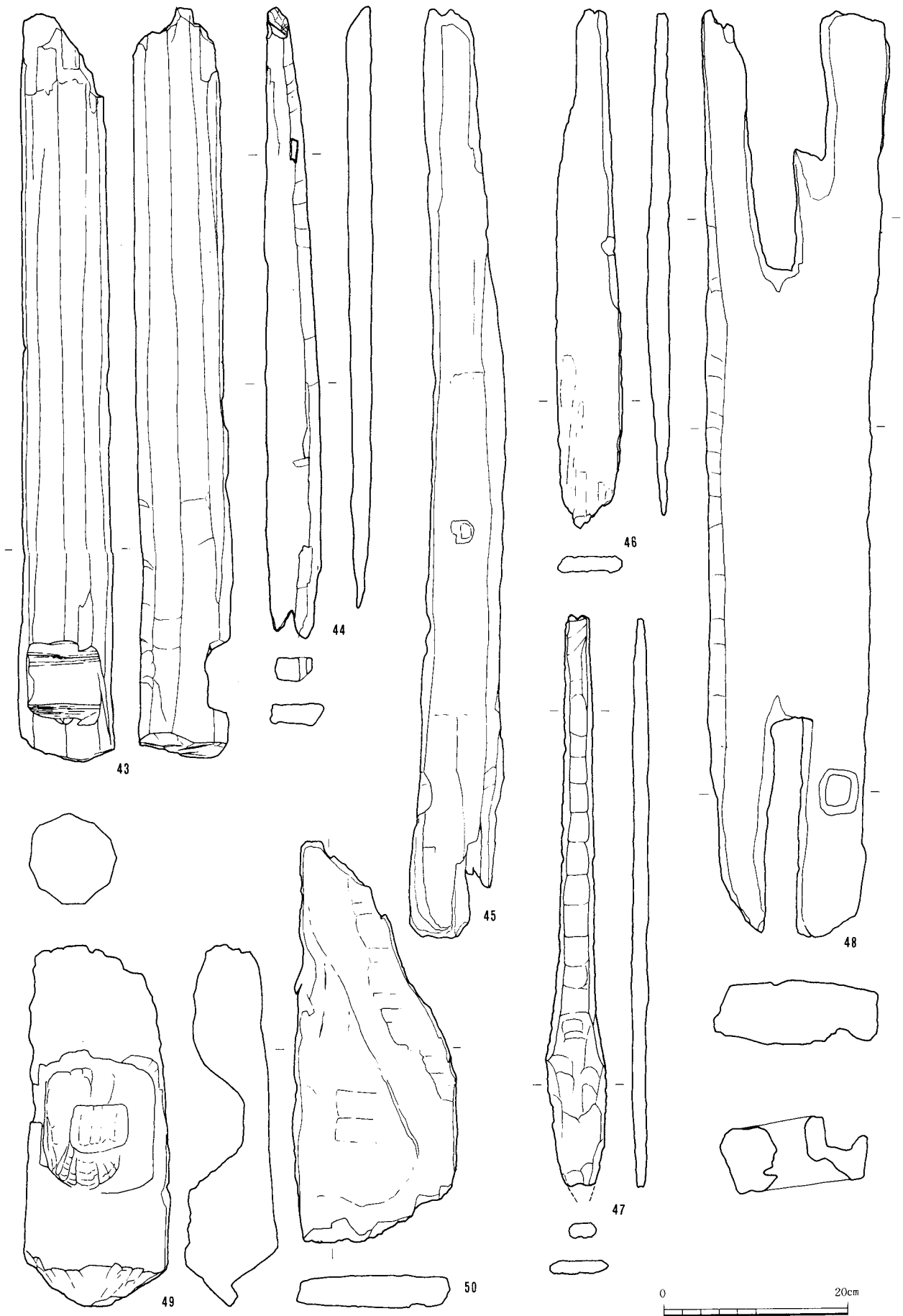
42



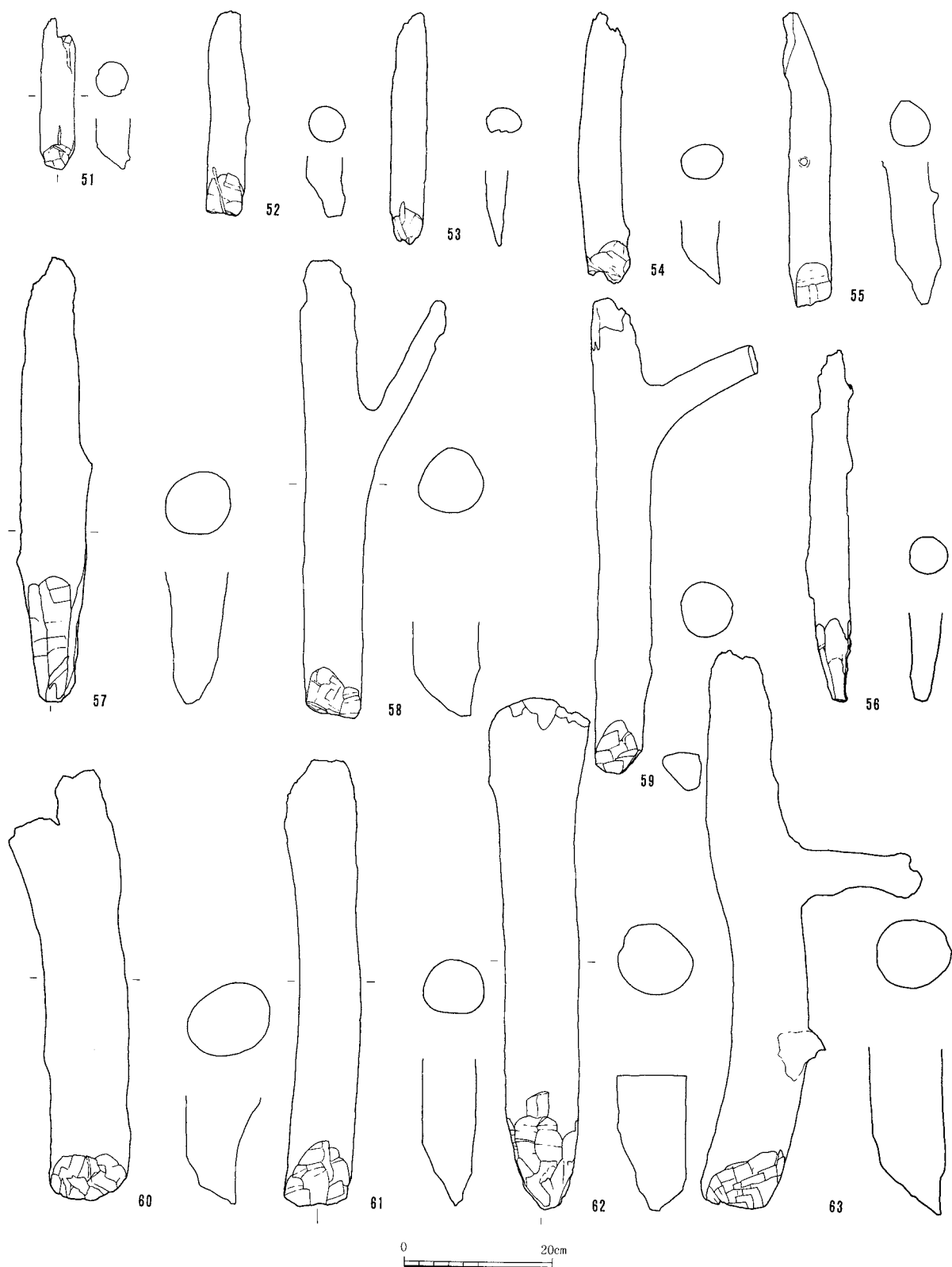
40



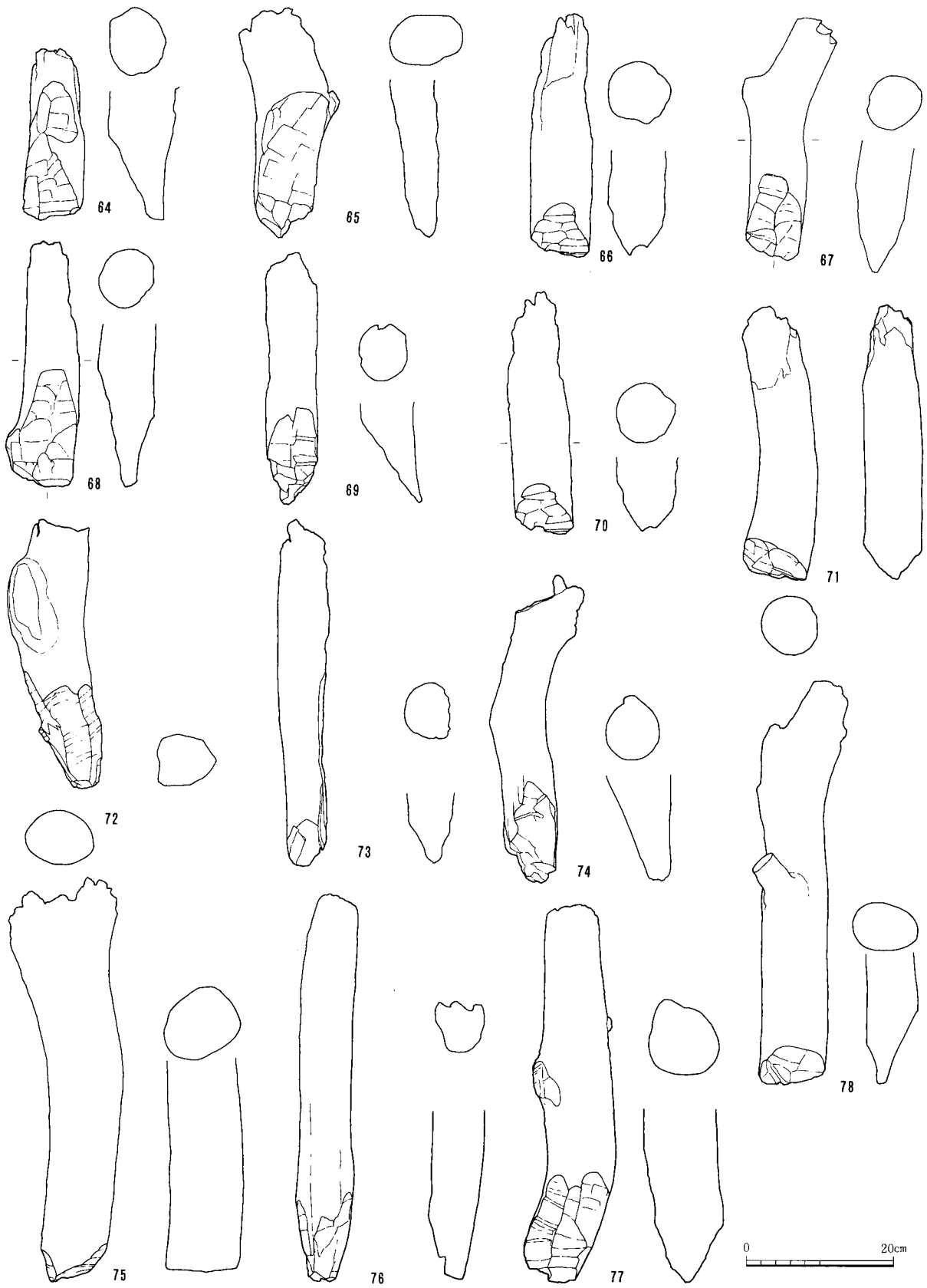
第132図 各調査区出土木製品(4)



第133図 各調査区出土木製品(5)

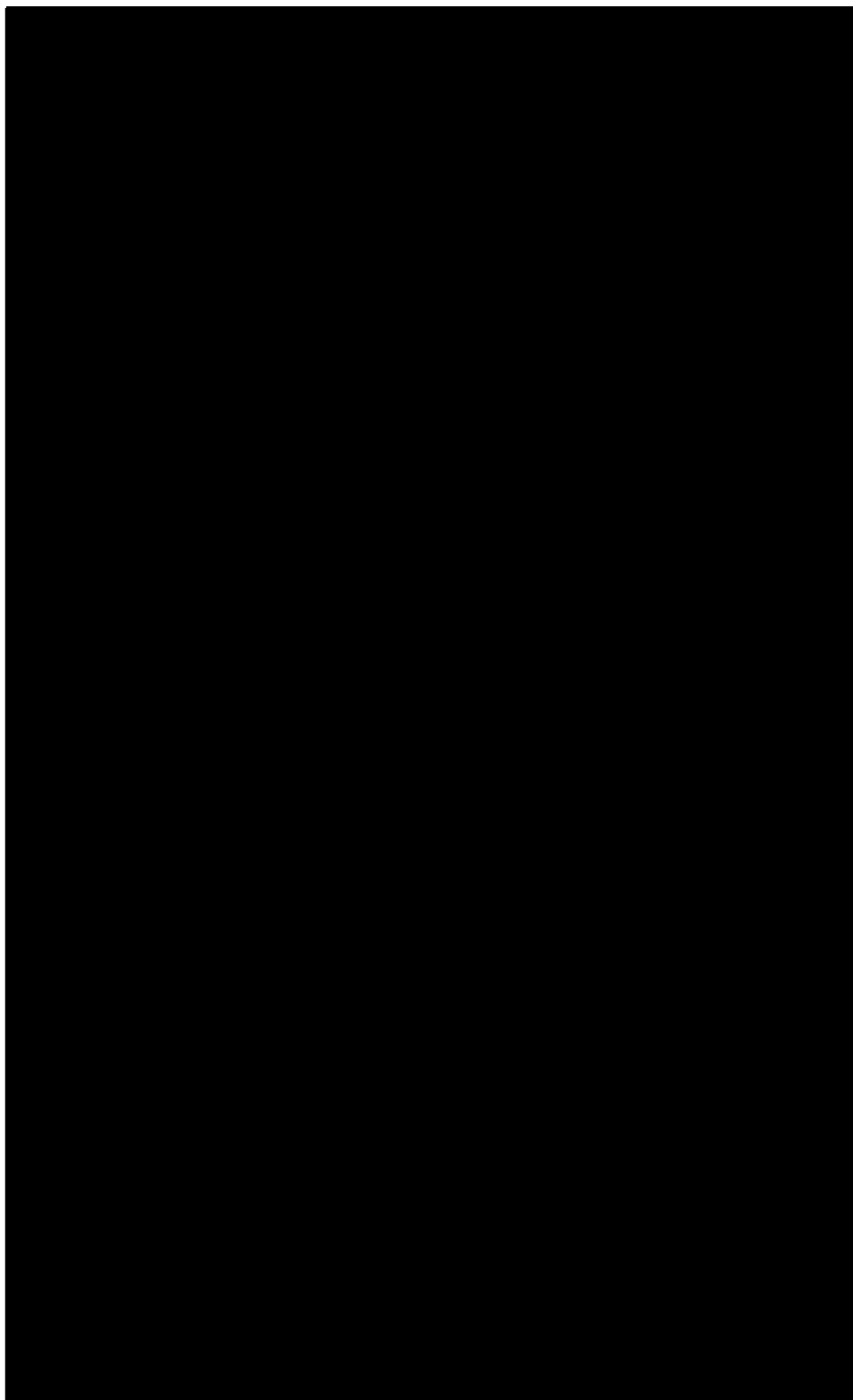


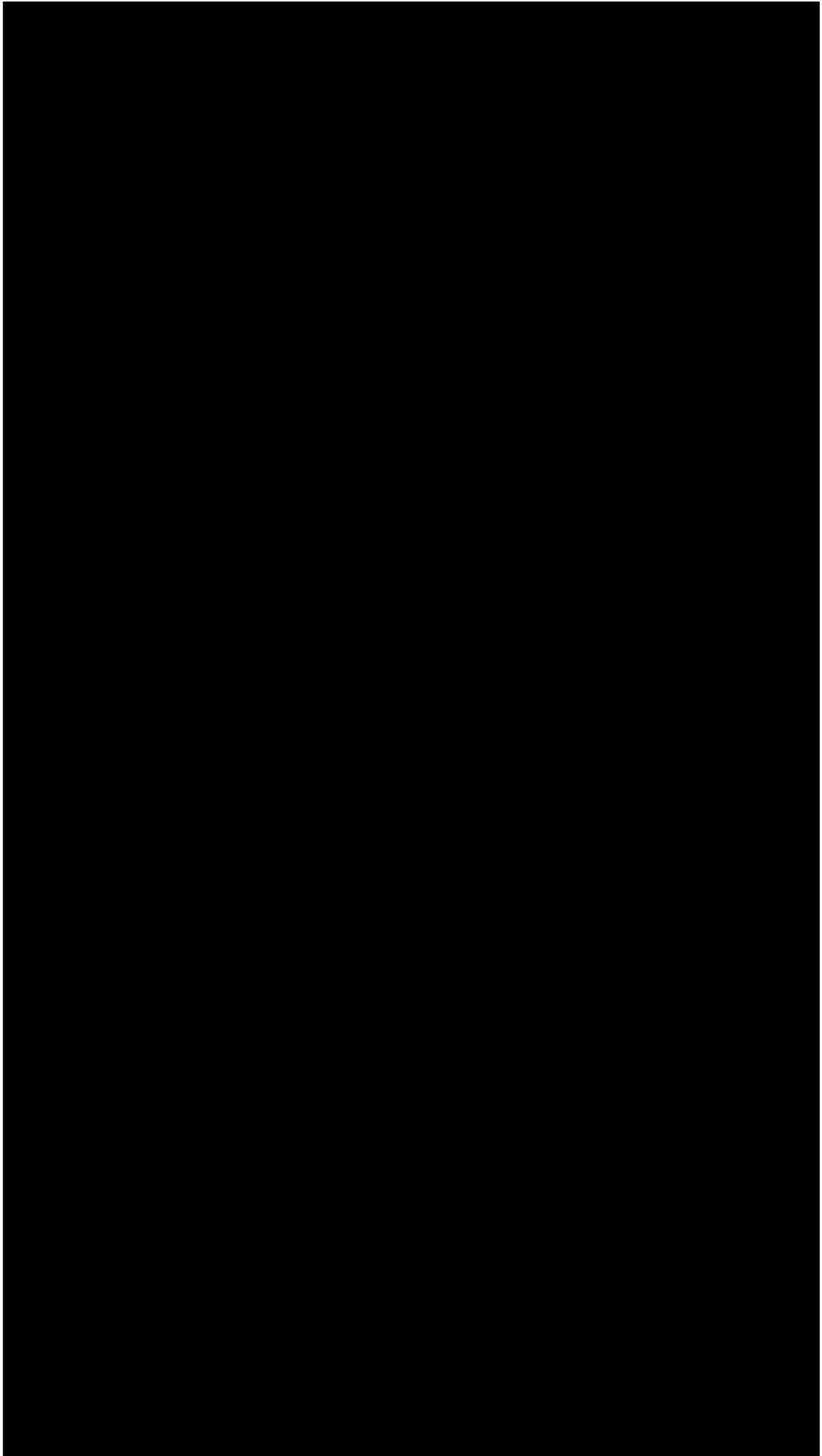
第134図 各調査区出土木製品(6)

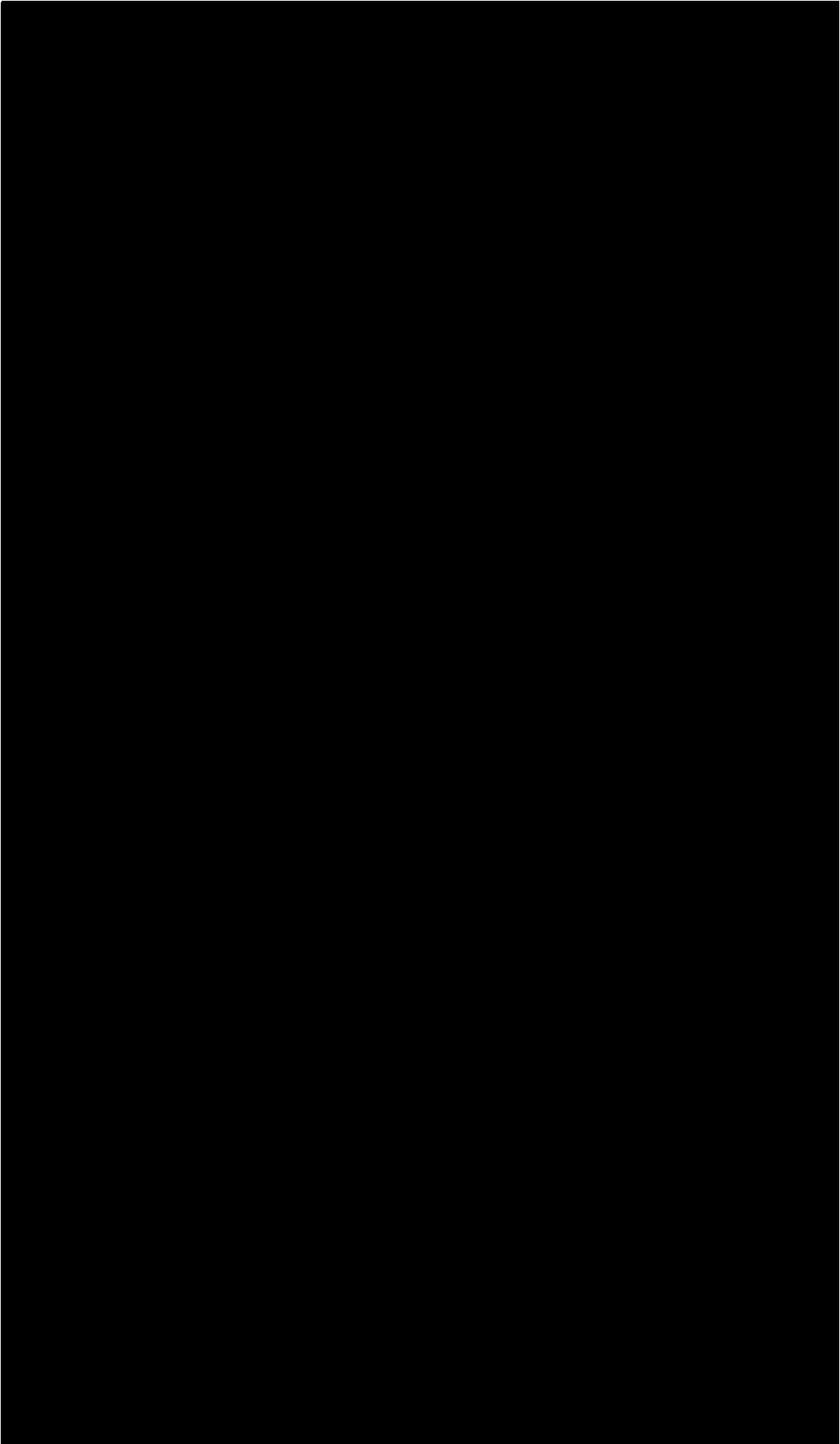


第135図 各調査区出土木製品(7)

14 吉崎・次場遺跡出土木製品の樹種







11. ムクロジ *Sapindus mukorossi Gaertn.* ムクロジ科 図版97-31~33 (ISF-8),
ISF-8, 1点. (木製品実測図1)

年輪のはじめに大管孔が並び、そこから急に径を減じた小管孔が夏材部では1~数個複合して散在する環孔材で、道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはあまり目立たないがらせん肥厚があり、木部柔組織は量が多くて連合翼状に分布し、層階状にはならない、放射組織は同性で2~3細胞幅、輪郭は不整である、などからムクロジ科のムクロジの材であることがわかる。ムクロジは関東地方以西の暖帯から亜熱帯にかけて分布する落葉広葉樹で、樹高20m、幹径1mに達する。木材はやや緻密であるが脆弱で、家具、荷棒、箱、下駄、木象嵌などに用いられる。

12. トチノキ *Aesculus turbinata Bl.* トチノキ科 図版97-34~36 (ISF-25),
ISF-25, 1点. (木製品実測図12)

やや小型の管孔が単独または数個放射方向に数個複合して散在する散孔材で、道管の穿孔は単一、道管内壁に弱いらせん肥厚があり、放射組織は単列同性で層階状に配列する、などからトチノキ科のトチノキの材であることがわかる。トチノキは北海道西南部以南の温帯の谷あいには分布する落葉広葉樹で、樹高30m、幹径2m以上の大高木となる。実はあくが強いが多量のでんぷんを含み食料となり、木材は軽軟で緻密であり、加工容易で光沢があるが、耐朽性・保存性は低く、建築造作材、器具材、家具材、漆器木地、寄木細工、彫刻材、箱材、しゃもじなどに用いられる。

13. クマノミズキ類 *Cornus cf. brachypoda C. A. Meyer* ミズキ科 図版98-37~39
(ISF-33),

ISF-33, 1点. (木製品実測図43)

丸くて中小型の管孔がほとんど単独で均一に散在する散孔材で、木部柔組織は散在状、道管の穿孔は横棒の多い階段状、放射組織は典型的な異性で、3~4細胞幅、背の高い翼部を持つ、などからミズキ科のミズキ属のうち、クマノミズキ *Cornus brachypoda C. A. Meyer* あるいはヤマボウシ *C. kousa Bueg. ex Hance* の材であることがわかる。いずれも冷温帯から暖温帯にかけて広く分布する落葉広葉樹で、材は堅く強靱で、柄類などの器具材、櫛、下駄、建築材などに用いられる。

14. ムラサキシブキブ類 *Callicarpa* クマツヅラ科 図版98-40~42 (ISF-9),
ISF-9, 1点. (木製品実測図15)

やや角張った厚壁の小管孔が単独または放射方向に2個複合して比較的少数散在する散孔材で、道管の穿孔は単一、放射組織は異性で1~4細胞幅であるなどからクマツヅラ科のムラサキシブキ属の材であることがわかる。同属の樹木にはムラサキシブキ (*callicarpa japonica*) やヤブムラサキ (*C. mollis*) などがあるが、いずれも樹高3m内外の落葉広葉樹である。低木であるため、木材は現在はあまりあまり用いられていないが、縄文時代以降の遺跡出土材には類例が少なくない。

引用文献

安田喜憲. 1979. 花粉分析. 鳥浜貝塚 (福井県教育委員会): 176-196.

依田清胤・鈴木三男. 1986. 能登半島真脇遺跡より出土した自然木の樹種. 金沢大学日本海域研究所報告
18号: 43-68.

第33表 吉崎・次場遺跡出土木材の樹種

標本番号	出土遺構	樹種名	製品名	時代
ISF-1	I-4号溝	アカガシ亜属	平鋸未製品	弥生中期後葉
ISF-2	I-4号溝	ケヤキ	丸鋸未製品	弥生中期後葉
ISF-3	T-1号井戸	ケヤキ	木皿	平安
ISF-4	S-5号土坑	サカキ	鉄斧柄	弥生後期後葉
ISF-5	S-14号土坑	スギ	薄板材	弥生後期後葉
ISF-6	S-5号土坑	サカキ	鉄斧柄	弥生後期後葉
ISF-7	S-5号土坑	ヒノキ科?	木鋸	弥生後期後葉
ISF-8	S-17号土坑	ムクロジ	木包丁	弥生後期後葉
ISF-9	S-4 a号溝	ムラサキシキブ属	へら状木製品	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-10	V-5号溝	アカガシ亜属	平鋸	弥生中期前葉～中葉
ISF-11	V-5号溝	アカガシ亜属	平鋸	弥生中期前葉～中葉
ISF-12	J-2 G. 包含層	スギ	柄穴穿孔板材	不明
ISF-13	N-包含層	スギ	櫛状木製品	不明(弥生の可能性大)
ISF-14	J-包含層	スギ	有頭棒	不明(弥生の可能性大)
ISF-15	S-4 a号溝	スギ	角材	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-16	S-4 a号溝	スギ	薄板材	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-17	S-4 a号溝	スギ	角材	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-18	S-4 a号溝	スギ	角材	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-19	J-包含層	スギ	薄板材	不明
ISF-20	N-2号溝	ヤブツバキ	棒材	弥生前期末葉～中期初頭
ISF-21	J-2 G. 包含層	スギ	棒材	不明
ISF-22	J-2 G. 包含層	スギ	柄穴穿孔棒材	不明
ISF-23	N-2号土坑	マタタビ属	五辺曲折形木製品	弥生前期末葉～中期初頭
ISF-24	N-2号土坑	マタタビ属	五辺曲折形木製品	弥生前期末葉～中期初頭
ISF-25	J-3 G. 包含層	トチノキ	皿状木製品	不明
ISF-26	S-4 a号溝	スギ	板材	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-27	S-4 a号溝	スギ	角材	弥生後期後葉・古墳初頭
ISF-28	I-4号溝	エノキ属	椅子	弥生中期後葉
ISF-29	O-2号溝	キハダ	平鋸未製品	弥生末期～古墳初頭
ISF-30	J-3 G. 包含層	スギ	板材	不明
ISF-31	I-3号溝	スギ	長薄板材	弥生後期前葉～後葉
ISF-32	U区	スギ	長薄板材	不明
ISF-33	不明	クマノミズキ類	建築部材	古墳初頭
ISF-34	不明	イヌシデ節	柱状部材	不明
ISF-35	N-2号土坑	マタタビ属	五辺曲折形木製品	弥生前期末葉～中期初頭
ISF-36	I-1号井戸	スギ	桶	弥生後期後葉
ISF-37	U区	スギ	薄板材	不明
ISF-38	S-27 a号土坑	スギ	有頭棒	弥生後期後葉～後期末葉
ISF-39	N-2号土坑	アカガシ亜属	平鋸	弥生前期末葉～中期初頭
ISF-40	S-14号土坑	アカガシ亜属	薄板材	弥生後期後葉
ISF-41	N-2号土坑	アカガシ亜属	平鋸未製品	弥生後期前葉～後葉

15 各調査区出土金属製品

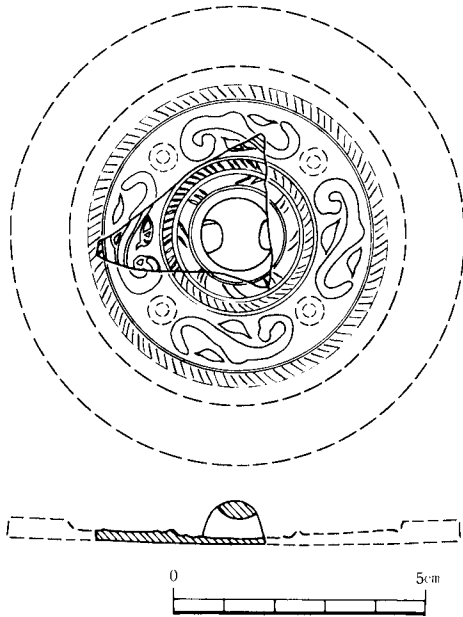
鏡(第136,137図)

V-8号土坑上面から出土し、長さ3.3cm、幅3cmを測る四螭鏡の破片である。破片は鈕を中心とした内区のみで、鏡縁は遺存していない。内区の復元径は5.4cmなので、面径を推量すれば9cm程度の中型品となろう。径1.9cmの縁鈕座で2重の突線の間には「新月形」と「3本一組の細線」が交互に配置され、おそらく4つずつあるものと考えられる。内区にはかなり単純化された虺龍がみられ、逆S字を呈する。その周囲には禽獣と思われる図形があり、外区は櫛歯文帯である。銅質は良く文様はかなりシャープに鑄上がっている。四周の破断面はきれいに磨かれ、研磨が部分的に鏡背にまで及んでいるものの、ルーペで観察しても研磨痕はみられず、一次的にそれを施したのではなく長期間にわたる使用の結果と考えられる。また、鑄孔周辺にも摩滅がみられ鈕ずれの痕跡であろう。なお、鈕孔の一方にわずかな鑄くずれが認められる。四螭鏡の中でも新しい部類で、日本出土品では佐賀県三津永田遺跡や和歌山県滝ヶ峯遺跡出土

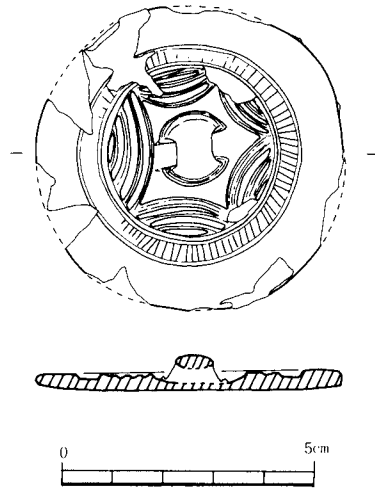
鏡に類似する。なお、本例も懸垂鏡と考えられる。

吉崎・次場遺跡からは昭和38年の第2次調査において小型仿製鏡が出土している⁽¹⁾。羽咋市史(昭和48年)に報告されているが、本報告において再び紹介したい。

面径6.1cmを測る一般的な大きさである。平縁で櫛歯文帯、内行花文帯、紐へと続く。櫛歯文は若干斜行し約11本前後が1単位となっているようで向きを多少異にしている。内区は五花文で各々の花文の単位は異なる。花文の内部に4本の弧線によって4重弧花文としている。弧線は部分的に潰れ3本の弧線のようにみえるところもある。分銅型の鈕座で突線がめぐっている。全体的に范の崩れが目立ち鑄上がりもあまり良くない。手ずれと考えられるような摩滅はみられず、また布帛等の痕跡もない。



第136図 V-8号土坑検出面出土鏡片



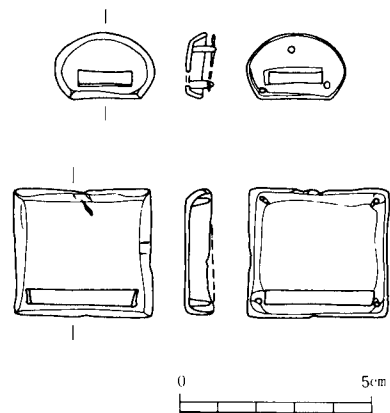
第137図 昭和38年度調査出土鏡

鍔帯金具(第138図)

巡方と丸柄が出土している。双方とも遺物包含層からの出土であり、巡方はJ調査区(J-9 G.)から、丸柄はV調査区(NS118d 淡灰色粗砂層)から出土した。

巡方は鑄銅製で、縦32.55mm(帯幅方向)、横35.85mm、鉤足を除く器高は7.05mm、方孔幅3.6mm前後を測る。縦と横の比は0.9:1である。巡方内部は中空で、4隅に鉤足をもち、裏金によって鍔帯を固定するタイプである。鉤足は現存で最大7mmあるが、全て途中で欠損している。表面四周には面とりがあり、また製作後の研磨によると思われる歪みもみられる。表面の一部には漆膜が遺存し烏油腰帯であることがわかる。なお内面には有機物の付着は見られない。佐藤興治分類⁽²⁾ではA II類で7位相当となり、阿部義平分類⁽³⁾ではA 3類で正7位相当になる。大きさや縦横比が平城京と同じであるので、奈良時代の鍔帯金具と判断できる。

丸柄は鑄銅製で、縦16.55mm、横24.90mm、方孔幅3.4mmを測る。縦横比は0.7:1である。通例の形状を示している。表面は全て面とりが施され、裏金具は表金具とほぼ同形同大である。内部に3本の鉤足をもち全て裏金具に達している。腰帯装着時にはびょう足の先端は潰され



第138図 J, V調査区出土鍔帯金具

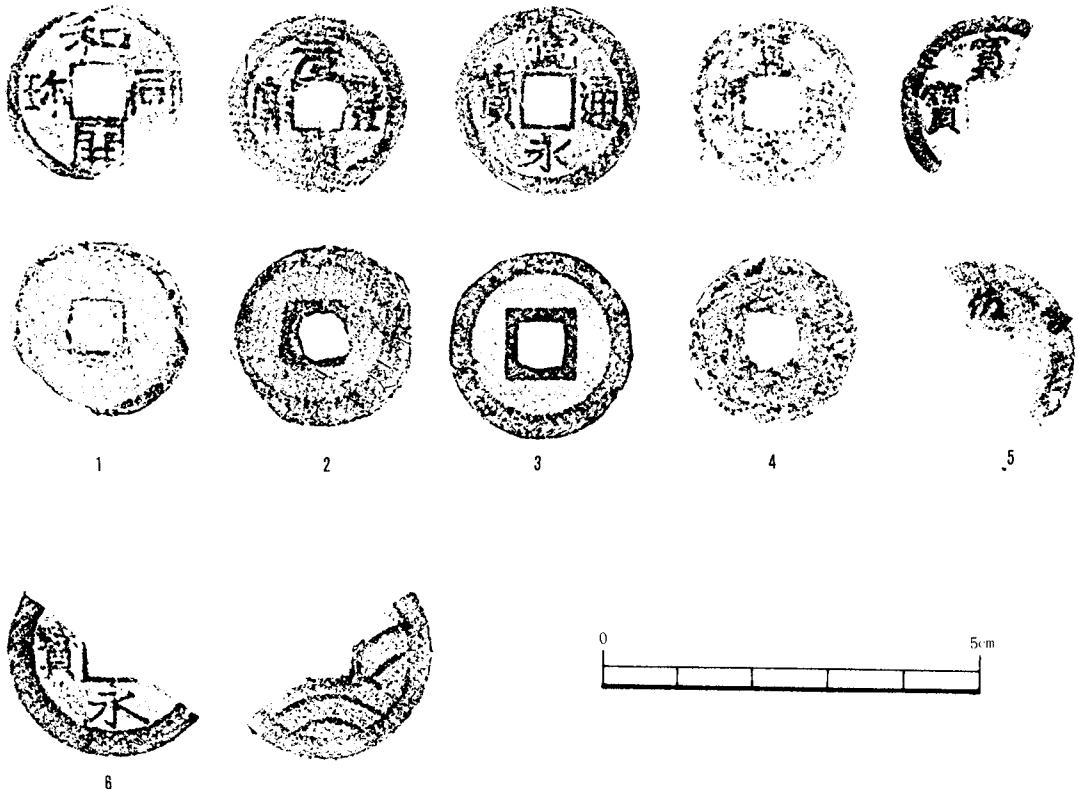
ていたと思われるが、現状は鋳孔に錆着しているのみである。部分的に漆と思われる付着物が見られるものの、その他の有機物の付着はみられない。佐藤分類ではAⅣ類で、少初位に相当する。

- 註 1 『羽咋市史』原始・古代編 昭和48年
 2 『平城宮発掘調査報告』Ⅵ 奈良国立文化財研究所 昭和50年
 3 阿部義平「銚帯と官位制について」『東北考古学の諸問題』 昭和51年

銭 貨 (第139図)

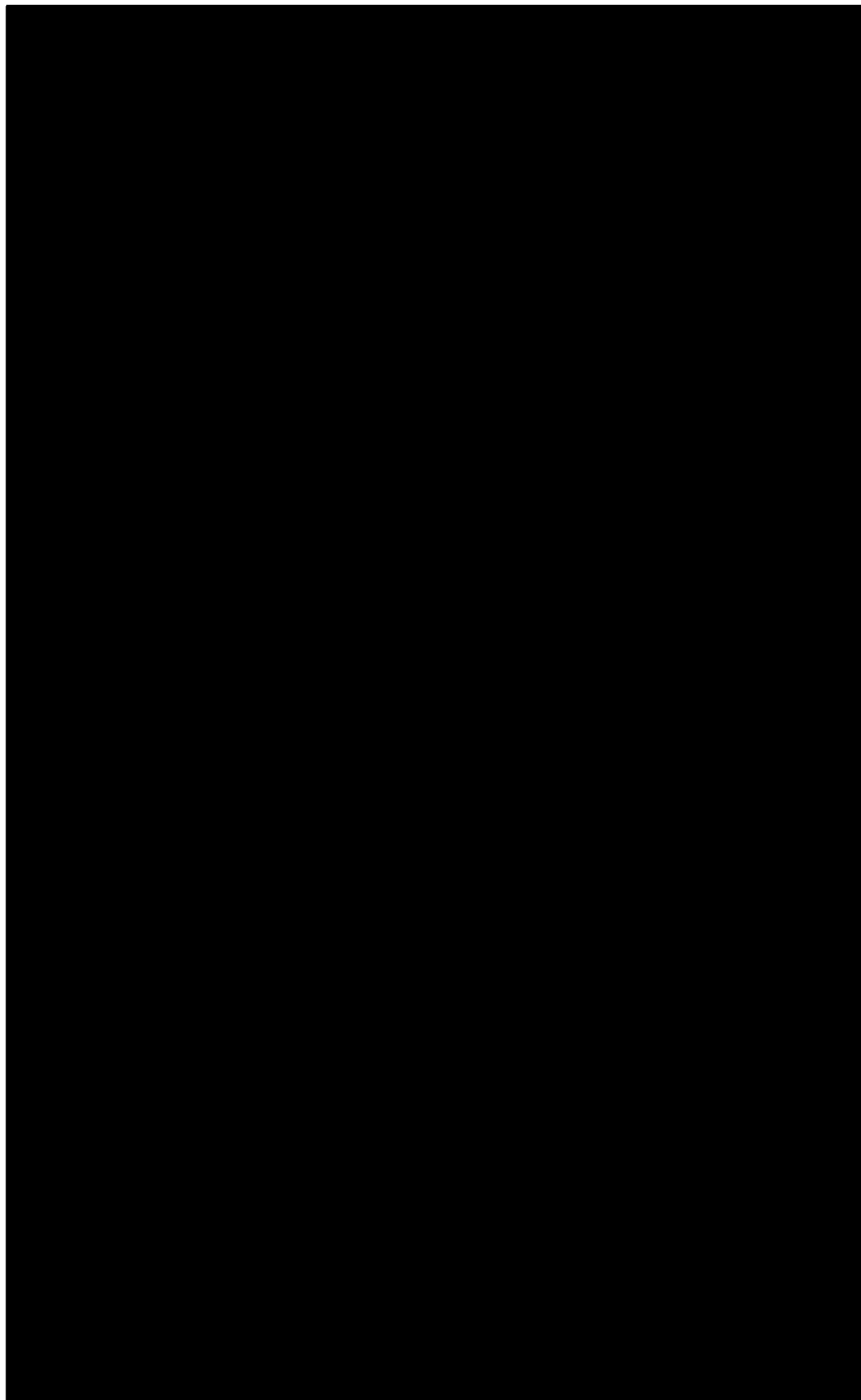
県営は場整備事業に伴う発掘調査では皇朝十二銭1枚、中国渡来銭1枚、近世銭4枚の計6枚の銭貨が出土している。いずれも遺構に伴うものでなく、包含層等からの出土である。

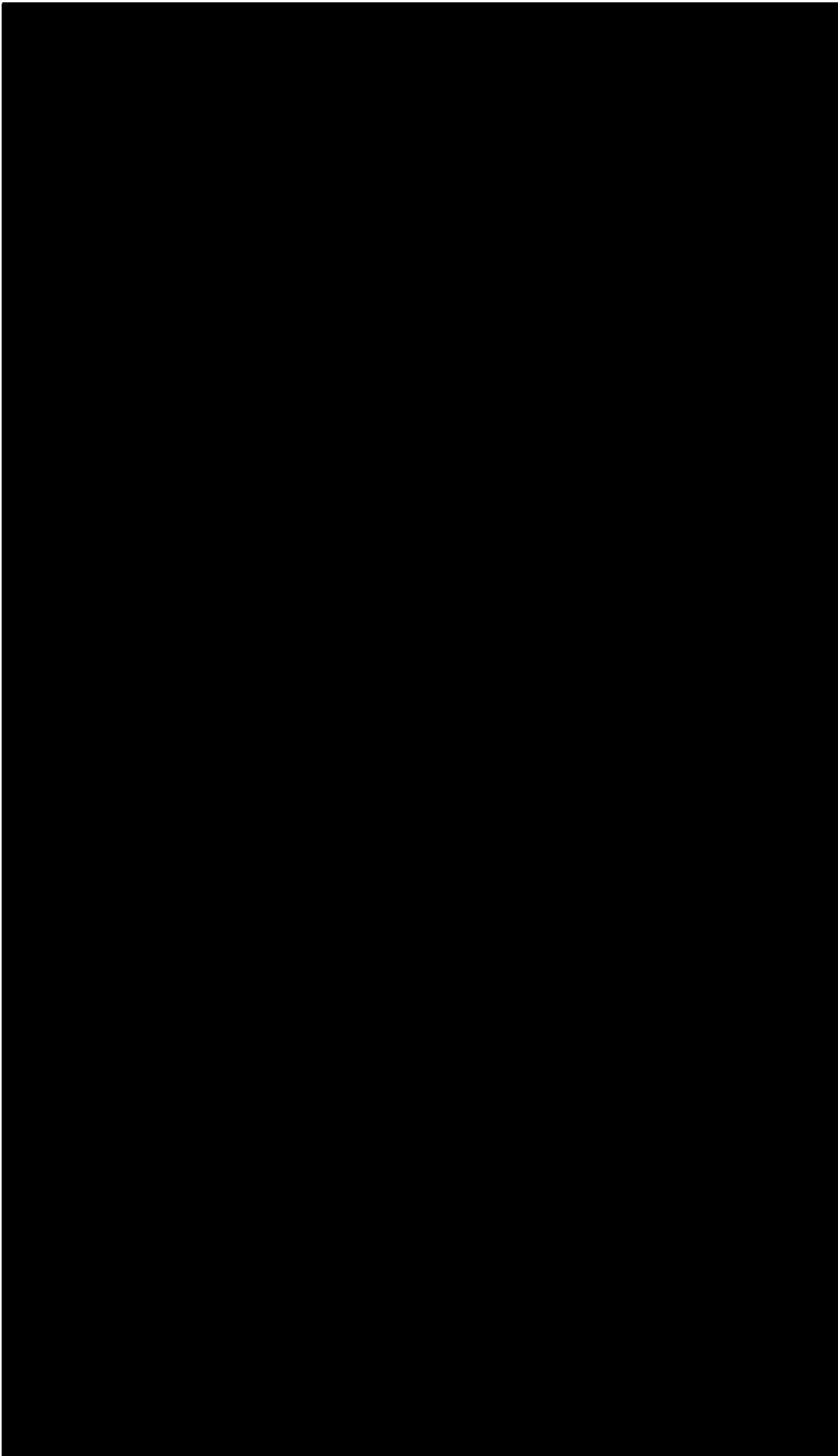
1はわが国最初の公鑄貨「和同開珎」（西暦708年初鑄）である。銭文は全体に角張った文字であり、画線は比較的細字。開は「開」につくる。同から開にかけての外縁部約1/4を欠失する。肌部は薄く脆弱的、遺存状態はやや不良である。計測値は外径2.46cm、内郭径1.65cm、厚み0.14cm、重量1.2gを測る。2は北宋銭「元豊通寶」（西暦1078年初鑄）の篆書体である。銭型はやや小型、外輪は幅広。銭文の鑄上りが悪く、銭文は不鮮明である。外径2.41cm、内郭径0.6cm、厚み0.1cm、重量2.4gである。3～6は江戸時代の「寛永通寶」である。3は完形品で遺存状態は普通。一般に「古寛永」とよばれているものである。外径2.51cm、内郭径0.61cm、厚み0.12cm、重量2.7gである。4は磨滅が著しく、肉眼での判読は困難であるが、拓本により「寛」・「永」・「寶」字がかろうじて認められる。「新寛永」と思われる。外径2.32cm、内郭径0.69cm、厚み0.1cm、重量2gである。5は「通」・「永」字を欠き約1/2の欠失である。銭文はやや不鮮明。背文「佐」字の書体より佐渡相川銭の享保期（西暦1717年初鑄）である。厚みは0.11cmである。6は「寛」・「通」字を欠き約1/2の欠失である。背の波数は11波、四文銭（西暦1769年以降）である。



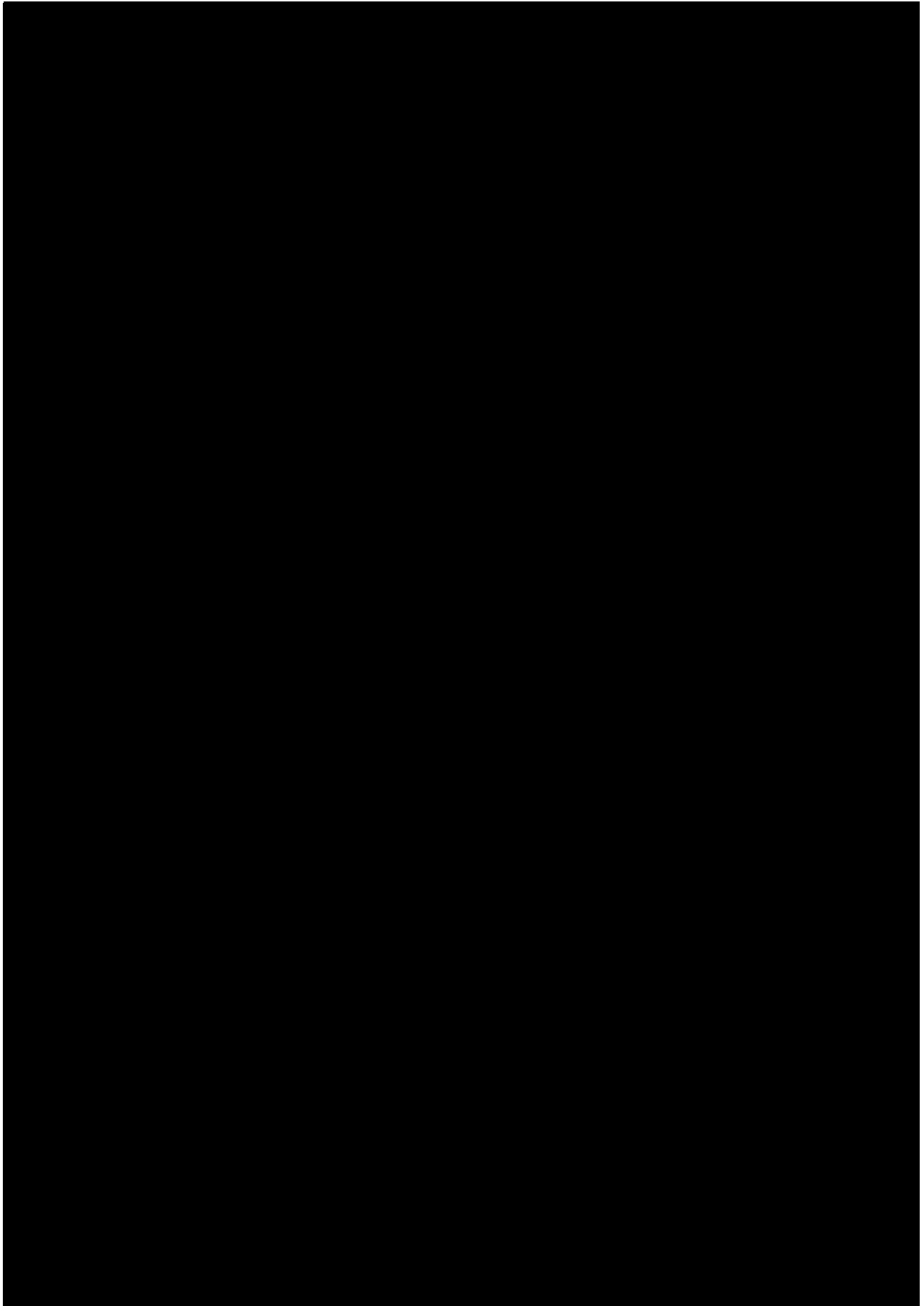
第139図 銭貨拓影（原寸）

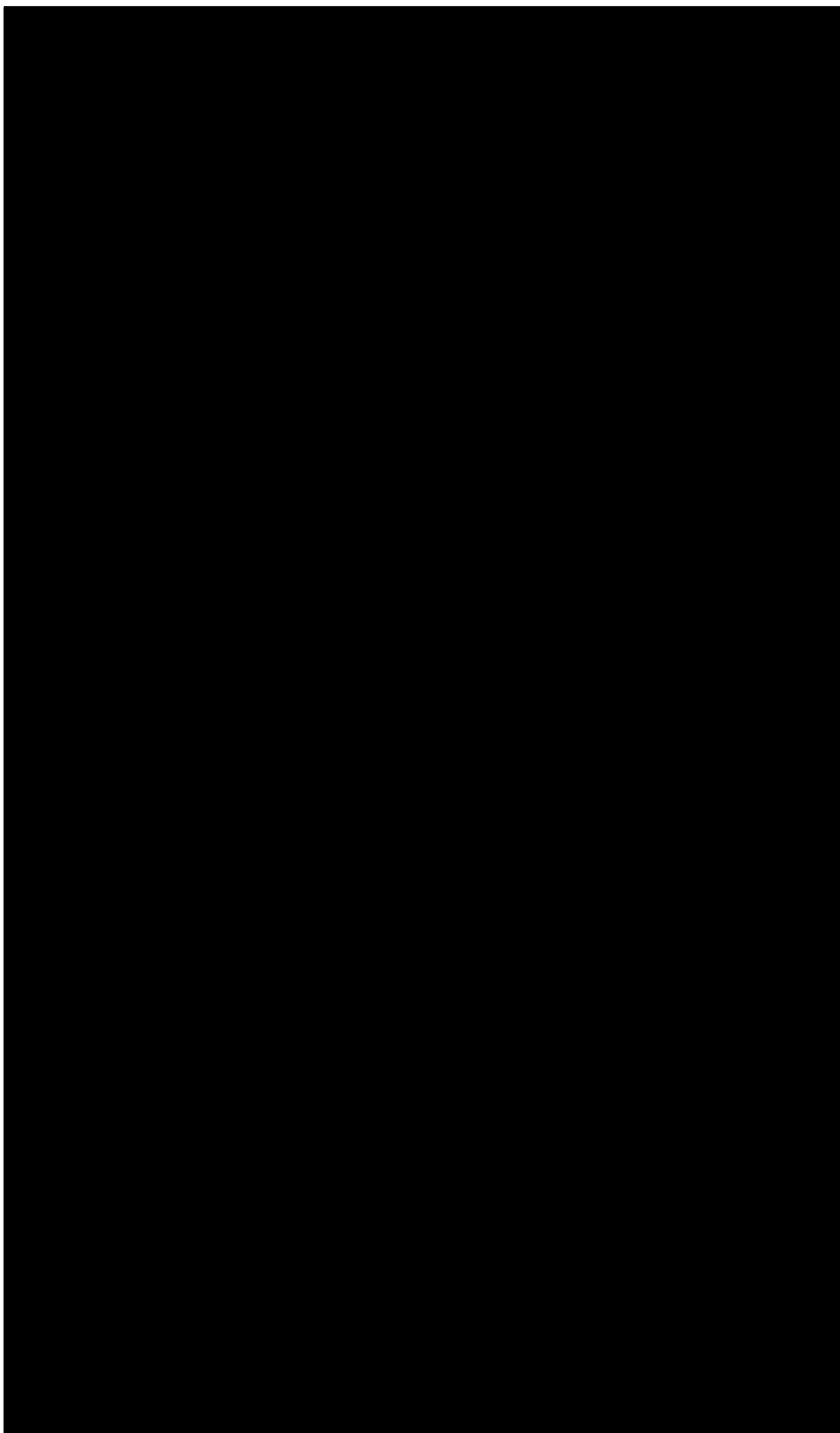
16 W調査区出土動物遺体

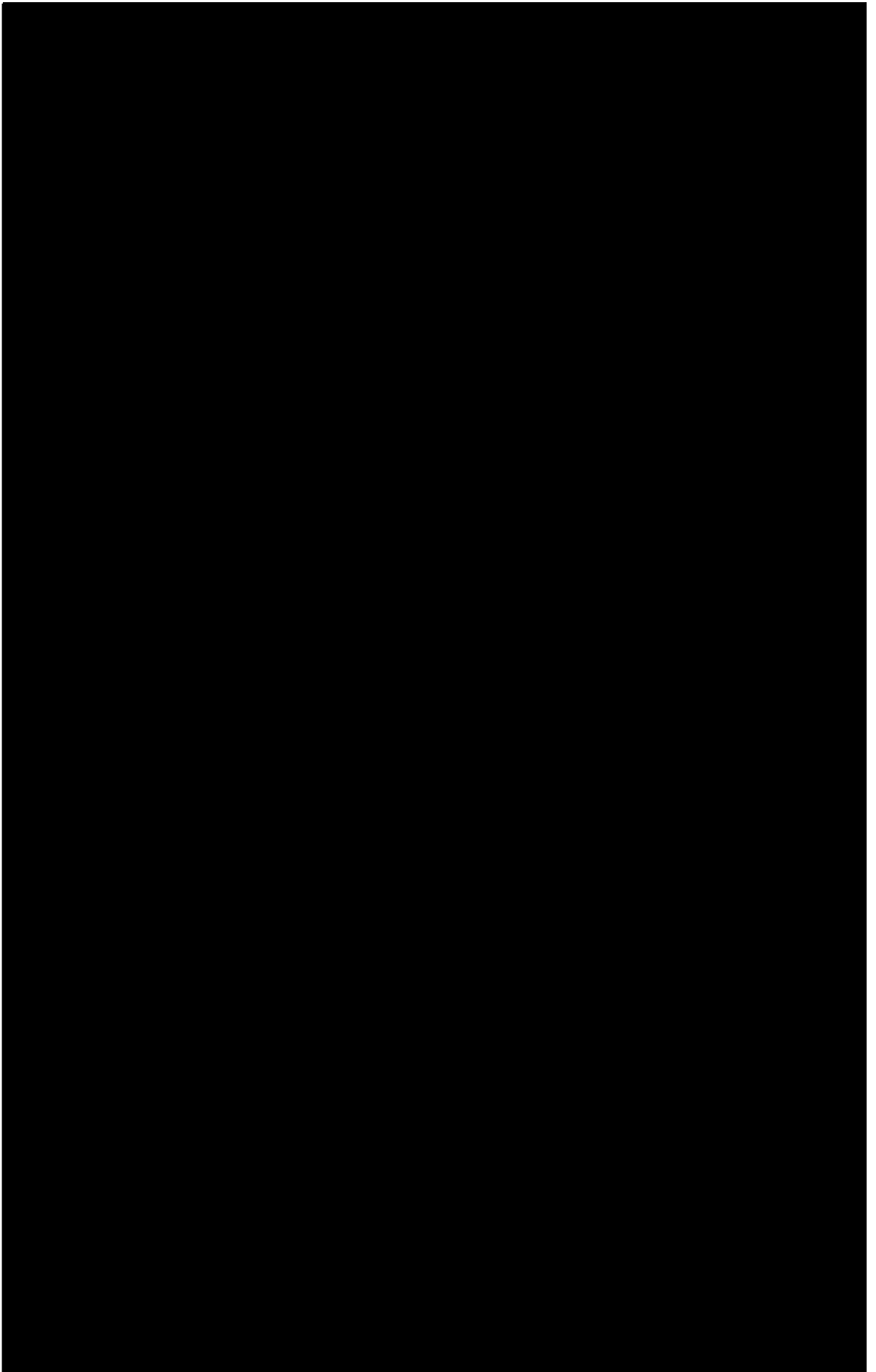


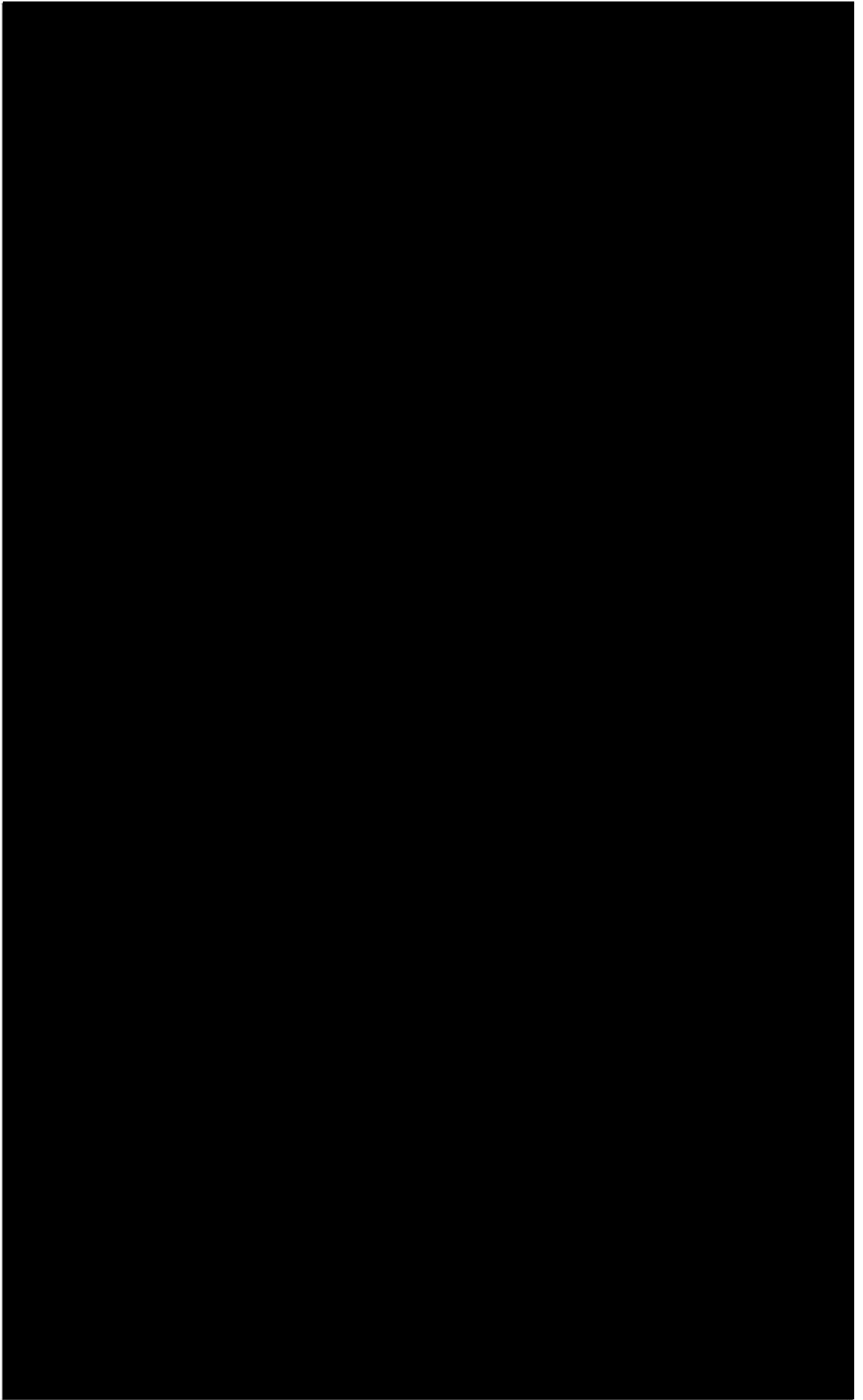


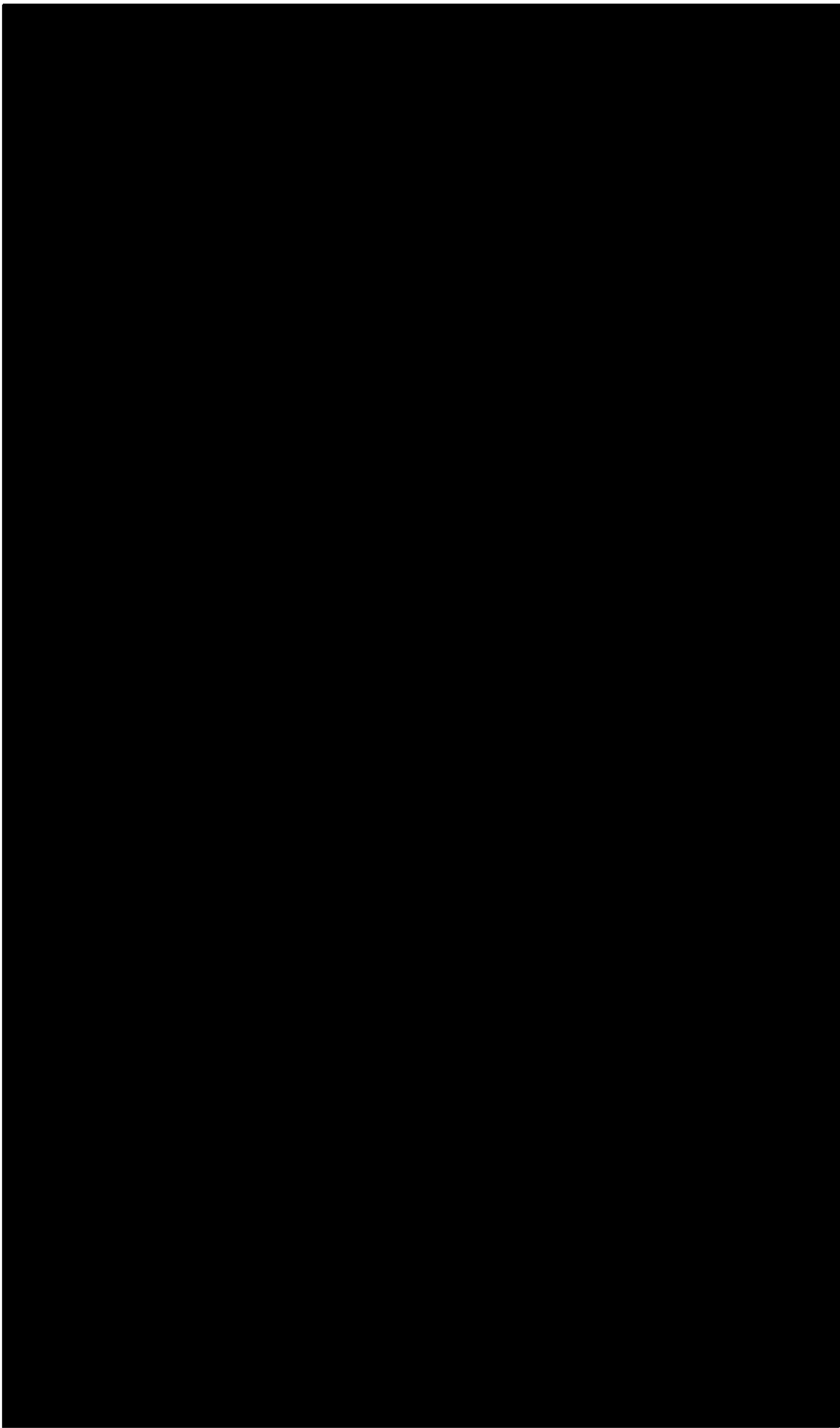
II 吉崎・次場遺跡の古環境

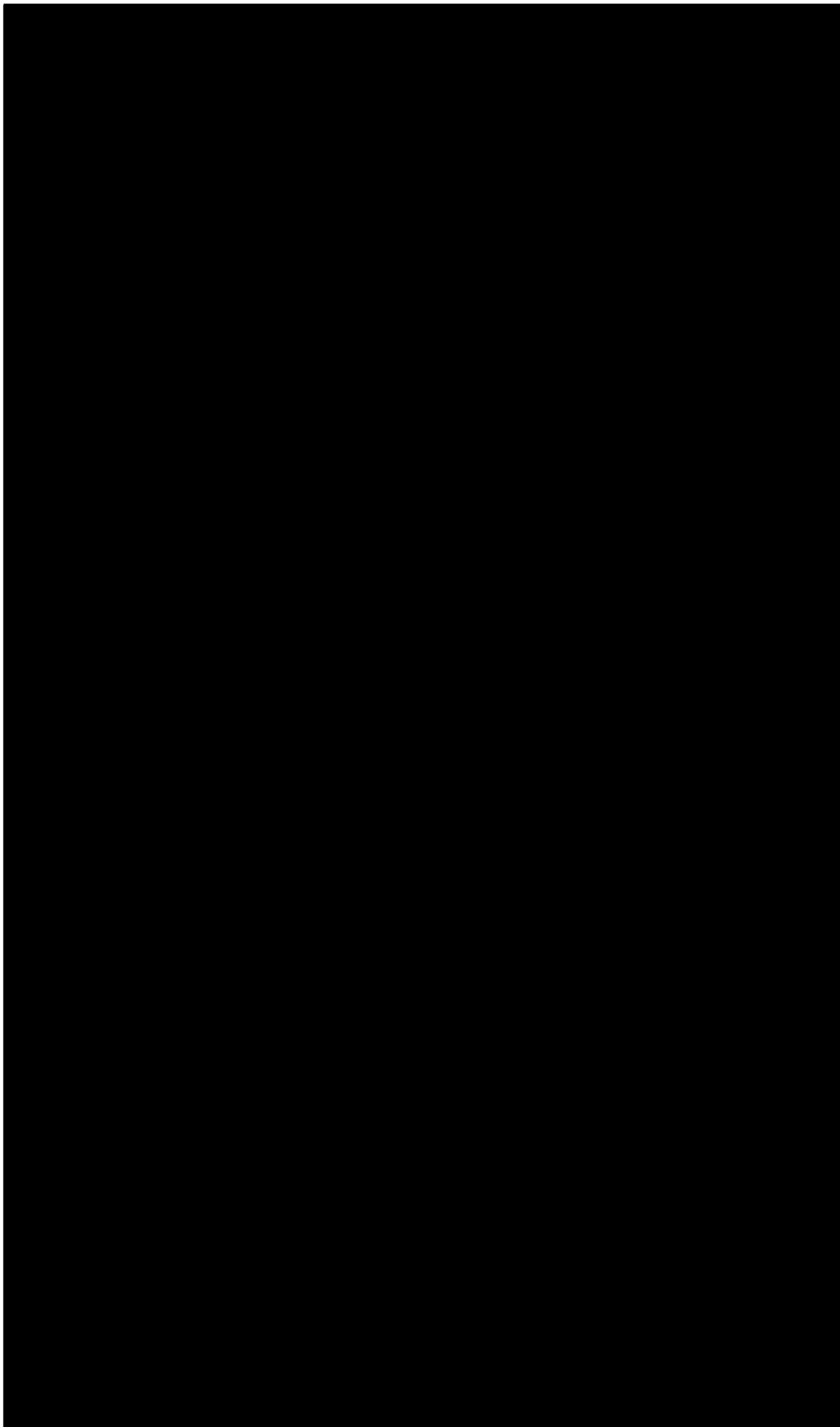


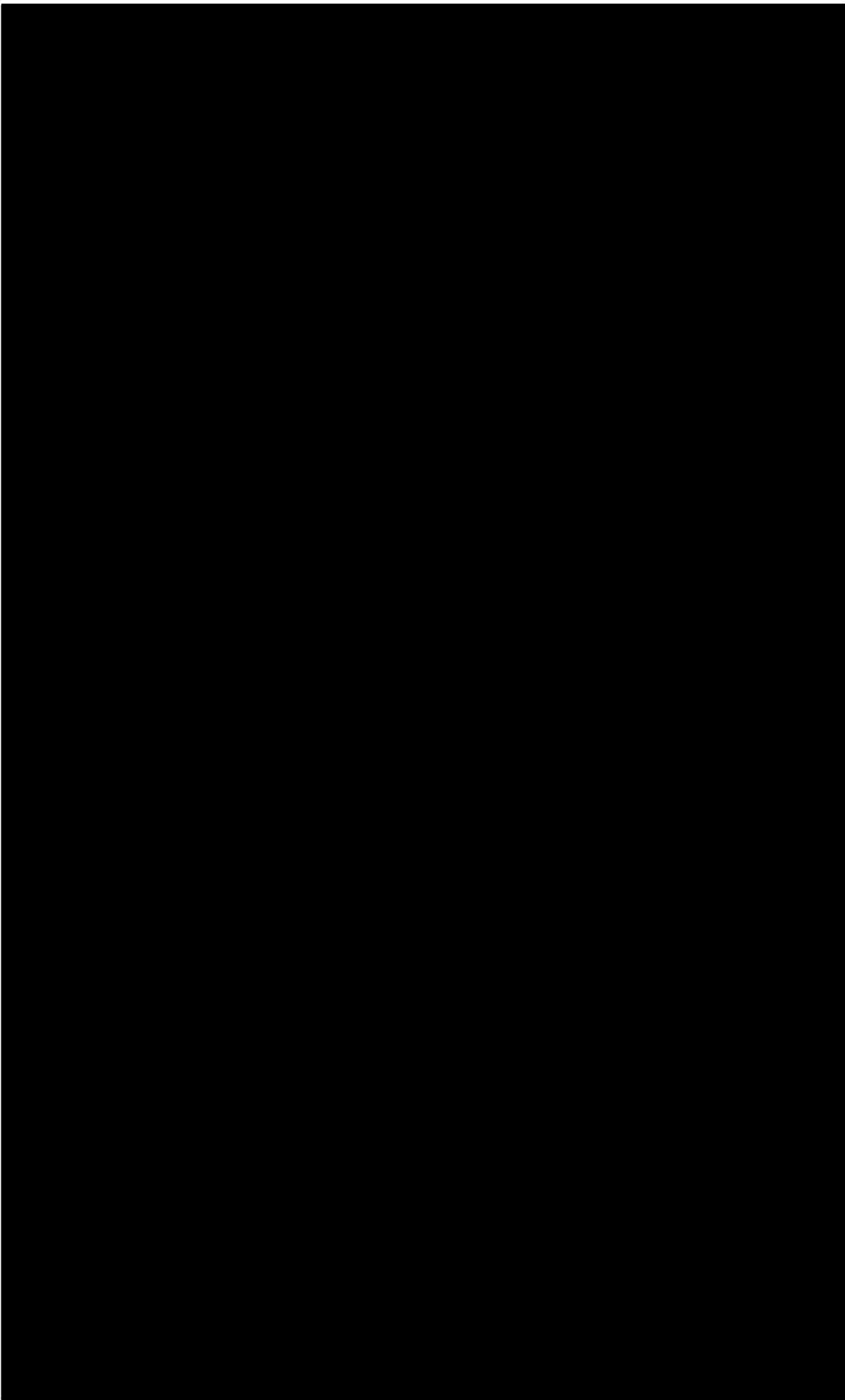


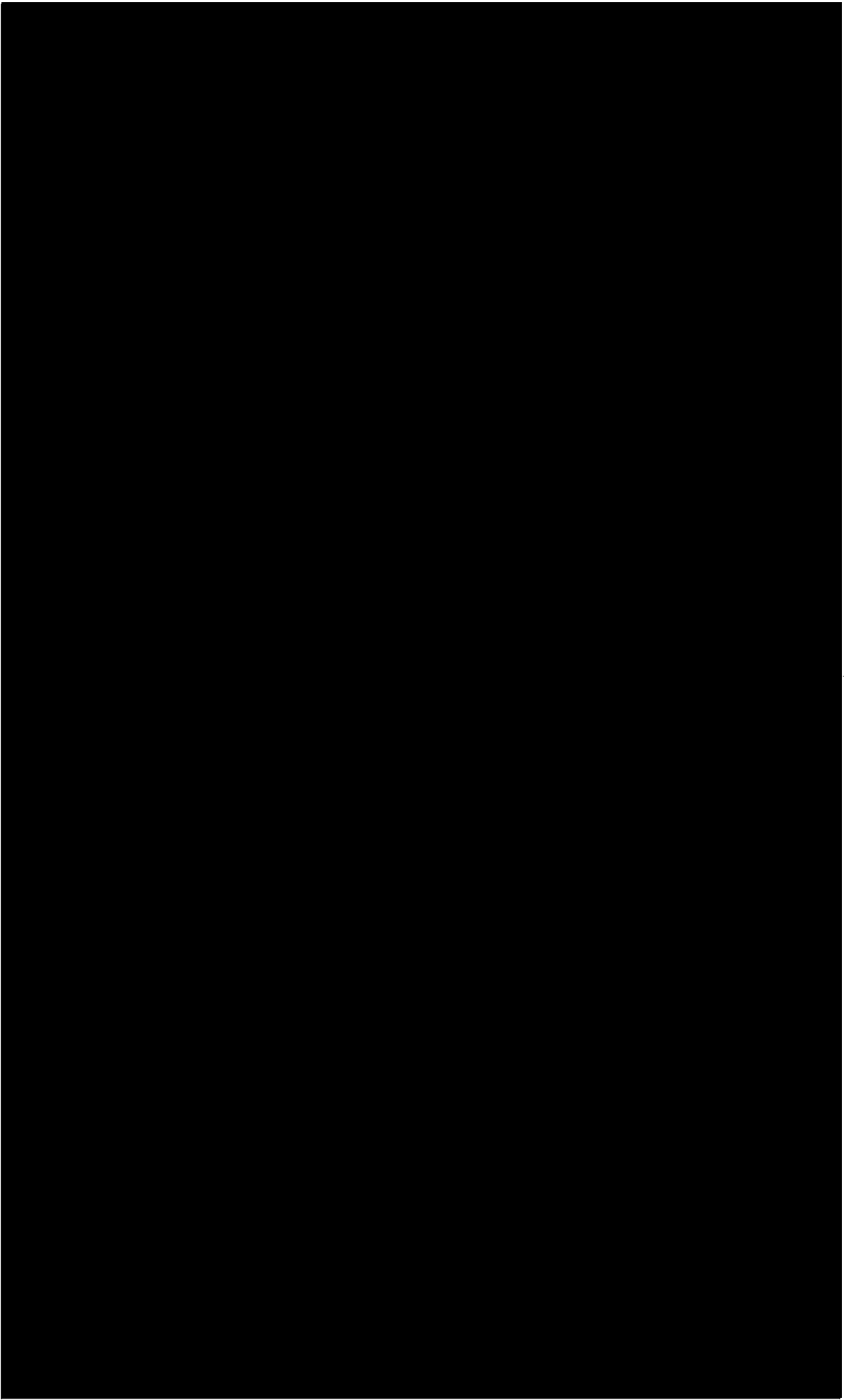


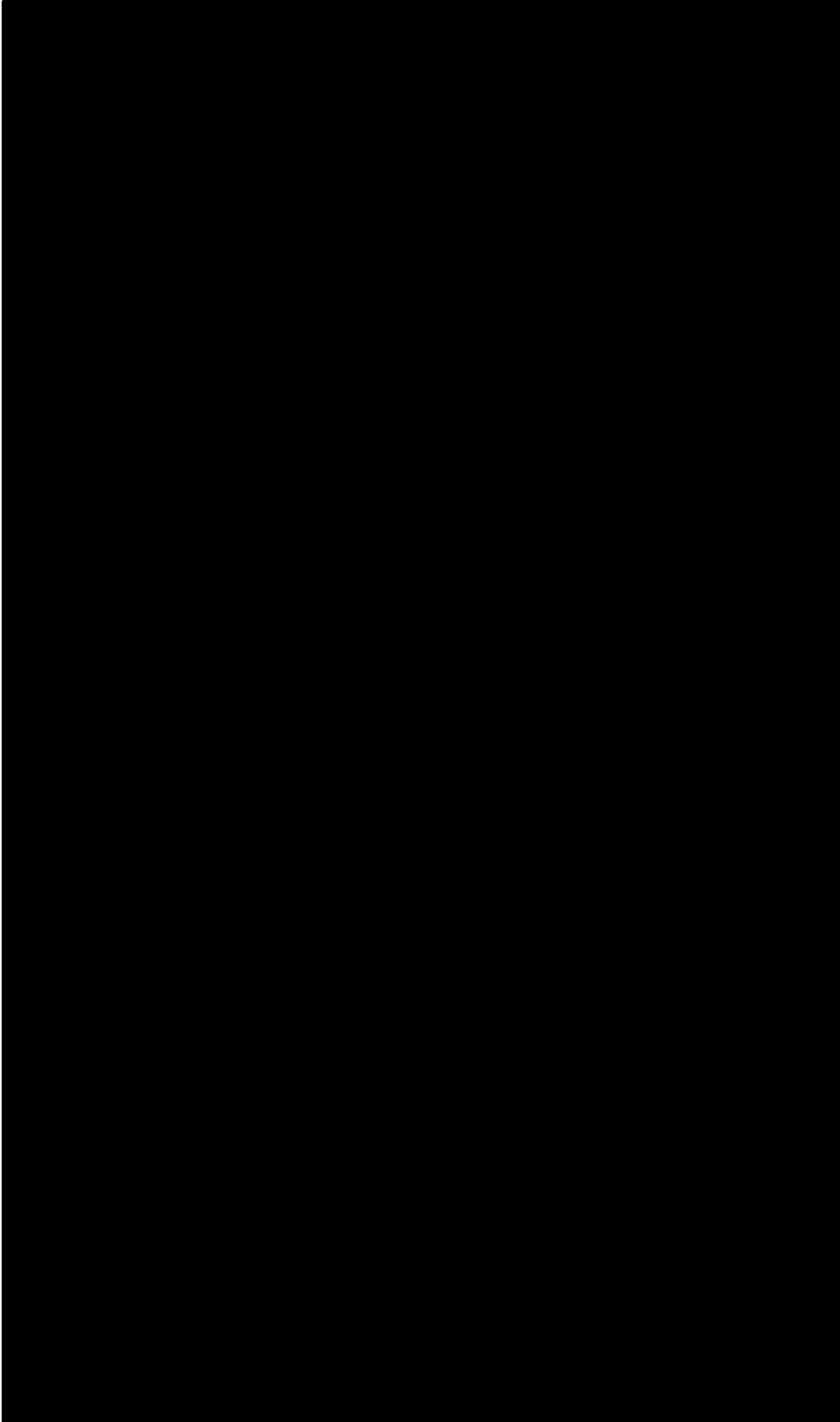


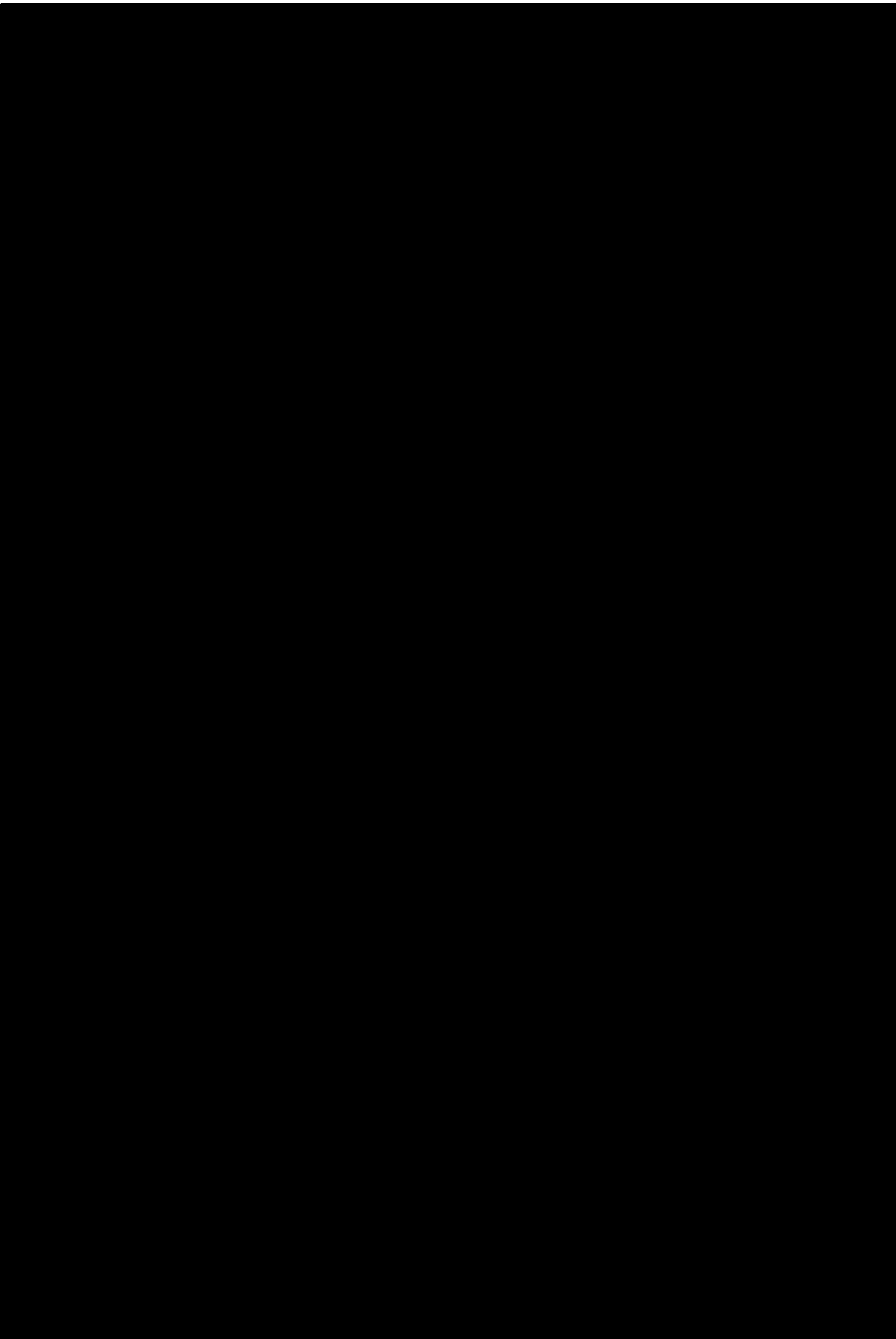


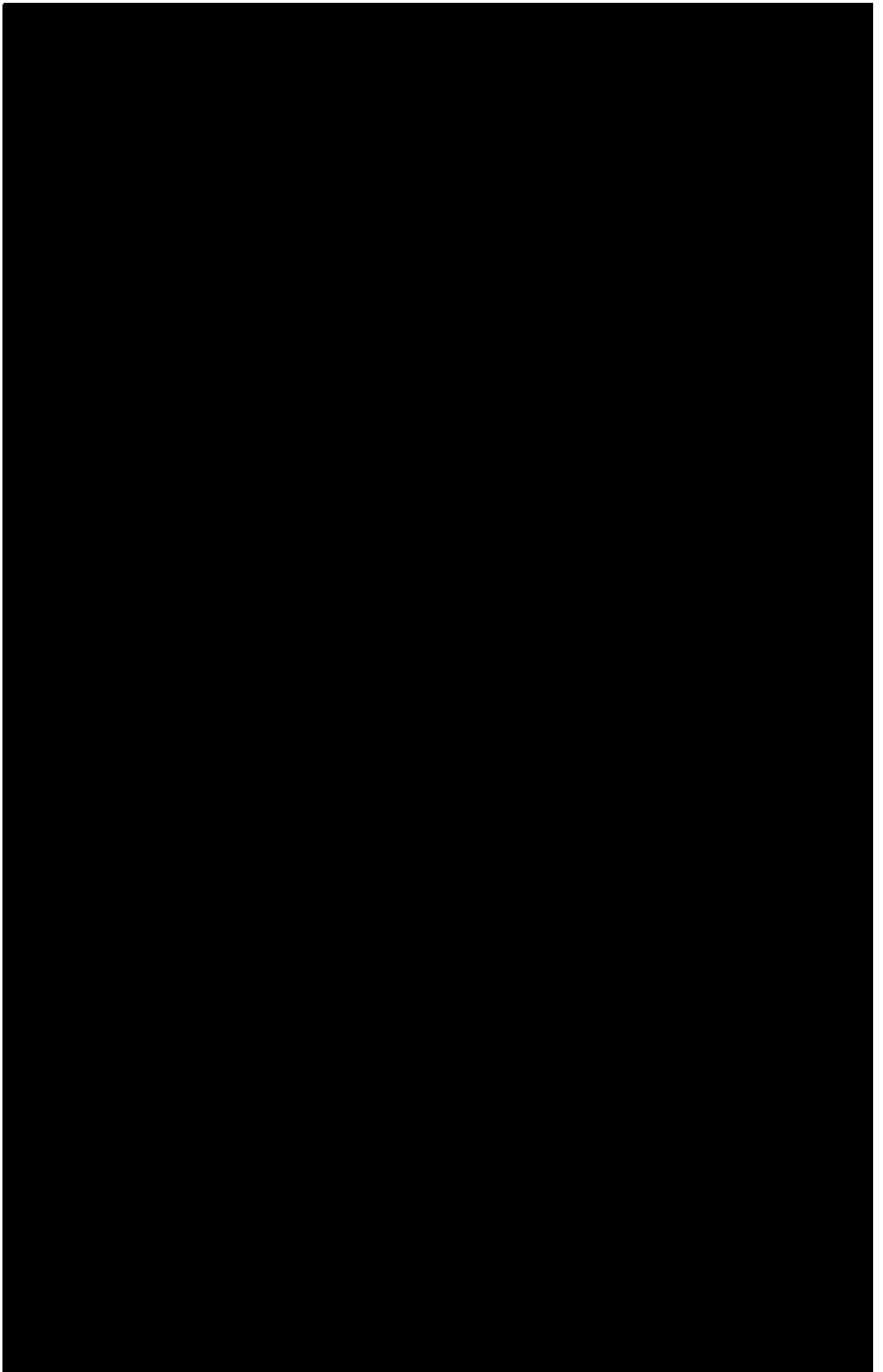


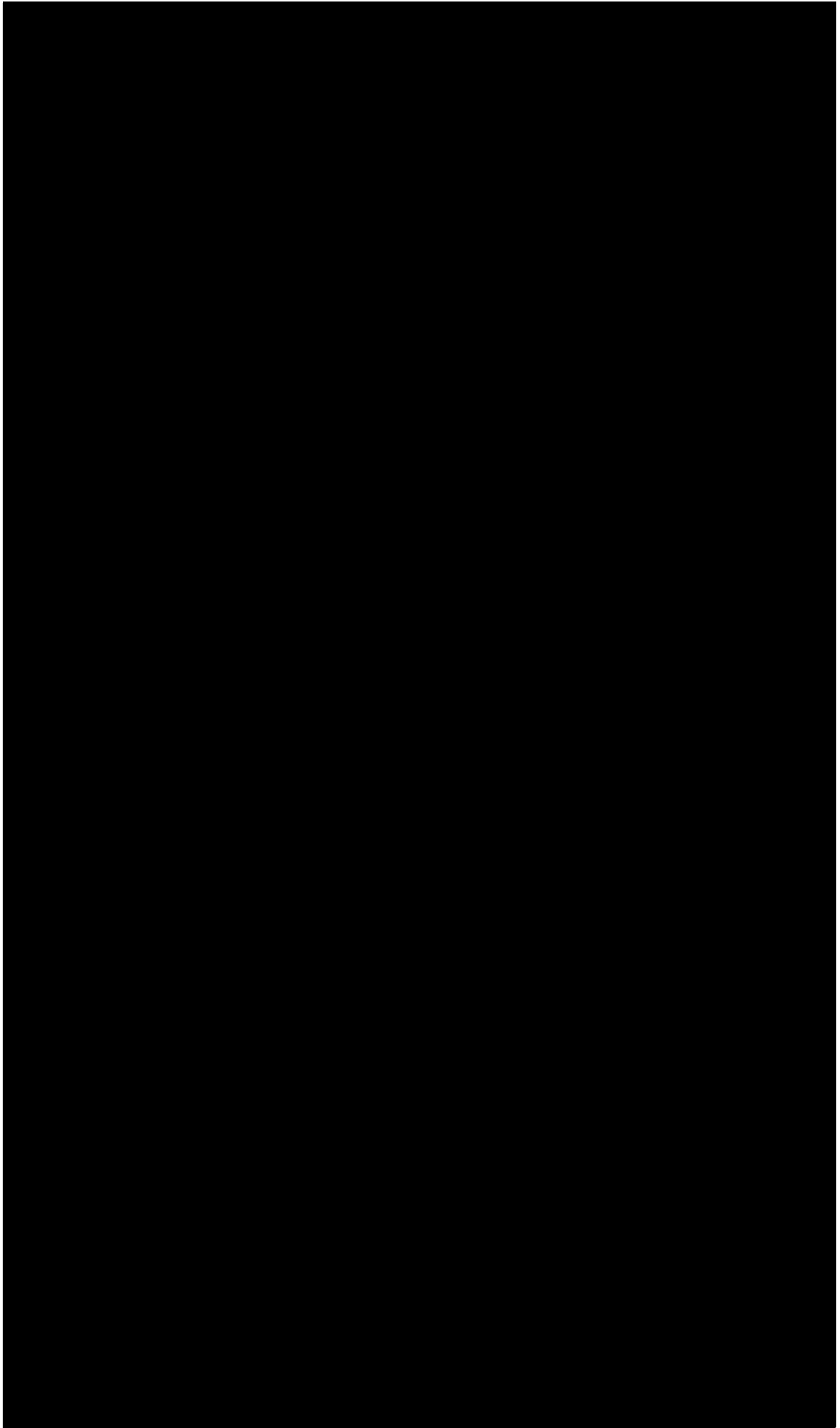


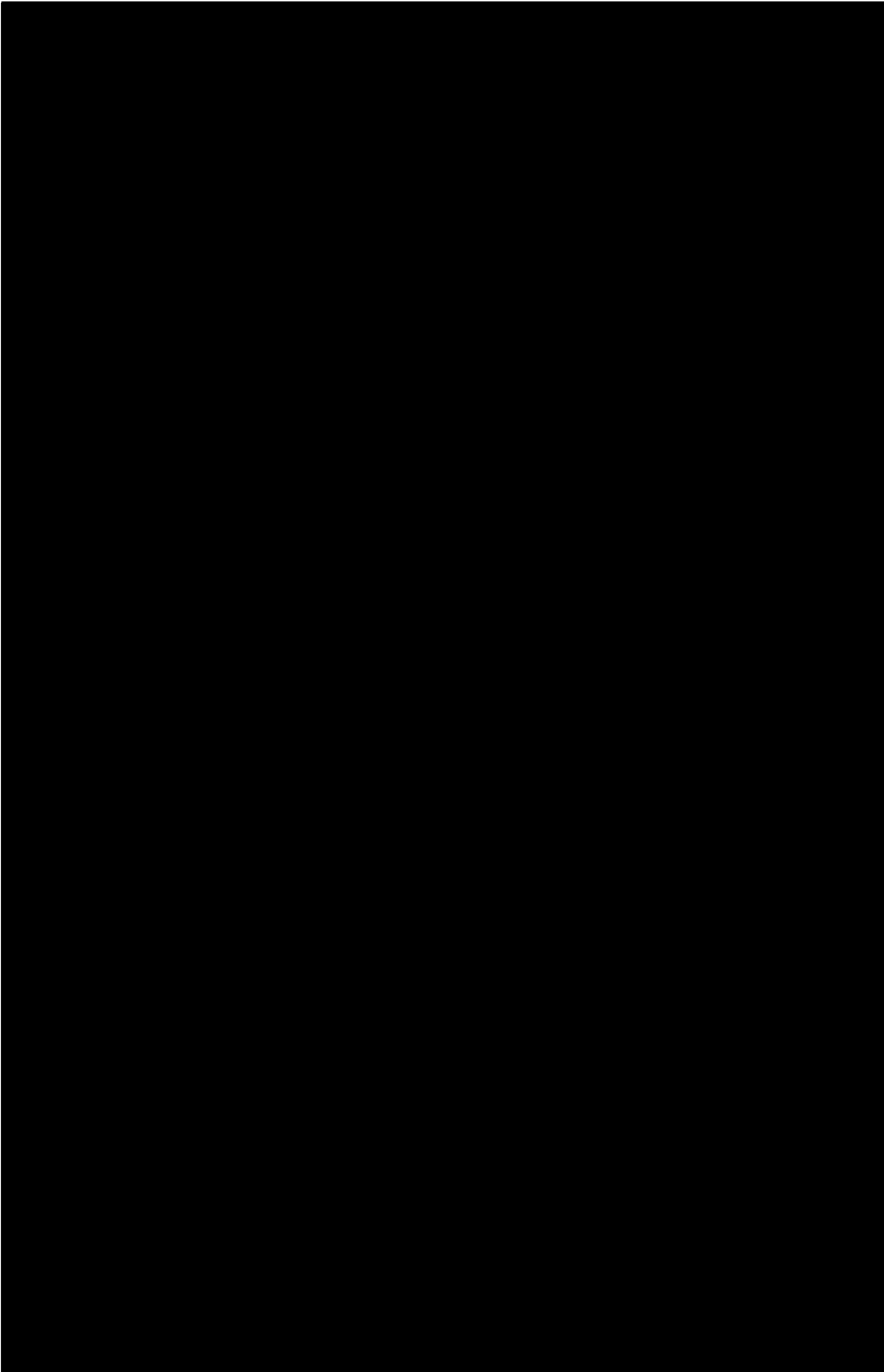


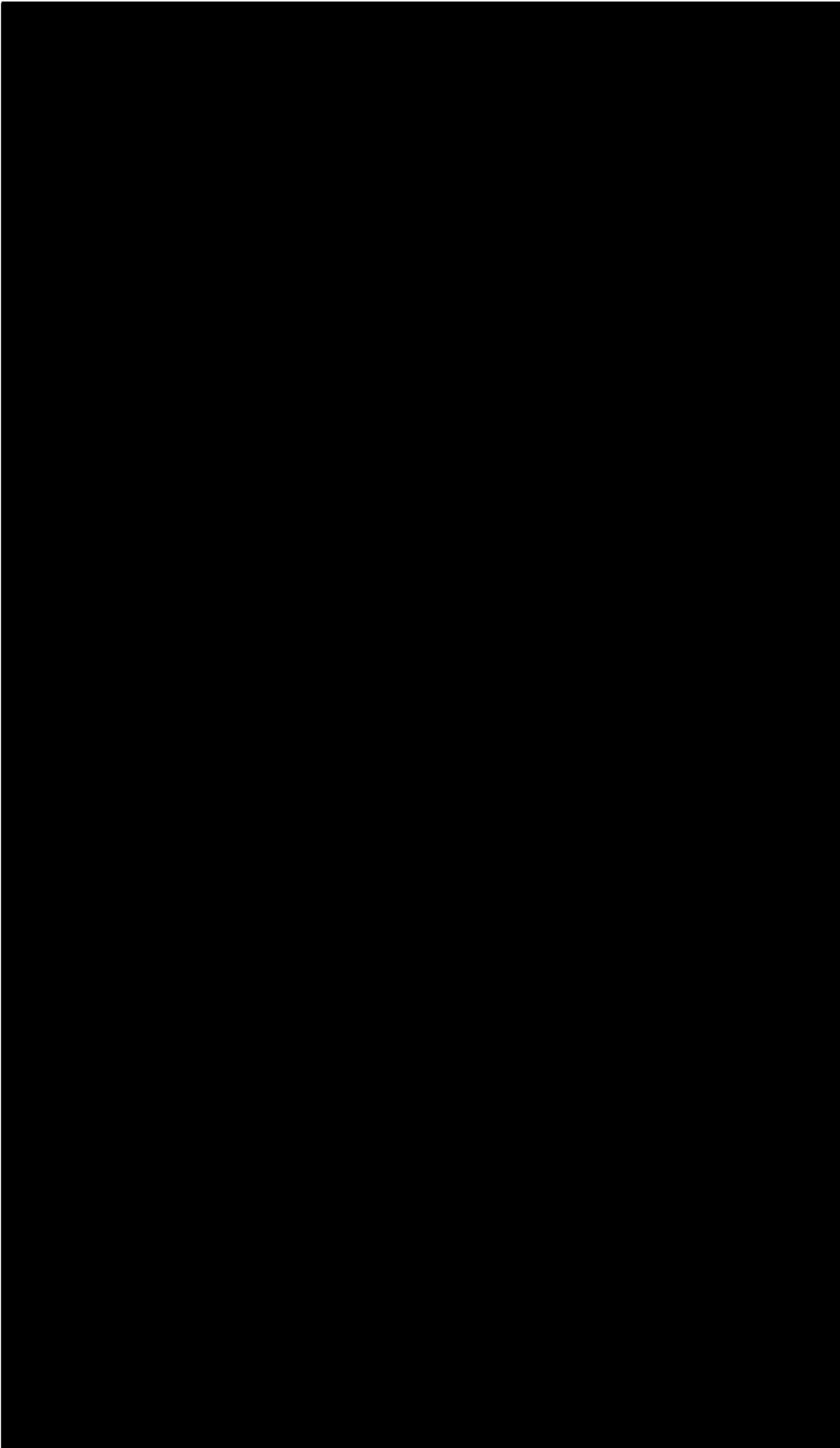


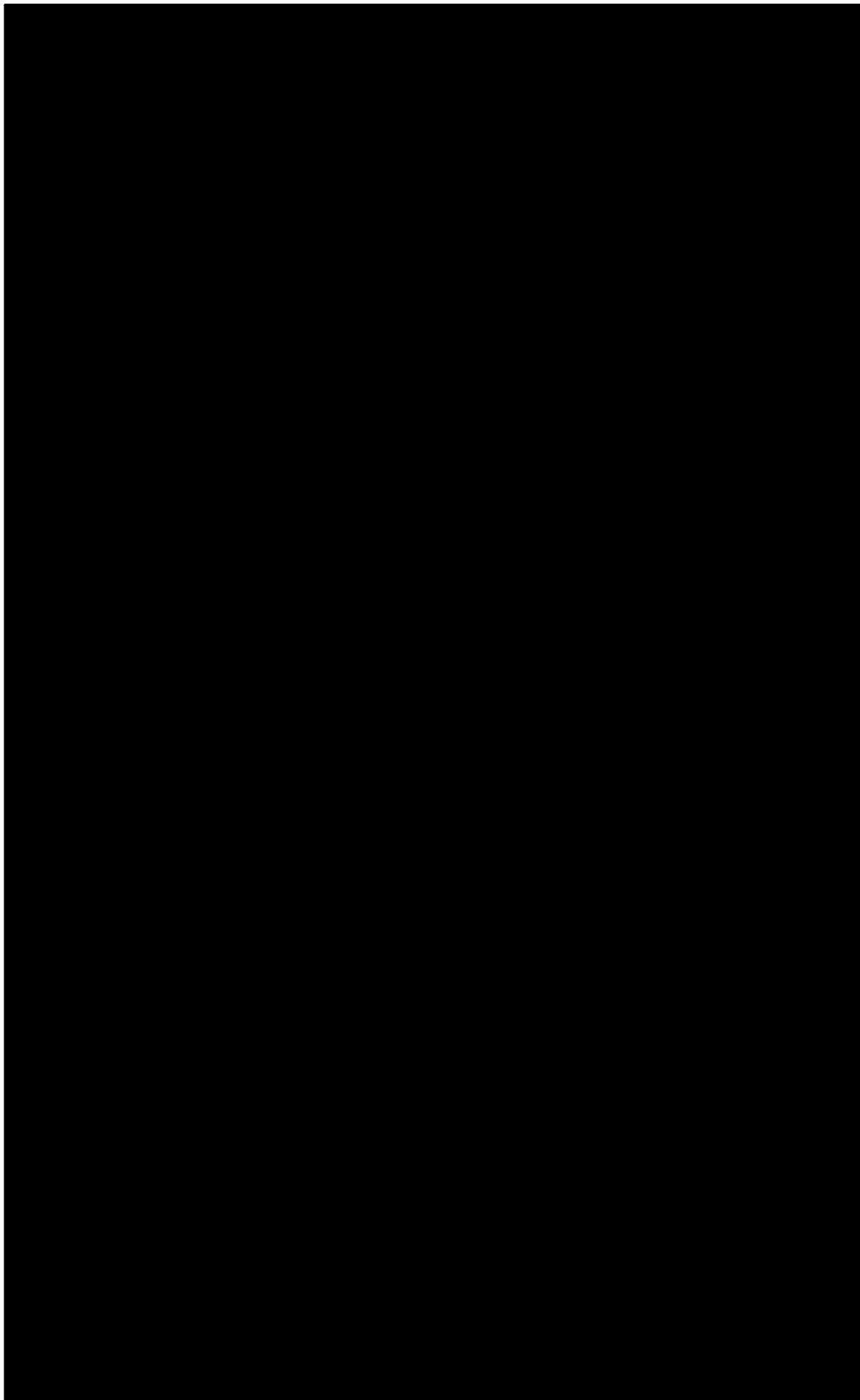


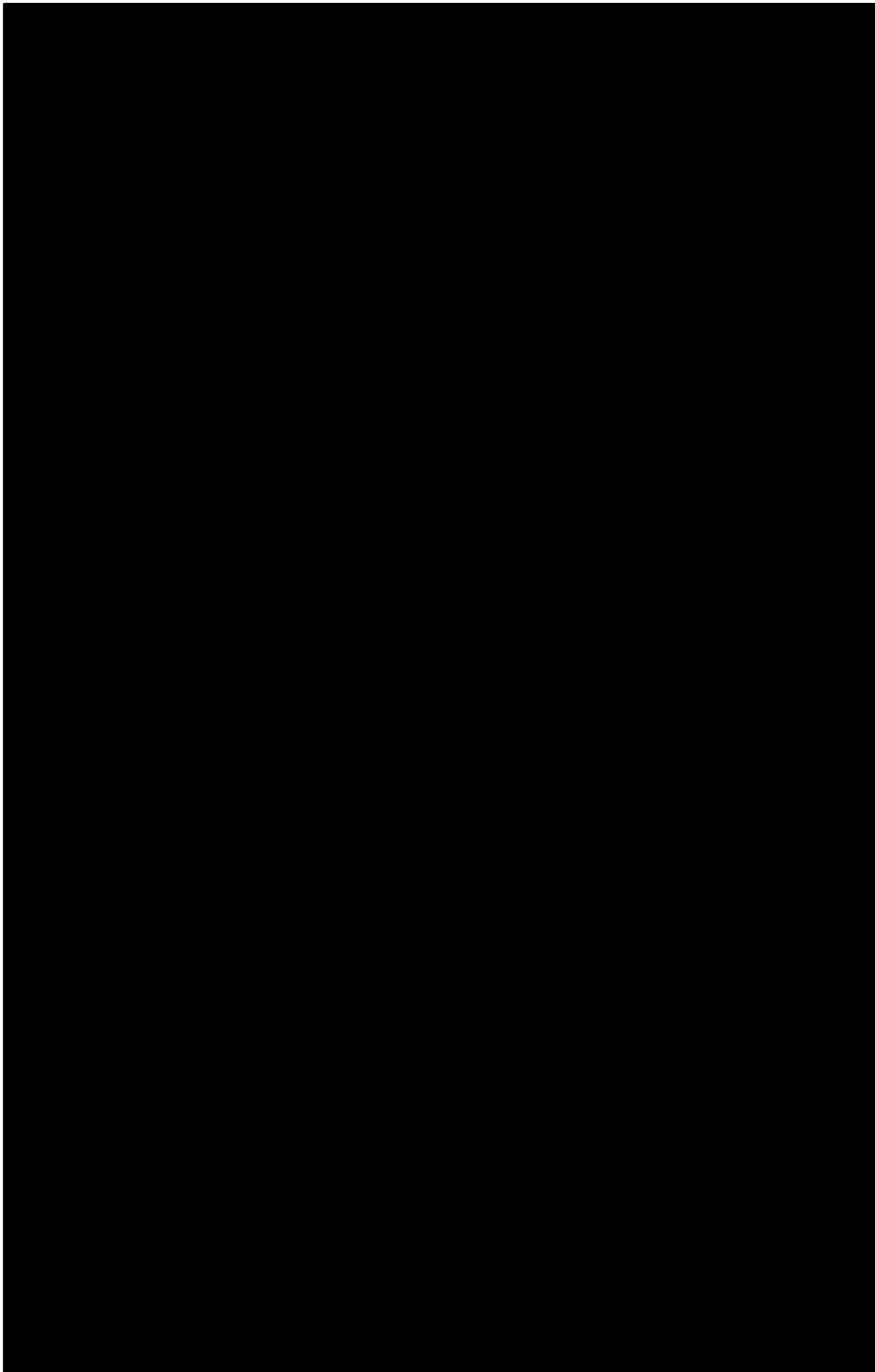


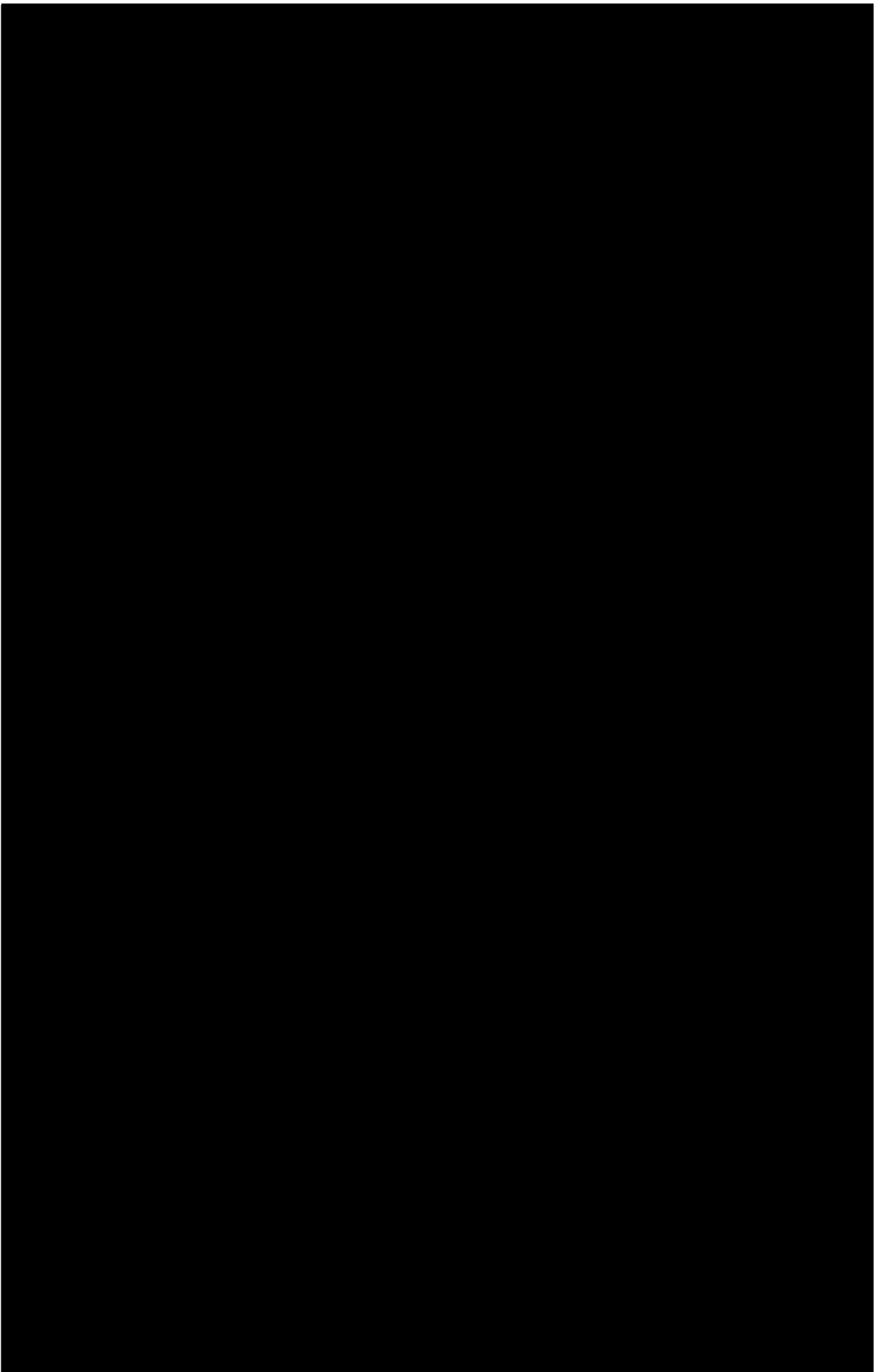


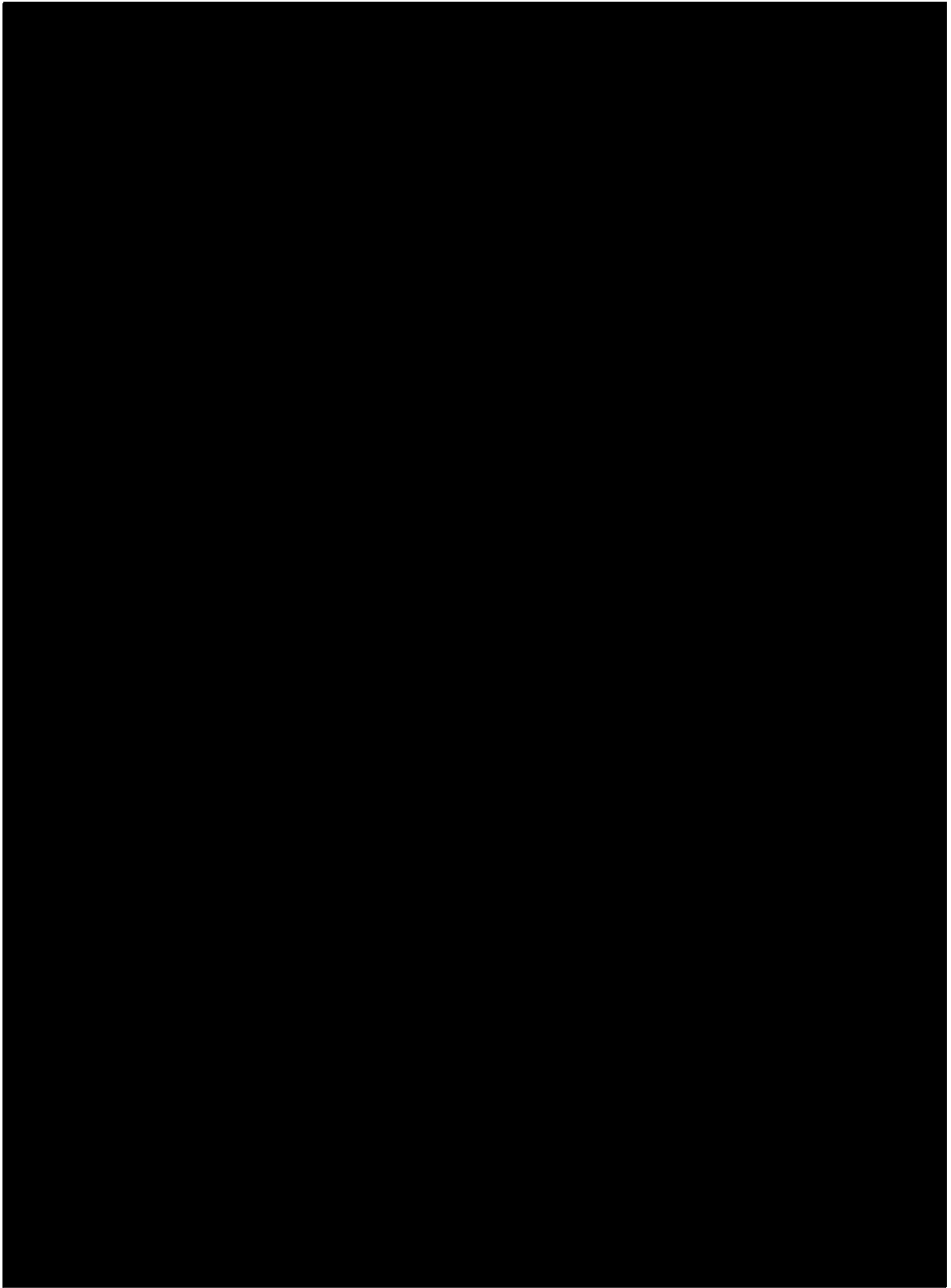










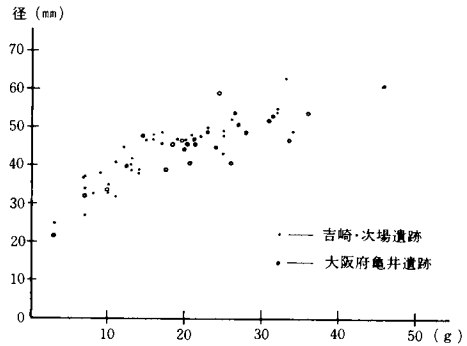


III 吉崎・次場遺跡出土工製品、玉類の考察

1 土製品

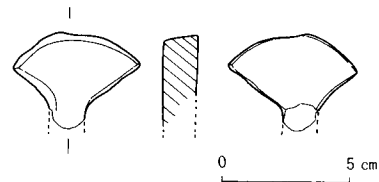
石川県における初めての大規模な弥生集落の発掘のためか、多彩な土製品が出土した。一般的な遺物でありながらこれまで出土例の少なかった紡垂車や土錘が多数出土したことに注目できよう。また、弥生時代中期に稀に出土する分銅形土製品や銅鐸形土製品の出土によって、西日本の弥生文化との対比や北陸における弥生文化の特質を考えるうえに重要な遺物といえる。

これまで弥生時代の紡垂車は散発的に出土している。小松市八日市地方遺跡や金沢市畝田遺跡、七尾市細口原山遺跡など、能登加賀を問わず出土しており、北陸でも本来的には一般的な生活用具であったと思われる。いずれも土器片の2次利用のB種紡垂車である。これらは中期の資料であるが、吉崎・次場遺跡の状況から類推すれば、後期に至っても同じ状況と推測される。佐原真氏によると紡垂車にも地域色が見られるらしい。県下出土の紡垂車で重量の記されたものが皆無であるので吉崎・次場遺跡で代表させると、東日本よりも西日本のものに近い様相であるものの、より軽量の紡垂車が多くみられるようである。



第166図 石川と近畿地方の紡垂車

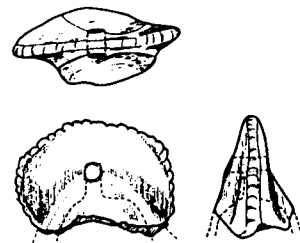
本報告の分銅形土製品には次のような特徴がある。文様が器形の周縁を中心に見られしかも刺突文を中心とし、かなり簡略化された文様になっている。また、大型のものは厚手の作りとなっており、後期のものほどそのような例が多いらしい。したがって東潮氏による吉備地域の編年から年代の上限を中期後半に求めることができる。石川県



第167図 戸水B遺跡出土分銅形土製品

出土の分銅形土製品は、本報告分を除くと、管見に知りえただけでも金沢市戸水B遺跡のみである(第167図)。戸水B例のくびれ部は異常に細く扇形の体部を持っており、通例のものとは趣きをやや異にしている。戸水B遺跡は中期後葉の標識遺跡で本例もその時期の遺構から出土しているらしい。製作方法は吉崎・次場遺跡よりも稚拙なので、分銅形土製品を真似て作ったものと考えられる。これらの例を直接的に対比できないが、ともに時期的には近接していると考えられ、中期後葉には既に分銅形土製品を用いる西日本的な祭祀が定着していたことを示す。また、戸水B式土器の編年の位置付けをも暗示するものと理解できる。

さらに西日本的な祭祀の定着を示す遺物に銅鐸形土製品がある。西日本を中心に出土し銅鐸分布にほぼ重なる傾向を示している。全国的にその年代がわかる例は少なく、模した銅鐸の型式のわかるものも少ないので判然としない。小松市八日市地方遺跡では中期中葉の包含層から出土し、吉崎・次場例とほぼ同時期とみてよい。少なくとも中期の



第168図 八日市地方遺跡出土銅鐸形土製品(1/3)

櫛描文の流入とともにこれらの遺物も入ったものと考えられる。なお八日市地方遺跡の銅鐸形土製品は報文で不明土製品と報告されている。本例も円孔をもって鈕を表現し、鱗部には刻み目が施されている。

複数の時期の土錘が各調査区から多量に出土しているので細かな検討をするのは困難である。土錘の重量が重くなればなるほどそれを支える網糸は強くなければならぬ。つまり山本直人氏が述べられているように重量と土錘は孔径に密接な関係を想定できる。重量によって捕獲する対象を規定することができるであろうし生業の復元もある程度可能である。また、原始古代の土錘の重量分布のグラフをみると、極端な分布の偏りや散布が見られないことから、ある一定の技術段階到達以降、技術的に漁労形態はそれほど変化しなかったものと考えられる。吉崎・次場遺跡の場合、眼前に広がる邑知潟が主たる活動舞台であったと考えられる。

2 玉製品

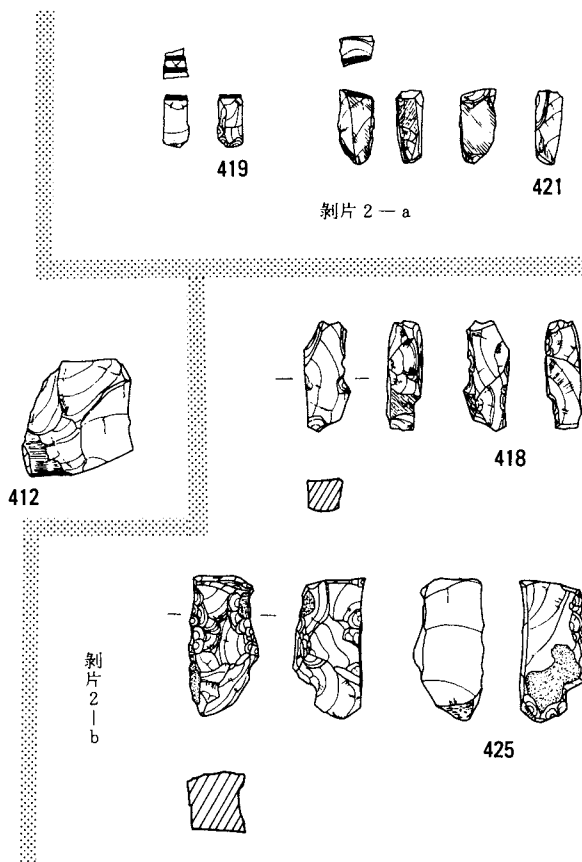
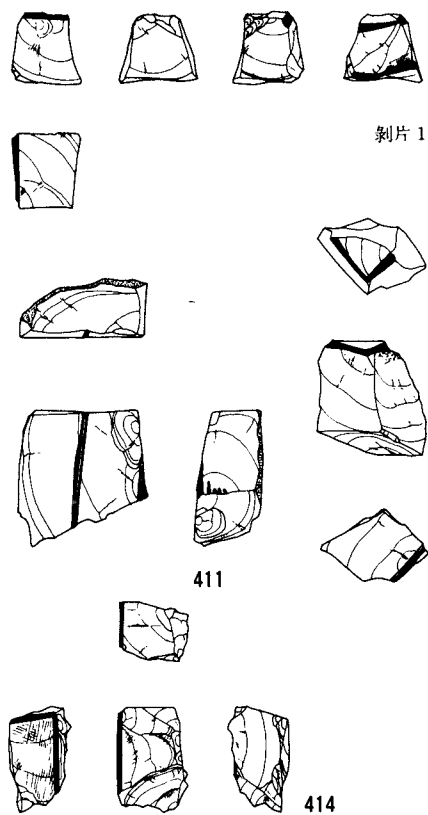
吉崎・次場遺跡の玉製品の特徴は、ひとつは碧玉製玉の場合擦切り剥離面の研磨と比較的大形（径の太い）の角柱状剥片の存在、ふたつは翡翠製品の存在、である。しかし、一括資料としてではなく大多数が包含層出土と言うことで所属時期や技法の復元は困難であるものの、少なからずの問題をなげかけてくれる。

佐渡や越後地域の玉未製品には研磨が施されない。研磨を用いる技法は近畿地方を中心にみられ、大中の湖技法の影響が強いものと理解できよう。また、佐渡等の地域の管玉の径は2～3mmの細形管玉を主流としているが、滋賀県大中の湖遺跡ではより太い管玉も多いらしい。このように管玉の形態からも西の影響を認めることができる。

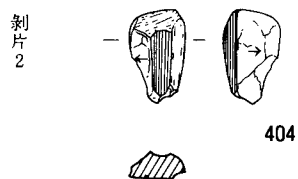
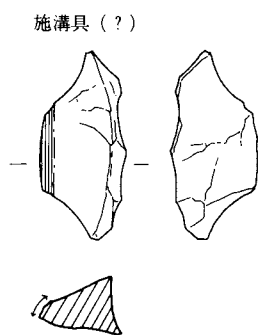
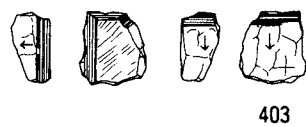
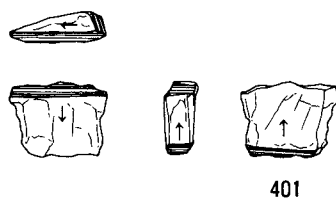
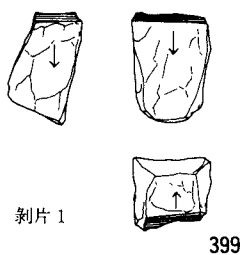
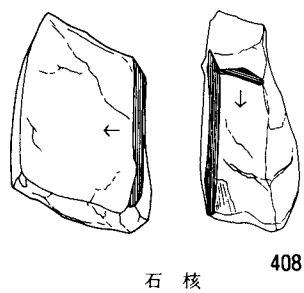
しかしながら、寺村光晴氏は吉崎・次場遺跡の玉未製品を佐渡地域と同一技法（新穂技法）と捉えている。筆者の怠慢より既掘の資料を見ることができなかつたのでその是非を検討することはできないが、もしその技法の存在が確認されるならば二つの技法が同時(?)存在したことになる。さらに板状に研磨した剥片から擦切りによって角柱状剥片を作り出す方法も確認でき、これは島根県布田遺跡等でみられる。少なくともこのように複数の技法の存在を確認でき、これが次場遺跡の玉作りの特徴の一つと考えられるが、石材の硬・軟の性質の差によるものと確認できなかった。もちろん爪によって傷をつけえるような軟質石材も少数認められるものの、ほとんどが硬質でありマスプロ生産とは考えにくい弥生時代中・後期にあつてはその終末期にあたる塚崎遺跡と同じような解釈はできまい。

また、同じ口能登地域の細口原山遺跡では押圧剥離が見られ、新穂技法と考えられている。能登における新穂技法の存在による、かつて寺村氏が考えたような技法に見られる文化的な対立という構図は、現在の資料による限り考え直す必要がある。すなわち、弥生社会は玉製作の技法がその地域の文化の性格を規定しうほど単純なものでないからであり、玉製作の技法がその集団に与える社会的制約の論理的背景がないからでもある。

さて、翡翠製玉の製作方法を検討したい。原石は河川の転石を使用しているようである。本資料中にその痕跡は見られないが、寺村氏も推定しているように、加熱処理の後打撃を加えて分割したのと考えられる。このような荒割の後擦り切りによって順次分割していくわけだが、擦り切り痕の幅は碧玉よりも大きくそれと違う工具を想定できる。縄文時代の場合擦り切りによる硬玉製品の存在はみられず、縄文時代以来の蛇紋岩のような硬質の石器や弥生時代の石器製作技術をある程度反映しているものと考えられる。



第169図 碧玉製玉類の製作



第170図 翡翠製玉類の製作

擦り切りは第1次剥片からの剥片剥離から形割の最終段階の剥離にまで幅広く用いられている。おそらく勾玉を主としていたようで偏平な直方体に仕上げている。小さな剥離も擦り切りによっているものと考えられ、打撃による分割方法はほとんど見られないようである。すなわち、一面に研磨を施している(403)ものがあるので、それ以後研磨によって形を整えていくと考えられる。これは糸魚川市大塚遺跡にみられるような縄文的な打撃を主とした製作技法と大きく異なり、吉崎・次場遺跡は西方の影響の下に製作を開始した可能性を指摘できよう。

産出地である糸魚川・青海地域における翡翠製の玉の生産は縄文晩期以降途切れるようで、弥生時代前期に大塚遺跡、後期に後生山遺跡があるにすぎず古墳時代玉生産の前提となることはない。一方、吉崎・次場遺跡出土翡翠製玉未製品は所属年代を明確にしえないが中期の可能性はある。

翡翠の原石は糸魚川地域から搬入しなければならない材料である。海岸の漂石にしろ姫川や青海川の転石を利用するにしても、かなり遠距離を運ばねばならない。富山県下においては江上A遺跡など複数の遺跡が知られ、翡翠が産出地から本遺跡まで一気に運ばれたと考えると同時に翡翠の移動するルートが存在も考えられる。また、石川県内においても翡翠の原石や剥片等が散見し、その移入の規模が大きいものと考えられよう。これらを逆説的に考えると、糸魚川周辺での翡翠の採集はその地域集団のテリトリーとしての専有状況が考えにくいように思われ、現地での玉生産があまり活発でなかったことの一因であろう。

最後に、平地に立地する弥生集落からは玉材がまま出土し、その生産がかなり普遍的なものであったことが予想される。生産の意義を理解するには資料不足であるが、弥生の生産活動を考えるうえに重要な位置を占める。

図 版

(遺物図版縮尺は各々不同、遺物番号は本文、挿図と一致する)



1 吉崎・次場遺跡周辺部空中写真（1983.10 撮影 セントラル航業株式会社提供）



2 吉崎・次場遺跡周辺部俯瞰（北西より）
3 吉崎・次場遺跡S調査区俯瞰



4 H区全景
（北より）
5 H区微高地末端
傾斜変換部



6



7



8

- 6 H-1号土坑,
H-4号溝
- 7 H-4, 5号土
坑, H-2号溝
- 8 H-10号土坑,
H-8号溝



9 H-5号溝
10 H-3号溝
(手前H-2号溝)

10.



11



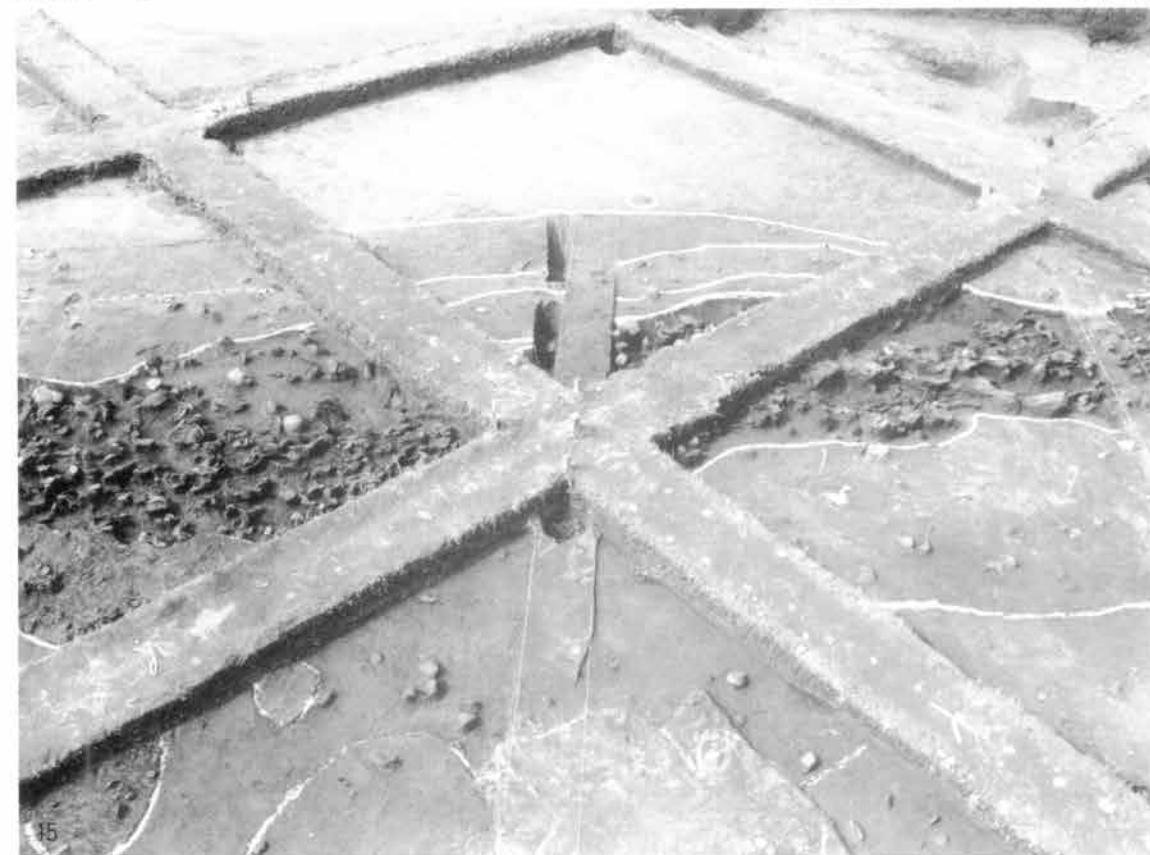
12

11 H-6号溝
(北より)
12 柱穴群
(H-40~50)



13 最上部
(南東より)

14 最上部
(北西より)



15 最上部
(中央NW122a杭)
16 I-3, 4号溝
上部(北西部)
17 上部(NV121d)
18 上部(NW122a)



19 主に上部
20 主に上部
(NW122a)



21



22



23



24

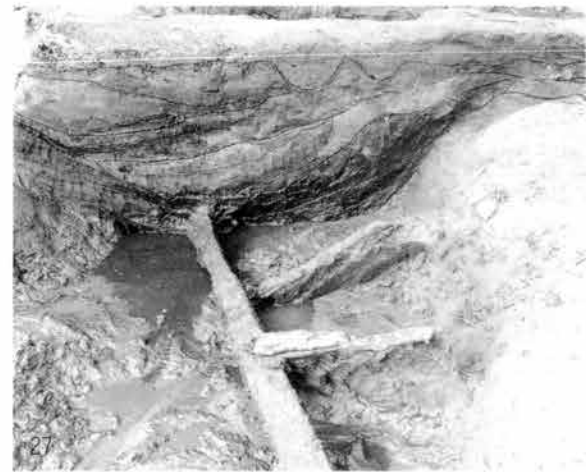
- 21 はずみ車(103)
出土状況
- 22 上部の下
(NV121c P-53)
- 23 上部の下
(NW121b P-36, 37)
- 24 Aライン断面
(南西より)



25



26



27



28



29

- 25 下部
- 26 下部 (NW121c,d)
- 27 下部 (NV121c)
- 28 下部 (NV121c W-4.5)
- 29 下部 (NV120d W-1~3)



30 I-3, 4号溝
(北西より)

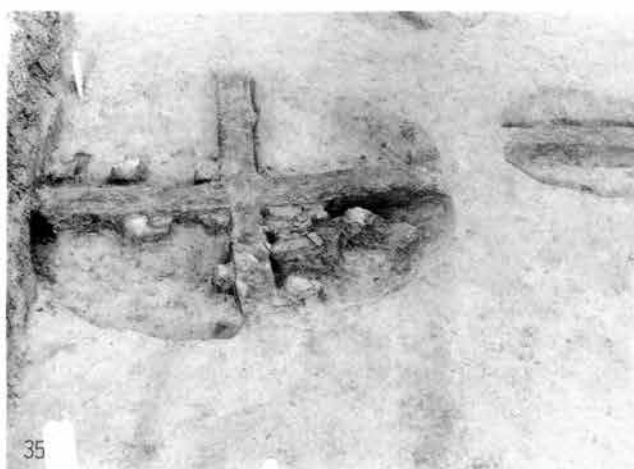
31 I-3, 4号溝
(南東より)



32

32 M区全景
(西より)

33 M区中央部
(南より)



34 M区北西部 (南東より) 35 M-1号土坑 36 M-3a, b号土坑 37 M-5号土坑 38 M-7a, b号土坑



- 39 M-9a,
9b号土坑
- 40 Pit-15
- 41 M-4, 9
号溝
- 42 M-2号溝



43 0区
(0-0~40)

44 0区南端
低湿地域



45 0-1号溝
46 0-2, 6号溝
47 0-2, 6号溝
(北より)



48 0-5号溝
（西より）
49 0-7号溝
（西より）
50 遺物出土状況



51 U区(北より)
52 U区南端
53 U₁区(西より)
54 U₂区(北より)



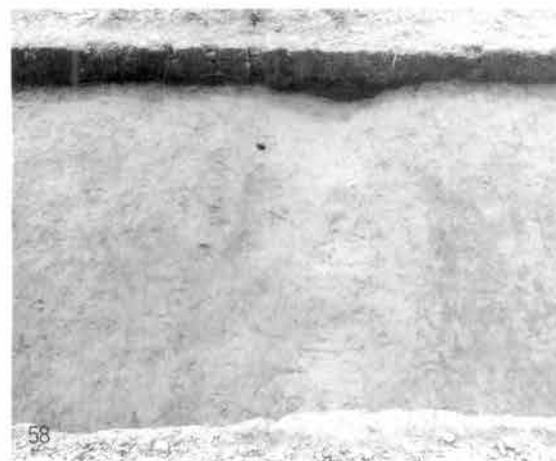
55



56



57



58



59

- 55 U₃区全景
(西より)
- 56 U₃区
(U₃-0~62)
- 57 U₃区
(U₃-93~0)
- 58 U₃区溝
(U₃-141)
- 59 U区溝
(U-52)



60 遺構検出状況
(S-182~250)

61 遺構分布状況
(S-182~250)



62



63

62 遺構分布状況
(S-260~290)
63 遺構検出状況
(S-260~290)



64 遺構検出状況
(S-290~325)

65 旧河道?
(S-316~325)

65



66

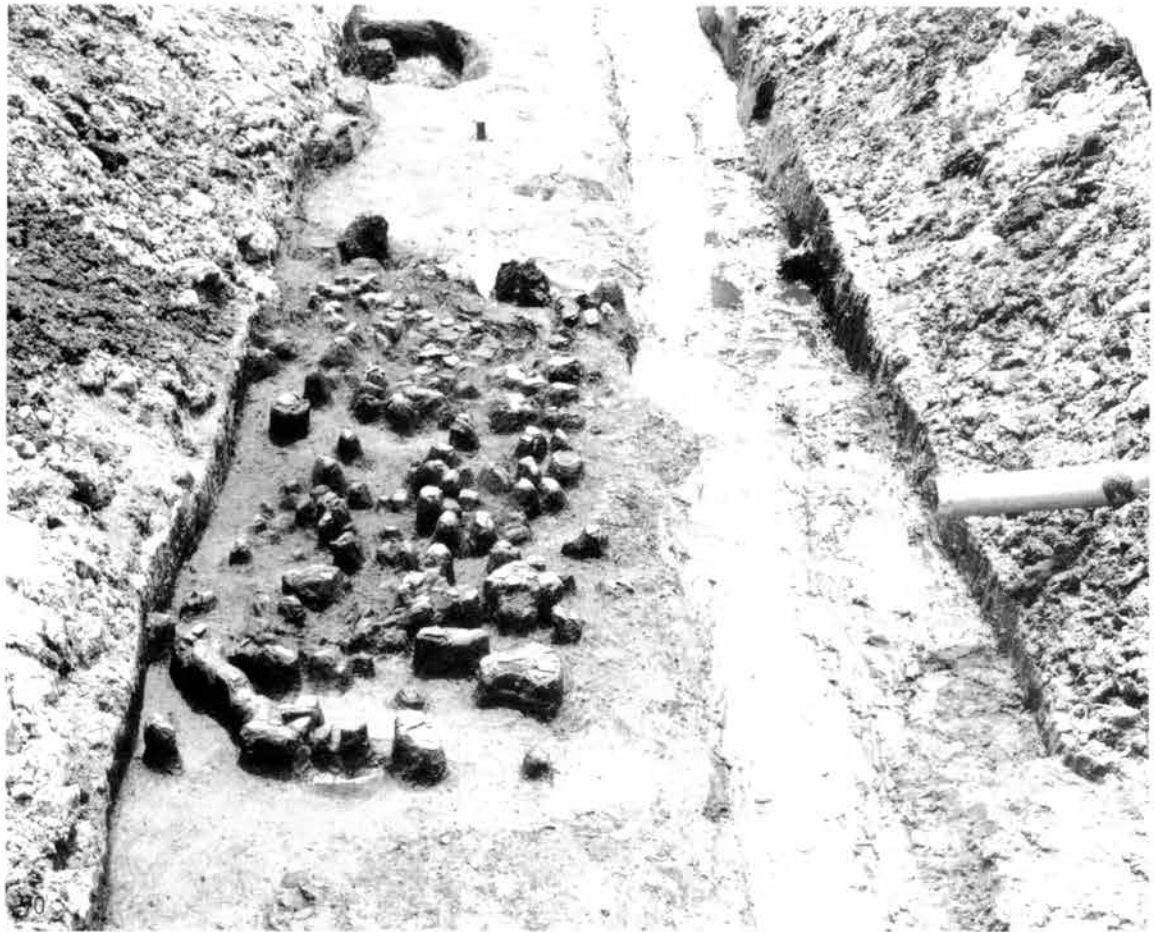


67



68

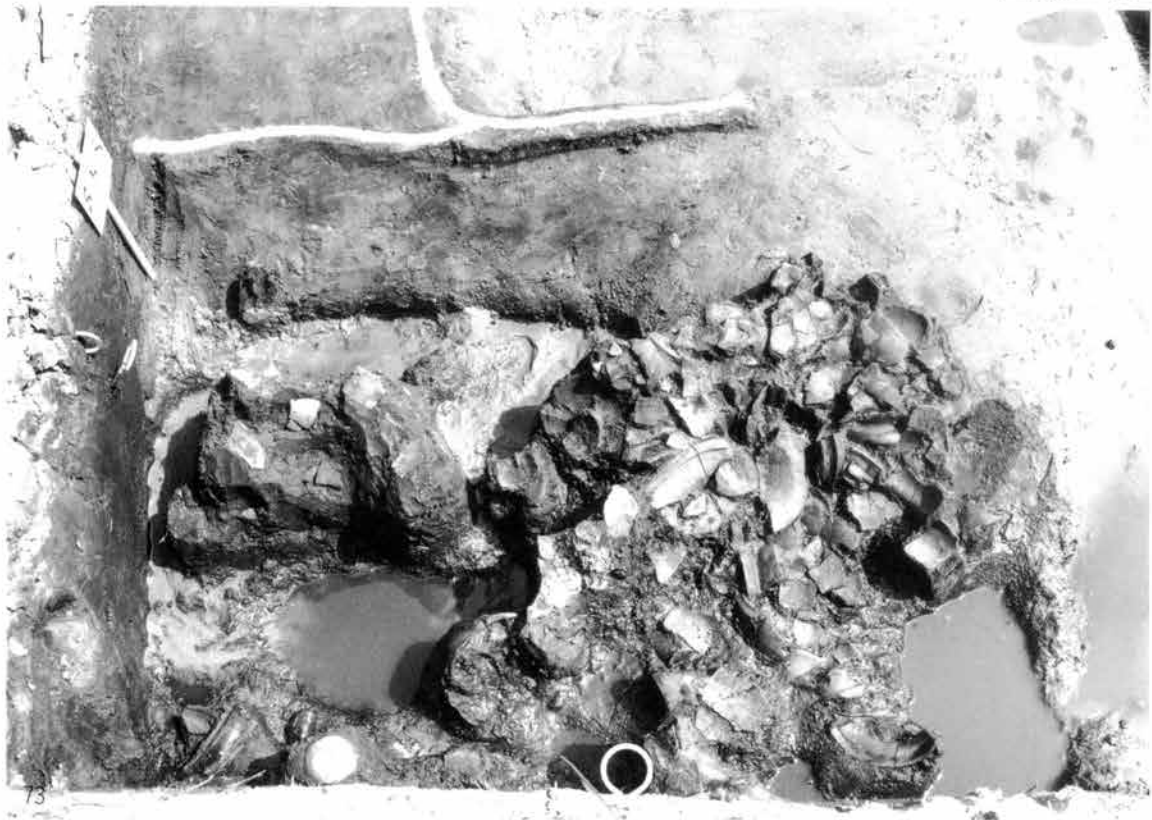
- 66 S-1
号土坑
- 67 S-2
号土坑
- 68 同上
(1512)



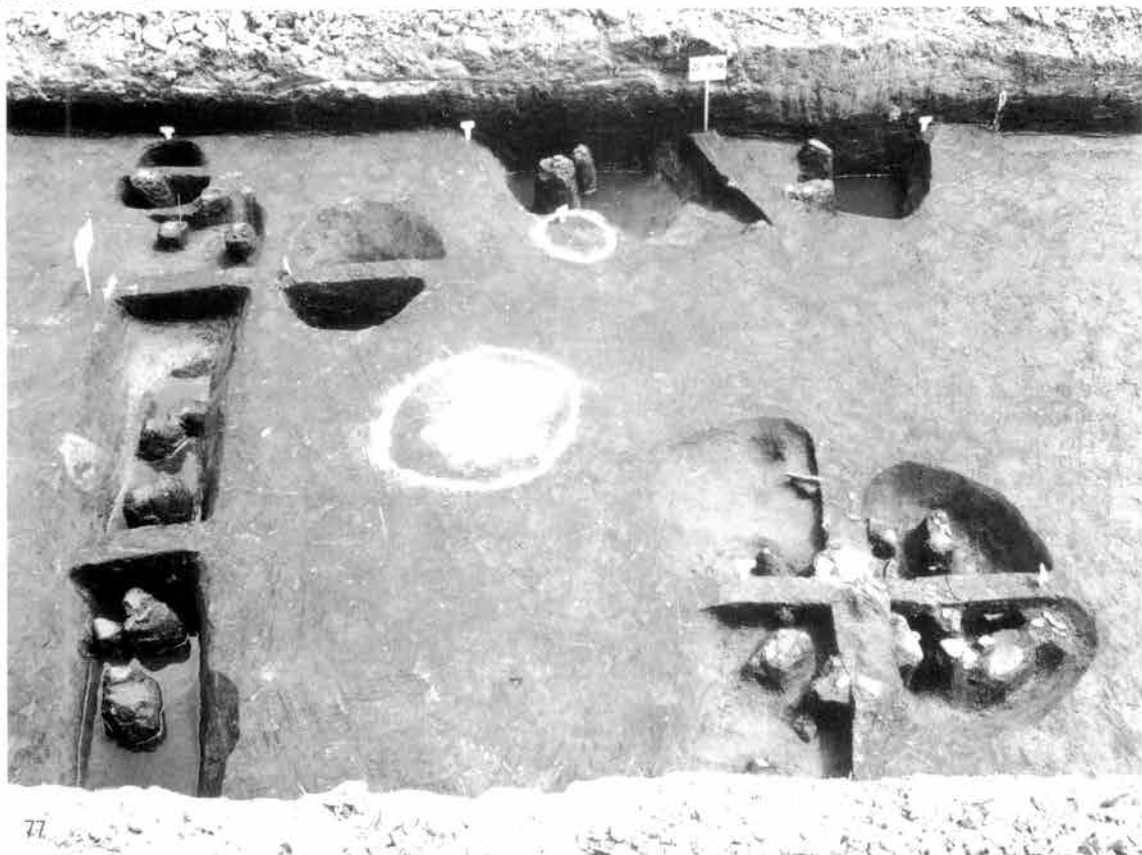
- 69 S-3a~f号土坑
(南より)
- 70 同上上端(遺物包含層,
北より)



71 S-3b号土坑
72 調査風景
(S-4a・b号
土坑付近)



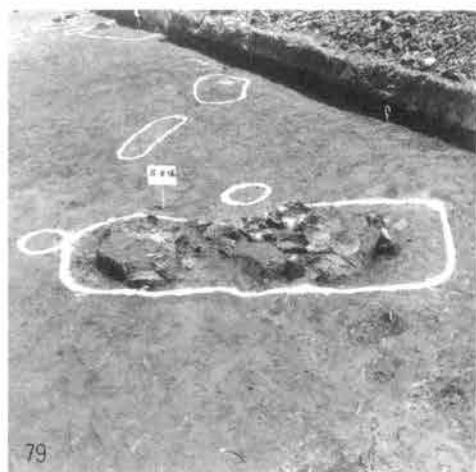
73 S-5号土坑
 74 同上
 75 同上下部
 76 S-6号土坑



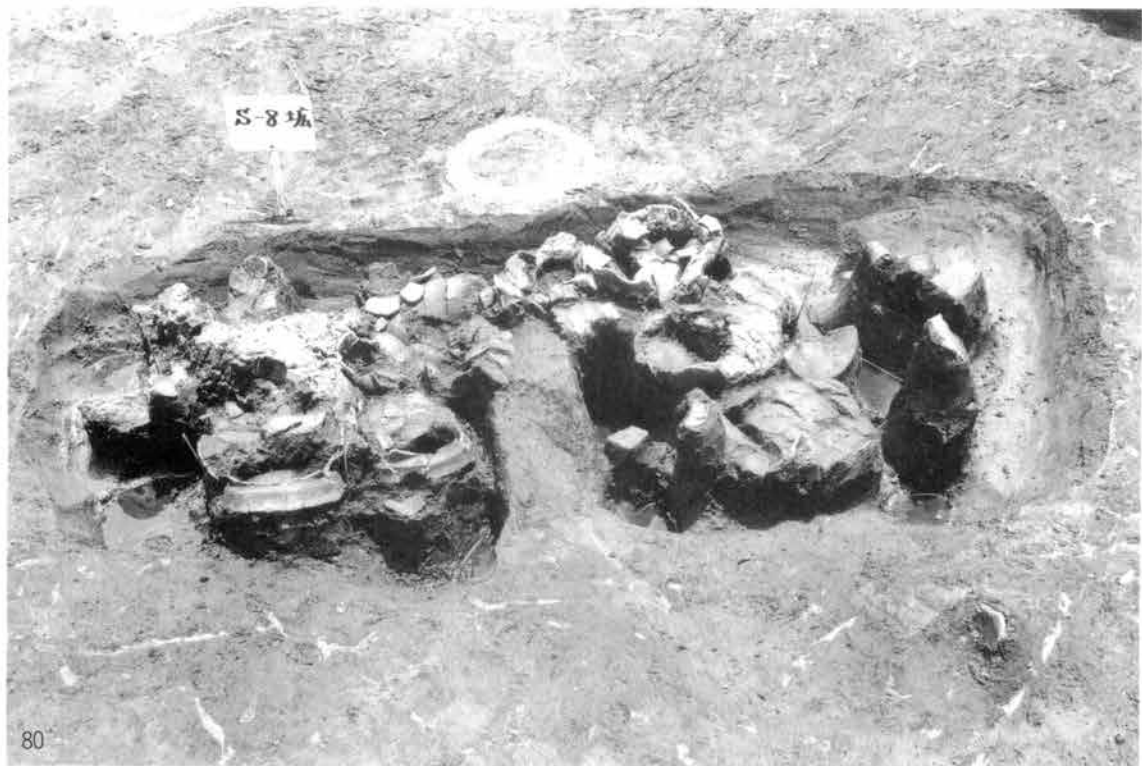
77



78

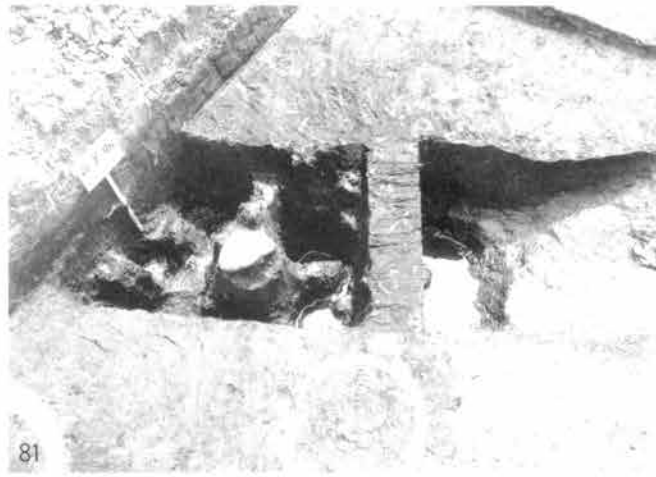


79



80

77 S-7, 10a・b号土坑,
S-1号溝
78 S-7号土坑
79 S-8号土坑
80 同上



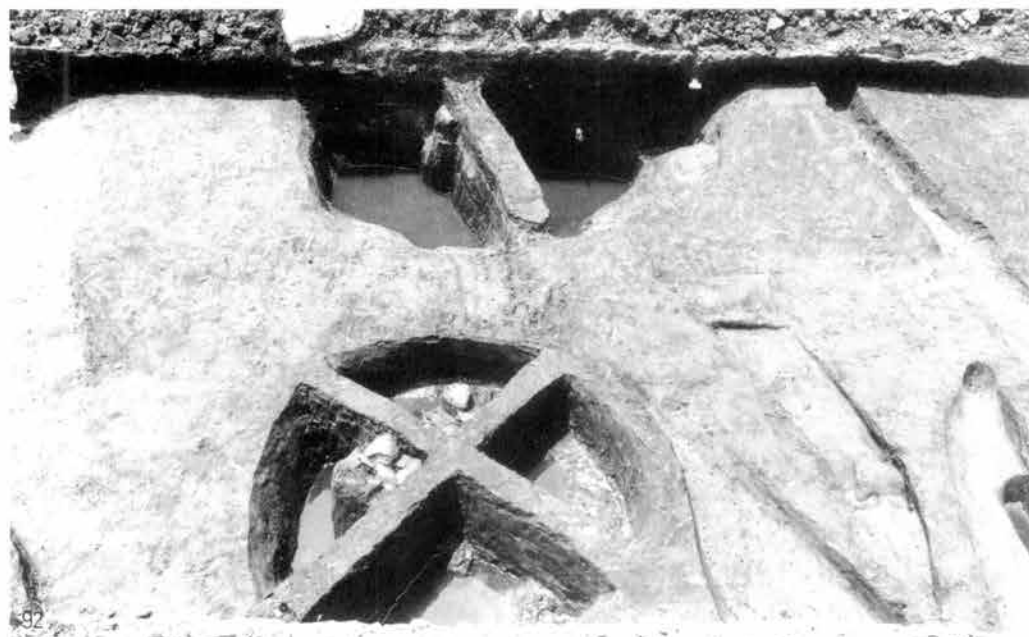
81 S-9号土坑
82 S-11号土坑
83 S-13号土坑
84 S-14号土坑



85 S-13-15号土坑,
S-5号溝
86 S-15号土坑



87 S-16, 17号土坑,
S-6, 7号溝
88 S-18, 25号土坑
89 S-21, 23号土坑,
S-3a・b号溝



90 S-27a-c,
28, 29号土坑
91 S-31a-c号土坑
92 S-20号土坑,
S-1号井戸



93



93 S-1号井戸
94 S-1号溝

94



95 S-3a・b溝
96 S-3a・b, 4a・b溝検出面 (西より)
97 S-3a・b, 4a・b溝 (西より)



- 98 S-5号溝
(南東より)
- 99 同上
(南東側)
- 100 同上
(北西側)
- 101 S-10~12
号溝



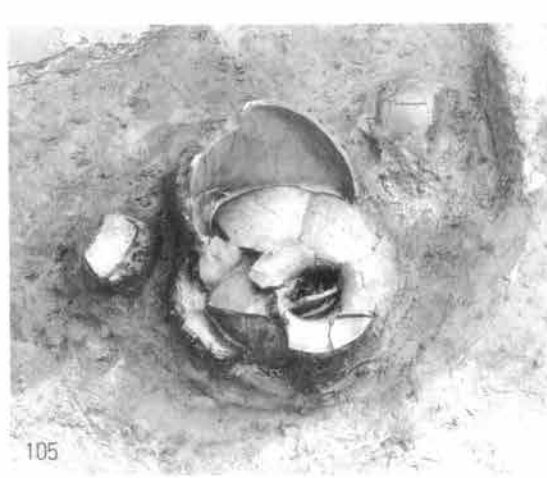
102



103

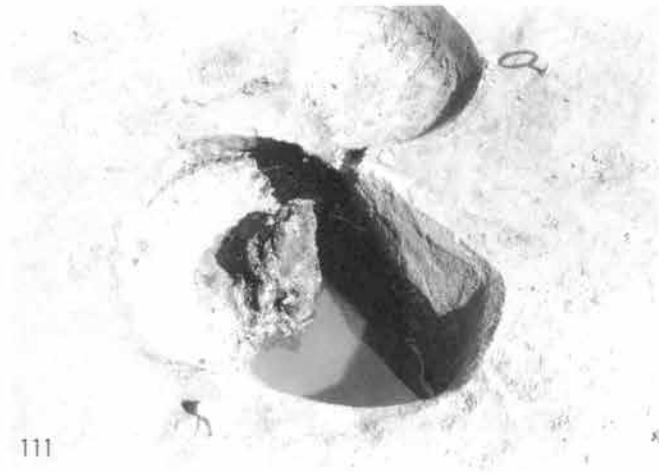
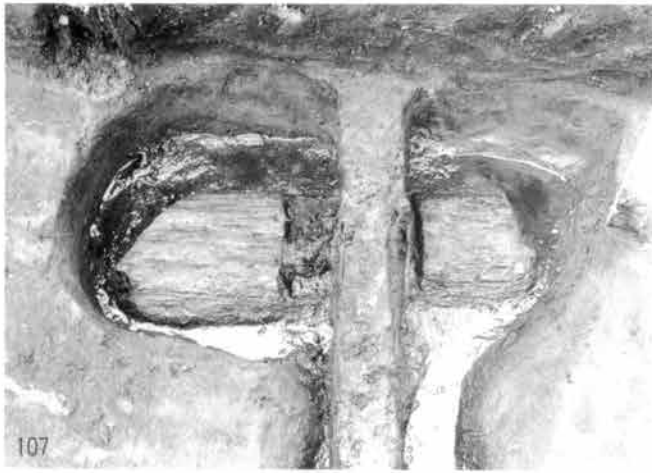


104



105

- 102 S-22G. 遺構検出状況
- 103 S-13号溝
- 104 S-23G. 土坑群 (S-238付近)
- 105 S-23G. P-13



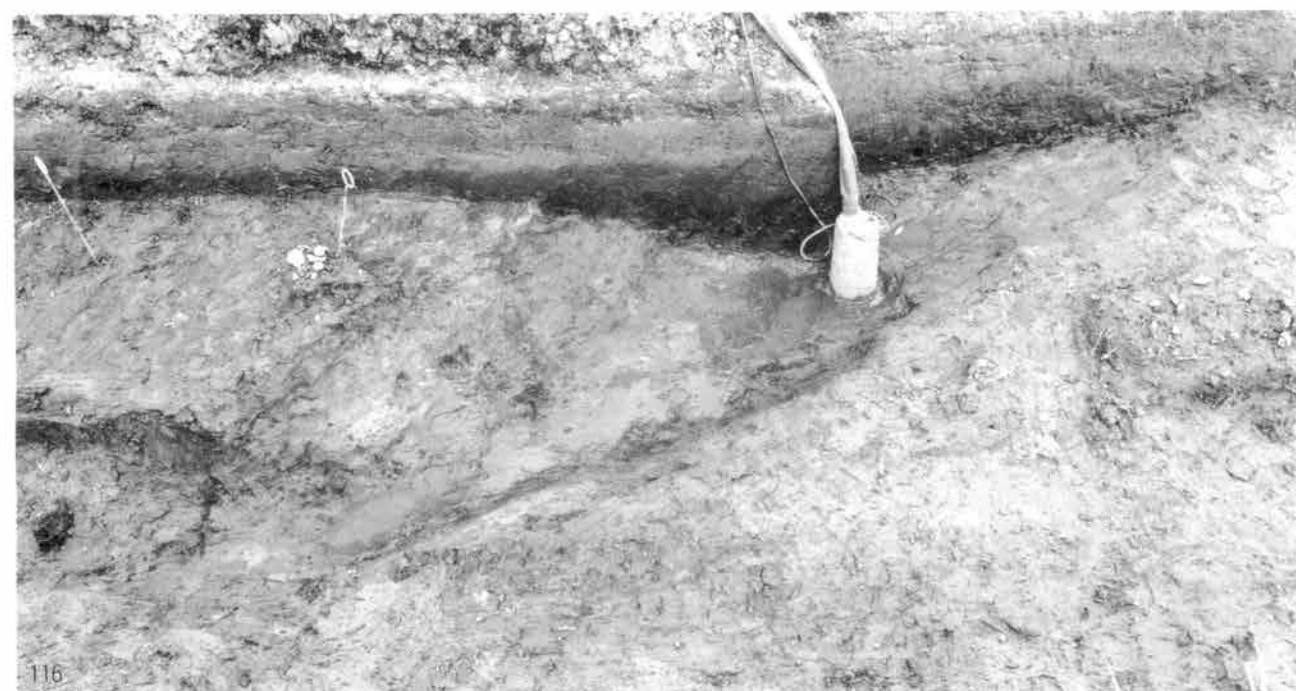
106 S-25G. Pit-1	110 S-25G. Pit-6
107 S-25G. Pit-2	111 S-27G. Pit-5
108 S-25G. Pit-4, 5	112 S-27G. Pit-6
109 S-25G. Pit-10	113 S-28G. Pit



114



115



116

- 114 S-34
-38G
- 115 同上
(北より)
- 116 S-14
号溝



117 P区全景
（北より）
118 P区全景
（南より）
119 土層断面
（北端付近）



120 T-100-220全景
(南側より)
121 T-160-220全景
(北側より)

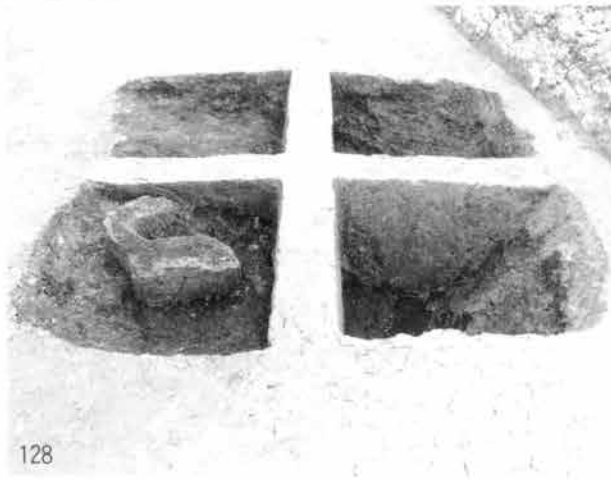


122 T-236-285全景
(北側より)

123 T-285-344全景
(北側より)



124 T-310~344全景
(南側より)
125 調査風景
126 T-1号井戸
127 同上



128



129



130



131



132

- 128 T-1号土坑
(炭化物検出状況)
- 129 同上
(土器出土状況)
- 130 同上
(覆土断面)
- 131 T-2号土坑
- 132 T-15号土坑



133



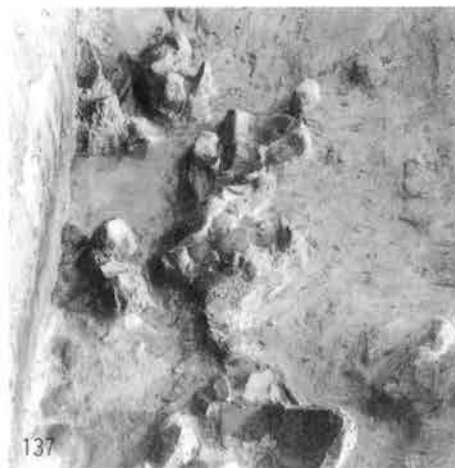
134



135



136

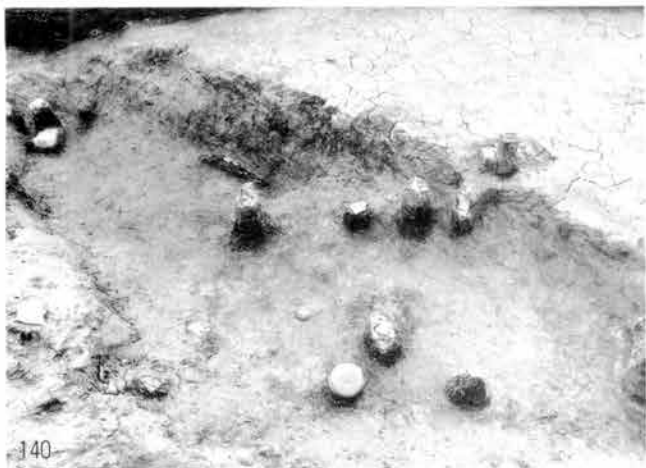


137

- 133 T-17a・b,
18号土坑
- 134 T-17a・b号土坑
- 135 T-17a号土坑
- 136 T-18号土坑
- 137 同上



138 T-1, 2号溝
139 T-3号溝



140



141



142



143



144

- 140 T-3号溝
(手前中央は1838)
- 141 T-2号溝
(土器1837出土状況)
- 142 T-4a・b号溝
- 143 T-17号土坑,
T-5号溝
- 144 T-19号土坑,
T-14号溝



145 T-13号溝
146 T-8、9号土坑、
T-6、7、10-12
号溝



147 T-1号掘立柱
建物跡
148 T-1号群, 足
跡群 (南側より)
149 同上 (北側より)



150



151



152



- 150 T-288 柱穴
(柱根, 土器
出土状況)
- 151 T-295 P-3
(1961出土状況)
- 152 T-339 付近
遺物出土状況
- 153 T-328 遺物
出土状況
- 154 T-33区 遺物
包含層堆積状況



155 W-1-7区 (南より)
156 W-1-5区 (北より)



157 W-3-7区 (南より)

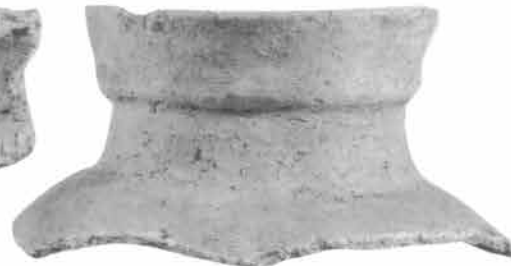
158 調査風景 (北より)



882



880



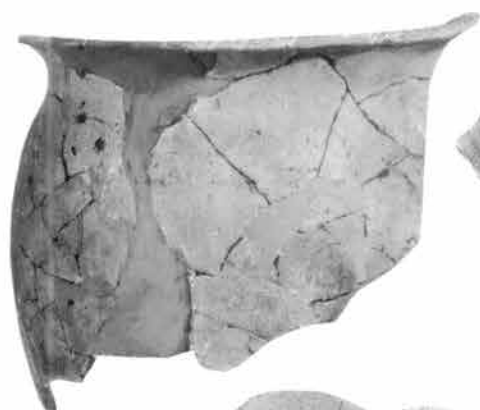
887



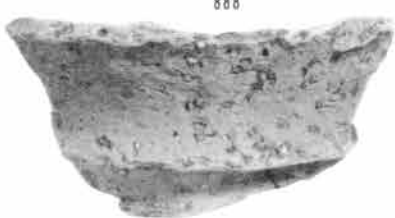
886



888



890



892



884



891



893



894



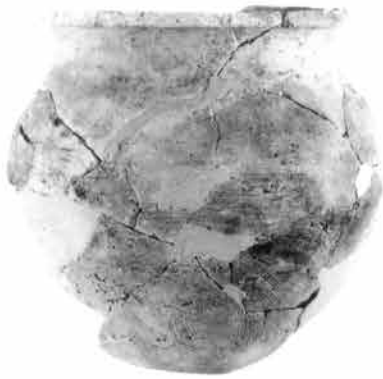
895



898



899



(未計測)



903



902



905



910



907



909



918



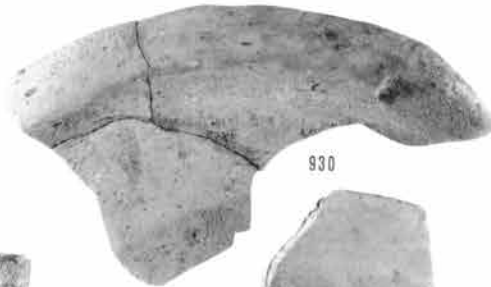
913



917



926



930



931



933



934



935



936



937



938



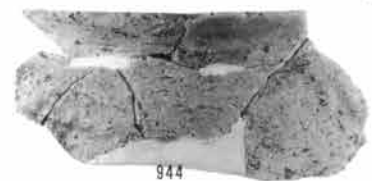
940



941



942



944















1116



1128



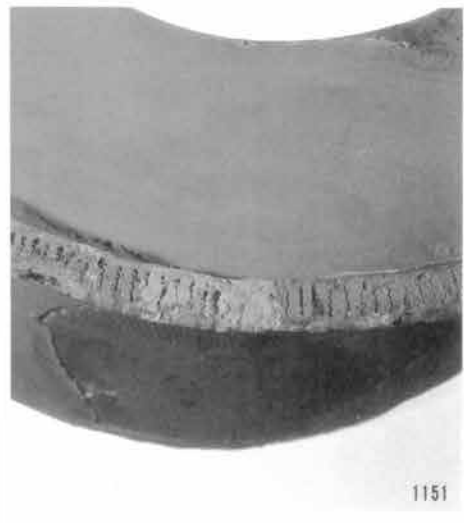
1151



1117



1129



1151



1118



1150



1151



1121



1152



1151



1155



1159



1162



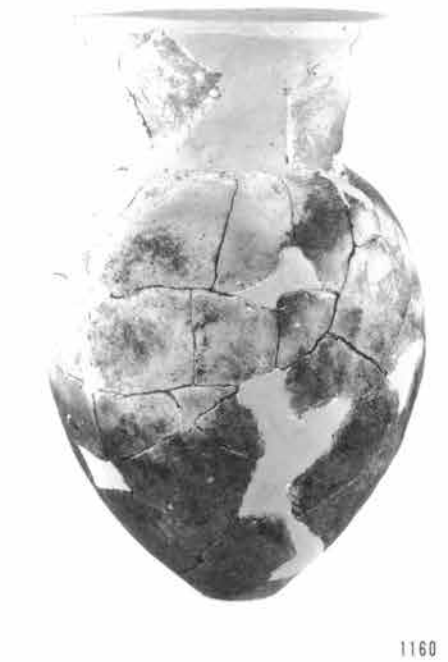
1156



1163



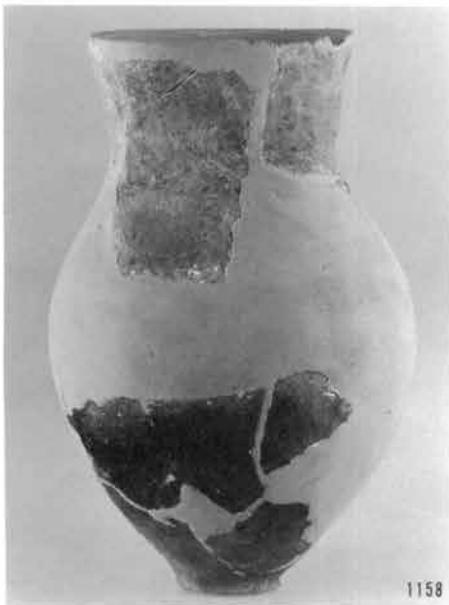
1157



1160



1164



1158



1161



1166



1167



1170



1172



1168



1170



1173



1169



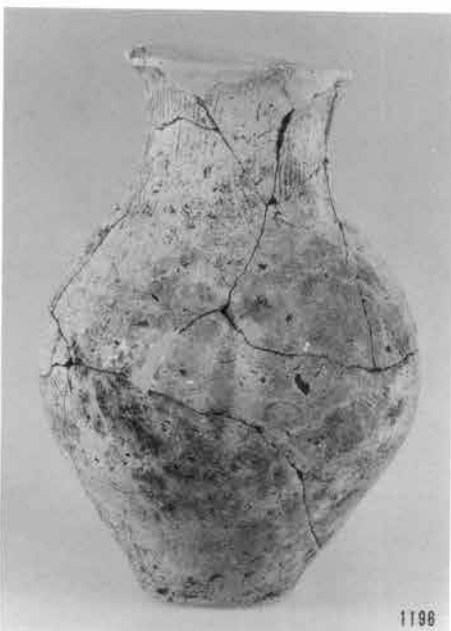
1171

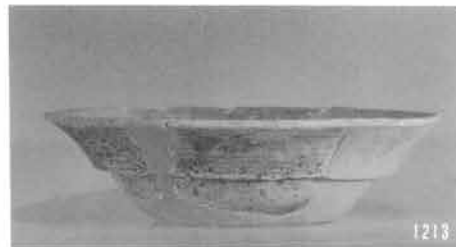


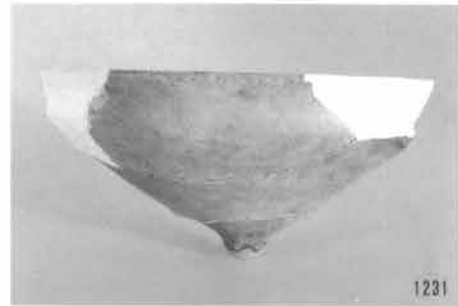
1174

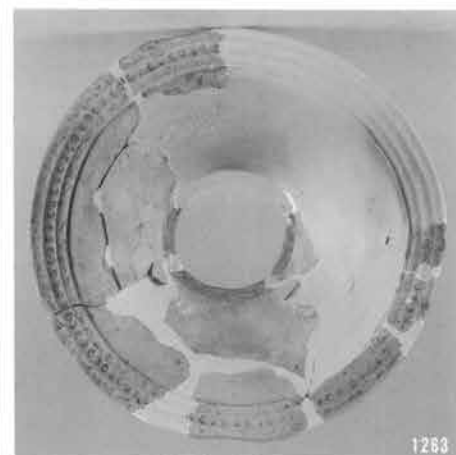
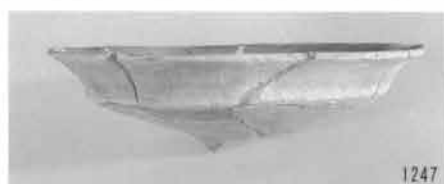
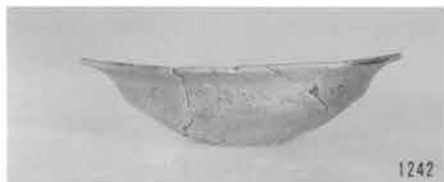


1176











1264



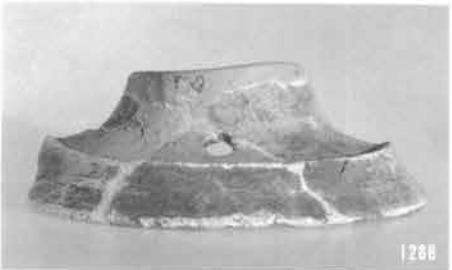
1272



1265



1277



1268



1278



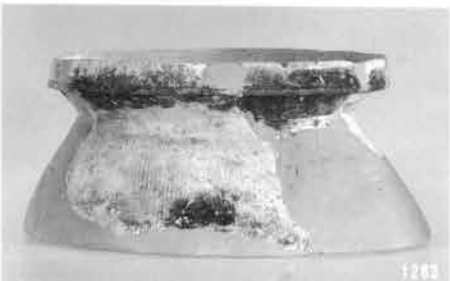
1269



1282



1270



1283



1285



1286



1287



1288



1297



1308



1289



1298



1309



1290



1300



1310



1295



1301



1311



1314



1320



1326



1316



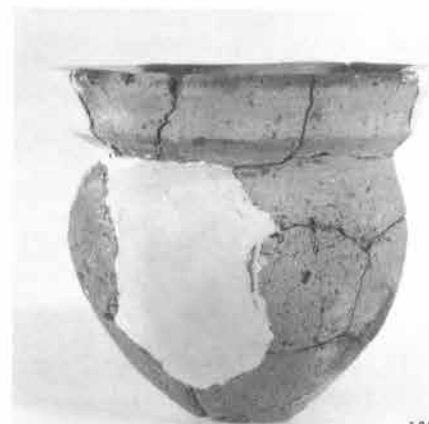
1323



1330



1317



1331



1319



1324



1333



1328



1324



1335



1341



1346



1336



1342



1349



1337



1344



1350



1339



1340



1345



1353



1351



1358



1364



1354



1360



1365



1356



1362



1366



1358

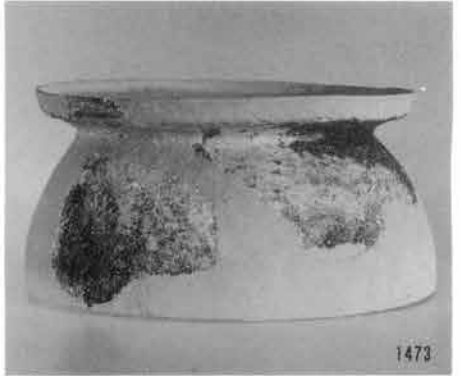
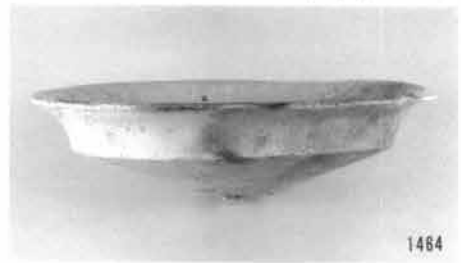
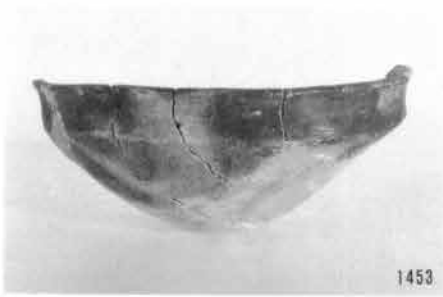


1363



1361







1474



1492



1500



1475



1494



1501



1512



1518



1519



1513



1514



1517



(表裏側)





1548



1575



1590



1576



1550



1577



1595



1581



1562



1581



1600



1572



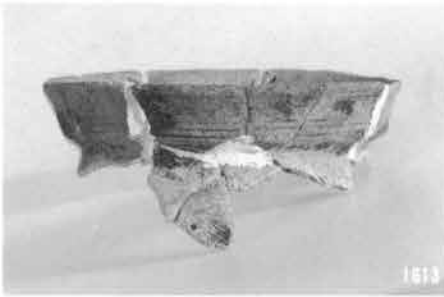
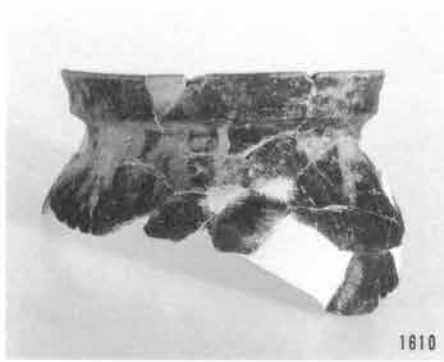
1573



1586

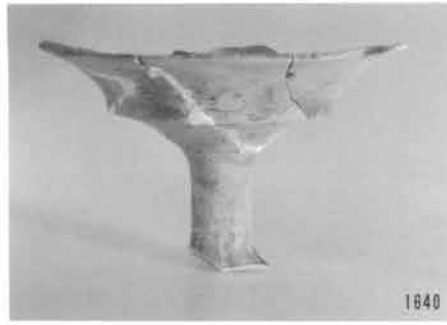


1601





1634



1640



1649



1635



1641



1642



1650



1637



1643



1651



1638



1646



1648

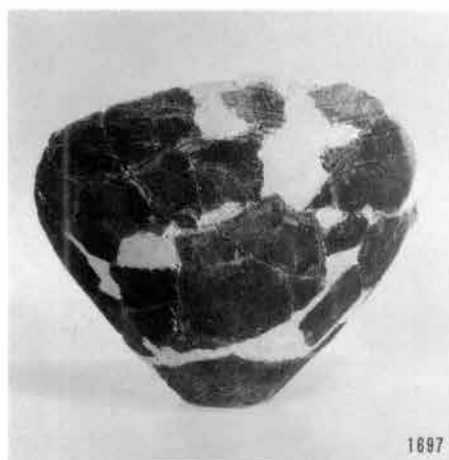


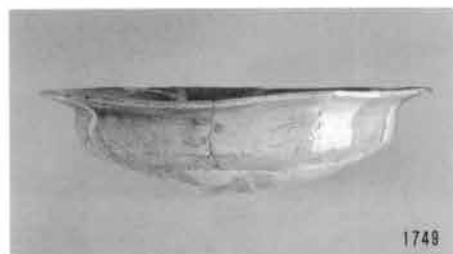
1652



1639









1807



1821



1836



1837



1825



1821



1837



1822



1834



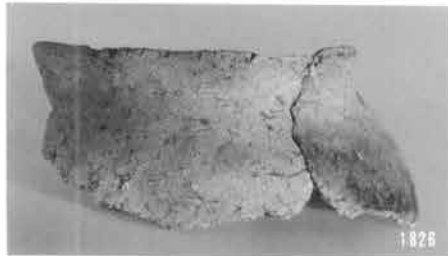
1826



1823



1835



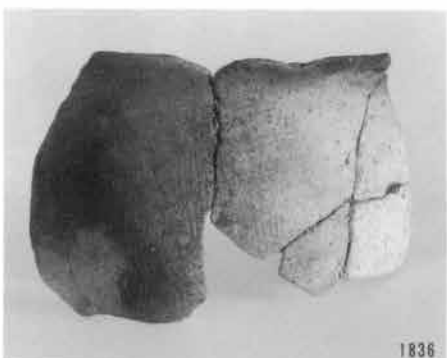
1828



1835



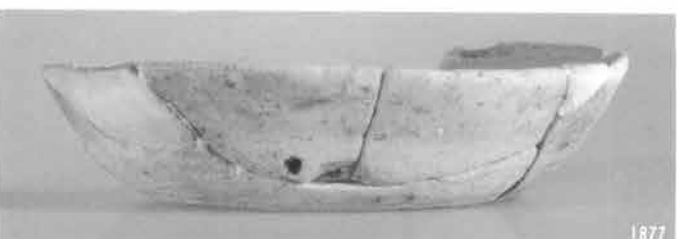
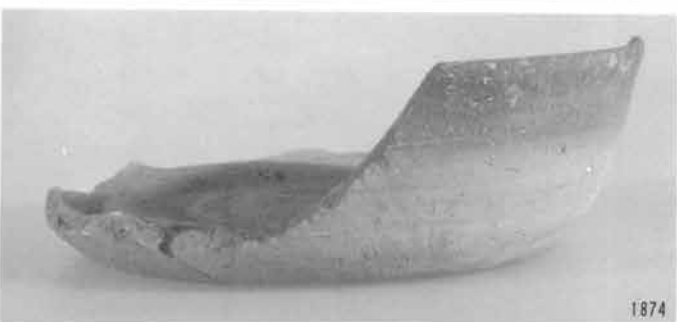
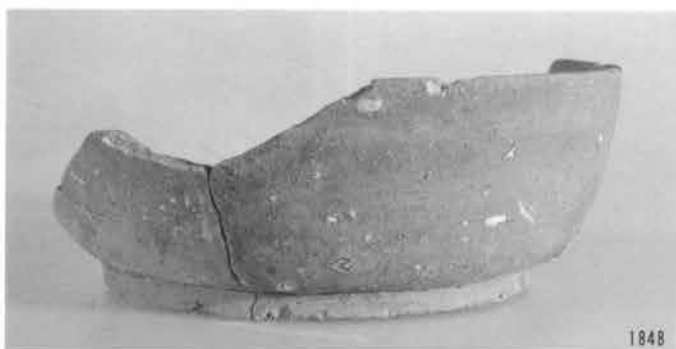
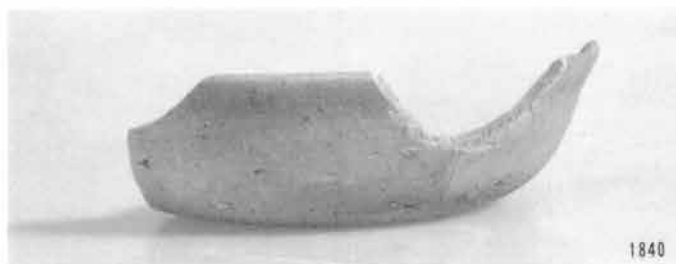
1819

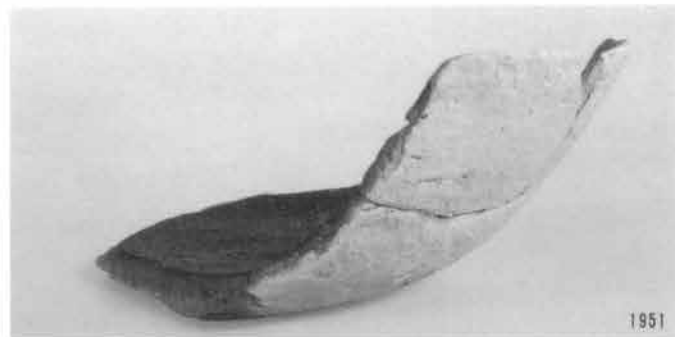
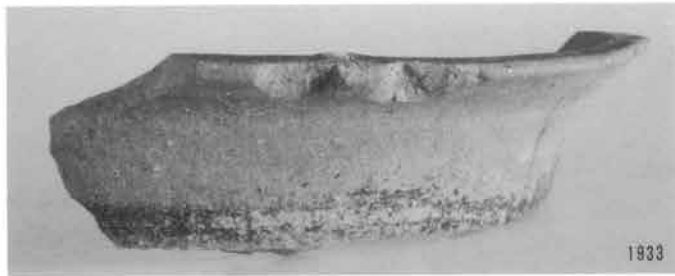
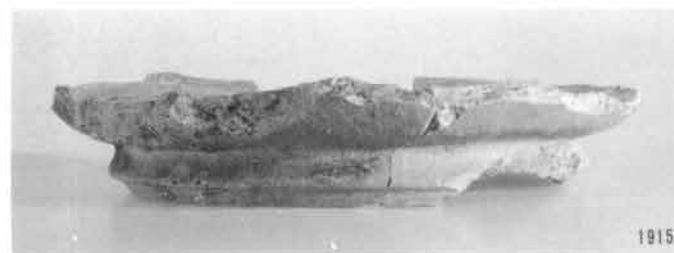
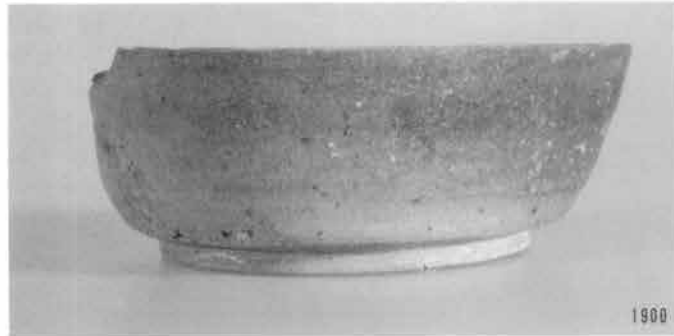
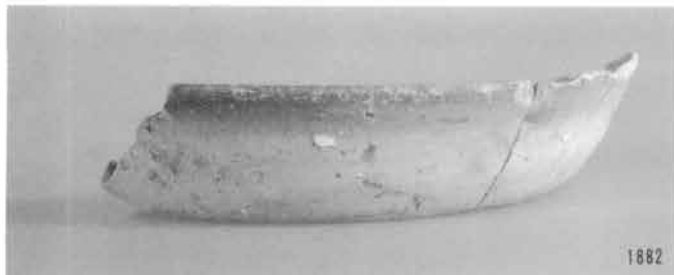


1836



1838







1960



1988



1961



1989



1976



1990



1976



1868



1801



1803



1977



1869



1978



1981



1980



1937



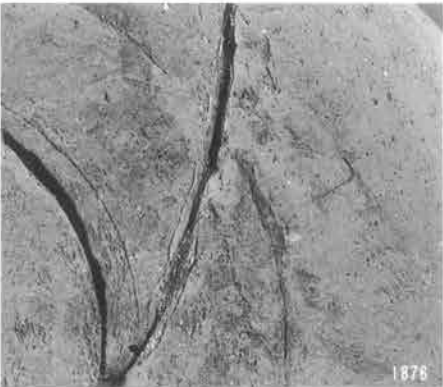
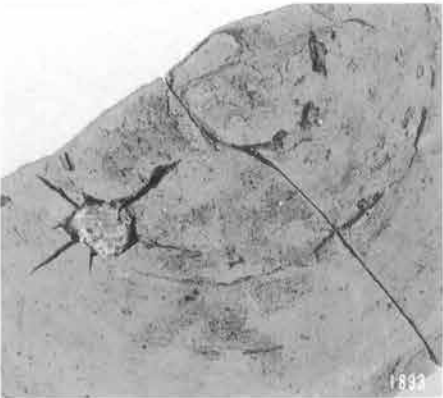
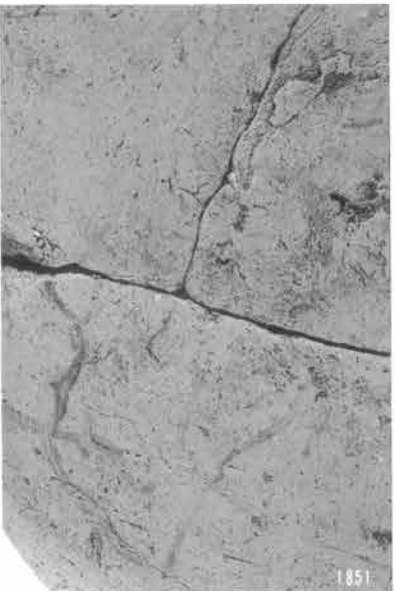
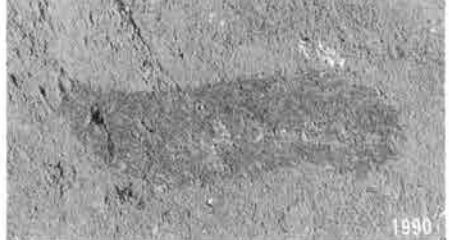
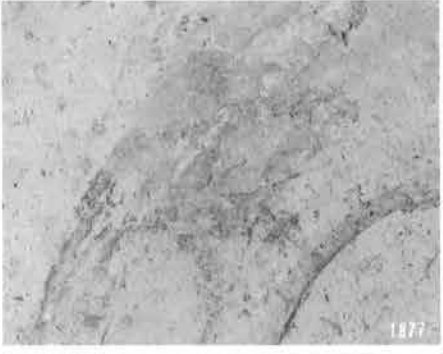
1949

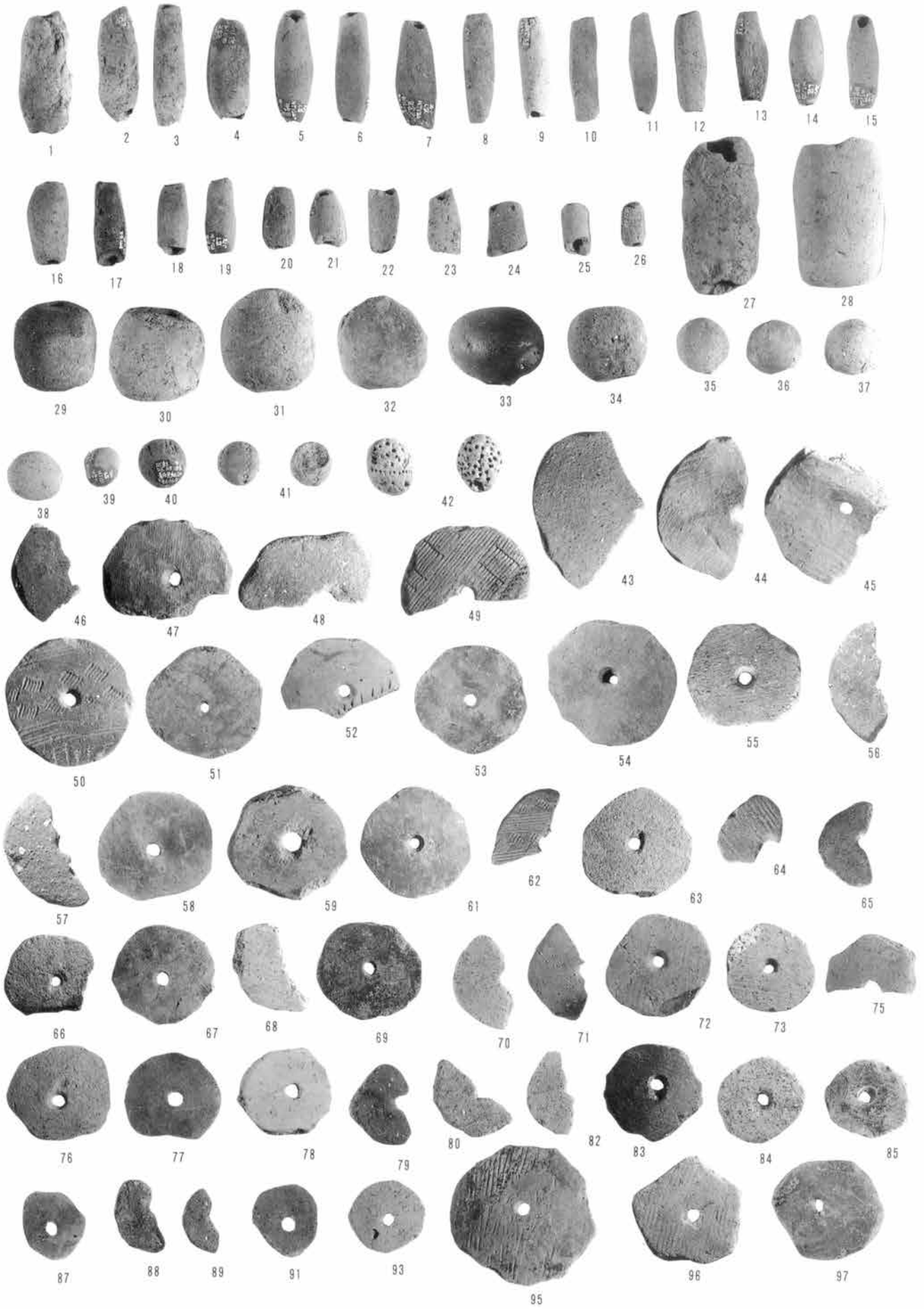


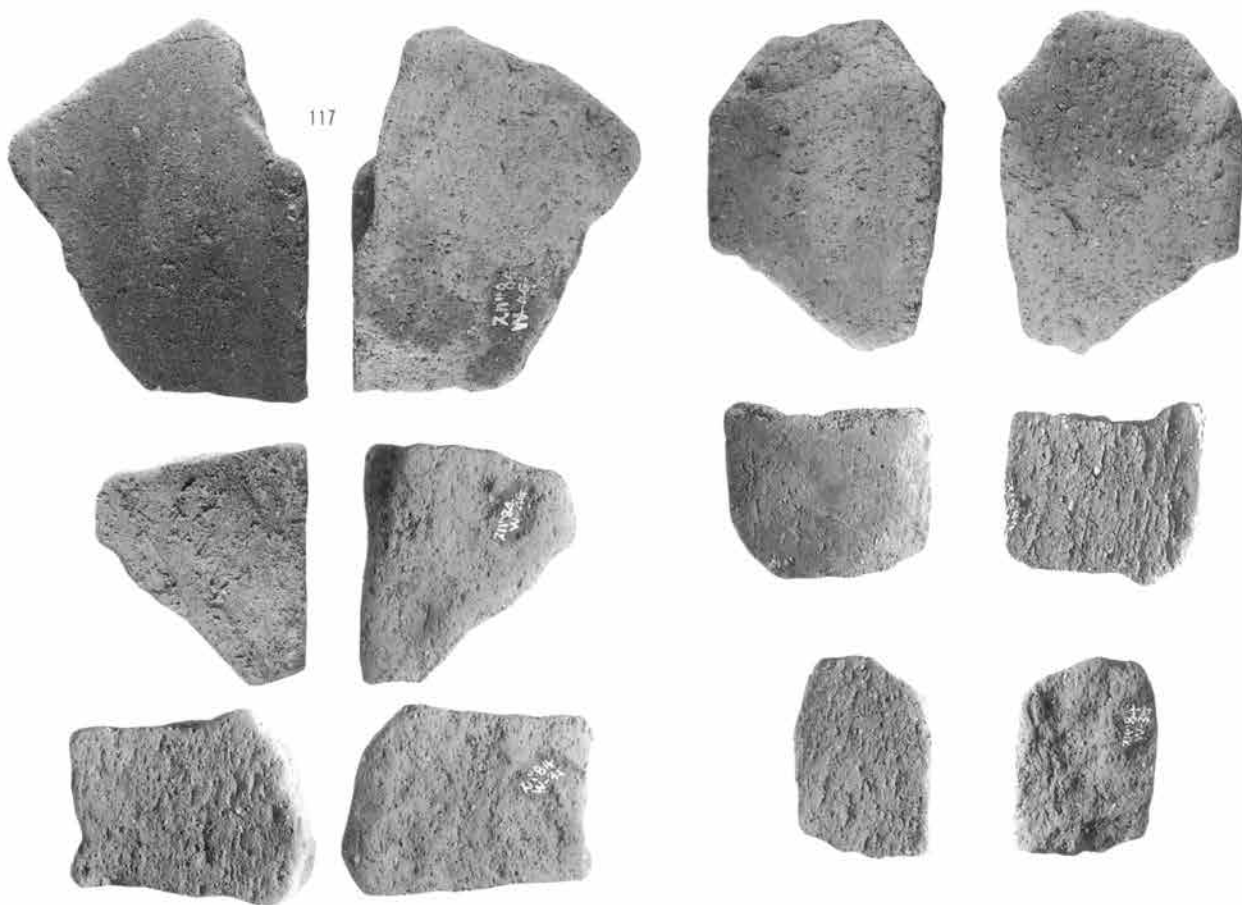
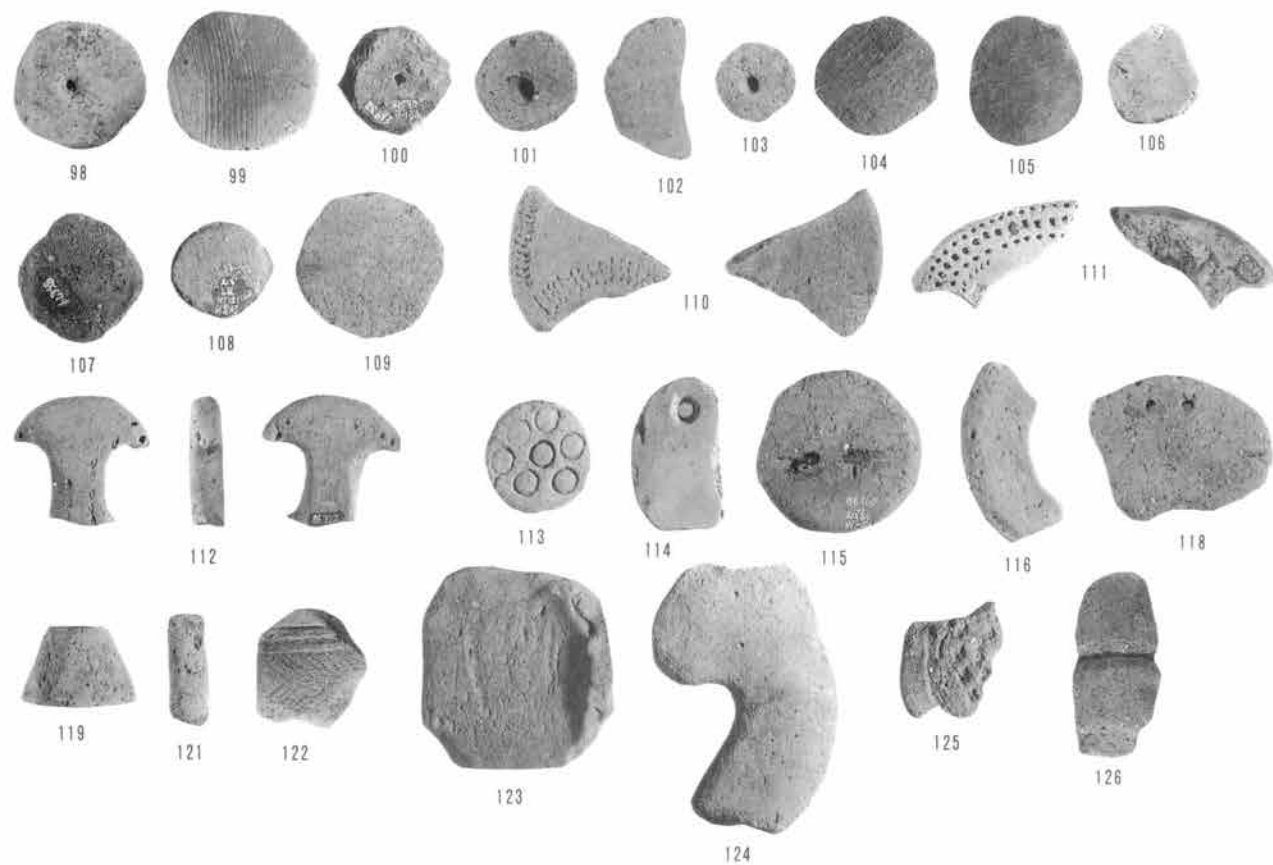
1986



1987

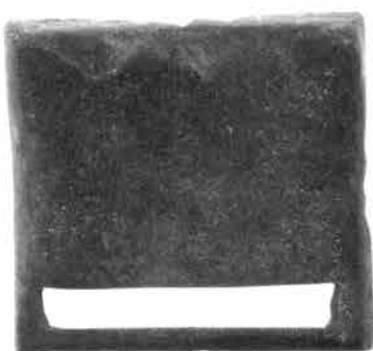








148



1



2



3



4

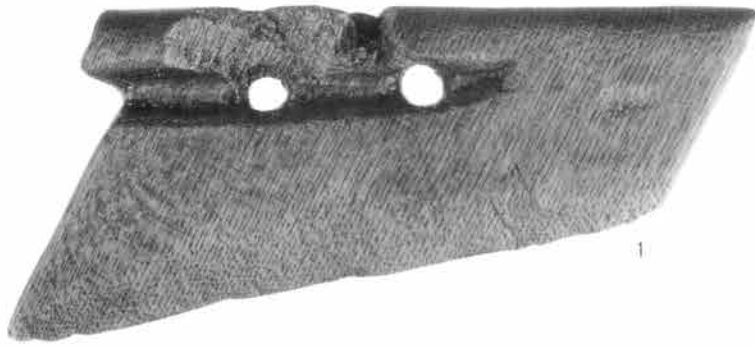


5



6





19

16

18

7

15

20

22

29

30

24

31

32

21



8



9



10



11

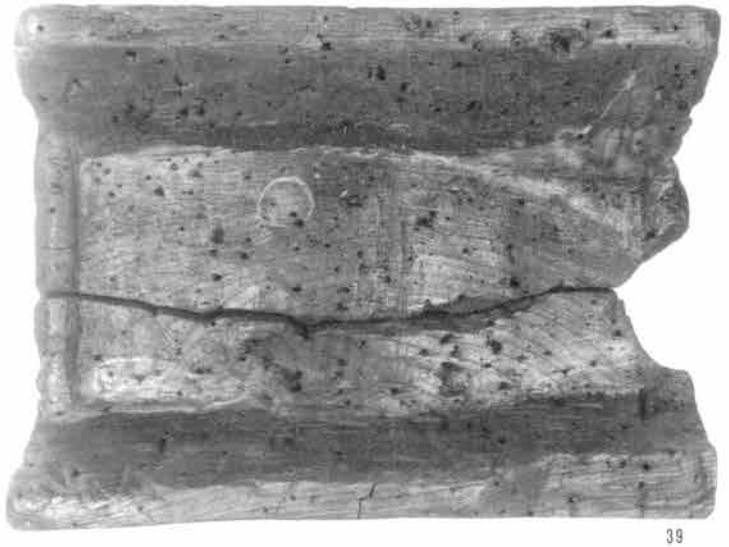


13





12



39



14



35



33



38



46



25



34



36



37



44



50



43



40

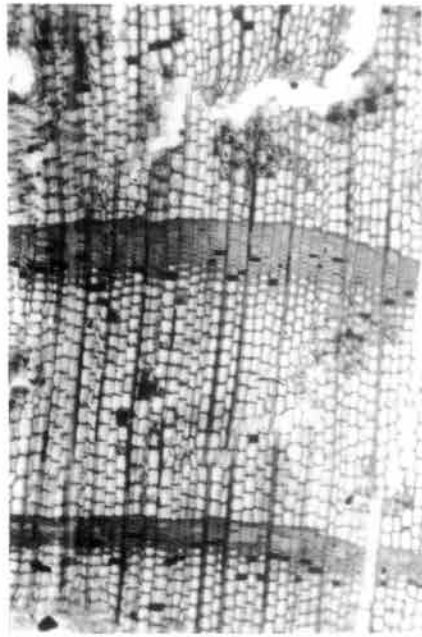


40

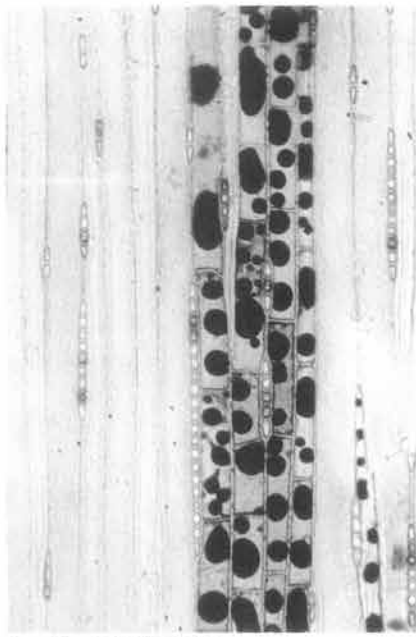


(拡大)

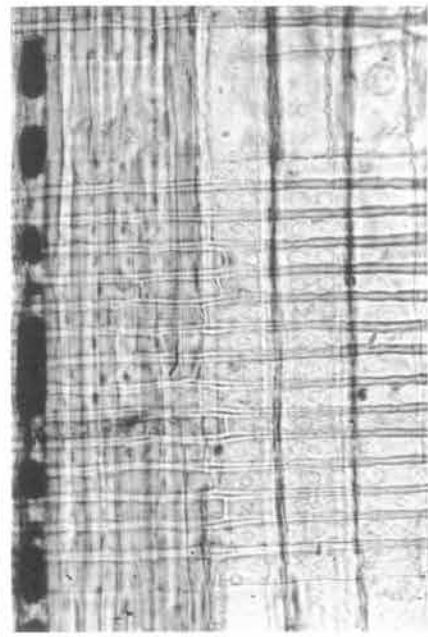
(未実測 長さ2.9m)



1 スギ I S F-5 横断面×40



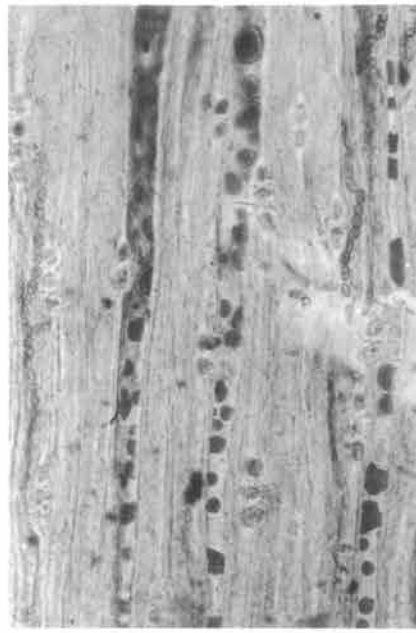
2 同 接線断面×100



3 同 放射断面×200



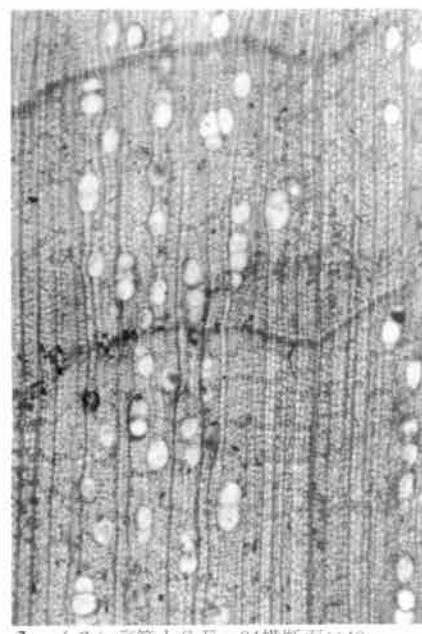
4 ヒノキ科? I S F-7 横断面×40



5 同 接線断面×100



6 同 放射断面×200



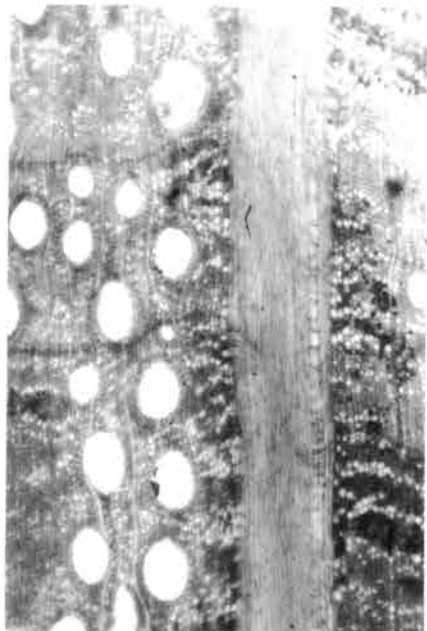
7 イヌシデ節 I S F-34 横断面×40



8 同 接線断面×100



9 同 放射断面×200



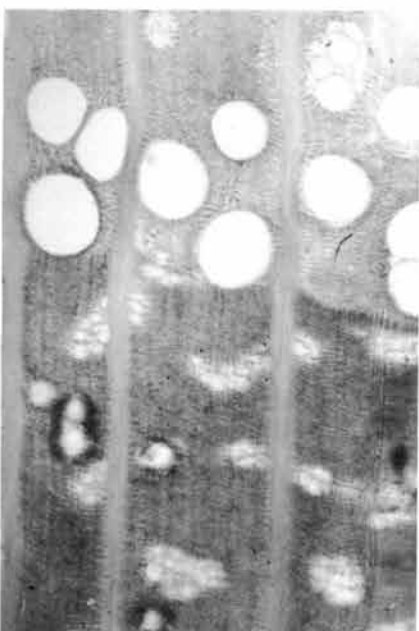
10 アカガシ虫属1 S F-1 横断面×40



11 同 接線断面×100



12 同 放射断面×200



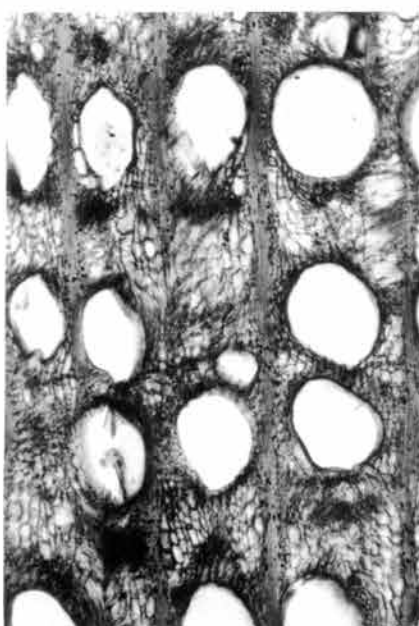
13 エギノ属1 S F-28横断面×40



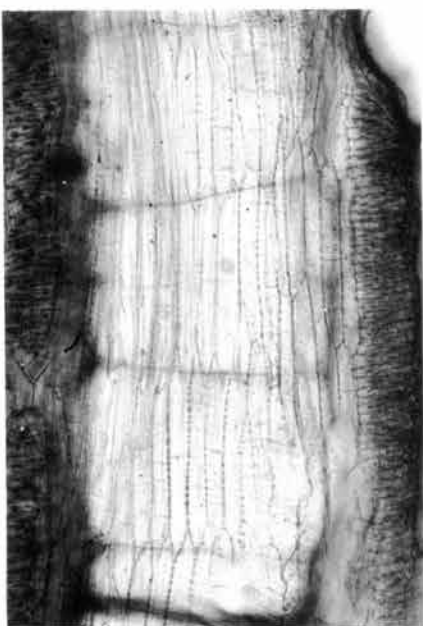
14 同 接線断面×100



15 同 放射断面×200



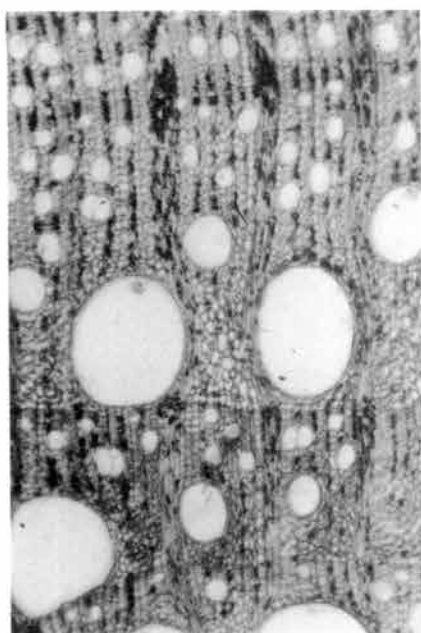
16 ケヤキ1 S F-2 横断面×40



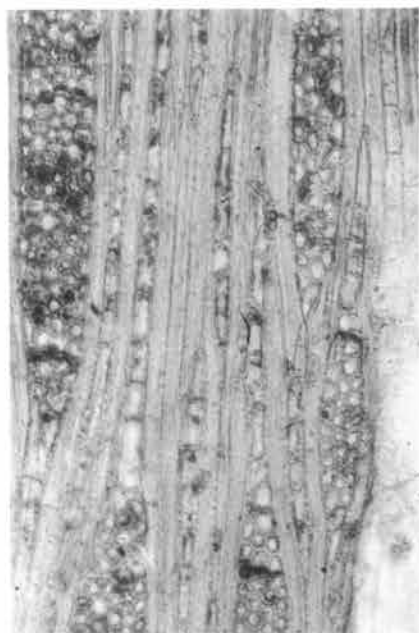
17 同 接線断面×100



18 同 放射断面×200



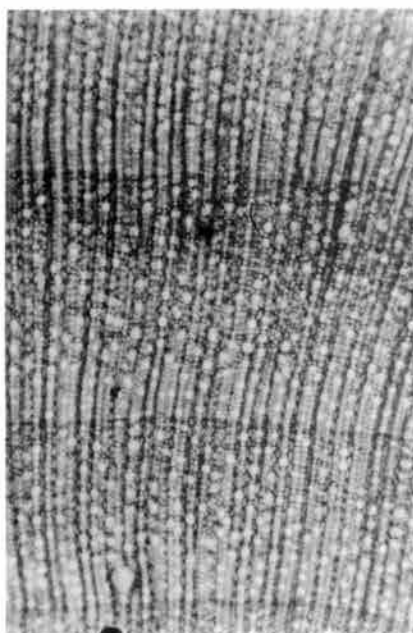
19 マタタビ属 I S F-23横断面×40



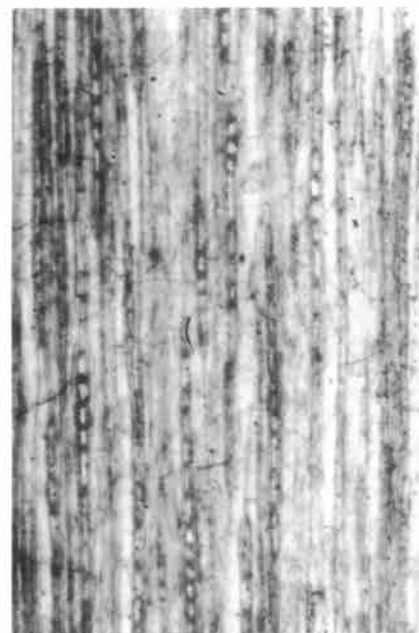
20 同 接線断面×100



21 同 放射断面×200



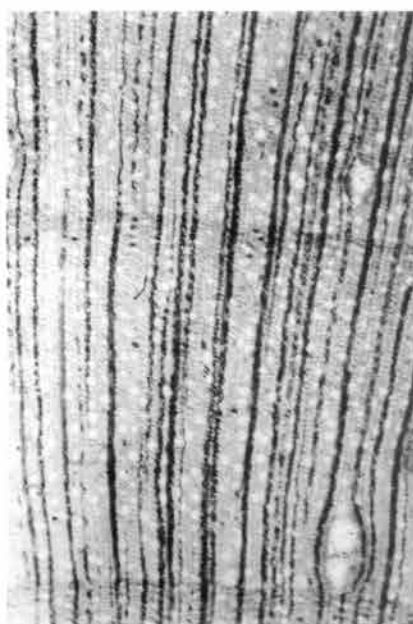
22 サカキ I S F-6横断面×40



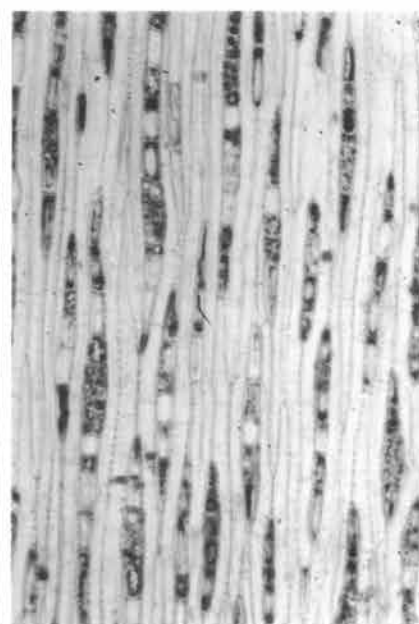
23 同 接線断面×100



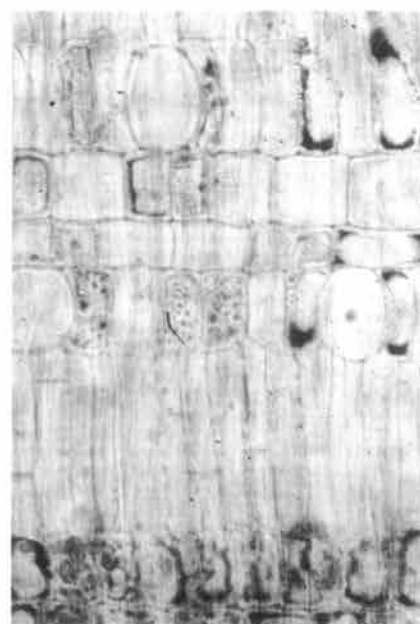
24 同 放射断面×200



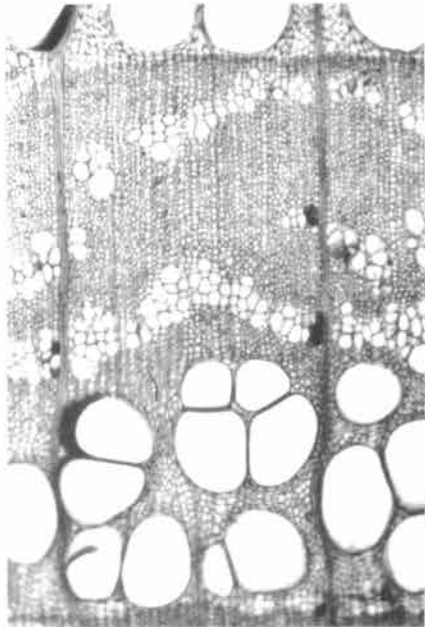
25 キャブツバキ I S F-20横断面×40



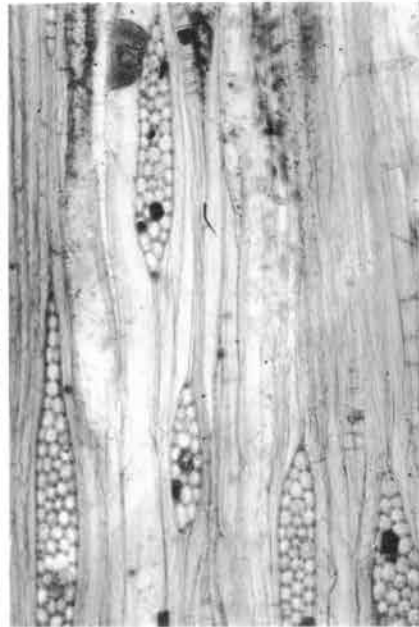
26 同 接線断面×100



27 同 放射断面×200



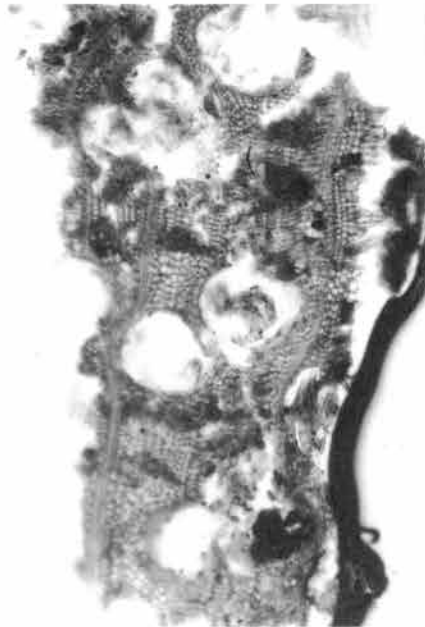
28 キハタ I S F-29横断面×40



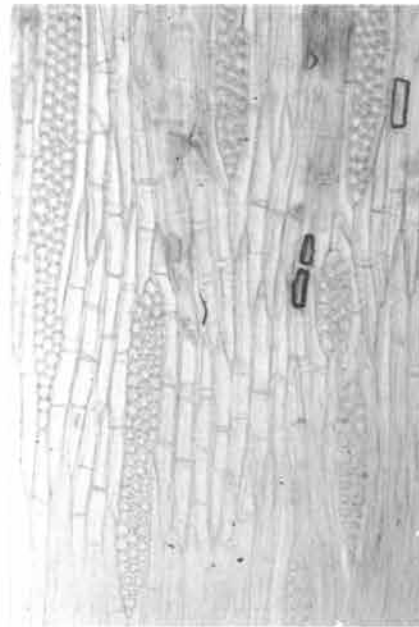
29 同 接線断面×100



30 同 放射断面×200



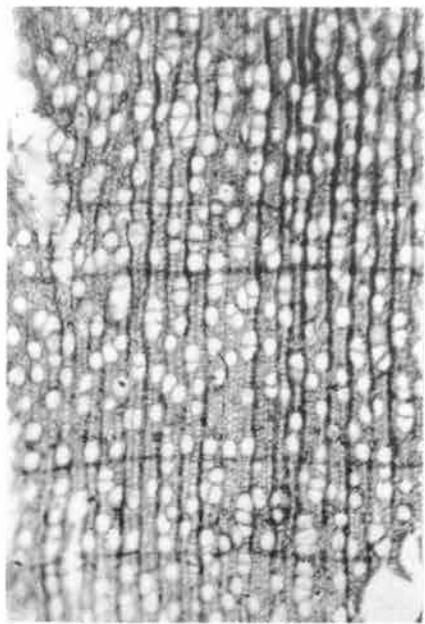
31 ムクロジ I S F-8横断面×40



32 同 接線断面×100



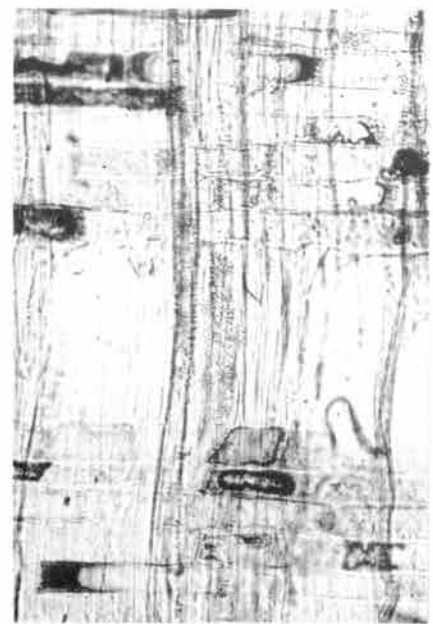
33 同 放射断面×200



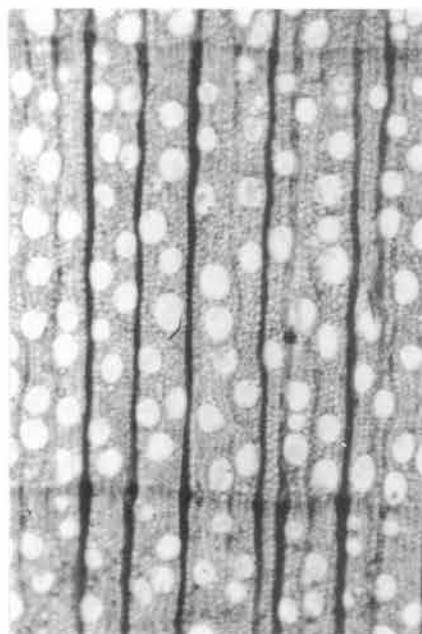
34 トチノキ I S F-25横断面×40



35 同 接線断面×100



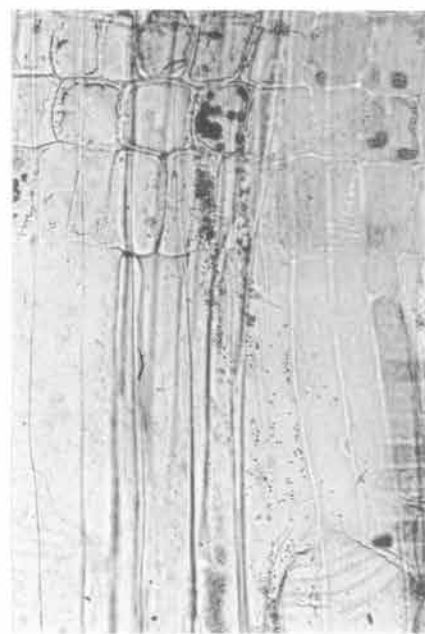
36 同 放射断面×200



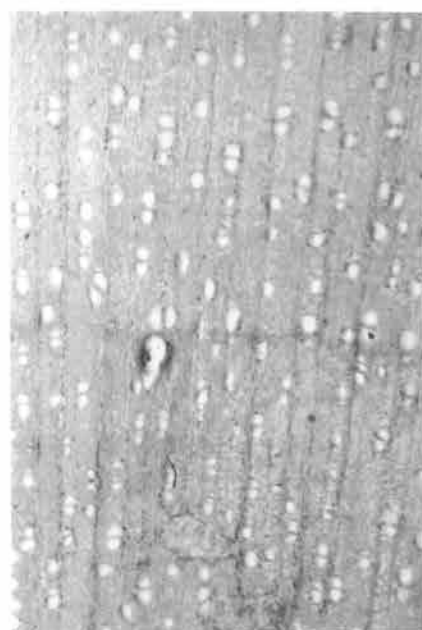
37 クマノミズキ類 I S F-33
横断面×40



38 同 接線断面×100



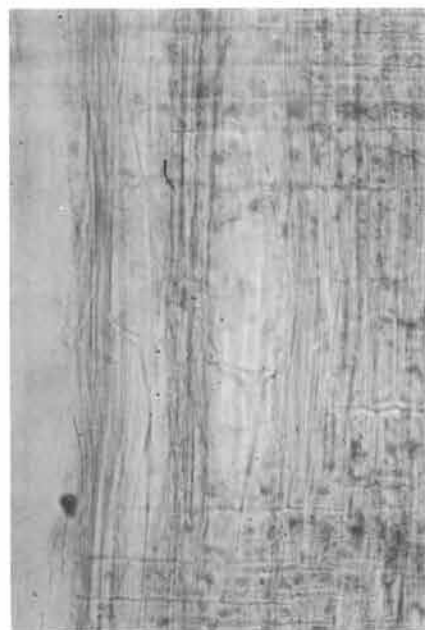
39 同 放射断面×200



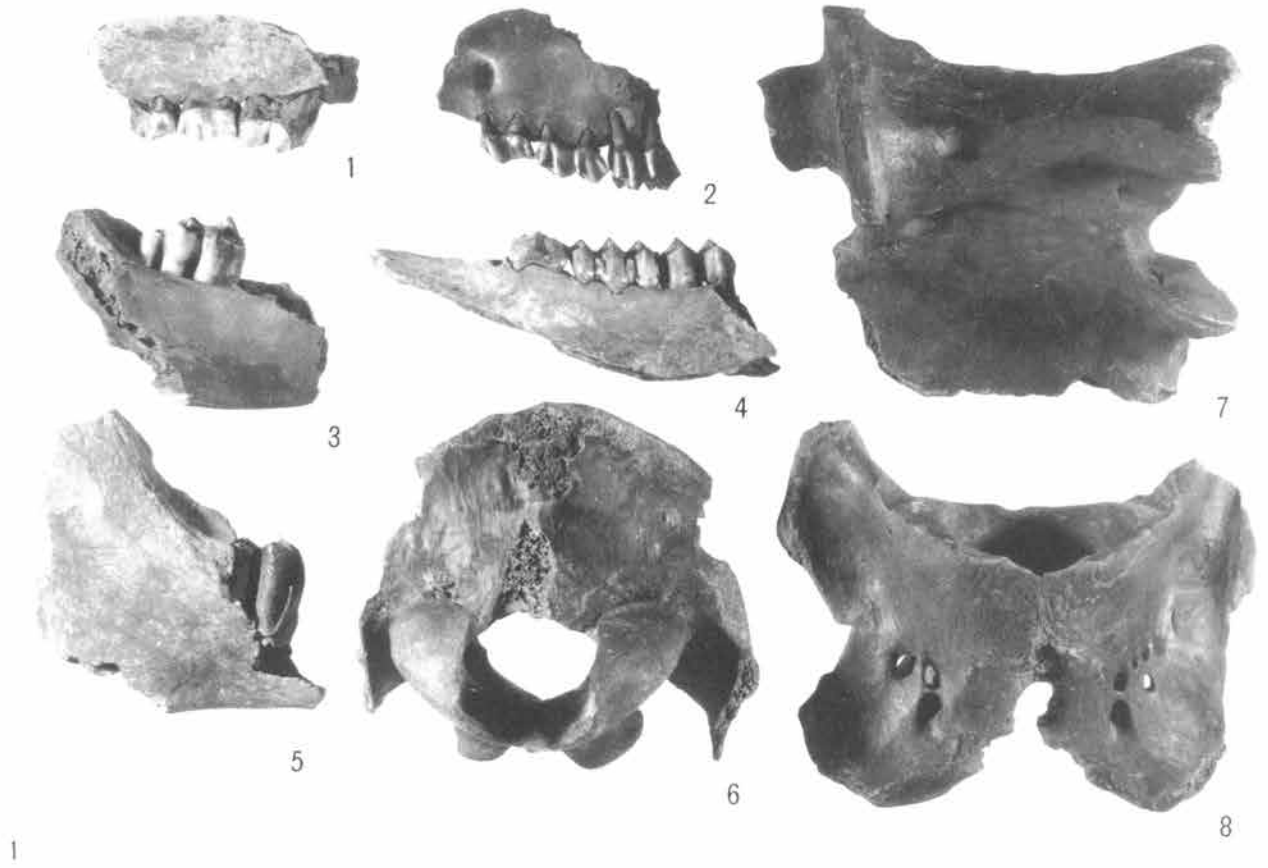
40 ムラサキシキブ属 I S F-9
横断面×40



41 同 接線断面×100



42 同 放射断面×200



1 ニホンジカ (2/3)

1: 上顎骨 ℓ , 2: 同 ℓ , 3: 下顎骨 r , 4: 同 ℓ , 5: 同 r ,
6: 後頭骨, 7: 軸椎, 8: 環椎.



2 ニホンジカ (2/3)

1: 肩胛骨 r , 2: 上腕骨 r , 3: 橈骨 r , 4: 大腿骨 ℓ , 5: 寛骨 ℓ ,
6: 踵骨 r , 7: 脛骨 ℓ .



3 イノシシ (2/3)
 1: 上顎骨r, 2: 環椎, 3: 肩胛骨ℓ, 4: 大腿骨ℓ, 5: 橈骨ℓ,
 6: 寛骨ℓ.



4 その他 (1/1)
 1: カワウソ頭蓋骨, 2: イヌ下顎骨ℓ, 3: 上腕骨ℓ.

吉崎・次場遺跡

県営ほ場整備事業に係る埋蔵文化財
発掘調査報告書第2分冊(資料編(2))

昭和63年3月20日印刷
昭和63年3月30日発行

編集・発行 石川県立埋蔵文化財センター
石川県金沢市米泉町4丁目133番地1号
〒921 電話 (0762) 43-7692 番代

印刷 北国書籍印刷株式会社

©石川県立埋蔵文化財センター 1988

